令和元年度決算に係る行政報告書

（主要な施策の成果を説明する書類）

令和２年８月

埼玉県加須市

目　　次

Ⅰ　財政の状況（一般会計）

１　歳入 …… １
２　歳出 …… ２
３　収支 …… ５
４　市税 …… ６
５　地方債等（一般会計・全会計） …… ７
６　財政構造（普通会計） …… １１
７　地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障４経費その他社会保障施策に要した経費 …… １２
８　森林環境譲与税の使途 …… １４

Ⅱ　一般会計の状況（主要な事業の実績・成果　予算科目別）

１款　議会費　１項　議会費 …… １７
２款　総務費　１項　総務管理費 …… ２１
２款　総務費　２項　徴税費 …… １４８
２款　総務費　３項　戸籍住民基本台帳費 …… １５６
２款　総務費　４項　選挙費 …… １６３
２款　総務費　５項　統計調査費 …… １７１
２款　総務費　６項　監査委員費 …… １７８
３款　民生費　１項　社会福祉費 …… １７９
３款　民生費　２項　児童福祉費 …… ２４８
３款　民生費　３項　生活保護費 …… ３０１
３款　民生費　４項　災害救助費 …… ３０５
４款　衛生費　１項　保健衛生費 …… ３０７
４款　衛生費　２項　清掃費 …… ３６９
５款　労働費　１項　労働諸費 …… ３７９
６款　農林水産業費　１項　農業費 …… ３９０
７款　商工費　１項　商工費 …… ４３６
８款　土木費　１項　土木管理費 …… ４６２
８款　土木費　２項　道路橋りょう費 …… ４６７
８款　土木費　３項　河川費 …… ４８１
８款　土木費　４項　都市計画費 …… ４８３
８款　土木費　５項　住宅費 …… ５００
９款　消防費　１項　消防費 …… ５０２
１０款　教育費　１項　教育総務費 …… ５２２
１０款　教育費　２項　小学校費 …… ５４５
１０款　教育費　３項　中学校費 …… ５５５
１０款　教育費　４項　幼稚園費 …… ５６２
１０款　教育費　５項　社会教育費 …… ５６６
１０款　教育費　６項　保健体育費 …… ６０８
１１款　公債費　１項　公債費 …… ６３１
１２款　予備費　１項　予備費 …… ６３２

Ⅲ　特別会計の状況

住宅新築資金等貸付事業 …… ６３５
国民健康保険事業 …… ６３６
国民健康保険直営診療所 …… ６４２
後期高齢者医療 …… ６４３
介護保険事業 …… ６４５
農業集落排水事業 …… ６５８
野中土地区画整理事業 …… ６６０
栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業 …… ６６３
河野博士育英事業 …… ６６４

Ⅳ　ゼロ予算事業の状況（実績・成果　部課順）

…… ６６７

この報告書は、地方自治法第233条及び加須市予算規則第29条に基づき、令和元年度決算に係る主要な施策の成果を説明する書類として作成したものである。

当該決算年度に、どういう予算に基づいて、何にどう取り組み、結果としてどんな事業実績や成果をあげることができたか等について、原則として職員人件費を除くすべての予算事業について、具体的な数値等で、より見やすく分かりやすくとりまとめた。

なお、成果を数値化できないもの等については、事業を行うに当たり、特に意を用いたことや改善したこと等を記載するように努めた。

また、ゼロ予算事業として、予算措置は伴わないものの職員の創意工夫や市民の皆さんとのパートナーシップなどにより市民サービスを向上させる事業についての実績・成果も同様にとりまとめた。

表記について

主な事業の実績・成果については、過去5年分の実績も合わせて表に掲載し、より分かりやすくデータ化した。

事業名に【繰越明許】と表記されている事業は、平成30年度から繰越し、令和元年度に実施されたものである。

事業名欄の右端に（総合戦略）と表記されている事業は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に該当するものである。

Ⅰ　財政の状況（一般会計）

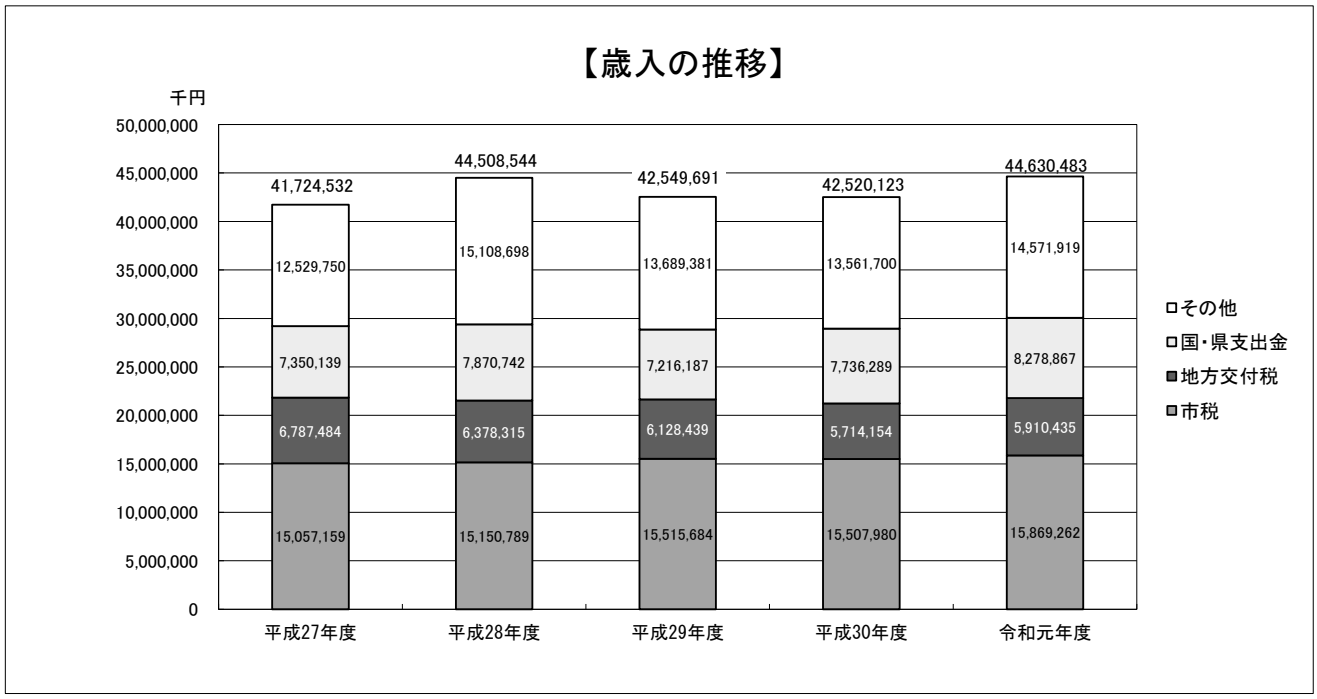
１　歳入

（単位：千円）

区　　分	令和元年度					平成30年度				
	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）
市税	15,869,262	35.5	361,282	2.3	140,564	15,507,980	36.5	▲ 7,704	0.0	137,039
地方譲与税	520,693	1.2	▲ 991	▲ 0.2	4,612	521,684	1.2	4,936	1.0	4,610
利子割交付金	10,077	0.1	▲ 9,513	▲ 48.6	89	19,590	0.1	▲ 217	▲ 1.1	173
配当割交付金	65,626	0.1	11,310	20.8	581	54,316	0.1	▲ 13,453	▲ 19.9	480
株式等譲渡所得割交付金	39,585	0.1	▲ 10,229	▲ 20.5	351	49,814	0.1	▲ 23,935	▲ 32.5	440
地方消費税交付金	1,937,712	4.3	▲ 75,222	▲ 3.7	17,164	2,012,934	4.7	220,922	12.3	17,788
自動車取得税交付金	117,445	0.3	▲ 104,631	▲ 47.1	1,040	222,076	0.5	7,664	3.6	1,962
環境性能割交付金	35,551	0.1	35,551	皆増	315					
地方特例交付金	306,683	0.7	198,048	182.3	2,716	108,635	0.3	16,017	17.3	960
地方交付税	5,910,435	13.2	196,281	3.4	52,352	5,714,154	13.4	▲ 414,285	▲ 6.8	50,494
（普通）	4,984,345	11.1	49,855	1.0	44,149	4,934,490	11.6	▲ 414,565	▲ 7.8	43,604
（特別）	925,090	2.1	145,426	18.7	8,194	779,664	1.8	280	0.0	6,890
交通安全対策特別交付金	18,440	0.1	▲ 281	▲ 1.5	163	18,721	0.1	▲ 1,587	▲ 7.8	165
分担金及び負担金	320,770	0.7	▲ 102,482	▲ 24.2	2,841	423,252	1.0	▲ 17,775	▲ 4.0	3,740
使用料及び手数料	488,849	1.1	▲ 36,561	▲ 7.0	4,330	525,410	1.2	1,665	0.3	4,643
国庫支出金	5,662,766	12.7	258,983	4.8	50,159	5,403,783	12.7	430,406	8.7	47,751
県支出金	2,616,101	5.8	283,595	12.2	23,172	2,332,506	5.5	89,696	4.0	20,612
財産収入	199,272	0.4	146,092	274.7	1,765	53,180	0.1	▲ 54,980	▲ 50.8	470
寄附金	14,343	0.1	10,098	237.9	127	4,245	0.0	▲ 1,045	▲ 19.8	38
繰入金	1,377,029	3.1	▲ 237,265	▲ 14.7	12,197	1,614,294	3.8	▲ 295,940	▲ 15.5	14,265
繰越金	4,174,677	9.3	271,384	7.0	36,978	3,903,293	9.2	861,343	28.3	34,492
諸収入	941,771	2.1	▲ 174,941	▲ 15.7	8,342	1,116,712	2.6	▲ 126,072	▲ 10.1	9,868
市債	4,003,396	9.0	1,089,852	37.4	35,461	2,913,544	6.9	▲ 705,224	▲ 19.5	25,746
合計	44,630,483	100.0	2,110,360	5.0	395,320	42,520,123	100.0	▲ 29,568	▲ 0.1	375,736

住民基本台帳人口　　令和2年3月31日　112,897人　　平成31年3月31日　113,165人

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。



2　歳出

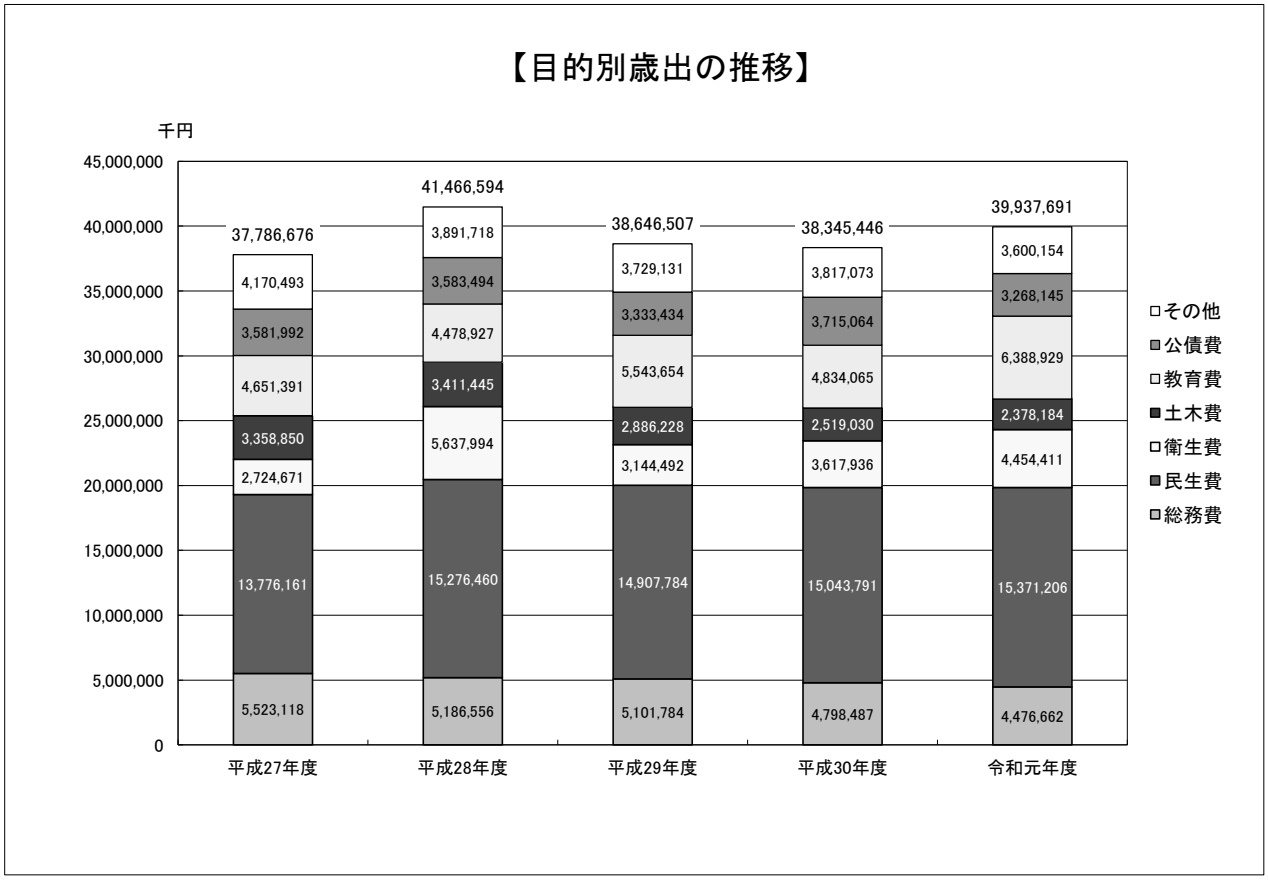
(1) 目的別歳出内訳

（単位：千円）

区　分	令和元年度					平成30年度				
	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）
議会費	308,438	0.8	▲ 23,159	▲ 7.0	2,732	331,597	0.9	15,217	4.8	2,930
総務費	4,476,662	11.2	▲ 321,825	▲ 6.7	39,653	4,798,487	12.5	▲ 303,297	▲ 5.9	42,403
民生費	15,371,206	38.5	327,415	2.2	136,152	15,043,791	39.2	136,007	0.9	132,937
衛生費	4,454,411	11.1	836,475	23.1	39,456	3,617,936	9.4	473,444	15.1	31,970
労働費	104,333	0.3	▲ 73,724	▲ 41.4	924	178,057	0.5	▲ 6,509	▲ 3.5	1,573
農林水産業費	1,362,477	3.4	▲ 22,145	▲ 1.6	12,068	1,384,622	3.6	146,006	11.8	12,235
商工費	190,983	0.5	▲ 124,889	▲ 39.5	1,692	315,872	0.8	▲ 18,307	▲ 5.5	2,791
土木費	2,378,184	5.9	▲ 140,846	▲ 5.6	21,065	2,519,030	6.6	▲ 367,198	▲ 12.7	22,260
消防費	1,633,924	4.1	26,999	1.7	14,473	1,606,925	4.2	▲ 48,465	▲ 2.9	14,200
教育費	6,388,929	16.0	1,554,864	32.2	56,591	4,834,065	12.6	▲ 709,589	▲ 12.8	42,717
公債費	3,268,145	8.2	▲ 446,919	▲ 12.0	28,948	3,715,064	9.7	381,630	11.4	32,829
諸支出金										
合計	39,937,691	100.0	1,592,245	4.2	353,753	38,345,446	100.0	▲ 301,061	▲ 0.8	338,845

住民基本台帳人口　　令和2年3月31日　112,897人　　平成31年3月31日　113,165人

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。



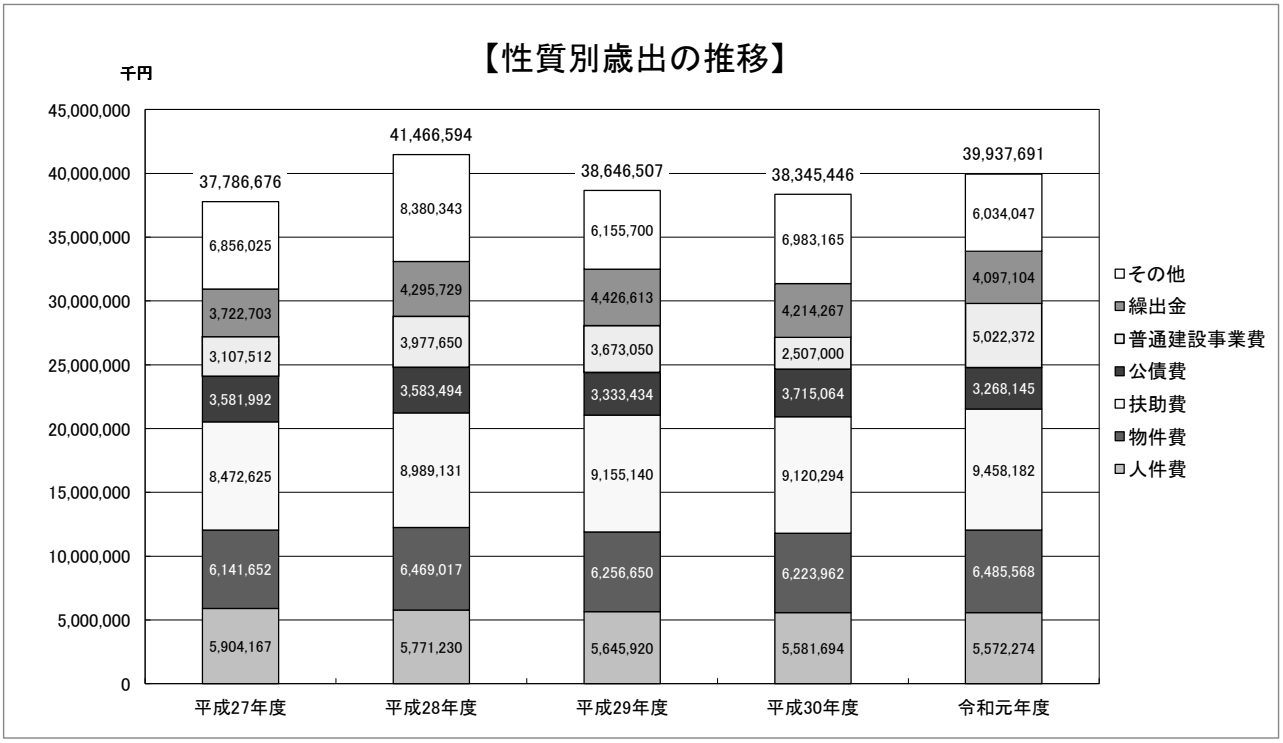
(2) 性質別歳出内訳

（単位：千円）

区　　分	令和元年度						平成30年度		
	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）	一般財源等	決算額	構成比（%）	人口一人当たり額（円）
人件費	5,572,274	13.9	▲ 9,420	▲ 0.2	49,356	5,148,207	5,581,694	14.6	49,323
（うち職員給）	3,975,709	10.0	61,922	1.6	35,215	3,591,096	3,913,787	10.2	34,585
物件費	6,485,568	16.2	261,606	4.2	57,447	5,162,411	6,223,962	16.2	54,999
維持補修費	771,206	1.9	▲ 42,058	▲ 5.2	6,831	362,255	813,264	2.1	7,187
扶助費	9,458,182	23.7	337,888	3.7	83,777	2,996,665	9,120,294	23.8	80,593
補助費等	4,217,827	10.6	120,068	2.9	37,360	3,695,314	4,097,759	10.7	36,210
公債費	3,268,145	8.2	▲ 446,919	▲ 12.0	28,948	3,236,580	3,715,064	9.7	32,829
積立金	859,353	2.2	▲ 514,534	▲ 37.5	7,612	292,123	1,373,887	3.6	12,141
投資及び出資金									
貸付金	185,661	0.5	▲ 512,594	▲ 73.4	1,645	0	698,255	1.8	6,170
繰出金	4,097,104	10.2	▲ 117,163	▲ 2.8	36,291	3,566,727	4,214,267	11.0	37,240
普通建設事業費	5,022,372	12.6	2,515,372	100.3	44,486	830,347	2,507,000	6.5	22,153
（うち補助事業）	1,257,963	3.1	▲ 246,463	▲ 16.4	11,143	60,008	1,504,426	3.9	13,294
（うち単独事業）	3,729,941	9.3	2,798,301	300.4	33,038	761,571	931,640	2.4	8,233
（そ　の　他）	34,468	0.1	▲ 36,466	▲ 51.4	305	8,768	70,934	0.2	627
災害復旧事業費									
合　　計	39,937,691	100.0	1,592,246	4.2	353,753	25,290,629	38,345,446	100.0	338,845

住民基本台帳人口　　令和2年3月31日　112,897人　　平成31年3月31日　113,165人

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。



(3) 節別歳出内訳

（単位：千円）

区　　分	令和元年度					平成30年度				
	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）
1 報酬	257,711	0.6	23,347	10.0	2,283	234,364	0.6	618	0.3	2,071
2 給料	2,674,916	6.7	24,480	0.9	23,693	2,650,436	6.9	▲ 16,324	▲ 0.6	23,421
3 職員手当等	1,733,267	4.3	48,631	2.9	15,353	1,684,636	4.4	▲ 10,689	▲ 0.6	14,886
4 共済費	997,574	2.5	▲ 11,251	▲ 1.1	8,836	1,008,825	2.6	1,149	0.1	8,915
5 災害補償費	0	0.0	▲ 1,194	皆減	0	1,194	0.0	▲ 1,147	▲ 49.0	10
6 恩給及び退職年金										
7 賃金	910,570	2.3	10,705	1.2	8,065	899,865	2.3	20,927	2.4	7,952
8 報償費	135,240	0.3	56,265	71.2	1,198	78,975	0.2	▲ 21,297	▲ 21.2	698
9 旅費	36,050	0.1	4,133	12.9	319	31,917	0.1	▲ 192	▲ 0.6	282
10 交際費	2,031	0.0	62	3.1	18	1,969	0.0	▲ 75	▲ 3.7	17
11 需用費	1,870,314	4.7	▲ 48,139	▲ 2.5	16,567	1,918,453	5.0	64,420	3.5	16,953
12 役務費	251,644	0.6	25,038	11.0	2,229	226,606	0.6	▲ 5,701	▲ 2.5	2,002
13 委託料	5,642,361	14.1	379,346	7.2	49,978	5,263,015	13.7	89,279	1.7	46,507
14 使用料及び賃借料	509,741	1.3	22,526	4.6	4,515	487,215	1.3	29,540	6.5	4,305
15 工事請負費	3,851,916	9.6	1,632,495	73.6	34,119	2,219,421	5.8	▲ 1,029,938	▲ 31.7	19,612
16 原材料費	13,598	0.0	1,060	8.5	120	12,538	0.0	▲ 1,709	▲ 12.0	111
17 公有財産購入費	446,519	1.1	421,785	1,705.3	3,955	24,734	0.1	▲ 2,249	▲ 8.3	219
18 備品購入費	133,864	0.3	1,843	1.4	1,186	132,021	0.3	▲ 68,006	▲ 34.0	1,167
19 負担金、補助及び交付金	5,473,927	13.7	346,574	6.8	48,486	5,127,353	13.4	▲ 368,704	▲ 6.7	45,309
20 扶助費	7,470,586	18.7	337,619	4.7	66,172	7,132,967	18.6	123,172	1.8	63,032
21 貸付金	185,661	0.5	▲ 512,594	▲ 73.4	1,645	698,255	1.8	413,621	145.3	6,170
22 補償補填及び賠償金	45,753	0.1	5,186	12.8	405	40,567	0.1	▲ 1,903	▲ 4.5	358
23 償還金利子及び割引料	3,528,926	8.8	▲ 477,205	▲ 11.9	31,258	4,006,131	10.5	567,882	16.5	35,401
24 投資及び出資金										
25 積立金	859,353	2.2	▲ 514,535	▲ 37.5	7,612	1,373,888	3.6	247,346	22.0	12,141
26 寄附金										
27 公課費	2,550	0.0	745	41.3	23	1,805	0.0	▲ 573	▲ 24.1	16
28 繰出金	2,903,620	7.3	▲ 184,676	▲ 6.0	25,719	3,088,296	8.1	▲ 330,508	▲ 9.7	27,290
合　　計	39,937,691	99.8	1,592,245	4.2	353,753	38,345,446	100.0	▲ 301,061	▲ 0.8	338,845

住民基本台帳人口　　令和2年3月31日　112,897人　　平成31年3月31日　113,165人

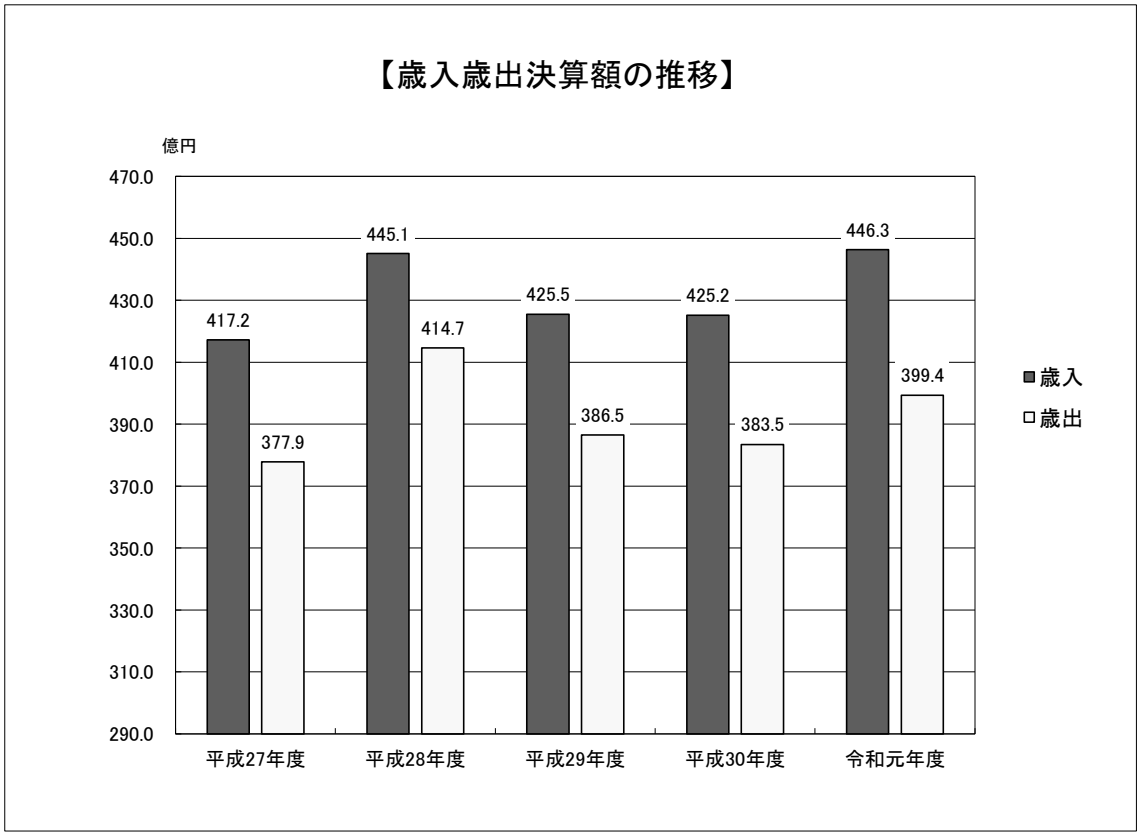
※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

３　収支

（単位：千円）

	令和元年度	前年比（%）	平成30年度	前年比（%）
A　歳入総額	44,630,483	5.0	42,520,123	▲ 0.1
B　歳出総額	39,937,691	4.2	38,345,446	▲ 0.8
C　形式収支（A-B）	4,692,791	12.4	4,174,677	7.0
D　実質収支	3,926,818	23.5	3,180,896	▲ 11.8
E　実質収支比率	16.1%		13.0%	
F　単年度収支	745,922	275.0	▲ 426,341	▲ 137.7
G　実質的黒字要素の額（財政調整基金積立等）	126,191	▲ 87.2	985,002	6,794.4
H　実質的赤字要素の額（財政調整基金取崩等）	27,039	▲ 85.8	189,900	▲ 69.7
I　実質単年度収支（F+G-H）	845,074	129.2	368,761	▲ 28.9

※　端数整理の結果、形式収支と実質収支が整合しない場合がある。
※　実質収支比率は、実質収支を標準財政規模（臨時財政対策債発行可能額を含む。）で除したもの。



4　市税

（単位：千円）

区分 / 税目別	調定済額 現年課税分 A	調定済額 滞納繰越分 B	調定済額 合計 C	収入済額 現年課税分 D	収入済額 滞納繰越分 E	収入済額 合計 F	構成比 %	収入済額Fの対前年度増減率 %
普通税 1 法定普通税	15,386,385	315,806	15,702,191	15,239,996	99,324	15,339,320	96.7	2.3
(1)市民税	6,712,147	158,046	6,870,193	6,647,546	51,249	6,698,795	42.2	2.0
個人均等割	204,131	5,479	209,610	201,800	1,758	203,558	1.3	0.4
所得割	5,445,987	146,161	5,592,148	5,383,818	46,889	5,430,707	34.2	▲ 0.1
法人均等割	335,504	2,024	337,528	335,474	823	336,297	2.1	4.2
法人税割	726,525	4,382	730,907	726,454	1,779	728,233	4.6	20.1
(2)固定資産税	7,614,272	145,852	7,760,124	7,539,252	44,836	7,584,088	47.8	2.8
純固定資産税	7,534,995	145,852	7,680,847	7,459,975	44,836	7,504,811	47.3	2.9
土地	2,261,045	43,766	2,304,811	2,238,534	13,454	2,251,988	14.2	0.3
家屋	3,683,029	71,291	3,754,320	3,646,360	21,915	3,668,275	23.1	4.9
償却資産	1,590,921	30,795	1,621,716	1,575,081	9,467	1,584,548	10.0	2.1
交付金・納付金	79,277		79,277	79,277		79,277	0.5	▲ 3.0
(3)軽自動車税	327,951	11,906	339,857	321,183	3,238	324,421	2.1	4.4
軽自動車税（令和元年9月30日まで）	325,069	11,906	336,975	318,301	3,238	321,539	2.0	－
環境性能割	2,882		2,882	2,882		2,882	0.1	－
(4)市たばこ税	732,015	2	732,017	732,015	1	732,016	4.6	▲ 0.6
(5)特別土地保有税								
目的税 1 都市計画税	532,074	10,299	542,373	526,776	3,166	529,942	3.3	1.8
(1)土地	242,935	4,702	247,637	240,516	1,446	241,962	1.5	0.0
(2)家屋	289,139	5,597	294,736	286,260	1,720	287,980	1.8	3.4
合計	15,918,459	326,105	16,244,564	15,766,772	102,490	15,869,262	100.0	2.3
国民健康保険税	2,380,852	391,887	2,772,739	2,202,889	107,567	2,310,456	100.0	▲ 2.1

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

区分 / 税目別	徴収率（%） D／A ×100	前年度	E／B ×100	F／C ×100
普通税 1 法定普通税	99.0	99.2	31.5	97.7
(1)市民税	99.0	99.0	32.4	97.5
個人均等割	98.9	98.9	32.1	97.1
所得割	98.9	98.9	32.1	97.1
法人均等割	100.0	99.8	40.7	99.6
法人税割	100.0	99.8	40.6	99.6
(2)固定資産税	99.0	99.3	30.7	97.7
純固定資産税	99.0	99.3	30.7	97.7
土地	99.0	99.3	30.7	97.7
家屋	99.0	99.3	30.7	97.7
償却資産	99.0	99.3	30.7	97.7
交付金・納付金	100.0	100.0		100.0
(3)軽自動車税	97.9	98.1	27.2	95.5
(4)市たばこ税	100.0	100.0		100.0
(5)特別土地保有税				
目的税 1 都市計画税	99.0	99.3	30.7	97.7
(1)土地	99.0	99.3	30.8	97.7
(2)家屋	99.0	99.3	30.7	97.7
合計	99.0	99.2	31.4	97.7
国民健康保険税	92.5	93.0	27.4	83.3

※ 令和元年度地方財政状況調査による。

【都市計画事業費等及び財源内訳（都市計画税等）】

（単位：千円）

区分		令和元年度（決算額）
都市計画事業費等	街路	
	公園	
	下水道	1,780,256
	その他	
	市街地開発事業	176,923
	都市計画事業　計　A	1,957,179
	土地区画整理事業　B	
	地方債償還額　C	1,305,748
	合計（A+B+C）　D	3,262,927
Dの財源内訳	地方債　E	341,700
	支出金　F	148,630
	負担金その他　G	690,023
	都市計画税収入額　H	529,942
	一般財源等 D－（E+F+G+H）　I	1,552,632
	合計	3,262,927
充当割合 $\frac{H}{H+I}$ ×100　J		25.4%

5　地方債等（一般会計・全会計）

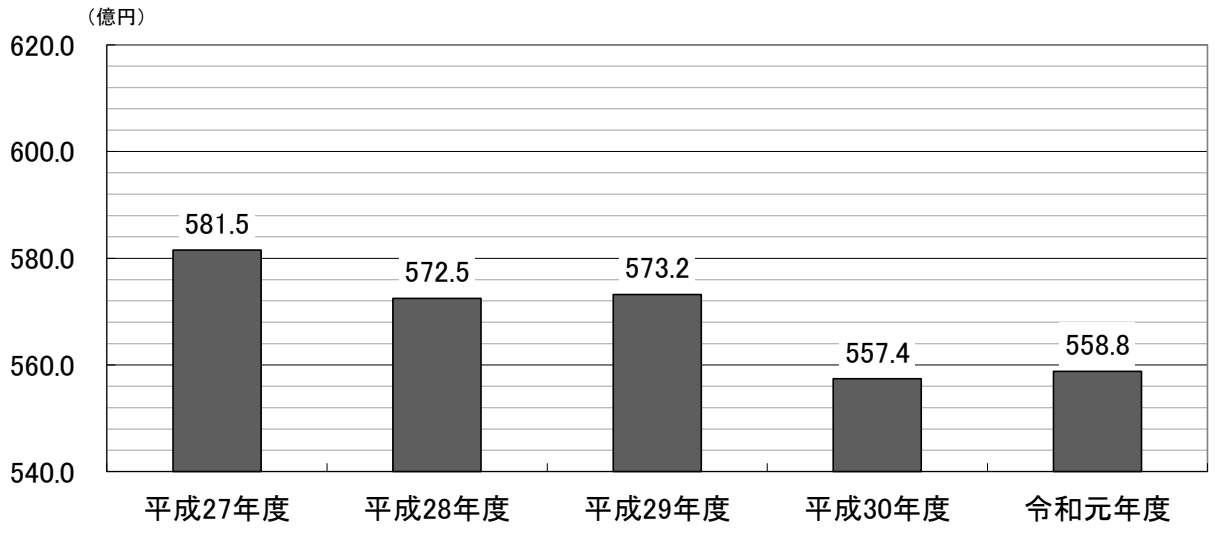
(1) 会計別現在高

（単位：千円）

区分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
一般会計	32,703,694	31,810,937	32,416,519	31,896,415	32,005,117
住宅新築資金等貸付事業特別会計		329	647	952	2,541
野中土地区画整理事業特別会計	218,763	285,274	361,915		
栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計	18,908	34,926	57,112	93,205	133,347
普通会計	32,941,365	32,131,467	32,836,192	31,990,571	32,141,005
国民健康保険直営診療所特別会計				1,868	3,649
農業集落排水事業特別会計	3,974,517	4,272,707	4,527,121	4,813,872	5,063,074
野中土地区画整理事業特別会計				437,461	511,928
水道事業会計	8,315,417	7,973,091	7,865,631	7,529,204	7,787,492
下水道事業会計	10,394,193	11,050,767	11,718,185	12,051,056	12,291,262
公営事業会計	22,684,127	23,296,566	24,110,938	24,833,461	25,657,405
埼玉東部消防組合	257,300	311,470	372,040	425,833	352,680
一部事務組合	257,300	311,470	372,040	425,833	352,680
合計	55,882,792	55,739,503	57,319,171	57,249,865	58,151,090
増減額	143,289	▲ 1,579,668	69,306	▲ 901,225	▲ 1,954,597

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。
※　一部事務組合は、借入ごとの構成市町の負担割合に基づく加須市負担分である。
※　野中土地区画整理事業特別会計は、平成27年度及び平成28年度が公営事業会計扱いである。

【全ての地方債等現在高の推移】



(2) 借入先別・利率別現在高（一般会計）

		政府資金				地方公共団体金融機構
		財政融資資金	郵便貯金・簡易生命保険管理機構		小計	
			（旧郵貯資金）	（旧簡保資金）		
平成30年度末現在高 A		16,225,006		822,399	17,047,405	9,522,782
令和元年度発行額 B		314,610			314,610	922,386
令和元年度元金償還額 C		1,582,672		198,978	1,781,650	743,905
差引現在高 A＋B－C		14,956,944		623,422	15,580,366	9,701,263
差引現在高の利率別内訳	0.5% 以下	8,026,877		227,358	8,254,235	6,778,194
	1.0% 以下	3,837,745		19,847	3,857,592	2,121,213
	1.5% 以下	2,263,963			2,263,963	560,194
	2.0% 以下	731,596		273,171	1,004,767	209,507
	2.5% 以下	52,035			52,035	6,624
	3.0% 以下	3,248		61,620	64,868	3,848
	3.5% 以下	1,703		41,426	43,129	1,871
	4.0% 以下					14,958
	4.5% 以下	32,442			32,442	
	5.0% 以下	7,335			7,335	4,854
	5.5% 以下					
	6.0% 以下					
	6.5% 以下					
	7.0% 以下					
	7.0% 超					
証書借入分		14,956,944		623,422	15,580,366	9,701,263
証券発行分						
割合（％）		45.7		1.9	47.6	29.7

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

（単位：千円）

市中銀行等	国の予算貸付・政府関係機関貸付	共済等	埼玉県	合　　計	割合（%）
3,998,311	42,467	393,822	806,150	31,810,937	
2,712,500			53,900	4,003,396	
442,996	4,247	78,082	59,760	3,110,640	
6,267,815	38,220	315,740	800,290	32,703,694	
5,973,031	38,220		797,350	21,841,030	66.8
272,400		258,423	2,940	6,512,568	19.9
		57,317		2,881,474	8.8
14,070				1,228,344	3.7
				58,659	0.2
8,314				77,030	0.2
				45,000	0.1
				14,958	0.1
				32,442	0.1
				12,189	0.1
6,267,815	38,220	315,740	800,290	32,703,694	100.0
19.2	0.1	1.0	2.4	100.0	

(3) 目的別現在高（一般会計）

（単位：千円）

区　　分	平成30年度末 現在高 A	令和元年度 発行額 B	令和元年度元利償還額			差引現在高 A＋B－C	割合 %
			元金 C	利 子	計		
総務債	1,522,647	115,000	243,743	2,975	246,718	1,393,903	4.3
民生債	537,966	0	84,275	1,136	85,412	453,691	1.4
衛生債	409,581	187,500	45,403	7,108	52,511	551,678	1.7
農林水産業債	232,529	58,100	50,097	1,208	51,304	240,533	0.7
土木債	501,458	0	184,041	6,235	190,276	317,417	1.0
消防債	1,263,321	0	263,855	6,300	270,155	999,466	3.0
教育債	5,401,649	2,408,500	596,872	35,825	632,697	7,213,277	22.1
減税補てん債	392,702	0	91,688	1,389	93,076	301,014	0.9
臨時財政対策債	21,549,084	1,234,296	1,550,665	95,331	1,645,996	21,232,715	64.9
合　　計	31,810,937	4,003,396	3,110,640	157,505	3,268,145	32,703,694	100.0

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

６　財政構造（普通会計）

（単位：千円）

区　　分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
1　形式収支 （前年度比（％））	4,710,003 （　12.4）	4,191,014 （　7.0）	3,918,136 （　27.7）	3,068,807 （　▲ 22.3）	3,947,803 （　22.4）
2　実質収支 （前年度比（％））	3,927,970 （　23.9）	3,170,530 （　▲ 12.1）	3,607,034 （　44.1）	2,502,663 （　▲ 23.5）	3,269,499 （　24.0）
3　実質収支比率（％）	16.1	13.0	14.8	10.3	13.2
4　単年度収支	757,440	▲ 436,504	1,104,371	▲ 766,836	633,615
5　実質単年度収支	894,938	358,598	491,348	△ 687,883	696,445
6　財政力指数	0.754	0.752	0.749	0.753	0.761
7　経常収支比率（％）	89.3 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 94.0%）	91.6 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 97.5%）	88.9 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 95.0%）	91.8 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 98.0%）	88.5 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 95.6%）
8　実質公債費比率（％）	4.8	5.5	6.0	6.2	6.4
9　一般財源比率（％）	67.2	72.0	69.6	67.1	71.4
10　義務的経費比率（％）	45.8	48.0	47.0	44.3	47.6

※　（　）内は、前年度比増減割合。

※　普通会計とは、総務省の定める会計区分のひとつで、一般会計・特別会計で経理する事業の範囲が自治体ごとに異なっているため、統一的な基準で整理して比較できるようにした統計上の会計区分。
当市の普通会計は、次の会計を合算したもの。
・一般会計　・住宅新築資金等貸付事業特別会計　・不動岡土地区画整理事業特別会計
・三俣第二土地区画整理事業特別会計　・野中土地区画整理事業特別会計（一部）
・栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計　・河野博士育英事業特別会計

※　平成26年度からは不動岡土地区画整理事業特別会計を、平成28年度からは三俣第二土地区画整理事業特別会計を加えた数値。（事業が完了し、公営企業会計から普通会計へ移行）

※　不動岡土地区画整理事業特別会計及び三俣第二土地区画整理事業特別会計は、平成29年度末をもって廃止。

※　実質収支比率は、実質収支を標準財政規模（臨時財政対策債発行可能額を含む）で除したもの。

7　地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要した経費

（歳入）

地方消費税交付金（社会保障財源化分）　775,300 千円

（歳出）

社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費　13,595,896 千円

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】　（単位：千円）

	事業名	経費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	うち地方消費税交付金（社会保障財源化分）
			国県支出金	市債	その他		
社会福祉	戦没者遺族支援事業	520				520	64
	更生保護活動支援事業	1,180				1,180	146
	民生委員・児童委員活動推進事業	26,131	16,589			9,542	1,178
	生活困窮者学習支援事業	5,948	2,973			2,975	367
	中国残留邦人等支援事業	5,764				5,764	712
	在宅重度心身障害者手当支給事業	55,847	27,192			28,655	3,538
	特別障害者手当等支給事業	53,406	40,064			13,342	1,648
	重度心身障害者医療費支給事業	211,050	103,509			107,541	13,280
	在宅障害者おむつ支給事業	3,608				3,608	446
	重度視覚障害者介助手当支給事業	852				852	105
	障害（児）者生活サポート事業	23,658	2,000			21,658	2,674
	心身障害者生活ホーム事業	930	448			482	60
	在宅重症心身障がい児の家族に対するレスパイトケア事業	1,980	990			990	122
	身体障がい者等はり・きゅう・マッサージ券給付事業	20				20	2
	障害者福祉団体支援事業	601				601	74
	補装具費支給事業	19,180	13,360			5,820	719
	自立支援医療費支給事業	135,009	113,999			21,010	2,594
	障がい者訪問サービス（自立支援）事業	227,149	169,681			57,468	7,097
	障がい者日中活動サービス（自立支援）事業	1,185,601	898,665			286,936	35,433
	障がい者居住サービス（自立支援）事業	463,684	345,443			118,241	14,601
	障がい児発達支援（自立支援）事業	258,739	189,398			69,341	8,563
	障がい者相談管理（自立支援）事業	20,480	15,818			4,662	576
	障害者相談支援事業	10,638				10,638	1,314
	障害者コミュニケーション支援事業	3,744	2,808			936	116
	地域活動支援センター事業	9,453			3,777	5,676	701
	訪問入浴サービス事業	5,289	2,973			2,316	286
	日中一時支援事業	928	522			406	50
	障害（児）者日常生活用具給付等事業	22,897	12,867			10,030	1,239
	移動支援事業	27,418	15,412			12,006	1,483
	障害者就労支援事業	3,325				3,325	411
	障害者スポーツ交流事業	70				70	9
	社会参加促進事業	9,238				9,238	1,141
	障がい者成年後見制度利用支援事業	240	135			105	13
	外国人高齢者福祉手当支給事業	120				120	15
	老人クラブ支援事業	5,702	1,308			4,394	543
	敬老健康増進サービス事業	1,499				1,499	185
	敬老祝金支給事業	52,730				52,730	6,511
	敬老会助成事業	7,592				7,592	938
	緊急通報システム整備事業	2,835				2,835	350
	ねたきり老人等日常生活用具給付等事業	3,483				3,483	430
	養護老人ホーム入所事業	62,379			8,882	53,497	6,606
	配食サービス事業	13,226				13,226	1,633
	ひとり暮らし高齢者地域交流助成事業	400				400	49
	介護サービス利用者負担助成事業	26,839				26,839	3,314
	ねたきり老人等居宅介護者慰労金支給事業	9,545				9,545	1,179
	産後支援ヘルパー派遣事業	128			40	88	11
	子育て短期預かり事業	835	542			293	36
	妊娠・出産包括支援事業	130	65			65	8
	子育て支援医療費支給事業	326,647	39,868			286,779	35,413
	遺児手当事業	2,655				2,655	328
	ひとり親家庭等医療費事業	47,582	22,154			25,428	3,140
	母子家庭等自立支援事業	5,094	3,821			1,273	157
	未熟児養育医療給付事業	4,560	2,990			1,570	194
	民間認定こども園・幼稚園等給付費支給事業	347,847	212,687			135,160	16,690

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】　（単位：千円）

	事業名	経費	財源内訳 特定財源 国県支出金	市債	その他	一般財源	うち地方消費税交付金（社会保障財源化分）
社会福祉	教育・保育に係る教材費等補助事業	893	340			553	68
	子育て支援ネットワーク事業	172				172	21
	子育て支援センター事業	35,135	31,108			4,027	497
	民間児童館助成事業	3,189				3,189	394
	保育団体助成事業	480				480	59
	訪問支援ホームスタート事業	1,450	966			484	60
	民間保育所運営委託事業	1,533,394	863,793		196,141	473,460	58,466
	病後児保育事業	11,173	7,631			3,542	437
	低年齢児保育促進事業	70,752	35,376			35,376	4,368
	民間保育所障害児保育事業	14,924	4,200			10,724	1,324
	長時間保育対策事業	28,212	18,808		206	9,198	1,136
	一時保育促進事業	13,363	8,908			4,455	550
	保育所アレルギー等対応特別給食提供事業	4,800	2,400			2,400	296
	避難者支援民間保育所等運営委託事業	3,246	1,756			1,490	184
	夜間保育所運営委託事業	28,085	15,190			12,895	1,592
	民間保育所助成事業	19,772	3,942			15,830	1,955
	民間放課後児童健全育成事業	218,190	142,365			75,825	9,363
	子育てのための施設等利用費給付事業	28,576	18,956			9,620	1,188
	児童扶養手当支給事業	499,192	161,341			337,851	41,720
	児童手当支給事業	1,628,365	1,365,242			263,123	32,492
	避難者支援児童扶養手当支給事業	4,052	1,350			2,702	334
	公立保育所管理運営事業	946				946	117
	あすなろ園管理運営事業	720				720	89
	生活保護事業	1,734,286	1,547,574			186,712	23,056
	被災者支援事業	1,442				1,442	178
	小計	9,601,214	6,489,527		209,046	2,902,641	358,436
社会保険	国民健康保険組合支援事業	581				581	72
	国民健康保険事業特別会計繰出事業	871,654	316,505			555,149	68,553
	介護保険事業特別会計繰出事業	1,258,586	43,092			1,215,494	150,097
	後期高齢者医療広域連合負担事業	1,003,621				1,003,621	123,933
	後期高齢者医療特別会計繰出事業	256,161	170,759			85,402	10,546
	小計	3,390,603	530,356			2,860,247	353,201
保健衛生	不妊治療事業	3,983	438			3,545	438
	妊婦保健事業	54,319				54,319	6,708
	避難者支援妊婦保健事業	175				175	22
	こんにちは赤ちゃん事業	1,740	1,248			492	61
	母子保健推進員訪問活動事業	91				91	11
	親子歯科保健推進事業	1,048				1,048	129
	乳幼児健診事業	10,566				10,566	1,305
	育児健康相談事業	359				359	44
	幼児発達支援事業	2,727				2,727	337
	骨髄移植ドナー推進事業	140	70			70	9
	親と子の食育事業	45				45	5
	食生活改善推進事業	898			10	888	110
	健康づくり地域交流事業	1,818				1,818	224
	地域医療ネットワーク（とねっと）事業	3,414				3,414	422
	小児科医による救急講座・子育て相談事業	120				120	15
	初期・２次・３次救急医療支援事業	50,398			1,323	49,075	6,060
	休日小児科診療事業	1,517				1,517	187
	特別休日歯科診療事業	200				200	25
	予防接種事業	190,671	9,027			181,644	22,430
	避難者支援予防接種事業	1,014				1,014	125
	高齢者予防接種事業	73,692				73,692	9,100
	がん検診事業	121,583	54		3,200	118,329	14,612
	生活習慣病予防事業	268	35			233	29
	健康相談事業	257	117			140	17
	肝炎検診事業	585	343			242	30
	骨粗しょう症予防事業	1,786	748			1,038	128
	こころの健康づくり事業	579	147			432	53
	成人歯科保健推進事業	1,772	313			1,459	180
	医療診断センター管理運営事業	78,314			71,458	6,856	847
	小計	604,079	12,540		75,991	515,548	63,663
合計		13,595,896	7,032,423		285,037	6,278,436	775,300

※上記経費は、令和元年度決算に基づく集計である。
※事務費や事務職員の人件費等は除外している。
※地方消費税交付金（社会保障財源化分）は、各事業に要する一般財源の比率に応じて充当している。

８　森林環境譲与税の使途

（歳入）
森林環境譲与税　4,386 千円
（歳出）
木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進等に要する経費　4,485 千円

【森林環境譲与税の使途】　（単位：千円）

事業区分	事業名	経費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	うち森林環境譲与税
			国県支出金	市債	その他		
木材利用の促進	「浮野の里」自然環境保全事業	965	0	0	0	965	965
森林整備	屋敷林等保全事業	3,520	0	0	0	3,520	3,421
合計		4,485	0	0	0	4,485	4,386

Ⅱ　一般会計の状況

（主要な事業の実績・成果　予算科目別）

事業名	議会運営事業			
担当課	議会事務局		総合振興計画コード	6131-10
款	01	議会費	当初予算額	27,561,000円
項	01	議会費	最終予算額	27,561,000円
目	01	議会費	決算額	22,303,051円

事業の目的	加須市議会基本条例に基づき、市民と行政との協働を推進するため、議決機関としての議会運営を適切に補助し、議会運営の充実を図る。	事業の概要	・事務局機能を発揮し、円滑かつ効率的な議会運営に努めるとともに、会議録（本会議・常任委員会・特別委員会）の公開により、更に開かれた議会を推進する。 ・住民自治を原則にした請願・陳情等を受理し、議会に諮る。 ・議会改革を推進する。

事業の実績・成果

二元代表制に基づく議決機関として、団体意思の決定機能及び執行機関への監視機能を担う議会の補助を行い、本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会等を円滑に運営した。

また、加須市議会基本条例に規定された各種取組を積極的に展開し、議会改革に取り組んだ。

1　会議の開催状況

（1）本会議

区分	会期日数（日）	本会議日数（日）	市長提出議案（件）	諮問（件）	請願（件）	陳情（件）	議員提出議案（件）	議員提出修正案（件）	傍聴者（人）
合計	94	31	118	4	2	0	3	2	416

※市民に開かれた市議会を目指し、令和元年第3回定例会から質疑及び一般質問の通告書をホームページで事前公表した。

※令和元年第3回定例会から、質疑の一問一答方式を導入した。

（2）常任委員会

区分	開催日数（日）	条例（件）	予算（件）	決算（件）	請願（件）	陳情（件）	傍聴者（人）
総務常任委員会	5	2	6	1	2	－	6
民生教育常任委員会	3	5	5	5	－	－	－
産業建設常任委員会	4	2	5	5	－	－	3
合計	12	9	16	11	2	－	9

（3）特別委員会

区分	構成人員（人）	内容	開催日数（日）
決算特別委員会	8	平成30年度一般会計決算審査	5
予算特別委員会	8	令和2年度一般会計予算審査	4

（4）その他の委員会

区　　分	構成人員（人）	内　　容	開催日数（日）
議会運営委員会	8	議会運営等について	20

2　会議録、ホームページの作成

議会に対する市民の理解と信頼を深めるため、会議録を作成し、市ホームページ上での公開を行い、より開かれた議会を推進した。また、市議会ホームページを作成し、積極的な情報発信を行い、より開かれた議会の推進に努めた。

（1）加須市議会会議録の作成

会 議 録 名	作成部数（部）	内　　訳	支出額（円）
定例会会議録	60	15 部×4 回	3,667,695
臨時会会議録	30	15 部×2 回	171,396
常任委員会会議録	56	14 部×4 回	1,202,605
予算及び決算特別委員会会議録	28	14 部×2 回	2,111,579
合　　計	174		7,153,275

（2）市ホームページにおける議会のホームページへのアクセス件数　（単位：件）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
件数	7,116	8,764	16,233	44,286	127,699

3　政務活動費の交付

議員の政策立案能力の向上及び調査研究並びに議会の活性化に資するため必要な経費の一部として、1 人当たり月額 12,000 円の政務活動費を会派に交付し、議員の能力の向上や議会の活性化を図った。

また、平成 28 年度分の政務活動費から収支報告書及び領収書をホームページで公表し、適正な運用と透明性の向上に努めた。　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
交付額	3,408,000	4,032,000	4,032,000	4,032,000	3,408,000
決算額	3,365,257	3,746,653	3,576,853	3,403,359	3,120,333

4　行政視察

各委員会が所管する施策の先進事例について研究し、議員各自の政策形成能力の向上が図られた。また、新たな視点での施策を市政に提案するなど、視察研修の成果を具体的に活かす取組を行った。

さらに、令和元年度分の行政視察報告書（委員会及び会派分）をホームページで公表し、透明性の向上に努めた。

委員会名	実施日	視察内容・視察先
総務常任委員会	10 月　8 日（火） ～10 日（木）	サイクルシティ構想・サイクリングでの観光振興について（愛媛県今治市） 総合 6 次産業都市について（愛媛県西条市） 松山城・坂の上の雲ミュージアムについて（愛媛県松山市）
民生教育 常任委員会	10 月 23 日（水） ～25 日（金）	ふるさとキャリア教育について（秋田県大館市） エイジフレンドリーシティについて（秋田県秋田市） 小中学校における学力向上への取り組みについて（秋田県大仙市）
産業建設 常任委員会	10 月 15 日（火） ～17 日（木）	まちなか再生総合プロジェクトについて（北海道苫小牧市） 西いぶり広域連合ごみ処理施設について（北海道室蘭市） 防災学習交流センターそなえーるについて（北海道千歳市）

５　議長交際費

「加須市議会議長交際費支出及び公開に関する基準」に基づいた交際費の支出及びホームページでの公開により、適正な支出と透明性の確保に努めた。　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算額	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000
決算額	444,800	477,500	440,700	332,400	293,700

６　本会議インターネット中継の運用開始

市民に開かれた議会の実施に向け、令和元年第3回定例会（12月議会）から本会議におけるインターネット中継（ライブ中継及び録画中継）を開始した。

インターネット中継システム使用料：594,000円

事業名		議員年金対策給付費負担事業		
担当課		議会事務局	総合振興計画コード	6131-11
款	01	議会費	当初予算額	47,478,000円
項	01	議会費	最終予算額	47,478,000円
目	01	議会費	決算額	47,477,920円
事業の目的	平成23年6月に地方議会議員年金制度が廃止されたことから、適正に議員年金を支給するために必要な負担金を市議会議員共済会へ支払う。	事業の概要	年金給付に必要な負担金を市議会議員共済会へ支払う。	

事業の実績・成果

地方議会議員年金制度の廃止に伴い、経過措置としての給付に要する費用の財源を各地方公共団体が公費で負担するため、総務省及び市議会議員共済会から示された給付費を負担した。

１．負担金　（単位：円）

内容	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
事務負担金	416,000	364,000	364,000	364,000	364,000
市議会議員共済会給付費負担金	90,046,320	52,348,800	50,688,960	48,773,760	47,113,920
合計	90,462,320	52,712,800	51,052,960	49,137,760	47,477,920

２．年金受給者数等

内容		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
年金受給者数（人）		101	97	93	95	89
内訳	退職年金	63	62	58	54	48
	遺族年金	38	35	35	41	41
退職年金平均受給額（年額）（円）		885,906	875,736	889,814	869,680	868,169

事 業 名		議会広聴広報事業		
担 当 課		議会事務局	総合振興計画コード	6131-12
款	01	議会費	当　初　予　算　額	3,258,000 円
項	01	議会費	最　終　予　算　額	3,258,000 円
目	01	議会費	決　　算　　額	2,868,414 円
事業の目的	加須市議会基本条例に基づき、市民に信頼される開かれた議会、より身近な議会を推進するため、積極的に議会情報を発信するとともに、市民との意見交換会等を通じた広聴活動を行う。		事業の概要	市議会だよりを年 4 回定例会後に発行するとともに、議員改選に伴う臨時号を発行する。 また、市議会ホームページの内容を充実するとともに、新着情報を随時更新して周知を図る。 さらに、市議会モニター制度、市民や平成国際大学生との意見交換会の開催など、広聴活動を広く展開する。

事業の実績・成果

開かれた議会、親しみやすい議会を目指し、かぞ市議会だよりを自治会を通じて配布するとともに、ホームページに掲載し、市議会の審議や活動状況を広く、分かりやすく市民に周知した。

また、市議会モニター制度や平成国際大学生との意見交換会の開催など、広聴活動に取り組んだ。

1　かぞ市議会だよりの発行

発行日	市議会だより名	発行部数（部）	支出額（円）
6 月 1 日	かぞ市議会だより第 39 号	39,200	646,894
7 月 1 日	かぞ市議会だより第 40 号（臨時号）	39,200	211,680
9 月 1 日	かぞ市議会だより第 41 号	39,200	646,894
12 月 1 日	かぞ市議会だより第 42 号	39,200	658,873
3 月 1 日	かぞ市議会だより第 43 号	39,200	658,873
合　計		196,000	2,823,214

2　加須市議会議員と加須市議会モニターとの意見交換会の参加者数

		平成 30 年度	令和元年度	
開　催　数		1 回	2 回	
参加者数（人）		22	47	
内訳	回	1 回目	1 回目	2 回目
	市議会モニター	6	6	8
	市議会議員	10	10	10
	傍聴議員	6	3	10

3　加須市議会議員と平成国際大学学生との意見交換会の参加者数

		平成 30 年度	令和元年度
開　催　数		1 回	1 回
参加者数（人）		53	55
内訳	平成国際大学学生	26	28
	教員	4	3
	市議会議員	23	24

事 業 名		ワークシェアリング事業			
担 当 課		職員課		総合振興計画コード	5221-02
款	02	総務費		当 初 予 算 額	10,152,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	10,152,000 円
目	01	一般管理費		決 算 額	2,581,240 円
事業の目的	市民の多様な働き方を実現する雇用の創出を図り、臨時職員として市政に参画してもらうとともに、市職員の時間外勤務の抑制と健康増進に資する。		事業の概要	臨時職員を業務繁忙等により人員を必要としている部署に配置する。	

事業の実績・成果

臨時職員を広報紙やポスター・チラシなどで募集し、業務繁忙等により人員を必要としている部署に人員配置した。

【ワークシェアリング実績】

配置課数	配置人数
4	4

○ワークシェアリング試験

これまで加須市民限定でワークシェアリング試験を実施し、登録者を優先的に採用していたが、景気回復で登録者が不足し、市民の優先性が確保できなくなったため、令和元年度は試験を実施しなかった。

事 業 名		秘書事務事業			
担 当 課		秘書課		総合振興計画コード	6122-01
款	02	総務費		当 初 予 算 額	6,757,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	6,757,000 円
目	01	一般管理費		決 算 額	5,688,721 円
事業の目的	市長及び副市長の公務を適切に執行する。		事業の概要	市長及び副市長のスケジュール管理、政策秘書業務、市長交際費の適正管理を行う。	

事業の実績・成果

市長交際費について、「加須市市長交際費の支出及び公開に関する基準」に基づいた交際費の支出及びホームページでの公開により、適正な支出と透明性の確保に努めた。

市長交際費の推移 （単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
予算額	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
決算額	1,328,940	1,265,440	1,328,700	1,244,604	1,351,540

叙勲褒章等の受章者に対し、祝電を送った。

・令和元年度：17 人

事業名	市の花、市の木普及事業			（総合戦略）
担当課	総務課		総合振興計画コード	6134-02
款	02	総務費	当初予算額	1,545,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,545,000円
目	01	一般管理費	決算額	1,332,017円
事業の目的	・市の花「コスモス」、市の木「サクラ」が市民生活と結びつき、加須市の象徴として市民に末永く愛され、親しまれる花、木として市内全域の普及に努め、併せて市民と行政による協働のまちづくりの推進を図る。	事業の概要	・市民と協働による市の花、市の木の植樹等を推進する。 ・市の花、市の木の市内における見どころを関係課等と連携して整備、紹介する。 ・市の花、市の木が加須市のＰＲに有効に活用できるものとして、各公共施設等への植樹、外部へ情報を発信する際の封筒や資料への掲載を積極的に行う。	

事業の実績・成果

1　市の花「コスモス」

・全自治会及び市内公共施設にコスモスの種の配付希望を確認し、希望のあった自治会及び市内公共施設にコスモスの種を配付した。その結果、市内各所及び多くの公共施設でコスモスが咲き、街並みに彩りを加え、市民に親しんでいただくことができた。

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
自治会	配付団体数	25	24	23	21	20
	栽培面積（㎡）	9,370	9,880	7,575	18,822	11,322
公共施設	配付施設数	38	38	40	39	37
	栽培面積（㎡）	1,820	2,027	2,194	2,978	2,796

・加須未来館周辺の休耕田等に景観形成作物（コスモス等）の栽培を実施し、加須未来館への集客の向上及び大越地区の生産調整の推進を図ることができた。【農業振興課】
〔受託者〕加須市グリーン・ツーリズム振興組合
〔事業面積〕9,537㎡

2　市の木「サクラ」【まちづくり課】

・サクラの苗木25本を1つの公共施設に市民と協働で植樹し、市の木「サクラ」のＰＲを図ることができた。
旧合の川堤防25本〔所管：北川辺総合支所農政建設課〕
・市公共施設にあるサクラの本数を把握するため、各施設所管課の協力により「サクラ現況台帳」を更新した。（5,144本）
・加須市役所本庁舎敷地内にサクラの基準木を設定し、開花状況等を市ホームページで周知した。

事 業 名		市民の日記念・顕彰事業			（総合戦略）
担 当 課		総務課	総合振興計画コード		6134-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額		956,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額		956,000 円
目	01	一般管理費	決 算 額		787,353 円
事業の目的	・「加須市民の日」（3 月 23 日）を記念する事業を展開し、市民の郷土意識を高めるとともに、更なる市民の一体感の醸成を図る。また、市民顕彰を適時行い、市民と行政による協働のまちづくりを推進する。		事業の概要	・市の取り組みとして、市民の日記念表彰式や公共施設の無料化等を行い、また、市民の取り組みとして、民間協賛事業の展開等を行うなど、市と市民が共に市民の日にちなんだ事業を展開する。 ・名誉市民、一般表彰、感謝状の贈呈を行う。	

事業の実績・成果

○加須市民の日記念事業

「加須市民の日を定める条例」の趣旨を踏まえ、市民の郷土意識を高めるとともに、更なる市民の一体感の醸成を図るため、市民の日（3 月 23 日）を中心として、市の取組及び市民の取組を実施した。

1　「市の取組」の実施内容

3 月 23 日を中心とする 10 日間（3 月 20 日～29 日）に下記の事業を展開し、市民との更なる共有化を図るとともに、市民の郷土意識を高めた。

(1)「令和元年度加須市民の日記念表彰式」の開催

令和元年度は合併 10 周年記念式典の開催により、2 月 27 日に市民表彰式として開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止したことから、様々な分野で功績等のあった市民及び団体を個別に表彰した。

・功労者への感謝状の贈呈：3 分野　28 名、3 団体

・各分野の表彰状等の贈呈：3 分野　 4 名、3 世帯等

(2) イベントの実施（合併 10 周年記念事業と併せて実施）

市民の日給食メニュー（保育所）、「私の 323」の募集・紹介など 4 事業を実施した。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 12 事業を中止・延期）

(3) 有料公共施設等の無料化を実施（合併 10 周年記念事業と併せて実施）

市内シャトルバス、運動公園、体育館の 14 施設等で実施した。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 7 施設で中止）

2　「市民の取組」の実施内容（市民の日協賛事業）

「加須市民の日協賛事業募集要項」に基づき、市民団体等から市民の日にちなんだ自発的な取組を募り、合併 10 周年記念事業と併せて実施した。

記念セール・割引など 17 事業を実施していただいた。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 5 事業が中止）

○市民顕彰事業

市政の進展及び市民福祉の増進に貢献し、功労のあった個人又は団体に対し、感謝状等を贈呈することにより、活力あるまちづくりへの推進及び市政への参画と協働に対する市民意識の醸成が図られた。

1　永年にわたり市政発展のため尽力いただいた市議会議員を表彰した。（5 名）

勤続 20 年：2 名、勤続 15 年：1 名、退職時勤続 20 年以上：2 名

…　加須市名誉市民及び表彰に関する条例

2　市政の進展・市民福祉の増進に功労のあった個人・団体に感謝状を贈呈した。（241 名）

清掃、自治会、市のＰＲ、環境衛生、社会福祉等の活動…　加須市感謝状贈呈に関する要綱

事業名	合併１０周年記念事業		
担当課	総務課	総合振興計画コード	6134-09
款 02	総務費	当初予算額	29,419,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	30,049,000円
目 01	一般管理費	決算額	20,132,419円
事業の目的	・「新加須市」が誕生して10年となる節目を記念して、更なる市民の一体感の醸成を図る。 ・更なる市民融和と郷土愛の醸成 ・協働のまちづくりの一層の推進 ・市の魅力発信	事業の概要	・合併10周年記念式典を開催する。 ・合併10周年に因んだ記念事業を市民との協働により展開する。

事業の実績・成果

「新加須市」が誕生して10年となる節目の年度に、市及び市民をあげて記念事業を展開し、市内外に「加須市合併10周年」をＰＲするとともに、市民の郷土意識の醸成を図ることができた。

○各記念事業実績記録一覧表

	事業名	内容	参加者数	所管課
Ⅰ 10周年を祝う	協賛事業（市民団体等）	市民団体等が行う事業（既存事業の冠化、記念事業等）の開催（191団体）	88,161	総務課
	冠化事業（加須市）	市の既存事業に「加須市合併10周年記念」の冠を付けて開催（198事業）	939,623	総務課
	記念ロゴマークの活用	記念ロゴマークを活用し、合併10周年をＰＲ（公共施設にのぼり旗設置、加須駅前通りにフラッグ設置等）	－	シティプロモーション課 総務課
	限定こいのぼり手ぬぐい制作販売	数量限定で特別デザインのこいのぼり手ぬぐいを制作し販売（真鯉、緋鯉、各1,000本）	－	シティプロモーション課
	航空写真集（記念冊子）の作成・配布	市内小中学校ごとに撮影した航空写真で記念冊子を作成し、全校児童生徒に配布	－	シティプロモーション課 学校教育課
	記念切手シート作成事業	日本郵便（株）と連携して、オリジナルフレーム切手「斎藤与里の世界」を作成し、限定販売	－	シティプロモーション課
	ＮＨＫ公開録画番組	パストラルかぞで収録されたＮＨＫ公開録画番組「民謡魂」を放送（6/2）	712	シティプロモーション課
	特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会	加須市民運動公園から、ＮＨＫラジオで生放送されるラジオ体操を実施（9/29）	3,518	スポーツ振興課
	小学校の思い出トランプ作成事業	日本カードプロダクツ（株）と連携して、市立の小学校6年生全員に、学校ごとにデザインされたトランプを卒業記念にプレゼント	1,098	総務課 学校教育課
Ⅱ 10周年を楽しむ	コラボレーションこいのぼり事業	市内の運送事業所が所有する車両（トラック、タクシー）にこいのぼりラッピングを施してもらうよう依頼し、「こいのぼりのまち」を市内外にＰＲ	－	商業観光課
	こいのぼり花火事業	花火を打ち上げている市内のイベントで、こいのぼり花火を打ち上げ（騎西 7/27、北川辺 8/10、大利根 8/24）	14,300	各総合支所 地域振興課
	こいのぼり掲揚ポール設置事業	「こいのぼりのまち」をＰＲするため、本庁舎及び各総合支所にこいのぼりの掲揚ポールを設置	－	総務課 各総合支所 地域振興課

	事　業　名	内　　容	参加者数	所管課
Ⅱ 10周年を楽しむ	期間限定ショップ開設事業	かぞブランド認定品等を販売するための期間限定ショップを開設（7/13, 14）	－	産業雇用課
	加須市オリジナルパッケージ商品作成事業	市名産品の記念パッケージ商品を作成（加須の舞のボトル及び湖池屋ポテトチップスの特別包装）	－	産業雇用課
	第 1 回加須市議会議場こいのぼりコンサート	開かれた議会を目指すため、市民による議場コンサートを開催（12/2）	120	議事課
	加須市 10 歳の主張事業	子どもたちが「将来の夢」、「感謝の気持ち」などについて発表（騎西小 2/20、高柳小 2/21）	182	生涯学習課
	ガチャマシーン設置事業	市内各地域の特産品等でミニチュアフィギュアを作成し、イベント等で販売	－	大利根総合支所地域振興課
	子ども投票実施事業	期日前投票所に選挙人と同伴で来所した 18 歳未満の方に、コスチュームキューピーを候補者にした投票を実施	438	選挙管理委員会
	かぞ10年アルバム作成事業	自分、家族、仲間とともに、軌(奇)跡を記録できるアルバムの台紙を市ＨＰに掲載	－	子育て支援課
	プロ選手と夢の交流事業	花咲徳栄高校出身のプロ野球選手が加須市スポーツ少年団野球チームに野球を教えるなどの交流イベントを開催（12/22）	300	スポーツ振興課
	第10回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会	10 回大会と合併 10 周年が重なるため、トップアスリートによる競技解説を実施（12/21, 22）	213	スポーツ振興課
	第 6 回関東小中学校選抜スポーツクライミング選手権大会	クライミング競技の普及のため、加須市での開催を誘致し、トップアスリートによる競技解説を実施（12/15）	80	スポーツ振興課
	ＪＡ全農ＷＣＢＦ少年野球教室	世界少年野球推進財団（ＷＣＢＦ）が主催の少年野球教室を実施（6/8）	251	スポーツ振興課
	市民の日献立給食デザートパッケージ募集事業	加須市民の日献立の給食で提供するデザートのパッケージデザインを園児・児童・生徒から募集	193	学校給食課
Ⅲ 10周年から始まる	スポーツ元気都市宣言	スポーツ元気都市宣言をすることにより、スポーツ振興はもとより健康増進、地域の活性化、コミュニティの醸成に寄与(2/25 議決)	－	スポーツ振興課
	道路愛称名募集事業	道路に対する親近感を高めるため、合併 10 周年を記念して、身近な道路の愛称を募集 (18 路線)	125	道路課
	合計		1, 049, 314	

※　令和 2 年 3 月 22 日に予定していた合併 10 周年記念式典については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 2 年度に延期となった。

○加須市民の日記念事業

種　　別	事業主体	事業数		新型コロナウイルス感染症拡大防止による中止事業（延期を含む）
		施設数	参加人数	
市イベント	加須市	16	636	12
公共施設等の無料化	加須市等	21	2, 719	7
特別協賛事業	市民団体等	22	1, 289	5
合　　計		59	4, 644	24

※ 令和元年度については、合併 10 周年記念事業の一環として実施した。

事業名	自治体間交流事業			
担当課	総務課		総合振興計画コード	6141-01
款	02	総務費	当初予算額	411,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	411,000円
目	01	一般管理費	決算額	96,078円
事業の目的	・県内外の自治体との間で、教育、文化、スポーツなど交流活動を行うことにより、相互の理解と友好親善を深め、地域社会の発展と振興を図ることを目的とする。	事業の概要	・防災協定関係等にある自治体や、県内外の自治体との間で、教育、文化、スポーツなどの交流活動を行うことにより、相互の理解と友好親善を深め、地域社会の発展と振興を図る。 ・姉妹都市等との市民交流を促進するため、該当する事業に対して補助金を交付する。	

事業の実績・成果

1　姉妹都市・友好都市交流事業補助金

姉妹都市（栃木県さくら市）、友好都市（福島県双葉町）と住民交流の推進を図るため、1 団体当たり補助対象人数 30 人（訪問事業：1,500 円／人、歓迎事業：1,000 円／人）を限度として、親善及び交流を目的とする事業に補助金を交付した。その結果、1 団体がさくら市へ訪問事業を実施し、住民レベルでの友好親善が図られた。

・訪問事業（最大 45,000 円／団体）〔交付〕1 団体（45,000 円、補助対象人数：30 名）

2　姉妹都市、友好都市との主な交流

(1) 栃木県さくら市

両市が実施する事業について、お互いに参加する等、行政レベルでのさくら市との友好親善が図られた。

5 月 3 日	加須市民平和祭にさくら市長をはじめ、さくら市が参加し、さくら市の市民団体等によるアトラクションを披露したほか、特産品を販売するブースを設置した。
7 月 7 日	さくら市にある「道の駅きつれがわ」において、物産販売等の交流イベント「喜びの道の駅☆ゆめきらり 2019」に、道の駅童謡のふる里おおとね、道の駅かぞわたらせが参加した。
8 月 31 日	加須市総合防災訓練にさくら市が参加した。（大利根運動公園）

(2) 福島県双葉町

4 月 28 日	藤まつりに双葉町長をはじめ、双葉町が参加し、双葉町民によるアトラクションを披露するなど、多くの方と住民交流が図られた。
9 月 25 日	種足小学校の 6 年生が、修学旅行で双葉町立双葉南・北小学校を訪問し、外国語活動の交流授業や児童会で育てたバラを贈ることにより親睦を図った。
11 月 3 日	銀杏祭に双葉町埼玉支所長をはじめ、双葉町が参加し、双葉町民によるアトラクションを披露するなど、多くの方と住民交流が図られた。

事 業 名		多文化共生事業		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	6142-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	403,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	403,000 円
目	01	一般管理費	決 算 額	402,000 円
事業の目的	・国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく、協働のまちづくりを進める。	事業の概要	・海外日本語教師のホームステイ先を斡旋する「ワンナイトステイ事業」や、国際交流を行う市内団体への支援を行う。 ・外国人住民が地域社会の一員として共に暮らしていくために必要な支援等を行う。	

事業の実績・成果

1　ワンナイトステイ事業

国際交流基金日本語国際センター及び埼玉県国際交流協会において実施する海外日本語教師のホームステイについて、市内の受入家庭を登録し、ホームステイ受入の斡旋をすることで、身近な国際交流の進展を図った。

年　　度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
登録家庭数	13	11	11	10	9
受入人数	12	9	2	4	4

2　市内在住外国人向け多言語表記配布物等

(1) 市で作成・配布（延べ 59 種類）

・主な市の配布物等

市ホームページ（8 か国）、災害時の避難所に配布するコミュニケーション支援ボード（4 か国）、ごみの分け方・出し方（3 か国）、「加須の舞」のイベント用チラシ（1 か国）、うどんマップ説明（1 か国）、こいのぼり説明（1 か国）、母子手帳（8 か国）、予防接種予診票（14 か国）、窓口用コミュニケーションボード（1 か国）、結核初回質問票（3 か国）

(2) 関係機関が作成、市で配布（延べ 51 種類）

・主な配布物

交通安全テキスト（8 か国）、多言語ブックスタート紹介シート（11 か国）、日本年金機構ホームページ・国民年金制度の仕組み（13 か国）

3　団体への助成【生涯学習課】

(1) 団 体 名　日中友好加須市民会議

(2) 助成目的　互いの国の歴史や文化・習慣を見聞きすることで、国際感覚を養うことに寄与

(3) 助成対象　中国人留学生宿泊交流や過疎地域学校支援などの事業及び運営

(4) 内　　容　第 38 回中国人留学生宿泊交流

令和元年 8 月 23 日～25 日、2 泊 3 日（参加留学生：16 人）

〔1 日目〕歓迎会、渡良瀬遊水地など見学、市役所訪問

〔2 日目〕長瀞見学など

〔3 日目〕交流会

事業名	入札契約管理事業			
担当課	管理契約課		総合振興計画コード	6311-10
款	02	総務費	当初予算額	14,279,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	14,275,920円
目	01	一般管理費	決算額	12,697,397円
事業の目的	適正な公共調達の実施のため、地域性に応じ、透明性、競争性、公正性を確保した入札・契約事務の執行を図る。	事業の概要	・適正な公共調達の確保のために策定した「公共調達改革に関する加須市の基本取組方針」を平成28年4月に改定した。 ・適正な公共工事の施工を確保するための業者選定業務の実施。 ・電子入札システムを活用し透明性を確保した円滑で効率的な入札契約業務を執行する。	

事業の実績・成果

・加須市が発注する建設工事の入札・契約を適正かつ効率的に行った。一般競争入札については、電子入札システムを利用し9件実施し、全案件成立した。また、指名競争入札については、電子入札システムを利用し137件実施し、全案件成立した。

設計・調査・測量及び土木施設維持管理の委託については、指名競争入札で電子入札システムを利用し92件、紙による入札を5件実施し、それぞれ91件、5件成立した。

物品購入等に係る入札については、計170件実施し、152件成立した。

公共施設飲料自動販売機設置の入札については、事前審査型一般競争入札により21箇所実施し、20箇所成立した。

また、windows10に対応させるため、入札契約検査管理システムの更改を行った。

1　建設工事等入札状況

（一般競争入札）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
建設工事	件数（件）	17	18	12	15	9
	金額（円）	555,325,200	1,811,084,400	1,759,352,400	494,305,200	309,963,500
	平均落札率（%）	94.21	95.84	96.08	95.80	95.83

（指名競争入札）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
建設工事	件数（件）	185	174	157	134	137
	金額（円）	2,718,228,267	3,167,821,148	3,291,601,960	2,781,511,120	1,988,906,936
	平均落札率（%）	95.66	96.02	95.53	96.44	95.67

（注）単価契約については、限度価格ではなく単価を契約金額として加算

（注）指名競争入札「137件」のうち、低入札案件は6件

（指名競争入札）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
土木施設維持管理 設計・調査・測量	件数（件）	130	138	99	102	96
	金額（円）	574,129,517	660,802,093	431,214,468	542,654,529	370,556,982
	平均落札率（%）	93.28	94.43	93.82	94.18	94.14

（注）単価契約については、限度価格ではなく単価を契約金額として加算

2　物品購入等入札状況
（指名競争入札）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
物品購入等	件　　数（件）	167	126	147	120	152
	金　　額（円）	4,660,526,033	1,119,070,792	3,552,030,841	1,367,596,789	4,105,428,276
	平均落札率（%）	84.13	83.41	85.17	83.29	82.03

（注）単価契約については、落札金額（単価）に予定数量を掛けた総額で換算

3　公共施設飲料自動販売機設置入札状況
一般競争入札件数21件中20件成立した。落札金額は計6,537,341円、平均落札率は323.51%となっている。

事業名		職員福利厚生事業			
担当課		職員課		総合振興計画コード	6312-04
款	02	総務費		当初予算額	2,020,000円
項	01	総務管理費		最終予算額	2,020,000円
目	01	一般管理費		決算額	1,652,585円
事業の目的	職員の福利厚生の充実を図るとともに、自立した自治体経営を目指すため、職員間の交流による連携(絆)を深め、組織力を向上させる。		事業の概要	・加須市役所職員厚生会の活動を支援する。 ・職員用の医薬品を購入し、配備する。	

事業の実績・成果

1　職員厚生会実施事業

(1) 親睦共済事業
・マインドフルネス健康セミナー
・横浜八景島バスツアー
・ディズニーシーバスツアー
・ボウリング大会
・宿泊補助
・親睦活動補助
・新規採用者、退職者記念品等

(2) 体育事業・教養事業
・クラブ活動補助

2　補助金の推移　（単位：千円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市補助金	2,531	2,359	2,523	1,873	1,633

※参考　令和元年度　会員負担金　3,643,200円（月400円）

事業名	人材育成事業			
担当課	職員課		総合振興計画コード	6312-05
款	02	総務費	当初予算額	4,879,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	4,879,000円
目	01	一般管理費	決算額	3,106,758円

事業の目的	自立した自治体経営を目指すため、加須市職員の目指すべき「職員像」を明らかにし、総合的視点から職員の人材育成を図る。	事業の概要	・自主研修を実施する。 ・鴻巣市、行田市及び羽生市と共同で実施している「四市共同研修会」や彩の国さいたま人づくり広域連合で行われる各種研修へ計画的に職員を派遣する。 ・自治大学校や市町村アカデミー等への派遣研修を行う。 ・新規採用職員サポーター制度を実施する。

事業の実績・成果

1　各種研修の実施

職員の能力・資質を伸ばし、市民サービスの向上につなげるため、職員研修実施計画に基づき各種研修を実施した。

(1) 令和元年度　研修実績

○市の自主研修　（単位：人）

新規採用職員研修(前期・後期)	14	職員人権問題研修	450	男女共同参画研修	38
ハラスメント研修	508	メンタルヘルス研修（ラインケア）	64	メンタルヘルス研修（セルフケア）	53
政策法務研修	20	新任課長研修	4	タイムマネジメント研修	445
IT 研修（e ラーニング研修）	224	人事評価（評価者）研修	82	仕事の意欲・モチベーション向上研修	50
不測事態対策チーム研修	89	子育て支援研修	81	財務会計研修	49
安全運転・エコドライブ講習	17				

○四市共同研修（加須市・鴻巣市・行田市・羽生市）　（単位：人）

初級職員研修	22	0JT 研修	6	民法・行政法研修	15
法制執務研修	18	監督者研修	16		

○彩の国さいたま人づくり広域連合への派遣研修　（単位：人）

課長級研修	2	課長補佐級研修	12	主査級研修	14
中級研修（実践）	5	中級研修（基礎）	12	階層別選択等研修	26
講師養成研修	4	民間企業派遣研修	2		

○その他機関への派遣研修　（単位：人）

自治大学校	4	自治大学校事後研修会	1	市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）	8
国土交通大学校	1	地域活性化センターとの連携協定に基づいた事業	107	埼玉県	4
地域活性化センター	1	安全衛生推進者養成講習等	4		

(2) 研修人数の推移　　（単位：人）

研　　修　　名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市の自主研修	4,012	4,164	3,127	2,292	2,188
四市共同研修	108	126	97	70	77
彩の国さいたま人づくり広域連合への派遣研修	124	126	109	103	77
その他機関への派遣研修	32	28	27	37	130
合　　計	4,276	4,444	3,360	2,502	2,472

2　新規採用職員サポーター制度の実施

対象者数：新規採用職員13人

実施期間：令和元年4月～9月

所属長の推薦をもとにサポーターを指名し、所属長の作成した指導案に基づいて、サポーターを中心に各課において新規採用職員へ指導・助言を行った。

事業名		人事管理事業		
担当課		職員課	総合振興計画コード	6312-06
款	02	総務費	当初予算額	51,061,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	51,061,000円
目	01	一般管理費	決算額	31,419,421円
事業の目的	・自立した自治体経営を目指すため、人材を経営資源の1つと捉え、人材育成事業と組合わせながら、公平・公正で職員一人ひとりの能力を発揮させる人事管理を行う。 ・職員が健康で安全に働き続けられる職場とするため、健康診断や産業医による健康相談など労働安全衛生対策の充実を図る。		事業の概要	・職員昇任試験(主幹職・主査職)や人事評価などを実施する。 ・定員適正化計画に基づき、計画的に職員を採用する。 ・定期健康診断や産業医による健康相談 ・ストレスチェック及び相談 ・人事配置・給与支給・服務管理（分限懲戒等） ・臨時職員の任用管理（令和2年度から会計年度任用職員へ移行）

事業の実績・成果

1　職員昇任試験の実施

(1) 一次試験（筆記・論文試験）：令和元年11月23日

二次試験（面接試験）：令和2年1月16日・17日

(2) 受験者数及び合格者数の推移　　（単位：人）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
主査職	対象者数	99	100	98	87	81
	受験者数	38	32	38	33	31
	受験率	38.4%	32.0%	38.8%	37.9%	38.3%
	合格者数	12	14	15	12	16
主幹職	対象者数	121	124	130	134	128
	受験者数	40	36	29	27	19
	受験率	33.1%	29.0%	22.3%	20.1%	14.8%
	合格者数	17	15	10	11	13

2　職員採用試験の実施

(1) 一次試験（教養試験・適性検査・論文・専門試験）：令和元年９月 22 日
二次試験（グループワーク）：令和元年 10 月 26 日
（面接試験）：令和元年 10 月 26 日・29 日・30 日、11 月６日

・ポスターやＰＲ動画を作成し周知することで、受験者数の確保に努めた。
・実施方法等について適宜見直しを行い、人材の確保に努めた。

(2) 受験者数及び採用者数※1 の推移　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
受験者数	138	143	107	67	77
採用者数	32	25	27	14	16

※採用者数は翌年４月１日現在

職種別内訳：一般事務 12 人、社会福祉士１人、保育士１人、幼稚園教諭２人

3　職員表彰の実施

(1)　永年勤続表彰　　勤続 30 年となった職員を表彰　27 人
(2)　功績表彰　　他の職員の模範となり推奨すべき業績のあった職員を表彰　14 件(75 人)

4　健康月間の実施

７月を健康月間と定め、労働安全衛生法に基づく職員の定期健康診断(一般健診 1,076 人：受診率 81.6%)及びストレスチェック、職員厚生会実施事業として健康セミナーを実施した。

5　臨時職員の任用管理

(1)臨時職員の任用管理業務の一部（雇用保険資格取得・喪失手続き、社会保険標準報酬月額の計算など）を外部委託することで事務の適正化と効率化を図った。
(2)令和２年４月１日からスタートした会計年度任用職員制度へ円滑に移行するため、市の制度の構築、臨時職員等への周知・募集、人事給与システム改修等を行った。

事業名	総務管理事業			
担当課		総務課	総合振興計画コード	6313-06
款	02	総務費	当初予算額	5,023,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	5,023,000円
目	01	一般管理費	決算額	4,907,904円

事業の目的	・適正な事務執行に努めることで、総務一般事業の円滑な遂行をする。	事業の概要	・市民総合賠償保険加入、消耗品（新聞）の購入等について、財政事情を勘案しながら予算の執行を行う。 ・行政境界事務、自衛隊受託事務等について、効率的・効果的な事務の執行を推進する。 ・県外避難者支援、平和事業、栄典事務について、必要に応じた適切な事務事業を行う。

事業の実績・成果

1　市民総合賠償補償保険

市が所有、使用、管理する施設の瑕疵や市の業務遂行上の過失に起因する事故の損害賠償金及び市が主催する行事へ参加した市民等が入院・通院を伴う傷害を被った場合の補償金を補てんする保険として、市民総合賠償補償保険に引き続き加入し、万一の事故等の発生に備えた。

保険適用案件：2件

2　新聞購読【総務課、各支所地域振興課】

新聞による情報収集等を行い、様々な業務に役立てた。

本庁舎（1紙：32部）	1,145,472円
騎西総合支所（3紙）	125,964円
北川辺総合支所（3紙）	113,712円
大利根総合支所（3紙）	125,364円

3　自衛官募集事務

自衛隊に対する理解と協力を推進するため、自衛隊家族会等と協力して自衛官募集を行った。

・自衛官募集案内を市報かぞへ掲載（5、8、10、12、3月号）計5回

・自衛官募集案内を回覧（7月）

4　東日本大震災による県外避難者支援

(1) 広報紙、関連情報紙を希望する県外避難者宅へ郵送（1回／月）

(2) 戸別訪問の実施

令和元年5～6月に第16回戸別訪問を、同年12月に第17回戸別訪問を実施し、避難者の健康状態等の確認、必要な支援の把握等を行い、市が対応できる案件については各所管課で対応した。

(3) 被災者支援会議の開催

戸別訪問を踏まえて、令和元年7月に第12回被災者支援会議を、令和2年2月に第13回被災者支援会議を開催し、避難者住民に係る特例事務への対応状況等の確認や、市の支援状況等について情報共有を図った。

5　平和事業

5月3日	市民平和祭の式典における小学生16人（4校）による平和都市宣言の唱和及び中学生2人による平和作文の発表
7月29日～31日	「平和を考える写真展」を加須市勤労者福祉協議会と共催により開催
8月15日	黙祷及び半旗掲揚を実施

事 業 名		施工等管理事業		
担 当 課		管理契約課	総合振興計画コード	6313-08
款	02	総務費	当 初 予 算 額	205,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	208,080 円
目	01	一般管理費	決 算 額	188,694 円

事業の目的	・市が発注する建設工事及び委託に係る契約の適正な履行の確保と給付の完了の確認及び良質な成果品を確保をするため、検査を適正かつ円滑に執行する。 ・市発注工事における優秀な成績の建設工事に対し、その施工業者を表彰することにより、請負業者の建設意欲を高め、工事の質的向上を図る。	事業の概要	・監督員及び指定検査員を対象とした研修会を実施するために、研修資料を作成し、研修会の機会を増やし研修会を実施する。 ・優秀建設工事表彰式を実施するために、優秀建設工事表彰審査委員会を開催し、表彰対象工事を選定する。

事業の実績・成果

・令和元年度においては、入札による工事136件、委託149件、合計285件、随意契約による工事161件、委託234件、合計395件の検査を執行した結果、すべて合格であり良質な成果品を確保することが出来た。

・加須市優秀建設工事表彰式については、市発注工事における優秀な成績の工事に対し、受注者のみならず技術者についても表彰し、受注者及び技術者の建設意欲を高め、併せて工事の質的向上を図るよう改善した。

開催日　令和元年8月19日(月)
会　場　加須市大利根文化・学習センター　アスタホール
表彰者　3 者（土木業者2者、建築業者1者）

・監督員及び指定検査員研修会については、今年度の監督員及び指定検査員に対して市役所5階会議室において研修会を延べ6回実施し、技術向上と法令遵守に努めた結果、指定検査員による検査書類の記入ミスが減少した。

研修日　令和元年6月3日、10月2日、12月25日、令和2年2月19日
参加者　監督員及び指定検査員　36名（指定検査員の出席率90.0%）

・検査員研修については、埼玉県行田県土整備事務所の土木工事の検査に、新規に検査員となった職員を臨場させ、検査技術等を習得することが出来た。

令和元年10月30日　検査員2名参加

また、一般社団法人日本経営協会主催による「技術検査の具体的な進め方」についての研修会に検査員を派遣し、完成検査・部分検査について技術面及び法律面からの厳格な検査執行について受講した結果、工事検査を円滑に実施することができた。

令和元年 9月19日・20日　検査員1名参加（建築コース）
令和元年11月14日・15日　検査員1名参加（土木コース）

事業名	法務相談事業			
担当課	総務課		総合振興計画コード	6314-02
款	02	総務費	当初予算額	1,302,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	2,182,000円
目	01	一般管理費	決算額	1,857,374円

事業の目的	法令上の争点を整理し、法的紛争を未然に防止するとともに、発生した訴訟及び審査請求に的確に対応する。	事業の概要	・本事業の定例相談を、毎月1回本庁舎において顧問弁護士と直接相談することにより行う。 ・臨時相談は急を要するときに行うものとする。 ・業務の執行により紛争等が生じたとき、又は生じるおそれがあるときに業務所管課が相談するものとする。 ・改正行政不服審査法に基づく行政不服審査制度への対応を行う。

事業の実績・成果

1　顧問弁護士相談

顧問弁護士契約（単年度契約）を締結し、市役所における定例相談及び電子メールによる臨時相談を行った。

顧問弁護士からの的確な助言等を業務に生かし、問題の発生を未然に防止するとともに、円滑な行政の遂行が図られた。

【令和元年度の定例相談件数等】

総数19件（うち電子メールによる臨時相談6件）

（相談部局等の内訳）　（単位：件）

総合政策部	3	上下水道部	1
総務部	2	騎西総合支所	1
環境安全部	1	北川辺総合支所	1
経済部	1	大利根総合支所	1
こども局	1	生涯学習部	1
福祉部	2	学校教育部	0
健康医療部	0	その他	3
建設部	1		

【相談件数の推移】　（単位：件）

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談件数	26	26	26	19	19

2　訴訟への対応

国民健康保険税処分取消請求上告事件（令和元年（行ヒ）第252号）（令和2年3月9日結審）

※市が原告に対して行った預金差押処分には、法令違反、誤りによる部分が含まれているため、その一部について取消しを請求した事件

3　審査請求への対応

農地転用不許可処分に係る審査請求事件（令和元年10月29日受付）

※農地法第5条第1項の規定による農地転用の申請に対する不許可処分を不服として、その取消しを市に請求した事件

事 業 名		広報紙等発行事業		
担 当 課		シティプロモーション課	総合振興計画コード	6111-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	22,899,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	22,875,523 円
目	02	文書広報費	決 算 額	19,907,412 円
事業の目的	行政情報の積極的な提供を行い、市民との情報の共有化を図る。		事業の概要	市民との情報の共有化を図るため、行政情報やイベント情報を積極的に提供する「市報かぞ」を毎月発行する。

事業の実績・成果

広報紙「市報かぞ」を毎月１日に発行し、市民に積極的な情報提供を行い、市民と情報の共有を図ることができた。また、協働による広報紙づくりを推進するため、積極的に市民カメラマンの撮影した写真を活用した。

若者や子育て世代にも読んでもらえるよう、スマートフォン等で利用可能なＱＲコードでの動画配信や民間の無料アプリ「マチイロ」を活用して広報紙の配信を行った。

新たに、一般社団法人が運営するインターネットサイト「マイ広報紙」（自治体等の広報紙をネット上で無料配信してくれるサービス）を活用し、さらに多くのツールでの配信を行った。

１　広報紙「市報かぞ」月発行部数及び年間印刷製本費　（単位：円）

年　度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
月発行部数（部）	41,200 （4 月～3 月）	41,200 （4 月～3 月）	41,200 （4 月～4 月）	41,400 （5 月～4 月）	41,400 （5 月～4 月）
決算額	10,709,736	11,037,670	11,799,774	14,966,811	17,454,816

２　配布

自治会を通じた配布をはじめ、市内の公共施設、コンビニエンスストア、駅、工業団地立地企業、東日本大震災避難者等に配布するとともに、市公式ホームページにも掲載し、広く情報提供に努めた。

事 業 名	ホームページ・ＳＮＳ活用事業		（総合戦略）
担 当 課	シティプロモーション課	総合振興計画コード	6111-02
款 02	総務費	当 初 予 算 額	2,834,000 円
項 01	総務管理費	最 終 予 算 額	2,834,000 円
目 02	文書広報費	決 算 額	2,819,493 円

事業の目的	ホームページやＳＮＳを活用し、世界に向けてタイムリーかつスピーディーに加須市の情報を発信し、加須市の認知度を高める。	事業の概要	更新状況を把握し、各課に対し更新の働きかけを行う。 見やすく分かりやすいホームページ作成に取り組むため、庁内研修を実施するとともに閲覧者からのホームページに対する意見を担当課に伝える。 また、ＳＮＳで旬な情報や動画をタイムリーかつスピーディーに発信する。

事業の実績・成果

ホームページについては、市の情報をタイムリーかつスピーディーに発信するため、随時改良を加えている。令和元年度については、令和元年東日本台風（台風第 19 号）に係る情報発信の際、アクセスが集中したため、トップページの緊急版への切り替えを実施した。

また、ＳＮＳについては、広告機能やアンケート、リッチメニュー、ラインスタンプなどを駆使し、市民への一層の情報機会の拡充を図った。

１　ホームページ運営管理諸費用　（単位：円）

年　度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
運営管理諸費	1,941,924	1,941,924	15,524,893	3,001,000	2,819,493

２　ホームページの月平均閲覧件数　（単位：件）

年　度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
件　数	193,040	214,395	280,557	252,415	310,667

３　公式ＳＮＳの内訳

公式ＳＮＳ	件名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
フェイスブック	投稿数	475	500	504
	いいね数	1,470	1,748	1,848
	フォロワー数	1,716	2,112	2,432
ツイッター	投稿数	594	592	644
	フォロワー数	2,391	3,011	4,201
ユーチューブ	投稿数	24	137	142
	視聴回数	21,689	59,952	89,654
	チャンネル登録数	106	175	199
インスタグラム（平成 30 年 5 月 1 日開始）	投稿数	－	116	127
	フォロワー数	－	713	972
ライン（平成 30 年 6 月 1 日開始）	投稿数	－	36	123
	友だち数	－	806	1,406

４　市公式アプリ「暮らし応援アプリ『かぞっぷ』」（平成 30 年 3 月 1 日開始）

年　度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
ダウンロード数	941	2,326	2,795

事 業 名		市民カメラマン事業		
担 当 課		シティプロモーション課	総合振興計画コード	6111-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	44,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	44,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	41,076 円
事業の目的	広報活動の活性化を図り、市民との協働によるまちづくりにつなげる。		事業の概要	市民カメラマン事業は、20 歳以上の市民で、土日に活動でき、ボランティアとして活動する意欲がある者を公募し、市民カメラマンとして市長が委嘱するもので、市内で行われる各種行事、催し等の写真を市報かぞの表紙などに積極的に採用する。 3 年以上活動した方には、市から感謝状を贈呈する。

事業の実績・成果

市民カメラマン事業は、平成 22 年 10 月から（加須地域では平成 19 年 4 月から）市民との協働事業として実施しており、撮影していただいた写真を広報紙やインスタグラムへ積極的に活用し、親近感のわく「親しまれる広報紙づくり」に取り組んだ。

また、市民カメラマンのモチベーションアップのため、「市民カメラマン写真展」を開催した。

1　委嘱日

平成 31 年 4 月 17 日（水）

2　腕章・帽子の購入

市民カメラマンの取材用に腕章と帽子購入し、委嘱時に貸与した。　作製費用：38,016 円

3　市民カメラマン写真展

①　開催期間：令和 2 年 1 月 6 日（月）～15 日（水）
　　ただし、1 月 11 日（土）・13 日（祝・月）は除く

②　展示場所：本庁舎 1 階市民ギャラリー

③　展 示 数：36 点

④　来場者数：58 人（受付簿記入分）

年　度	市民カメラマンの数（人）	広報紙やホームページに掲載した件数（件）
平成 27 年度	7	132
平成 28 年度	6	158
平成 29 年度	7	158
平成 30 年度	5	243
令和元年度	6	240

事 業 名	加須市ＰＲ・営業推進事業			（総合戦略）
担 当 課	シティプロモーション課		総合振興計画コード	6112-02
款	02	総務費	当　初　予　算　額	2,363,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	7,350,477 円
目	02	文書広報費	決　　算　　額	6,387,111 円
事業の目的	加須市に人や物を呼び込み、観光振興や産業振興につなげるとともに、市民の郷土への誇りや郷土愛の醸成を図るために、様々な地域資源を広く市内外に向かって魅力的に情報発信する。	事業の概要	ＰＲ営業本部委員及び観光大使へ毎月１回ＰＲ定期便を送付し、定期的に本市のＰＲを行う。また、ＰＲ営業本部会議を開催し、新たな市のＰＲ方策を検討し、事業化に努める。また、イベント等でＰＲ用品等の活用により、本市のＰＲに努める。	

事業の実績・成果

市内に現存する様々な地域資源を、市民との協働によりこれまで以上に広く市内外に向けて魅力的に情報発信するため、加須市ＰＲ営業本部会議を開催し、最近のＰＲ活動の報告と今後の事業の考え方について意見を伺った。また、毎月１回、委員や観光大使にＰＲ情報定期便として市のイベント情報等を提供し、それぞれの立場で市のＰＲを依頼した。

１　加須市ＰＲ営業本部会議の開催状況
　①　第１回会議：令和２年１月 24 日（金）
　②　委員構成：商工会の役員、体育協会に所属する団体の構成員、文化団体連合会に所属する団体の構成員、まちづくりネットワーク・かぞに所属する団体の構成員、ＰＴＡ連合会に所属する団体の構成員、観光大使、株式会社むさしの村の職員、加須はなさき公園の職員、一般公募による者（18 名）
２　ＰＲ情報定期便の発送
　①　定期便の発送回数：12 回（平成 31 年４月～令和２年３月）　②　ＰＲ情報提供件数：87 件
３　「スポーツガイド」の作製概要
　①　作製部数：10,000 部　②　作製費用：671,000 円
４　「暮らしの便利帳」の作製概要
　①　作製冊数：10,000 冊　②　作製費用：1,452,000 円
５　「ガイドマップ」の作製（修正増刷）概要
　①　作製部数：10,000 部　②　作製費用：1,507,000 円
６　「こいのぼり手ぬぐい」の作製概要
　①　作製本数：3,450 本　②　作製費用：1,359,435 円
７　「ＰＲ袋」の作製概要
　①　作製枚数：12,000 枚　②　作製費用：222,700 円
８　「絵はがき」の作製概要
　①　作製個数：1,000 セット　②　作製費用：214,500 円
９　高速道路サービスエリアのリーフレット設置
　①　設置場所・期間：羽生ＰＡ（上り線）・令和元年８月の１カ月間　②　広告料：38,880 円
　③　設置冊子（配布数）：ガイドマップ（650 部）、加須うどんマップ（500 部）
10　ドローン撮影
　①　実施回数：１回　②　委託料：84,240 円
11　テレビ埼玉データ放送サービスの実施
　①　提供件数：28 件/年間　②　使用料：54,000 円×６月＋55,000 円×６月＝654,000 円
12　加須市が新聞、テレビ、ラジオなどで掲載（放送）された件数　（単位：件）

年　度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
件　数	403	498	471	500	505

事 業 名	ふるさと写真・動画コンクール事業			（総合戦略）
担 当 課	シティプロモーション課		総合振興計画コード	6112-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	244,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	244,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	228,109 円
事業の目的	本市の素晴らしさを再発見し、郷土「加須」への愛着を高めてもらうとともに、応募作品を周知し、多くの方々に本市の魅力をPRする。	事業の概要	テーマを発表し、応募作品の受付、審査、公表をする。 写真の部については、従来の「一般の部」に加え「小中学生の部」を設け、幅広い世代への働きかけを行い、公共施設での展示やＨＰでの公開をする。 動画の部については、優れた作品を加須市公式動画サイトに登録し公開する。	

事業の実績・成果

【写真の部】

一般の部『未来に残したい加須』、小・中学生の部『加須の今と昔』をテーマに、応募された全作品を本庁舎市民ギャラリーに展示後、入賞作品については公共施設に巡回展示し、鑑賞していただいたことにより、本市の素晴らしさを再発見し、郷土「加須」への愛着を高めた。

1　出品数の推移

回数 開催年度	第6回 平成27年度	第7回 平成28年度	第8回 平成29年度	第9回 平成30年度	第10回 令和元年度
出品者数 (内、小中学生数)	86	85	71	70 (5)	80 (22)
出品点数 (内、小中学生数)	143	130	112	102 (6)	155 (66)

2　巡回展示：6カ所　※新型コロナウイルス感染症拡大防止により2カ所中止
　来場者数：319人（受付簿記入分）

3　主な経費

○入賞者への賞金　83,000円
　市長賞　1人（30,000円）
　議長賞　1人（20,000円）
　優秀賞　3人（ 7,000円）
　入選　　4人（ 3,000円）

○審査員謝金　6,000円
　審査員　2人（3,000円×2＝6,000円）

【動画の部】

『未来に残したい加須』をテーマに、応募された全作品を市公式ＳＮＳに投稿し、市内外に市の魅力を発信した他、「かぞブランド認定品」を賞品に加えて、「かぞブランド」の周知を図った。

1　出品数の推移

回数 開催年度	第1回 平成29年度	第2回 平成30年度	第3回 令和元年度
出品者数	10	11	12

2　主な経費

○入賞者への賞金等　129,448円
　市長賞　1人（賞金30,000円＋かぞブランド認定品20,000円相当）
　議長賞　1人（賞金20,000円＋かぞブランド認定品10,000円相当）
　優秀賞　3人（賞金 7,000円＋かぞブランド認定品 3,000円相当）
　入選　　4人（賞金 3,000円＋かぞブランド認定品 2,000円相当）

事 業 名	全国こいのぼり写真コンクール事業			（総合戦略）
担 当 課	シティプロモーション課		総合振興計画コード	6112-05
款	02	総務費	当　初　予　算　額	356,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	356,000 円
目	02	文書広報費	決　　算　　額	324,384 円
事業の目的	全国各地で撮影されたこいのぼりの写真を募集し、展示することにより、こいのぼりの素晴らしさを再発見するとともに、「こいのぼりのふるさと　かぞ」を全国に向けてＰＲする。	事業の概要	市の特産品である「こいのぼり」に特化し、全国のこいのぼりの写真をより多くの方から応募していただけるよう、広報紙、写真雑誌、ホームページやＳＮＳ等で積極的なＰＲを行う。 また、応募された全作品を「全国こいのぼり写真集」としてホームページで公開する。 第３回コンクールから隔年開催とする。	

事業の実績・成果

全国各地で撮影された鯉のぼりをモチーフとした写真コンクールを開催した。
35 都道府県 180 人の方から 289 点の応募があり、こいのぼりによるまちおこしに取り組む加須市を全国にＰＲすることができた。

１　募集期間：令和元年６月３日（月）～6 月 28 日（金）

２　題材　・子どもの健やかな成長を願い、家族の絆を深める「こいのぼり」の写真
　　・「こいのぼり」にちなんだ観光イベントや伝統工芸の写真
　　・その他「こいのぼり」をモチーフにした写真

３　出品数等の推移

回数 開催年度	第１回 平成 28 年度	第２回 平成 29 年度	第３回 令和元年度
出品者数	226	204	180
出品点数	468	358	289
都道府県数	38	39	35

・第３回から隔年開催、市公式ホームページでの画像データ応募に変更
・第２回から１人２点まで応募可に変更（第１回１人３点まで）

４　巡回展示：8 カ所
来場者数：149 人（受付簿記入分）

５　主な経費
○チラシ作製：3,000 枚　　作製費用：70,200 円
○専門誌「フォトコン５月号」広告掲載料：86,400 円
○入賞者への賞金　101,000 円
　市長賞　１人（30,000 円）
　議長賞　１人（20,000 円）
　優秀賞　３人（ 7,000 円）
　入選　　５人（ 3,000 円）
　佳作　　10 人（副賞　北川辺産こしひかり　1,500 円）
○審査員謝金　9,000 円
　審査員　２人（3,000 円×3 回＝9,000 円）

事 業 名		市長への手紙・メール事業		
担 当 課		秘書課	総合振興計画コード	6121-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	16,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	16,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	7,980 円
事業の目的	広聴の推進を図るため、市民から直接、手紙・メールによる意見、提案、要望等をいただく。		事業の概要	手紙については、市内公共施設に投函箱を設置し、メールについては、ホームページによりそれぞれ意見等を伺い、市長が1件1件確認して市長名で回答するとともに、市政に出来る限り反映させる。

事業の実績・成果

「市長への手紙」専用はがき及び投函箱を本庁舎、各総合支所、各地区の公民館などをはじめとする市内の公共施設に設置し、市民等からいただいたご意見等について、市長名で回答している。また、加須市公式ホームページ内の「市長へのメール」からいただいたご意見等についても、市長名で回答している。

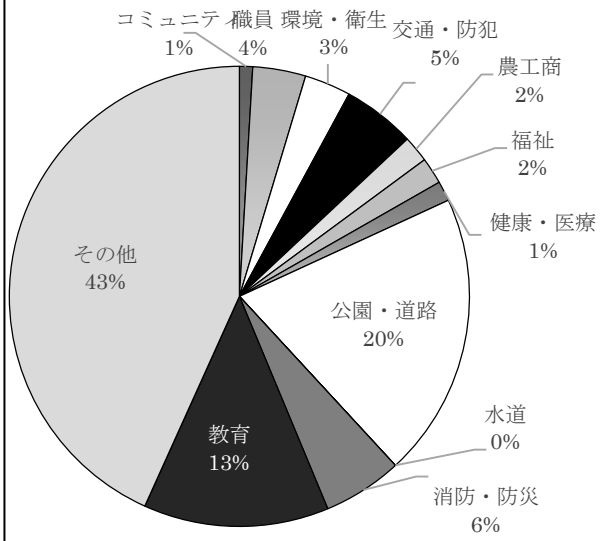
1　市長への手紙通数の推移　（単位：通）

年　度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
通　数	199	168	166	205	215

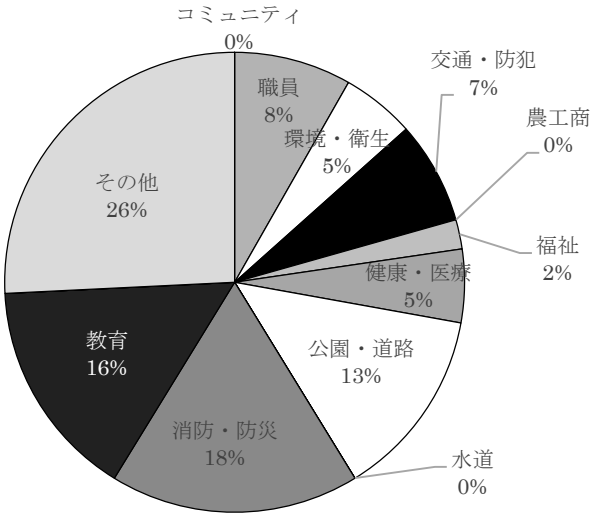
2　市長へのメール通数の推移　（単位：通）

年　度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
通　数	109	138	132	86	97

分野別　市長への手紙（令和元年度）



分野別　市長へのメール（令和元年度）



事 業 名		市政についての話し合い開催事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	6122-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	142,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	142,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	133,431 円

事業の目的	市民と行政の相互理解を深めるため、各地域別に広聴集会を開催し、それぞれの地域にお住まいの市民の皆様から市政全般にわたる意見及び要望等を聴取し、これを可能な限り市政に反映させる。	事業の概要	毎年、話し合いのテーマを設け、市内の公共施設等を会場として話し合いを実施する。

事業の実績・成果

「元気と活力のある加須市づくりを目指して」をテーマとして、市内 19 箇所で市政についての話し合いを開催し、市民から市政に対する意見・要望等を幅広く伺い、可能な限り市政に反映させた。

○参加者数の推移 （単位：人）

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
参加者	981	968	920	932	1,009

※地区別明細 （単位：人）

開催日	地区別	参加者		
		合計	男	女
9/1(日)	大 越	35	28	7
	水 深	62	40	22
10/19(土)	騎 西	45	39	6
	高 柳	41	31	10
	鴻 茎	54	42	12
11/24(日)	不 動 岡	39	26	13
	志 多 見	50	42	8
	種 足	38	29	9
11/30(土)	大利根東	58	53	5
	原 道	71	42	29
	豊 野	50	41	9
12/7(土)	田 ケ 谷	47	37	10
	樋 遣 川	45	24	21
	大 桑	70	43	27
12/14(土)	礼 羽	47	30	17
	北川辺地域	74	54	20
12/22(日)	加 須	88	58	30
	三 俣	54	36	18
	元 和	41	26	15
合 計		1,009	721	288

○市長と対話した市民の数 123 人 意見の数 180 件

事 業 名		情報公開・個人情報保護事業		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	6132-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	655,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	655,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	156,373 円

事業の目的	透明で開かれた市政運営の推進と行政への市民の信頼の確保を図るとともに、市が保有する個人情報を適切に保護することにより個人の権利利益の保護を図り、もって基本的人権の擁護に資する。	事業の概要	・加須市情報公開条例及び加須市個人情報保護条例に基づく制度を適正に運用する。 ・加須市情報公開・個人情報保護審査会及び加須市情報公開・個人情報保護運営審議会を必要に応じて開催する。 ・審議会等の会議の公開及び会議録の公表制度を運用する。

事業の実績・成果

○個人情報を適切に保護するとともに、適切に行政情報の公開を実施した。
○個人情報保護に係る事務処理に当たっては、加須市情報公開・個人情報保護運営審議会への諮問、答申を経て委託等を実施した。
○審議会等の会議の公開及び会議録の公表制度の運用を適切に実施した。

1　情報公開及び個人情報保護関係

(1) 情報公開請求受付処理件数　（単位：件）

	受付処理件数	全部公開	一部公開	非公開	取下げ
公開請求等	17	8	8	1	0

※一部公開は、非公開部分（個人情報及び法人情報が含まれる情報）を除く公開

【請求文書】

市が加入している損害保険の証券等 1 件　加須市渡良瀬遊水地中核施設の指定管理業務に係る基本協定書等 1 件　災害対策本部の記録等 1 件　その他 14 件

【情報公開請求受付処理件数の推移】　（単位：件）

年　　度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
受付処理件数	18	6	47	16	17

(2) 個人情報開示請求受付処理件数　（単位：件）

	受付処理件数	全部開示	一部開示	不開示	取下げ
開示請求	38	13	22	3	0

【個人情報開示請求受付処理件数の推移】　（単位：件）

年　　度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
受付処理件数	32	18	38	40	38

(3) 加須市情報公開・個人情報保護運営審議会の開催（委員 10 名）
・第 1 回　令和元年 7 月 19 日　　諮問事項 5 件、報告事項 2 件
・第 2 回　令和元年 12 月 10 日　諮問事項 5 件、報告事項 3 件
・第 3 回　令和 2 年 3 月 25 日　　諮問事項 2 件、報告事項 1 件

2　審議会等の会議の公開
会議の開催件数　117 件
会議を公開（一部を非公開とした会議を含む。）した会議件数　92 件
会議を非公開とした会議件数　25 件
（非公開理由：会議の内容に個人情報が含まれるため）
傍聴者数　1 名

事 業 名		文書収発浄書事業		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	6314-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	87,593,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	87,593,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	74,766,594 円
事業の目的	・適正な行政サービスを実施するため、本市における印刷、郵送、使送などの事務を円滑に進める。		事業の概要	・印刷用紙などの関連消耗品の購入、郵送、使送業務、ＯＡ機器等の借上げ ・コピー機等の管理をするとともに簡易印刷物については庁内印刷機等を活用する。 ・郵便物等の文書の収発業務及び自治会等への使送業務を行う。

事業の実績・成果

○自治会への広報紙等の使送業務について、配布物の仕分け・配送をシルバー人材センターへ業務委託を行い、市内 4 地域で配布物を 1 日間で配布することにより、市民サービスの向上が図られている。平成 30 年度より 3 支所の仕分け業務についてもシルバー人材センターに委託している。

○ 郵便料、コピー用紙購入費については、経費削減のため、電子メールの活用や裏面の再利用、イベント等の広報を可能な限り市報へ一元化するなどの取組を行い、総合的な経費の削減に努めた。

○ コピー機のカウンター料金については、平成 27 年度に本庁及び各総合支所のコピー機、全 14 台の導入を指名競争入札で実施し、コピー機の管理の一元化及び事務の効率化を図っている。

1　郵便料等の推移

（単位：円）

年　度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
郵便料	40,924,088	42,710,329	44,106,013	40,978,626	42,743,057

（単位：円）

年　度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
コピー用紙購入費	10,525,397	12,586,660	11,407,901	11,306,441	11,663,037

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
コピー機 管理台数（台）	14	14	14	14	14
コピー機カウンター料金（円/年）	4,468,618	4,919,091	4,674,482	4,488,695	4,136,378
コピー機使用枚数（枚/年）	4,447,145	4,768,039	4,537,688	4,464,424	4,071,125

〔コピー機管理台数内訳〕本庁：8 台、各総合支所：各 2 台　　計 14 台

２　ＯＡ機器にかかる費用

【本庁】（総務課）

種　　類	リース料(円)		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
電子製版機	25,788	－(再リース)	平成31年 4月1日	令和2年 3月31日	富士通リース㈱
ファクシミリ	35,310	－(再リース)	令和元年 10月1日	令和2年 9月30日	五幸事務機㈱
紙折機	64,746	5,346 5,445	令和元年 10月1日	令和2年 9月30日	㈲ アライ
電動断裁機	14,124	－(再リース)	平成31年 4月1日	令和2年 3月31日	富士通リース㈱
デジタル印刷機 1号機	77,760	19,440	平成28年 8月1日	令和元年 7月31日	㈲ アライ
デジタル印刷機 1号機（入替）	162,936	20,088 20,460	令和元年 8月1日	令和4年 7月31日	㈲ アライ
デジタル印刷機 2号機	119,800	10,800 11,000	平成29年 3月1日	令和2年 2月29日	㈲ アライ
デジタル印刷機 2号機（入替）	10,450	10,450	令和2年 3月1日	令和5年 2月28日	㈲ アライ
オフセット印刷機	リース期間満了（所有権譲渡）				―
複写機（市民用）	120,416	－(再リース)	令和元年 7月1日	令和2年 6月30日	キヤノンシステムアンドサポート㈱

※リース料月額の上段は税率8%（～9月）、下段は税率10%（10月～）

【騎西総合支所】（地域振興課）

種　　類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
ポスター・プリンター	73,872	6,156	平成27年 4月1日	令和2年 3月31日	日立キャピタルNBL㈱ 埼玉営業所
印刷機	124,260	10,260 10,450	平成28年 4月1日	令和3年 3月31日	㈱ 雄飛堂　熊谷支店
複写機兼ファクシミリ	113,323	―	平成28年 4月1日	令和3年 3月31日	キヤノンシステムアンドサポート㈱
ファクシミリ	59,616	4,968	平成30年 9月1日	令和5年 8月31日	㈱ 雄飛堂　熊谷支店
複写機（市民用）	97,111	―	平成30年 7月1日	令和5年 6月30日	キヤノンシステムアンドサポート㈱

※リース料月額の上段は税率8%（～9月）、下段は税率10%（10月～）

【北川辺総合支所】（地域振興課）

種　　類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
印刷機	124,260	10,260 10,450	平成28年 7月1日	令和3年 6月30日	㈱ 雄飛堂　熊谷支店
複写機兼ファクシミリ	199,452	16,621	平成28年 7月1日	令和3年 6月30日	NTTファイナンス㈱　関東支店
複写機兼ファクシミリ	189,713	―	令和元年 7月1日	令和6年 6月30日	キヤノンシステムアンドサポート㈱
複写機（市民用）	138,294	―	平成29年 9月1日	令和4年 8月31日	埼北オーエー機器㈱

※リース料月額の上段は税率8%（～9月）、下段は税率10%（10月～）

【大利根総合支所】（地域振興課）

種　　類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
印刷機	124,260	10,260 10,450	平成28年 4月1日	令和3年 3月31日	㈱ 雄飛堂　熊谷支店
複写機兼ファクシミリ	124,006	―	平成28年 4月1日	令和3年 3月31日	キヤノンシステムアンドサポート㈱
複写機（市民用）	43,878	3,623	平成31年 4月1日	令和2年 3月31日	リコージャパン㈱　関東営業部埼玉支社

※リース料月額の上段は税率8%（～9月）、下段は税率10%（10月～）

事業名	例規文書管理事業			
担当課	総務課		総合振興計画コード	6314-03
款	02	総務費	当初予算額	8,531,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	8,531,000円
目	02	文書広報費	決算額	8,141,641円
事業の目的	法制執務や法令解釈に関し必要な助言や相談を行い、条例、規則等の制定改廃や訴訟、審査請求等に対する対応及び適切な文書管理を実施することで円滑な行政運営を図る。	事業の概要	法制執務及び例規整備に関する相談を実施するとともに法令関係図書、例規データベース等の法令業務に関する環境を全庁的に整備し、迅速かつ的確に行政立法や行政不服等に係る業務を実施する。 また、情報公開に対応した文書管理の構築等を行う。	

事業の実績・成果

○適切に例規等の審査を実施し、及び制定改廃が必要な例規についての対応が図られた。
○ファイリングシステムについて、巡回指導に加え、その後のフォローアップを行い、運用の改善が図られた。
○例規・法令検索システムについて、検索等の機能の改善により、利便性の向上が図られた。
○定期的に例規改正を行う課を対象に例規・法令検索システムの操作研修を開催し、政策法務能力の向上が図られた。

1　例規等の審査の実施
（令和元年度審査件数）条例等の議案…39件、規則…39件、訓令…8件、告示・要綱等…380件

2　各課に対する国会制定法の概要及び市への影響に係る情報提供
第198回国会…70本、第200回国会…24本

3　法制執務・政策法務等関係図書の整備　1,103,213円

4　例規・法令検索システムの適正な運用及び紙製例規集の追録作成
例規・法令検索システム使用料…1,635,000円
例規・法令検索システム更新データ作成…1,635,000円
例規集追録作成…654,000円

5　ファイリング用品等の整備
保存箱、個別フォルダー、フォルダーラベル等の購入…1,815,046円

6　保存期間満了文書の再資源化
廃棄文書の搬出、溶解処理施設までの運搬及び溶解処理（古紙へ再資源化）

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
処理量（kg）	19,940	14,420	16,060	16,220	14,120
単価（円／kg）	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1
委託金額（円）	161,514	116,802	130,086	131,382	114,372

※各総合支所分を含む。

7　ファイリングシステムの維持に係る巡回指導等の実施…149,930円（講師謝金）
【対象】各総合支所及び出先機関
【期日】（巡回指導）令和元年10月9日～11日
（フォローアップ指導）令和元年12月20日

事業名	財政管理事業			
担当課	財政課		総合振興計画コード	6315-03
款	02	総務費	当初予算額	10,601,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	11,701,000円
目	03	財政管理費	決算額	10,820,808円
事業の目的	経済情勢や事業の進捗状況を踏まえ、中・長期的な視点に立ち、持続可能で安定した財政運営を行う。	事業の概要	・予算編成及び執行に関すること ・財政計画（見直し）及び財政事情の公表に関すること ・その他財政に関すること（財務会計システムの管理・運用など）	

事業の実績・成果

・ 平成30年度決算に係る行政報告書（主要な施策の成果を説明する書類）及び令和2年度一般会計・特別会計予算書（当初予算書）を作成した。

平成30年度決算に係る行政報告書　・・・・　200冊　453,600円
令和2年度一般会計・特別会計予算書　・・・・　250冊　490,875円

・ 平成30年度決算に基づく健全化判断比率（4指標）を公表した。

（単位：%）

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成30年度	— (12.12)	— (17.12)	5.5 (25.0)	— (350.0)
平成29年度	— (12.13)	— (17.13)	6.0 (25.0)	— (350.0)

※　実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率は算出されないため、「—」と表記している。
※　括弧内の数字は、加須市の早期健全化基準である。

・ 平成30年度決算に基づく財務書類（統一的な基準）を作成し、ホームページで公表した。
※　財務書類とは、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書、注記及び附属明細書である。

事 業 名		公金納付円滑事業		
担 当 課		会計課	総合振興計画コード	3231-05
款	02	総務費	当 初 予 算 額	15,843,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	15,843,000 円
目	04	会計管理費	決 算 額	14,585,046 円
事業の目的	市民の利便性の向上を図るため、公金納付方法について研究し、納付場所や時間に制約されず公金を納付できる環境を整備する。		事業の概要	・口座振替での収納を促進するため、関係機関と連携し、市民への周知 ・多岐にわたる窓口で納付された公金の迅速かつ正確な管理 ・コンビニエンスストア納付制度の適切な運用

事業の実績・成果

1　公金収納日計処理業務

コンビニエンスストア収納の導入により多様化・複雑化した日計処理業務について、専門的知識を有する事業者に委託することで、正確かつ迅速な処理を行った。また、令和元年10月からの地方共通納税システム開始に伴いシステム改修を行った。

（1）業務内容

金融機関等で収納された市税、料金の納入済通知書の読取、コンビニエンスストア収納データ代行受信、各種システムへの消込データの作成等

（2）経費

令和元年度処理業務委託料　9,251,955円

（単位：円）

会計名	一般	国保	後期高齢	介護
金　額	7,710,569	1,041,049	179,485	320,852

地方共通納税システム連携対応システム改修　1,242,000円

（3）受託業者

ＡＧＳ株式会社

2　コンビニエンスストア収納代行業務

納付方法を拡充し、市民の利便性の向上を図るため、平成24年度からコンビニエンスストア収納を実施した。また、幼稚園保育料については、平成27年度から実施した。

（1）業務内容

コンビニエンスストアでの市税、料金の収納、収納済データの作成等

（2）経費

令和元年度処理業務委託料　7,827,842円

（単位：円）

会計名	一般	国保	後期高齢	介護
金　額	5,502,877	1,682,000	200,218	442,747

日計処理業務委託元号改正システム改修　129,600円

（3）受託業者

りそな決済サービス株式会社

（4）コンビニエンスストア収納利用状況

税・科目	納付書発送枚数（枚）				A
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市・県民税（普徴）	50,163	49,832	49,567	42,220	44,750
固定資産税・都市計画税	92,455	93,594	93,303	94,114	94,627
軽自動車税	35,162	35,590	36,048	36,486	36,995
保育料	4,610	4,937	5,378	6,025	4,118
学童保育料	1,135	1,442	1,459	1,500	1,538
幼稚園保育料	434	497	361	393	255
国民健康保険税	87,174	91,859	80,725	79,065	77,489
介護保険料	24,135	27,774	27,401	25,647	24,613
後期高齢者医療保険料	9,951	11,019	11,251	11,501	11,708
合　　計	305,219	316,544	305,493	296,951	296,093

税・科目	コンビニエンスストア収納枚数（枚）				B
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市・県民税（普徴）	17,440	18,744	18,555	19,425	19,526
固定資産税・都市計画税	32,390	35,722	37,690	39,643	41,769
軽自動車税	16,953	18,148	18,908	19,768	20,888
保育料	3,024	3,417	3,978	4,395	3,141
学童保育料	696	884	997	1,048	1,153
幼稚園保育料	230	293	233	234	178
国民健康保険税	25,341	27,468	27,004	27,842	29,109
介護保険料	6,099	6,456	9,132	7,068	7,341
後期高齢者医療保険料	1,989	2,358	2,710	3,076	3,338
合　　計	104,162	113,490	119,207	122,499	126,443

税・科目	コンビニエンスストア収納金額（円）				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市・県民税（普徴）	415,258,618	445,849,858	439,380,323	515,802,719	466,526,160
固定資産税・都市計画税	509,991,125	579,959,146	631,965,519	648,992,067	704,301,973
軽自動車税	66,917,200	115,582,061	125,997,800	142,977,000	149,802,123
保育料	50,560,100	61,493,550	74,011,650	81,071,350	61,339,250
学童保育料	2,907,900	3,548,145	5,054,882	5,424,950	5,993,700
幼稚園保育料	1,201,900	1,592,500	1,348,120	1,266,900	991,850
国民健康保険税	415,112,682	427,310,919	423,123,428	429,726,177	451,369,192
介護保険料	48,843,100	53,491,270	58,925,445	61,259,700	65,524,290
後期高齢者医療保険料	15,874,590	21,066,590	22,759,940	24,677,760	31,308,050
合　　計	1,526,667,215	1,709,894,039	1,782,567,107	1,911,198,623	1,479,763,898

税・科目	コンビニエンスストア利用割合（%）				B／A
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市・県民税（普徴）	34.8%	37.6%	37.4%	46.0%	43.6%
固定資産税・都市計画税	35.0%	38.2%	40.4%	42.1%	44.1%
軽自動車税	48.2%	51.0%	52.5%	54.2%	56.5%
保育料	65.6%	69.2%	74.0%	72.9%	76.3%
学童保育料	61.3%	61.3%	68.3%	69.9%	75.0%
幼稚園保育料	53.0%	59.0%	64.5%	59.5%	69.8%
国民健康保険税	29.1%	29.9%	33.5%	35.2%	37.6%
介護保険料	25.3%	23.2%	33.3%	27.6%	29.8%
後期高齢者医療保険料	20.0%	21.4%	24.1%	26.7%	28.5%
合　　計	34.1%	35.9%	39.0%	41.3%	42.7%

事 業 名		会計管理事業		
担 当 課		会計課	総合振興計画コード	6315-14
款	02	総務費	当 初 予 算 額	8,535,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	8,535,000 円
目	04	会計管理費	決 算 額	7,615,286 円
事業の目的	財政の健全化を図るため、法令との整合性、正確性を重視し、多様化する出納事務を円滑に遂行する。 また、公金の確実な管理と効率的な運用を図る。		事業の概要	現金等の出納・保管及び支出負担行為・支出命令に係る債務の確認を行う。 歳計現金及び各種基金の管理運用を適正に行う。 各課における公金の適正な取扱いを指導する。

事業の実績・成果

1　歳入歳出事務について、予算及び法令に則した伝票等の審査を行い、適正な出納処理に努めた。

2「公金取扱事務の管理適正化方針」に基づいた現金取扱業務の実地検査
（1）調 査 日　令和元年7月5日、11日、18日、19日、25日の5日間
（2）調査対象　本庁・各総合支所　　計52課
各体育館・保健センター・文化学習センター等　　計44施設
（3）調査項目　現金収納手続きについて
現金、葉書、切手、収入印紙及び埼玉県収入証紙の保管について
（4）調査方法　現金取扱業務一覧表に基づき、担当職員からのヒアリング
（5）指導内容　受領現金及び釣り銭について所属長の検認を実施すること
領収書の取扱者欄を明確に表示し、個人印の押印漏れをなくすこと

3「用品調達基金廃止における物品購入選定の基本方針」に基づいた物品購入状況調査
（1）調査期間　令和元年5月31日～6月10日の11日間及び
令和元年10月4日～18日の15日間
（2）調査対象　本庁・各総合支所　　計54課
各体育館・保健センター・文化学習センター・公民館・保育所・幼稚園・小中学校
計69施設
（3）対象期間　平成30年10月～平成31年3月及び平成31年4月～令和元年9月
（4）調査項目　お茶・用紙類・トイレットペーパーの３品目の購入状況
（5）調査方法　上記3品目を担当課へ照会のうえ、支出伝票による購入単価の確認
（6）指導内容　品質・価格ガイドラインに定める単価での購入を指導

事 業 名		公用自転車利用推進事業		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	4313-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	10,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	10,000 円
目	05	財産管理費	決 算 額	7,200 円
事業の目的	・地球温暖化防止等に身近なところから貢献すべく、また、職員の健康増進を図るべく、積極的に公用自転車の利用を推進する。		事業の概要	・施設に応じた適正な配車を継続し、公用自転車が利用できる体制を維持する。 ・各施設から、片道２キロ未満の移動手段として、公用自転車を利用するよう、職員への周知を徹底する。

事業の実績・成果

○公用自転車の配置及び利用

業務上自転車を利用する機会、必要性があると認められる公共施設へ、公共施設から２km未満の移動手段として、公用自転車を配置し、環境への配慮及び職員の健康増進を図った。

今後、老朽化した公用自転車の入替えや、新たな公共施設への配置を行い、公用自転車の更なる利用を推進していく。

１　公用自転車配置箇所及び配置台数

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	合　計
加須地域 (平成 26 年度以前 57 台)	南篠崎コミュニティセンター（1 台）	グリーンファーム加須 (1 台)	不老荘（1 台） 花崎コミュニティセンター（1 台）	加須南小、大越小、昭和中、加須東中（各１台）、加須平成中（３台）	礼羽小、樋遣川小（各１台）、水深小、大桑小（各２台）、	74 台
騎西地域 (平成 26 年度以前 12 台)	なし	なし	なし	騎西総合体育館（２台） 騎西小 （１台）	騎西中 （１台）	16 台
北川辺地域 (平成 26 年度以前 11 台)	なし	なし	なし	北川辺中 （３台）	なし	14 台
大利根地域 (平成 26 年度以前 10 台)	なし	なし	なし	なし	なし	10 台
合　計 (90 台)	1 台	1 台	2 台	13 台	7 台	114 台

２　公用自転車利用実績

年　　度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
公用自転車利用回数	1,279	1,002	839	707	546
2 km未満公用車利用回数	313	362	348	322	304
公用自転車利用率（%）	80.3	73.5	70.7	68.7	64.2

※公用自転車利用率＝公用自転車利用回数／（2 km未満公用車利用回数＋公用自転車利用回数）

事業名	普通財産管理事業			
担当課	管理契約課		総合振興計画コード	6313-03
款	02	総務費	当初予算額	10,908,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	10,908,000円
目	05	財産管理費	決算額	6,375,185円
事業の目的	市有財産の有効活用を図るため、適正な維持管理を推進する。	事業の概要	・固定資産台帳による市有財産管理及び財産規則等に基づく公表。 ・普通財産（土地・建物）の適正管理。 ・政教分離が必要な物件への適正な対応。 ・除草、剪定、消防設備点検、各種修繕、火災保険及び光熱水費の支払いなどの維持管理。	

事業の実績・成果

・加須市が所有する普通財産について、除草・樹木剪定等を行い適正な維持管理業務に努めた。また、用途廃止された法定外公共物の売り払いを実施し、財源確保に努めた。

1　普通財産管理に係る主な歳出

(1)修繕関係	・旧給食センター管理地柵修繕	27,000円	
	・旧食肉センターフェンス修繕	81,800円	
	・第二保育所跡地裏側部分撤去修繕	22,000円	
	・県立北川辺高等学校跡地記念碑車止め修繕	118,800円	
	・東ケ丘駐車場区画整備工事	121,000円	
(2)役務関係	・建物火災保険料（久下会館ほか）	189,239円	
(3)委託関係	・除草	3,046,127円	(45箇所)
	・樹木剪定	871,200円	(3箇所)
	・売払いのための不動産鑑定	218,400円	(5件)
	・東ヶ丘駐車場区画看板作成	41,250円	
(4)土地借上料	・旧農業振興センターほか	740,635円	

2　普通財産に係る主な歳入

(1)一畝歩用水路使用料及び電柱占用料	611,361円	(11件)
(2)市有財産使用証明等手数料	450円	(3件)
(3)市有財産境界証明書手数料	600円	(4件)
(4)土地建物貸付収入	4,856,264円	(44件)
(5)駐車場貸付収入	2,036,000円	(67台)
(6)土地売払い収入（法定外公共物）	2,841,603円	(7件)
(7)土地売払い収入（普通財産）	167,368,145円	(2件)
(8)諸収入（送電線下補償）	205,640円	(1件)

3　普通財産の貸付及び売払い状況

貸付収入		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	件数（件）	113	117	127	120	111
	金額（円）	6,806,598	6,864,568	7,166,377	6,925,947	6,892,264

売払収入		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	件数（件）	16	23	26	13	9
	金額（円）	29,504,955	103,361,350	76,973,503	10,134,586	170,209,748

事 業 名		普通財産管理事業【繰越明許】			
担 当 課		管理契約課		総合振興計画コード	6313-03
款	02	総務費		当 初 予 算 額	98,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	98,000 円
目	05	財産管理費		決 算 額	97,200 円
事業の目的	市有財産の有効活用を図るため、適正な維持管理を推進する。		事業の概要	・大辻駐車場の出入り口の交通安全のため、路面標示の設置工事を実施する。	

事業の実績・成果

大辻駐車場の出入り口において、交通安全の確保のため、路面標示を設置することにより、交通安全の確保を図り、市有財産の適正な維持管理を図った。

路面標示設置（区画線、文字）　　1か所

事 業 名		普通財産活用推進事業			
担 当 課		管理契約課		総合振興計画コード	6313-04
款	02	総務費		当 初 予 算 額	2,271,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	2,271,000 円
目	05	財産管理費		決 算 額	1,010,640 円
事業の目的	健全な財政基盤による自治体経営の実現のため、市有財産の有効活用を推進する。		事業の概要	未利用財産の適正な利活用を計画的に推進するため、「未利用財産の利活用基本方針」に基づき、対象となる未利用普通財産の利活用を実施する。	

事業の実績・成果

・加須市が所有する普通財産のうち、学校法人開智学園との覚書に基づく貸付契約満了に伴う売却のほか、未利用普通財産の抽選による公売を実施した。

1　取組実績

(1)学校法人開智学園への覚書に基づく貸付契約満了に伴う売却

①対象物件　土地　加須市麦倉字本村東1238番1（地目：学校用地、地積：35,229㎡）
　　建物　校舎ほか9棟（合計床面積：8,901.16㎡）

②契 約 日　令和元年11月8日（仮契約）
　　令和元年11月29日（加須市議会の議決を得て、本契約）

③売 却 額　165,707,915円

(2)抽選による公売

①対象物件　根古屋歩道橋予定地（所在地：根古屋651番9、地目：公衆用道路、地積：83.85㎡）

②告 示 日　令和元年7月1日

③受付期間　令和元年8月1日から16日

④抽 選 日　令和元年8月23日

⑤契 約 日　令和元年9月2日

⑥売 却 額　1,660,230円

2 不動産鑑定

(1)根古屋歩道橋予定地（根古屋651番9）

抽選による公売を前提とした不動産鑑定を実施した（不動産鑑定料：156,600円）。

3 測量等

(1)学校法人開智学園（麦倉字本村東1238番）

学校法人開智学園との覚書に基づく貸付契約満了に伴う売却に向けた測量・分筆及び登記等を学校法人開智学園の負担にて実施し、建物図面の一部更正に伴う建物図面の訂正を実施した（建物図面更正：55,000円）。

4 旧騎西コミュニティセンター利活用庁内検討委員会の開催

関係課を交えて第1回　旧騎西コミュニティセンター利活用庁内検討委員会を令和元年12月10日に開催し、今後の利活用に係る課題等について協議した。

5　未利用普通財産の利活用実施件数　（単位：件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利活用実施件数	0	6	2	0	2

事業名	車両管理事業			
担当課	総務課		総合振興計画コード	6313-05
款	02	総務費	当初予算額	15,121,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	15,121,000円
目	05	財産管理費	決算額	11,357,594円
事業の目的	・定期的な点検整備により安全性を確保するため、総括的配車管理により、保有する車を効率的に利用する。	事業の概要	・古い車や修繕等では対応しきれない車を把握のうえ、環境基準に合った車を整備し、廃車に伴う買替えを行う。 ・庁内のネットワークを利用し、車両の利用状況の把握や管理を徹底する。 ・公用自動車の毎月の利用状況を報告書等で確認し、組織に応じた適正な配車体制を図る。	

事業の実績・成果

○車両買い替え時に低燃費、低排出ガス車への切り替えを進める中、昨年度と比べ、市全体で7台の車両の入替え等を行い、燃費の節約や環境への配慮を図った。

・低公害車車両の割合：令和元年度末の低公害車134／保有車243台 ＝ 55.1%

1　共用車維持管理費用

(1) 燃料費

【本庁舎】令和元年度管理台数　23台（総務課）

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ガソリン	購入量（ℓ）	13,286	15,265	14,915	14,546	13,211
	支払額（円）	1,849,211	2,007,018	2,077,386	2,217,281	1,964,987
	平均単価(円)	139	131	139	152	149
軽油	購入量（ℓ）	2,893	3,065	3,439	3,726	3,744
	支払額（円）	326,113	323,900	389,626	484,305	467,240
	平均単価(円)	113	106	113	129	125

【騎西総合支所】令和元年度管理台数　4台（地域振興課）

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ガソリン	購入量（ℓ）	3,244	3,385	2,825	2,002	1,520
	支払額（円）	452,846	447,401	395,243	305,487	229,509
	平均単価(円)	140	132	140	153	151

【北川辺総合支所】令和元年度管理台数　11台（地域振興課）

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ガソリン	購入量（ℓ）	7,764	6,325	5,695	6,605	5,879
	支払額（円）	1,073,235	828,746	797,796	1,005,836	884,433
	平均単価(円)	138	131	140	152	150
軽油	購入量（ℓ）	1,115	674	500	587	597
	支払額（円）	131,837	75,252	58,224	75,861	76,421
	平均単価(円)	118	112	116	129	128

【大利根総合支所】令和元年度管理台数　10 台（地域振興課）

年　　度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
ガソリン	購 入 量（ℓ）	5,615	4,651	4,386	4,035	3,483
	支 払 額（円）	787,186	630,440	599,551	613,067	524,960
	平均単価(円)	140	136	137	152	151
軽油	購 入 量（ℓ）	552	286	294	239	242
	支 払 額（円）	64,446	31,039	34,018	31,048	30,600
	平均単価(円)	117	109	116	130	126

＊車両管理事業全体の燃料費は、4,178,150 円

(2) 修繕料　　2,995,363 円（車検費用、車両修繕費用）

(3) 保険料　　1,505,189 円（任意保険料、自賠責保険料）

2　バス運転業務

年　　度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
市所有中型バス	運行日数(日)	121	105	112	111	101
	走行距離(㎞)	8,005	8,981	9,396	10,175	10,011
レンタカーバス	運行日数(日)	6	4	8	9	3
	借上料（円）	194,214	127,730	260,691	283,332	108,173

※レンタカーバスについては、同日に複数の行事等によるバス運転業務が重複した場合に限り利用している。

3　ドライブレコーダーの設置

交通事故発生時における原因究明に役立てるとともに、防犯カメラとして地域の防犯に寄与するため、重要度や使用頻度等に応じてドライブレコーダーを設置した。

・令和元年度設置台数　3 台

4　公用車安全運転のための助言検査の実施（あいおいニッセイ同和損保㈱との相互連携事業）

(1) 検査目的

公用車の事故を抑制するとともに、自分の運転特性に気づき、安全運転に努めていただく。

(2) 実施時期　令和元年 8 月

(3) 対 象 者　職員 845 人

(4) 検査方法　KM式安全運転助言検査

事 業 名		庁舎維持管理事業		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	6313-07
款	02	総務費	当　初　予　算　額	173,875,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	175,025,000 円
目	05	財産管理費	決　　算　　額	164,657,006 円
事業の目的	・施設内の安全性の確保及び施設の長寿命化を図るため、庁舎の故障や不具合の有る箇所の修繕や保全のための点検・改修を実施する。		事業の概要	・庁内の総合管理体制を整備し、施設の長寿命化のため、修繕箇所に優先順位をつけ、効率的に修繕を行う。 ・空調設備の温度設定や使用時間の徹底など、経常経費の削減に努める。 ・庁舎における禁煙、分煙を徹底する。

事業の実績・成果

○庁舎を適正に維持管理する上で設備の点検を行いながら、故障や不具合があった場合において、効率的な修繕等を行うことにより、施設の適正な維持管理を行った。

1　庁舎管理委託費

(1) 本庁舎　　：庁舎総合管理、電話交換設備保守委託、駐車場除草等　87,685,575 円
(2) 騎西総合支所　：庁舎総合管理、電話交換機等保守委託、整枝・剪定等　11,170,035 円
(3) 北川辺総合支所：庁舎管理、整枝・剪定、除草　4,777,425 円
(4) 大利根総合支所：庁舎管理、電話交換機等保守委託、除草、剪定　4,851,921 円

2　修繕費

【本庁舎】修繕工事一覧表（総務課）

No.	修繕工事名	施工業者又は件数等	費　用
1	本庁舎駐車場高木支柱緊急修繕	㈲帯津造園	604,800 円
2	本庁舎冷温水発生機冷温水差圧スイッチ修繕	三菱重工冷熱㈱	693,000 円
3	本庁舎 5 階厚生室 1 エアコン緊急修繕	㈱大熊電気工事	1,100,000 円
－	その他修繕（50 万円未満）	24 件	3,027,361 円
	合　　計		5,425,161 円

【騎西総合支所】修繕工事一覧表（地域振興課）

No.	修繕工事名	施工業者又は件数等	費　用
1	プラザきさい電気設備更新修繕	村田電気工業㈱	1,036,800 円
－	その他修繕（50 万円未満）	5 件	207,626 円
	合　　計		1,244,426 円

【北川辺総合支所】修繕工事一覧表（地域振興課）

No.	修繕工事名	施工業者又は件数等	費　用
－	50 万円未満修繕	6 件	258,040 円

【大利根総合支所】修繕工事一覧表（地域振興課）

No.	修繕工事名	施工業者又は件数等	費　用
1	大利根総合支所南棟外壁西面雨漏り修繕	㈱久保田建設	1,090,800 円
－	その他修繕（50 万円未満）	1 件	34,840 円
	合　　計		1,125,640 円

3　電気料金、使用量・使用量増減率の推移

〇電気料金の削減を図るため、平成24年度から特定規模電気事業者（ＰＰＳ）を活用し、令和元年度末現在、79の公共施設においてＰＰＳから供給を受けている。

〇電気使用量の削減を図るため、蛍光灯の間引き、エレベーター使用台数の制限等を行い、節電に努めた。（平成22年度比　▲26.9%）

〔参考〕節電行動プランにおける目標：平成22年度電気使用量（1,588,407kwh）の15%削減

施設	項　　目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
本庁舎	電気料金（円）	14,887,381	13,067,939	15,465,035	16,273,289	16,942,227
	電気使用量（kwh）	787,377	817,065	847,889	807,216	830,554
	使用量増減率(%)※	▲0.2	3.8	3.7	▲4.7	2.9
騎西総合支所	電気料金（円）	4,703,286	3,692,671	3,079,249	3,488,728	3,355,591
	電気使用量（kwh）	217,184	188,860	132,162	137,467	135,858
	使用量増減率(%)※	▲1.7	▲13.0	▲30.0	4.0	▲1.2
北川辺総合支所	電気料金（円）	2,524,264	1,972,564	1,883,500	2,077,692	2,068,351
	電気使用量（kwh）	109,882	79,385	97,697	97,787	96,216
	使用量増減率(%)※	▲4.9	▲27.8	23.1	0.09	▲1.6
大利根総合支所	電気料金（円）	2,194,968	1,932,205	1,965,556	2,084,295	2,151,561
	電気使用量（kwh）	102,574	100,811	98,783	96,073	99,159
	使用量増減率(%)※	▲3.2	▲1.7	▲2.0	▲2.7	3.2
計	電気料金（円）	24,309,899	20,665,379	22,393,340	23,924,004	24,517,730
	電気使用量（kwh）	1,217,017	1,186,121	1,176,531	1,138,543	1,161,787
	使用量増減率(%)※	▲1.8	▲2.5	▲0.8	▲3.2	2.0

※前年度の電気使用量と比較した増減率（%）

4　光熱水費等維持管理費の推移

【本庁舎】（総務課）

年　　度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
電気料	使用量（kwh）	787,377	817,065	847,889	807,216	830,554
	支払額（円）	14,887,381	13,067,939	15,465,035	16,273,289	16,942,227
電　話　料　（円）		5,437,592	5,445,733	5,162,973	5,130,967	5,125,229
水道料	使用量（㎥）	5,943	5,937	5,791	5,536	5,673
	支払額（円）	1,694,488	1,677,980	1,635,453	1,561,551	1,514,768
下水道使用料（円）		867,360	867,605	845,433	806,713	781,867
A重油（冷暖房用）	購入量（ℓ）	44,000	56,000	61,000	60,000	55,000
	支払額（円）	2,227,693	2,765,937	3,640,336	4,531,248	3,820,485
	平均単価(円)	50.6	49.4	59.6	75.5	69.5
合計支払額（円）		25,114,514	23,825,194	26,749,230	28,303,768	28,184,576

【騎西総合支所】（地域振興課）

年　　度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
電気料	使用量（kwh）	217,184	188,860	132,162	137,467	135,858
	支払額（円）	4,703,286	3,692,671	3,079,249	3,488,728	3,355,591
電　話　料　（円）		930,131	806,578	714,186	675,781	664,522
水道料	使用量（㎥）	1,675	1,773	1,206	1,069	1,074
	支払額（円）	427,695	455,318	298,242	263,310	269,025
下水道使用料（円）		143,446	131,134	132,832	114,213	118,481
合計支払額（円）		6,204,558	5,085,701	4,224,509	4,542,032	4,407,619

【北川辺総合支所】（地域振興課）

年　　度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
電気料	使用量（kwh）	109,882	79,385	97,697	97,787	96,216
	支払額（円）	2,524,264	1,972,564	1,883,500	2,077,692	2,068,351
電　話　料　（円）		1,089,835	851,182	849,265	881,121	851,766
水道料	使用量（㎥）	754	620	420	473	503
	支払額（円）	176,556	137,509	123,696	133,978	140,774
合計支払額（円）		3,790,655	2,961,255	2,856,461	3,092,791	3,060,891

【大利根総合支所】（地域振興課）

年　　度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
電気料	使用量（kwh）	102,574	100,811	98,783	96,073	99,159
	支払額（円）	2,194,968	1,932,205	1,965,556	2,084,295	2,151,561
電　話　料　（円）		1,247,800	1,324,032	1,020,593	884,130	826,574
水道料	使用量（㎥）	548	430	395	398	408
	支払額（円）	124,505	98,732	92,006	92,556	95,100
合計支払額（円）		3,567,273	3,354,969	3,078,155	3,060,981	3,073,235

事 業 名		公共施設等再整備基金事業		
担 当 課		財政課	総合振興計画コード	6315-05
款	02	総務費	当　初　予　算　額	2,881,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	169,904,000 円
目	05	財産管理費	決　　算　　額	169,255,089 円
事業の目的	公共施設等の整備・改修計画に位置づけられたもののほか、今後発生する一般的な公共施設等の建替え又は改修等を目的とした経費に充てる財源として、計画的に基金に積み立てるとともに、適時必要額を活用する。		事業の概要	今後予定されている公共施設等の整備・改修計画、必要額を把握し、その財源として前年度繰越金の一部を基金へ積み立てる。

事業の実績・成果

運用から生じた収益（利子）について、同基金へ積み立てた。

【年度末基金残高の推移】　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
取り崩し額	1,645,955,133	2,772,816,323	1,025,711,743	381,806,435	619,152,184
積み立て額	1,100,000,000	382,698,000	601,330,485	892,536	167,022,530
利　　子	20,846,738	8,918,455	2,339,293	2,968,495	2,232,559
年度末残高	5,402,558,623	3,021,358,755	2,599,316,790	2,221,371,386	1,771,474,291

※　令和元年度は、クリーンセンターの施設修繕、幹線道路整備、小中学校施設整備などの財源として619,152,184円取り崩した。

事 業 名		財政調整基金・市債管理基金事業		
担 当 課		財政課	総合振興計画コード	6315-06
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,798,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	126,698,000 円
目	06	財政調整基金費	決 算 額	126,534,858 円
事業の目的	災害復旧、市債の繰上償還、その他財源の不足を生じた時のために基金を積み立てるとともに、計画的に必要額を活用する。	事業の概要	預金利子を一般会計に収入した後、基金へ積み立てる。また、必要に応じて基金を取り崩し、一般会計に繰り入れる。	

事業の実績・成果

財政調整基金及び市債管理基金の管理を行い、将来の財源不足に備えるため積み立てを行った。
また、運用から生じた収益（利子）について、同基金へ積み立てた。

【年度末基金残高の推移】

1　財政調整基金（現金分）　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
取り崩し額	0	0	627,310,000	189,900,000	27,039,000
積み立て額	100,000	100,000	100,000	601,100,000	125,000,000
利子及び配当金	28,599,881	5,092,974	1,672,469	2,898,042	1,190,707
債券から現金に切り替え	420,000,000	200,000,000	10,000,000	0	0
現金から債券に切り替え	0	0	100,000,000	100,000,000	0
年度末残高	2,641,003,005	2,846,195,979	2,130,658,448	2,444,756,490	2,543,908,197

※　合併 10 周年記念事業のため、27,039,000 円取り崩した。

2　市債管理基金　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
取り崩し額	34,130,000	73,760,000	12,514,000	381,004,000	38,346,000
積み立て額	0	0	0	0	0
利　　子	1,014,653	925,667	742,434	535,625	344,151
年度末残高	966,538,993	893,704,660	881,933,094	501,464,719	463,462,870

※　騎西中学校大規模改修にかかる平成 21 年度借入れ（銀行等引受資金）の繰上償還財源として 38,346,000 円取り崩した。

事 業 名		総合教育会議運営事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	1211-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	28,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	28,000 円
目	07	企画費	決 算 額	19,400 円
事業の目的	地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、総合教育会議を適切に運営する。		事業の概要	市長と教育委員会により構成する、総合教育会議を開催し、以下の事項を協議・調整する。 ①加須市人づくりプランの進行管理 ②教育の条件整備など重点的に講ずべき施策 ③児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置

事業の実績・成果

○設置の経緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成 27 年 4 月 1 日から、全ての地方公共団体に市長と教育委員会で構成される「総合教育会議」の設置が義務付けられた。

本会議は、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的とし、令和元年度は以下のとおり会議を開催した。

○開催回数　3 回（7 月 1 日、10 月 3 日、2 月 5 日）

○構 成 員　市長、教育長及び教育委員

○令和元年度の協議事項

・「加須市人づくりプラン」の進行管理
・働き方改革に伴う勤務時間内における円滑な業務遂行に向けて
・新学習指導要領における授業時数について
・防災ノート作成計画について
・公立学校適正規模・適正配置についての意見交換

事業名	公共交通バリアフリー化事業			
担当課	政策調整課		総合振興計画コード	2133-01
款	02	総務費	当初予算額	12,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	12,000円
目	07	企画費	決算額	9,700円
事業の目的	年齢や障害の有無に関わらず、誰もが公共交通を利用できるよう、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、公共交通のバリアフリー化を促進する。	事業の概要	公共交通事業者に対し、駅舎等バリアフリー化を要望するとともに、バリアフリー化の改修を支援し、公共交通のバリアフリー化を図る。	

事業の実績・成果

公共交通事業者に対し、駅舎等のバリアフリー化の要望活動を行った。また、埼玉県、東武鉄道株式会社と連携し、駅ホーム声かけサポート講習会を開催した。

○東武日光線柳生駅のバリアフリー化（エレベーター、多機能トイレの設置）に関する要望活動
・平成31年4月23日　東武鉄道株式会社に対して加須市単独での要望書を書面にて提出した。

○駅ホーム声かけサポート講習会の開催
・令和元年6月7日　市民プラザかぞ及び東武伊勢崎線加須駅にて、埼玉県、東武鉄道株式会社と連携し、視覚に障がいのある方が駅ホームからの転落や列車との接触などの事故に遭わないよう、積極的に声かけをしていただくための声かけサポート講習会を開催し、22名の方に参加いただいた。

事業名	新市街地開発調整事業			
担当課	政策調整課		総合振興計画コード	3211-03
款	02	総務費	当初予算額	1,068,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,060,527円
目	07	企画費	決算額	880,000円
事業の目的	計画的に適正な土地利用を推進するため、地域の特性を活かした秩序ある整備と発展を図る。	事業の概要	「土地利用に係る庁内連絡会議」を開催し、関係課と情報や課題を共有し、土地利用の計画的な推進に向けて調整・連携を図る。また、県をはじめとする関係機関との協議を進める。	

事業の実績・成果

土地利用に係る庁内連絡会議を開催し、総合振興計画の土地利用構想に基づき、計画的な土地利用の推進を図った。
また、「加須駅南口周辺地域まちづくり検討基礎調査」を実施した。

○土地利用に係る庁内連絡会議の開催回数　3回

○加須駅南口周辺地域まちづくり検討基礎調査
・目的　加須駅南口周辺において、埼玉県済生会加須病院を核とし、周辺に賑わいのあるまちづくりを進めるため、都市計画法や農地法等の適用状況や道路等の基礎整備状況などを整理した上で、まちづくりの方向性について具体的な検討を進めるための課題抽出を行う。
・調査対象地区　約142ha

事 業 名		居住ＵＩＪターン促進事業		（総合戦略）
担 当 課		建築開発課	総合振興計画コード	3213-06
款	02	総務費	当　初　予　算　額	1,251,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	1,251,000 円
目	07	企画費	決　　算　　額	723,140 円
事業の目的	「水と緑と文化の調和した元気都市・かぞ」の実現を目指し、居住ＵＩＪターンに取り組み、市外からの移住や市内に住む親族との同居・近居を促進・支援して定住人口を確保する。 また、親族との同居・近居は、親族間での生活支援等（子育て・介護・経済）が可能となることから、相互の安心・安全な生活の確保と本市の活性化を実現する。	事業の概要	市外からの転入者及び市内で親族との同居・近居をしようとする者を定住コンシェルジュがサポートし、住宅開発する際の開発許可申請手数料等の免除、引越費用の一部助成、加須産米の贈呈を行い移住・定住を促進する。	

事業の実績・成果

１ 定住コンシェルジュを配置し市外からの転入者及び市内で親族との同居・近居をしようとする者に対して、適切なアドバイスを行った。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
受付件数（件）	228	123	122	132

２ 住宅開発する際の開発許可申請手数料等の免除を行った。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
対象件数（件）	63	54	56	43
手数料免除金額（円）	884,240	788,920	839,000	657,700

３ 市内に自己用住宅を取得して転入する中学生以下の子と同居する親子に引越し費用の一部助成を行った。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
助成件数（件）	32	58	63	46
助成金額（円）	274,000	514,000	546,000	445,000

４ 市内に転入する中学生以下の子と同居する親子に、中学生以下の子１人につき２ｋｇの加須産米引換券の贈呈を行った。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
贈呈件数（世帯）	319	298	306	315
贈呈量（kg）	912	850	906	940
引換量（kg）	382	714	620	572
決算（円）	151,200	283,780	258,400	241,080

事 業 名		公共交通輸送力増強等促進事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	3225-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	12,440,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	12,447,473 円
目	07	企画費	決 算 額	11,464,673 円
事業の目的	市民が安全、便利、快適に移動できるよう、公共交通の維持・充実を図るため、公共交通の輸送力増強等を促進する。		事業の概要	東武伊勢崎線・日光線輸送力増強等、地下鉄 7 号線延伸、東北新幹線久喜駅設置など、公共交通の輸送力増強等に関する要望活動及び交通施策の調査・研究を行う。 また、路線バス・タクシー等の維持・存続に向けて事業者等との協議を進める。

事業の実績・成果

交通政策関連協議会等に参画し、要望活動を実施した。また、民間路線バス（東鷲宮駅西口～豊野コミュニティセンター線）について、新たな需要創出を図るための事業者の取組に対し、埼玉県との協調により補助金を交付し、路線の維持・充実を図った。

○久喜駅での東武伊勢崎線と東北本線の相互直通運転化に関する要望活動
- 平成 31 年 4 月 23 日　東武鉄道株式会社に対して加須市単独での要望書を書面にて提出した。
- （東日本旅客鉄道株式会社大宮支社への要望活動は、令和 2 年 3 月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

○埼玉県を通じての鉄道整備要望（令和元年 11 月　県交通政策課取りまとめ）

○東武伊勢崎線輸送力増強推進協議会での要望活動
- 令和元年 10 月 28 日　東武鉄道株式会社に対して「東武伊勢崎線輸送力改善に関する陳情書」を書面にて提出した。

○地下鉄 7 号線建設誘致期成同盟会での要望活動
- 令和元年 11 月 11 日　国土交通大臣をはじめとする政務三役及び関係する国会議員に対して「高速鉄道東京 7 号線の建設促進及び延伸誘致に関する要望書」を書面にて提出した。
- 令和元年 11 月 22 日　埼玉県知事及び埼玉県議会議長並びに関係する県議会議員に対して「高速鉄道東京 7 号線の建設促進及び延伸誘致に関する要望書」を書面にて提出した。

○東北新幹線久喜駅設置促進期成同盟会での要望活動
- 令和元年 12 月 17 日　東日本旅客鉄道株式会社大宮支社及び埼玉県に対して「東北新幹線久喜駅設置に関する陳情書」を書面にて提出した。

○民間路線バス需要創出事業補助制度による運行費用の補助
- 朝日自動車株式会社が運行する路線バス「東鷲宮駅西口～豊野コミュニティセンター線」について、運行費用の一部について、県・加須市・久喜市の協調による補助を実施し、利用者の増加を図った。

（年間延べ利用者数）　（単位：人）

平成 30 年度	令和元年度	増加数
193,613	213,820	20,207

事 業 名		栗橋駅橋上駅舎起債償還事業			
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	3225-02
款	02	総務費		当 初 予 算 額	20,183,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	20,183,000 円
目	07	企画費		決 算 額	20,182,881 円
事業の目的	公共交通の維持・充実を図るため、平成 12 年の栗橋駅西口開設に伴い、自由通路、西口駅前広場を整備した際に締結した協定書に基づき、旧栗橋町が起債した公債費の精算を行う。		事業の概要	栗橋駅の自由通路、駅前広場の整備に伴い、旧栗橋町が起債した公債費のうち、旧大利根町が負担すべき償還金に相当する額（50%）を久喜市に負担金として支払う。	

事業の実績・成果

栗橋駅西口の開設に伴う自由通路及び西口駅前広場整備に係る負担金を協定書に基づき久喜市に支払った。

○負担金支払い期間　　平成 12 年度から令和 3 年度までの 22 年間

○直近 5 年間の負担金支払い状況　　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
負担金支出額	20,012,881	20,182,881	20,182,881	20,182,881	20,182,881

事 業 名		コミュニティバス運行事業			（総合戦略）
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	3225-03
款	02	総務費		当 初 予 算 額	82,299,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	82,288,949 円
目	07	企画費		決 算 額	77,647,652 円
事業の目的	高齢者等、交通弱者の病院・公共施設等への移動手段を確保し、公共交通の維持・充実を図るため、コミュニティバスを運行する。		事業の概要	市民等との協働により策定した「地域公共交通総合連携計画」に基づき、市全域（栗橋駅西口を含む）を運行エリアとして、デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの 3 つの運行方式によるコミュニティバスを運行するとともに、より市民に利用しやすいコミュニティバスとなるよう随時運行改善を実施する。	

事業の実績・成果

病院・公共施設等への移動手段の確保や、公共交通不便地域の解消を図るため、デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの 3 つの運行方式でコミュニティバス「かぞ絆号」を運行した。

○コミュニティバス「かぞ絆号」の 1 日平均利用者数　　（単位：人）

区　　分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
デマンド型乗合タクシー	北エリア	8.2	8.5	7.8
	中エリア	60.5	64.3	61.8
	南エリア	42.4	43.4	42.3
	小　計	111.1	116.2	111.9
シャトルバス	新古河駅西口発	10.9	9.6	8.7
	プラザきさい発	9.0	7.8	7.9
	小　計	19.9	17.5	16.6
循環バス	西循環	15.9	17.2	16.8
	東循環	50.0	56.2	55.9
	小　計	65.9	73.3	72.7
合　　計		196.9	207.0	201.2

端数処理の都合により合計が一致しない箇所がある。

事 業 名		渡良瀬遊水地活用推進事業			（総合戦略）
担 当 課		環境政策課		総合振興計画コード	4212-06
款	02	総務費		当 初 予 算 額	3,963,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	3,963,000 円
目	07	企画費		決 算 額	3,674,266 円
事業の目的	地域の振興と活性化を図るため、ラムサール条約湿地として登録された渡良瀬遊水地のワイズユース（賢明な利用）を推進する。		事業の概要	渡良瀬遊水地利活用推進計画を推進し、環境を保全しながら観光拠点としての活用を図る。	

事業の実績・成果

1　渡良瀬遊水地利活用庁内推進委員会の開催

渡良瀬遊水地利活用庁内推進委員会を開催し、渡良瀬遊水地利活用推進計画の進行管理及び渡良瀬遊水地中核施設等一体的管理（指定管理）の対応等を協議した。

・委員数　16 人

【第 1 回】　開催日　令和元年 7 月 3 日（水）

内　容　事業の進捗状況及び渡良瀬遊水地中核施設等一体的管理経過報告について

2　渡良瀬遊水地利活用推進委員会（外部委員会）の開催

渡良瀬遊水地利活用推進委員会を開催し、渡良瀬遊水地利活用推進計画の進行管理及び渡良瀬遊水地中核施設等一体的管理（指定管理）の対応等を協議した。

・委員数　14 人

【第 1 回】　開催日　令和元年 7 月 22 日（月）

内　容　事業の進捗状況及び渡良瀬遊水地中核施設等一体的管理経過報告について

3　渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座の開催

渡良瀬遊水地を案内するガイドを養成するため、栃木市、板倉町との共催で渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座（初級年間 10 回）を開催した。

4　渡良瀬遊水地ロゴマークの活用

渡良瀬遊水地の価値や魅力を高め、親しみを深めてもらうために、渡良瀬遊水地保全・利活用協議会で作成した、渡良瀬遊水地ロゴマークをイベントの周知等で活用した。

渡良瀬遊水地ロゴマーク

5　「渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会」　負担金　16,000 円

連絡会会員（栃木市、小山市、野木町、加須市、古河市、板倉町）及び事務局である（一財）渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団と調整を行い、令和 2 年 3 月 21 日（土）にヨシ焼きを実施した。

6　合併 10 周年記念渡良瀬遊水地まつり in　KAZO

令和元年 10 月 6 日（日）　午前 10 時～午後 3 時

来場者数　4,500 人

7　渡良瀬遊水地中核施設一体的指定管理の開始

民間活力を活用し、三県境を含めた一体的管理を開始

・「道の駅かぞわたらせ」（プレ）オープン　令和元年 4 月 19 日

・リニューアルオープン式典　令和元年 4 月 25 日

・「道の駅かぞわたらせ」完全オープン　令和元年 5 月 1 日

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">ふるさと融資活用事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td>政策調整課</td><td>総合振興計画コード</td><td>5122-10</td></tr>
<tr><td>款</td><td>02</td><td>総務費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>120,000,000 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>01</td><td>総務管理費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>120,000,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>07</td><td>企画費</td><td>決 算 額</td><td>115,000,000 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">市が民間金融機関と共同で地域振興に資する民間事業活動を支援し、活力と魅力ある地域づくりを推進する。</td><td>事業の概要</td><td>（一財）ふるさと財団のふるさと融資を活用し、民間事業者等の設備投資に係る無利子資金の貸付を行う。
・市が起債し、返済する利子については、75%分が特別交付税で措置
・借入額は、対象事業費の 35%が限度
・民間金融機関とのセットでの借入が条件
・新規雇用の確保、公益性及び事業採算性の観点から実施されるものが対象</td></tr>
<tr><td colspan="5">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="5">地域振興に資する事業を行う民間事業者を支援するため、一般財団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）の制度である地域総合整備資金貸付金（ふるさと融資）を活用して、市が民間金融機関と共同して無利子の資金貸付を行うことで、活力と魅力ある地域づくりの推進を図った。

○融資（貸付）事業者　医療法人藍生会
○事業内容　患者の療養環境の改善を図るため、不動ヶ丘病院の病棟の建替等を行う医療法人藍生会に対し、平成 30 年度（416,000 千円）に続き、融資（貸付）を行った。
○融資（貸付）額　115,000,000 円
※融資（貸付）額は、医療法人藍生会から 15 年で償還
○その他　市が負担する利子の 75%が特別交付税措置</td></tr>
</table>

事業名	協働推進事業			（総合戦略）
担当課	市民協働推進課		総合振興計画コード	6131-01
款	02	総務費	当初予算額	163,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	163,000円
目	07	企画費	決算額	52,373円
事業の目的	将来にわたり自助・共助の精神が根づいた自立したまちをつくるため、市民、団体、企業や行政など相互の協働を推進する。	事業の概要	加須市協働によるまちづくり推進条例に基づく各取組 ・次世代のまちづくりリーダーを発掘・育成する協働実践塾を立上げる。 ・必要に応じ、まちづくり市民会議の運営を支援する。 ・庁内の連携を図り市民等との協働を進めるため、庁内推進体制の確立を図る。 ・各課事務事業の協働の推進に係る啓発を行う。	

事業の実績・成果

○加須市協働によるまちづくり推進条例に基づく庁内の協働体制づくりの推進
・各課に協働によるまちづくり推進員を配置した。
・一般財団法人 地域活性化センターとの連携により、協働によるまちづくり推進員等を対象とする講演会を開催し、庁内の協働体制づくりの推進を行った。

○協働によるまちづくりの周知
・毎月広報紙に協働NEWSとして、その時々の協働事業に関連する話題を掲載することで、市民に対する啓発を行った。

○まちづくり市民会議の実践形式についての検討
・主体的にアクションを起こせる市民会議とするため、現状について一から見直し、内容や開催方法について検討を実施し、令和2年度の開催に向けて概要等を整理した。

【繰越明許　令和元年度から令和2年度へ繰り越す理由】
「地域のミライ創造フォーラム」講師謝金（繰越明許額　50,000円）
令和2年3月20日開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度（開催時期未定）に延期となったことにより繰り越した。

事 業 名		地域市民活動促進事業			（総合戦略）
担 当 課		市民協働推進課		総合振興計画コード	6131-04
款	02	総務費		当 初 予 算 額	5,900,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	5,900,000 円
目	07	企画費		決 算 額	4,708,891 円
事業の目的	協働によるまちづくりを推進するために、市民の自主的・主体的な活動を支援する。		事業の概要	・市民の自主的、主体的な地域市民活動への参加を促進し、協働によるまちづくりを推進する。 ・「まちづくりネットワーク・かぞ」との協働運営に基づき、市民活動ステーションを拠点とした市民活動への参加促進を図る。 ・地域市民活動支援補助金を活用し、団体の育成及び自立支援を行う。	

事業の実績・成果

各地域で自主的に活動している市民活動団体に対し、人材育成や団体の成長に合わせた助成、情報の提供等を支援することにより、各種市民活動団体の自立促進を図った。

■地域市民活動支援補助金　445,000 円

≪はじめよう部門≫

団 体 名	補助金額（円）	概 要
みんなのちからいいね倶楽部（加須）	96,000	〈介護者支援〉 ストレス緩和や社会参加、仲間づくりを目的として、ものづくりを取り入れたコミュニケーションの場を提供することで、介護者の負担軽減に寄与した。
ニコニコカフェまみぃさんと一緒（加須）	71,000	〈介護者支援〉 介護者の悩み相談や居場所づくりを目的として、ものづくりを取り入れたコミュニケーションの場を提供することで、介護者の負担軽減に寄与した。
市民まつりフラの会（加須）	93,000	〈健康増進〉 フラダンスの教室開催やデイサービス施設への出張講座、市民まつり等での披露を通じて、市民の心身の健康増進に寄与した。

≪そだてよう部門≫

団 体 名	補助金額（円）	概 要
一般社団法人すくすく広場（加須）	180,000	〈子育て支援〉 こども食堂、あそび場、学びの場を提供し、食事や学習の支援を行うことで、地域の子どもたちに居場所を与え、子どもたちの健全な育成に寄与した。
子育てママ　はじめの一歩（加須）	5,000	〈子育て支援〉 母親の孤独を解消するため、気軽に話せる場所の提供や、子育て関連の講座等を開催し、子育て世代と地域とのつながりに寄与した。

■まちづくり連携組織補助金　3,946,070円　（単位：円）

団　体　名	補助金額	概　要
まちづくりネットワーク・かぞ	3,946,070	・まちづくり活動支援事業（総会、モデル事業支援、まちづくりフォーラム開催等） ・情報受発信及びスキルアップ事業（まちネット通信発行、まちづくり学習会、まちづくり視察研修（本庄市）開催等） ・市民活動ステーションの管理運営（市民活動団体支援、情報交換・交流事業等）

■市民活動ステーション管理運営費（消耗品費、電話料）　316,741円

■「市民活動フェア」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

【繰越明許　令和元年度から令和２年度へ繰り越す理由】
「市民活動フェア」会場借上料（繰越明許額　24,000 円）
令和２年３月 27 日から 29 日まで開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和２年８月に延期となったことにより繰り越した。

事 業 名		夢・未来応援事業		
担 当 課		市民協働推進課	総合振興計画コード	6131-14
款	02	総務費	当 初 予 算 額	2,461,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	2,461,000 円
目	07	企画費	決 算 額	556,875 円
事業の目的	加須市の未来を担う若者たちの夢を叶えるための挑戦を市民とともに応援することにより、市全体の活気を盛り上げ、もって元気都市かぞの実現を目指す。		事業の概要	夢を叶えるために応募してきた若者たち（市内の中学生～20 歳以下）の挑戦を、一定条件の中で審査し、対象者に夢チャレンジ応援助成金（上限 20 万円）の支給や応援者との接点を作るなど、全市を挙げて応援する。3 年以内に最終成果報告を広報紙や HP に掲載する。

事業の実績・成果

○事業周知（7 月）
・広報紙による周知や校長会において各中学校への PR を行うほか、市内各中学校へ PR チラシを配布
・市内および近隣の高等学校、大学への事業説明を実施し、生徒への周知を依頼

○挑戦者募集期間（8 月 1 日～9 月 30 日）
・市 HP、公式ツイッター、フェイスブックにて募集開始を周知した。
・商工会、まちづくりネットワークかぞへ募集開始について周知するとともに、応募用紙配布協力を依頼した。その他個別に周知活動を行った。

○一次審査：担当及び関係部課長等による書類審査（11 月 18 日）
・応募者：1 人
・一次審査通過者：1 人

○二次審査：公開プレゼンテーション
・日　時：12 月 8 日（日）14 時 00 分～
・場　所：市民プラザかぞ 視聴覚ホール
・審査員：副市長、教育長
　　加須市観光大使 1 人（桜子さん）
　　会場に来場した会場審査員 16 人
・採用決定者：1 人

○令和元年度夢・未来応援事業チャレンジャーとして 1 名への支援を決定
・挑戦したい夢：人の役に立つ音楽家になりたい
・挑戦者：中里　眞大さん（大宮光陵高校）
・理　由：勇気づける音楽や人を癒す音楽など、音楽で人の役に立つことのできる音楽家になりたい。
・今頑張っていること：高校で管弦楽団に所属し、オーケストラ演奏、指揮者を頑張っている。校内外での様々な楽器とのアンサンブル演奏活動にも力を入れている。
・これからチャレンジしたいこと：国内のコンクールだけではなく、さらにレベルの高いコンクールに挑戦し、より多くの素晴らしい音楽に触れ、実力の向上を目指したい。

○応援支援金の支給　539,814 円
・図書館司書：様々な工夫を凝らした図書館の視察に係る交通費及び宿泊費
・音　楽　家：演奏技術向上のため、短期音楽スクール入学に係る費用
・ﾚｰｼﾝｸﾞﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ：技術向上と実践経験を積むため、各種レースへの遠征費等
・大　　工：資格取得に必要な技術取得のための諸講習受講費

○夢への挑戦を応援したいと考えている「夢の応援者（サポーター）」を募集（令和元年度実績 0 件）

事 業 名		家族・地域の絆推進運動事業		（総合戦略）
担 当 課		市民協働推進課	総合振興計画コード	6133-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	207,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	207,000 円
目	07	企画費	決 算 額	99,291 円
事業の目的	市民一人ひとりが家族や地域のつながりを深め、市民相互の信頼関係やコミュニティ意識を高めることにより、地域力の向上を図るとともに、「協働」のまちづくりをさらに深化させる。	事業の概要	絆運動の６つの柱（夢・安心・安全・快適・活力・いきいき）のそれぞれの視点から運動の推進を図る。 ・基本運動 あいさつ運動、えがお運動、おもいやり運動の励行 ・基本行動 市に関わりのあるすべての団体が、「絆」マーク、文言、冠を活用し、運動の展開に努める。	

事業の実績・成果

○ 家族・地域の絆推進運動推進本部

本部員 54 名、参与 3 名、顧問 5 名、合計 62 名の体制で、家族・地域の絆推進運動推進本部会及び 6 つの推進部会を開催するとともに、年間事業を計画及び実施することにより、絆運動の推進を図った。

○広報

市報かぞの協働 NEWS コーナーの中で本運動の事業について開催の案内や報告を行った。

○ ポスター・標語コンクール 、絆エピソード（川柳・作文）

家族・地域の絆推進運動の啓発および PR に活用して運動の一層の推進を図るため、家族や地域の絆の大切さを呼びかけるポスター・標語及び絆エピソード（川柳・作文）を募集した。

（応募総数）

・ポスター　185 作品（小学生 149 作品、中学生 36 作品、一般 0 作品）
・標　　語　3,272 作品（小学生 2,354 作品、中学生 914 作品、一般 4 作品）
・絆エピソード　268 作品（小学生 56 作品、中学生 204 作品、一般 8 作品）

（優秀作品等の表彰）

令和 2 年 3 月 8 日（日）大利根文化・学習センター（アスタホール）多目的ホールにおいて表彰式を開催する予定であったが、新型ウイルス感染拡大防止のため中止となった。

・ポスターおよび標語
　絆大賞　2 作品
　加須市長賞　2 作品
　加須市議会議長賞　2 作品
　推進部会長賞　18 作品
・絆エピソード（作文・川柳）
　最優秀作品賞　2 作品
　優秀作品賞　2 作品
・絆事業表彰

本運動の一層の推進と意識啓発を図るため、6 推進部会で推薦した絆事業を本部会で審査し、計 7 事業を表彰

　絆大賞　1 事業
　加須市長賞　1 事業
　加須市議会議長賞　1 事業
　推進部会長賞　4 事業

（優秀作品の展示）

2 月 6 日から 3 月 8 日までの間、ポスター・標語・絆エピソードの入賞作品を市内施設 5 ヵ所（市民プラザかぞ→みのり→キャッスルきさい→パストラルかぞ→アスタホールの順）にて巡回展示した。

○絆コンサート
　表彰式終了後、家族・地域の絆推進運動絆コンサートを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

○アンケート調査
・本運動がどの程度浸透しているか、アンケート調査を行った。
・調査対象者は、公共施設利用者、市主催イベント参加者及び市内公立小中学生。
・市内公立小中学生については、小学2・5年生及び中学2年生へ行った。

【対象】市内公立小学校22校児童　1,780名、中学校8校生徒　858名、一般　454名
【設問】「あなたは、絆マークを見たことがありますか？」について、「ある」と回答した割合

（単位：%）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
99.3	97.8	98.00	96.6	96.3

事 業 名		広域行政推進事業			（総合戦略）
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	6143-01
款	02	総務費		当 初 予 算 額	30,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	30,000 円
目	07	企画費		決 算 額	30,000 円
事業の目的	広域行政を推進するため、時代のニーズに応じた広域行政の可能性や効果について検討し、推進する。		事業の概要	北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会や関東どまんなかサミット会議に参画し、公共施設の相互利用等を推進する。 また、三県境の利用促進や新橋建設促進に向けた自治体間連携など、新たな広域的な取組を推進する。	

事業の実績・成果

広域的な取組に参画し、公共施設の相互利用等、広域行政の推進を図った。

○北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会
- 公共施設の相互利用：構成市（加須市、行田市、羽生市）の体育施設、図書館等
- 広報紙への共同掲載：各市で開催されるイベント情報の提供
- 「3 市連携体験型ふるさと納税」を実施
- 3 市合同移住定住促進セミナーを実施（令和元年 11 月 2 日（土）ふるさと回帰支援センター）

○関東どまんなかサミット会議
- 令和元年 10 月 15 日　関東どまんなかサミット会議を開催予定であったが、台風 19 号の影響により中止
- 公共施設の相互利用：構成市町（加須市、茨城県古河市、栃木県栃木市、小山市、野木町、群馬県板倉町）の体育施設、図書館等
- 広報紙への共同掲載：各市町で開催されるイベント情報の提供

○久喜市
- 公共施設の相互利用：加須市・久喜市の体育施設、図書館等

○利根川及び渡良瀬川新橋建設促進に向けた自治体間連携
- 令和元年 7 月 30 日　加須・板倉利根川新橋建設促進協議会総会の開催
- 令和元年 12 月 24 日、12 月 25 日　埼玉県及び群馬県に対して、利根川新橋の早期建設及びその架橋に係る幹線道路の整備促進に関する要望書を書面にて提出した。

○三県境の利用促進に係る取組

埼玉県加須市、栃木県栃木市、群馬県板倉町が平成 29 年 5 月 19 日付けで締結した「三県境整備等に関する覚書」に基づき、2 市 1 町が共同し、三県境のＰＲ及び観光資源としての推進を図るため、令和 2 年 3 月 21 日に、三県境 4 周年記念イベント三県境フェアを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

事 業 名		総合振興計画策定事業			
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	6311-01
款	02	総務費		当 初 予 算 額	4,560,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	4,560,000 円
目	07	企画費		決 算 額	3,384,577 円
事業の目的	計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像である「水と緑と文化の調和した元気都市 かぞ」を実現するため、総合振興計画（基本構想、基本計画）を策定する。		事業の概要	市民と行政の協働により、総合振興計画（基本構想、基本計画）を策定する。	

事業の実績・成果

第２次加須市総合振興計画の基礎資料として活用するため、「まちづくりアンケート調査」と「若者の進学・就職などの希望に関する調査」を実施するとともに、市政についての話し合いのテーマを「元気と活力のある加須市づくりを目指して」として開催し、市民ニーズの把握に努めた。

○調査概要

	まちづくりアンケート調査	若者の進学・就職などの希望に関する調査
①調査対象	市内居住の 18 歳以上の男女	・市所在の高等学校の２年生のうち、市内在住の生徒 ・平成国際大学の３年生
②対象者数	5,000 人	
③抽出方法	住民基本台帳（令和元年 11 月 13 日現在）から無作為抽出	
④調査方法	郵送配布・郵送回収	学校を通じて配布・回収
⑤調査期間	令和２年１月９日送付、１月 24 日締切（１月 21 日にお礼状を兼ねた督促状を送付）	令和２年１月
⑥有効回収率	38.0%（1,899 票）	高校生 98.9%（92 票） 大学生 73.9%（161 票）
⑦調査項目	①加須市の住みごこちについて ②まちづくりの施策について ③合併による効果について ④回答者の属性について ⑤自由意見	①回答者の属性について ②進学・就職について ③居住地について ④市に対するイメージについて ⑤結婚・子どもについて ⑥自由意見

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">総合振興計画進行管理事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">政策調整課</td><td>総合振興計画コード</td><td>6311-02</td></tr>
<tr><td>款</td><td>02</td><td colspan="2">総務費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>141,000 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>01</td><td colspan="2">総務管理費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>141,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>07</td><td colspan="2">企画費</td><td>決 算 額</td><td>27,855 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像である「水と緑と文化の調和した元気都市 かぞ」を実現するため、総合振興計画（まち・ひと・しごと創生総合戦略を含む。）の進捗を管理する。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">各施策の実現に向けた具体的な事業の進捗状況を把握し、助言・指導等を行う。
また、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けた各事業の進行管理を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="6">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="6">総合振興計画後期基本計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けた事業について、外部組織による評価を実施した。

○令和元年 8 月 27 日　加須市総合振興計画及び加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇話会の開催
○各事業の事業評価における平成 30 年度の達成度が「概ね順調」以上の事業の割合：81.7%</td></tr>
</table>

事 業 名		行政経営プラン進行管理事業		
担 当 課		業務改善課	総合振興計画コード	6311-05
款	02	総務費	当 初 予 算 額	57,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	57,000 円
目	07	企画費	決 算 額	43,980 円
事業の目的	「市民との協働による真に自立した自治体経営」を実現するため、「第２次加須市行政経営プラン」に定める事項を着実に実行する。		事業の概要	取組状況を定期的に把握し、進捗を的確に管理するため、加須市行政経営本部会議において協議を行うとともに、加須市行政経営懇話会に報告し、意見及び助言等を受け、様々な視点からの評価や見直しを行う。

事業の実績・成果

１　行政経営プランの取組結果

「市民との協働による真に自立した自治体経営」の実現を目指し、第２次加須市行政経営プラン（計画期間：平成 28 年度から令和２年度まで(計画期間：5 年間)に掲げる取組項目の全 117 項目について、平成 30 年度の取組結果を加須市行政経営本部会議及び加須市行政経営懇話会へ報告するとともに、進捗の遅れ等の見られる項目の取組を推進した。

平成 30 年度については、再掲５項目を評価対象外とした 112 項目中、87 項目（77.7%）が「達成済・概ね順調」と評価された（下表参照）。

［平成 30 年度取組結果（評価区分ごとの項目数等）］

区　分	取組項目数	割　合
1　達成済	40（42）	35.7%（37.5%）
2　概ね順調	47（47）	42.0%（42.0%）
3　やや遅れている	17（17）	15.2%（15.2%）
4　大幅に遅れている	8（ 6）	7.1%（5.4%）

※（　）内：平成 29 年度取組結果（第２次加須市行政経営プランでの取組結果）

２　加須市行政経営本部会議の開催

令和元年８月に本部会議を開催し、行政経営プランの各取組の進捗状況を確認するとともに、取組を実施するに当たり、生じた課題等について議論し解決を図った。

３　加須市行政経営懇話会の開催

令和元年８月に懇話会を開催し、市民の立場と経営の視点から、行政経営プラン取組結果等について意見や提言をいただいた。

４　取組結果等の公表

平成 30 年度における取組結果等について、市報かぞ（12 月号 NO.117）及びホームページにて公表した。

事 業 名		政策調整管理事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	6311-07
款	02	総務費	当 初 予 算 額	716,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	726,051 円
目	07	企画費	決 算 額	726,051 円
事業の目的	計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像である「水と緑と文化の調和した元気都市 かぞ」を実現するため、行政施策の総合調整等を実施する。	事業の概要	行政施策の企画、調査・研究、総合調整を行う。	

事業の実績・成果

○政策会議：22 回実施(19 件)

○国・県への要望状況(市長会)

	国への要望（毎年2月頃）	県への要望（毎年7月頃）
平成27年度	○地域医療の維持強化について	①在宅医療・介護連携推進事業に対する財政支援について ②ほ場整備事業をはじめとする水田農業の基盤整備事業に係る予算の拡充について ③「社会保障・税番号制度」経費に要する財政支援について
平成28年度	○国民健康保険に係る財政基盤の充実強化について	①地域医療ネットワークシステム「とねっと」の充実・発展について ②在宅医療・介護連携推進事業に要する財政支援について ③旧騎西高等学校の跡地活用について
平成29年度	○幼児教育・保育の無償化に対する財源措置と市町村の意見聴取について	①国民健康保険に係る財政基盤の充実強化について ②地域医療体制の確保・充実について ③介護保険事業運営（第7期以降）の財源となる公費負担割合の引き上げ等について
平成30年度	○中川上流地区の国営による排水対策事業の整備促進について	①一級河川青毛堀川及び一級河川中川の早期河川整備について ②国民健康保険に係る財政基盤の充実強化について ③障害児（者）生活サポート事業の県補助の拡充について
令和元年度	○利根川及び渡良瀬川の整備促進について	①利根保健医療圏における周産期医療施設等整備の充実について ②農業振興地域整備計画の変更の要件緩和について ③一般国道125号バイパスの早期整備（4車線化）と主要県道の整備について

事業名	分権推進事業			
担当課	政策調整課		総合振興計画コード	6311-08
款	02	総務費	当初予算額	3,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	3,000円
目	07	企画費	決算額	1,210円
事業の目的	計画的な行政運営を推進するため、本市が地域の実情に即した行政を展開できるよう、地方分権を推進する。	事業の概要	県と移譲を受ける事務について調整する。	

事業の実績・成果

第五次埼玉県権限移譲方針（平成29年度（2017年度）～令和元年度（2019年度））に基づき、移譲対象事務に関し、県との調整を行った。

○県における移譲事務の整理状況　（単位：事務）

基準日	全体の移譲対象事務数	うち本市への移譲対象事務数
平成29年4月1日現在	176	112
平成30年4月1日現在	176	112
平成31年4月1日現在	175	112

※平成31年4月より「認定こども園の認定等」が法令移譲事務になったため、移譲事務が1件減少し、175件になった。

○第五次埼玉県権限移譲方針に基づく移譲状況

基準日	移譲対象事務数	移譲済み事務数	受入率（%）
平成31年4月1日現在	112	84	75.0

【参考】

○第四次埼玉県権限移譲方針（平成26年度～平成28年度）に基づく移譲状況

基準日	移譲対象事務数	移譲済み事務数	受入率（%）
平成26年4月1日現在	113	79	69.9
平成27年4月1日現在	113	80	70.8
平成28年4月1日現在	112	82	73.2

事 業 名		行財政改革推進事業		
担 当 課		業務改善課	総合振興計画コード	6311-09
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,464,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	1,464,000 円
目	07	企画費	決 算 額	99,018 円
事業の目的	市民に質の高い行政サービスを安定的に供給していくため、持続可能な行財政基盤を構築する。		事業の概要	行財政改革を推進するため、すべての事務事業について加須やぐるまマネジメントサイクルを活用し、評価及び見直しを行うとともに、資産の有効活用などによる財源の確保、人件費や事務経費などの経費の削減、サービスと負担の適正化などを図る。

事業の実績・成果

1　有料広告の取組

民間企業等との協働により、市の新たな財源の確保や歳出削減、市民サービスの向上や地域経済の活性化を図ることを目的に、有料広告の取組を実施した。

令和元年度に広告料収入又は無償提供があったものは、6 件の媒体で、収入額及び削減額の合計は、2,163 千円であった。

（1）広告料収入を得たもの

No.	名　称	収入額	備　考
1	市ＨＰバナー広告	670,000 円	・7/15 枠掲載（月額 10,000 円/1 枠）
2	循環バス車内広告	27,000 円	・3/5 枠掲載（月額 1,000 円/1 枠） ・収入の 1/2 を手数料として車両所有事業者へ支払う。（16,500 円）
3	図書貸出票	20,000 円	・4/24 枠掲載（月額 5,000 円/1 枠）
4	広告付受付番号自動発券機システム	456,000 円	・本庁舎及び各総合支所に設置する行政情報・広告放映モニターで広告放映し、広告料の一部を納入
合　計		1,173,000 円	

（2）現物の無償提供を受けたものと削減効果額

No.	名　称	削減効果額	備　考
1	市民課等窓口用封筒	250,408 円	・角２窓なし封筒 14,000 枚・角６窓なし封筒 74,000 枚
2	広告付受付番号自動発券機システム	740,000 円	・受付番号自動発券機を無償提供
合　計		990,408 円	

2　令和元年度 若手職員及び女性職員によるプロジェクトチームの取組

・目　的 ： 若手職員や女性職員の育成及び組織の活性化

・構成員 ： 男性３名、女性３名、合計６名

・研究テーマ：「『グルメシティＫＡＺＯ』への挑戦！～食からはじめる街づくり～」

上記テーマについて、「食」をとおした協働によるまちづくりが展開されていくことを目指すとともに、的確な市内外への情報発信により、「本市の魅力アップ」につながる具体的かつ実現可能な提案を行い、9 本の提案が事業化された。

3　職員提案制度に基づく事務改善事例の活用

本市の市政に関する改善を行うことを奨励し、もって職員の意欲の向上及び考える職員の育成並びに組織の活性化を図ることを目的として、毎年、各課が所掌する事務又は事業で、効果的に見直した事務改善の事例を改善事例集として取りまとめた。

・改善報告数：108 件(全 56 課所室)

また、他課から報告された事務改善事例を自課の事務改善へ取り入れることにより、全庁的に改善効果を高める取組を行った。

・改善報告事例　活用済：180 事務　　一部活用：100 事務

事業名	公共施設等総合管理計画進行管理事業		
担当課	政策調整課	総合振興計画コード	6313-02
款 02	総務費	当初予算額	62,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	62,000円
目 07	企画費	決算額	54,468円
事業の目的	市民サービスの向上と安定的な財政運営を図りながら、公共施設等の総合的な管理を推進する。	事業の概要	加須市公共施設等総合管理計画に定める基本方針に基づき、庁内検討組織（公共施設等総合管理計画推進本部及び分科会）において、今後の行政サービスのあり方と各施設のあり方を一体的に検討する。

事業の実績・成果

○「加須市公共施設等総合管理計画推進本部会議」において、今後の施設のあり方について協議を行った。

○「加須市公共施設等総合管理計画推進本部会議分科会」において、次年度予算編成に向けて、施設の改修等に係る分科会内における優先順位を検討した。

事業名	ふるさと納税促進事業		（総合戦略）
担当課	政策調整課	総合振興計画コード	6315-15
款 02	総務費	当初予算額	3,486,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	3,486,000円
目 07	企画費	決算額	2,133,273円
事業の目的	計画的な財政運営を推進するため、加須市を愛し、応援しようとする個人または団体から広く寄附金を募り、歳入の確保を図るとともに、寄附者の加須市に対する思いを具現化する。	事業の概要	ホームページや広報紙等を活用し、ふるさと納税制度（ふるさとづくり寄附金）のＰＲを実施する。 また、一定額以上の寄附者に対し、返礼品を贈呈する。

事業の実績・成果

ふるさと納税（ふるさとづくり寄附金）で加須市に貢献したい、応援したいという個人や団体から広く寄附金を募った。市ホームページに情報を掲載するとともに、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」でのクレジット決済や郵便振替等による申込受付、また「かぞブランド」認定品を返礼品メニューとして追加し、加須市のＰＲを図った。

○寄附金の実績

	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
個人	241件	7,903,843円	344件	6,598,652円	419件	17,598,844円
団体	13件	514,973円	6件	1,116,101円	10件	856,676円
合計	254件	8,418,816円	350件	7,714,753円	429件	18,455,520円

○ふるさと納税に要した経費等　（単位:円）

歳入	ふるさと納税のうち個人分（A）	17,598,844
歳出	報償品費（送料含む）	1,608,919
	手数料、賃金、消耗品費	524,354
	合計（B）	2,133,273
費用負担割合（B/A）		12.1％

○ふるさと納税の寄附者が希望する寄附金の使途内訳　（単位:件）

寄附者の希望する使途内訳	件数	うち市外
豊かな自然と快適な環境のまちづくりに関する事業	72	71
芸術文化の振興に関する事業	16	14
健康づくりの推進に関する事業	28	27
まちおこしに関する事業	25	24
地域における保健福祉活動を推進する安心なまちづくりに関する事業	36	26
教育が充実した豊かなまちづくりに関する事業	124	122
地域医療体制の確保に関する事業	42	42
特に希望しない	86	84
合計	429	410

○申込みの多かった返礼品（上位３位）

特典メニュー	寄附額	申込み件数
工場直送便ポテトチップス（うすしお）	10,000 円	108 件
いちご「ロイヤルクイーン」	10,000 円	63 件
工場直送便ポテトチップス（のりしお）	10,000 円	43 件

事 業 名		水と緑と文化のまちづくり基金事業			
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	6315-17
款	02	総務費		当　初　予　算　額	3,280,000 円
項	01	総務管理費		最　終　予　算　額	13,280,000 円
目	07	企画費		決　　算　　額	12,834,391 円
事業の目的	加須市を愛し、応援しようとする個人または団体からの寄附金を本市のまちづくりに要する経費の財源として基金に積み立て活用を図る。		事業の概要	加須市を愛し、応援しようとする個人または団体からの寄附金を基金に積み立て、適正な管理及び活用を図る。	

事業の実績・成果

○基金運用から生じた利益（利子）及び寄附金について、基金へ積み立てた。

○豊かな自然と快適な環境のまちづくりのため、浮野の里の保全地取得（14,622 千円）と、芸術文化の振興のため、蘭陵王山車人形衣装等修復（754 千円）、斎藤与里絵画修復（2,145 千円）のために基金を活用した。

【基金残高の推移（令和２年３月末）】　（単位：円）

		令和元年度
前年度末残高		97,674,908
積立額		12,834,391
	（内　利子）	9,498
	（内　寄附金）	12,824,893
取崩額		17,521,000
年度末残高		92,988,299

事業名	マイナンバー活用事業			
担当課	業務改善課		総合振興計画コード	3233-04
款	02	総務費	当初予算額	0円
項	01	総務管理費	最終予算額	2,975,000円
目	07	企画費	決算額	1,617,809円
事業の目的	市民の利便性の向上と行政の効率化を図るため、マイナンバー制度を活用する。	事業の概要	申請時等の事務手続きの簡素化のため、申請時等の添付書類の削減を図るとともに、マイナンバーカードの機能拡充のため、カードの空き領域等を使用した情報の搭載を検討する。	

事業の実績・成果

1　社会保障・税番号制度に係るプロジェクトチームの設置による調査研究等

社会保障・税番号制度に係る情報を全庁的に共有し各分野における課題等を解決し、制度の円滑な運用及び市民サービスの向上を図るため、庁内にプロジェクトチームを設置し、総合的な調査研究等を行った（計１回開催）。

・社会保障・税番号制度に係るプロジェクトチーム

2　マイナンバーカードの機能拡充の推進

【マイナンバーカードの活用が可能な行政サービス】

・平成29年3月　住民票の写し、印鑑登録証明書等のコンビニ交付を開始
・平成29年11月　マイナポータルに係る子育てワンストップサービス（ぴったりサービス）を開始
・令和元年11月　マイナポータルに係る介護ワンストップサービス（ぴったりサービス）を開始
・令和2年3月　図書館の貸出カードへ公的個人認証（JPKI）シリアル方式を導入

3　独自利用事務の推進

マイナンバーによる情報連携の対象となる独自利用事務の事例拡大が、個人情報保護委員会（内閣府外局機関）から公表されたことに伴い、社会保障・税番号制度に係るプロジェクトチーム会議等において、マイナンバー制度独自利用事務の整理を行った。

4　特定個人情報保護評価書の見直し

公表している評価書（重点項目評価2事務・基礎項目評価17事務）の記載事項を実態に照らして、必要な修正を行った。

5　特定個人情報保護評価書の再評価

公表後5年を経過した評価書（重点項目評価2事務・基礎項目評価16事務）の再評価を実施し、リスク対策・記載事項を実態に照らして必要な修正を行った。

6　マイナポイント事業の実施に向けた環境整備

マイナンバーカードを活用した消費活性化策である国のマイナポイント事業について、令和2年9月の事業開始に向け、令和2年1月から本庁舎及び各総合支所に支援窓口を設置し、マイナンバーカード取得者に対して、マイナポイントの予約（マイキーＩＤ設定）に関する支援を行った。

また、ホームページをはじめとする各種の広報媒体を通じ、市民に対して事業内容の説明・周知を行った。

（単位：枚）

	累計
マイキーＩＤ設定支援窓口での設定数（令和2年3月31日現在）	218
（参考）加須市のマイナンバーカード交付枚数（令和2年3月31日現在）	15,744

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">北川辺公民館等整備構想策定事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">地域振興課（北川辺）</td><td>総合振興計画コード</td><td>6313-10</td></tr>
<tr><td>款</td><td>02</td><td colspan="2">総務費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>0 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>01</td><td colspan="2">総務管理費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>2,004,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>07</td><td colspan="2">企画費</td><td>決 算 額</td><td>0 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">自立した自治体運営を進めていくために、公共施設等の適正管理を行う必要がある。そのためには、限られた財源の中で、北川辺地域特有の状況を踏まえつつ、北川辺地域に現存する施設の有効活用を図りながら、適切な行政サービスを維持・充実する。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">・検討対象施設の選定
・地域住民等で構成する懇話会の設置、運営
・北川辺公民館等整備構想の策定</td></tr>
<tr><td colspan="6">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="6">令和元年 12 月補正予算事業として、本事業を立ち上げ、策定支援コンサルとの業務委託契約締結をはじめ、庁内検討委員会を立ち上げ、現状調査を開始するなど、概ね、構想策定事務執行スケジュールとおり事務を遂行した。
なお、本事業は、明許繰越し、懇話会の意見を伺いながら、令和 2 年度中の策定を目指す。</td></tr>
</table>

事業名	公平委員会運営事業			
担当課	公平委員会		総合振興計画コード	6314-05
款	02	総務費	当初予算額	390,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	390,000円
目	08	公平委員会費	決算額	324,510円
事業の目的	地方公務員法に基づき職員の勤務条件に関する措置の要求及び不利益処分に関する審査請求の審査を行う。	事業の概要	地方公務員法に基づき、職員の給与、勤務時間等の勤務条件に関する措置の要求を審査、判定し必要な措置をとり、また、不利益な処分の審査請求に対する裁決をする。その他、措置要求又は審査請求に至らない軽微な苦情処理を行う。 全国公平委員会連合会、同関東支部及び埼玉県公平委員会連合会との連絡調整を行い、また同総会・研究会に出席する。	

事業の実績・成果

公平委員会業務を円滑に実施したほか、研修会を開催したことにより委員及び職員の更なる知識の習得が図られた。

1　公平委員会運営状況
- 公平委員会の開催：2回（職員の処分状況等についての報告等）
- 勤務条件に関する措置要求：なし
- 不利益処分に関する審査請求：なし

2　加須市公平委員会研修会
開催日：令和元年11月13日（水）　10時30分～11時50分
会　場：パストラルかぞ　生涯学習棟　展示室
講　師：埼玉県企画財政部市町村課　主幹　田辺敦規　氏
「地方公務員を取り巻く現状について」
対象者：加須市公平委員会委員及び事務職員、加須市職員、広域利根斎場組合公平委員会委員及び事務局職員、埼玉東部消防組合公平委員会委員及び事務局職員、公益社団法人加須シルバー人材センター職員、社会福祉法人加須市社会福祉協議会職員
参加者数：65人

3　各連合会活動

開催日	事業名	会場
令和元年5月10日（金）	埼玉県公平委員会連合会総会及び研究会	埼玉県秩父市
令和元年5月13日（月）	全国公平委員会連合会関東支部総会及び第1回研究会	千葉県浦安市
令和元年7月11日（木） 12日（金）	全国公平委員会連合会本部研究会	東京都港区
令和元年10月11日（金）	全国公平委員会連合会関東支部第2回研究会	千葉県浦安市
令和元年10月25日（金）	全国公平委員会連合会通常総会	東京都港区

事 業 名	自治協力団体活動促進事業			（総合戦略）
担 当 課	市民協働推進課		総合振興計画コード	6131-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	126,457,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	126,457,000 円
目	09	自治振興費	決 算 額	126,159,409 円
事業の目的	市民と行政の協働によりまちづくりを進めていくため、協働のパートナーである自治協力団体（自治会・町内会・区）の運営の円滑化を図り、地域の自治を促進する。	事業の概要	・自治協力団体及び自治協力団体間の連絡調整機関である自治協力団体連合会の機能を強化する。 ・各自治協力団体の運営基盤を強化する。	

事業の実績・成果

○自治協力団体間の連絡調整機関の支援

自治協力団体（自治会・区等）間の連絡調整機関である加須市自治協力団体連合会及び各支部の運営を支援した。

１　自治協力団体連合会への助成

各自治協力団体間の連絡調整機関としての連合会へ運営費を助成することにより、円滑な運営が図られた。

［自治協力団体連合会への補助金交付状況］　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
補助金交付額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

２　自治協力団体代表者（会長・区長等）研修事業への助成

連合会が実施している自治協力団体代表者研修の参加費の一部を助成することにより、研修内容の充実が図られた。

(1)　連合会全体研修

［連合会の自治協力団体代表者研修事業への参加人数及び補助金交付状況］　（単位：人、円）

		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
参加人数	交付額	131	148,030	136	103,904	129	112,875	136	146,880	128	109,952

(2)　連合会各支部研修（3,000 円/人）

［自治協力団体代表者研修事業への参加人数及び補助金交付状況］　（単位：人、円）

		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
参加人数	交付額	117	351,000	132	396,000	129	387,000	138	414,000	130	390,000

［令和元年度各支部の参加人数］　（単位：人）

加須支部	騎西支部	北川辺支部	大利根支部	計
60	32	9	29	130

○自治協力団体の支援

１　自治協力団体運営への助成

各自治協力団体へ世帯数等の算出根拠に基づいた補助金を交付することにより、団体運営の円滑化が図られた。

［自治協力団体への補助金交付状況］　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
補助金交付額	106,473,640	106,743,200	106,698,560	106,847,640	106,649,680

２　自治協力団体集会施設整備事業への助成

自治協力団体が運営する集会所の修繕費等の一部補助を行うことにより、集会施設の適正な維持管理が図られた。

修繕、附帯施設整備

修繕：補助率1/2・100万円限度、　附帯施設：補助率1/2・50万円限度

［自治協力団体集会施設整備事業（修繕、附帯施設整備）への補助金交付状況］　（単位：件、円）

		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
件数	交付額	22	3,309,000	23	3,430,000	40	8,621,000	30	3,740,000	31	6,340,000

３　自治協力団体集会施設運営への助成

自治協力団体の運営する集会所の運営費の一部補助を行うことにより、集会施設の円滑な運営管理が図られた。

自治会単位：補助率7/10・7万円限度

連絡班単位：補助率7/10・3万5千円限度

［自治協力団体集会施設運営への補助金交付状況］　（単位：件、円）

		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
件数	交付額	235	8,962,000	236	8,877,000	236	8,663,000	236	8,881,000	236	9,033,000

４　自治協力団体集会施設敷地等借上への助成

自治協力団体の運営する集会所の敷地借上料の補助を行うことにより、集会施設の円滑な維持管理が図られた。

［自治協力団体集会施設敷地等借上への補助金交付状況］　（単位：件、円）

		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
件数	交付額	55	2,295,737	55	2,313,177	55	2,313,177	55	2,315,677	55	2,315,677

○その他（自治協力団体連絡協議会開催・感謝状贈呈・回覧板提供等）

自治協力団体を支援し、連絡調整を密にすることにより、市政運営への協力等が得られた。

事 業 名		市民まつり開催事業		（総合戦略）
担 当 課		商業観光課	総合振興計画コード	6134-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	12,270,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	12,270,000 円
目	09	自治振興費	決 算 額	11,159,018 円
事業の目的	多くの市民参加による、市民の手づくりイベントとして市民まつりを開催し、コミュニティーの醸成を図り、ふるさとづくりを推進する。	事業の概要	4 つの各地域市民まつりを開催する。また、各地域、各種団体の相互交流を図るための催し物を実施する。	

事業の実績・成果

1　加須地域市民まつり

市民相互の親睦を深めるとともに、交通事故のない明るく住みよい地域社会を築くことを目的に、第 39 回加須地域市民まつりを開催した。実行委員会委員長は民間団体の代表者とし、経費も市からの補助に加え都市競艇組合からの補助（500,000 円）や協賛金（35 社、415,000 円）等で運営し、地域の交流を図った。

なお、当日は前日までの雨天の影響でグラウンド状態不良のため、室内用プログラムで実施した。

（1）開催内容

ア　開 催 日　　10 月 20 日（日）

イ　参加者数　　42 団体　817 人

ウ　まつり内容

①　式　典

②　催　物　　各種団体発表、各種団体模擬店

エ　来場者数　　約 13,500 人

（2）経　費（実行委員会）

収入合計　6,315,013 円 － 支出合計　5,712,907 円

差引残額　＝ 602,106 円　　※残金は市へ返還

加須地域市民まつりの様子

2　騎西銀杏祭

騎西銀杏祭を開催し、多くの地域住民が交流と親睦を図ることにより、ふるさと意識の高揚とコミュニティの振興を促進した。

（1）開催内容

ア　開 催 日　　11 月 3 日（祝・日）

イ　参加者数　　78 団体　1,300 人

ウ　まつり内容

①　交通安全パレード（高柳・騎西小学校鼓笛隊）

②　各種団体活動発表及び模擬店、各種団体ステージ発表

③　ソーランふぇすた、ふわふわドーム

エ　来場者数　　約 22,000 人

（2）経　費（実行委員会）

収入合計　3,278,803 円 － 支出合計　3,205,837 円

差引残額　＝ 72,966 円　　※残金は市へ返還

騎西銀杏祭の様子

３　北川辺ふるさと秋まつり

「北川辺ふるさと秋まつり」を開催し、北川辺地域の地域コミュニティの推進と伝統文化及び健康福祉の振興、並びに産業経済の総合的な発展を図ることができた。

北川辺ふるさと秋まつり会場内の様子

文化祭

健康福祉まつり

産業祭

（１）開催内容

ア　開 催 日

【ｵｰﾌﾟﾆﾝｸﾞｾﾚﾓﾆｰ、健康福祉まつり、産業祭】

11 月 3 日（日・祝）

【文化祭】【展示・体験・模擬店の部】

10 月 26 日（土）、27 日（日）

【芸能音楽の部】

11 月 3 日（日・祝）

イ　参加者数　　83 団体　1,057 人

ウ　まつり内容

①　模擬店等（30 団体）

②　ステージ発表、交通安全啓発、アトラクション 他

③　健康福祉まつり：簡易健康測定、健康相談、赤ちゃんのハイハイ・よちよちコンテスト 他

④　産業祭：農産物等即売会、商工製品等の展示及び即売会、抽選会

⑤　いきいき文化祭：【展示・体験・模擬店の部】絵画、写真、陶芸、工芸、絵手紙 他

【芸能音楽の部】コーラス、琴の演奏、中学生吹奏楽 他

エ　来場者数　　約 5,100 人

（２）経　費（実行委員会）

収入合計　2,000,000 円 － 支出合計　1,714,145 円　＝ 285,855 円

（うち、加須市の農業ＰＲ事業から収入 100,000 円、支出 100,000 円）

当該事業　収入合計　1,900,000 円 － 支出合計　1,614,145 円

差引残額　＝ 285,855 円　　※残金は市へ返還

４　童謡のふる里おおとね市民まつり

大利根地域で開催した市民まつりは、公募による歌やダンス、加須市と協定を結んだ埼玉西武ライオンズの地域活動としての公式パフォーマンスや健康まつり部会・農業まつり部会・商工まつり部会による活動発表や物産展示販売等を行い、地域コミュニティの向上を図ることができた。

（１）開催内容

ア　開 催 日　　11 月 10 日（日）

イ　参加者数　　45 団体　約 500 人

ウ　まつり内容

・農産物品評会表彰式（受賞者：8 人）

①　健康まつり（2 団体）

②　農業まつり（9 団体）

③　商工まつり（14 団体）

④　啓発活動等（7 団体）

⑤　ステージ発表（11 団体）

⑥　その他（2 団体）長野県中野市、大利根地域消防団

エ　来場者数　　約 14,000 人

（２）経　費（実行委員会）

収入合計　1,770,003 円 － 支出合計　1,619,948 円

差引残額　＝ 150,055 円　　※残金は市へ返還

童謡のふる里おおとね市民まつりの様子

※加須市合併 10 周年記念として、4 地域の市民まつりを巡るスタンプラリーを開催（参加者 200 人）

事 業 名	コミュニティ推進事業			（総合戦略）
担 当 課	市民協働推進課		総合振興計画コード	6134-04
款	02	総務費	当　初　予　算　額	10,016,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	10,016,000 円
目	09	自治振興費	決　　算　　額	5,010,000 円
事業の目的	協働によるまちづくりを推進するため、地域コミュニティの活性化を図る。	事業の概要	・地域コミュニティづくりの推進を目的とする市コミュニティ協議会への助成を行う。 ・(一財) 自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業」の財政措置を行う。 ・市内で均衡あるコミュニティづくりの推進を図る。	

事業の実績・成果

○コミュニティ助成事業

コミュニティの健全な発展と宝くじの普及広報を目的とした（一財）自治総合センターコミュニティ助成金を活用し、地域コミュニティ活動団体に補助を行うことにより、コミュニティ活動の充実を図った。

（単位：円）

地　域	団体名	助成金額	概　要
加須	加須市三俣第二区	2,500,000	三俣第二区集会所備品の購入 （テント、エアコン、会議用机・椅子）

○加須市コミュニティ協議会への助成

市コミュニティ協議会並びに各地域コミュニティ協議会に補助を行うことにより、コミュニティ活動事業の推進を図った。

（単位：円）

地　域	名　称	助成金額	概　要
全体	加須市コミュニティ協議会	478,689	広報紙の作成・発行、家族・地域の絆推進運動への協力
加須	加須地域コミュニティづくり推進協議会	525,000	一斉清掃、視察研修会、コミュニティ助成事業、家族・地域の絆推進運動への協力
騎西	騎西地域コミュニティ協議会	464,955	グラウンドゴルフ、花いっぱい運動、ごみなし運動、心のふれあい交流、ニュースポーツ体験、コミ協備品の貸出し
北川辺	北川辺地域コミュニティ協議会	525,000	コミュニティ活動に対する助成事業、美化推進運動、花いっぱい運動、コミュニティ研修会、研修会、ﾘｻｲｸﾙ運動の推進
大利根	大利根地域コミュニティ協議会	506,356	一斉清掃、各地区コミュニティ協議会への助成、童謡のふる里おおとね郷土かるた大会への参加、講習会
合　計		2,500,000	

※各協議会のコミュニティ活動事業が異なるため、地域ごとに掲載

※騎西地域コミュニティ協議会、大利根地域コミュニティ協議会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業が実施できなかったため、助成金額を精算した。

事 業 名		情報化管理事業		
担 当 課		業務改善課	総合振興計画コード	3232-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	371,740,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	371,740,000 円
目	10	電算管理費	決 算 額	363,439,794 円
事業の目的	安心で快適な市民サービスを安定的に提供していくため、信頼性の高い情報基盤を実現する。		事業の概要	・住民情報システム及び庁内ネットワーク等について、稼働監視やメンテナンス等の適正な運用管理を行う。 ・国の示す「情報システム強靭性向上モデル」を基準とした情報セキュリティ対策を確実に実施する。 ・教育委員会の指導方針に基づき、学校 ICT 業務の運用支援を行う。

事業の実績・成果

1　住民情報システム運用管理

市民に関する情報（住民記録、各種税、福祉等）を総合的かつ一元的に管理し、窓口サービスや行政事務を行うための基盤である「住民情報システム」の円滑な運用を行った。

(1) 構成機器

サーバ: 12 台、ディスク装置: 5 台、プリンタ: 32 台

(2) 住民情報システム取扱業務： 24 業務

1	住民記録	2	印鑑登録	3	国民年金
4	住登外・宛名管理	5	個人住民税	6	法人住民税
7	固定資産税	8	軽自動車税	9	国民健康保険税
10	収納・滞納管理	11	国民健康保険資格管理	12	後期高齢者医療
13	子ども子育て支援	14	児童手当	15	児童扶養手当
16	遺児手当	17	乳幼児医療	18	ひとり親家庭等医療
19	重度心身障害者医療	20	障害者福祉	21	就学管理
22	選挙管理	23	就学援助	24	学童保育

(3) 接続拠点： 18 拠点

1	総合支所（3 箇所）	2	市民ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ(10 箇所)	3	保健ｾﾝﾀｰ（3 箇所）
4	環境浄化ｾﾝﾀｰ	5	上水道管理ｾﾝﾀｰ		

(4) 運用管理費　116,473,430 円

〔 委託料　38,830,454 円、借上料等　77,642,976 円 〕

2　情報ネットワーク運用管理

各種の情報システムの動作基盤である「マイナンバー利用事務系」「ＬＧＷＡＮ接続系」「インターネット接続系」の三系統のネットワークについて、円滑な運用を行った。

(1) 構成機器

「マイナンバー利用事務系」

サーバ: 17 台、パソコン: 217 台、プリンタ: 32 台

「ＬＧＷＡＮ接続系」

サーバ: 29 台、パソコン: 814 台、プリンタ: 119 台

「インターネット接続系」

サーバ: 12 台、プリンタ: 30 台

(2) 主な機能

「マイナンバー利用事務系」

1	住民情報	2	家屋評価	3	健康管理
4	生活保護	5	農地台帳管理	6	水洗化管理

「ＬＧＷＡＮ接続系」

1	ファイル共有	2	ＬＧＷＡＮメール	3	グループウェア
4	財務会計	5	コンテンツ管理	6	人事給与
7	例規・法令検索				

「インターネット接続系」

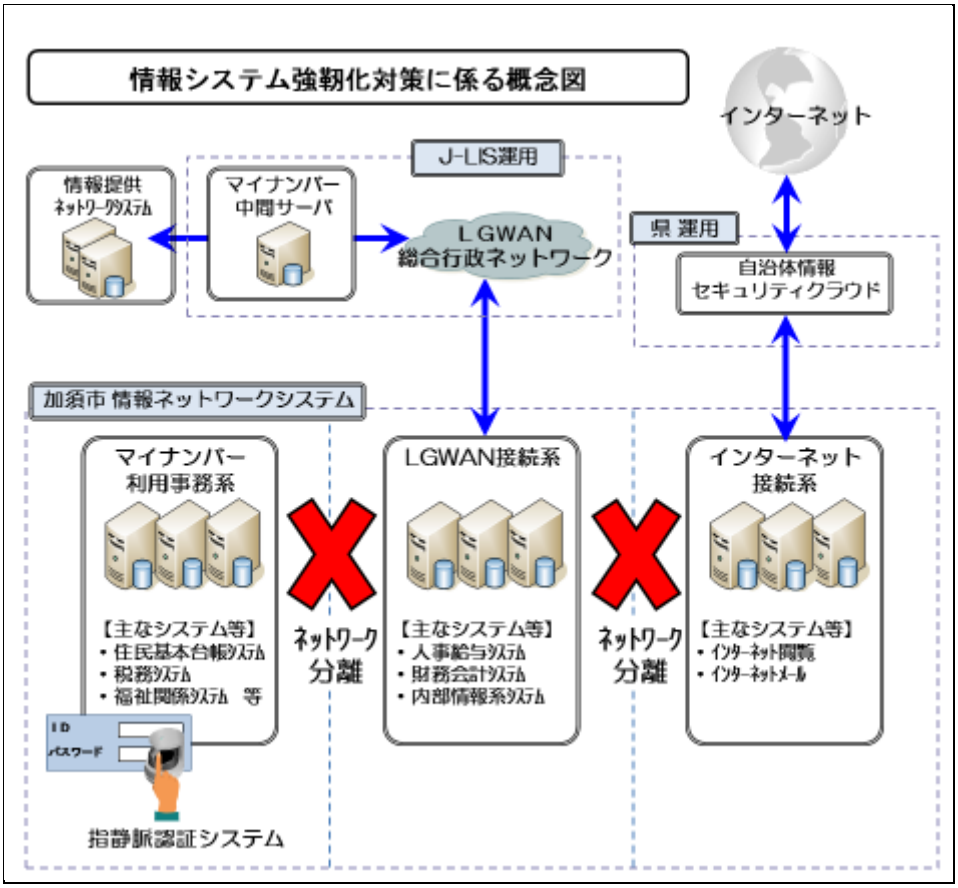
1	インターネット閲覧	2	インターネットメール	3	メール無害化
4	ファイル交換	5	電子申請		

(3) 運用管理費　204,240,316 円

〔 委託料　62,129,756 円、借上料　142,110,560 円 〕

３　情報セキュリティ対策

平成２９年６月に完了した情報システム強靭化対策を踏まえ、人的及び技術的セキュリティ対策の実施により、本市の保有する情報資産の適正な管理を行った。



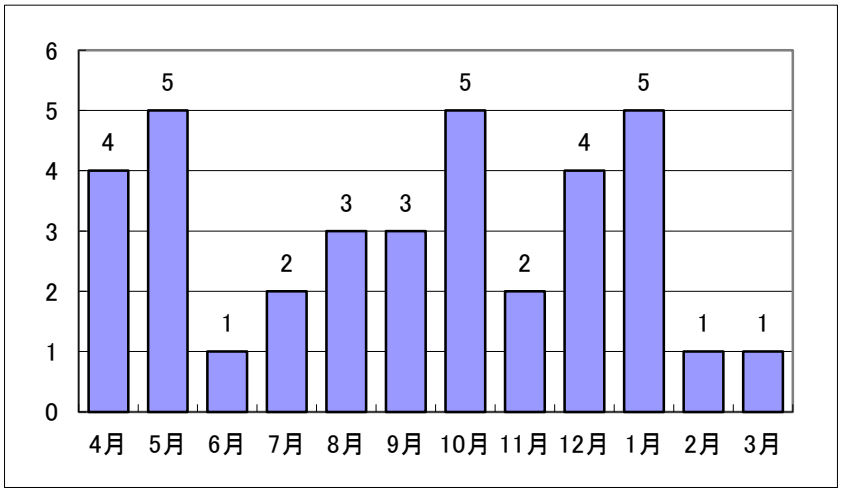
(1) 人的セキュリティ

・情報セキュリティ研修の実施

情報セキュリティ対策としてｅラーニング研修を実施し、224 名受講した。また、情報セキュリティポリシーの周知徹底を図るため、階層別研修を実施し、44 名受講した。

(2)技術的セキュリティ

・コンピュータウイルス検出件数： 36 件（年間）



年　度	ウイルス件　数
平成 26 年度	140
平成 27 年度	106
平成 28 年度	230
平成 29 年度	124
平成 30 年度	38
令和元年度	36

埼玉県情報セキュリティクラウドを介したインターネット利用を行うことにより、コンピュータウイルス等外部からの脅威に対する低減を図っている。

事 業 名		マイナンバー制度システム運用事業		
担 当 課		業務改善課	総合振興計画コード	3232-02
款	02	総務費	当　初　予　算　額	10,022,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	10,022,000 円
目	10	電算管理費	決　　算　　額	9,666,480 円
事業の目的	社会保障や税制度の効率性を高め、住民にとって利便性の高い公平･公正な社会を実現するための基盤である「マイナンバー制度」を円滑に運営する。		事業の概要	情報提供ネットワークシステムを介した情報連携を円滑かつ継続的に行うため、必要に応じて関係システムに対する連携データレイアウト改版作業等を実施する。

事業の実績・成果

○　関係システムの整備

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に対応するため､関係システムの整備を実施し、平成 29 年 11 月 13 日より情報連携を開始している。

・特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機設置等関連事務委任交付金
（自治体中間サーバ・プラットフォーム ASP サービスに係る負担金）　6,744,000 円

令和元年 6 月の情報提供ネットワークシステムにおける「特定個人情報データ標準レイアウト」の改版に対応するため、運営主体が示す改版仕様を踏まえて住民情報システムの改修を実施した。

・特定個人情報データ標準レイアウト改版に要する経費　2,922,480 円
（対象業務：個人住民税、国民健康保険資格、国民健康保険税、児童手当、児童扶養手当、就学援助）

事 業 名		電子自治体推進事業			（総合戦略）
担 当 課		業務改善課		総合振興計画コード	3233-03
款	02	総務費		当 初 予 算 額	417,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	417,000 円
目	10	電算管理費		決 算 額	354,420 円
事業の目的	市民サービスの向上及び効率的な行政経営に寄与し、便利さを実感できる「市民にやさしい電子市役所」づくりを推進する。		事業の概要	・情報化推進計画に基づき、各情報化施策への取組みを総合的に支援する。 ・システム評価の充実を図り、システムの最適化及び効果的な情報化投資を行う。 ・地域活性化を図る観点からもシステム評価を行い、ICT を活用した地域づくりへの取組みを支援する。	

事業の実績・成果

1　電子申請・届出サービスの提供

市民の利便性向上を図るため、申請や届出等の一部の手続きがインターネットで行える「電子申請・届出サービス」を、埼玉県内市町が共同により提供している。

市のイベントや講習会への参加申込み等手続きのオンライン化を拡充するとともに、利用拡大に向けて、広報紙、ホームページへの掲載やキャンペーン等による啓発活動を実施した。

(1) 電子申請対象手続数　51 手続
　うち講習会・セミナー申込手続数　8 手続

(2) サービス提供業務委託料　232,620 円

事 業 名		人権施策実施計画進行管理事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6211-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	133,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	133,000 円
目	11	人権推進費	決 算 額	55,600 円
事業の目的	「加須市人権施策実施計画」に基づき、各種人権関連施策を総合的・計画的に推進することにより、「差別や偏見のない人権尊重社会の実現」を目指す。		事業の概要	関係課や、人権施策推進審議会等と連携して「加須市人権施策実施計画」の進行状況の確認、精査を行う。 【計画期間】平成 30 年度～令和 4 年度

事業の実績・成果

○第 2 次加須市人権施策実施計画に基づく各種事業の進行管理

第 2 次加須市人権施策実施計画の実効性を確保していくため、人権施策推進審議会を開催し、各種施策の事業実施状況について進行管理を行った。

◇審議会の開催状況

開催日・場所	議事内容	出席人数
令和元年 8 月 21 日 加須市役所	・第 2 次加須市人権施策実施計画に基づく各種施策の平成 30 年度事業実施状況について	14 名

◇各種施策の平成 30 年度実施状況

項　　目	事業数	平成 30 年度実施状況に対する評価（%）				
		1	2	3	4	5
1　あらゆる場や対象をとらえた人権教育・人権啓発の推進	30	24(80.0%)	2(6.7%)	4(13.3%)	0(0%)	0(0%)
2　相談・支援の推進	38	24(63.2%)	7(18.4%)	7(18.4%)	0(0%)	0(0%)
3　市民、ＮＰＯ、企業等と協働した地域づくり	10	9(90.0%)	0(0%)	1(10.0%)	0(0%)	0(0%)
4　その他	4	3(75.0%)	1(25.0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
合　　計	82	60(73.2%)	10(12.2%)	12(14.6%)	0(0%)	0(0%)

※平成 30 年度評価基準

1 …達成済（実績値が目標値の 100%以上に達し、当該年度の目標を達成した）
2 …概ね順調（実績値が目標値の 80%以上に達した）
3 …やや遅れている（実績値が目標値の 80%未満となった）
4 …大幅に遅れている（実績値が目標値の 50%未満となった）
5 …未着手（何らかの理由により、事業に着手できなかった）

事 業 名		人権推進事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6211-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	8,103,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	8,103,000 円
目	11	人権推進費	決 算 額	7,507,904 円
事業の目的	市民一人ひとりが豊かな人権感覚を身につけ、お互いの違いを認め、お互いを思いやり、お互いの人権を尊重しあえる社会となるよう市民との協働による「差別や偏見のない人権尊重社会」の実現をめざす。		事業の概要	人権問題講演会、人権問題指導者研修会等の研修機会を設けるとともに、人権週間や市民まつり等の機会に人権啓発活動を実施する。さらに同和問題相談員の設置、人権擁護委員等と連携した同和問題・女性や子ども・高齢者・障がい者などの人権に係わる相談会の開催などを行う。

事業の実績・成果

○人権研修会及び人権講演会等の開催（共催：生涯学習課・産業雇用課）

人権問題指導者研修会や、人権問題講演会等を開催し、同和問題をはじめとする様々な差別の解消に向けて、参加者の各人権課題の理解と認識を深めることに貢献した。

（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
参加者数	1,880	1,716	1,927	1,731	1,650

○人権擁護委員による人権相談事業等（共催：市民相談室・健康づくり推進課）

年間を通し、月１回、人権擁護委員による女性や子ども、高齢者、障がい者、就労問題、同和問題に対する差別等の人権問題の解消に向けた相談会を開催し、市民の抱える悩み解消にあたった。

また、市民まつり等で人権相談事業についての広報を行った。

（単位：件）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
相談件数	5	0	1	0	0

○同和問題相談員による相談事業

年間を通し、同和問題相談員による市民の同和問題に関する相談や地域住民の生活上の相談に応じ、必要に応じて関係行政機関と連携を保ちながら助言や指導を実施し、市民との信頼関係を築くとともに、生活環境の向上、市民の自立意識の醸成に貢献した。

（単位：件）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
相談件数	75	61	71	79	111

○「同和問題に取り組む民間運動団体」への補助金交付

同和問題解消を目指す民間運動団体４団体に対し、補助金の交付を行い、同和問題の早期解決を目指す人権教育・啓発事業を官民が連携して行い、差別意識の解消や人権尊重意識の高揚に資することができた。

また、補助額については、運動団体の活動内容を精査し見直しを行っており、令和元年度は、対前年度比 5.7%削減となった。

・「同和問題に取り組む民間運動団体」への補助金交付状況　（単位：千円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
部落解放同盟埼玉県連合会 加須支部	2,045	1,939	1,873	1,809	1,747
部落解放同盟埼玉県連合会 騎西支部	738	640	581	538	496
部落解放同盟埼玉県連合会 大利根支部	513	451	411	366	329
北埼・埼葛「同和対策」運動連合会 加須市協議会	1,361	1,293	1,248	1,199	1,116
合　　計	4,657	4,323	4,113	3,912	3,688

○北埼玉地区人権フェスティバルの開催（共催：羽生市・行田市）

加須市・羽生市・行田市の3市共催により、行田市を会場として、北埼玉地域住民の人権意識、人権感覚の高揚に資する「第17回北埼玉地区人権フェスティバル」開催のため、準備をしたが、令和元年東日本台風（台風第19号）の上陸により中止となった。

（当初予定）

開 催 日　　令和元年10月12日（土）

場　　所　　行田市産業文化会館

○「人権啓発リーフレット」の作成・配布

様々な人権課題、市内小・中学生による人権啓発ポスター及び標語の入賞作品を掲載したリーフレットを作成し、ホームページに掲載するとともに、市内各公共施設等に配架し、人権に関する意識の高揚を図った。

○「人権に関する意識調査」の実施

加須市における人権に関する市民の意識の現状を把握し、今後の人権行政に必要な基礎資料を得ることを目的として、満18歳以上の市民1,000名を対象に、5年に一度の人権に関する意識調査を実施し、「人権に関する意識調査報告書」を作成した。

対象者を満18歳以上に拡大するとともに、設問数を増やし、より詳細な意識調査を実施することができた。

	実施時期	対象者	回答者数	回答率	設問数
今回	令和元年11月	満18歳以上の市民1,000名	430名	43.0%	42問
前回	平成26年11月	満20歳以上の市民1,000名	408名	40.8%	30問

【調査項目】

人権全般、女性の人権、子どもの人権、高齢者の人権、障がいのある人の人権、同和問題（部落差別）、外国人の人権、ＨＩＶ感染者・ハンセン病患者等の人権、インターネットによる人権侵害、災害時における人権への配慮、ＬＧＢＴなど性的少数者の人権（新規追加項目）

事 業 名		田ケ谷総合センター管理運営事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6211-10
款	02	総務費	当 初 予 算 額	6,567,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	6,847,800 円
目	11	人権推進費	決 算 額	5,768,100 円
事業の目的	田ケ谷総合センターを、誰もが安心して安全に利用できるよう管理するとともに、館の設置目的である人権問題の解決と住民の教養の向上、健康の増進及び地域の交流を促進する。		事業の概要	館の維持管理として、館の設備や躯体等の保守点検業務をはじめ、修繕・清掃・夜間管理等の業務委託を行う。 また、ソフト事業として教養文化講座や子ども映画会、人権パネル展等を行う。

事業の実績・成果

○施設の維持管理

田ケ谷総合センターを市民が安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を行った。

・職員の配置（嘱託館長１名・臨時職員２名）
・各種点検の実施（防火対象物、消防用設備、自家用電気工作物保安管理、建築設備、自動ドア）
・管理業務の委託（夜間等管理業務、清掃業務、樹木剪定業務）
・備品購入（図書 24 冊）
・設置（キャスター付き机の借用）
・修繕（2 階廊下トップライト雨漏り修繕、1 階多目的トイレ壁タイル修繕、電話回線屋内配線調整、西側倉庫窓ガラス修繕、1 階集会室空調機ドレン修繕）
・駐車場整備（職員の手により駐車ラインを引き、駐車区画を整えた。）

○教養文化講座・子ども映画会の開催

教養文化講座・子ども映画会を実施し、地域の文化力を高めるとともに地域交流を促進し、差別意識の解消を図った。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①教養文化講座・子ども映画会開催回数（回）	66	78	77	76	75
②教養文化講座・子ども映画会参加人数（人）	1,051	1,428	1,264	1,056	1,026

○血圧計の設置

平成 29 年度まで、健康づくり推進課との共催により、「ふれあい事業」として、月 1 回の健康相談及び血圧測定が実施されていたが、平成 30 年度に血圧計を設置し、随時の血圧測定を可能にした。

（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
参加人数	90	105	147	124	107

※平成 30 年度以降の数値は、血圧計利用者数（平成 30 年 7 月 26 日に設置）

○田ケ谷総合センターの来館者数

（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
来館者数	13,253	16,631	15,697	15,705	14,558

※来館者数のうち、会議室等利用者の集計方法：利用実人数

事 業 名		環境学習推進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4111-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	148,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	148,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	27,775 円
事業の目的	市民及び事業者全てのエコライフの実現を図るため、環境に配慮したライフスタイルへの転換や環境保全のための主体的な活動が自発的に行われるよう推進する。		事業の概要	広報紙やホームページ等を活用した環境情報の提供や環境フォーラム、水辺環境を利活用を図る自然観察会を開催する。また、こどもエコクラブの活動を支援する。

事業の実績・成果

1　自然観察会の開催

浮野の里を「環境学習の場」と位置づけ、埼玉県川の国アドバイザーの協力のもと、小学生と保護者を対象に自然観察会を実施した。自然に親しむとともに、生物の生態や生息環境などの学習、生物多様性への意識の向上が図られた。

・浮野の里昆虫観察会　　令和元年8月8日（木）午前10時～正午
　　参加者30人（子供18人、大人12人）
・浮野の里水生生物観察会　　令和元年8月9日（金）午前10時～正午
　　参加者30人（子供18人、大人12人）

2　環境フォーラムの開催

市民等の環境問題への理解を深めるため、環境フォーラムを開催した。環境に配慮したライフスタイルへの転換や、環境保全のための主体的な活動が自発的に行われるよう環境情報を提供する機会や場の提供・充実が図られた。

(1) 日　時　　令和元年11月9日（土）午後1時30分
(2) 場　所　　市民プラザかぞ　多目的ホール
(3) 人　数　　144人
(4) 内　容　　ア　表 彰 式　「節電川柳」及び「グリーンカーテンコンテスト」優秀者表彰
　　イ　活動発表　「昭和中ができる地域の環境整備～地域との絆づくりを目指して～」
　　加須市立昭和中学校
　　ウ　講　　演　「加須に迫る特定外来生物！！」
　　講　　師　　三輪　誠　氏
　　（埼玉県環境科学国際センター　研究推進室　副室長）
　　エ　展　　示　アライグマ、タヌキ、ハクビシン等のはく製
(5) 参加者へのアンケート結果（回答数82件）

「クビアカツヤカミキリについて注意して確認しなければならないと感じた。」・「外来生物の実態を細かく教えていただいて驚いた。今後は、周りをよく観察したい。」等の意見があった。

事業名	「加須市の環境」発行事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4112-05
款	02	総務費	当初予算額	22,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	22,000円
目	12	公害対策費	決算額	21,600円
事業の目的	環境行政への関心を深めてもらうとともに、市民・事業者との協働による環境への取組を促進するため、環境関連施策の実績を公表する。	事業の概要	「加須市の環境」を発行し、市民・事業者に周知する。	

事業の実績・成果

○「加須市の環境」の編集・発行

平成30年度における環境基本計画及び環境関連計画に掲げる施策の実績をまとめた「加須市の環境 令和元年度版（平成30年度実績）」を発行・公表し、事業の点検・評価に活用した。

1　内　容　　総括
　　環境の保全及び創造に関し講じた施策の概要及び実績・成果
　　環境関連計画の概要と成果
　　資料

2　発　行　　令和元年9月

3　部　数　　110部

事業名	環境基本計画進行管理事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4211-02
款	02	総務費	当初予算額	119,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	119,000円
目	12	公害対策費	決算額	39,544円
事業の目的	豊かな自然と快適な環境のまちづくりを推進するため、加須市環境基本計画に掲げた施策を計画的に推進する。	事業の概要	環境審議会での助言・提言等を踏まえ、環境施策に係る報告書の「加須市の環境」を発行し、進行管理を行う。また、報告書を市民に公表し、意見を環境行政に反映させる。 ・計画期間：平成23年度～令和2年度	

事業の実績・成果

○　加須市環境基本計画に基づく進行管理

加須市環境基本計画及び環境関連計画に基づき、環境関連施策の進捗状況の把握、点検・評価を行い、平成30年度の施策事業実績をまとめ、環境審議会に報告した。

環境審議会での助言・提言等を踏まえ、「加須市の環境 令和元年度版（平成30年度実績）」の発行・公表及び施策事業の適切な運用を図った。

・環境審議会（設置根拠：加須市環境基本条例第22条）

委員数　　15人

開催日　　第1回加須市環境審議会　　令和元年8月9日（金）

事 業 名		生物多様性推進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4211-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	112,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	112,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	71,314 円
事業の目的	点在する貴重な水辺環境を保全するため、多様な生物が生息できる水の郷を創造する。		事業の概要	自然観察会等を通した、生物多様性の重要性についての意識啓発を行う。 コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラムやラムサール条約登録湿地関係市町村会議への参加による、県域を超えた市町村間の交流や意見交換を行う。

事業の実績・成果

1　生物基礎調査兼自然観察会の開催

貴重な自然環境や美しい歴史的景観を形成している「浮野の里（加須地域）」「風の里公園（騎西地域）」「オニバス自生地（北川辺地域）」「お花が池（大利根地域）」にて、自然観察会を開催した。

埼玉県川の国アドバイザー、埼玉県生態系保護協会加須支部と連携し、講師としてより詳しい説明等行っていただくことで、参加者は生物多様性の大切さと市内の自然環境の現状を体感した。

また、観察会に併せて生物基礎調査を実施し、生物多様性かぞ戦略に活用する基礎データを収集した。

【加須地域】

・浮野の里昆虫観察会　令和元年8月8日（木）午前10時～正午
参加者30人（子ども18人、大人12人）

・浮野の里水生生物観察会　令和元年8月9日（金）午前10時～正午
参加者30人（子ども18人、大人12人）

【騎西地域】

・風の里公園自然観察会　令和元年7月1日（月）午前9時20分～午前10時20分
参加者27人（種足小学校3年生25人、教師2人）

【北川辺地域】

・オニバス自生地自然観察会　令和元年8月22日（木）午前9時30分～午前10時45分
参加者 31人（北川辺東小学校5年生30人、教師1人）

【大利根地域】

・お花が池自然観察会　令和元年6月28日（金）午前10時35分～11時20分
参加者31人（元和小学校5年生28人、教師3人）
令和元年7月9日（火）午前9時～午前10時00分
参加者 30人（元和小学校5年生28人、教師2人）

2　「かぞ生きもノート」の実施

いきものログを活用した、市民参加型・加須市の生きものの記録「かぞ生きもノート」を継続実施。ホームページ上に、登録用QRコードを表示し、参加啓発を行った。

3　「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」　運営負担金　30,000円

コウノトリ・トキの舞う地域づくりシンポジウムにおいて、市の自然観察会等の取組みなどの情報提供をおこなった。また、国土交通省をはじめとする、国の関係機関に対し要望を行った。

4　「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」　運営負担金　40,000円

渡良瀬遊水地の関係市町（栃木市、小山市、野木町、古河市、板倉町）と連携し、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議で運営しているホームページにて、渡良瀬遊水地のイベント情報や保全活動等のPRページを掲載し、周知を図った。

事 業 名		鳥獣対策推進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4211-08
款	02	総務費	当 初 予 算 額	250,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	250,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	223,662 円
事業の目的	鳥獣による生活環境や農林水産業、生態系への被害を防止するため、鳥獣の保護及び狩猟、管理の適正化を図る。	事業の概要	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく有害鳥獣捕獲許可等の事務や、埼玉県アライグマ防除実施計画に基づく特定外来生物であるアライグマの捕獲を実施する。	

事業の実績・成果

1　アライグマの防除対策

・アライグマ捕獲器4基の購入

・市内でのアライグマ捕獲希望者を対象に、アライグマ捕獲ボランティア養成講座を開催した。
　実施日　令和元年9月6日
　会場　三俣コミュニティセンター　講堂
　参加者　29名

・アライグマの被害防止のため、捕獲器によりアライグマ85頭を捕獲した。
　（加須地域：27頭、騎西地域：23頭、北川辺地域：16頭、大利根地域：19頭）

・捕獲後の対応　　個体検査を実施し、埼玉県アライグマ防除実施計画に基づき県へ報告した。

2　令和元年度加須市有害鳥獣駆除補助金　80,000円
　加須猟友会による有害鳥獣の駆除

(1) 駆除実施日　令和元年11月23日、12月8日、令和2年1月19日、合計3日間
(2) 捕 獲 内 訳　カラス35羽、ムクドリ199羽、キジバト55羽
(3) 捕 獲 場 所　特定猟具使用禁止区域（銃）を除く加須市内全域

3　クビアカツヤカミキリの防除対策

・クビアカツヤカミキリによる被害が確認できた樹木への薬剤の注入及び成虫の捕殺を行った。

・広報誌等により市民への情報提供を行った。

事 業 名		屋敷林等保全事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4213-06
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,177,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	1,177,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	964,318 円

事業の目的	豊かな自然環境の保全のため、市内に残る貴重な屋敷林や樹木の保全・保護を図る。	事業の概要	市内に点在する貴重な屋敷林や樹木を指定し、奨励金（樹林 10 円/㎡、樹木 3,000 円/本）を交付することで、貴重な緑の保全を図る。また、指定屋敷林の募集を継続して行い、保全樹林面積の増加を図る。 平成 27 年度から保存樹木の対象を全地域とした。

事業の実績・成果

1　指定及び奨励金交付

市内の屋敷林等の身近な緑を末永く保全するため、市内に点在する貴重な屋敷林・樹林や樹木の中で要件を満たすものを保存樹林等として指定し、管理者に 1 ㎡当たり 10 円又は 1 本当たり 3,000 円の奨励金を交付した。

【屋敷林等保全奨励金】　957,325 円

(1) 奨励金交付箇所：93 箇所（樹林 27 箇所 92,212.5 ㎡、樹木 66 本）

(2) 保存樹木表示プレート作成（1 枚）

2　指定屋敷林等の指定状況

(1) 保存樹林　（単位：箇所）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
指定箇所	31	29	28	28	26

(2) 保存樹木　（単位：本）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
指定本数	63	67	75	74	75

事 業 名		生活排水処理施設整備計画策定事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4221-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	4,882,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	4,882,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	4,400,000 円
事業の目的	生活排水処理施設（公共下水道や農業集落排水、合併処理浄化槽）の効率的かつ経済的な整備手法やその推進方法の計画を策定し、河川などの公共用水域の汚濁等の改善し生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。		事業の概要	令和７年度を目標年度とした公共下水道事業、農業集落排水事業及び、浄化槽転換促進事業を推進するための計画を策定する。

事業の実績・成果

【計画策定の背景】

平成 26 年１月「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」
（国土交通省・農林水産省・環境省）
・10 年程度での汚水処理施設の概成、既存整備地区の効率的な管理運営手法の検討が求められた。

平成 30 年１月「汚水処理の事業運営に係る「広域化・共同化」の策定について」
（総務省・農林水産省・国土交通省・環境省）
・令和４年度までに「広域化・共同化計画」の策定が求められた。

↓

令和元年５月　「埼玉県生活排水処理施設整備構想見直しに伴う市町村生活排水処理基本計画等見直し作業マニュアル」
・市町村の計画についても見直しを求められた。

↓

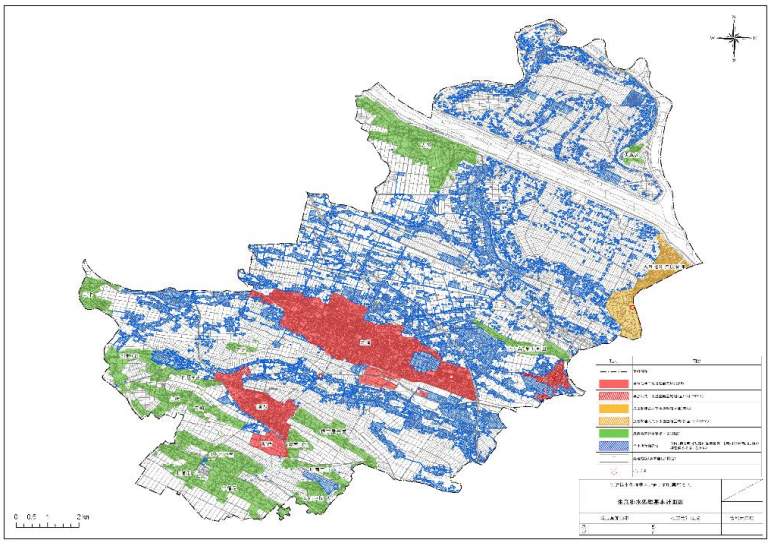
これらを踏まえて「加須市生活排水処理施設整備計画」を改訂する。

【実　績】

加須市生活排水処理施設整備計画見直し業務委託
受注業者　㈱ＮＪＳ　関東事務所
委託金額　4,400,000 円

【成　果】

市内各地域の特性等を考慮した整備手法を生活排水処理基本計画図に示し、目標年度（令和７年度）を目途とする「第３次加須市生活排水処理施設整備計画」の策定を令和２年度に公表、周知する。



事業名	浄化槽転換促進事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4223-01
款	02	総務費	当初予算額	51,154,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	51,154,000円
目	12	公害対策費	決算額	28,446,941円
事業の目的	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。	事業の概要	合併処理浄化槽への転換を促進するため、転換を実施する者に補助金を交付する。 また、合併処理浄化槽への転換について普及啓発を実施する。	

事業の実績・成果

1　合併処理浄化槽設置整備補助金

河川等の水質浄化を図り、より良い環境づくりを目指して、単独処理浄化槽又は汲み取り便槽から合併処理浄化槽へ転換する市民に対して補助金を交付した。（補助金の対象となる区域は、加須市生活排水処理施設整備計画における浄化槽整備区域である。）

(1) 補助金交付額　28,410,000円

内訳

・合併処理浄化槽への転換に伴う設置費補助　18,440,000円（44基分）

（単位：基）

年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
施工業者／人槽	市内業者	市外業者	市内業者	市外業者	市内業者	市外業者
5人槽	4	9	8	25	3	13
7人槽	7	24	10	34	8	16
10人槽	0	0	0	2	1	3

・汲み取り方式の便槽または単独処理浄化槽の処分費補助　2,050,000円（41基分）

・合併処理浄化槽への配管費補助　7,920,000円（44基分）

(2) 人槽別補助金額　（単位：円）

	設置費		処分費	配管費
施工業者／人槽	市内業者	市外業者		
5人槽	362,000	352,000	50,000	180,000
7人槽	444,000	434,000		
10人槽	578,000	568,000		

※処分費、配管費は、要した費用と比較して少ない方を交付額とする。

(3) 合併処理浄化槽設置補助基数　（単位：基）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
109	36	44	79	44

2　浄化槽等の設置基数の状況（令和元年度末）　（単位：基）

区域／排水処理	浄化槽整備区域	公共下水道整備区域	流域下水道整備区域	農業集落排水整備区域	市内全域
合併処理浄化槽	9,137	284	1,253	419	11,093
単独処理浄化槽	7,600	1,944	1,147	874	11,565
汲み取り便槽	1,869	640	106	387	3,002
計	18,606	2,868	2,506	1,680	25,660

※浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽普及率　令和元年度末：49.1%（平成30年度末：47.9%）

事 業 名		水質浄化促進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4224-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	386,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	386,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	386,000 円
事業の目的	きれいな水の再生のため、市内の公共用水域の水質改善を図る。		事業の概要	河川浄化対策協議会や市民との協働による河川の浄化活動・清掃活動を支援し市民による浄化活動を促進する。 さらに、河川浄化の啓発活動を実施するとともに、冬期試験通水を実施する。

事業の実績・成果

1　加須市河川浄化対策協議会加須支部補助金　300,000 円

(1) 加須地域内８河川等の水質簡易測定及び清掃の実施
（午の堀川、中川、新槐堀川、会の川、六郷堀、青毛堀川、五ヶ村落、南方用水）
実施日　令和元年８月 28 日（水）、令和２年１月 21 日（火）

(2) 会の川清掃活動
実施日　令和元年 10 月 17 日（木）
参加者　57 人
回収量　550ｋｇ

(3) 協議会だよりの発行
年２回発行し、活動報告と水質浄化の啓発を図った。

2　加須市大利根地域河川浄化対策協議会補助金　20,000 円

(1) 大利根地域一斉清掃　令和元年７月 28 日（日）、令和元年 12 月 22 日（日）

3　利根大堰左岸に係る冬期通水推進連絡会負担金　66,000 円

利根大堰左岸に係る幹線水路に冬期通水を行うことにより農業用水の高度利用と水辺空間及び多面的機能の向上を図った。

4　冬期試験通水

(1) 通水計画期間　令和元年 10 月１日から令和２年３月 31 日まで
(2) 通水計画日数　利根川右岸 183 日、左岸 183 日
(3) 通水実施日数　利根川右岸 121 日、左岸 118 日
(4) 利根合口農業水利協議会及び関係市町、土地改良区で利根大堰に係わる冬期試験通水要望活動を行った。

5　冬期試験通水に係る水質測定

市内を流れる小川台用水、四ヶ村用水の各水路に通水を行い、水質測定を実施した。

・測定結果

河川名	測定項目	通水前（夏）	通水後（冬）
六郷堀	BOD（mg/l）	―	―
小川台用水	BOD（mg/l）	1.0	7.0
四ヶ村用水	BOD（mg/l）	0.5	1.6

※令和元年度は会の川の改修工事のため、六郷堀の冬期試験通水は中止となった。

事 業 名		省資源・省エネルギー促進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4311-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	41,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	41,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	29,096 円
事業の目的	地球温暖化を防止するため、市・市民・事業者の各主体が省資源・省エネルギーを推進する。		事業の概要	第 2 次加須市節電行動プランに基づき、節電社会の構築に向け市・市民・事業者が一体となった節電行動を推進するため、エコライフ DAY チェックシート・節電コンテスト・グリーン購入等の意識啓発及び実践のための取組みを実施する。

事業の実績・成果

1　エコライフＤＡＹ2019 の実施

家庭からの二酸化炭素排出削減を目的とした、エコライフＤＡＹチェックシートを夏・冬と 2 回実施し、エコライフへの意識の向上と取組の促進を図った。

	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	参加人数	二酸化炭素削減量(kg)	参加人数	二酸化炭素削減量(kg)	参加人数	二酸化炭素削減量(kg)	参加人数	二酸化炭素削減量(kg)	参加人数	二酸化炭素削減量(kg)
夏	13,472	10,659	11,623	14,624	12,604	10,000	11,680	9,336	12,182	10,017
冬	16,063	13,780	15,849	15,136	13,758	13,271	9,801	8,440	10,088	8,883
計	29,535	24,439	27,472	29,760	26,362	23,271	21,481	17,776	22,270	18,900
対前年増減率(%)	▲3.6	▲7.7	▲7.0	21.8	▲4.0	▲21.8	▲18.5	▲23.6	3.7	6.3

2　節電川柳（コンテスト）の開催　　6,500 円

加須市節電行動プランに基づき、節電社会の構築に向けた啓発として「節電川柳」を実施。優秀な作品 5 点を選出し、環境フォーラムにおいて、賞状と記念品を贈呈した。

(1) 表彰式　令和元年 11 月 9 日（土）

(2) 応募者　256 作品

事 業 名		環境にやさしい自動車利用促進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4312-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	863,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	863,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	769,811 円
事業の目的	化石燃料の使用量や排出ガスの削減を図り、低炭素社会を実現するため、電気自動車などの環境にやさしい自動車の利用を促進する。	事業の概要	電気自動車用充電設備の利用促進を図るとともに電気自動車等のエコカーの普及を促進する。また、アイドリングストップ、エコドライブ、カーシェアリングの普及啓発を進める。	

事業の実績・成果

○電気自動車急速充電器

(1) 設置施設

ア　加須市役所南側駐車場（平成 24 年 3 月 30 日供用開始）
　　利用時間：8 時 30 分～17 時 15 分（土、日、祝日、年末年始を除く）

イ　道の駅童謡のふる里おおとね（平成 26 年 3 月 30 日供用開始）
　　利用時間：9 時 30 分～17 時（第 1・第 3 水、年始を除く）

(2) 電気自動車急速充電器の利用状況

（単位：回）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
加須市役所南側駐車場	116	8	0	3	4
道の駅童謡のふる里おおとね	421	13	10	15	12
合　　計	537	21	10	18	16

※　平成 27 年度まで無料

※　平成 28 年 4 月 1 日から、使用料　500 円/回（1 回 30 分以内）
　　（加須市電気自動車充電設備の利用に関する条例）

(3) 電気自動車急速充電器維持管理費

・電気料　　423,659 円

・保守委託料　297,552 円

事 業 名		自転車利用促進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4313-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	197,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	197,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	186,438 円
事業の目的	地球環境に関心を持ち、限りあるエネルギー資源を大切にするとともに、市民の健康増進とゆとりある生活スタイルを確立するため、身近な移動手段としての自転車の使用を促進する。	事業の概要	埼玉県「ぐるっと埼玉サイクルネットワーク構想」と連携したサイクリング推奨ルートの啓発やパンフレット「自転車生活のすすめ」を利用した自転車生活の普及啓発を図るほか、自転車利用促進計画に基づく事業を展開する。	

事業の実績・成果

1　第2次加須市自転車利用促進計画の策定（平成28年6月）

地球環境に関心を持ち、限りあるエネルギー資源を大切にするとともに、市民の健康増進とゆとりある生活スタイルを確立するため、平成28年度から令和2年度を計画期間とする、第2次加須市自転車利用促進計画を策定した。

2　サイクルポート（駐輪場）の維持管理

騎西地域の路線バス停留所に併設される待合施設8か所、駐輪場5か所の維持管理を行った。

・土地借上げ（13か所）

事 業 名		グリーンカーテン促進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4321-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	280,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	280,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	200,136 円
事業の目的	消費電力の削減を図るため、夏のエアコン等の使用を抑制する。	事業の概要	市民の節電意識を高め CO2 を削減するため、グリーンカーテンコンテストを開催し、市内におけるグリーンカーテンの普及啓発を行う。	

事業の実績・成果

1　グリーンカーテン用苗の市民配布　　54,000 円

夏の節電対策として、エアコンの使用抑制と節電への意識の広がりを醸成するために、グリーンカーテン用苗を市民に配布し、節電への意識啓発と取組促進を図った。

・配布苗　ゴーヤ

・配布数　522 ポット（ゴーヤ苗を 1 人 2 ポット配布）

2　市民向けグリーンカーテン育成講習会の実施

夏の節電対策として、エアコンの使用抑制と節電への意識の広がりを醸成するために、市民向けのグリーンカーテン育成講習会を実施し、節電への意識啓発と取組促進を図った。

(1) 開 催 日　　令和元年 6 月 12 日（水）

(2) 場　　所　　花崎コミュニティセンター

(3) 参加人数　　31 人（ゴーヤ苗を 1 人 2 ポット配布）

3　公共施設グリーンカーテンの実施　　120,827 円

地球温暖化対策の一環として公共施設（学校は別途）にグリーンカーテンを設置し、市民へのグリーンカーテン設置啓発を行い、節電への意識啓発とともに冷房費用の抑制に寄与した。

・需用費（消耗品）　120,827 円　　苗木、プランター他

・グリーンカーテン設置施設数の推移　　（単位：施設）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
40	37	37	36	28

事 業 名		再生可能エネルギー利用促進事業			
担 当 課		環境政策課		総合振興計画コード	4322-01
款	02	総務費		当 初 予 算 額	220,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	220,000 円
目	12	公害対策費		決 算 額	220,000 円
事業の目的	電力を創出し、節電社会の構築を図るため、太陽光などの再生可能エネルギーを活用した発電を促進する。		事業の概要	公共施設に設置されている風力発電システムの点検を行う。	

事業の実績・成果

○風力発電システム設置場所
加須市下三俣 590（加須市民運動公園内）

○令和元年度点検（1 回/4 年）
委 託 名　風力発電装置保守委託
委託業者　共栄テクノス㈱
委託金額　220,000 円

※平成 20 年に共栄テクノス㈱が開発した風力発電システムを寄贈されたもので、今回は、点検・清掃及び蓄電池の交換を行った。次回は令和 4 年度を予定している。

事 業 名		公害未然防止事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4341-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,735,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	1,735,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	858,164 円
事業の目的	市民が良好な生活環境のもとで、健康で快適に暮らすことができるまちづくりを推進する。		事業の概要	市民からの大気汚染（野外焼却）、水質汚濁、騒音、振動、悪臭等の苦情への対応や防止対策の助言、指導を行う。 また、工場や事業所からの騒音・振動等特定施設の届出等の受理や騒音・振動規制の指導助言を行うとともに、野外焼却の禁止など市民への意識啓発を実施する。

事業の実績・成果

〇苦情への対応

市民等から公害苦情の相談があった場合、 現場に急行し、苦情相談者から発生時期（時間帯）や発生場所、原因者、被害の程度、要望等を聴取・調査した上で、原因究明のため現地確認や発生原因者からの事情聴取を行い、解決策として公害防止、改善対策を検討し、発生原因者へ解決に向けた助言や指導を行うとともに苦情相談者へ対応に係る説明を実施した。

【苦情件数の推移】

（単位：件）

	大気汚染 ( )内、野焼き件数	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	合計
平成 27 年度	54(52)	14	13	3	20	104
平成 28 年度	38(38)	9	18	2	7	74
平成 29 年度	45(41)	11	16	2	9	83
平成 30 年度	23(23)	9	20	1	10	63
令和元年度	26(25)	7	22	2	14	71

事業名	監視測定事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4342-01
款	02	総務費	当初予算額	5,459,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	5,459,000円
目	12	公害対策費	決算額	4,741,000円
事業の目的	市民が良好な生活環境のもとで健康で快適に暮らすことのできるまちづくりを推進するため、定点及び周期的な環境測定を実施する。	事業の概要	大気中のダイオキシン類や二酸化窒素、二酸化硫黄、河川等の水質、自動車交通騒音測定等の環境測定を継続的に実施するとともに測定結果を市民に公表する。 また、光化学スモッグ注意報の発令・解除情報及びPM2.5の注意喚起情報の提供を行う。	

事業の実績・成果

1　河川等水質検査業務

委託費：1,397,000円

・市内河川等のうち、51地点の水質検査を夏期（9月）、冬期（2月）に実施した。

【測定結果】　単位：mg/ℓ（pH除く）

	pH（水素イオン濃度）		SS（浮遊物質量）		BOD（生物化学的酸素要求量）	
	夏期	冬期	夏期	冬期	夏期	冬期
最小値	6.5	6.6	2	<1	<0.5	1.5
最大値	7.7	8.5	68	24	2.7	24
基準超過地点数	0	0	2	0	0	5

コイ、フナが生息できる「きれいな川」はBOD5 mg/ℓ以下である。

加須市の北川辺地域を除く河川は、中川の水質環境基準のC類型を参照し、基準値はpH：6.5～8.5、SS：50 mg/ℓ以下、BOD：5 mg/ℓ以下に、北川辺地域の河川は、渡良瀬川の水質環境基準のB類型を参照し、基準値はpH：6.5～8.5、SS：25 mg/ℓ以下、BOD：3mg/ℓ以下、大腸菌群数：5,000MPN/100mℓ以下にしている。

2　ダイオキシン類環境測定業務

委託費：2,354,000円

【大気中のダイオキシン類濃度測定結果】　（単位：pg-TEQ/m^3）

測定地点	ダイオキシン類濃度		
	夏季（7/31～8/7）	冬季（12/10～12/17）	平均
消防団第8分団（下樋遣川）	0.032	0.057	0.045
騎西総合支所（騎西）	0.030	0.046	0.038
北川辺分署（麦倉）	0.033	0.035	0.034
大利根総合支所（北下新井）	0.070	0.210	0.140

大気環境基準は、年平均0.6pg-TEQ/m^3である。

3　大気測定業務

委託費：429,000 円

・6 月から 3 月にかけて測定を実施し、1 地点につき 1 箇月ごとに 8 回試料採取した。

(1) 大気中の二酸化硫黄濃度測定結果　（単位：ppm）

測　定　地　点	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
三俣小学校（北小浜）※1	0.0010	0.0009	0.0009	0.0010	0.0010
騎西小学校（騎西）	0.0011	0.0009	0.0010	0.0009	0.0009
道の駅かぞわたらせ（小野袋）	0.0018	0.0021	0.0023	0.0030	0.0029
大利根総合支所（北下新井）	0.0011	0.0009	0.0012	0.0010	0.0011

※1　加須地域の測定は平成 28 年度まで昭和中学校（北小浜）で実施。

数値は、1 時間平均値。

二酸化硫黄環境基準は、1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。

(2) 大気中の二酸化窒素濃度測定結果　（単位：ppm）

測　定　地　点	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
三俣小学校（北小浜）※1	0.0081	0.0076	0.0059	0.0043	0.0037
騎西小学校（騎西）	0.0070	0.0068	0.0057	0.0052	0.0049
道の駅かぞわたらせ（小野袋）	0.020	0.019	0.017	0.019	0.019
大利根総合支所（北下新井）	0.0058	0.0069	0.0061	0.0055	0.0054

※1　加須地域の測定は平成 28 年度まで昭和中学校（北小浜）で実施。

数値は、1 時間平均値。

二酸化窒素環境基準は、1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。

4　自動車交通騒音測定業務　（単位：dB(A)）

測定地点	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
県道加須幸手線（睦町）	62.0 59.7	63.5 60.5	64.8 61.6	62.1 59.1	69.1 63.8
東北縦貫自動車道（下谷）	70.1 68.1	67.7 64.9	67.5 65.6	65.9 63.6	66.0 63.2
県道加須停車場線（中央二丁目）	61.0 53.5	59.3 52.9	59.7 52.2	60.1 51.7	60.2 51.9
一般国道 122 号（下崎）	73.3 71.6	74.9 73.0	74.5 72.5	74.2 71.7	75.5 73.7
県道佐野古河線（小野袋）	71.1 68.8	69.3 69.3	63.6 63.2	66.1 63.8	67.2 65.3
県道羽生栗橋線（北下新井）	69.5 66.2	69.9 65.2	69.4 66.8	69.1 65.4	69.8 64.8

上段は昼間（6 時～22 時）平均、下段は夜間（22 時～6 時）平均。

道路に面する地域に係る環境基準は、昼間は 70dB 以下、夜間は 65dB 以下である。

道路管理者又は関係行政機関の長に意見を述べることができる要請限度は、昼間は 75dB、夜間は 65dB である。

5　自動車交通騒音測定面的評価業務

委託費：561,000 円

・調査期日　令和 2 年 1 月 21 日～22 日

・調査地点　一般国道 125 号

・調査路線

路線名	調査区間		評価区間延長（km）
	始点	終点	
一般国道 125 号	南篠崎	不動岡	3.5

・調査内容

①道路交通騒音

②交通条件（交通量、走行速度）

③面的評価

・調査結果

調査路線	時間区分	調査結果（dB(A)）	環境基準（dB(A)）	評価対象戸数（戸）	昼夜ともに基準達成戸数（戸）	環境基準達成率
一般国道 125 号	昼間	69	70	266	260	97.7%
	夜間	66	65			

6　光化学スモッグ等に関する情報の提供

・光化学スモッグ注意報等の発令時に、防災行政無線等により市内全域に注意喚起した。

（令和元年度　光化学スモッグ予報 9 件、光化学スモッグ注意報 5 件）

・埼玉県内の PM2.5 の測定値を市のホームページにより情報提供を行った。

（令和元年度　PM2.5 注意喚起 0 件）

事業名	放射能測定事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4342-02
款	02	総務費	当初予算額	1,605,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,605,000円
目	12	公害対策費	決算額	1,250,100円
事業の目的	東京電力福島第一原子力発電所での事故の発生に伴い放出された放射性物質について適切な対応を図ることで市民の安心、安全の確保を図る。	事業の概要	定期的な空間放射線量の測定や土壌、給食等の放射能測定及び市民からの申請による放射線量の出張測定、自家用野菜の放射能測定を実施し、その結果を公表する。	

事業の実績・成果

1　空間放射線量の定点測定

・測定期間　平成31年4月1日～令和2年3月31日まで：月曜日の午前9時

・測定箇所　加須小学校、大越小学校、騎西中学校、北川辺中学校、大利根中学校

・測定器　　Ｍｒ．Ｇａｍｍａ A2700

・測定結果

測定箇所	最低値	最高値
加須小学校	0.021μSv/h	0.059μSv/h
大越小学校	0.032μSv/h	0.057μSv/h
騎西中学校	0.024μSv/h	0.040μSv/h
北川辺中学校	0.027μSv/h	0.051μSv/h
大利根中学校	0.035μSv/h	0.052μSv/h

2　「周辺より高線量を示すおそれのある箇所」の測定

学校や子どもが利用する主な施設の局所的に放射線量が高いと思われる箇所の空間放射線量の測定を実施した。

測定箇所　　すべての小中学校・幼稚園、市立保育所、児童館など及び主な都市公園の合計73施設

・測定期間及び測定箇所、測定結果

測定回数	測定期間	測定箇所	最低値	最高値
第30回測定	令和元年9月2日～6日	378	0.017μSv/h	0.099μSv/h
第31回測定	令和2年2月10日～21日	378	0.015μSv/h	0.097μSv/h

3　職員による出張測定（空間放射線量測定）

・実績（令和元年度の実施なし）

4　市内産野菜等の放射性物質濃度測定業務委託

・実績（令和元年度の実施なし）

5　プール（水・沈殿物）の放射能測定：14,040円

・使用中のプール水の放射性物質濃度の測定を加須市民プールで行った結果、放射性物質は検出されなかった。

6　焼却灰等の放射能測定の実施：1,236,060円

加須及び大利根クリーンセンターにおいて、放射性ヨウ素及び放射性セシウムの濃度測定を焼却灰（主灰）を年2回、飛灰等を年12回実施した結果、放射性ヨウ素については不検出、放射性セシウムについては基準値（8,000Bq/kg）超過はなかった。

7　広報活動

・市ホームページ、広報紙で測定結果を公表した。

事 業 名		環境保全推進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4343-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	78,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	78,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	60,074 円
事業の目的	豊かな自然と良好な生活環境を将来にわたり確保する。		事業の概要	環境保全条例に基づく土地の埋め立ての規制・指導や空き地の雑草などの適正管理の指導を実施する。 既存の残土の堆積地や新たな違法、無許可埋立ての防止を図るため、関係機関と連携したパトロールを実施する。 環境配慮事業者への指導や協定の締結を行う。

事業の実績・成果

1　巡回パトロールの実施

環境保全のため、不法投棄及び違反埋立ての監視を目的とした県との合同パトロールを3回実施した。

【実施日】

令和元年8月29日、同年10月17日、同年11月6日

2　空き地の雑草等の適正管理の指導件数

雑草の繁茂等、適正管理の成されていない空き地の所有者に対し、改善するよう文書指導を行い、空き地の適正管理を図った。

（単位：件）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
83	82	84	116	75

3　埼玉県緑化推進委員会会費　30,000円

県土の緑化運動及び緑の募金を推進することにより、国土の緑化及び国際的な緑化に寄与することを目的としている法人で本市が正会員になっている。

4　環境配慮事業の協定締結

敷地面積3,000㎡以上　建築面積1,000㎡以上の製造業、加工修理業に係る工場の新設

実績

2社（うち加須IC東産業団地区画1社　内田ケ谷1社）

事 業 名		ムクドリ対策事業			
担 当 課		環境政策課		総合振興計画コード	4343-04
款	02	総務費		当 初 予 算 額	45,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	45,000 円
目	12	公害対策費		決 算 額	28,080 円
事業の目的	良好な生活環境を確保するため、ムクドリ被害の抑制・軽減を図る。		事業の概要	ムクドリが嫌がる音声を飛来する群れやねぐらに向けて流したり、拍子木等による追い払いやムクドリの糞で汚れた道路の清掃を地元自治協力団体との協働により実施する。	

事業の実績・成果

1　ムクドリの鳴き声による騒音対策

(1) 実施日等

令和元年7月1日（月）～3日（水）、24日（水）～26日（金）

9月12日（木）～13日（金）　17日（火）

参加延べ人数　211人

(2) 実施場所

花崎駅北口周辺

(3) 実施内容

ディストレスコール（ムクドリが嫌がるとされている鳴き声）を拡声器で流しながらの巡回（公用車）や拍子木打ち鳴らしによる追払い

(4) 協力団体等

自治協力団体（花崎北第一区町内会、花崎北第二区町内会、花崎北第三区町内会、ライオンズガーデン花崎町内会）及び関係課（まちづくり課、道路課）

2　ムクドリの糞害対策（花崎駅北口周辺）

例年、花崎駅北口ロータリー周辺の糞害対策として、歩道等の路面清掃を地元自治協力団体と協働し、高圧洗浄機やデッキブラシにより実施しているが、昨年度に引き続き今年度も台風・秋雨による降雨の影響と、ムクドリの撤退時期が重なり、汚れが目立たなかったため、現場確認及び自治協力団体との協議により中止した。

3　次年度以降の対策

全国的に抜本的な対処法が確立していないため、次年度以降についても、地元自治協力団体と協議のうえ、引き続き追払い等を実施する方針で決定した。

令和2年度については、ムクドリ追い払いに効果があると思われる「カイト鷹」を購入し試験的な活用を図る。

事業名	交通遺児支援事業		
担当課	子育て支援課	総合振興計画コード	1112-03
款 02	総務費	当初予算額	219,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	219,000円
目 13	交通安全対策費	決算額	180,441円

事業の目的	交通遺児を扶養している方の経済的な支援を行い、交通遺児世帯の生活の安定を図る。 ※交通遺児 交通事故により死亡又は重い障害が残った父若しくは母又はこれに準ずる者に養育されている市内小・中学校に在学する者	事業の概要	交通遺児を扶養している方からの申請により、図書カードを支給する。 ・対象者調査（小中学校へ依頼） ・支給時期：12月 ・支給額：小学生 10,000円、 中学生 20,000円 ・支給方法：郵送（配達証明） ・基準日：9月1日

事業の実績・成果

交通遺児対象者を把握するため、市内小中学校へ調査を依頼し、対象者に加須市交通遺児支援基金を活用して図書カードを支給した。これにより、交通遺児の健全な育成と交通遺児を扶養する方の経済的な支援を行った。

1　事業内容

(1) 支援金（図書カード）

・小学生　10,000円分/1人

・中学生　20,000円分/1人

2　交通遺児人数及び支給額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小学生（人）	5	7	5	3	0
中学生（人）	3	2	2	4	7
支給額（円）（図書カード）	110,000	110,000	90,000	110,000	140,000

事 業 名		交通安全計画進行管理事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	3121-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	264,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	264,000 円
目	13	交通安全対策費	決 算 額	98,030 円
事業の目的	本市における交通安全に関する施策を総合的かつ計画的な推進を図るため、交通安全対策基本法に基づく加須市交通安全計画の進行を管理する。		事業の概要	加須市交通安全対策協議会を開催し、交通安全対策の推進体制の強化を図るとともに、交通安全計画の進行を管理する。 計画期間：平成 28 年度～令和 2 年度

事業の実績・成果

交通安全計画に係る平成 30 年度の各取組の実績確認（照会）を行うとともに、交通安全計画庁内推進委員会及び交通安全対策協議会を開催し、進捗状況等の報告等を行った。

また、交通安全対策協議会において各季の交通安全運動等に係る実施要綱（案）及び実施計画書（案）の協議を行った。

○交通安全計画庁内推進委員会

開　催　日　令和元年 7 月 22 日

○交通安全対策協議会

第 1 回

開　催　日　令和元年 6 月 6 日

出席委員数　7 名

内　　容　・夏の交通事故防止運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

第 2 回

開　催　日　令和元年 8 月 29 日

出席委員数　7 名

内　　容　・秋の全国交通安全運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

・交通安全計画の平成 30 年度取組結果について

第 3 回

開　催　日　令和元年 11 月 14 日

出席委員数　9 名

内　　容　・冬の交通事故防止運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

第 4 回

開　催　日　令和 2 年 3 月 10 日の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止し、書面協議を行った。

内　　容　・春の全国交通安全運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

事 業 名		交通安全団体活動支援事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	3121-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	28,042,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	28,042,000 円
目	13	交通安全対策費	決 算 額	21,812,421 円
事業の目的	市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活を送れるようにするため、交通安全活動を行う団体を支援する。		事業の概要	・交通指導員協議会、交通安全母の会、交通安全協会等の円滑な活動を支援するため、補助金を交付するほか、交通指導員の報酬等の支給及び制服の貸与をする。 ・交通指導員協議会　625,000 円 ・交通安全母の会　963,000 円 ・交通安全協会　2,266,000 円

事業の実績・成果

1　加須市交通指導員協議会の活動内容

市民が安全で安心して生活できるようにするために、朝の学童指導をはじめ、薄暮時街頭指導のほか、市のイベントや交通安全キャンペーン、地域の祭り等における交通指導など、交通道徳の普及・高揚・啓発に努めた。

(1)朝の学童指導及び薄暮時街頭指導
(2)市民平和祭、こいのぼりマラソン大会、渡良瀬遊水地まつり in KAZO などにおける交通指導
(3)各地域主催の催し物における立哨指導
(4)交通指導員研修会（服装規律・装備品点検、交通安全講話）ほか

2　加須市交通安全母の会の活動内容

交通安全母の会は、「交通安全は家庭から」をモットーに、子どもと高齢者の交通事故を防止するための各種交通安全啓発事業を実施し、交通事故のない、明るく住み良い地域社会づくりに寄与した。

(1)春・秋の全国交通安全運動及び夏・冬の交通事故防止運動への参加、啓発品の配布
(2) 騎西保育所において新入学園児の交通安全教室の開催
(3)広報紙「加須市交通安全母の会だより」を発行
(4)各支部での交通安全啓発活動の実施
・母と子の交通安全教室の開催（加須支部）
・交通事故なし作戦の実施（騎西支部）
・高齢者交通安全教室の開催（北川辺支部）
・カインズホーム大利根店における交通安全キャンペーンの実施（大利根支部）

3　加須交通安全協会の活動内容

交通道徳の普及高揚と交通事故の防止を目的に、広報活動や啓発活動、交通関係功労者・団体・優良運転者の表彰、埼玉県交通安全協会の交通安全活動に関する協力等を行った。

事業名	交通安全啓発事業		
担当課	交通防犯課	総合振興計画コード	3121-04
款 02	総務費	当初予算額	1,715,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	1,715,000円
目 13	交通安全対策費	決算額	1,333,226円
事業の目的	市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	事業の概要	・各種交通安全運動期間に交通安全の啓発を行う。 ・参加･実践型高齢者交通安全教室、子ども自転車運転免許事業、中学生対象の交通安全教室を実施する。 ・敬老会等各地域のイベントにおける交通安全啓発を実施する。

事業の実績・成果

1　加須市内の交通事故年別推移

	人身事故			物損事故
	件数(件)	死者数(人)	傷者数(人)	件数(件)
平成27年	467	2	608	2,098
平成28年	374	4	485	2,211
平成29年	416	4	531	2,330
平成30年	376	8	431	2,257
令和元年	300	5	359	2,308

加須警察署調べ（捜査状況等により数値の変動あり）

2　子ども自転車運転免許事業の実施

加須警察署や教育委員会、市内交通関係団体等と連携・協力し、市立各小学校4年生を対象に、安全講習、学科試験、実技試験を実施し、交通ルールをはじめ、自転車の安全な乗り方などを指導し、子どもの自転車の交通事故防止を図った。

3　中学生交通安全講習会の実施

中学生自らが自転車に乗る際の交通ルールの習得を行うことによって、自転車乗車等に対する安全意識やマナーを学び、交通安全意識を高め、交通事故に遭わない、起こさないように心掛けてもらうことを目的に、市立各中学校1年生を対象とした交通安全講習会を実施した。

4　参加・実践型高齢者交通安全教室の開催

5月15日、7月8日、1月22日の3日間、埼北自動車学校及び加須警察署、あいおいニッセイ同和損保の協力・指導のもと、参加・実践型の高齢者交通安全教室を開催した。教室には、加須市内の老人クラブ会員、シルバー人材センター会員、一般公募の計147名が参加し、加齢に伴う反射能力、身体能力の認識の衰えを確認し、高齢者の交通事故防止を図った。

なお、2月26日に予定していた交通安全教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。

5　各種交通安全啓発活動

春、秋の全国交通安全運動及び夏、冬の交通事故防止運動等で、交通安全を呼びかける啓発品を配布し、交通事故防止を促した。

交通弱者である子どもや高齢者の交通事故防止を図るため、新入学児童に交通安全教育教本を配布し、また、敬老会で高齢者交通安全啓発チラシを配布した。

事業名	交通安全施設整備事業		
担当課	交通防犯課	総合振興計画コード	3122-01
款 02	総務費	当初予算額	31,831,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	35,690,100円
目 13	交通安全対策費	決算額	34,478,571円

事業の目的	事業の概要
市民が交通事故に遭わないようにするため、交通安全施設の整備を図る。 また、交通事故の防止を図るため、緊急に通行の安全を確保する必要性の高い危険箇所について緊急対策としての局部的かつ応急的な工事を実施する。	・自治協力団体の要望等があった箇所について市基準に基づき道路反射鏡や路面標示等の交通安全施設工事を実施する。また施設の修繕、維持管理を実施する。 ・事故多発箇所や死亡事故発生箇所については、加須警察、行田県土、庁内関係各課で構成されている加須市道路交通環境安全推進連絡会議に諮り、交通安全対策を実施する。

事業の実績・成果

交通安全上危険な箇所や交通事故多発地点について交通安全施設等(道路反射鏡、路面標示、道路照明灯)を整備することにより、交通安全の注意を喚起し、交通事故防止を図った。

1　道路反射鏡新設
23基、3,480,580円
2　道路反射鏡修繕
（1）既設道路反射鏡の維持管理
61基、4,999,060円
（2）損壊被害箇所修繕
46基、2,971,100円
3　路面表示等設置
（1）自治協力団体等から要望があった箇所や事故多発箇所などの対策
48箇所、12,397,640円
（2）未就学児が日常的に集団で移動する経路の安全対策
5箇所、605,000円
工事内容
・路側帯や減速マークなどの路面標示の設置　2箇所
・既設道路反射鏡にミラー1面追加　1箇所
・こども飛び出しの注意看板の設置　2箇所
4　道路照明灯修繕
57基、1,234,445円

【交通安全施設の整備状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
道路反射鏡新設（基）	17	35	22	19	23
道路反射鏡修繕（基）	64	58	55	85	107
路面標示等設置（箇所）	55	41	39	41	53
道路照明灯修繕（基）	45	42	32	57	57

○加須市道路反射鏡清掃等活動費補助金　728,500円
補助対象団体　加須交通安全協会（年3回実施）
趣旨　市内に設置された道路反射鏡を常に良好な状態に保つことにより、市内の交通安全を図るため、道路反射鏡の点検及び清掃活動を行う加須交通安全協会に対し、加須市道路反射鏡清掃等活動費補助金交付要綱に基づき活動費補助金を交付。

事 業 名		放置自転車対策事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	3122-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,442,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	1,442,000 円
目	13	交通安全対策費	決 算 額	1,059,920 円

事業の目的	通行の安全と良好な生活環境を保持するため、加須駅、花崎駅、柳生駅、新古河駅周辺の自転車放置整理区域内における放置自転車の対策を行う。	事業の概要	・自転車放置整理区域内の放置自転車の監視、指導、整理及び引渡し業務の委託を行う。 ・放置自転車の撤去、運搬、処分業務の委託を行う。 ・花崎駅北口西有料自転車駐車場運営業務を行う。 （月：1,200 円、2 段ラック式：374 台） ・自転車駐車場の指導、整理業務の委託を行う。

事業の実績・成果

歩行者の安全な通行の確保と良好な生活環境の保持を図った。

1　放置自転車監視・指導・整理・引渡し業務委託（加須駅・花崎駅）　701,580 円
（毎週月・水・金曜日　午前 7 時～8 時、4 名立哨）

2　放置自転車撤去・移送業務委託（加須駅・花崎駅）　27,608円
（一斉撤去　4 回・72 台、臨時撤去 2 台）

3　花崎駅北口西自転車駐車場（有料）監視・指導・整理業務委託　133,080円
（毎週月・水・金曜日　午前 7 時～8 時、1 名立哨）

4　放置自転車売却処分　売却処分 138 台　売却代金　1,510 円

5　有料自転車駐車場利用状況　利用者 245 人　使用料　2,415,600 円

6　放置自転車監視・指導業務委託（柳生駅）　106,312円
（月～金曜日　午前 7 時～8 時、土曜日　午前 8 時～9 時、1 名立哨）

【放置自転車撤去・処分台数の推移】　（単位：台）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
撤 去 台 数	231	214	186	259	74
売却処分台数	112	160	108	161	138

【花崎駅北口西自転車駐車場(有料)の利用状況】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
使用料（円）	2,319,600	2,401,200	2,667,600	2,410,800	2,415,600
利用者数（人）	213	231	261	250	245

事 業 名		自主防犯活動組織育成・支援事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	3111-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	681,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	681,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	193,490 円

事業の目的	市民が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、防犯組織の体制を整備する。	事業の概要	・地域防犯力を強化するため、自主防犯組織の結成及び活動を支援する。 ・自主防犯組織への支援として、補助金を交付する。（設立:上限 50,000 円、ﾊﾟﾄﾛｰﾙ経費：1 年目 2/3・上限 30,000 円、2 年目以降 1/2・上限 15,000 円） ・自主防犯組織設立を促すため、連絡会議等の開催や活動の促進を図る。

事業の実績・成果

1　自主防犯組織設立の促進

新たに自主防犯組織の設立について検討している自治協力団体に対して、随時アドバイス等を行い、組織の増加に努めた。

○ 令和元年度 新規設立団体数：3 団体

・不動岡 2 丁目防犯会（平成 31 年 4 月 1 日設立）
・松永新田自主防災防犯会（令和元年 5 月 1 日設立）
・志多見第三区自主防災防犯会（令和元年 10 月 1 日設立）

○自主防犯組織数の推移　（単位：団体）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
組織数	125	127	131	134	137

2　自主防犯組織活動費補助金の交付

自主防犯組織に対して補助金を交付し、地域における自主防犯意識の向上や組織活動の活性化を促進した。

○令和元年度 補助金交付団体数：13 団体
○令和元年度 補助金交付金額：147,900 円

事 業 名		防犯のまちづくり推進計画進行管理事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	3112-02
款	02	総務費	当　初　予　算　額	76,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	76,000 円
目	14	市民生活費	決　　算　　額	27,000 円
事業の目的	市民が犯罪に巻き込まれることなく安全で安心して生活を送ることができる犯罪のない地域社会を実現するため、防犯のまちづくり推進計画の進行を管理する。		事業の概要	加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進協議会を開催し、推進体制の強化を図るとともに、計画の進行管理を行う。 第2次計画期間：平成29年～令和3年度

事業の実績・成果

第2次みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画に係る平成30年度の各取組の実績確認（照会）を行うとともに、みんなでつくる防犯のまちづくり推進協議会を開催し、進捗状況等の報告等を行った。

○みんなでつくる防犯のまちづくり推進協議会

開　催　日　令和元年8月26日

出席委員数　12名

内　　容　第2次加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画の取組結果について

事業名	防犯啓発事業		
担当課	交通防犯課	総合振興計画コード	3112-03
款 02	総務費	当初予算額	5,219,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	5,219,000円
目 14	市民生活費	決算額	5,218,628円
事業の目的	市民が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、「自分たちの地域は自分たちで守る」という防犯意識を高揚する。	事業の概要	・犯罪発生状況や防犯情報等をホームページや広報紙に掲載するとともに、防災行政無線での呼びかけ、さらに「かぞホッとメール」にて配信し、防犯意識の高揚を図る。 ・暴力団排除条例に基づいて、啓発活動を行う。 ・加須市地域安全・暴力排除推進大会を開催する。

事業の実績・成果

1　加須市内の犯罪発生件数の推移　（単位：件）

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
刑法犯総数	866	669	678	744	614
侵入盗計	103	113	105	98	61
街頭犯罪計	284	193	189	243	153

※侵入盗：空き巣・忍び込み・事務所荒しなど
※街頭犯罪：自転車盗・車上狙い・ひったくり・自販機ねらいなど

2　防犯情報の提供
・毎月、広報紙及びホームページに犯罪発生件数と犯罪の防止方法等を掲載
・「かぞホッとメール」及び防災行政無線による犯罪及び防犯に関する情報の提供

3　加須市防犯協会・加須市暴力排除推進協議会への補助
地域防犯活動を効果的に推進するとともに、全市民の防犯思想の高揚を図り、もって犯罪のない明るい社会の構築に寄与することを目的とする加須市防犯協会と、徹底した暴力排除活動を展開し、暴力のない明るく住みよいまちづくりを推進することを目的とする加須市暴力排除推進協議会へ補助金を交付し、市民の防犯意識の高揚に努めた。
・加須市防犯協会補助金　4,873,000円
・加須市暴力排除推進協議会補助金　340,000円

4　加須市地域安全・暴力排除推進大会の開催
令和元年11月22日、パストラルかぞ小ホールにおいて、加須市地域安全・暴力排除推進大会を開催し、加須市の地域安全活動に貢献された方々の各種表彰や、埼玉県警察防犯指導班「ひまわり」による防犯教室を開催した。

事業名	かぞホッとメール配信事業		
担当課	交通防犯課	総合振興計画コード	3112-04
款 02	総務費	当初予算額	1,912,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	1,912,000円
目 14	市民生活費	決算額	1,909,296円
事業の目的	携帯電話やパソコンのメール機能を利用して行政情報の提供を行い、市民との情報の共有化を図る。	事業の概要	安全安心情報、子育て情報、イベント情報、就業支援情報、幼稚園・小・中学校・保育園からの情報、職員の緊急招集等のメール配信を行う。 また、登録者数の拡大のため、市HPや広報紙に利用案内を掲載するとともに、市転入者にチラシを配布する。

事業の実績・成果

子どもたちをはじめ、市民の皆さんが犯罪に巻き込まれない安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、登録者の携帯電話やパソコンに、電子メールにて安全安心情報(犯罪情報など)を配信し、子どもたちを犯罪から守る、犯罪対策などとして実施した。また、子育て情報・イベント情報・就業支援情報を各担当課から、各小・中学校、幼稚園、保育所の情報を各校・園からそれぞれ配信した。

さらに、市報に年6回、かぞホッとメールの広報記事を掲載し、登録者の拡大に努めた。

○メール配信サービス事業の登録者数・情報配信数

- 実登録者数　16,208人
- 情報配信数（令和元年度中）　1,242件

【メール配信サービス事業の登録者数】　(単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
安全安心情報	4,761	4,858	5,609	5,847	6,954
子育て情報	1,684	1,893	2,085	2,252	2,362
イベント情報	1,564	1,724	1,962	2,086	2,216
就業支援情報	496	567	638	659	700
職員緊急招集	837	719	689	703	679
小学校(幼稚園含)	9,043	9,074	9,031	9,238	9,231
中学校	3,455	3,751	3,555	3,901	3,924
保育所	329	356	329	338	420
延べ登録者数	22,169	22,942	23,898	25,024	26,486

【メール配信サービス事業の情報配信数】　(単位：件)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
安全安心情報	231	285	235	342	284
子育て情報	442	425	458	482	487
イベント情報	139	60	31	47	66
就業支援情報	5	9	12	18	9
職員緊急招集	8	6	6	3	17
小学校(幼稚園含)	516	355	395	400	360
中学校	102	77	43	30	19
保育所	0	0	0	0	0
合計数	1,443	1,217	1,180	1,322	1,242

事業名	防犯施設維持管理事業		
担当課	交通防犯課	総合振興計画コード	3113-01
款 02	総務費	当初予算額	55,390,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	67,372,000円
目 14	市民生活費	決算額	56,651,204円
事業の目的	防犯環境の向上を図るため、犯罪が発生しにくい環境づくりを進める。	事業の概要	・防犯上必要な箇所に順次、LED タイプの防犯灯を設置する。 ・防犯灯の修繕、維持管理を実施する。 ・防犯灯の LED 化平成 30 年度達成 ・騎西地域防犯灯を LED 灯具へ交換する。 ・防犯カメラの設置及び維持管理 ・防犯カメラ設置費補助(上限 10 万円)

事業の実績・成果

自治協力団体等から要望があった箇所や緊急対策などによる防犯灯の設置、加須駅南口から騎西の街中につながる市道 148 号線への防犯灯の設置（増灯）、騎西地域の防犯灯の LED 灯具への交換修繕、及び既設防犯灯の適切な維持管理を実施した。

1　防犯灯新設

（1）自治協力団体等から要望があった箇所や緊急対策などによる防犯灯の設置
100 基、1,998,481 円

（2）加須駅南口から騎西の街中につながる市道 148 号線への防犯灯の設置（増灯）
17 基、385,880 円

2　防犯灯修繕

（1）騎西地域の防犯灯の LED 灯具への交換（令和元年度から令和 3 年度までの 3 か年計画）
450 基　11,385,000 円

（2）既設防犯灯の維持管理（故障等対応）
235 基、4,848,634 円

【防犯灯の整備状況】　（単位：基）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
防犯灯新設	53	120	79	72	117
防犯灯修繕	2,301	2,194	2,181	1,954	685

3　交通防犯施設（防犯灯・道路照明灯・道路反射鏡）管理システム
（5 年長期継続契約　令和 2 年 2 月～）

（1）交通防犯施設管理システム保守管理委託　511,500 円

（2）交通防犯施設管理システム更新業務委託　495,000 円

（3）交通防犯施設管理システム賃貸借　89,100円（44,550円/月×2月）

4　電気料　36,791,643 円

【電気料の推移】　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
電気料金	48,728,409	38,705,209	40,105,776	40,192,175	36,791,643

事 業 名		空家等対策計画進行管理事業			
担 当 課		交通防犯課		総合振興計画コード	3114-02
款	02	総務費		当 初 予 算 額	105,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	105,000 円
目	14	市民生活費		決 算 額	42,000 円
事業の目的	本市が取り組むべき空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく加須市空家等対策計画の進行を管理する。		事業の概要	加須市空家等対策協議会を開催し、空家等対策の推進体制の強化を図るとともに、空家等対策計画の進行管理を行う。 計画期間：平成 28 年度～令和 2 年度	

事業の実績・成果

空家等対策計画に基づき、空家等対策に対する基本方針等の取組を推進していくため、空家等対策庁内推進委員会及び空家等対策協議会を開催し、進捗状況等の報告等を行った。

○空家等対策庁内推進委員会
開 催 日 令和元年 7 月 26 日

○空家等対策協議会
開 催 日 令和元年 8 月 23 日
出席委員数 13 名
内 容 空家等対策の取組状況（平成 30 年度取組結果）について

事 業 名		空家等実態調査把握事業			（総合戦略）
担 当 課		交通防犯課		総合振興計画コード	3114-03
款	02	総務費		当 初 予 算 額	780,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	780,000 円
目	14	市民生活費		決 算 額	672,400 円
事業の目的	実効性のある空家対策の推進を行うため、市内に存在する空家等について把握し、最新の空家等の情報を管理する。		事業の概要	・空家等の実態調査を行い、空家の状況を把握する。 ・使用状況や意向確認をするためのアンケート調査を実施する。 ・空家データベースによる情報の一元管理を行う。	

事業の実績・成果

令和元年 5･6 月　平成 30 年 12 月 1 日を基準日として行った空家等実態調査（第 4 回）で、新たな空家等の可能性がある家屋（83 戸）のうち、賃貸・売却用の物件や既に利活用されていたもの等（19 戸）を除く、64 戸の所有者等に対して、利用状況や今後の利活用の意向等を確認するためのアンケートを行った。

令和元年 12 月　自治協力団体と連携し、令和元年 12 月 1 日を基準日として市内全域の空家等実態調査（第 5 回）を実施した。
※令和元年 8 月～10 月　「問題なし」空家について、空家の状況や管理状態などの確認をシルバー人材センターへ業務委託

アンケート及び実態調査の結果を反映した令和元年 12 月 1 日時点での空家等の数は 851 戸（前年調査比△37 戸）であった。

通　　年　空家等管理システムに登載された空家等情報の更新等

事 業 名	空家等解消対策事業			（総合戦略）
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	3114-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	515,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	515,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	205,969 円

事業の目的	周囲への生活環境に悪影響を及ぼす管理不全な空家や活用可能でありながら放置されている空家を解消する。	事業の概要	・特定空家等判断基準に基づく調査を実施し、特定空家等の指定を検討する。 ・特定空家等に対する行政指導等を実施する。 ・管理不全な空家等の所有者に対する適正管理指導を実施する。 ・空家バンクによる空家の活用促進を図る。 ・空家等所有者を特定するための確認調査を行う。

事業の実績・成果

令和元年5･6･7月　平成30年12月1日を基準日として行った空家等実態調査（第4回）における「問題あり」空家（特定空家等含む）73戸のうち、個別対応しているものや所有者の確認が必要なもの等を除く57戸に対し、時期も踏まえて指導書（特定空家等）及び適正管理のお願い（特定空家等を除く）の文書を一斉送付した。
※なお、送付にあたっては、平成28年4月にシルバー人材センターと締結した協定に基づき、シルバーふるさと空き家管理のチラシのほか、管理・活用のためのリーフレットや空家バンクの案内、啓発チラシ等を同封した。

→ 令和元年12月の空家等実態調査（第5回）までに取壊しも含め改善等が行われた「問題あり」空家が9戸あった。

令和元年9月～令和2年2月
数次相続などにより複雑化している空家等の所有者を特定するための業務委託を行った。(5件)

令和元年10月　空家等対策において協定を締結している「公益社団法人全日本不動産協会埼玉県本部大宮支部」と連携し、各分野の専門家に無料で相談できる相談会を実施した。
令和元年10月1日　相談件数3件　会場：加須市商工会館
令和元年10月20日　リーフレット等の配付　会場：加須地域市民まつり会場

令和元年11月　騎西・北川辺・大利根地域のまつり会場での空家相談、リーフレット等の配布を行った。

通　年　・周辺住民や空家等所有者等からの相談等の対応
・空家バンクの運用〈登録等の状況〉
通算物件登録数2件（前年度比＋1）、通算利用登録数3件（前年度比＋2）
令和元年度　交渉申込数1件、相談件数19件

事 業 名		交通災害共済事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	3124-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,532,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	1,532,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	1,156,483 円
事業の目的	埼玉県総合事務組合が運営する市町村交通災害共済を活用し、交通事故により災害を受けた方又はその遺族を救済する。	事業の概要	・埼玉県市町村総合事務組合による交通災害共済への加入を促進する。 ・交通事故で災害を受けた加入者又はその遺族に対し共済見舞金を支給する。	

事業の実績・成果

交通安全意識の高揚を図るとともに、交通事故により災害を受けた方を救済するため、自治協力団体の協力を得て、交通災害共済への加入を促進した。

また、日常生活に困窮している方の経済的負担の軽減を図るため、交通災害共済加入費の一部を助成した。

1　加入者数（加入費：一般：900 円／1 人・中学生以下：500 円／1 人※令和元年度から一律 500 円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
件数（人）	14,892	13,704	12,617	11,590	12,706
加入率（%）	13.0	12.0	11.1	10.24	11.3

2　見舞金支払状況

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
件数（人）	89	93	78	64	91
金額（円）	6,336,000	6,045,000	6,027,000	4,399,000	5,846,000

3　日常生活に困窮している方に対する助成状況（助成額　300 円／1 人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
件数（人）	125	144	105	47	101
金額（円）	37,500	43,200	31,500	14,100	30,300

4　自治協力団体加入取りまとめの報償金（報償金額　30 円／1 人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
件数（人）	12,266	11,128	10,153	9,031	9,695
金額（円）	367,980	333,840	304,590	270,930	290,850

事 業 名	消費者自立・支援事業		
担 当 課	市民相談室	総合振興計画コード	3161-01
款 02	総務費	当 初 予 算 額	5,518,000 円
項 01	総務管理費	最 終 予 算 額	5,518,000 円
目 14	市民生活費	決 算 額	5,234,000 円

事業の目的	消費者の権利の尊重及びその自立の支援を推進し、安全で安心した消費生活の確保及び向上を図る。	事業の概要	消費生活センターに専門職である消費生活相談員を配置し、消費生活トラブル等の相談を市民から受け、助言やあっせんを行うとともに、消費者の自立を支援する。なお、本庁舎へ相談に来られない方には、予約制により、相談員が総合支所へ出張する体制を整えている。 また、消費者団体くらしの会の自主的な消費者活動を支援する。

事業の実績・成果

1　消費生活講座等開催

消費者団体との共催により消費生活講座等を開催し、賢い消費者の育成や消費者被害の未然防止及び拡大防止を図ることができた。

・消費者団体「加須市くらしの会」への補助金

消費生活の改善・向上を図るとともに、生産者・販売者・消費者相互の意思疎通を図り、地域社会の円滑な発展に資するため、268,000 円を交付し、消費生活に対する意識向上に繋がった。

会員数：191 人　　セミナー等を 3 回開催　延べ 306 人

市民まつり等での消費者被害防止啓発活動

2　消費者被害を未然に防ぐ啓発活動

消費者被害を広く市民に周知し、悪質商法等の被害を未然に防ぐ啓発に努めた。

・市広報紙等に事例及び対策を掲載

・加須市在住の埼玉県消費者被害防止サポーター26 名と共に活動した敬老会での消費者被害防止啓発をはじめ、イベント等で啓発品を配布

消費者被害防止啓発クリアホルダー　287,064 円

消費者被害防止啓発ウェットティッシュ　433,944 円

消費者被害防止啓発ポケットティッシュ　151,200 円

3　加須市高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議

高齢者、障害者及び認知症等により判断能力が不十分となった方の消費者被害を防止するため、加須市高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議を活用し、関係機関との連携により消費者被害救済に努めた。

4　消費生活相談

本庁舎では月曜日から金曜日に、また、各総合支所では事前予約により、消費生活相談員が市民の様々な消費生活に係る相談を受け、適切な助言及びあっせん等を行い、消費者の悩みや不安解消に努めた。

・消費生活相談員報酬　3,135,000 円

消費生活相談の取引形態別相談件数　　（単位：件）

区　　分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
苦情相談件数	店舗購入	150	165	141	144	163
	訪問販売	47	53	61	60	88
	マルチ販売	3	6	2	9	3
	電話勧誘販売	30	23	32	39	43
	通信販売	146	148	127	145	167
	ﾈｶﾞﾃｨﾌﾞｵﾌﾟｼｮﾝ	1	3	12	1	7
	訪問購入	0	1	2	1	5
	その他無店舗販売	4	6	3	4	4
	不明無関係	36	39	147	416	240
小　計		417	444	527	819	720
問い合わせ件数		26	28	14	24	16
合　計		443	472	541	843	736

5　消費生活相談弁護士

消費生活相談員が法律等の改正や相談内容の複雑化等に対処するため、月1回、弁護士からの助言を受け、相談への適切な助言及びあっせんを行った。

・弁護士謝金　　360,000円

消費生活相談弁護士への相談件数　　（単位：件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談件数	46	36	49	59	58

事 業 名	消費者教育推進事業			
担 当 課	市民相談室		総合振興計画コード	3161-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	276,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	276,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	38,929 円
事業の目的	消費者が自らの利益の擁護及び増進のため、自主的かつ合理的に行動することができるよう、その自立を支援するため消費生活に関する教育を行う。	事業の概要	市立全中学校８校で小学６年生と当該保護者及び中学３年生を対象とした消費者教育、高齢者を対象とした講座、高齢者を見守る民生委員及び高齢者相談センター職員等を対象とした消費生活レベルアップ講座を実施する。	

事業の実績・成果

1　若年者対象消費生活講座開催

・ 市立中学校３校の３年生を対象とし、消費生活相談員等が講師を務め、携帯電話のトラブル事例やインターネットに潜む危険性などの講話を行い、消費者トラブルの未然防止を図るとともに消費者問題に対する意識の醸成を図ることができた。
新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休校により、講座が中止となった市立中学校５校の３年生に、講座資料と啓発品を配付した。
対　象：市立中学校３校３年生、教職員　406 人
経　費：講師謝金　14,000 円

・ 市立中学校８校の入学説明会において、小学６年生及び当該保護者を対象とした消費者教育（ＤＶＤ視聴）を行い、スマートフォン等による若年者の消費者トラブルに対する関心を高めることができた。
対　象：市立中学校８校入学予定者、保護者　1,835 人

2　高齢者相談センター対象消費生活講座開催

市内６か所の高齢者相談センターの職員等を対象とし、消費生活相談員が講師を務め、高齢者に多い消費者トラブルの事例や見守るポイントなどの講話を行い、消費者トラブルの未然防止や消費者問題に対する関心を高めることができた。
対　象：高齢者相談センター職員等　72 人
経　費：講師謝金　24,000 円

3　市民対象消費生活講座開催

市民を対象とし、消費生活相談員が講師を務め、消費者の被害事例や対策などの講話を行い、消費者トラブルに対する関心を高めることができた。
対　象：市民　８講座　115 人

4　高齢者対象消費生活講座開催

高齢者を対象とし、職員が消費生活クイズの出題や被害事例を出前講座し、消費者トラブルに対する関心を高めることができた。また、実施した講座のうち６講座を加須市在住の埼玉県消費者被害防止サポーターと協働により行った。
対　象：市民　30 講座　396 人

事 業 名	市民相談事業		
担 当 課	市民相談室	総合振興計画コード	6211-04
款 02	総務費	当 初 予 算 額	3,487,000 円
項 01	総務管理費	最 終 予 算 額	3,487,000 円
目 14	市民生活費	決 算 額	3,450,426 円
事業の目的	市民が抱える様々な問題について解決を図り、安心して生活が送れるよう支援する。	事業の概要	市民相談は本庁舎で毎日、合同相談は市民プラザかぞで月１回、弁護士法律相談は本庁舎で月２回、各総合支所で各々月１回開催する。

事業の実績・成果

1　市民相談

本庁舎では月曜日から金曜日に、家庭や日常生活上における心配ごとやトラブル等に関する相談や行政への相談等を受け、助言や情報提供等を行い、市民の悩み解消と諸問題の早期解決に努めた。

市民相談の相談項目別件数　（単位：件）

区　　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
行政への要望・照会等	38	12	33	21	22
土地・建物（借地・売買）	18	8	29	25	25
金銭貸借・保証	1	4	5	6	6
交通事故	6	4	6	3	1
離婚・婚約不履行	15	9	7	14	8
相続・贈与・遺言	28	44	31	43	30
家庭問題	35	25	31	59	27
近隣関係	14	13	32	36	29
労　働	3	5	10	18	13
その他	64	85	92	103	73
合　計	222	209	276	328	234

2　弁護士法律相談

身近なところで法律相談が受けられるよう、予約制で無料の弁護士法律相談を、本庁舎においては月２回、騎西・北川辺・大利根総合支所においては各々月１回開催し、適切な助言等を行った。また、予約については、庁内ネットワークにより情報の共有を図り、本庁舎・各総合支所のいずれからでも予約を可能としている。

・弁護士謝金　3,330,000 円　（内訳）　1,800,000 円　本庁舎
540,000 円　騎西総合支所
450,000 円　北川辺総合支所
540,000 円　大利根総合支所

弁護士法律相談の相談項目別件数　（単位：件）

区　　分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
不動産	35	26	38	43	35
借地借家	15	20	17	14	19
金銭貸借	32	29	17	28	32
損害賠償	19	22	14	19	15
交通事故	17	12	18	7	8
供　託	0	1	0	0	0
商　事	1	1	1	1	0
離　婚	66	72	66	59	67
相　続	83	90	102	90	100
贈　与	3	3	4	1	1
遺　言	4	2	5	7	2
家庭問題	42	40	21	29	19
行政･労働･公害･刑事	13	16	24	19	13
その他	61	64	65	75	93
合　計	391	398	392	392	404

３　合同相談

行政相談委員、司法書士、税理士、不動産相談員、行政書士の協力により、市民プラザかぞにおいて、月１回無料合同相談所を開設し、問題の解決に向けた適切な助言等を行った。また、人権相談（人権・男女共同参画課）及び臨床心理士による「こころの相談」（健康づくり推進課）も併せて実施。6月及び12月は特設相談日として時間を延長。

・合同相談会場（市民プラザ）借上料　　25,200円

合同相談の相談項目別件数　　（単位：件）

区　　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
行政相談	―	―	5	3	3
不動産(賃貸借・売買・登記)	42	36	36	45	42
税	―	―	14	25	30
近隣関係	―	―	6	2	1
金銭貸借	4	3	―	―	―
交通事故	3	0	―	―	―
離婚・婚約不履行	2	1	1	0	4
相続・贈与・遺言	63	56	45	60	78
家庭問題	10	12	19	5	2
労働	0	0	―	―	―
こころ	18	18	15	9	11
その他	34	22	16	37	12
合　　計	176	148	157	186	183

※人権擁護委員・同和問題相談員及び臨床心理士の相談件数も含む。

※平成29年度から分類を一部変更

事 業 名	コミュニティセンター管理運営事業			
担 当 課	市民協働推進課		総合振興計画コード	6134-07
款	02	総務費	当 初 予 算 額	59,324,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	60,688,000 円
目	15	コミュニティセンター費	決 算 額	57,913,311 円
事業の目的	地域コミュニティ活動を推進するため、拠点施設として多くの市民が利用できるよう、施設の適正な管理運営を行う。	事業の概要	・加須、不動岡、三俣、川口、花崎、南篠崎、種足、原道外、市内コミュニティセンターの適正な管理及び維持補修を行う。 ・施設の貸出業務を行う。	

事業の実績・成果

地域のコミュニティ活動の推進を図るため、様々な活動に利用できるよう各コミュニティセンターの適切な管理・運営を行った。

1　コミュニティセンター別管理運営経費　（単位：円）

	合計	臨時雇用賃金	光熱水費	修繕料	手数料	委託料	工事請負費	その他（消耗品費、燃料費等）
加　須	3,301,621	229,830	756,599	336,672	304,184	1,012,524	0	661,812
不動岡	4,538,471	229,830	2,224,020	470,549	490,403	729,666	0	394,003
三　俣	6,127,174	229,830	93,328	400,440	2,187,650	2,544,662	0	671,264
川　口	6,890,875	2,937,030	1,104,920	1,364,000	409,484	888,384	0	187,057
花　崎	10,641,985	6,126,430	2,166,146	122,206	443,467	1,385,766	0	397,970
南篠崎	13,209,698	8,132,070	1,236,930	797,000	338,184	2,182,464	0	523,050
騎　西	2,737,533	0	0	0	0	2,663,474	0	74,059
種　足	754,890	0	158,487	530,288	18,500	0	0	47,615
鴻　茎	626,394	0	350,006	160,369	16,350	0	0	99,669
高　柳	981,143	0	491,522	84,400	152,090	118,440	0	134,691
原　道	4,122,611	0	1,138,144	58,548	232,340	409,167	2,052,000	232,412
豊　野	3,980,916	0	926,846	292,464	840,180	1,763,361	0	158,065
合　計	57,913,311	17,885,020	10,646,948	4,616,936	5,432,832	13,697,908	2,052,000	3,579,657

2　主な経費の内訳

・修繕費　内訳

加須…　336,672 円（講堂カーテン修繕、事務所天井エアコン漏水修繕、光回線切替工事他）
不動岡…　470,549 円（空調室内外機基板交換修繕、ガスメーター供給設備交換修繕他）
三俣…　400,440 円（空調機部品交換工事、受水槽電磁弁用停電電源装置交換修繕他）
川口…　1,364,000 円（２階通路雨漏り修繕）
花崎…　122,206 円（トイレフラッシュバルブ修繕、ブラインド修繕、自転車修繕）
南篠崎…　797,000 円（会議室空調機取付工事、大集会室照明器具修繕）
種足…　530,288 円（エアコン修繕、外灯ランプ交換修繕、混合水栓漏水修繕）
鴻茎…　160,369 円（雨漏り修繕、エアコン修繕、動力分電盤防水ボックス修繕）
高柳…　84,400 円（浄化槽用ブロワー修繕、調理室コンロ取替修繕）
原道…　58,548 円（空調機修理、女子トイレ鍵修理）
豊野…　292,464 円（浄化槽ブロア修繕）

・備品購入費　内訳

加須…　13,478 円（炊飯器）
不動岡…　20,304 円（掃除機）
三俣…　13,824 円（炊飯器）
南篠崎…　6,996 円（電卓、電気ポット）

騎西…　　3,828 円（電波時計）
高柳…　　41,934 円（ガステーブル一式、扇風機、ガス漏れ警報器）
豊野…　　3,240 円（キッチン用ボール）
・工事請負費　内訳
原道…　2,052,000 円（農村広場砂利工事）

3　利用者数・実稼働率の推移

（上段：利用者数（単位：人）／　下段：実稼働率（単位：%））

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
加　須	15,076	14,725	13,553	13,991	12,879
	34.1	34.0	30.5	32.1	28.6
不動岡	30,586	32,193	30,631	31,268	29,151
	52.5	58.1	53.1	49.8	49.8
三　俣	14,128	15,467	16,885	17,774	15,073
	37.0	40.2	40.3	42.8	40.9
川　口	19,862	19,502	21,987	19,385	17,373
	52.4	60.9	63.3	62.7	65.9
花　崎	37,635	33,869	35,298	35,129	41,308
	54.5	54.0	54.0	53.6	57.7
南篠崎	24,444	26,698	21,818	18,325	17,863
	18.8	19.0	15.1	13.5	13.6
騎　西	16,434	14,560	11,010	16,564	16,628
			1,227		
	15.8	15.6	13.0	24.3	21.4
			21.7		
種　足	1,643	1,144	1,840	1,137	1,199
	3.6	2.4	3.6	4.9	4.0
鴻　茎	4,731	4,824	5,296	3,539	2,458
	9.5	11.9	21.7	16.0	16.2
高　柳	6,830	7,020	9,599	6,125	5,206
	10.1	15.1	23.7	17.2	20.3
原　道	16,571	16,246	15,554	17,886	14,853
	29.7	29.2	27.7	50.7	46.1
豊　野	10,047	9,996	12,021	11,472	10,981
	10.0	11.0	12.6	21.0	22.1

＊騎西コミセン　　平成 29 年度：上段は旧騎西コミセン（～2/28）下段は新騎西コミセン（3/1～）
＊実稼働率 …年間総利用件数を、開館日数に部屋数と利用区分数(3)を掛けた数値で、除した割合。
【算出例】加須コミセン：年間総利用件数 1,133 件÷ 延開館日数 3,528 日＝0.3211≒32.1%

事 業 名		市民総合会館管理運営事業		
担 当 課		市民協働推進課	総合振興計画コード	6134-06
款	02	総務費	当 初 予 算 額	97,844,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	99,901,000 円
目	16	市民総合会館費	決 算 額	94,047,238 円
事業の目的	コミュニティ活動の推進のため、市民活動及び生涯学習活動の拠点施設である市民総合会館を適正に管理運営する。		事業の概要	多くの市民が安全安心に施設を利用できるよう、適正な管理運営を行う。

事業の実績・成果

市民相互の交流、市民活動及び学習活動の拠点施設として、多くの市民が利用できるよう適切な施設の管理運営を行った。

■ 利用者数等の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数（人）	197,077	196,808	194,304	198,684	178,822
うち市民交流プラザ利用者数	125,626	129,727	130,147	136,055	120,508
利用件数（件）	10,578	10,459	10,203	10,457	9,614
実稼働率（%）	47.6	47.2	46.1	47.2	43.2
使用料（円）	9,893,950	9,543,950	9,727,650	9,298,000	8,002,600

【繰越明許　令和元年度から令和２年度へ繰り越す理由】

エレベータースモークガード交換修繕（繰越明許額　1,980,000 円）

建築基準法改正に伴い防火設備の点検が厳格化したことから、全国的にエレベータースモークガードの交換修繕が発生する中、同機器を製造するメーカーが少なく年度内の納品が困難になったため繰り越した。

事 業 名	市民平和祭開催事業			（総合戦略）
担 当 課	商業観光課		総合振興計画コード	5212-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	22,236,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	23,446,000 円
目	17	諸費	決 算 額	21,676,736 円
事業の目的	平和の尊さを再認識し、市民の平和意識の高揚を図るとともに、観光資源を活用し、交流人口の拡大に努め、地域の活性化を図る。	事業の概要	安全で安心できる平和な暮らしを願う「加須市民平和祭」を開催し、そのメインイベントとして「世界一のジャンボこいのぼり（全長 100m、重さ 330kg）の遊泳」を実施する。	

事業の実績・成果

式典を開催し、市民一人ひとりが心を一つにして、平和のありがたさに感謝し、市民の平和意識の高揚を図ることができた。

ジャンボこいのぼり 4 世の遊泳をはじめ、メッセージこいのぼりの掲揚各種団体による催物、即売、クラシックカーフェスタ、対岸イベントなど大勢の観光客で賑わった。

さらに、合併 10 周年を記念して陸上自衛隊の協力により渡河アトラクションを実施し、防災意識を高め、安全で安心なまちづくりの推進を図った。

ジャンボこいのぼり掲揚

1　開催概要

ア　開催日　令和元年 5 月 3 日（金・祝）

イ　参加団体数　108 団体（店）

- 式典・ステージ関係　40 団体
- 地域交流ブース　3 団体
- 商工農販売ブース　27 店
- マルシェ de 加須ブース　16 店
- フリーマーケット　13 団体
- 対岸イベント出店数　6 店
- 指導機関　3 団体

渡河アトラクション

ウ　実施内容

≪メイン会場≫

◆平和式典

◆観光大使の委嘱式（6 組）

◆メッセージこいのぼりの掲揚（7 家族）

◆ジャンボこいのぼりの遊泳（1 回目口輪破損により中止、2 回目遊泳成功）

◆ステージアトラクション（市内各団体等によるステージ発表）

◆渡河アトラクション（乗船者 46 人）

≪対岸会場≫

◆北川辺 Dream プロジェクト広場（模擬店・モグラたたき等）

◆合の川河川防災ステーション（模擬店・消防車両展示・自衛隊防災備品展示）

◆吹奏楽演奏（北川辺中学校吹奏楽部）

2　観客数の推移　（単位：人）

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
観客数	115,000	115,000	125,000	115,000	120,000

事業名	県収入証紙等売捌事業		
担当課	会計課	総合振興計画コード	6315-13
款 02	総務費	当初予算額	39,826,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	39,826,000円
目 17	諸費	決算額	39,708,476円
事業の目的	市民の利便性の向上を図るため、パスポートの申請等に必要な県収入印紙の売り捌き、郵便切手類・収入印紙の販売を行う。	事業の概要	会計課及び各総合支所の窓口で県収入証紙の売り捌き、郵便切手類・収入印紙の販売を行う。 県収入証紙：1万円、5千円、2千円、1千円、900円、800円、700円、600円、500円、400円、300円、200円、100円、50円、20円、10円、5円、1円 はがき：63円、126円 切手：2円、10円、50円、63円、84円、100円 印紙：1万円、5千円、4千円、2千円、500円、200円、100円

事業の実績・成果

1　埼玉県収入証紙

市民等による申請や手数料納付に数量、券種不足により支障をきたすことがないよう適切な管理に努めた。

（1）年度別実績

【売捌手数料（歳入）】　448,571円

【売捌金額（歳入）】　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
売捌金額	9,601,060	11,573,390	11,465,310	10,948,030	12,780,950

【買受金額（歳出）】　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
買受金額	8,489,753	7,526,477	10,773,259	10,842,742	15,088,429

（2）令和2年度末在庫数

	1円	5円	10円	20円	50円	100円	200円	300円	400円
枚数（枚）	29	21	503	173	306	949	270	447	177
金額（円）	29	105	5,030	3,460	15,300	94,900	54,000	134,100	70,800
	500円	600円	700円	800円	900円	1千円	2千円	5千円	1万円
枚数（枚）	367	138	222	280	165	544	1,047	130	376
金額（円）	183,500	82,800	155,400	224,000	148,500	544,000	2,094,000	650,000	3,760,000
							合計	8,219,924円	

2　郵便切手類

郵便切手類の販売にあたっては、数量、券種不足により支障をきたすことがないよう適正な管理運営に努めた。

（1）年度別実績

【販売手数料（歳入）】　444,629 円

【販売金額（歳入）】　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
印　紙	22,617,200	25,924,380	25,316,100	26,849,200	27,854,300
切　手	89,604	86,208	108,370	143,170	165,843
はがき	14,924	1,092	81,680	137,392	146,734
合　計	22,721,728	26,011,680	25,506,150	27,129,762	28,166,877

【買受金額（歳出）】　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
印　紙	22,674,000	25,475,000	27,990,000	26,371,000	24,310,000
切　手	86,280	116,200	89,876	140,094	161,270
はがき	16,640	0	84,974	136,586	148,777
合　計	22,776,920	25,591,200	28,164,850	26,647,680	24,620,047

（2）令和元年度末在庫数

・収入印紙

	100 円	200 円	500 円	2,000 円
枚数（枚）	43	84	21	21
金額（円）	4,300	16,800	10,500	42,000
	4,000 円	5,000 円	10,000 円	合　計
枚数（枚）	303	140	89	701
金額（円）	1,212,000	700,000	890,000	2,875,600

・切　手

	2 円	10 円	50 円	63 円
枚数（枚）	89	205	62	195
金額（円）	178	2,050	3,100	12,285
	84 円	100 円	合　計	
枚数（枚）	238	101	890	
金額（円）	19,992	10,100	47,705	

・はがき

	63 円	126 円	合　計
枚数（枚）	45	12	57
金額（円）	2,835	1,512	4,347

事 業 名		固定資産評価審査委員会運営事業		
担 当 課		固定資産評価審査委員会	総合振興計画コード	6314-06
款	02	総務費	当 初 予 算 額	109,000 円
項	02	徴税費	最 終 予 算 額	109,000 円
目	01	税務総務費	決 算 額	82,790 円
事業の目的	地方税法に基づき、固定資産課税台帳に登録された価格（評価額）に対する審査申出の審査を行う。		事業の概要	地方税法に基づき、３人の委員で構成される委員会で、主に固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服審査の申出を受け、調査その他事実審査を行い、決定する。 また、行田市、羽生市固定資産評価審査委員会との研究会を開催する。

事業の実績・成果

令和元年度は、新たな審査申出はなかった。

平成30年度の審査申出で継続審査となっていた平成30年度第2号申出事案について、今年度は固定資産評価審査委員会を 5 回開催し、また、関係法令の解釈等について万全を期すため弁護士相談を 2 回行い慎重に審査を行った結果、令和元年12月3日に一部認容の決定を行った。

また、委員会のレベルアップの取組としては、行田市及び羽生市と合同開催の研究会へ参加したことにより、委員及び職員の更なる知識の習得が図られた。

・令和元年度審査申出件数：0件
・過年度継続審査件数：1件（平成30年度第2号申出事案※令和元年12月3日決定）
・固定資産評価審査委員会の開催：5回
・弁護士相談（関係法令の解釈等について）：2回
・行田市及び羽生市固定資産評価審査委員会と合同開催の研究会への参加：1回

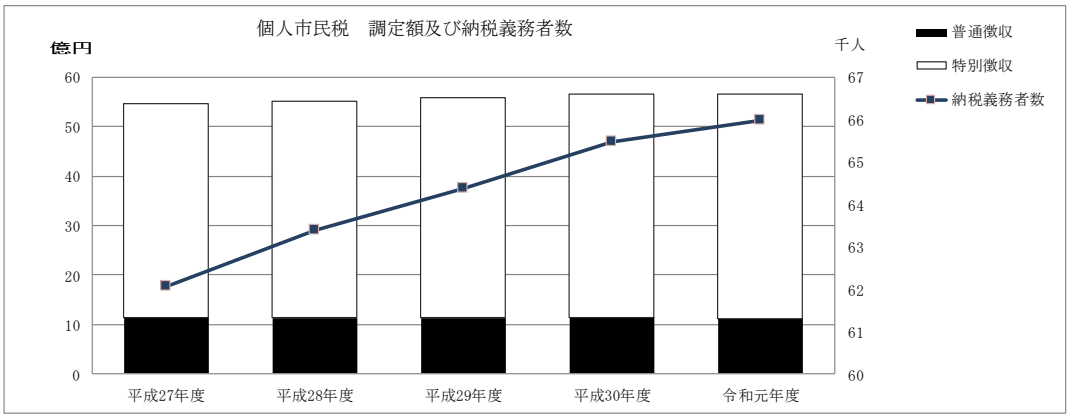
事 業 名		市県民税賦課事業		
担 当 課		税務課	総合振興計画コード	6315-08
款	02	総務費	当 初 予 算 額	44,112,000 円
項	02	徴税費	最 終 予 算 額	44,112,000 円
目	02	賦課徴収費	決 算 額	37,847,186 円
事業の目的	計画的な財政運営を図るため、納税者等からの申告内容に関し、関係法令に基づいて、公平かつ適正な賦課決定を行い、税収の確保を図る。		事業の概要	個人及び法人の課税客体を適切に把握し、公平かつ適正な賦課決定を行う。 また、未申告者の申告を促すとともに、扶養の確認等を行い、課税の公平性を確保する。

事業の実績・成果

個人及び法人市民税の申告書等に基づき、適正な課税を行った。

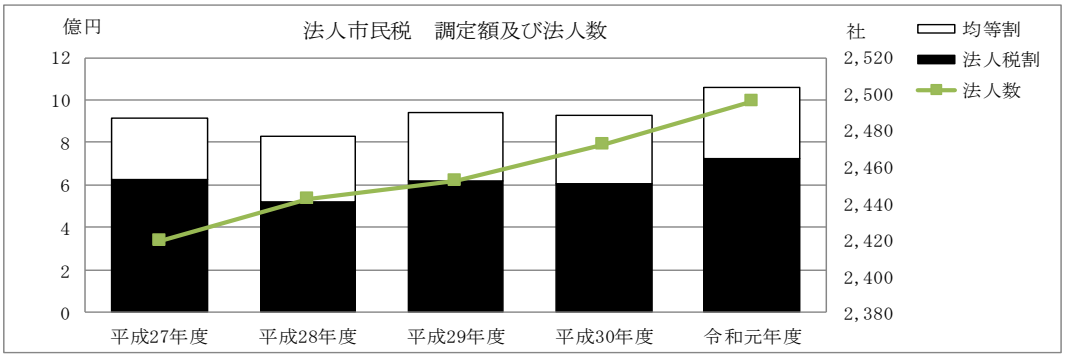
1　個人市民税

調定額の推移（単位：円）		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
	普通徴収	1,145,648,708	1,133,249,066	1,133,031,936	1,142,077,503	1,115,441,683
	特別徴収	4,316,308,174	4,387,740,428	4,463,178,738	4,510,626,905	4,534,676,122
	合計	5,461,956,882	5,520,989,494	5,596,210,674	5,652,704,408	5,650,117,805
納税義務者数の推移(単位:のべ人数)		62,063	63,375	64,376	65,474	65,994



2　法人市民税

調定額の推移（単位：円）		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
	均等割	290,428,600	310,848,000	319,570,800	322,828,600	335,503,600
	法人税割	627,622,200	521,557,100	619,655,000	606,802,800	726,525,400
	合計	918,050,800	832,405,100	939,225,800	929,631,400	1,062,029,000
法人数の推移（単位：社）		2,419	2,442	2,452	2,472	2,496



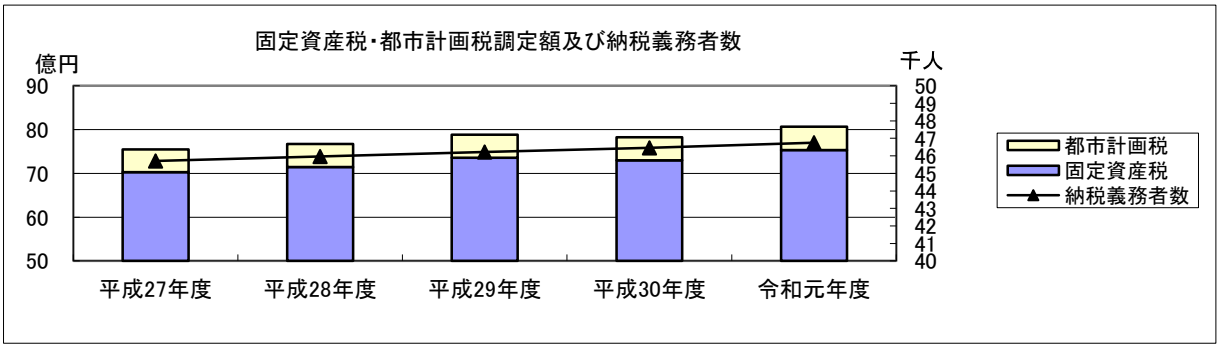
事 業 名		固定資産税賦課事業		
担 当 課		税務課	総合振興計画コード	6315-09
款	02	総務費	当 初 予 算 額	98,616,000 円
項	02	徴税費	最 終 予 算 額	98,616,000 円
目	02	賦課徴収費	決 算 額	83,855,220 円
事業の目的	計画的な財政運営を図るため、課税客体の正確な把握に努め、適正で公平な評価を行うとともに、関係法令に基づき、賦課・決定を行い、税収の確保を図る。		事業の概要	賦課期日（1 月 1 日）現在における固定資産に対し、固定資産評価基準に基づき、適正に評価を行い、所有者に固定資産税・都市計画税を賦課する。

事業の実績・成果

土地現況調査及び家屋調査を実施し、適正な評価及び課税を実施した。

1　固定資産税・都市計画税の調定額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
固定資産税	7,025,385,100	7,144,665,000	7,354,869,400	7,302,127,800	7,534,995,200
都市計画税	523,000,300	523,414,800	528,073,900	521,035,700	532,073,700
合　　計	7,548,385,400	7,668,079,800	7,882,943,300	7,823,163,500	8,067,068,900
納税義務者数(人)	45,706	45,962	46,221	46,468	46,760



2　土地（宅地）の状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
評価額（百万円）	348,548	347,399	347,968	354,245	354,657
総　筆　数（筆）	80,489	81,238	82,220	83,323	84,425
総 地 積（千㎡）	24,244	24,392	24,673	24,878	25,067
平均価格（円／㎡）	14,377	14,242	14,103	14,239	14,148

3　家屋の状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
評価額（百万円）	244,614	254,812	265,458	259,411	272,365
総　　数（棟）	62,872	63,078	63,343	63,630	63,900
うち、木造（棟）	52,110	52,244	52,404	52,605	52,797
うち、木造以外（棟）	10,762	10,834	10,939	11,025	11,103

事業名	税務管理事業			
担当課	税務課		総合振興計画コード	6315-10
款	02	総務費	当初予算額	60,558,000円
項	02	徴税費	最終予算額	65,838,000円
目	02	賦課徴収費	決算額	60,529,993円

事業の目的	事業の概要
地方税法及び関係法令に基づく、適正、公正かつ迅速な窓口業務を行うことにより、市民サービスの向上を図る。 また、計画的な財政運営を図るため、納税者からの申告内容に関し、関係法令に基づいて、公平かつ適正な賦課決定を行い、税収の確保を図る。	過年度申告等に基づき、市税の還付を行う。また、各種税証明の交付や市たばこ税賦課決定、税務協力団体との連携及び支援を行う。 各種税証明の交付 ・本庁 ・各総合支所 ・日曜窓口 ・市民サービスセンター

事業の実績・成果

1　各種税証明について、本庁舎、各総合支所、10ヶ所の市民サービスセンターにおける交付により、住民サービスの向上が図られた。

（1）証明等交付枚数の推移　（単位：枚）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
交付枚数	33,918	37,189	35,697	35,001	24,159

（2）上記（1）のうち、本庁舎及び各総合支所における日曜日の証明等交付枚数の推移　（単位：枚）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
交付枚数	1,509	2,032	2,129	1,647	1,275

（3）上記（1）のうち、市民サービスセンターの証明交付枚数の推移　（単位：枚）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
交付枚数	803	834	781	611	445

2　地方税法に基づく過年度の税の減額更正等に対し、速やかに還付処理をすることにより適正な税の執行が図られた。　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
返還金	67,447,257	56,774,664	52,305,904	51,352,769	56,152,394
還付加算金	916,300	1,240,250	2,059,600	417,400	1,005,300

3　市たばこ税の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
課税標準本数（本）	158,221,707	153,529,493	143,574,648	136,511,369	129,259,394
調定額（円）	810,624,832	788,242,368	743,439,085	736,477,011	731,931,390

4　税務協力団体

(1) 目的及び成果

団　体　名	目　　的	成　　果
たばこ販売協議会(小売組合)	市内のたばこ販売の促進により、市たばこ税の増収を図る。	市内たばこの販売促進と未成年者喫煙防止に努めることができた。
青色申告会	青色申告制度の趣旨徹底と資質向上を図るとともに、円滑な税務行政を推進する。	税法講習会、確定申告や年末調整の指導会等を行うことにより、会員の税知識の更なる普及と円滑な税行政の推進が図られた。
(社) 行田法人会	法人の税務知識の向上を図り、円滑な税務行政を推進する。	決算期別ごとの説明会等を行い、市内法人の税務知識の普及、納税意識の向上が図られた。
農業青色申告会	青色申告制度の趣旨徹底と資質向上を図るとともに、円滑な税務行政を推進する。	減価償却資産のシステム管理、確定申告及び農業経営などの講習会を行い、円滑な税務行政に寄与できた。

(2) 補助金額の推移　　(単位：円)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
たばこ販売協議会	全　　域	100,000	100,000	50,000	50,000	50,000
	加須地域	―	―	―	―	―
	騎西地域	―	―	―	―	―
	北川辺地域	50,000	50,000	―	―	―
	大利根地域	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
青色申告会	全　　域	145,000	145,000	145,000	145,000	145,000
	加須地域	85,000	―	―	―	―
	騎西地域	35,000	―	―	―	―
	北川辺地域	―	―	―	―	―
	大利根地域	25,000	―	―	―	―
(社) 行田法人会加須支部		500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
農業青色申告会	全　　域	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	加須地域	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	騎西地域	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	北川辺地域	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	大利根地域	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000

※たばこ販売協議会と農業青色申告会については、地域ごとに存在しているため。

事 業 名		軽自動車税賦課事業		
担 当 課		税務課	総合振興計画コード	6315-11
款	02	総務費	当 初 予 算 額	4,680,000 円
項	02	徴税費	最 終 予 算 額	4,680,000 円
目	02	賦課徴収費	決 算 額	3,398,537 円
事業の目的	計画的な財政運営を図るため、課税客体の正確な把握に努めるとともに、関係法令に基づき賦課を行い、税収の確保を図る。 また、こいのぼりナンバーの普及により、加須市のＰＲに資する。		事業の概要	原付、小型特殊自動車のナンバー登録及び廃車を行い、４輪等の軽自動車と併せて、軽自動車税の賦課決定を行う。 また、市のＰＲのため、こいのぼりナンバーの普及促進を図る。

事業の実績・成果

窓口で受け付ける原動機付自転車や小型特殊の軽自動車税申告書及び廃車申告書並びに市町村軽自動車税事務協議会からのデータに基づき、適正な課税を行った。

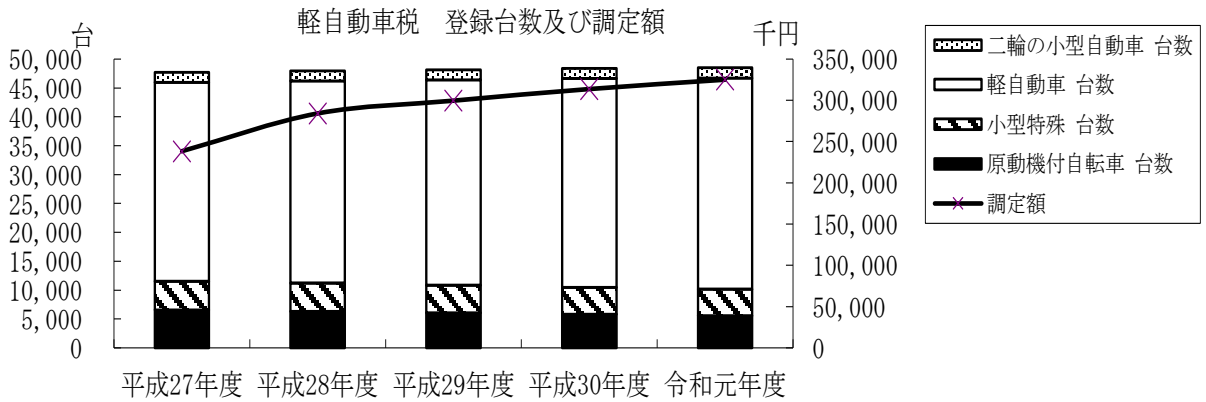
また、広報紙、ホームページへの掲載及び販売店等へのポスター配布により、こいのぼりナンバーの普及に努めた。

1　登録台数の推移　（単位：台）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
原動機付自転車	6,577	6,340	6,081	5,815	5,605
小型特殊	4,974	4,869	4,757	4,662	4,585
軽自動車	34,415	35,034	35,583	36,163	36,535
二輪の小型自動車	1,723	1,703	1,723	1,725	1,761
合計	47,689	47,946	48,144	48,365	48,486

2　調定額の推移　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
原動機付自転車	7,259,000	13,166,600	12,653,800	12,113,300	11,709,300
小型特殊	8,996,900	12,861,600	12,617,300	12,389,300	12,187,000
軽自動車	215,088,600	247,870,200	263,970,300	278,855,400	290,607,200
二輪の小型自動車	6,892,000	10,218,000	10,338,000	10,350,000	10,566,000
合計	238,236,500	284,116,400	299,579,400	313,708,000	325,069,500



こいのぼりナンバーの交付枚数

8,826 枚【導入（平成 23 年４月）から令和２年３月末日までの交付枚数】

※令和元年度の交付枚数　660 枚（このうち旧型ナンバーからの無料交換　13 枚）

事業名	収納事業		
担当課	収納課	総合振興計画コード	6315-12
款 02	総務費	当初予算額	26,865,000円
項 02	徴税費	最終予算額	26,865,000円
目 02	賦課徴収費	決算額	20,030,973円
事業の目的	将来にわたって持続可能な自立した自治体運営を確立するため、市税等の市民負担の公平性及び自主財源の確保を図る。	事業の概要	・納期限、納税緩和措置、口座振替及びコンビニ納付の周知徹底を図る。 ・納付や納税相談の機会を充実する。 ・督促状に加えて、電話・文書・臨宅等による効果的な納税催告を行う。 ・財産調査に基づき滞納処分または納税緩和を適正かつ積極的に行う。 ・各種料金等を含めた債権管理の適正化を図る。

事業の実績・成果

市税及び国民健康保険税について、広報紙やホームページ、納税ポスター等による納期限の周知及び口座振替促進強化月間の設定やコンビニ納付の利用案内などにより、納期内納付の促進を図った。

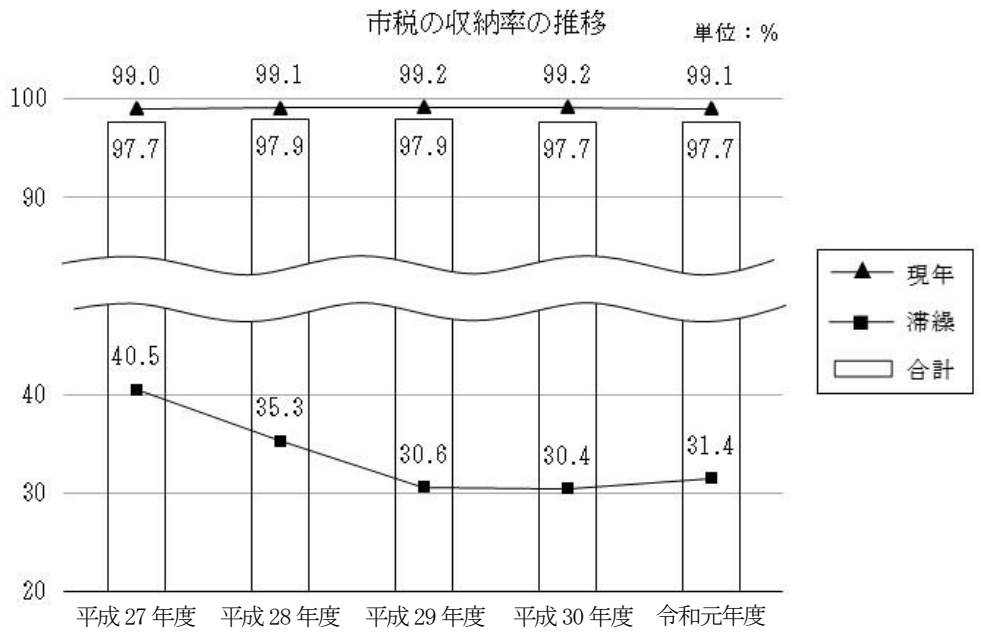
滞納者には、督促状に加え、早い段階から電話や文書、臨宅等による効果的な納税催告を行うとともに、日曜日の納税相談窓口を活用して早期納付を促した。

また、滞納者の財産調査を徹底し、納付資力がありながら納付しない場合は、止むを得ず差押を執行する一方、納付意識はあるが納付資力がない場合は、徴収猶予や減免、滞納処分の執行停止などの納税緩和措置を適切に講じ、税負担の公平性及び自主財源の確保に努めた。

市税の収納率 (単位：%)

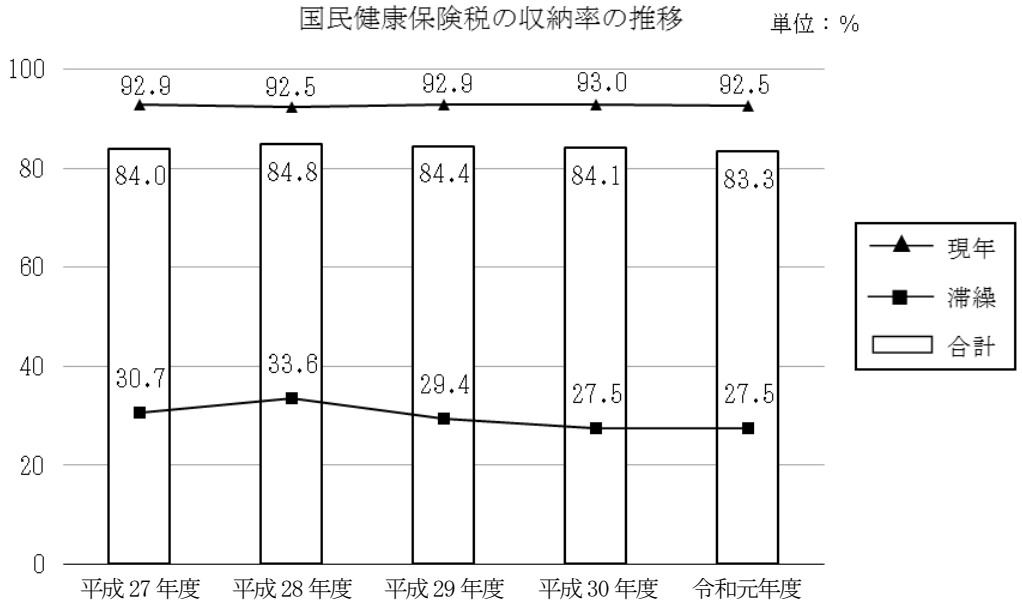
年度 / 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
現年	99.0	99.1	99.2	99.2	99.1
滞繰	40.5	35.3	30.6	30.4	31.4
合計	97.7	97.9	97.9	97.7	97.7

※市税：市民税、軽自動車税、固定資産税・都市計画税、市たばこ税



国民健康保険税の収納率　　（単位：%）

年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
現年	92.9	92.5	92.9	93.0	92.5
滞繰	30.7	33.6	29.4	27.5	27.5
合計	84.0	84.8	84.4	84.1	83.3



事 業 名		市民サービスセンター事業		
担 当 課		市民課	総合振興計画コード	3231-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	3,482,000 円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最 終 予 算 額	3,482,000 円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	3,476,201 円
事業の目的	高齢化の現状や今後さらに進展する高齢化社会を踏まえ、市民が自転車や徒歩でも容易に行ける地域の身近な公民館等で行政窓口サービスを提供し、利便性の向上を図る。	事業の概要	10 箇所の公民館等に開設した市民サービスセンター、本庁窓口（市民課・税務課）及び各総合支所（市民福祉健康課）との連携を図りながら、住民票の写しや市税証明書等の交付業務を行う。	

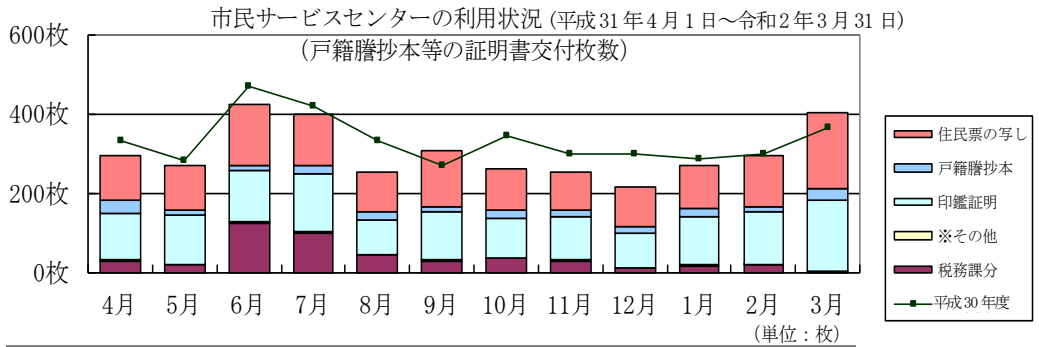
事業の実績・成果

加須地域内すべての公民館及び田ケ谷総合センターに開設した市民サービスセンターで証明書交付を行い、市民サービスの向上及び利便性が図られた。

○市民サービスセンター

- 開設日（加須地域のサービスセンター）：火曜日、土曜日、祝日及び年末年始以外の毎日 午前 8 時 30 分～午後 5 時
- 開設日（田ケ谷サービスセンター）：水曜日、土曜日、祝日及び年末年始以外の毎日 午前 8 時 30 分～午後 5 時
- 業務内容：住民票の写し、戸籍謄抄本、印鑑登録証明書、市税の証明（税務課）等の交付
- 設置場所：加須公民館、不動岡公民館、三俣公民館、礼羽公民館、大桑公民館、水深公民館、樋遣川公民館、志多見公民館、大越公民館、田ケ谷総合センター

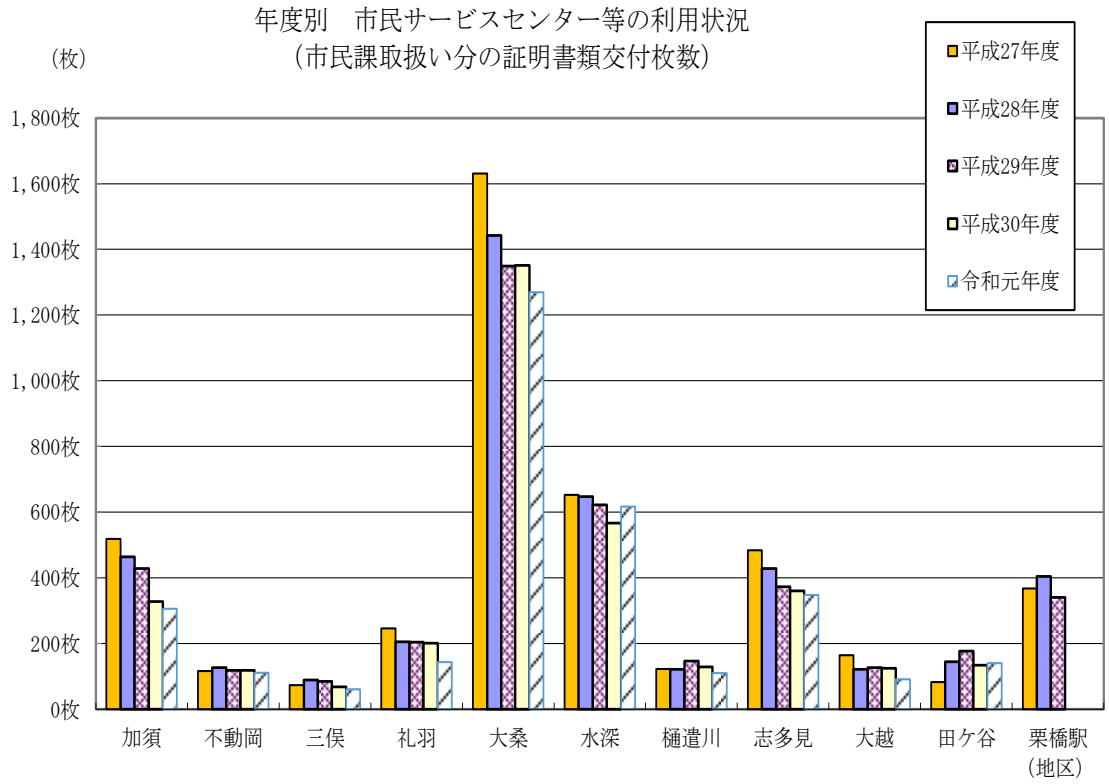
※栗橋駅構内市民サービスコーナー（平成 30 年 3 月 30 日終了）



（単位：枚）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住民票の写し	113	113	156	131	103	142	106	99	99	109	127	191	1,489
戸籍謄抄本	36	15	12	20	20	13	21	16	16	21	15	30	235
印鑑証明	114	125	129	148	87	121	99	109	86	121	132	179	1,450
※その他	5	0	1	3	2	3	0	2	0	2	2	3	23
税務課分	28	18	125	98	42	27	35	28	12	15	17	0	445
合 計	296	271	423	400	254	306	261	254	213	268	293	403	3,642
平成30年度	333	282	471	421	331	267	346	298	297	284	298	364	3,992

※その他･･･戸籍の附票、住民票記載事項証明



（単位：枚）

	加須	不動岡	三俣	礼羽	大桑	水深	樋遣川	志多見	大越	田ケ谷	栗橋駅	合計
平成27年度	518	116	73	246	1,631	653	123	484	164	83	368	4,459
平成28年度	464	127	89	205	1,442	647	122	428	122	145	404	4,195
平成29年度	428	118	85	204	1,349	622	147	373	127	177	340	3,970
平成30年度	328	118	68	201	1,351	567	129	360	125	134	－	3,381
令和元年度	306	111	61	143	1,270	617	110	348	91	140	－	3,197

事 業 名		戸籍住民基本台帳事業		
担 当 課		市民課	総合振興計画コード	3231-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	41,099,000 円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最 終 予 算 額	41,099,000 円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	39,415,032 円
事業の目的	市民の社会活動全般の基礎となる居住関係や身分関係等を公証するための自治事務・法定受託事務（住民基本台帳・印鑑登録・戸籍）を中心とした諸業務を適切かつ総合的・円滑に行う。		事業の概要	各種電算処理システムの管理を行い、申請による証明書発行事務、届出の受付審査及び住民基本台帳、戸籍等の記載や適正な管理を行う。

事業の実績・成果

1　戸籍・住民基本台帳業務やその他関連する各種業務の正確かつ適正な事務処理を行い、市民への行政窓口サービスを行った。

・戸籍謄抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書等各種諸証明書類の交付申請受付・交付業務

令和元年度　戸籍住民基本台帳手数料　（単位：円）

項目	本 庁 舎	騎西総合支所	北川辺総合支所	大利根総合支所	合　計
臨時運行許可	420,750	250,500	66,750	251,250	989,250
戸籍謄抄本等	9,748,650	2,389,200	1,248,600	1,709,800	15,096,250
住民票の写し等	6,043,500	1,009,050	567,450	813,300	8,433,300
印鑑証明書等	3,826,400	858,850	469,100	672,950	5,827,300
マイナンバー通知カード再発行	153,000	28,500	19,500	11,000	212,000
マイナンバーカード再発行	39,200	6,400	3,200	5,600	54,400
合　計	20,231,500	4,542,500	2,374,600	3,463,900	30,612,500

※市民サービスセンター及びコンビニ交付を本庁舎に含む

戸籍謄抄本・住民票の写し等交付枚数（年度別）　（単位：枚）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
交付枚数	127,622	126,472	125,917	124,651	121,034

※日曜窓口及び市民サービスセンター等を含むすべての有料交付分

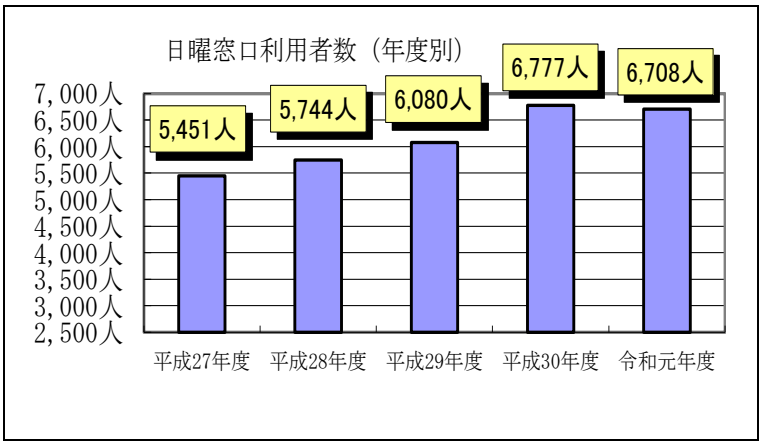
2　都合により平日に来庁できない市民に対して、日曜日に証明書等の発行窓口を開設し、利便性の向上を図った。（本庁は平成17年度から、各総合支所は、平成22年3月28日から本格運用）

(1) 開設日：毎週日曜日（年末年始除く）午前8時30分～午後5時

(2) 業務内容：戸籍謄抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書等の交付、印鑑登録業務、戸籍届出書の預かり業務

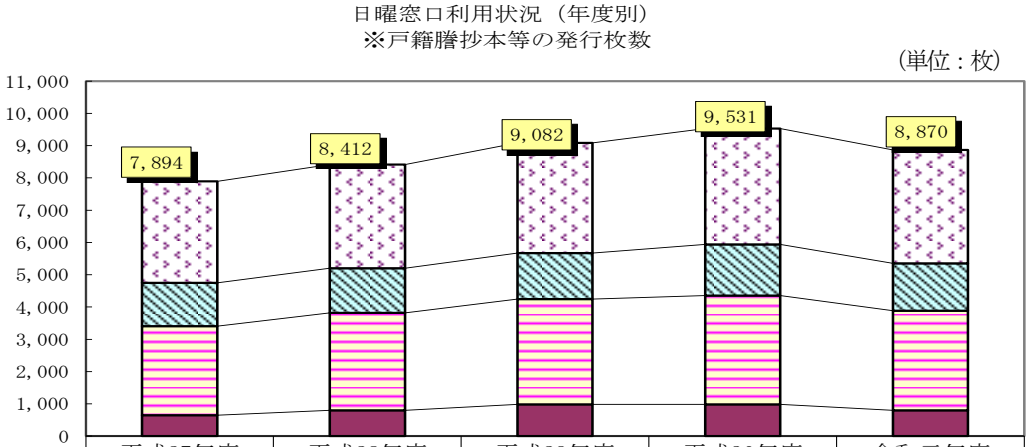
3　女性活躍推進等に対応したマイナンバーカード等の記載事項の充実などが閣議決定されたことにより、本人からの届出により住民票やマイナンバーカードに旧氏を併記するため、既存住民基本台帳システムの一部改修を平成29年度から継続して行った。

4　住民基本台帳ネットワークシステム機器更新（令和元年11月～）及び戸籍システム機器更新（令和2年3月～）を行った。



（単位：日）

	開庁日数
平成27年度	49
平成28年度	47
平成29年度	49
平成30年度	52
令和元年度	51



	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
住民票の写し	3,142	3,206	3,414	3,589	3,519
戸籍謄抄本等	1,345	1,389	1,425	1,586	1,465
印鑑証明書	2,761	3,014	3,259	3,375	3,089
その他 ※	646	803	984	981	797
合計	7,894	8,412	9,082	9,531	8,870

※その他…戸籍の附票、住民票記載事項証明等

事業名	旅券発給事業			
担当課	市民課		総合振興計画コード	3231-03
款	02	総務費	当初予算額	3,615,000円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最終予算額	3,615,000円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決算額	3,597,566円
事業の目的	一般旅券の申請の受理等を本市で行うことにより、市民の利便性の向上を図る。	事業の概要	埼玉県と連携し、一般旅券の申請（記載事項変更・増補を含む）受理及び発給を行う。	

事業の実績・成果

権限移譲により平成24年6月1日から加須市役所市民課窓口において旅券発給事務を開始

1　申請　　月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）　午前9時～午後4時30分
　　交付　　月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）　午前9時～午後4時30分
　　日曜日　午前9時～午後4時30分

2　市民課窓口における一般旅券申請件数　（単位:件）

	10年	5年	訂正	増補	記載事項変更	合計
平成27年度	1,061	910	0	4	28	2,003
平成28年度	1,217	1,017	0	4	21	2,259
平成29年度	1,153	1,027	0	7	39	2,226
平成30年度	1,256	1,055	0	3	42	2,356
令和元年度	1,298	1,048	0	1	30	2,377

3　市民課窓口における一般旅券交付件数　（単位:件）

	月曜日～金曜日	日曜日	合計
平成27年度	1,443	527	1,970
平成28年度	1,662	602	2,264
平成29年度	1,636	594	2,230
平成30年度	1,724	626	2,350
令和元年度	1,781	637	2,418

（参考）県パスポートセンターにおける一般旅券申請件数　上段：申請件数（件）　下段：構成比率（%）

期間＼申請場所	市民課窓口	県パスポートセンター					合計
		大宮	川越	春日部	熊谷市	川口市	
平成28年1月～12月	2,155	203	3	47	11	1	2,420
	89.05	8.39	0.12	1.94	0.46	0.04	100.00
平成29年1月～12月	2,277	183	3	53	7	7	2,530
	90.00	7.23	0.12	2.09	0.28	0.28	100.00
平成30年1月～12月	2,286	201	2	43	12	7	2,551
	89.61	7.88	0.07	1.69	0.47	0.28	100.00
平成31年1月～令和元年12月	2,566	232	6	50	6	0	2,860
	89.72	8.11	0.21	1.75	0.21	0	100.00

事 業 名	マイナンバーカード交付等事業			
担 当 課	市民課		総合振興計画コード	3231-08
款	02	総務費	当 初 予 算 額	23,032,000 円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最 終 予 算 額	25,298,000 円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	16,485,089 円
事業の目的	社会保障・税番号制度の実施に伴い、より多くの市民に制度の趣旨を理解してもらうとともに、マイナンバーカードを交付することにより、各種手続き等に係る市民負担の軽減を図る。	事業の概要	マイナンバーの付番・通知及び希望者からの申請によるマイナンバーカードの交付に関する事務を行う。	

事業の実績・成果

通知カードは、全市民の方に交付する必要があることから、不在等の理由で市に返戻された通知カードの受取りを促す案内通知を送付するなど、通知カード未着者の解消に努めた。

マイナンバーカード交付円滑化計画を策定し、交付体制の整備を行った。また、発行から５回目の誕生日を迎えた方に対して、マイナンバーカードの再発行及び電子証明書の更新を行った。

マイナンバーカードは、交付の事前予約制や受付・交付窓口の分担、日曜窓口での交付（第 2 第 4 土曜日の翌日の日曜日）など、円滑なマイナンバーカードの交付に努めた。

1　通知カード保管状況　（単位：通）

	返戻数	廃棄数	保管数
法施行日（平成 27 年 10 月 5 日）時点当初発行分	2,655	661	0
法施行日（平成 27 年 10 月 5 日）以降異動発行分	547	108	109
合　　計	3,202	769	109

2　マイナンバーカード納品・交付状況

地方公共団体情報システム機構からのマイナンバーカード納品状況

（単位：枚）

	本 庁 舎	騎西総合支所	北川辺総合支所	大利根総合支所	合　計
平成 27 年度	4,674	1,312	900	961	7,847
平成 28 年度	1,957	530	241	426	3,154
平成 29 年度	1,326	356	195	271	2,148
平成 30 年度	1,227	291	151	228	1,897
令和元年度	1,788	450	197	313	2,748
合　計	10,972	2,939	1,684	2,199	17,794

※年度末納品カード枚数 17,794 枚は、令和 2 年 4 月 1 日現在人口比 15.8%

マイナンバーカード交付状況　（単位：枚）

	本 庁 舎	騎西総合支所	北川辺総合支所	大利根総合支所	合　計
平成 27 年度	976	399	466	421	2,262
平成 28 年度	4,189	1,104	503	671	6,467
平成 29 年度	1,507	475	235	352	2,569
平成 30 年度	1,282	325	161	268	2,036
令和元年度	1,571	404	173	262	2,410
合　計	9,525	2,707	1,538	1,974	15,744

※年度末カード交付枚数 15,744 枚は、令和 2 年 4 月 1 日現在人口比 13.9%

事 業 名		住民票等コンビニ交付事業		
担 当 課		市民課	総合振興計画コード	3231-09
款	02	総務費	当 初 予 算 額	9,342,000 円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最 終 予 算 額	9,342,000 円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	9,254,445 円
事業の目的	市民の身近な場所で、休日や時間外にも証明書を取得できる利便性の高いコンビニ交付サービスを実施することにより、市民サービスの向上を図る。		事業の概要	マイナンバーカードを利用して、各種証明書をコンビニエンスストア等に設置されているキオスク端末から交付する。 証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書、課税・非課税証明書、所得証明書）1 枚当たり交付手数料　各 150 円 窓口及びコンビニは同額

事業の実績・成果

推進チラシ及びポスターを作成し、チラシの全戸配布や本庁舎及び各総合支所窓口における配布、各公共施設への設置、コンビニエンスストアへのポスター掲示、行政モニター放映、広報紙・ホームページへの掲載により周知を行った。

さらに、コンビニ交付サービスの利用促進を図るため作成したキオスク端末の操作手順書を作成し、マイナンバーカード交付時に配布した。

コンビニ交付証明書交付状況　（単位：枚）

	住民票	印鑑証明	税証明	合計
平成 28 年度	52	55	7	114
平成 29 年度	746	753	96	1,595
平成 30 年度	1,250	1,208	126	2,584
令和元年度	1,854	1,645	178	3,677
合計	3,902	3,661	407	7,970

※平成 29 年 3 月 1 日からコンビニ交付サービスの運用開始

事 業 名		選挙管理委員会運営事業		
担 当 課		選挙管理委員会	総合振興計画コード	6131-05
款	02	総務費	当 初 予 算 額	2,237,000 円
項	04	選挙費	最 終 予 算 額	2,237,000 円
目	01	選挙管理委員会費	決 算 額	2,084,673 円

事業の目的	政治への市民参加の主たる制度である「選挙」を管理する選挙管理委員会の適正な運営を図る。	事業の概要	選挙管理委員会は、4 人の委員により構成される機関であり、次の事務を行う。 ・各選挙の管理及び執行 ・選挙人名簿等の調製 ・選挙についての啓発宣伝等 ・全国団体等の会議・研究会等への参加 ・その他選挙に関連する事務

事業の実績・成果

選挙人名簿の登録（定時、選挙時）や裁判員候補者予定者等の名簿調製のほか、各種選挙（県議会議員選挙・市議会議員選挙・参議院通常選挙・県知事選挙・参議院補欠選挙）を適正に管理執行するため、選挙管理委員会を合計 21 回開催した。

また、最近の物価変動等を踏まえ「国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律」の一部改正が行われ、国会議員の選挙等の執行経費の基準額が改定されたことを踏まえ、選挙長等の報酬を改定する「加須市特別職職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例」の一部改正条例案について当委員会で決定し、これが令和元年第 1 回定例会に議案として提出され、議決された（令和元年 7 月 21 日執行の参議院議員通常選挙から適用）。

○選挙人名簿登録者の推移（各年 9 月定時登録数）　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
男	47,022	48,036	47,970	47,787	47,646
女	47,246	48,181	48,008	47,818	47,741
合計	94,268	96,217	95,978	95,605	95,387

※平成 28 年度から選挙権年齢が 18 歳に引き下げられた。

事 業 名		選挙啓発事業		
担 当 課		選挙管理委員会	総合振興計画コード	6131-09
款	02	総務費	当 初 予 算 額	271,000 円
項	04	選挙費	最 終 予 算 額	271,000 円
目	02	選挙啓発費	決 算 額	234,547 円

事業の目的	明るくきれいで正しい選挙が行われるようにするため、あらゆる機会を通して有権者の選挙に関する意識の向上を図る。	事業の概要	・小中学生からポスター、標語及び書道コンクールへの作品を募集し、その作品展示等の実施 ・学校に対して選挙備品（投票箱・記載台）の貸出しを実施 ・「新有権者の証」の送付 ・選挙出前講座の実施 ・有権者ノート等啓発品を成人式で配布

事業の実績・成果

1　明るい選挙啓発コンクールの実施

これからの未来を担う小・中学生の選挙に対する関心を高めるとともに、有権者に対する明るい選挙の推進を図るため、教育委員会と連携して、全国規模の「明るい選挙啓発ポスターコンクール」への参加のほか、加須市独自の「標語コンクール」及び「書道コンクール」を行った。また、明るい選挙啓発ポスターコンクールの優秀作品は、行田市及び羽生市と共同で巡回展示会を行った。

○コンクールの応募状況　（単位：作品数）

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ポスター	580	582	511	284	259
標語	3,873	3,453	3,475	2,169	2,280
書道	1,739	1,480	915	1,419	941
合　　計	6,192	5,515	4,901	3,872	3,480

○優秀作品展示

展示期間	展示会場	展示物
1月 6日(月)～1月19日(日)	加須市役所 1階市民ギャラリー	ポスター・標語（標語は加須市のみ）
1月22日(水)～1月31日(金)	行田市役所 1階ロビー	
2月 5日(水)～2月14日(金)	羽生市民プラザ 2階ギャラリー	
1月21日(火)～1月28日(火)	加須市役所1階市民ギャラリー	書道

※各公共施設の休館日を除く。

2　選挙出前講座の実施

「加須市選挙出前講座実施要綱」等に基づき、市内の中学校、高等学校、特別支援学校、大学及び障害者福祉サービス事業所を対象として、選挙に関する講座や模擬投票などを実施した。

○選挙出前講座実施状況

開催日	学校名等	受講者数(人)
10月 2日(水)	加須市立昭和中学校（3年生）（県選管主催）	204
3月 3日(火)	加須市立加須平成中学校（3年生）	中止※
3月13日(金)	花咲徳栄高等学校（1年生）	中止※

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3　「新有権者の証」の送付

18 歳を迎え選挙人名簿に登録された方を対象に、選挙人名簿に登録されたことをお知らせするとともに、選挙への関心を持っていただくことを目的に「新有権者の証」を送付した。

○令和元年度送付人数　949 人

事 業 名		参議院議員通常選挙執行事業		
担 当 課		選挙管理委員会	総合振興計画コード	99111-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	59,043,000 円
項	04	選挙費	最 終 予 算 額	46,506,000 円
目	03	参議院議員通常選挙費	決 算 額	46,496,020 円
事業の目的	民主主義の基本である選挙のうち、参議院議員通常選挙に関する事務の適正な執行を図る。	事業の概要	公職選挙法等を遵守し、適正かつ公正に管理執行をするとともに、開票事務を正確かつ効率的に行う。	

事業の実績・成果

令和元年7月21日執行の第25回参議院議員通常選挙を適正に管理執行した。

1　予算

予算では、令和元年第1回定例会において、選挙長等の報酬を改定する「加須市特別職職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例」の一部改正が議決されたことに伴い、同定例会において選挙長等の報酬について増額補正（71千円）を行った。また、年度内に執行経費の精算等が終わったため、予算残額（12,608千円）について、令和2年第1回定例会において減額補正した。なお、当該事業費は、埼玉県から交付される執行委託費で全て賄うことができた。

2　選挙事務・啓発等における改善

選挙事務では、加須市役所の期日前投票所で、投票管理システムと連動する投票用紙自動交付機を導入したことにより、事務の正確性・効率性を高めることができ、また、人員の削減も図られた。

3　投票率等

○投票状況（埼玉県選出）

	（前回）平成28年	令和元年
当日有権者数（人）	96,173	95,315
投票者数（人）	46,937	41,440
投票率（%）	48.80	43.48
(参考)県平均投票率(%)	51.94	46.48

○開票時間　（単位：分）

	（前回）平成28年	令和元年
埼玉県選出	181	160
比例代表選出	285	171

○執行経費　（単位：円）

	（前回）平成28年	令和元年
事業費決算額	41,501,710	46,496,020

※平成30年から期日前投票所が1箇所増設されたことによる期日前投票管理者等の報酬や臨時職員の賃金、また、元号改正に伴うシステム改修や公営ポスター掲示場管理システムの入替のための経費等が加算されたことから、前回と比較し事業費決算額が増加した。

事 業 名		県知事選挙執行事業		
担 当 課		選挙管理委員会	総合振興計画コード	99111-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	46,931,000 円
項	04	選挙費	最 終 予 算 額	36,056,000 円
目	04	県知事選挙費	決 算 額	36,045,443 円
事業の目的	民主主義の基本である選挙のうち、埼玉県知事選挙に関する事務の適正な執行を図る。	事業の概要	公職選挙法等を遵守し、適正かつ公正な管理執行をするとともに、開票事務を正確かつ効率的に行う。	

事業の実績・成果

令和元年8月25日執行の埼玉県知事選挙を適正に管理執行した。

1　予算

予算では、令和元年第1回定例会において、選挙長等の報酬を改定する「加須市特別職職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例」の一部改正が議決されたことに伴い、同定例会において選挙長等の報酬について増額補正（70千円）を行った。また、年度内に執行経費の精算等が終わったため、予算残額（10,945千円）について、令和2年第1回定例会において減額補正した。なお、当該事業費は、埼玉県から交付される執行委託費で全て賄うことができた。

2　選挙事務・啓発における改善点

選挙啓発では、地域みっちゃく生活情報誌®「とねじん」に、埼玉県市町村選挙管理委員会連合会北埼玉支会（行田市、羽生市、加須市）が共同で啓発記事を掲載するなど、従来の選挙啓発に加え新たな選挙啓発に取り組んだ。

3　投票率等

○投票状況

	（前回）平成27年	令和元年
当日有権者数（人）	93,349	94,423
投票者数（人）	24,518	29,493
投票率（%）	26.26	31.23
（参考）県平均投票率（%）	26.63	32.31

○開票時間等

	（前回）平成27年	令和元年
加須市開票区（分）	61	76
候補者数（人）	5	5

○執行経費　（単位：円）

	（前回）平成27年	令和元年
事業費決算額	33,969,490	36,045,443

※平成30年から期日前投票所が1箇所増設されたことによる期日前投票管理者等の報酬や臨時職員の賃金等の経費が増加したため、前回と比較し事業費決算額が増加した。

事 業 名		県議会議員選挙執行事業		
担 当 課		選挙管理委員会	総合振興計画コード	99111-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	26,172,000 円
項	04	選挙費	最 終 予 算 額	21,527,000 円
目	05	県議会議員選挙費	決 算 額	21,519,074 円
事業の目的	民主主義の基本である選挙のうち、埼玉県議会議員選挙に関する事務の適正な執行を図る。	事業の概要	公職選挙法等を遵守し、適正かつ公正に管理執行をするとともに、開票事務を正確かつ効率的に行う。	

事業の実績・成果

平成31年4月7日執行の埼玉県議会議員一般選挙（以下「県議選」という。）における東第3区（選挙区）選挙長担当市選挙管理委員会として、選挙事務を適正に管理執行した。

1　予算

予算では、年度内に執行経費の精算等が終わったため、予算残額（4,645千円）について、令和2年第1回定例会において減額補正した。なお、当該事業費は、埼玉県から交付される執行委託費で全て賄うことができた。

2　選挙事務・啓発等における改善点

今回の県議選から投票所入場整理券に当日投票所の地図やその位置情報を示すQRコードを掲載するなど新たな取組みを行い、選挙人の利便性の向上や投票環境の改善を図った。

3　投票率等

○投票状況

	（前回）平成27年	令和元年
当日有権者数（人）	93,278	94,421
投票者数（人）	33,442	35,070
投票率（%）	35.85	37.14
(参考)県平均投票率(%)	37.68	35.52

○開票時間等

	（前回）平成27年	令和元年
加須市開票区（分）	72	76
候補者数（定数）　（人）	3(2)	3(2)

○執行経費　（単位：円）

	（前回）平成27年	令和元年
事業費決算額	24,285,260	21,519,074
(参考)前年度事業費決算額	(平成26年)6,955,319	(平成30年)13,337,744
(参考)合計事業費決算額	31,240,579	34,856,818

※今回の県議選では、投票期日が通例より1週早まり平成31年3月30日から期日前投票が行われる等の理由により、平成30年度事業費が増加し、令和元年度事業費が減少した。

※合計事業費決算額については、平成30年から期日前投票所が1箇所増設されたことによる期日前投票管理者等の報酬や臨時職員の賃金の増加、さらには公営ポスター掲示場関係の費用等の増加に伴い、前回と比較し増加した。

事 業 名		市議会議員選挙執行事業		
担 当 課		選挙管理委員会	総合振興計画コード	99111-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	98,738,000 円
項	04	選挙費	最 終 予 算 額	73,350,000 円
目	06	市議会議員選挙費	決 算 額	73,339,028 円
事業の目的	民主主義の基本である選挙のうち、加須市議会議員選挙に関する事務の適正な執行を図る。	事業の概要	公職選挙法等を遵守し、適正かつ公正に管理執行をするとともに、開票事務を正確かつ効率的に行う。	

事業の実績・成果

平成31年4月21日執行の加須市議会議員一般選挙（以下「市議選」という。）を適正に管理執行した。

候補者の政策等を選挙人が知る機会の拡充等を目的として公職選挙法が改正され、今回の市議選から「選挙運動用ビラ（上限4,000枚まで）」が頒布できるようになった。また、その作成費については「加須市議会議員又は加須市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例」で定めており（平成30年度改正）、市費対応（上限あり）となる選挙公営とした。

1　予算

予算については、年度内に執行経費の精算等が終わったため、予算残額（25,388 千円）について、令和2年第1回定例会において減額補正した。なお、当該事業費は、一部（速報事務委託費、40,100 円）埼玉県から交付されるが、それ以外については市費により賄われた。

2　選挙事務・啓発における改善点

選挙啓発では、インターネットを活用した「自治体ターゲティング広告（自治体内のネットユーザーにだけ表示されるネット広告）」を使用した新たな選挙啓発を行い、若年層の投票率向上に努めた。

3　投票率等

○投票状況

	（前回）平成27年	令和元年
当日有権者数（人）	93,222	94,351
投票者数（人）	45,156	42,737
投票率（%）	48.44	45.30

○開票時間等

	（前回）平成27年	令和元年
開票時間（分）	105	187
候補者数（定数）　（人）	34(28)	30(28)

○執行経費　（単位：円）

	（前回）平成27年	令和元年
事業費決算額	74,215,873	73,339,028
(参考)前年度事業費決算額	(平成26年)577,948	(平成30年)1,552,452
(参考)合計事業費決算額	74,793,821	74,891,480

※今回の市議選の投票期日が通例より1週早まったことに伴い、一部の業務が前倒しで行われたため、平成30年度事業費が増加し、令和元年度事業費が減少した。

※立候補者数が前回と比較し減少したことにより選挙公営負担額が減少したが、平成30年から期日前投票所が1箇所増設されたことによる期日前投票管理者等の報酬や臨時職員の賃金等の増加があり、合計事業費決算額については前回と比較し増加した。

事 業 名		参議院埼玉県選出議員補欠選挙執行事業		
担 当 課		選挙管理委員会	総合振興計画コード	99111-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	0 円
項	04	選挙費	最 終 予 算 額	42,128,000 円
目	07	参議院埼玉県選出議員補欠選挙費	決 算 額	42,116,922 円
事業の目的	民主主義の基本である選挙のうち、参議院埼玉県選出議員補欠選挙に関する事務の適正な執行を図る。		事業の概要	公職選挙法等を遵守し、適正かつ公正に管理執行をするとともに、開票事務を正確かつ効率的に行う。

事業の実績・成果

令和元年 10 月 27 日執行の参議院埼玉県選出議員補欠選挙（以下「参院補選」という。）を適正に管理執行した。

1　選挙事由発生の経緯

今回の参院補選は、参議院埼玉県選出の議員が、令和元年 8 月 25 日執行の埼玉県知事選挙への立候補に先立ち辞職したことによるもので、公職選挙法第 33 条の 2 の規定に基づき、10 月の第 4 週の日曜日（10 月 27 日）に執行されることになった。

2　予算

予算については、突発的な選挙事由発生のため、令和元年第 2 回定例会に参院補選執行に関する補正予算を計上した。また、年度内に執行経費の精算等が終わったため、予算残額（10,450 千円）について、令和 2 年第 1 回定例会において減額補正した。なお、当該事業費は、埼玉県から交付される執行委託費で全て賄うことができた。

3　選挙事務・啓発等における改善点

選挙事務では、市内の全ての期日前投票所で投票管理システムと連動する投票用紙自動交付機を導入した。また、当日投票所では、これまで投票管理システムを用いて受付を行っていた 14 投票所において、期日前投票所と同様に投票管理システムと連動する投票用紙自動交付機を導入し、また、新たに 30 投票所で投票管理システムによる受付を導入した。この結果、選挙事務の正確性・効率性を高めることができ、また、人員の削減も図られた。

4　令和元年東日本台風（台風第 19 号）に係る対応

選挙人及び投票事務従事者等の安全を考慮し、次のとおり対応した。

・全ての期日前投票所の閉鎖時間を午後 3 時に繰り上げ（期日前投票 2 日目、10 月 12 日（土））
・全ての期日前投票所を 1 日閉鎖（期日前投票 3 日目、10 月 13 日（日））
・公営ポスター掲示場の一部撤去、再設置業務委託（395 箇所中 37 箇所）

5　投票率等

〇投票・開票状況

当日有権者数（人）	投票者数（人）	投票率（%）	開票時間（分）
95,229	18,588	19.52	70

※埼玉県平均投票率　20.81%

6　加須市合併10周年記念「子ども投票」

将来の有権者である子どもたちに、選挙や政治をより身近に感じていただき、また、投票率が低い子育て世代の方に投票所へ足を運んでいただくことを目的として、参院補選の期日前投票に併せて加須市合併10周年記念「子ども投票」を次のとおり行った。

(1) 概要

・実施期間：令和元年10月11日（金）～26日（土）
・対　　象：選挙人に同伴して期日前投票所に入場した18歳未満の方
・場　　所：市内5箇所の期日前投票所（本庁、各支所、花崎コミセン）
・投票内容：合併10周年記念で制作されたコスチュームキューピー（5体）の人気投票
・投票方法：記号式投票
・そ の 他：投票者に「投票済証（ｵﾘｼﾞﾅﾙﾊﾟｯｹｰｼﾞ うまい棒）」を配布
・経　　費：36,612円（投票済証作成費）

(2) 投票結果

（単位：票）

うどん	こいのぼり	藤むすめ	つるつきいちご	三県境
63	122	57	124	72

投 票 者 数：438人（加須市役所180人、騎西総合支所88人、北川辺総合支所74人、大利根総合支所38人、花崎コミュニティセンター58人）

有効投票数：438票

無効投票数：0票

【投票の様子】

【開票の様子】

【投票済証】

事業名	統計管理事業			
担当課	政策調整課		総合振興計画コード	6314-07
款	02	総務費	当初予算額	67,000円
項	05	統計調査費	最終予算額	67,000円
目	01	統計調査総務費	決算額	37,436円
事業の目的	適正な行政サービスを実現するため、国や地方自治体における政策決定の基礎資料となる統計調査を実施する。	事業の概要	統計に係る各種行事に参加するとともに、統計調査員の確保等に取り組む。 また、市の統計情報をまとめた統計書「DATABOOKかぞ」を発行する。	

事業の実績・成果

県北部地域各市町で構成する統計研究会北部ブロックの会長市を務め、研究会の開催や埼玉県連合会役員会・幹事会への出席、埼玉県への要望の取りまとめを行った。

また、市の統計情報をまとめた統計書「DATABOOKかぞ」を発行した。

○統計研究会北部ブロック研究会

会議名	年月日	場所
第1回研究会	令和元年7月12日	加須文化・学習センター　パストラルかぞ 会議室
第2回研究会	令和元年12月19日	小鹿野町役場　小鹿野庁舎2階　第1会議室

○埼玉県連合会役員会

会議名	年月日	場所
役員会	平成31年4月24日	さいたま商工会議所会館　4階　第2・3会議室

○埼玉県連合会幹事会

会議名	年月日	場所
第1回幹事会	令和元年7月25日	熊谷市役所　議会棟　第4委員会室
第2回幹事会	令和2年3月16日	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○県民手帳販売数

（単位：冊）

年度	販売冊数	納品冊数
平成27年度	579	641
平成28年度	482	570
平成29年度	454	490
平成30年度	417	460
令和元年度	418	425

○平成30年度版統計書「DATABOOKかぞ」の発行（令和元年11月発行）

事 業 名		学校基本調査事業			
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	99111-01
款	02	総務費		当 初 予 算 額	38,000 円
項	05	統計調査費		最 終 予 算 額	38,000 円
目	02	統計調査費		決 算 額	26,086 円
事業の目的	国や地方自治体における政策決定の基礎資料となる統計調査を実施する。		事業の概要	文部科学省所管の基幹統計調査である学校基本調査を実施する。	

事業の実績・成果

文部科学省所管の基幹統計調査である学校基本調査を実施した。

【調査目的】
学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにする。（教育委員会による調査）

【基 準 日】
毎年５月１日現在

【主な利用例】
・学校教育全般にわたる諸施策策定上の基礎資料
・県及び市町村に交付する地方交付税算定の基礎資料

【主な内容】
〇対　　象　　市内の幼稚園、小学校及び中学校
〇調査内容　　学校数、在学者数、教職員数、
学校建物・土地面積、卒業後の状況等

事 業 名		経済センサス調査事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	99111-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,343,000 円
項	05	統計調査費	最 終 予 算 額	1,343,000 円
目	02	統計調査費	決 算 額	1,085,819 円

事業の目的	我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得る。	事業の概要	【活動調査】 調査員が調査票を配布・回収し、内容審査を行う。 【基礎調査】 調査員が外観調査を行い、事業所の活動状況を調査員用端末に入力する。

事業の実績・成果

令和３年度の活動調査を円滑に行うための調査区の管理、基礎調査を実施した。

【調査目的】
国内の全産業分野における事業所の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得る。

【基 準 日】
・令和元年６月～令和２年３月（基礎調査）
・令和３年６月１日予定（活動調査）

【主な利用例】
・公正な行政運営を行うための利用
地方消費税、中小企業振興のための補助金の分配等　等
・国民や企業の活動を支えるための利用
県民経済計算、市民経済計算や地域産業関連表の基礎資料・地域の経済活動に関する一次統計の整備

【主な内容】
〇対　　象　　調査時において、我が国すべての事業所及び企業（国及び地方公共団体の事業所、大使館等の外国公務に属する事業所及び農林業家を除く。）
〇調査内容　　名称、所在地、開設時期、従業者数、売上（収入）金額等

【令和元年度事務】
〇調査準備　　令和３年度の活動調査を円滑に行うための調査区の管理、基礎調査の実施

事 業 名		工業統計調査事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	99111-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,295,000 円
項	05	統計調査費	最 終 予 算 額	1,295,000 円
目	02	統計調査費	決 算 額	702,617 円
事業の目的	製造業を営む事業所の分布状況や活動実態を調査し、工業に関する施策の基礎資料を得ることを目的とする。	事業の概要	調査員が調査票を配布・回収し、内容審査を行う。	

事業の実績・成果

円滑な調査実施及び統計の正確性を確保するための説明会の開催や内容審査を行った。

【調査目的】
国内の製造業の事業所を対象とし、実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得る。

【基 準 日】
令和元年６月１日現在

【主な利用例】
・地方交付税の算定のための基礎資料
・ＧＤＰなどの国民経済計算（ＳＮＡ）、県民経済計算の推計
・企業物価指数、鉱工業生産指数、産業連関表、地域産業連関表作成のための基礎資料

【主な内容】
〇対　　象　　調査時において、製造業に属する事業所（国に属する事業所及び製造業及び製造加工を行っていない本社等を除く）
〇調査内容　　名称、所在地、従業者数、製造品出荷額、原材料使用額等

【令和元年度事務】
〇調査準備　・調査員、指導員の推薦（令和２年度調査のための事務）
　　・調査用品の仕分け
　　・調査員、指導員事務打合せ会の開催
　　・各種県照会、調査員の問合せに対する回答
〇本調査　　・調査員による調査
　　・調査員、事業所からの問合せ対応
　　・調査票の内容審査
　　・調査結果の県進達

事 業 名		農林業センサス調査事業			
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	99111-01
款	02	総務費		当 初 予 算 額	8,945,000 円
項	05	統計調査費		最 終 予 算 額	8,945,000 円
目	02	統計調査費		決 算 額	8,583,956 円
事業の目的	農林業、農山村の基本構造の実態とその動向を総合的に把握し、各種農林業施策の検討及び各種農林統計調査の母集団整備のためのデータを得る。		事業の概要	調査員が調査票を配布・回収し、内容審査を行う。	

事業の実績・成果

円滑な調査実施及び統計の正確性を確保するための説明会の開催や内容審査を行った。

【調査目的】

農林業、農山村の基本構造の実態とその動向を総合的に把握し、各種農林業施策の検討及び各種農林統計調査の母集団整備のためのデータを得る。

【基 準 日】

令和２年２月１日

【主な利用例】

・地方交付税算定のための基礎資料
・農林行政の企画・立案・推進のための基礎資料

【主な内容】

〇対　　象　　農林業経営体（農林産物の生産や委託を受けた農林業作業を行う世帯や会社等の組織）に該当するすべての農家、林家、法人など

〇調査内容　　経営体の概要（家族経営、法人など）、経営耕作面積、農産物の生産・販売状況、農作業の委託・受託状況など

【令和元年度事務】

〇調査準備　・調査員、指導員の推薦
・調査用品の仕分け
・調査員、指導員事務打合せ会の開催
・各種県照会、調査員の問合せに対する回答

〇本 調 査　・調査員による調査
・調査員、農林業経営体からの問合せ対応
・調査票の内容審査
・調査結果の県進達

事 業 名		国勢調査事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	99111-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	597,000 円
項	05	統計調査費	最 終 予 算 額	597,000 円
目	02	統計調査費	決 算 額	229,536 円
事業の目的	国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的として5年に1度実施する。	事業の概要	調査員が調査票を配布・回収し、内容審査を行うほか、オンラインによる調査も実施する。	

事業の実績・成果

令和2年国勢調査の円滑な調査実施に向けて区画整理等に伴う調査区の見直しを行った。

【調査目的】
国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得る。

【基 準 日】
令和2年10月1日午前零時現在

【主な利用例】
・公正な行政運営を行うための利用
　衆議院小選挙区の画定、地方交付税の交付額の算定　等
・国民や企業の活動を支えるための利用
　商品・サービスの需要予測、店舗の立地計画
・公的統計の作成・推計のための利用
　将来人口の推計

【主な内容】
○対　　象　　調査時において、我が国に住んでいる期間が3ヵ月以上にわたる者（外国政府の外国使節団・領事機関の構成員及びその家族、外国軍隊の軍人・軍属及びその家族を除く）
○調査内容　　＜世帯員に関する事項＞　　氏名、性別、国籍、5年前の住居の所在地　等
　　＜世帯に関する事項＞　　世帯の種類、世帯員の数、住居の種類、住居の建て方

【令和元年度事務】
○調査区設定　　区画整理の実施などに伴う調査区の見直しを行った。

事 業 名		全国消費実態調査事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	99111-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	2,357,000 円
項	05	統計調査費	最 終 予 算 額	2,357,000 円
目	02	統計調査費	決 算 額	1,186,627 円
事業の目的	国民生活の実態について家計の収支及び貯蓄・負債、住宅・宅地などの家計資産を総合的に調査し、全国及び地域別の世帯の消費・所得・資産に係る水準、構造、分布などを明らかにする。		事業の概要	調査員が調査対象となった世帯に対し、家計簿、年収、貯蓄等について、オンラインや調査票での回答を求め、取集する。

事業の実績・成果

令和元年から全国家計構造調査に名称を変更して実施。

市内 4 地域が調査対象地区に指定され、令和元年 10 月 1 日を調査基準日として 10 月から 11 月にかけて調査を実施した。

【調査目的】

家計における「消費」「所得」「資産」及び「負債」の実態を調査し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等に関する全国及び地域別の基礎資料を得る。

【基準日】

令和元年 10 月 1 日を基準とし、10 月から 11 月の２か月で調査

【主な利用例】

・国民年金・厚生年金の年金額を検討するための基礎資料
・介護保険料の算定基準を検討するための基礎資料
・生活保護の扶助額の見直しを行うための基礎資料

【主な内容】

〇対　　象　久下 2 丁目の一部、多門寺の一部、騎西の一部、正能の一部（全 4 地域）
国が示す抽出方法により、国が指定した上記の各調査区から二人以上世帯 10 世帯、単身世帯 2 世帯を抽出　計 48 世帯

〇調査内容　「家計簿」、「世帯票」、「年収・貯蓄等調査票」により、日々の家計の収支、年間収入、預貯金などの金融資産、借入金、世帯構成、世帯員の就労・就業状況、現住居の状況（床面積、建築時期など）、現住居以外の住宅・宅地の保有状況を調査した。

【令和元年度事務】

〇調査準備　・調査員、指導員の推薦
・調査用品の仕分け
・調査員、指導員事務打合せ会の開催
・各種県照会、調査員の問合せに対する回答

〇本 調 査　・調査員による調査
・調査員、調査対象世帯からの問合せ対応
・調査票の内容審査
・調査結果の県進達

事 業 名		監査委員運営事業		
担 当 課		監査委員	総合振興計画コード	6314-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,814,000 円
項	06	監査委員費	最 終 予 算 額	1,814,000 円
目	01	監査委員費	決 算 額	1,615,075 円
事業の目的	地方自治法に基づき、市の財務に係る事務の執行等について監査等を実施し、その結果を公表することで民主的かつ効率的な行政執行を確保し、もって住民の福祉の増進と地方自治の本旨の実現に寄与する。		事業の概要	定期監査、財政援助団体等監査、例月出納検査、決算審査、基金の運用状況審査、健全化判断比率等審査の実施。 また、全国、関東、県都市監査委員会及び県東部都市監査委員会との連絡調整を行い、また同総会・研修会に参加する。

事業の実績・成果

関係法令及び監査計画に基づき、各種監査等を実施し、その適法性、効率性、妥当性、有効性等の検証を行った。また、その結果を市議会及び市長等に報告し、併せて市ホームページ等を通して公表した。

1　監査等実施一覧

種類		対象等	実施日数(日)
例月出納検査		一般会計、特別会計、企業会計等	12
決算審査		一般会計、特別会計、企業会計等	11
財政健全化等審査		一般会計、特別会計、企業会計等	1
定期監査※	各部署	環境安全部、経済部、こども局、福祉部、健康医療部、建設部、騎西総合支所、北川辺総合支所、大利根総合支所、農業委員会、教育総務課、学校教育課	8
	小・中学校	樋遣川小、志多見小、大越小、花崎北小、種足小、大利根東小、加須東中、加須平成中	5
財政援助団体等監査		株式会社かぞ農業公社、社会福祉法人加須市社会福祉協議会、株式会社米米倶楽部、童謡のふる里おおとねハンドベルリンガーズ、分団運営交付金（加須市消防団）	2

※各部署の定期監査では、一般的な監査事項に加え、随意契約事務について重点的に監査を実施

2　新加須市監査基準の策定

地方自治法の改正に伴い策定することとなった新たな監査基準について、現行の市監査基準と国から示された指針等を照らし合わせ、監査委員会議で協議を重ね、新たな加須市監査基準及び加須市監査基準実施要領を策定し、公表（周知）した。

3　監査制度等に関する中国訪日代表団の視察受入れ

日本の監査関連部門との交流と監査制度、関連法律に関する研修や情報交換を目的として来日した中国の会計監査領域職員訪日代表団の視察を次のとおり受入れ、加須市の監査等の説明や情報交換等を行った。

・日　時：令和元年6月24日（月）9時30分～11時00分
・場　所：市民プラザかぞ　1階　視聴覚ホール
・参加者：加須市代表監査委員、加須市議選監査委員、事務局（2名）
　　中国会計監査領域職員訪日代表団（22名）、日中交流促進機構北京事務所長、通訳
・内　容：加須市の監査状況について、中国の監査状況について、意見交換

事 業 名	指定介護保険サービス事務所指定・指導監査等事務事業		
担 当 課	地域福祉課	総合振興計画コード	2117-08
款 03	民生費	当 初 予 算 額	43,000 円
項 01	社会福祉費	最 終 予 算 額	43,000 円
目 01	社会福祉総務費	決 算 額	28,263 円
事業の目的	適切かつ良好な介護保険サービスを確保し、もって長寿社会を支えるための高齢者支援の推進に資する。	事業の概要	指定介護保険サービス（地域密着型サービス、介護予防・生活支援サービス、居宅介護支援）事業所に係る指定、各種届出の受付を行うとともに、指導監査を実施し、運営状況の確認を行う。

事業の実績・成果

指定介護保険サービス事業所に係る指定、各種届出の受付、指導監査等を行った。

○ 指定・各種届出受理件数 （単位：件）

	新規指定申請	指定更新申請	廃止届	変更届
居宅介護支援事業所	0	8	1	50
地域密着型サービス事業所	0	6	7	57
介護予防･生活支援サービス事業所	7	12	4	95
計	7	26	12	202

※ 年度内に申請書及び届出書を受理した件数

○ 年度末現在指定事業所数 （単位：件）

		平成30年度	令和元年度
居宅介護支援事業所		28	27
地域密着型サービス事業所		49	42
	市内事業所	25	24
	市外事業所	24	18
介護予防･生活支援サービス事業所		78	82
	市内事業所	45	44
	市外事業所	33	38
計		155	151

○ 指導監査実施件数 （単位：件）

	平成30年度	令和元年度
居宅介護支援事業所	4	4
地域密着型サービス事業所	7	4
介護予防･生活支援サービス事業所	4	8
計	15	16

※ 平成30年度から事業開始

事 業 名		地域福祉計画進行管理事業			
担 当 課		地域福祉課		総合振興計画コード	2131-02
款	03	民生費		当 初 予 算 額	50,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	50,000 円
目	01	社会福祉総務費		決 算 額	31,011 円
事業の目的	市民、市、民間事業者等がそれぞれの立場で、地域の福祉分野で果たす役割を明確化し、地域福祉推進に向けた方向性を示す計画の進行管理を行う。		事業の概要	「加須市地域福祉計画(第 2 次)・地域福祉活動計画」の進行状況を管理する。 また、地域福祉計画推進等懇話会を開催し、懇話会委員に報告する。 計画期間：平成 29 年度～令和 3 年度	

事業の実績・成果

令和元年 8 月 23 日に加須市地域福祉計画推進等懇話会を開催し、関係各課が行っている福祉関連事業の進捗状況を報告した。

○地域福祉計画推進等懇話会の構成員（計 14 名）

高齢者施設関係者（多賀谷寿光園施設長）
障害者施設関係者（あけぼの園所長）
加須市自治協力団体連合会副会長
かぞ地域女性会連合会会長
加須地区保護司会会長
加須医師会会長
学識経験者（江戸川学園おおたかの森専門学校社会福祉士養成課程講師）
児童施設関係者（社会福祉法人愛の泉）
加須市社会福祉協議会副会長
加須市民生委員・児童委員協議会会長
加須市老人クラブ連合会会長
埼玉県加須保健所所長
久喜人権擁護委員協議会加須部会部会長
加須市ＰＴＡ連合会副会長

○議題等
(1)加須市地域福祉計画の進捗状況について
(2)今後の進行管理について

事 業 名		社会福祉管理事業			
担 当 課		地域福祉課		総合振興計画コード	2131-03
款	03	民生費		当 初 予 算 額	519,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	519,000 円
目	01	社会福祉総務費		決 算 額	379,400 円
事業の目的	社会福祉関係事業を実施するにあたり、共通する管理費をまとめることで各事業を円滑に実施する。		事業の概要	地域福祉課及び総合支所市民福祉健康課（福祉健康担当）の経常的な管理費を支出する。	

事業の実績・成果

社会福祉関係事業を円滑に実施するための諸費用について支出した。

事 業 名		戦没者遺族支援事業		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	2131-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	2,250,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	2,250,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	1,781,791 円
事業の目的	戦没者や遺族の苦しみ悲しみを忘れることなく、恒久平和を市民とともに願う。		事業の概要	加須市遺族連合会の活動推進のために活動費を助成する。 また、戦没者の冥福を祈るとともに、恒久平和を市民とともに願うために戦没者追悼式を 3 年ごとに開催する。

事業の実績・成果

○加須市戦没者追悼式の開催

1　実施概要　　実施日　　令和元年 10 月 18 日（金）10：00～
　　場　所　　パストラルかぞ　小ホール
　　内　容　　開会、拝礼、国歌斉唱、黙とう、式辞、追悼のことば
　　献花、お礼のことば、拝礼、閉会

2　参列者数　　186 人（戦没者遺族、埼玉県知事、埼玉県遺族連合会長、衆議院議員、
　　市議会議員、福祉団体関係者ほか）

3　献　　花　　参列者全員

※3 年ごとに開催、次回は令和４年度予定。

○加須市遺族連合会への補助

加須市遺族連合会の活動推進を図るため補助金を交付。全国・埼玉県戦没者追悼式参列、英霊顕彰事業参加、地区慰霊祭開催等に充てられた。

1　補助金額の推移　　（単位：円）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
520,000	520,000	520,000	966,800	520,000

2　会員数　　636 人

事 業 名		地域福祉基金活用事業		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	2131-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,908,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,908,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	1,908,000 円
事業の目的	在宅福祉の推進等、地域における保健福祉活動の推進および地域事業の適正な運営を図る。	事業の概要	地域福祉基金の運用果実を地域福祉団体(加須市社会福祉協議会等)が行う地域福祉活動の支援(補助)に充てる。	

事業の実績・成果

「地域福祉基金」の運用から生じた収益（利子）を地域福祉団体(加須市社会福祉協議会)へ助成した。
助成を受けた社会福祉協議会が民生委員によるひとり暮らし高齢者見守り事業等を支援した。

助成額の推移 （単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
助成額	1,476,000	2,094,000	1,997,000	1,994,000	1,908,000

※助成額は、地域福祉基金の積立預金の利率により変動

◆加須市社会福祉協議会の事業概要

1　ひとり暮らし高齢者見守り事業
70 歳以上の独居高齢者を対象に地区担当民生委員が訪問した。
延訪問回数　加須地域　20,190 回、北川辺地域　2,497 回、大利根地域　2,644 回
※　騎西地域については、市の助成事業ではないため掲載していない。

2　ボランティア保険加入促進事業
登録ボランティア等の活動中の事故等を補償するため、活動保険への加入の促進を行った。
【通年】
・年間保険料　1 口　A350 円・B510 円・天災A500 円・天災B710 円
・加入者総数　1,761 人（うち、事業対象加入者 723 人）

3　ひとり親子のつどい事業
ひとり親家庭を対象に、家族間の絆を深めることを目的として、日帰り旅行を実施した。
・実施日　　11 月 9 日（土）　・参加者数　32 人(13 家族)

4　親子ふれあい事業
子どものすこやかな成長と良好な親子関係の構築を図るため、親子の絆をテーマにしたイベントを市内在住の子どもと保護者を対象に開催した。
・実施日　8 月 3 日（土）　・参加者数　374 人

5　障がい児親子のつどい事業
障がい児とその家族を対象に、親子でふれあい、絆を深めることを目的とし、日帰り旅行を実施した。
・実施日　11 月 30 日（土）　・参加者数　61 人

6　社会福祉推進大会開催事業
福祉に対する興味・関心を深め、福祉の増進に資することを目的として開催する。
・実施日　　2 月 15 日（土）　・参加者数　630 人

事業名	地域福祉基金積立事業			
担当課	地域福祉課		総合振興計画コード	2131-06
款	03	民生費	当初予算額	700,000円
項	01	社会福祉費	最終予算額	700,000円
目	01	社会福祉総務費	決算額	665,305円
事業の目的	地域における保健福祉活動の推進を図る。	事業の概要	福祉のための寄附金の積立の歳入及び地域福祉基金への歳出を行う。	

事業の実績・成果

「地域福祉基金」の管理を行い、社会福祉のために寄附された寄附金の積み立てを行った。

1　寄附金額の推移（積立額）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
寄付金額（円）	629,059	489,724	584,377	464,753	660,627
件数（件）	15	19	24	23	36

※地域福祉基金の果実のうち、当初見込み額を超過する分 4,678 円についても、基金への積立を行った。

2　基金残高

（1）現　　金

184,521,424円（令和2年3月末日現在）

（2）債権額面

200,000,000円（北海道平成25年度第13回公募公債（10年）平成25年12月27日購入）
100,000,000円（福島県平成 27年度第 1回公募公債（10年）平成27年11月27日購入）

3　地域福祉基金利子積立て

地域福祉基金利子は、原則、地域福祉基金活用事業の財源としている。

事業名	社会福祉法人指導監査等事務事業				
担当課		地域福祉課		総合振興計画コード	2131-08
款	03	民生費		当初予算額	65,000円
項	01	社会福祉費		最終予算額	65,000円
目	01	社会福祉総務費		決算額	17,883円
事業の目的	健全な福祉サービスを確保し、もってすべての市民が豊かに生活できる地域福祉の推進に資する。		事業の概要	社会福祉法人の設立認可・定款変更認可・指導監査・現況報告書等の受付・現況報告書や財務諸表の公開などを行う。	

事業の実績・成果

社会福祉法人の定款変更の認可や現況報告書の受付、指導監査等を行った。

○ 定款変更認可件数 (単位：件)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
定款変更認可件数	9	16	5	4	10

○ 指導監査実施件数 (単位：件)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
児童養護施設	1	1	1	1	0
保育所	1	1	3	3	2
障害者福祉施設	0	2	1	0	3
老人福祉施設	0	0	2	0	0
社会福祉協議会	1	0	1	0	0
計	3	4	8	4	5

事 業 名		更生保護活動支援事業		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	2131-12
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,180,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,180,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	1,180,000 円
事業の目的	更生保護団体等の活動を支援し、犯罪や非行のない明るい地域社会を目指す。	事業の概要	更生保護観察協会への負担金を通して、保護司会及び更生保護女性会へ活動費を助成し、各更生保護団体等の活動を支援する。	

事業の実績・成果

更生保護観察協会への負担金を通し、犯罪や地域における更生保護活動を支援した。

○更生保護活動団体
・加須地区保護司会(令和2年3月31日現在　34人：定数37人)　　助成金　1,020,000円
・加須地区更生保護女性会(令和2年3月31日現在　会員256人)　　助成金　　62,000円

○社会を明るくする運動
“社会を明るくする運動”はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動（主唱：法務省）で、加須地区保護司会及び加須地区更生保護女性会が実施委員会を組織し、7月の強調月間に合わせてキャンペーン等を実施し、更生保護の趣旨普及に努める活動を行っている。

・街頭キャンペーン
多くの方に、社会を明るくする運動の趣旨を知ってもらうため、保護司及び更生保護女性会員が駅前等でリーフレットや啓発用品を配布。

・映画と音楽の集い
中学3年生とその保護者を中心に、非行防止について考えるきっかけとしての集いを開催。

・社会を明るくする運動参加者数　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
街頭キャンペーン	109	87	118	108	109
映画と音楽の集い	239	206	253	214	272

○更生保護サポートセンター　（平成31年2月22日　開所）
・運営日：毎週　月曜日・金曜日（休館日は除く）午前10時から午後4時まで
・場　所：市民プラザかぞ　1階　ボランティア室
・内　容：「更生保護サポートセンター」は、保護司・保護司会が地域の関係機関・団体と連携しながら地域で更生保護活動を行うための拠点として開所。罪を犯した人や非行少年等の立ち直りを助ける保護司の処遇活動に対する支援や、地域や関係機関等と連携をして更生保護活動を行う場として活用している。

・主な活動内容

活　動　内　容	回　数
新任保護司への研修	3回
保護観察者等との面接	17回
さいたま保護観察所主任保護観察官との処遇協議	14回
自主研修・情報交換・事務処理等	100回

加須地区保護司会の保護司（34名）のうち、さいたま保護観察所により選任された28名の「企画調整保護司」が交替で従事している。

※令和元年度　2131-03 社会福祉管理事業から分割

事業名	社会福祉協議会助成事業		
担当課	地域福祉課	総合振興計画コード	2132-01
款 03	民生費	当初予算額	122,295,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	122,295,000円
目 01	社会福祉総務費	決算額	119,362,000円
事業の目的	市民参加による地域福祉活動、社会福祉に関する情報の提供、福祉教育やボランティア活動の振興等を推進する。	事業の概要	住民への生活援助の対応、福祉活動の場づくり、仲間づくり等の援助及び社会福祉に関わる関係者・団体・関係機関の連携を図り、多岐の福祉サービス事業が実施できるよう、人件費、事務所の維持経費及び事務局活動における事務的経費を助成する。

事業の実績・成果

地域福祉活動の中心的な役割を担い、各種の地域福祉活動を行う社会福祉協議会の活動を支援し、もって加須市の地域福祉の充実を図るため、補助金を交付した。

1　人件費補助

社会福祉協議会の法人運営事業に要する人件費（時間外勤務手当を除く）を補助

◆補助金額　115,362,000円（補助対象人件費執行済額　116,003,641円）

◆補助対象職員数　（単位：人）

	常務理事兼事務局長	支所長（再任用・嘱託）	正職員	臨時職員	計
本所・加須支所	1	1	7	2	11
騎西支所	0	1	2	1	4
北川辺支所	0	1	1	3	5
大利根支所	0	1	3	1	5
計	1	4	13	7	25

2　事務費補助

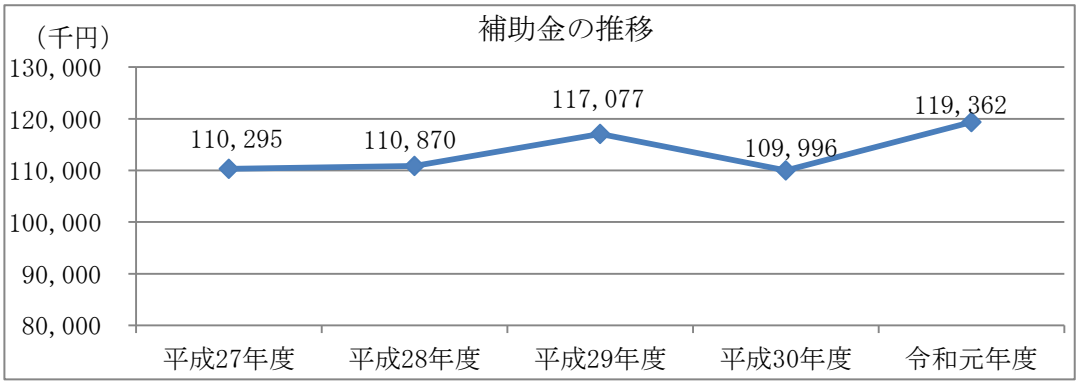
事務所の維持費及び事務局活動における事務費の1/2（上限400万円）を補助

◆補助金額　4,000,000円（補助対象事務費支出済額　10,832,441円）

◆補助対象経費　事務所維持にかかる消耗品費、光熱水費、通信運搬費、賃借料等

3　補助金総額の推移　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
金額	110,295,473	110,870,000	117,077,000	109,996,000	119,362,000



事 業 名		民生委員・児童委員活動推進事業		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	2132-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	27,047,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	27,236,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	26,795,770 円
事業の目的	民生委員・児童委員活動により、地域福祉の充実を図る。	事業の概要	民生委員・児童委員の行う調査、要援護者等への相談支援活動が円滑に行えるよう支援する。	

事業の実績・成果

子どもから高齢者まで、日常の生活や様々な福祉に関する相談や行政機関の業務などへの協力。

1　民生委員一斉改選（令和元年 12 月 1 日改選）
（1）委嘱状伝達式（12 月 13 日）　222 名（主任児童委員含む）
（2）感謝状贈呈式（12 月 20 日）
厚生労働大臣感謝状　64 名
埼玉県知事感謝状　113 名
加須市長感謝状　113 名
（3）民生委員一斉改選における身分証明写真代の負担軽減
推薦調書と一緒に提出する身分証明書用の写真提出に係る費用が、民生委員候補者の方々の負担とならないよう写真提出に係る費用を支出した。

2　民生委員・児童委員数　222 名（主任児童委員を含む）（14 名欠員）
単位民児協数　12 地区
専門部会　7 部会（生活福祉、高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉、広報、男女共同参画推進、総務）

3　分野別相談・支援件数
（1）高齢者に関すること　1,620 件
（2）障がい者に関すること　127 件
（3）子どもに関すること　398 件
（4）その他　510 件
合計　2,655 件（活動日数　31,123 日）

4　高齢者世帯訪問　延 54,768 回訪問

5　各種研修への参加、ふれあい広場、配食、敬老会、歳末慰問、共同募金、施設へのボランティア活動、学校や地域行事への参加協力など

事 業 名		生活困窮者自立相談支援事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2144-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	11,058,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	11,392,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	10,973,413 円
事業の目的	・生活保護に至る前の段階の生活困窮者の自立促進を図る。	事業の概要	・生活困窮者に対し、面談や訪問を行っているほか、支援プランを作成し、適切なサービスにつなげるなどして自立した生活が送れるよう支援する。	

事業の実績・成果

1　事業の実績

（1）新規面接相談件数

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
新規面接相談件数	211 件	182 件	145 件

（2）相談内容（多い項目）

① 収入・生活費（家計）について
② 病気・健康・障害について
③ 仕事探し・就職について
④ 住まいについて

（3）面接相談後の支援状況

面接相談後の支援状況内訳	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
支援プランを作成し、支援した件数	15 件	23 件	20 件
支援プランを作成せず短期間で支援した件数	69 件	60 件	42 件
相談面接のみ（助言、他制度へのつなぎ等で終了）	127 件	99 件	83 件

（4）支援終結件数（生活困窮課題が解決した件数）

支援終結件数内訳	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
支援プラン作成後、支援終結した件数	3 件	10 件	14 件
支援プランを作成せず短期間で支援し終結した件数	69 件	60 件	42 件

（5）支援終結理由（多い項目）

支援終結理由内訳	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
他制度の利用提案	25 件	26 件	26 件
就労につながった	37 件	18 件	15 件
生活保護を申請	10 件	26 件	15 件

2　事業の成果

生活保護に至る前の困窮者に対し、就労支援、家計相談、関係機関との調整等など包括的に支援し、課題が複雑化・深刻化する前に自立の促進を図ることができた。

事 業 名		生活困窮者住居確保給付事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2144-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	2,322,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	3,646,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	2,139,750 円
事業の目的	・生活保護に至る前の段階の生活困窮者の自立促進を図る。	事業の概要	・離職により住居を失うおそれのある方に対し、住居確保給付金を原則 3 か月間（一定の条件により 3 か月間の延長及び再延長が可能）支給し、就労支援を実施する。	

事業の実績・成果

1　事業の実績

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用世帯数(世帯)	3	5	4
支給額合計(円)	814,000	557,000	816,000

2　事業の成果

就職活動を支えるため家賃費用を有期で給付し、就職につなげることができた。

事 業 名		生活困窮者学習支援事業		（総合戦略）
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2144-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	5,948,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	5,948,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	5,947,824 円
事業の目的	・貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、生活保護に至る前の段階の生活困窮者の自立促進を図る。	事業の概要	・生活保護受給世帯の中学生、高校生全学年及び就学援助受給世帯の中学 3 年生を対象に学習支援等を実施するとともに、その保護者に対して就労支援を実施する。 ・令和元年度は定員 24 名。	

事業の実績・成果

1　事業の実績

参加者内訳	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
中　学　生	16 人 生活保護世帯 6 人、 就学援助世帯 10 人	22 人 生活保護世帯 4 人、 就学援助世帯 18 人	27 人 生活保護世帯 4 人、 就学援助世帯 23 人
高　校　生	7 人	0 人	2 人

進　路	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
中学卒業後の進路	高校進学 16 人	高校進学 22 人	高校進学 27 人
高校３年生の人数、進路	5 人 通信制高 4 に進級 3 人、 短大進学 1 人, 就活中 1 人	―	1 人 大学進学　1 人

2　事業の成果

生活困窮世帯の中学３年生に対し、学習支援教室、進路相談、居場所の提供を実施し、進学に興味を持ち、将来への自立を促すための事業展開により、高校進学合格率 100%を達成し、「貧困の連鎖」の防止に取り組むことができた。

また、令和元年度から生活保護世帯に限り、中学１年生及び２年生までに対象を拡大し、早期に支援する事で将来像を確立し、自立への取り組みを強化した。

事 業 名		中国残留邦人等支援事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2145-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	10,677,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	10,907,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	6,475,757 円
事業の目的	中国残留邦人等の老後の生活の安定を図る。		事業の概要	永住帰国した中国残留邦人等で一定の要件を満たす者に対して、安定した生活が送れるよう、生活支援給付、住宅支援給付、医療支援給付等の支援を実施する。 なお、中国残留邦人等の置かれている事情に鑑み、懇切丁寧に実施する。

事業の実績・成果

1　事業の実績

扶助費　5,615,494 円
生活支援給付金　1,474,354 円（ 3/4　国庫負担金）
住宅支援給付金　517,200 円（ 3/4　国庫負担金）
医療支援給付金　3,223,940 円（ 3/4　国庫負担金）
活動支援費　400,000 円（10/10　国庫補助金）

事業費の推移　（単位：円、世帯）

	管理費	扶助費	精算に伴う返還金	計	歳入対象	対象世帯数
平成 27 年度	709,006	10,763,888	272,000	11,744,894	8,225,386	3
平成 28 年度	501,528	5,852,880	270,000	6,624,408	4,515,490	2
平成 29 年度	477,278	5,499,076	377,000	6,353,354	4,238,387	2
平成 30 年度	1,219,959	6,026,147	644,000	7,890,106	4,619,610	2
令和元年度	472,420	5,615,494	230,000	6,317,914	4,311,620	2

2　事業の成果

中国残留邦人等の生活支援を円滑に実施し、安定した生活が送れるよう支援を行った。

事 業 名		行旅病人及び行旅死亡人取扱事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2145-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	267,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	267,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	0 円
事業の目的	人権及び人としての尊厳を確保する。		事業の概要	旅行中に病気等で加須市内で倒れ、入院治療を要する状態に陥ったが療養の方法がなく、かつ、救護者のない者の救護や、旅行中に加須市内で死亡し引取者のない者（身元不明者を含む。）の葬祭等を実施する。

事業の実績・成果

※令和元年度行旅病人・行旅死亡人取り扱いなし

○行旅病人・行旅死亡人の取扱状況　（単位：件）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
行 旅 病 人	0	0	0	0	0
行旅死亡人	0	0	0	1	0

事 業 名		国民健康保険組合支援事業		
担 当 課		国保年金課	総合振興計画コード	2211-31
款	03	民生費	当 初 予 算 額	616,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	616,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	581,250 円
事業の目的	埼玉土建・埼玉県建設国民健康保険組合組合員の病気を予防するため、両組合を支援し、国民皆保険制度の維持に努める。	事業の概要	埼玉土建・埼玉県建設国民健康保険組合に対し、運営費及び事業費の一部を助成する。 ・助成額　組合員一人当たり 250 円	

事業の実績・成果

埼玉土建・埼玉県建設国民健康保険組合が実施する、健康保持、増進事業について、事業費の一部を助成し、健康づくりの支援を行った。

加入者数（4 月 1 日現在）　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
埼玉土建国民健康保険組合加須支部	1,825	1,769	1,715	1,659	1,660
建設埼玉北埼地区本部	770	723	695	684	665

補助金交付額　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
埼玉土建国民健康保険組合加須支部	456,250	442,250	428,750	414,750	415,000
建設埼玉北埼地区本部	192,500	180,750	173,750	171,000	166,250

事 業 名		国民健康保険事業特別会計繰出事業		
担 当 課		国保年金課	総合振興計画コード	2224-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,069,740,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,049,652,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	870,653,620 円

事業の目的	国民健康保険の健全運営を図るため、被保険者の保険給付と負担とのバランスを確保しながら、特定健康診査の実施、生活習慣病予防等の保健事業を実施することにより、医療に頼らない健康な身体づくりを推進し、医療費の抑制に努める。	事業の概要	一般会計からの繰出金をもって国民健康保険事業の収支の均衡を図る。

事業の実績・成果

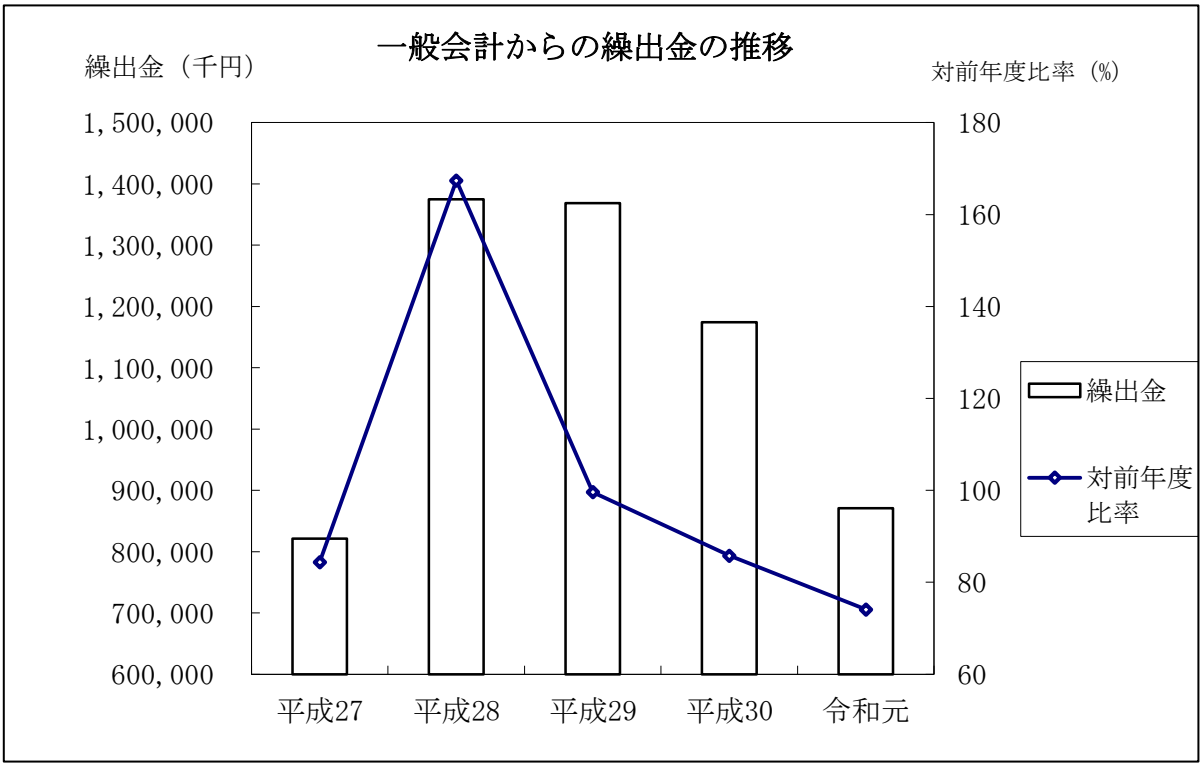
国民健康保険加入者の医療費は、長寿化や医療技術の高度化等により毎年度増加している。

このため、複数年を見込んだ医療費の見通しなどが困難なため、医療費等の給付と税負担との関係を毎年度検証しながら、国保税を改正することとしている。

一般会計からの繰出金については、令和元年度は、対前年度 303,784 千円、25.9%の減となった。

一般会計からの繰出金の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
繰出金額（千円）	821,149	1,374,670	1,368,876	1,174,438	870,654
対前年度比率(%)	84.4	167.4	99.6	85.8	74.1



事 業 名		低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	2144-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	0 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	157,797,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	49,338,223 円
事業の目的	消費税率の引き上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、低所得者・子育て世帯主向けのプレミアム付商品券事業を実施する。		事業の概要	①令和元年度市民税非課税者から、課税者の扶養親族と生活保護受給者等を除いた者及び、②基準日時点において住民登録があり、平成 28 年 4 月 2 日以降に出生した子どもがいる世帯主等を対象として、引換券の発行を行う。上記①及び②の対象者にプレミアム付商品券（25,000 円（プレミアム分 5,000 円）の販売を行う。

事業の実績・成果

○低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券購入引換券の発行と商品券の販売

1　購入対象者
　①令和元年度住民税非課税者（課税基準日：平成 31 年 1 月 1 日）…16,015 人
　　※住民税課税者と生計同一の配偶者、扶養親族、生活保護受給者等を除く。

　②基準日時点（※）で、平成 28 年 4 月 2 日以降に生まれた子が属する世帯の世帯主
　　※基準日：令和元年 6 月 1 日、令和元年 7 月 31 日、令和元年 9 月 30 日
　　※子育て世帯は申請不要（申請を要しない）

2　購入引換券の交付申請期間　　令和元年 8 月 1 日より令和元年 12 月 27 日

3　購入引換券交付人数　　8,008 人（非課税者：5,530 人、子育て世帯主：2,478 人）

4　商品券の販売期間　　令和元年 10 月 1 日から令和 2 年 2 月 28 日

5　商品券の使用期間　　令和元年 10 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日

6　商品券の内容　　1 セット 5,000 円分（500 円分が 10 枚綴り・購入金額 4,000 円）
　　対象者一人につき最大で 5 セット分まで購入可能

7　商品券販売額　　111,360,000 円

8　換　金　率　　約 88%（令和 2 年 3 月 31 日時点）

9　商品券の換金期間　　令和 2 年 4 月 17 日まで

10 商品券発行・販売事業主体　　加須市商工会

11 取扱店舗数　　684 店舗（令和 2 年 3 月 31 日時点）

【繰越明許　令和元年度から令和 2 年度へ繰り越す理由】
　商品券の使用期間が令和 2 年 3 年 31 日までのため、プレミアム付商品券に係る精算事務等が、年度内に完了できないため。

事 業 名		低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業【繰越明許】		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	2144-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	7,003,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	7,003,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	6,924,281 円
事業の目的	消費税率の引き上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、低所得者・子育て世帯主向けのプレミアム付商品券事業を実施する。		事業の概要	①令和元年度市民税非課税者から、課税者の扶養親族と生活保護受給者等を除いた者及び、②基準日時点において住民登録があり、平成28年4月2日以降に出生した子どもがいる世帯主等を対象として、引換券の発行を行う。上記①及び②の対象者にプレミアム付商品券（25,000円（プレミアム分5,000円）の販売を行う。

事業の実績・成果

【平成30年度から令和元年度へ繰り越した理由】
平成31年2月7日に成立した国の平成30年度2次補正予算に基づき、プレミアム付商品券事務費補助金に係る補正予算を措置したが、年度内に事業完了できないため。

○低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業を円滑に実施するため、システム構築等の事務経費を執行した。

（1）概　要　　購入引換券交付申請書及び購入引換券についてのシステム改修業務の委託

（2）対象者
①令和元年度住民税非課税者（課税基準日：平成31年1月1日）
※住民税課税者と生計同一の配偶者、扶養親族、生活保護受給者等を除く。

②基準日時点（※）の住民の内、平成28年4月2日以降に生まれた子が属する世帯の世帯主
※基準日：令和元年6月1日、令和元年7月31日、令和元年9月30日

事業名	障害者在宅生活支援事業			
担当課	障がい者福祉課		総合振興計画コード	2121-14
款	03	民生費	当初予算額	17,000円
項	01	社会福祉費	最終予算額	17,000円
目	02	障害者福祉費	決算額	0円
事業の目的	低所得な障がい者の介護保険利用者負担額を助成することで、生活保護への移行防止を図る。	事業の概要	障害者総合支援法における生活保護境界層（利用者負担額を支払うことで生活保護となってしまうため、利用者負担額を0円に軽減していた者）が、介護保険制度に移行することにより発生する利用者負担の全てを助成することで生活保護への移行を防止する。	

事業の実績・成果

低所得世帯の介護保険のホームヘルプサービスを利用している障がい者の経済的負担の軽減を図り、福祉サービスの利用促進を図ったが、令和元年度には対象者がいなかった。

対象者　0人
件　数　0件

扶助費、対象者数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
扶助費（円）	0	0	0	0	0
対象者数（人）	0	0	0	0	0

事業名	在宅重度心身障害者手当支給事業			
担当課	障がい者福祉課		総合振興計画コード	2121-17
款	03	民生費	当初予算額	62,970,000円
項	01	社会福祉費	最終予算額	62,970,000円
目	02	障害者福祉費	決算額	55,947,615円
事業の目的	在宅の重度心身障がい者の経済的、精神的負担の軽減を図る。	事業の概要	身障手帳1、2級・療育手帳マルA、A所持者・精神手帳1級所持者または超重症心身障害児で市町村民税非課税の者（施設入所者、特別障害者手当等受給者、65歳以上の新規手帳取得者は除く）に対し、手当を支給する。 ・20歳以上　月額5,000円 ・20歳未満　月額7,000円 ※20歳未満の2,000円増額分については、市独自で上乗せしている。	

事業の実績・成果

加須市在宅重度心身障害者手当支給条例に基づき、在宅重度心身障がい者（児）に在宅重度心身障害者手当を支給することにより、障がい者（児）の経済的、精神的負担の軽減を図った。

年2回（9月、3月）支給した。

在宅重度心身障害者手当（令和2年3月支給　20歳未満73人、20歳以上840人）

支払月	9月期	3月期	合計
金額（円）	28,317,000	27,530,000	55,847,000
延人数（人）	5,772	5,342	11,114

金額・延人数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
金額（円）	64,895,000	62,047,000	60,833,000	59,405,000	55,847,000
延人数（人）	12,627	12,057	11,831	11,442	11,114

事 業 名		特別障害者手当等支給事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-18
款	03	民生費	当 初 予 算 額	43,552,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	57,378,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	53,405,890 円

事業の目的	重度障がい（児）者の介護者等の経済的・精神的負担の軽減を図る。	事業の概要	・特別障害者手当 月額27,200円…20歳以上で身体または精神の重度の障害で常時特別の介護を要する者 ・障害児福祉手当 月額14,790円…20歳未満で身体1級の一部と2級の一部、知的○A相当、精神や血液疾患等で他の障害と同程度の者 ・経過的福祉手当 月額14,790円…制度改正前（S61.4）20 歳以上の福祉手当受給者で特障手当、障害年金の非受給者

事業の実績・成果

心身に著しく重度の障害があるため、日常生活において常時特別な介護を必要とする者であって施設に入所されていない等の条件を満たす者に対して、手当を支給することにより、介護等の精神的・経済的負担の軽減を図った。

なお、支給は3ヶ月毎に行った。

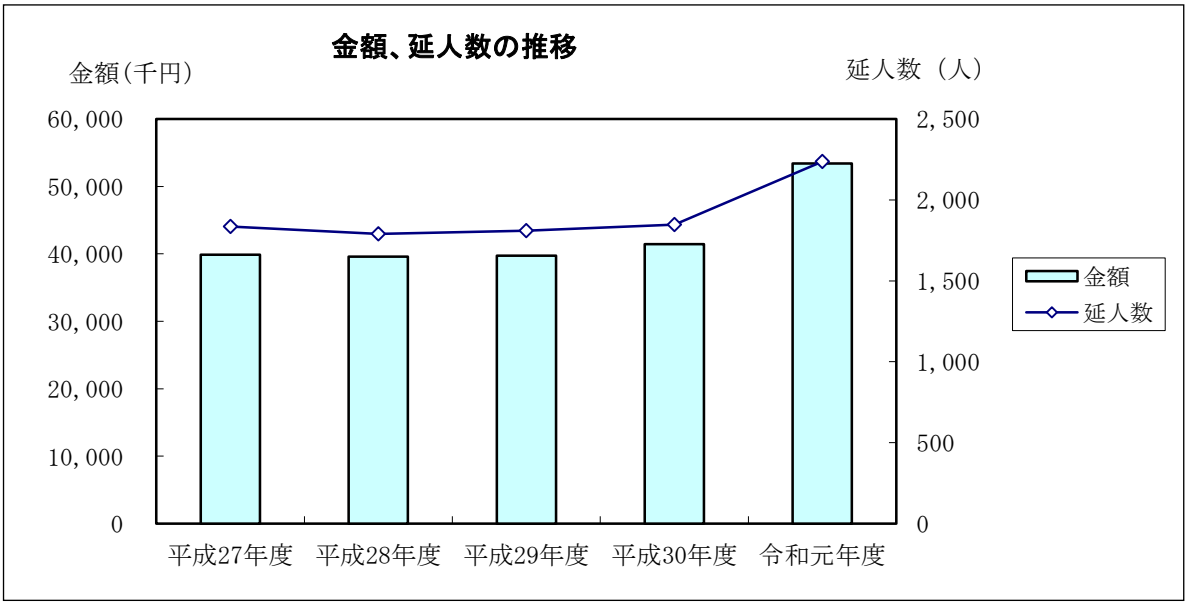
（令和2年3月31日現在受給資格者数 特別障害者手当152人、障害児福祉手当47人、福祉手当2人）

支払月	5月期	8月期	11月期	2月期	合計
金額（円）	12,571,040	13,135,220	13,612,410	14,087,220	53,405,890
延人数（人）	539	555	554	590	2,238

※8月期に5月・6月・7月分の随時払い、返還金を含む。（延人数：随時4人・返還1人）
※11月期に8月・9月・10月分の随時払い、返還金を含む。（延人数：随時3人・返還1人）
※2月期に11月・1月・2月・3月分の随時払いを含む。（延人数：随時2人）

金額、延人数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
金額（円）	39,900,440	39,596,760	39,750,010	41,444,610	53,405,890
延人数（人）	1,836	1,790	1,809	1,848	2,238



事 業 名		重度心身障害者医療費支給事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-19
款	03	民生費	当 初 予 算 額	234,827,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	234,784,200 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	214,265,592 円

事業の目的	重度心身障がい者（児）やその家庭の経済的負担を軽減し、重度心身障がい者（児）の福祉の増進を図る。	事業の概要	対象者から請求される医療保険制度の一部負担金および入院食事療養費標準負担額（中学校３年生まで）を助成する。 〇受給資格者　・身体障害者手帳 1、2、3 級所持者・療育手帳マル A、A、B 所持者・精神障害者手帳 1 級所持者・65 歳以上で後期高齢者医療制度の障害認定に該当する者（65 歳以上で新たに上記障害になった場合、平成 27 年 1 月から対象外） ※平成 31 年 1 月から所得制限導入

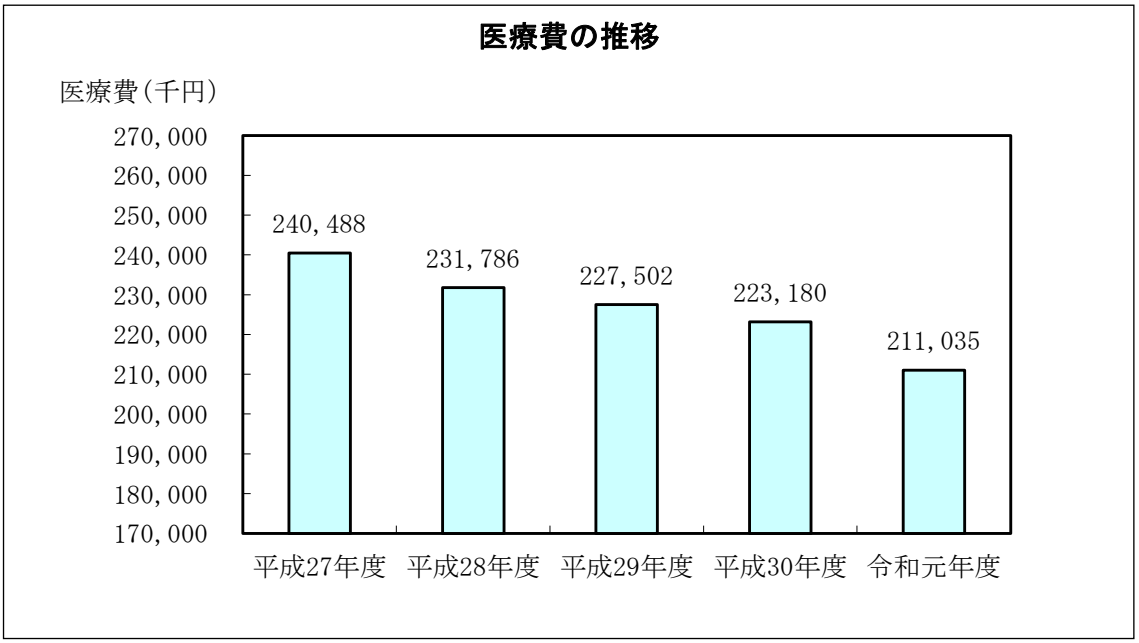
事業の実績・成果

重度心身障がい者（児）に医療費一部負担金等を助成することにより、重度心身障がい者（児）の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図った。

令和２年３月現在の受給者数　2,518 人

医療費の推移　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
医療費	240,487,988	231,785,869	227,501,693	223,179,501	211,034,125



事 業 名		在宅障害者おむつ支給事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-20
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,461,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	4,461,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	3,608,466 円
事業の目的	在宅の重度心身障がい者及び介護者の経済的負担の軽減を図るとともに障がい者への福祉の充実を図る。	事業の概要	委託業者が対象者宅へ紙おむつを配布。1 ヵ月あたり 6,300 円を限度。 対象は、総合支援法の日常生活用具の紙おむつの対象とならない者で、下肢又は体幹 1～2 級、療育手帳マル A～A の者。（入院中・入所中・介護保険対象者・住民税課税者・新規で 65 歳以上を除く）	

事業の実績・成果

在宅の重度心身障がい者（児）に対し、紙おむつを給付することにより、本人及び介護者の経済的負担の軽減と福祉の増進を図った。

対象者　57 人
給付額　3,608,466 円

事業費の推移　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
金額	2,411,421	2,786,847	3,153,377	3,518,670	3,608,466

事 業 名		重度視覚障害者介助手当支給事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-21
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,140,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,140,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	852,000 円
事業の目的	介助者に対し経済的負担や精神的負担の軽減を図る。	事業の概要	身体障害者手帳 1 級～2 級の在宅の視覚障がい者と同居し生活を共にしている介助者に、年額 12,000 円を支給する。	

事業の実績・成果

在宅の重度視覚障がい者の日常生活における介助者に対し、介助手当を支給することにより、経済的負担の軽減を図った。

支給額　年額　12,000 円

支給額、支給者数の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
支給額（円）	960,000	936,000	876,000	840,000	852,000
支給者数（人）	80	78	73	70	71

事 業 名		障害（児）者生活サポート事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-23
款	03	民生費	当 初 予 算 額	29,147,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	29,147,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	23,658,425 円
事業の目的	障がい（児）者の日常生活への支援及び介護者の負担軽減を図る。		事業の概要	障がい者およびその家族の介護依頼に対してサービスを提供する民間サービス団体の運営に要する経費を補助する。 ・1 時間当り利用者負担額　H28 年度まで 500 円、H29 年度 650 円、H30 年度 850 円、R1 年度以降 950 円（障がい児は生計中心者の所得税額により減免あり） ・民間サービス団体への運営経費補助　1 時間当り 2,850 円と自己負担額の差額

事業の実績・成果

障がい（児）者やその家族の多様化するニーズに応えるため、身近な場所で迅速・柔軟なサービスを提供する民間団体に運営費を補助し、福祉の向上及び介護者の負担軽減を図った。

サービス内容は、一時預かり、送迎サービス、外出援助、派遣による介護サービス等。

1　福祉有償運送運営協議会負担金　30,000 円

2　利用状況の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
登録者数（人）	807	873	897	919	963
利用者数（人）	375	386	409	432	417
利用件数（件）	15,890	16,867	13,507	12,676	12,629
利用時間数（時間）	15,245	14,526	13,688	12,336	11,678
運営補助額（千円）	37,743	35,469	31,576	26,239	23,628

事 業 名		重度障害者寝具乾燥車派遣事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-28
款	03	民生費	当 初 予 算 額	25,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	25,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	0 円
事業の目的	重度障がい者の福祉の増進を図る。		事業の概要	受託業者が年 6 回（5 月・7 月・9 月・11 月・1 月・3 月）に対象者宅を訪問する。 マットレス 1 枚、敷布団 1 枚、毛布 2 枚、掛け布団 2 枚及び枕を一式とする。 対象者：寝具乾燥が困難な次の障害者 ・身体障害 1・2 級 ・知的障害マルＡ・Ａ ・常時寝たきり状態またはこれに準ずる状態が 6 か月以上

事業の実績・成果

利用者数、事業費の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数（人）	3	3	1	0	0
事業費（円）	56,700	27,216	5,400	0	0

※令和元年度で事業廃止

事 業 名		心身障害者生活ホーム事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-29
款	03	民生費	当 初 予 算 額	928,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	929,640 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	929,640 円
事業の目的	心身障がい者に生活ホームを利用させることで社会的自立の助長を図る。	事業の概要	市内に住所を有し、自立した生活を望みながらも家庭環境または住宅事情等の理由により、社会的自立が阻害されている身体障がい者または知的障がい者に対して、住宅を提供するとともに、夜間を中心に生活面の指導・援助を行う。 ・施設には、運営費を補助する。 ・運営費補助単価…日額2,540 円	

事業の実績・成果

心身障がい者が自立した生活をするための生活ホームの運営費等を補助し、心身障がい者の社会的自立の助長を図った。

事業運営費補助額1人 1日2,540 円

（単位：人、円）

施設名	利用者実人数	月当たり延利用者数	事業運営費補助
生活ホーム小川（市外）	1	12	929,640

事業運営費補助額の推移

（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
補助額	4,548,000	5,475,100	5,475,100	5,475,100	929,640

※これまで補助を行っていた2か所の生活ホームのうち1か所が平成30年度をもって閉所となり、障がい者グループホームに移行した。

事 業 名		障がい者福祉管理事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-39
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,990,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,988,360 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	1,601,537 円
事業の目的	障害福祉関連事業を実施するにあたり、共通する管理費をまとめることで各事業を円滑に実施する。	事業の概要	障がい者福祉に係る情報を適切に処理し、各事業の円滑かつ効果的な実施を図る。 障がい者福祉課及び総合支所市民福祉健康課（障害福祉担当）の経常的な管理費を支出する。	

事業の実績・成果

障害福祉関連事業を円滑に実施するための諸費用について、各総合支所市民福祉健康課も含め支出した。

○北埼地区障がい者支援協議会負担金　47,000 円

事 業 名		在宅重症心身障がい児の家族に対するレスパイトケア事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-41
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,290,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	2,880,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	1,980,000 円
事業の目的	医療的ケアを必要とする在宅の重症心身障がい児を介助する家族の精神的、身体的負担の軽減を図る。		事業の概要	短期入所事業や日中一時支援事業で対象障がい児を受け入れる事業者に対し、予算の範囲内において助成金を交付する。 ・短期入所事業：超重症心身障がい児 1 人につき 1 日当たり　20,000 円、重症心身障がい児 1 人につき 1 日当たり　10,000 円 ・日中一時支援事業：重症心身障害児 1 人につき 1 日当たり　20,000 円

事業の実績・成果

医療的ケアを必要とする在宅重症心身障がい児を介助する家族の精神的、身体的負担を軽減するために、短期入所事業や日中一時支援事業で対象児を受けいれた事業所に対して助成金を交付。

令和元年度は超重症心身障がい児から重症心身障がい児へ対象が拡大された。

【利用延べ人数】　（単位：人）

	平成 30 年度	令和元年度
短期入所事業	0	198
日中一時支援事業	0	0

事 業 名		身体障がい者等はり・きゅう・マッサージ券給付事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-42
款	03	民生費	当 初 予 算 額	2,376,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	2,376,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	20,000 円
事業の目的	身体障害者等の機能低下予防を図るとともに、視覚障害者の就業及び経済的自立を推進する。		事業の概要	保険適用外のはり、きゅう、マッサージ、あん摩、指圧の施術費の一部を助成券で支給する。 ・身体障害者手帳の所持者で肢体障害 1 級～6 級該当者 ・介護認定者で要支援 1 以上の方 ※入院中や施設入所中の方は対象外

事業の実績・成果

身体障害者等の機能低下予防と、視覚障害者の就業支援・経済的支援のため令和元年度から新たな事業として開始した。指定施術院が、施術師死亡のため 3 か所から 2 か所へ 1 か所減。

	令和元年度
申請者数（人）	20
交付枚数（枚）	30
利用枚数（枚）	10

事 業 名		あけぼの園管理運営事業			
担 当 課		障がい者福祉課		総合振興計画コード	2122-09
款	03	民生費		当　初　予　算　額	11,783,000 円
項	01	社会福祉費		最　終　予　算　額	11,825,800 円
目	02	障害者福祉費		決　　算　　額	11,818,900 円
事業の目的	障がい者の自立及び社会参加の促進を図る。		事業の概要	在宅障がい者に対し通所により生産活動等の機会を提供するとともに、就労指導、生活指導等を行い自立および社会参加を促すため、あけぼの園の管理運営を行う。	

事業の実績・成果

あけぼの園の適正かつ効率的な運営のため､指定管理者として加須市社会福祉協議会に管理運営を委託（平成 29 年度～令和 3 年度）するとともに、入所を希望する障がい者について、入所の要否の判定のため委員会を開催した。

また、施設修繕として、エントランス脇スロープ改修や外壁亀裂修繕等を行った。

・令和 2 年 3 月現在の入所者数 42 名（生活介護 21 名、就労継続支援Ｂ型 21 名）

・あけぼの園への入所を希望する障がい者について、入所の要否の判定のため委員会を開催した。
　開催回数 3 回、委員謝金　6,700 円×3 回＝20,100 円

・あけぼの園指定管理委託料　10,573,000 円

・施設修繕　1,225,800 円

事業名	障害者福祉団体支援事業		
担当課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	2123-20
款 03	民生費	当初予算額	767,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	767,000円
目 02	障害者福祉費	決算額	601,000円
事業の目的	各障害者福祉団体の助成を図り、社会福祉活動の推進、福祉の増進を図る。	事業の概要	各障害者福祉団体活動推進のために活動費を助成する。 【助成団体】 身体障害者福祉会（加須・大利根）、視力障害者福祉協会加須支部、手をつなぐ親の会（加須）、聴覚障害者協会

事業の実績・成果

障害者福祉関係団体の活動の推進、福祉の増進を図るため、関係団体へ活動費の補助を行った。

補助金額の推移　（単位：千円）

団体名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加須市身体障害者福祉会	280	280	280	280	280
北川辺身体障害者福祉会	45.6	45.6	45.6	45.6	―
大利根身体障害者福祉会	186	186	186	186	186
加須市肢体不自由児者父母の会	120	120	120	120	―
埼玉県視力障害者福祉協会	40	40	40	40	40
加須手をつなぐ親の会	55	55	55	55	55
加須市聴覚障害者協会	40	40	40	40	40
合計	766.6	766.6	766.6	766.6	601.0

※北川辺身体障害者福祉会及び加須市肢体不自由児者父母の会は、令和元年度の補助金申請を辞退

（単位：円）

団体名	助成金額	会員数・実施事業
加須市身体障害者福祉会	280,000	会員116人、福祉のつどい開催、研修会実施、スポーツ大会参加、グラウンドゴルフ大会
大利根身体障害者福祉会	186,000	会員23人、重度会員慰問、スポーツ大会参加 各種研修会への参加
埼玉県視力障害者福祉協会加須支部	40,000	会員7人、マッサージ奉仕、パソコン講習・歩行訓練等実施、グラウンドソフトボール
加須手をつなぐ親の会	55,000	会員24人、定例会の開催、知的障害者相談会、 県・市福祉事業への参加、勉強会・研修会への参加
加須市聴覚障害者協会	40,000	会員23人、各種手話講座へ講師派遣、手話通訳者養成事業・派遣事業を考える学習会参加

事 業 名		重度身体障害者居宅改善整備事業			
担 当 課		障がい者福祉課		総合振興計画コード	2124-12
款	03	民生費		当 初 予 算 額	600,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	600,000 円
目	02	障害者福祉費		決 算 額	0 円
事業の目的	重度身体障がい者の居宅の一部を障害に応じて使いやすく改造することで、重度身体障がい者の日常生活における利便を図る。		事業の概要	重度の身体障がい者が日常生活において直接利用する浴室、洗面所、庭など屋内外の改造整備費に対して補助金を交付する。 ・一般世帯限度額…24 万円 ・生活保護世帯限度額…36 万円	

事業の実績・成果

障がい者の家庭内での自立を促進するため、申請により居宅改善整備費を助成する。
令和元年度は申請がなかった。

重度身体障害者居宅改善整備事業利用状況の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数（人）	0	0	1	0	0
補助金額（円）	0	0	240,000	0	0

事 業 名		障害者計画及び障害福祉計画進行管理事業			
担 当 課		障がい者福祉課		総合振興計画コード	2121-02
款	03	民生費		当 初 予 算 額	98,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	98,000 円
目	03	自立支援給付費		決 算 額	29,640 円
事業の目的	誰もがいきいきと住み続けるまちづくりを目指す。		事業の概要	障がい者施策推進懇話会にて、計画の進行管理を行う。	

事業の実績・成果

〇障がい者施策推進懇話会
障害者計画及び障害福祉計画（第5期）、障害児福祉計画（第1期）（平成30年度～令和2年度）の進捗状況について説明・報告した。
令和元年８月９日開催、出席者　13 名（うち謝金対象者９名）
懇話会委員謝金　27,000 円

事業名	補装具費支給事業			
担当課	障がい者福祉課		総合振興計画コード	2121-03
款	03	民生費	当初予算額	17,885,000円
項	01	社会福祉費	最終予算額	19,180,450円
目	03	自立支援給付費	決算額	19,180,450円
事業の目的	身体障がい（児）者の失われた身体機能を補完又は代替する用具を支給することで、身体障がい（児）者の社会生活や日常生活の能率向上を図る。	事業の概要	身体障がい者（児）や難病患者が補装具を購入・修理する、または貸与を受ける際の費用を助成する。自己負担は基準額の1割、月額上限37,200円、市民税非課税世帯は自己負担なし。 身体障害者手帳非対象の軽中度難聴児の補聴器購入の自己負担は基準額の3分の1。	

事業の実績・成果

○身体障がい者(児)や難病患者に対し、補装具の購入・修理費を助成し、家庭内及び社会復帰の促進を図った（自己負担額は基準額の原則1割。対象者、基準額、耐用年数等の基準がある。）。

用具別内訳

	購入		修理	
	決定件数（件）	助成金額（円）	決定件数（件）	助成金額（円）
義肢	3	1,244,264	5	415,113
装具	44	3,367,227	2	9,429
座位保持装置	6	5,927,201	0	0
盲人安全つえ	5	17,441	0	0
眼鏡	6	141,273	0	0
補聴器	39	3,035,394	22	367,360
車いす	12	2,622,230	17	669,458
電動車いす	0	0	5	178,689
その他	9	964,371	0	0
合計	124	17,319,401	51	1,640,049

補装具費支給費（扶助費）の推移　（単位:円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
扶助費	14,358,641	16,081,486	16,627,342	20,031,409	18,959,450

○18歳に達する年度末までの軽度・中等度の難聴児に対し、社会生活や日常生活の能率向上を図ることを目的に補聴器の購入の際に助成を行う制度である（助成額は基準額の3分の2、基準額・耐用年数等の基準がある。）。

・支給件数　2件

難聴児補聴器購入助成費の推移　（単位:円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
助成費	0	146,000	146,000	73,000	221,000

事 業 名		自立支援医療費支給事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	143,657,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	148,949,000 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	140,356,611 円
事業の目的	身体上の障害を軽減したり、機能を回復することができるような医療にかかる医療費を助成することで、身体障がい者（児）の社会生活や日常生活の能率向上を図る。		事業の概要	日常生活能力や機能を回復・改善するための医療を受ける際の費用を一部助成する。自己負担は医療費の 1 割、所得により自己負担上限額あり。18 歳以上の身体障害者手帳所持者を対象とする更生医療、18 歳未満の身体に障害のある児童を対象とする育成医療に分類。

事業の実績・成果

身体障がい者(児)に対し、必要な医療費を助成し、職業その他日常生活の能率向上及び自立した社会復帰の促進を図った。

（支給認定件数）　更生医療　97 件（レセプト数　1,046 件）　132,152,771 円
育成医療　62 件（レセプト数　121 件）　2,856,005 円

事業費の推移　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
更生医療	85,466,188	100,420,851	122,650,563	124,741,232	132,152,771
育成医療	8,123,790	3,290,603	4,218,664	3,571,064	2,856,005
合　計	93,589,978	103,711,454	126,869,227	128,312,296	135,008,776

事 業 名		障がい者訪問サービス（自立支援）事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	191,604,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	234,905,000 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	230,680,733 円
事業の目的	障がい者（児）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい者訪問サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者（児）の福祉の増進を図る。		事業の概要	・障害者総合支援法に基づく「居宅介護」、「重度訪問介護」、「同行援護」「行動援護」及び「重度障害者等包括支援」の障害支援区分に応じたサービスの提供を行う。 ・介護保険サービスの円滑な利用の促進

事業の実績・成果

障害施策を 3 障害（身体・知的・精神）一元化し、障がい者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営めるよう、その者の状況や置かれている環境に応じて必要なサービスを支援した。

1　介護給付費　227,148,648 円

区　分	延件数（件）	金額（円）
居宅介護	1,256	121,304,297
重度訪問介護	20	5,537,928
行動援護	1,047	99,553,142
同行援護	12	753,281

2　国、県返還金　3,532,085 円

事 業 名		障がい者日中活動サービス（自立支援）事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-06
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,156,212,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,188,605,438 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	1,186,690,790 円
事業の目的	障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい者日中活動系サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者の福祉の増進を図る。		事業の概要	障害者総合支援法に基づく、「生活介護」、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」、「宿泊型自立訓練」、「就労移行支援」、「就労継続支援（A型・B型）」、「療養介護」及び「短期入所（福祉型・医療型）」の障害支援区分に応じたサービスの提供を行う。

事業の実績・成果

障がい者（身体・知的・精神）が日中活動できる場を提供し、創作活動・生産活動の機会の提供及び就労に必要な知識・能力の向上等の必要な支援を行った。

1　介護給付費・訓練等給付費　　1,176,507,882 円

区　　分		延件数（件）	金額（円）
介護給付費		**3,587**	**830,268,724**
	療養介護	120	31,303,310
	生活介護	3,112	764,546,305
	短期入所	355	34,419,109
訓練等給付費		**2,845**	**346,239,158**
	宿泊型自立訓練	5	575,880
	自立訓練（機能訓練）	21	2,275,477
	自立訓練（生活訓練）	59	10,106,326
	就労移行支援	371	56,132,613
	就労継続支援Ａ型	351	45,481,934
	就労継続支援Ｂ型	1,969	229,831,959
	就労定着支援	69	1,834,969

2　療養介護医療費　　9,093,562 円（120 件）

3　国返還金　　1,089,346 円

事 業 名		障がい者居住サービス（自立支援）事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-07
款	03	民生費	当 初 予 算 額	401,945,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	464,389,438 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	463,684,280 円
事業の目的	障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者の福祉の増進を図る。	事業の概要	施設に入所する障がい者や共同生活を営むのに支障のない障がい者につき、主として夜間において共同生活を営むべき住居において相談、入浴、排せつまたは食事の介護その他の日常生活上の援助を行う。	

事業の実績・成果

主として夜間に障害者支援施設及び共同生活援助（グループホーム）において入浴や食事等の日常生活上の支援を行った。

1　補助金

・共同生活援助等事業費補助金　43,842 円（事業所 1 か所）

共同生活援助（グループホーム）への運営費に対し、補助金を交付することにより福祉の向上を図った。

2　介護給付費・訓練等給付費　　463,640,438 円

区　　分	延件数（件）	金額（円）
介護給付費	**1,393**	**184,962,469**
施設入所支援	1,393	184,962,469
訓練等給付費	**1,455**	**278,677,969**
共同生活援助	1,455	278,677,969

事 業 名	障がい児発達支援（自立支援）事業		
担 当 課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-08
款 03	民生費	当 初 予 算 額	203,772,000 円
項 01	社会福祉費	最 終 予 算 額	258,739,094 円
目 03	自立支援給付費	決 算 額	258,739,094 円
事業の目的	障がい児が日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要なサービスに係る給付、その他の支援を行い、障がい児の福祉の増進を図る。	事業の概要	障がい種別（身体障害・知的障害・精神障害）にかかわらず、障がい児が必要とするサービスを利用できるよう、個々の障がいの程度や社会活動、養育環境など、勘案すべき事項を踏まえ、個別に支給決定を行う。

事業の実績・成果

障がい児（18 歳未満）に対し、必要なサービスの実態を把握するための障害児相談支援を行い、現状に合わせたサービスを提供し生活能力向上のための訓練や社会との交流促進の支援を行った。

1　障害児通所給付費　　249,886,193 円

区　　分	延件数（件）	金額（円）
児童発達支援	547	68,445,491
放課後デイサービス	1,912	181,394,391
保育所等訪問支援	4	46,311

2　障害児相談支援給付費　　7,996,290 円

区　　分	延件数（件）	金額（円）
障害児相談支援	455	7,996,290

3　高額福祉サービス費等　　856,611 円

区　　分	件数（件）	金額（円）
障害児通所給付費等	133	856,611

事 業 名		障がい者相談管理（自立支援）事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-09
款	03	民生費	当 初 予 算 額	25,526,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	30,742,580 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	25,522,584 円
事業の目的	障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等に係る相談支援や給付費等の適正な管理を行い、もって障がい者及び障がい児の福祉の増進を図る。		事業の概要	障害者総合支援法に基づく「計画相談支援」、「地域移行支援・地域定着支援」のサービスの提供を行う。また、障害福祉サービス等に係る審査支払を行う。

事業の実績・成果

○障害福祉サービスを受給する際に、心身の状況、環境、サービス利用の意向等から利用するサービス種類と内容を勘案した計画相談を実施し、計画内容が適切かを確認するモニタリングを行い実態に沿ったサービスの支給を行った。
○事業所からの障害福祉サービスの請求内容及び療養介護医療費の審査を埼玉県国保連合会へ委託し、適正な支払い事務を行った。
○同一世帯に障害福祉サービス等の利用者が複数いる場合等については、世帯の負担を軽減する観点から償還払い方式により対象となる世帯の利用者負担の軽減を行った。

1　審査支払手数料　　1,741,591 円

区　　分	件数（件）	金額（円）
障害福祉サービス	11,544	1,385,400
障害児給付費等	2,915	349,800
療養介護医療費		6,391

2　計画相談支援給付費　　1,415 件　　19,680,518 円

3　高額福祉サービス費　　133 件　　799,888 円　　等

事 業 名		北埼玉地区障害支援区分審査会共同設置事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-24
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,937,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,937,000 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	1,589,360 円

事業の目的	障がい者の支援の度合いに応じたサービスが利用できるように審査会を経ることで基準の透明化・明確化を図る。	事業の概要	・介護給付を新規申請する者等の障害支援区分の審査を行う。 ・審査会は共同設置（行田市・加須市・羽生市）とする。 ・加須市が事務局である。 ・審査会委員は合計 15 人

事業の実績・成果

障害者総合支援法第 15 条の規定により審査会の設置が義務付けられたが、北埼玉地区 3 市で北埼玉地区障害支援区分審査会を共同設置し審査を行うことにより、単独で設置するよりも経費の削減が図れるとともに、公平性も保つことができている。

事務局　　加須市
審査会開催回数　24 回
審査件数　479 件（うち加須市分 245 件）

各市負担金割合
負担金は、人口割、身障・療育・精神手帳所持者割、判定者数割の合計で算出した。
（単位：円）

市　名	負担金額
行 田 市	506,603
加 須 市	742,731
羽 生 市	340,026
合　　計	1,589,360

審査会開催回数・件数、事業額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
審査会開催回数（回）	26	24	24	26	24
審 査 件 数 （ 件 ）	536	472	431	636	479
事 業 額 （ 円 ）	1,702,560	1,663,400	1,601,360	1,704,960	1,589,360

事 業 名		障害者相談支援事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-10
款	03	民生費	当 初 予 算 額	10,842,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	10,842,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	10,837,872 円
事業の目的	在宅の障がい者等に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用及び社会生活を高めるための支援、ピュアカウンセリング、介護相談、情報の提供等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援する。		事業の概要	・委託　北埼玉地区 3 市共同設置による北埼玉障がい者生活支援センターが一般的な相談に対応。 ・計画相談　指定をうけた事業所がサービス等利用計画についての相談に対応。 ・一般相談　指定をうけた事業所が地域生活への移行に向けた支援や相談に対応。 ・身体障害者相談員及び知的障害者相談員を各 5 名委嘱。

事業の実績・成果

○北埼玉障がい者生活支援センターを北埼玉地区 3 市（加須市、行田市、羽生市）で共同設置し、羽生市の社会福祉法人へ委託し運営している。相談ケースに応じた支援を個々に行い、障がい者の自立や社会参加の促進を図った。（委託先　社会福祉法人 幸生会（羽生市）、社会福祉法人 共愛会（羽生市））

相談支援を利用している障がい者等の実人数　（単位：人）

	幸生会	共愛会
身体障がい者	35	1
知的障がい者	5	44
精神障がい者	2	89
その他	0	0
合　計	42	134

相談件数（支援方法別）　（単位：件）

	幸生会	共愛会
訪問	220	315
来所	3	76
電話	223	205
同行	9	61
合　計	455	657

委託料内訳　（単位：円）

	人口割	手帳所持者割	相談件数割	合　計
幸生会	2,590,978	1,304,049	1,044,381	4,939,408
共愛会	2,890,618	1,454,859	1,352,987	5,698,464
合　計	5,481,596	2,758,908	2,397,368	10,637,872

負担金（委託料）の推移　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
加須市	9,697,510	9,623,790	9,859,812	9,960,594	10,637,872

○身体障害者相談員及び知的障害者相談員による相談会を地域ごとに行った。

謝金　200,000 円

・身体障害者相談員　20,000 円×5 名＝100,000 円

・知的障害者相談員　20,000 円×5 名＝100,000 円

事業名	障害者コミュニケーション支援事業		
担当課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-11
款 03	民生費	当初予算額	5,730,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	5,730,000円
目 04	地域生活支援費	決算額	4,995,625円
事業の目的	聴覚、音声機能、視覚等の障がいのため、意思疎通を図ることに支障のある障がい者に対し、意思疎通の円滑化を図り、社会参加を推進する。	事業の概要	聴覚障がい者のコミュニケーション支援・情報保障のため、手話通訳者等を派遣する。 登録手話通訳者認定試験の実施 また、手話通訳者等を養成するため、養成講座等を開催する。

事業の実績・成果

○平成31年1月1日施行の「加須市ともに生きる手話言語条例」の趣旨を具現化するための推進方針を令和元年7月16日に策定し、この推進方針に基づき各種事業を推進した。

そのうちのひとつとして、令和2年1月12日に、聴覚障がい者の恋愛と苦悩を描いた映画「ゆずり葉」上映会を実施し、80名の参加を得、市民の聴覚障がいの理解促進に資することができた。

○聴覚障がい者等の依頼を受け、市の登録手話通訳者を派遣することにより、障がい者の意思疎通の円滑化と社会参加の促進を図った。社会福祉協議会に手話奉仕員養成講座を、聴覚障害者協会に手話フォローアップ講座をそれぞれ委託した。また、登録手話通訳者の増員を目的に手話通訳者養成講座（手話通訳Ⅱ課程・2年連続講座の2年目）を開講した。

・（福）埼玉聴覚障害者福祉会（埼玉聴覚障害者情報センター）による派遣（22件）　253,500円
・市登録通訳者派遣（268件）　1,542,248円
・派遣体制　登録手話通訳者9名、専任手話通訳者1名
・手話奉仕員養成講座（全52回）　979,025円
・手話通訳者養成講座（手話通訳Ⅱ課程）（全50回）（5名受講）　1,008,475円
・手話フォローアップ講座（全20回）　378,500円
・運営委員会、認定試験審査会の開催回数　7回

手話講習会受講者数内訳　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
手話奉仕員養成講座 入門課程　全22回	33	16	22	21	27
手話奉仕員養成講座 基礎課程　全30回	16	16	11	18	11
手話講習会 レベルアップ課程全20回	14	12	13	―	―
手話フォローアップ講座 全20回	―	―	―	―	15

※平成27年度及び平成28年度の入門課程の回数は全25回。

手話通訳者利用内容内訳　（単位：件）

利用内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
打合せ・手続き	8	23	24	49	35
式典・イベント・講演	23	37	36	24	31
病院診察	99	186	264	247	293
学校関係	45	36	60	45	24
面接、相談	6	9	20	16	15
その他	5	13	26	50	50
合計	186	304	430	431	448

※平成28年9月より専任手話通訳者による市直営の派遣を開始。

事 業 名		地域活動支援センター事業			
担 当 課		障がい者福祉課		総合振興計画コード	2121-12
款	03	民生費		当 初 予 算 額	11,405,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	11,405,000 円
目	04	地域生活支援費		決 算 額	9,452,900 円
事業の目的	障がい者等地域生活支援の促進を図る。		事業の概要	地域で通所により必要な作業訓練や、社会適応訓練の場を提供する地域活動支援センターの活動を支援する。 対象者：身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者	

事業の実績・成果

障がい者の社会復帰の促進を図るため、地域で通所により必要な作業訓練や、社会適応訓練の場を提供する地域活動支援センター等に運営費等を補助した。

このことにより、利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図ることができた。

○補助金　NPO 法人地域活動支援センターこすもす　8,000,000 円
○負担金　久喜市地域活動支援センターあんご工房　（久喜市）　0 円
○委託料　地域活動支援センターふれあい（古河市）　1,452,900 円

こすもす

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者総数（人）	28	32	30	33	29
市内利用者数（人）	18	19	19	21	17
補助金（円）	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000

あんご工房

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
市内利用者数（人）	1	1	0	0	0
負担金（円）	252,243	47,502	0	0	0

ふれあい

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
市内利用者数（人）	2	3	4	5	5
委託料（円）	818,000	863,000	1,023,000	1,026,300	1,452,900

事 業 名		訪問入浴サービス事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-13
款	03	民生費	当 初 予 算 額	7,456,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	7,456,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	5,288,750 円
事業の目的	身体障がい者に対し、訪問により居宅において入浴サービスを提供することで、重度身体障がい者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図る。		事業の概要	身体障がい者の居宅を訪問し、浴槽を自宅に持ち込んで行われる入浴の介護。 ・対象者 介護保険による訪問入浴を受けることができない在宅の身体障害者。 原則、月 2 回を限度とするが、ガイドライン（事務処理要領）により月 3 回以上利用の例外もある。 利用者負担なし。

事業の実績・成果

障害者総合支援法に基づき、入浴が困難な在宅の身体障がい者（児）に対し、訪問により居宅において入浴サービスを提供する事業を実施することにより、身体の清潔の保持及び心身機能の維持等を図り、地域における身体障がい者の生活を支援した。

事業費等の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数（人）	6	6	6	7	7
委託料（円）	2,887,500	3,292,500	4,437,500	5,030,000	5,288,750

事 業 名		日中一時支援事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-15
款	03	民生費	当 初 予 算 額	3,471,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	3,231,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	928,220 円
事業の目的	障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図ることにより、障がい者等の家族を含めた福祉の増進を図る。		事業の概要	障がい者等からの申請に基づき、心身等の状態が支給対象であるか、その要否を決定する。 障がい者等（利用者）は、この決定に基づき、市と委託契約を締結している事業所を選択し、希望事業所がサービスの提供を行う。 対象者は身体・知的・精神手帳所持者。

事業の実績・成果

障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図り、障がい者等の家族を含めた福祉の増進を図った。

登録事業所数　29 事業所
利用者数　　11 人

事業費等の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
事業費（円）	2,580,633	3,470,195	2,654,599	1,018,966	928,220
延べ利用回数（回）	793	1,041	692	256	237
延べ利用時間（時間）	4,725	5,451	4,188	1,685	1,541

事業名	障害（児）者日常生活用具給付等事業		
担当課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-25
款 03	民生費	当初予算額	24,003,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	24,003,000円
目 04	地域生活支援費	決算額	22,897,418円
事業の目的	障がい（児）者等に対して職業その他日常生活の能率向上を図る。	事業の概要	在宅障がい者・児、小児慢性特定疾患児に対して、盲人用時計・移動用リフト・ストマ用装具等の給付等を行う。 自己負担は基準額の1割、月額上限37,200円、市民税非課税世帯は自己負担なし。

事業の実績・成果

在宅障がい（児）者に対し、日常生活用具を給付又は貸与することにより日常生活の便宜を図った。個人負担額は原則1割で、対象者、基準額、耐用年数等の基準がある。

日常生活用具別内訳

	延件数（件）	公費負担額（円）	内容
介護・訓練支援用具	5	640,200	特殊寝台等
自立生活支援用具	13	357,846	入浴補助用具等
在宅療養等支援用具	6	278,840	電気式たん吸引器等
情報・意思疎通支援用具	10	957,701	人工咽頭等
排泄管理支援事業	276	19,498,659	蓄便・蓄尿袋等
小児慢性特定疾病分	2	56,830	紫外線カットクリーム等
合計	312	21,790,076	

住宅改修　7件　1,107,342円

日常生活用具給付費等の推移　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
金額	19,741,385	19,745,950	21,759,661	21,786,478	22,897,418

事 業 名		移動支援事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-26
款	03	民生費	当 初 予 算 額	39,000,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	39,000,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	27,418,439 円
事業の目的	障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すとともに、福祉の増進を図る。		事業の概要	障がい者等からの申請に基づき、支給対象であるか、その要否を決定する。 障がい者等（利用者）は、この決定に基づき、市と委託契約を締結している事業所を選択しサービスの提供を受ける。 対象となる外出は、社会生活上必要不可欠な外出および余暇活動等社会参加のための外出に限る。 対象者は身体・知的・精神手帳所持者および難病患者。

事業の実績・成果

屋外での移動が困難な障がい者等に対して、外出時に付添支援を行い、地域での自立生活及び社会生活の促進を図った。

登録事業所数　38 事業所
利用者数　　90 人

事業費等の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
事業費（円）	33,155,590	38,066,822	35,922,332	32,440,932	27,418,439
延べ利用回数（回）	4,561	5,231	5,002	4,716	3,619
延べ利用時間（時間）	13,210	15,015	14,048	12,550	10,587

事 業 名	障害者就労支援事業			（総合戦略）
担 当 課	障がい者福祉課		総合振興計画コード	2122-10
款	03	民生費	当 初 予 算 額	3,325,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	3,325,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	3,324,285 円
事業の目的	障がい者に対し、就労に関する相談支援や情報提供等を行うことで、障がい者の経済的自立と社会参加の促進を図る。	事業の概要	［北埼玉障がい者就労支援センター］ 障害者の就労に関する相談支援等を、加須市、羽生市、行田市との共同設置により社会福祉法人共愛会へ委託する。 ［就職支度金］ 施設での訓練が終了し、就職等により自立した者に就職支度金 36,000 円を支給し、社会復帰の促進を図る。	

事業の実績・成果

○北埼玉障がい者就労支援センター

委託料　2,820,285 円

平成 22 年 8 月から、北埼玉地区（行田市・加須市・羽生市）の共同設置により、羽生市内の施設へ委託し運営している。

登録により、就労準備支援、職場開拓・就職支援、職場定着支援、離職時支援、生活支援を実施した。

委託先　　社会福祉法人 共愛会
登録者数　　237 人
年間就労者数　26 人
支援件数
- 就労準備支援　54 件
- 職場開拓、就職支援　62 件
- 職場定着支援　146 件
- 離職時支援　15 件
- 生活支援　61 件

利用者人数・年間就労者数・支援件数の推移

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者人数（人）		67	75	85	82	73
年間就労者数（人）		24	20	39	26	26
支援件数（件）	就労準備支援（件）	125	105	83	45	54
	職場開拓、就職支援（件）	49	64	89	49	62
	職場定着支援（件）	50	97	128	152	146
	離職時支援（件）	8	12	18	12	15
	生活支援（件）	106	130	93	53	61

※平成 22 年 8 月から北埼玉障がい者就労支援センターへ委託

○就職支度金支給

施設での訓練が終了し、就職等により自立した者に就職支度金を支給し、社会復帰の促進を図った。

対象者数　14 人　　504,000 円（36,000 円×14 人）

事 業 名		障害者スポーツ交流事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2123-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	291,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	291,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	274,249 円
事業の目的	障害（児）者及び介護者をはじめとして、スポーツを通して交流を図る。		事業の概要	加須市民体育館内において各障害者団体および介護者を中心としてミニ運動会を開催する。 ・パラリンピック正式種目であるボッチャほか軽度な競技を中心に個人種目および団体対抗種目を実施する。 ・競技の進行等を団体の役員にも協力依頼する。 市民による障がい者スポーツ振興・普及の取組みを支援する。

事業の実績・成果

市民体育館内において各障害者団体会員及び介護者を中心としてミニ運動会を開催し、スポーツを通して、障害の種類や年齢を超えて交流を深めた。

令和元年 6 月 15 日（土）実施　　参加団体 18 団体　参加人数 344 人

（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
参加人数	287	326	296	312	344

事 業 名		社会参加促進事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2123-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	12,504,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	12,744,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	9,864,589 円
事業の目的	障がい者の経済的負担の軽減と社会参加等の促進を図る。		事業の概要	・障がい者自動車運転免許取得費補助…12 万円を限度 ・身体障がい者自動車改造費補助…10 万円を限度 ・自動車燃料費助成…月額 1,000 円（上限） ・福祉タクシー利用料助成…年間 24 枚 ・ファクシミリ利用料助成…月額 1,000 円（上限）

事業の実績・成果

障がい者が在宅においてできる限り自立した生活を行い、積極的に社会参加ができるよう日常生活の利便性の経済的負担の軽減を図るため、各種援護を行った。

障がい者の社会参加を促進するため、申請により運転免許の取得、自動車改造費等を助成する。

・障害者自動車運転免許取得費補助（限度額　120,000 円）　6 件　720,000 円
・身体障害者自動車改造費補助（限度額　100,000 円）　4 件　382,000 円
・自動車燃料購入費助成　4,512,850 円（延べ 1,882 件）
・福祉タクシー利用料助成（手数料・利用券印刷代含）　4,040,905 円（延べ 4,689 件）
・ファクシミリ利用料助成（月 1,000 円上限）　208,834 円（延べ　38 件）

事業費の推移　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
事業費合計	11,271,414	10,657,474	11,175,440	10,966,129	9,864,589
障害者自動車運転免許取得費補助金	360,000	240,000	240,000	480,000	720,000
身体障害者自動車改造費補助金	300,000	462,500	700,000	300,000	382,000

事 業 名	障がい者成年後見制度利用支援事業			
担 当 課	障がい者福祉課		総合振興計画コード	2124-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,268,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,268,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	240,000 円
事業の目的	知的障がい者や精神障がい者本人の財産管理、悪徳商法からの被害等を防止する。	事業の概要	身寄りがなく、申立てをする人はいない知的障がい者、精神障がい者の方の保護を図るため、市長が法定後見（後見・保佐・補助）の開始で審判の申立てを行う。65 歳以上は高齢者福祉課で対応。報酬助成額は月額 28,000 円（施設に入所等をしている場合には月額 18,000 円）。	

事業の実績・成果

令和元年度は市長申立ての利用はなかった。

市長申立て件数　0 件
成年後見人への報酬助成件数　1 件

・事業実施　（単位：件）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
申立て件数	4	0	0	0	0	0

事 業 名	外国人高齢者福祉手当支給事業			
担 当 課	国保年金課		総合振興計画コード	2111-16
款	03	民生費	当 初 予 算 額	120,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	120,000 円
目	05	国民年金費	決 算 額	120,000 円
事業の目的	元気な高齢者を支援するため、昭和５７年以前の年金制度における国籍要件により、国民年金に加入できなかった外国人高齢者の福祉の増進を図る。	事業の概要	日本国籍を有しない者で、かつ大正 15 年（1926 年）4 月 1 日以前に生まれた者に対し、福祉手当（1 人当たり月額 10,000 円）を支給する。	

事業の実績・成果

支給対象者を的確に把握し、支給した。

対象者　外国人高齢者　1 人
支給額　10,000 円×1 人×12 月＝120,000 円
支給日　上半期 9 月、下半期 3 月

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
支給人数（人）	1	1	1	1	1
金額（円）	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000

事 業 名		国民年金事業		
担 当 課		国保年金課	総合振興計画コード	2142-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	3,183,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	3,183,000 円
目	05	国民年金費	決 算 額	3,052,524 円
事業の目的	国民年金の身近な窓口として、市民の老齢、障害、死亡に関して必要な給付を行い、健全な国民生活の維持・向上を図る。	事業の概要	国民年金の加入・喪失・保険料免除関係、老齢福祉年金、障害者年金等給付関係業務（年金事務所への進達含む）や年金相談、年金の普及啓発を行う。 ・令和元年度保険料月額 16,410 円	

事業の実績・成果

第 1 号被保険者数 （単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
被保険者数	14,849	13,715	13,080	12,513	12,185

国民年金にかかる各種届出書や給付請求書等の受付において、内容の確認や必要書類の点検を十分に行い、遅滞なく年金事務所へ進達した。

進達件数 （単位：件）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
資格関係	7,271	7,696	6,453	5,630	5,348
給付関係	878	805	887	776	797

保険料免除等件数 （単位：件）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
法定免除	895	880	874	881	907
申請免除	1,914	1,840	1,909	1,745	1,873
学生納付特例	1,477	1,504	1,471	1,460	1,392
納付猶予	426	578	659	652	662

事 業 名		高齢者福祉管理事業			
担 当 課		高齢者福祉課		総合振興計画コード	2111-10
款	03	民生費		当 初 予 算 額	1,963,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	1,963,000 円
目	06	老人福祉費		決 算 額	1,745,563 円
事業の目的	高齢者福祉事務を執行し、高齢者に対する支援を行う。		事業の概要	社会福祉主事資格の取得の促進、社会福祉法人への市有地等貸付け、車両の管理など、高齢者福祉業務の管理費を効率的に執行する。	

事業の実績・成果

高齢者福祉事務を適切に執行し、諸経費を支出した。

【高齢者福祉管理費年度別実績】 （単位：円）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1,866,159	3,009,610	1,606,563	3,038,380	1,745,563

事 業 名		老人クラブ支援事業			
担 当 課		高齢者福祉課		総合振興計画コード	2111-11
款	03	民生費		当 初 予 算 額	5,844,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	5,844,000 円
目	06	老人福祉費		決 算 額	5,702,200 円
事業の目的	健康づくり・介護予防活動、友愛活動、社会活動への積極的な参画を通じて、明るい長寿社会づくりに資する。		事業の概要	老人クラブ連合会におけるグラウンド・ゴルフ大会、交通安全教室、研修会、文化創作展等の開催支援、地域内での社会奉仕活動等を支援する。	

事業の実績・成果

高齢者を主体とする地域における自主的な組織である老人クラブに対し、生きがいと健康づくりの支援を行った。

【老人クラブ数など】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
クラブ数	98	97	94	93	93
会員数（人）	4,425	4,280	3,921	3,798	3,748
補助金交付額（円）	6,028,000	5,982,000	5,844,000	5,798,000	5,702,200

＜加須市老人クラブ連合会の主な活動＞

総会、グラウンド・ゴルフ大会（年１回）、日帰り研修、「加須市老連だより」発行、埼玉県東部地区「趣味の作品展示会」加須市開催協力、県主催行事への参加

＜地域ごとの活動＞

・加　須…総会、グラウンド・ゴルフ大会（年１回）、ワナゲ大会（年２回）、文化創作展、高齢者交通安全教室、県外研修、埼玉県老人クラブ連合会主催イベントへの参加、市主催行事への参加
・騎　西…総会、グラウンド・ゴルフ大会、県外研修、高齢者交通安全教室、市主催行事への参加
・北川辺…総会、花のボランティア、ワナゲ大会、県外研修、市主催行事への参加、雑巾寄付事業
・大利根…総会、県外研修、グラウンド・ゴルフ大会、友愛訪問、高齢者交通安全教室、市主催行事への参加

事 業 名		敬老健康増進サービス事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2111-13
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,869,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,869,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	1,499,100 円
事業の目的	高齢者の健康の増進と福祉の向上を図る。		事業の概要	平成 30 年度に 70 歳以上の高齢者に交付したサービス利用券（いずれかのサービスを年 1 回無料で利用できる）の利用に係る支払事務を行う。 ・いなほの湯入館/入浴　500 円 ・100（とね）の湯入館/入浴　200 円 ・マッサージ等　2,000 円

事業の実績・成果

敬老健康増進サービス事業は利用率が低迷していることから、平成 30 年度をもって廃止し、より直接的に高齢者の健康に資する事業等に再編した。

入浴サービスについては、高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種費用に対する公費助成を拡充し、自己負担を引き下げることによって、高齢者肺炎球菌による肺炎の予防や重篤化の予防に資することとした。

また、マッサージについては、在宅の視覚障がい者の継続的な就業及び経済的自立を推進することを目的に、「身体障がい者等はり・きゅう・マッサージ券給付事業」に改めた。

令和元年度は、平成 30 年度に配布した利用券の利用期限（令和元年 9 月 14 日）までに利用した利用券の支払事務を実施した。

対 象 者　70 歳以上の方
（平成 30 年度に交付した利用券を平成 30 年度中に利用しなかった方）
利 用 券　1 人 1 枚
（いなほの湯又はとねの湯の入館、マッサージ等の施術のいずれかを選択し利用）

【利用者数及び利用率】

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数（人）	いなほの湯	2,054	2,111	2,115	2,113	819
	とねの湯	291	288	281	294	88
	マッサージ※	1,154	1,330	1,234	1,371	536
	合計	3,499	3,729	3,630	3,778	1,443
対象者数（人）		19,992	20,877	22,005	23,112	20,925
利用率（%）		17.5	17.9	16.5	16.3	6.9

※平成 23 年度から高齢者が集まる機会を活用した出張マッサージも実施
※平成 24 年度から埼玉県鍼灸マッサージ師会登録の治療院（1 治療院）、埼玉県鍼灸師会登録の治療院（2 治療院）を追加

事 業 名		敬老祝金支給事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2111-14
款	03	民生費	当 初 予 算 額	55,610,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	55,610,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	52,771,040 円
事業の目的	高齢者に対して長寿の祝福と敬老の意を表すとともに、所在を確認する。		事業の概要	8 月 1 日現在、市内に 1 年以上居住し、年度内に満 77 歳・満 88 歳・満 99 歳・満 100 歳を迎える方に敬老祝金を支給し、併せて所在確認を行う。 満 77 歳　20,000 円　満 88 歳　50,000 円 満 99 歳　50,000 円　満 100 歳　50,000 円

事業の実績・成果

市内に居住する高齢者に対し、敬老の意を表するとともに、長寿を祝福するため、敬老祝金を贈呈した。

対 象 者　基準日の 8 月 1 日現在において次のいずれにも該当する方
・本市に引き続き 1 年以上居住し、住民基本台帳に記録されている方
・基準日の属する年の 4 月 1 日からその翌年の 3 月 31 日までにおいて、年齢が満 77 歳、満 88 歳、満 99 歳又は満 100 歳となる方

祝 金 額　満 77 歳　20,000 円×1,249 人＝24,980,000 円
満 88 歳　50,000 円×　492 人＝24,600,000 円
満 99 歳　50,000 円×　 39 人＝ 1,950,000 円
満 100 歳　50,000 円×　 24 人＝ 1,200,000 円　　贈呈総額　52,730,000 円

贈呈方法　民生委員や市職員が対象者本人へ直接手渡し

【敬老祝金贈呈者数及び祝金額】

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
贈呈（人）	満 77 歳	868	990	1,109	1,211	1,249
	満 88 歳	483	498	456	490	492
	満 99 歳	33	21	37	39	39
	満 100 歳	19	21	18	29	24
	合　計	1,403	1,530	1,620	1,769	1,804
決算（円）		46,050,000	48,480,000	47,730,000	52,120,000	52,730,000

事 業 名		敬老会助成事業			
担 当 課		高齢者福祉課		総合振興計画コード	2111-15
款	03	民生費		当 初 予 算 額	7,820,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	7,820,000 円
目	06	老人福祉費		決 算 額	7,592,300 円
事業の目的	高齢者の長寿を祝い、高齢者の健康の維持と生きがいの醸成を図る。		事業の概要	社会福祉協議会に対し、補助金を交付し、各地域における敬老会の開催を支援する。	

事業の実績・成果

社会福祉協議会が主催する敬老会の事業費の一部を補助し、加須市敬老会事業の推進を図った。

補助金交付額　　7,592,300 円（運営費、会場設営費）
敬老会での催し　　祝状・記念品贈呈、アトラクションの披露等

【敬老会対象者数及び寿賀表彰者数】　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
対象者（75 歳以上）	13,416	13,887	14,387	14,994	15,441
米寿（88 歳）	484	500	455	491	492
白寿（99 歳）	33	21	37	40	39

※8 月 1 日時点の人数

事業名	金婚祝賀事業			
担当課	高齢者福祉課		総合振興計画コード	2111-25
款	03	民生費	当初予算額	746,000円
項	01	社会福祉費	最終予算額	746,000円
目	06	老人福祉費	決算額	476,154円
事業の目的	郷土への愛着と高齢者福祉への関心を高める。	事業の概要	・金婚（婚姻50周年）に際し、市長の祝状及び額を贈呈。 ・寿賀（100歳、99歳、88歳）に際し、市長の祝状と額又は筒を贈呈。 ・100歳の市民を市長が訪問し祝う。	

事業の実績・成果

市民の金婚及び寿賀の慶事に対し、市が祝意を表することにより、市民の郷土への愛着が高まり、市民と行政による協働のまちづくりの推進が図られた。

1　金婚に対し、市長の祝状及び額を贈った。【高齢者福祉課及び各総合支所市民福祉健康課】

・贈呈者数：85組

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
贈呈（組）	93	92	107	83	85
決算（円）	192,081	192,533	204,050	172,162	196,548

2　寿賀に対し、市長の祝状及び筒又は額を贈った。【高齢者福祉課及び各総合支所市民福祉健康課】

・贈呈者数　100歳：24人、99歳：39人、88歳：492人

年度			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
贈呈（人）	100歳	男	6	2	3	4	7
		女	11	16	15	25	17
		計	17	18	18	29	24
	99歳	男	3	3	7	14	4
		女	30	18	30	26	35
		計	33	21	37	40	39
	88歳	男	155	169	164	173	154
		女	329	331	291	318	338
		計	484	500	455	491	492
決算（円）			276,896	297,888	294,489	329,462	279,606

事 業 名		緊急通報システム整備事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2112-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,258,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	4,258,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	2,857,145 円
事業の目的	緊急通報装置を貸与することにより、日常生活の緊急事態における高齢者の不安を解消し、もって高齢者福祉の向上を図る。		事業の概要	ひとり暮らし高齢者等が緊急時において、救急車を呼ぶことができる装置及びペンダントを貸与する。定期的な安否確認、24 時間 365 日対応の健康相談により利用者を見守る。

事業の実績・成果

65 歳以上のひとり暮らし高齢者等で身体上慢性的な疾患により常時注意を要する方に、緊急通報を発信する機器を貸与することで、緊急事態における不安を解消した。

貸与機器　緊急通報用電話機、携帯用無線発信機（ペンダント）
事業内容　機器の設置・撤去工事、機器点検訪問
電話健康相談、電話による定期的な安否確認、緊急時の救急搬送要請

【緊急通報システム利用件数及び設置台数】　（単位：件）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
緊急出場件数	50	31	35	27	30
搬送件数	39	25	31	22	21
電話健康相談※	61	72	40	122	103
設置台数	173	146	143	144	151
うち新規設置台数	14	12	24	25	28

※電話健康相談については、平成 26 年 1 月から開始。

事 業 名		ねたきり老人等日常生活用具給付等事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2112-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	98,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	98,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	3,483 円
事業の目的	高齢者の安全の確保と自立の促進を図る。		事業の概要	・用具の給付・貸与（自動消火器・電磁調理器・福祉電話） ・利用者からの申請に基づき市が利用決定 ・委託業者から納品

事業の実績・成果

・高齢者の自立支援及び日常生活における安全の確保に努めた。
・日常生活用具の給付・貸与を行った。

【高齢者用福祉電話】

使用料 ＝ 屋内配線使用料＋電話機使用料

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用人数（人）	6	6	7	3	3
使用料（円）	19,925	19,867	19,951	13,798	3,483

※令和元年度中に 3 件の解約があったため、令和 2 年 3 月 31 日現在における利用者はなし。

事 業 名		養護老人ホーム入所事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2112-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	70,796,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	70,796,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	62,398,154 円
事業の目的	住居の確保を通じ、高齢者の更なる福祉の充実を図る。	事業の概要	65 歳以上の者で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホーム等に入所措置する。	

事業の実績・成果

入所判定委員会を経て、居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホーム等へ入所させ、生活の安定を図った。

【老人ホーム入所判定委員会開催及び新規入所数】 (単位：回、人)

老人ホーム入所判定委員会		老人ホーム（養護・特養）新規入所者数
開催回数	期　　日	
2	令和元年 8 月 21 日 令和 2 年 3 月 18 日	4 (加須 3、北川辺 1)

※　養護者による虐待により、生命又は身体に重大な危険が生じているおそれがあると認められる高齢者を一時的に保護する場合は、入所判定委員会の開催を待つことなく入所措置を行うことができる。

【養護老人ホーム等入所状況】　令和 2 年 3 月 31 日現在 (単位：人)

あいせんハイム	偕楽荘	清和園	熊谷ホーム	みずほの里	合計
16	5	1	4	1	27

【老人ホーム入所事業費】 (単位：円)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
委託料	53,342,653	60,195,813	61,736,900	58,642,771	62,398,154

事 業 名		配食サービス事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2112-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	15,065,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	15,065,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	13,226,320 円
事業の目的	ひとり暮らし高齢者等の見守り及び栄養面における在宅生活の自立を支援し、要介護状態への進行を防止する。		事業の概要	在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯等に属する者のうち調理することが困難な者に対し栄養のバランスのとれた食事を配送する。 週に3回まで利用可能。 1食880円(内訳　自己負担：300円、市負担：580円)

事業の実績・成果

配食サービスの提供によって、在宅のひとり暮らし高齢者等の栄養状態の維持・改善とともに見守りの役割を果たすことができた。

対象者

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する者で、調理を行うことが困難な者。

事業内容

昼食時に栄養バランスを考慮して調理された食事を居宅に配達する。
また、食事の配達時に安否の確認を行い、異常がある場合は速やかに関係機関への連絡等を行う。
なお、事業の実施は、1日1食、1週間に3回まで、月曜日から金曜日までの昼食とする。

【利用状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用人数（人）	174	210	216	206	195
利用実績（円）	11,184,250	12,016,950	12,822,700	12,502,600	13,226,320

※各年度3月31日現在の人数
※平成27年度から一般会計へ移行

事 業 名	ひとり暮らし高齢者把握事業		
担 当 課	高齢者福祉課	総合振興計画コード	2112-06
款 03	民生費	当 初 予 算 額	809,000 円
項 01	社会福祉費	最 終 予 算 額	809,000 円
目 06	老人福祉費	決 算 額	732,140 円
事業の目的	ひとり暮らし高齢者を把握し、安否確認や緊急時の連絡体制を確保・強化する。	事業の概要	民生委員による訪問調査（見守り活動）をもとに、満 65 歳以上のひとり暮らし高齢者世帯及び高齢者のみの世帯の緊急連絡先等を登録・更新する。登録は希望制で、3 年に一度全対象者を訪問調査する。

事業の実績・成果

民生委員の訪問調査によって、ひとり暮らし高齢者世帯及び高齢者のみの世帯の状況を把握し、その結果データを台帳に入力・管理することで、緊急時の連絡体制の確保など高齢者支援の基本情報として活用することができた。

調査方法　民生委員による訪問調査
調査結果　65 歳以上のひとり暮らし高齢者世帯　3,547 世帯（令和 2 年 3 月 31 日時点）
　　65 歳以上のみの高齢者世帯　3,948 世帯（令和 2 年 3 月 31 日時点）
台帳活用　市が実施する福祉事業、社会福祉協議会や高齢者相談センターが実施する事業の基本情報として活用
台帳更新　随時、調査結果を入力し台帳を更新

ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯数　（単位：世帯）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
ひとり暮らし高齢者世帯	2,743	2,917	3,178	3,357	3,547
高齢者のみの世帯	3,330	3,564	3,704	3,856	3,948
合計世帯数	6,073	6,481	6,882	7,213	7,495

※世帯数は、民生委員の訪問調査により把握した数。
※令和元年度は、3 年に一度の全対象者調査

事 業 名	ひとり暮らし高齢者地域交流助成事業			
担 当 課	高齢者福祉課		総合振興計画コード	2112-07
款	03	民生費	当 初 予 算 額	400,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	400,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	400,000 円
事業の目的	ひとり暮らし高齢者の見守りや仲間づくり、生きがいづくりを促進し、要介護状態になることを予防する。	事業の概要	社会福祉協議会に対し、ひとり暮らし高齢者地域交流事業を推進するための補助金を交付する。	

事業の実績・成果

社会福祉協議会が実施する「ひとり暮らし高齢者地域交流事業」の推進を図るため、社会福祉協議会に対し、補助金を交付し、地域交流を通じた高齢者の仲間づくりや生きがいづくりを推進した。

内　　容　　ひとり暮らし高齢者を対象としたふれあい会食会の開催等

実　　施　　各地域・支部社協

【利用状況】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実施回数（回）	94	103	99	100	84
参加延数（人）	1,805	2,255	2,035	1,994	1,676

※社会福祉協議会に対し、事業費の一部を補助

※平成 24 年度から新規事業として実施

※平成 28 年度から会食会のほか、付随する交流事業を含む。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 2 年 3 月は事業を実施せず。

事 業 名	社会福祉法人による介護保険低所得者対策事業			
担 当 課	高齢者福祉課		総合振興計画コード	2113-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	371,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	371,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	0 円
事業の目的	低所得者の介護保険サービスの利用促進を図る。	事業の概要	社会福祉法人等が対象者に対して利用者負担の 1/4（老齢福祉年金受給者は 1/2、生活保護受給者は居住費のみ全額）の軽減を行い、利用者負担を軽減した総額のうち、本来受領すべき利用者負担収入の 1%を超えた部分の 1/2 を上限として、市が社会福祉法人に助成する。	

事業の実績・成果

本事業は、生計困難者に対して介護保険サービスの利用者負担を軽減している社会福祉法人等に助成するものであるが、要件に該当する法人等がなかった。

・社会福祉法人等利用者負担軽減対象者　5 人（うち介護保険サービス利用者　5 人）

・利用者負担軽減対象者の利用実績を有する社会福祉法人　3 施設

・施設への助成額　0 円

（対象者に対する軽減額が、施設が本来受領すべき利用者負担収入額の 1 %未満のため）

【事業実績】

区　分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用人数（人）	4	6	5	4	5
予算額（円）	368,000	368,000	371,000	371,000	371,000
決算額（円）	0	0	0	0	0

事 業 名		介護サービス利用者負担助成事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2113-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	27,695,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	27,695,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	26,838,768 円
事業の目的	要介護又は要支援の認定を受け、在宅介護サービスを利用している低所得者に対し、利用者負担額の一部を助成することにより経済的負担を軽減する。		事業の概要	市民税非課税世帯の在宅介護サービス利用者が申請することにより、利用金額の一部(25%)を助成する。

事業の実績・成果

新規対象者及び未申請者宛に毎月勧奨通知を送付し、事業の周知に努めた。その結果、申請件数は増加するなど、低所得者の経済的負担を軽減するとともに、在宅での介護サービスを普及することができた。

【介護サービス利用者負担助成利用状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対象件数（件）	10,150	10,668	11,675	11,981	12,741
申請件数(件)	9,650	10,417	11,176	11,645	12,410
助成額(円)	21,711,790	23,290,414	25,407,549	25,376,904	26,838,768

事 業 名		ねたきり老人等居宅介護者慰労金支給事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2113-14
款	03	民生費	当 初 予 算 額	10,500,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	10,500,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	9,545,000 円
事業の目的	介護される方が尊厳をもって自立した日常生活を送ることができるよう、在宅で介護を行う家族介護者を支援する。		事業の概要	要介護4又は5の認定を受け、在宅でねたきりの高齢者を介護する家族介護者に対し、ねたきり老人等居宅介護者慰労金を支給する。

事業の実績・成果

在宅の要介護高齢者を介護している家族等に対し、慰労金を支給することによって、介護者の負担の軽減を図ることができた。

【年度別・介護度別支給状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
延人数（人）	要介護4 347	要介護4 325	要介護4 327	要介護4 321	要介護4 280
	要介護5 205	要介護5 199	要介護5 196	要介護5 202	要介護5 201
支給額（円）	11,010,000	10,555,000	10,230,000	10,335,000	9,545,000

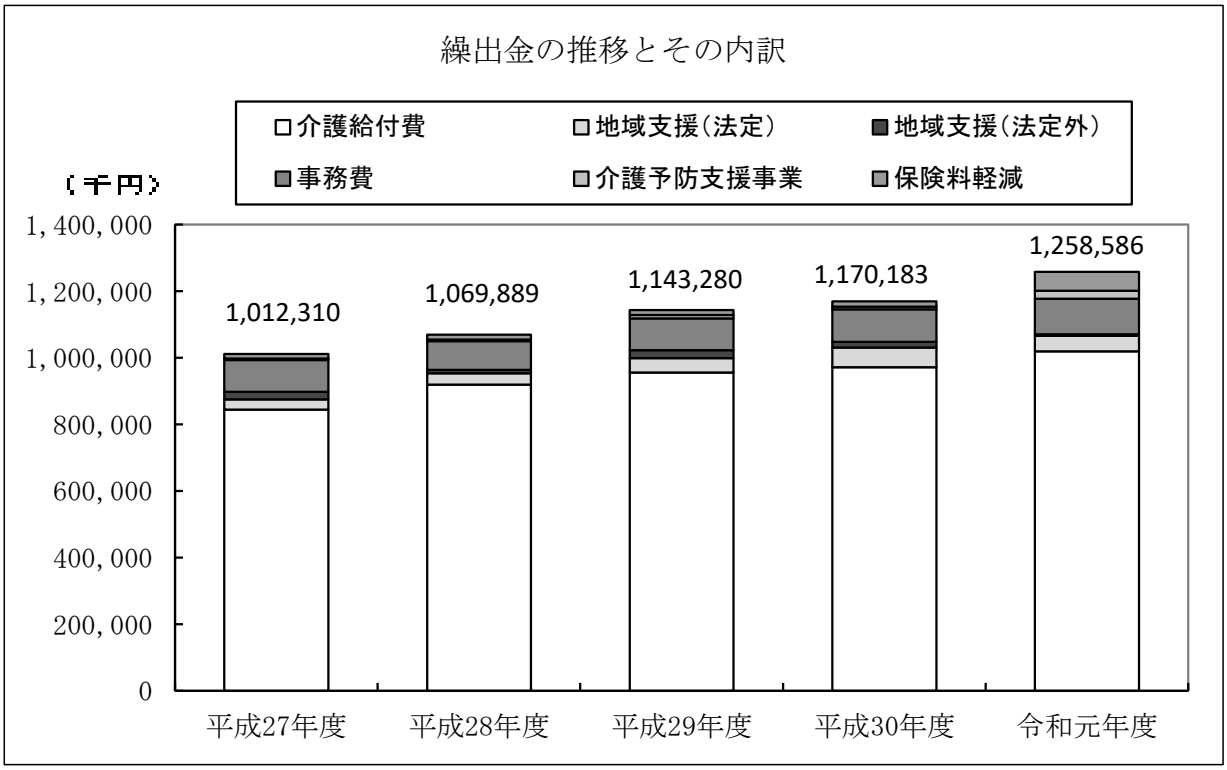
※令和元年度から事業を一般会計に移行して実施。

事 業 名		介護保険事業特別会計繰出事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2117-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,216,606,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,258,841,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	1,258,585,870 円
事業の目的	高齢者の自立支援の理念に基づき、介護保険事業の健全かつ円滑な運営を行う。		事業の概要	介護保険法に基づき、介護保険給付費、地域支援事業費にかかる費用及び介護保険運営上の事務経費を負担する。

事業の実績・成果

(単位：円)

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
繰出金合計	1,012,310,440	1,069,889,000	1,143,666,397	1,170,183,460	1,258,585,870
実質繰出額	969,256,140	997,466,151	1,085,500,673	1,122,911,987	1,212,031,692
一般会計への返還金	43,054,300	72,422,849	58,165,724	47,271,473	46,554,178



事 業 名		後期高齢者医療広域連合負担事業		
担 当 課		国保年金課	総合振興計画コード	2225-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,031,188,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,031,188,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	1,026,382,602 円
事業の目的	国民皆保険を堅持し、将来にわたり安定的で持続可能なものとしていくため、後期高齢者医療制度の健全な運営を図る。		事業の概要	広域連合運営に係る経費を各市町村が広域連合規約の規定に基づき、人件費、光熱水費等の①共通経費分や、②医療給付費に要する経費対象額の1/12 相当額を負担する。

事業の実績・成果

○埼玉県後期高齢者医療広域連合規約に基づき、医療給付に要する経費について負担を行った。

療養給付費負担金　1,003,621,300 円

○埼玉県後期高齢者医療広域連合規約に基づき、広域連合の共通経費について構成市町村で負担を行った。

埼玉県後期高齢者医療広域連合市町村負担金

① 均等割　　共通経費総額の 10%を構成市町村で除して算出

② 人口割　　共通経費総額の 45%に構成市町村の平成 31 年 3 月 31 日現在の総人口に占める各市町村の割合を乗じて算出

③ 高齢者人口割　　共通経費総額の 45%に構成市町村の平成 31 年 3 月 31 日現在の満 75 歳以上人口に占める各市町村の割合を乗じて算出

共通経費負担金　22,761,302 円

事 業 名		後期高齢者医療特別会計繰出事業		
担 当 課		国保年金課	総合振興計画コード	2225-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	268,786,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	268,786,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	256,160,652 円
事業の目的	高齢期における適切な医療の確保を図るため、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図る。	事業の概要	低所得者への負担軽減（7 割・5 割・2 割）及び事務費等について一般会計から繰り出しを行う。	

事業の実績・成果

○埼玉県後期高齢者医療広域連合の条例の定めにより、所得の少ない者について、保険料の均等割額（41,700 円）の軽減賦課に基づき減額した額を基礎として負担を行った。

・埼玉県後期高齢者医療基盤安定事業負担金　227,679,419 円

県負担分(3/4)　170,759,564 円

市負担分(1/4)　56,919,855 円

低所得者軽減分（法 99①関係）

	対象被保険者数（人）	１人当たり軽減額(年間)（円）	軽減額総計（円）
２割軽減	1,539	8,340	12,464,130
５割軽減	1,623	20,850	32,720,569
７割軽減	6,424	29,190	181,087,358
合計	9,586	－	226,272,057

被扶養者軽減分（法 99②関係）

	対象被保険者数（人）	１人当たり軽減額(年間)（円）	軽減額総計（円）
５割軽減	91	20,850	1,407,362

○後期高齢者医療特別会計に対し、事務費分について繰り出しを行った。

・後期高齢者医療特別会計事務費繰出金　14,148,000 円

○後期高齢者医療特別会計に対し、健康診査充実事業分について繰り出しを行った。

・後期高齢者医療特別会計健康診査充実事業繰出金　11,643,433 円

○後期高齢者医療特別会計に対し、保養施設利用分について繰り出しを行った。

・後期高齢者医療特別会計保養施設利用助成事業繰出金　2,457,000 円

○後期高齢者医療特別会計に対し、人間ドック・脳ドック利用分について繰り出しを行った。

・後期高齢者医療特別会計人間ドック・脳ドック利用助成事業繰出金　232,800 円

事 業 名		老人福祉センター管理運営事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2111-12
款	03	民生費	当 初 予 算 額	40,270,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	40,270,000 円
目	07	老人福祉センター費	決 算 額	37,158,078 円
事業の目的	高齢者の健康づくりと生きがいづくりを目的とする。		事業の概要	入浴施設（不老荘・大利根）、広間、舞台、カラオケ、囲碁将棋、マッサージ器等の設備の利用促進と整備を図る。 高齢者の生きがいづくり、健康づくり、また、居場所づくりの拠点として、衛生的な公衆浴場としての機能とレクリエーション機能を持った、安全かつ交流が図れる環境を確保する。

事業の実績・成果

各センターにおいて、高齢者が地域の仲間と共に健康で明るい生活を楽しむための様々なイベントを開催した。

なお、令和元年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年2月27日から同年3月31日までの間、各センターを休館した。

年間行事：カラオケ大会、オレオレ詐欺対策講習会、交通安全講習会、バラ園見学、健康体操、健康相談、記念イベント

※実施内容は、センターにより異なる。

【老人福祉センター利用者】 （単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
老人福祉センター不老荘	19,784 (52)	22,435 (38)	23,361 (36)	23,093 (51)	20,470 (61)
騎西老人福祉センター	5,784 (63)	5,153 (109)	6,257 (85)	8,967 (120)	8,007 (98)
北川辺老人福祉センター	5,698 (14)	5,789 (14)	5,388 (13)	4,919 (9)	4,765 (15)
大利根総合福祉会館	38,533 (11,856)	36,624 (11,143)	34,928 (10,417)	37,992 (11,612)	32,530 (10,477)
合　計	69,799 (11,985)	70,001 (11,304)	69,934 (10,551)	74,971 (11,792)	65,772 (10,651)

※（　）の数字は、うち市外利用者の数

・高齢者の快適な滞在環境の確保のために必要な整備を実施した。

（不老荘：直営）

浴槽タイル修繕工事　139,040 円

入口自動ドア修繕　46,440 円

（騎西：指定管理）

老人福祉センター指定管理委託　4,637,875 円

（北川辺：直営）

浄化槽流量調整ポンプ交換修繕　441,100 円

カラオケ機器修理　37,800 円

筋トレマシン修理　11,000 円

（大利根：指定管理）

大利根総合福祉会館指定管理委託　12,661,000 円

浄化槽設備改修工事　799,200 円

事 業 名	ファミリーサポートセンター事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1114-14
款	03	民生費	当　初　予　算　額	5,154,000 円
項	01	社会福祉費	最　終　予　算　額	5,154,000 円
目	08	男女共同参画費	決　　算　　額	5,034,510 円
事業の目的	子どもの健やかな成長と女性の社会参画を支援するため、きめ細かい育児サポートを行い、仕事と育児を両立できる環境を整備する。同時にコミュニティー活動等への積極的な参加を促進する。	事業の概要	育児支援が行える市民（協力会員）と、育児支援を必要とする市民（利用会員）で会員組織化し、かぞファミリーサポートセンターにおいて調整のうえ、相互援助活動を行う。また、相互援助活動のための調整役（コーディネーター）は平成31年4月1日から本庁舎へ統合		

事業の実績・成果

○かぞファミリー・サポート・センターの運営

育児の支援を受けたい方（利用会員）と育児の援助に協力できる方（協力会員）とで組織化しており、相互援助活動することにより仕事と家庭の両立を支援し安心して働ける環境づくりを行った。また、公共施設へのポスターの掲示や市報かぞで協力会員の募集を行い会員確保に努めた。

◇会員数の推移　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用会員	383	352	334	272	256
協力会員	145	142	138	124	135
両方会員	49	48	39	30	23
合　　計	577	542	511	426	414

◇利用件数の推移　（単位：件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用件数合計	8,005	7,547	4,781	5,383	4,962

○会員養成講習会の実施

会員及び協力会員を希望する方を対象に、センターの役割、サポート中の事故防止や保育等についての講習会を開催し、新規協力会員の確保及び既存会員のスキルアップに努めた。

第1回　日時　令和元年7月17日（水）、18日（木）午前9時30分～11時30分
　　場所　三俣コミュニティセンター及び埼玉県東部消防組合加須消防署
　　延べ参加者　33名

第2回　日時　令和2年1月24日（金）、29日（水）、2月6日（木）午前9時30分～11時30分
　　場所　埼玉県東部消防組合加須消防署、加須市役所本庁舎、文化学習センター学習棟
　　延べ参加者　65名

○全体交流会及びミニ交流会の実施

利用会員、協力会員、一般市民を対象に事業のＰＲや参加者の交流を図った。

全体交流会　令和2年2月19日（水）　キャッスルきさい
　　「おはなしボランティア　どんぐりころころ」人形劇とリトミック

ミニ交流会　令和元年6月13日（木）　市役所本庁舎　テーマ：制作、健康づくり
　　令和元年7月30日（火）　キャッスルきさい　テーマ：食育
　　令和元年11月14日（木）　市役所本庁舎　テーマ：体づくり

○会報「ふぁみさぽ通信」の発行

令和元年10月、会員養成講習会やフォローアップ研修会や活動内容、新制度である保育無料化について全会員に配布した。

事 業 名	ひととき託児事業		
担 当 課	子育て支援課	総合振興計画コード	1114-16
款 03	民生費	当 初 予 算 額	1,257,000 円
項 01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,257,000 円
目 08	男女共同参画費	決 算 額	1,052,142 円
事業の目的	子育て中の女性など、市民の社会参加促進を図るとともに、市民のボランティア意識の高揚を図る。	事業の概要	市が主催する講演会・セミナー等に、子育て中の市民が参加する間、事前登録された市民ボランティアが託児を行う。 対象年齢は 2 歳から就学前の児童で、託児時間は概ね 2 時間までとしている。 ボランティアは公募し講習会修了後、登録。活動 1 回に対し、1,500 円の謝金を支払う有償ボランティアである。

事業の実績・成果

市が主催またはこれに準ずる講演会・講座等に市民が参加する際に、登録している市民ボランティアが託児を行い、子育て中の女性の積極的な社会参加の支援とボランティアの活動への意識高揚を図った。また、預かる児童の状況に応じて、ボランティアの派遣人数を実施要綱で定めている配置基準より増やし安心・安全な託児に努めた。

◇ひととき託児ボランティア活動の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
託児児童数(人)	1,453	1,168	1,088	1,209	1163
ボランティア派遣数(人)	725	590	601	624	598
活動件数（件）	242	220	201	201	174

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2 月下旬から託児依頼のキャンセルが始まり、3 月のボランティア活動はなし。

事 業 名		男女共同参画基本計画進行管理事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6221-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	63,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	63,000 円
目	08	男女共同参画費	決 算 額	53,732 円

事業の目的	男女が互いに人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別にかかわりなくその個性と能力を十分に発揮し、家庭や地域、職場や学校等社会のあらゆる分野において対等に参画し、共に責任を負う社会を実現する。	事業の概要	「加須市男女共同参画基本計画」の各種施策の進捗状況を調査し、審議会に報告し公表する。 【計画期間】平成 24 年度～令和 3 年度

事業の実績・成果

○男女共同参画基本計画に基づく各種事業の進行管理

加須市男女共同参画基本計画の進捗状況を把握するため、関係各課に施策の達成状況調査を行った。定期的に進行管理を行うことで各課に対し計画の推進を促した。

調査方法及び調査結果については、加須市男女共同参画審議会へ諮問・報告を行った。

◇審議会の開催状況

開催日・場所	諮問内容	出席人数
令和元年 8 月 23 日（金） 市民プラザかぞ 5 階 青年センター談話室	・平成 30 年度「加須市男女共同参画プラン」事業実績と評価について	14 人

◇「加須市男女共同参画プラン」平成 30 年度進捗状況調査結果一覧

基本目標	事業数	取組に対する評価（%）				
		1	2	3	4	5
社会全体における男女共同参画の推進	25	16 事業	1 事業	7 事業	1 事業	0 事業
		64.0%	4.0%	28.0%	4.0%	0.0%
家庭における男女共同参画の推進	11	3 事業	5 事業	2 事業	1 事業	0 事業
		27.3%	45.4%	18.2%	9.1%	0.0%
地域における男女共同参画の推進	15	3 事業	5 事業	6 事業	1 事業	0 事業
		20.0%	33.3%	40.0%	6.7%	0.0%
働く場における男女共同参画の推進	14	8 事業	3 事業	3 事業	0 事業	0 事業
		57.2%	21.4%	21.4%	0.0%	0.0%
教育の場における男女共同参画の推進	7	4 事業	3 事業	0 事業	0 事業	0 事業
		57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%
合 計	72	34 事業	17 事業	18 事業	3 事業	0 事業
		47.2%	23.6%	25.0%	4.2%	0.0%

※平成 30 年度評価基準

1 …目標を達成（実績値が目標値の 100%以上に達し、当該年度の目標を達成した）
2 …概ね順調（実績値が目標値の 80%以上に達した）
3 …やや遅れている（実績値が目標値の 80%未満となった）
4 …大幅に遅れている（実績値が目標値の 50%未満となった）
5 …未着手（何らかの理由により、事業の着手ができなかった）

事業名	ＤＶ（ドメスティック･バイオレンス）等相談事業		
担当課	人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6221-03
款 03	民生費	当初予算額	501,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	501,000円
目 08	男女共同参画費	決算額	490,518円
事業の目的	配偶者等男女間の暴力を防止・廃絶するため、男女が共に自立し、対等なパートナーとして生活できる社会を構築する。	事業の概要	女性ホットライン（電話相談）で、子育ての悩み・家庭不和・就業支援など、女性に係る各種相談に対し、的確な支援対応に努めるとともに、ＤＶネットワーク会議を開催し、関係各課・機関との情報の共有を図る。 また、ＤＶ防止基本計画を踏まえ、市民からの相談や援助要請などに迅速に対応する。

事業の実績・成果

○相談事業

配偶者等からの暴力（以下ＤＶという）等に対する電話相談事業の充実を図り、関係機関との連携により相談者への的確な支援を行うことにより、ＤＶ被害の防止、抑制に努めた。

◇相談件数の推移　（単位:件）

女性ホットライン（電話）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	242	270	202	199	186

※電話相談186件中ＤＶ相談3件

※毎週月曜日　9：00～16：00（年末年始を除く）

女性相談員による相談業務（令和元年度実施日数　51日）

◇一時保護施設入所件数の推移　（単位:件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一時保護施設入所数	2	0	0	1	1

◇ＤＶネットワーク会議等

ＤＶ被害者に関する情報を関係機関及び関係各課に提供・共有化を図り、個別の事案に対しての的確な支援方法及び連携関係を構築するための会議を実施した。

1　日　　時　平成31年4月24日（水）13：30～（ＤＶネットワーク会議）

場　　所　加須市役所 5階506会議室

関係課等　市民相談室・市民課・子育て支援課・保育幼稚園課・地域福祉課・生活福祉課・障がい者福祉課・高齢者福祉課・健康づくり推進課・騎西総合支所地域振興課・騎西総合支所市民福祉健康課・北川辺総合支所地域振興課・北川辺総合支所市民福祉健康課・大利根総合支所地域振興課・大利根総合支所市民福祉健康課・学校教育課

内　　容　①DV被害者支援に必要な共通確認事項について

②平成30年度 加須市におけるDV被害者支援の状況について

③情報交換

2　日　　時　令和元年12月23日（月）13：30～

（埼玉県主催「令和元年度ＤＶ被害者支援事例対応会議」）

場　　所　加須市役所 5階503会議室

関係課等　本市関係課（同上）、埼玉県男女共同参画課、埼玉県婦人相談センター

助言者（女性支援コーディネーター　ＤＶ被害者支援アドバイザー）

内　　容　①ＤＶ被害者相談支援状況について

②事例検討（模擬事例）

③意見交換

事 業 名		女性人材育成事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6221-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,749,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,749,000 円
目	08	男女共同参画費	決 算 額	1,727,200 円

事業の目的	女性の社会参画を促すため、リーダーの資質を備えた人材の発掘及び能力向上を図り、より良いまちづくりを目的とした女性団体の活発な活動を支援する。	事業の概要	各女性団体間の連携や会員の男女共同参画に対する意識を高めるために、合同研修会の開催などを通じて地域における女性人材の育成を促進する。

事業の実績・成果

○女性リーダー研修会

女性のリーダー的人材の発掘及び資質の向上を図る目的で実施し、51 人参加した。

日　時　　令和２年２月３日（月）午前 10 時 30 分～
場　所　　市民プラザかぞ５階　女性・青年センター活動室（会場借上料 2,200 円）
講　師　　埼玉県福祉部福祉政策課職員（県政出前講座）
演　題　　「虐待のない社会を目指して～虐待の現状と県の取組～」

○女性団体補助金交付

各女性団体に対し積極的な地域活動の支援と男女共同参画行政への協力を図るため、補助金を交付し、事業推進を支援した。

1　かぞ地域女性会連合会・各地区女性会
　地域活動・行事への参加(平和祭・快適かぞ市民活動等)、全地婦連や県婦連の会議・研修会に参加、部会活動(健康部・環境部・福祉部等)、広報紙の発行などの活動を実施した。
2　加須市騎西女性団体連絡協議会
　地域活動・行事への参加(銀杏祭)、視察研修会の開催などの活動を実施した。
3　北川辺女性団体連絡協議会
　地域活動・行事への参加、研修会や講座の開催などの活動を実施した。
4　加須市大利根連合婦人会・各地区女性会
　地域活動・行事への参加(市民まつり・かるた大会等)、全地婦連や県婦連の会議・研修会に参加などの活動を実施した。

(単位:円)

			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
補助金交付額	全域		1,785,000	1,725,000	1,725,000	1,725,000	1,725,000
	加須地域	かぞ地域女性会連合会	805,000	805,000	805,000	805,000	805,000
		各地区女性会(6 地区)	144,000	144,000	144,000	144,000	144,000
	騎西地域	加須市騎西女性団体連絡協議会	241,000	241,000	241,000	241,000	241,000
	北川辺地域	北川辺女性団体連絡協議会	213,000	213,000	213,000	213,000	213,000
	大利根地域	加須市大利根連合婦人会	322,000	274,000	274,000	274,000	274,000
		各地区女性会（2 地区）	－	48,000	48,000	48,000	48,000
		加須市女性団体合同研修会	60,000	－	－	－	－

（単位:人）

				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
会員数	全域			1,659	1,623	1,564	1,546	1,546
		加須地域	かぞ地域女性会連合会	558	518	504	491	479
		騎西地域	加須市騎西女性団体連絡協議会	350	326	291	285	268
		北川辺地域	加須市北川辺女性団体連絡協議会	150	156	146	147	156
		大利根地域	加須市大利根連合婦人会	601	623	623	623	643

○加須市女性団体合同研修会

加須市における女性団体が合同の研修会を行うことで、各女性団体間の連携・協働体制の強化を図った。

日　　時　　令和元年11月18日（月）13：30～
場　　所　　大利根文化・学習センター　アスタホール　多目的ホール
講　　師　　上智大学法学部教授　三浦　まり 氏
演　　題　　「地域活力は男女共同参画で」
参加人数　　195人

○加須市女性人材リスト

審議会等委員の選任の際、積極的に女性の登用を行えるよう女性人材リストの充実、活用を図ることを目的とし、人材リスト登録者を増やすため情報収集を行うとともに、女性人材リスト活用の推進に努めた。

（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
登録者	37	71	71	61	62

事 業 名		男女共同参画推進事業			
担 当 課		人権・男女共同参画課		総合振興計画コード	6221-05
款	03	民生費		当 初 予 算 額	1,278,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	1,278,000 円
目	08	男女共同参画費		決 算 額	1,104,652 円
事業の目的	男女共同参画社会の実現を図るため、積極的な啓発活動や各種相談事業等を充実させ、男女共同参画社会の形成を図る。		事業の概要	男女共同参画市民企画委員会と協働し、さまざまな啓発事業を実施する。また、各種相談事業の充実を図る。	

事業の実績・成果

○相談事業

くらしの中で起こるさまざまな出来事で悩んでいる女性のために、面接相談を実施した。

◇相談数の推移 (単位:件)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
女性のための相談室（面接）	28	38	25	20	23

※女性のための相談室

・面接による相談　毎週木曜日 13:00～16:00（令和元年度実施日数　50 日）

○男女の平等感の意識について

「家庭」「教育」「職場」「政治」「地域活動」の場、「社会通念や風潮」及び「法律や制度の上」では各設問において「平等と感じている」と回答した結果の平均は以下のとおり。

(単位:%)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
平等意識	33.0	32.1	32.4	31.9	29.3

※男女共同参画セミナー等の参加者を対象にアンケート実施

○各種審議会等における女性委員の割合

女性委員の登用を促進するとともに、女性委員が不在の審議会等の解消に努めている。

令和 2 年 3 月 31 日現在、女性委員のいる審議会は、44 審議会、うち 15 の審議会等において女性委員の登用率が 30%を超えている。

○人権・男女共同参画課が行う各種事業の進行管理

加須市人権・男女共同参画課が行う各種事業の計画及び実施内容について、加須市男女共同参画審議会へ諮問・報告を行った。

◇審議会の開催状況

開催日・場所	諮問内容	出席人数
令和元年 8 月 23 日（金） 市民プラザかぞ　5 階 青年センター談話室	・平成 30 年度「加須市男女共同参画プラン」の事業実績と評価について	14 人
令和元年 12 月 18 日（水） 本庁舎 5 階 503 会議室	・男女共同参画推進事業所表彰について	15 人

○男女共同参画市民企画委員会との協働

行政と市民との協働により男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関する講演会、セミナー、フォーラムなど、事業の企画立案から運営までを手がける「男女共同参画市民企画委員会」を運営した。令和元年度は委員 14 名により組織し、事業部、広報部、研修部の 3 部会に分れて活動した。基本的に毎月第 3 水曜日に定例会を開催し、その他必要に応じて各部会を開催し事業を推進した。

◇男女共同参画情報紙「ぱれっと№19・№20」の発行

男女共同参画市民企画委員会広報部が中心となり、企画から取材、編集までを手がけ、情報紙を発行し、年２回、市内全戸（約 39,000 戸）に配布した。

「ぱれっと№19」　・男女共同参画週間記念講演会　・手と手　・男女共同参画パネル展
・男女共同参画セミナーのお知らせ

「ぱれっと№20」　・みんなでフォーラム in かぞ　・男女共同参画推進事業所表彰
・男女共同参画セミナー　・手と手　・ワーク・ライフ・バランス
・女性のための相談事業

◇男女共同参画週間記念講演会の開催

日　　時　令和元年７月３日（水）14 :00～
場　　所　パストラルかぞ　小ホール
参加者数　138 人
内　　容　演題「性別違和を乗り越えて」
講師：清水　尚雄 氏（レインボーさいたまの会　加須代表）

◇男女共同参画セミナーの開催

	開催日・場所	内　　容	講　師	参加者数
1	令和元年 11 月 16 日（土） 市民プラザかぞ ５階 女性・青年センター活動室	講演会 「家族の健康は食事から」	ホテルオークラ 元総料理長 根岸 規雄　氏	74 人
2	令和元年 12 月７日（土） 市民プラザかぞ視聴覚ホール	コンサート 「クリスマスコンサート」	横笛奏者 大野 利可　氏	59 人
3	令和２年１月 29 日（水） 市民プラザかぞ ５階 女性・青年センター活動室	講演会 「野菜を楽しみ　もっと健康に！」	キユーピー株式会社 妻谷　勝弘　氏	67 人

◇「みんなでフォーラム in かぞ」の開催

男女共同参画市民企画委員会事業部が中心となり、企画から実施まで手がけ、広く市民に啓発した。

日　　時　令和２年１月 19 日（日）13:30～
場　　所　市民プラザかぞ　多目的ホール
参加者数　166 人
内　　容　・オープニングセレモニー
ハーモニカ演奏　早川　眞琴 氏（ハーモニカ奏者、加須市観光大使）
・男女共同参画推進事業所表彰：２事業所
（ダイユウエンタープライズ株式会社、株式会社ハマ電子）
・講演会
演題「防災と女性情報 ～守る命～」
講師：青木　玲子 氏（国立女性教育会館　情報課　客員研究員）

◇男女共同参画週間記念講演会・セミナー・フォーラム参加者数の推移

（単位:人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
男女共同参画週間記念講演会	106	129	140	95	138
男女共同参画セミナー	126	121	133	150	200
みんなでフォーラム in かぞ	183	140	161	184	166

◇加須市大利根男女共同参画連絡協議会への支援

補助金交付額 (単位:円)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
120,000	120,000	120,000	120,000	120,000

会員数 (単位:人)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
648	646	640	618	710

事業名		女性センター等運営事業		
担当課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6222-04
款	03	民生費	当初予算額	545,000円
項	01	社会福祉費	最終予算額	545,000円
目	08	男女共同参画費	決算額	366,413円
事業の目的	男女共同参画社会の実現を目指し、市民団体並びに相談者等の方々の利便を高めるため、男女共同参画社会推進のための拠点施設である女性センターを適切に運営する。	事業の概要	女性センター談話室、青年センター談話室、印刷室、ロッカー等の適切な管理運営を行う。	

事業の実績・成果

女性センター等管理運営事業

女性団体やボランティア団体が活動するスペースの提供や印刷室の管理運営を行い、各グループの自主的な活動を支援した。

◇女性センター各利用数の推移

女性センター利用数		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	女性センター談話室(人)	1,254	889	1,513	1,697	1,390
	青年センター談話室(人)	3,083	3,047	2,824	2,864	3,317
	コピー(枚)	17,192	18,871	9,470	8,954	6,927
	リソグラフ(件)	517	598	540	374	382

事 業 名		ワークライフバランス推進事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6222-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	22,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	22,000 円
目	08	男女共同参画費	決 算 額	18,016 円

事業の目的	働く人が意欲を持って仕事に取り組むことができ、かつ家庭や地域においても役割と責任を果たすことができるよう、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）のとれる男女共同参画社会の構築を目指す。	事業の概要	男女ともに仕事や子育てなど自らの希望する生活バランスが得られるよう、「男女共同参画推進事業所表彰」の周知などを通じて意識改革に向けた取組みを行う。

事業の実績・成果

○市内商工業者対象チラシ配布

勤労者の労働と家庭生活の両立のため、雇用者側の理解や職場環境を向上させるための啓発を行った。

・商工会会員事業所　2,300 社
・商工会未加入事業所　1,500 社

○男女共同参画推進事業所表彰

令和２年１月 19 日（日）開催の「みんなでフォーラム in かぞ」において、市内の男女共同参画推進事業所を表彰し、男女共同参画情報紙「ぱれっと」に掲載のうえ全戸配布することにより、市民や他の事業所の「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」について意識啓発を図った。

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
表彰事業所	件数(件)	2	2	2	3	2
	表彰事業所名	ひばりの里ネットワーク 敬愛会	ニッポー㈱関東工場 ㈱コロンバン埼玉工場	ウム・ヴェルト㈱ こうの経営グループ	ブリヂストンBRM（株） Step up consulting（株） 介護老人保健施設 虹の園	ダイユウエンタープライズ㈱ ㈱ハマ電子

事 業 名		子ども・子育て支援計画策定事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1111-01
款	03	民生費	当　初　予　算　額	2,805,000 円
項	02	児童福祉費	最　終　予　算　額	2,805,000 円
目	01	児童福祉総務費	決　　算　　額	2,387,000 円
事業の目的	子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、子ども及びその保護者に必要な子ども・子育て支援事業を総合的かつ計画的に行うため、子ども・子育て支援計画を策定する。	事業の概要	平成30年3月に、量の見込み・確保方策等の中間見直し実施した。平成30年度に実施した第2期支援計画策定に伴う市民意向調査を基に、子ども・子育て会議等で意見聴取を行い、令和元年度に第2期計画を策定。	

事業の実績・成果

「第2期加須市子ども・子育て支援計画」は、本市の子ども・子育て支援施策を総合的に取りまとめた計画として策定した。

本計画は、次世代育成支援対策推進法に基づく「市町村行動計画」を「第2編　子ども・子育て支援計画」に位置付けるとともに、「子育て安心プラン」及び「新・放課後子ども総合プラン」、「子どもの貧困対策推進計画」も含めたものとして策定した。

また、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」の内容を「第3編　子ども・子育て支援事業計画」として策定した。

◇計画策定に係る経過

年　月　日	内　容　等
令和元年6月3日	令和元年度　第1回加須市子ども・子育て会議 ・委員の委嘱 ・副会長の互選
令和元年6月25日	令和元年度　第1回加須市子ども・子育て支援計画庁内推進委員会 ・平成30年度加須市子ども・子育て支援計画実施状況報告について ・第2期加須市子ども・子育て支援計画策定について
令和元年7月9日	第10回政策会議 ・「第2期加須市子ども・子育て支援計画」策定について
令和元年7月19日	令和元年度　第2回加須市子ども・子育て会議 ・平成30年度加須市子ども・子育て支援計画実施状況報告について ・第2期加須市子ども・子育て支援計画策定について
令和元年10月7日 令和元年10月9日	第14回政策会議 ・「第2期加須市子ども・子育て支援計画」策定について
令和元年10月24日	令和元年度　第3回加須市子ども・子育て会議 ・第2期加須市子ども・子育て支援計画策定について
令和元年11月25日～ 12月24日	第2期加須市子ども・子育て支援計画についての意見募集 （パブリックコメント）
令和2年1月17日	令和元年度　第4回加須市子ども・子育て会議 ・第2期加須市子ども・子育て支援計画策定について
令和2年1月31日	加須市子ども・子育て支援計画協議（県）
令和2年2月27日	加須市子ども・子育て支援計画承認通知（県）

事 業 名		子ども・子育て支援計画進行管理事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1111-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	403,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	403,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	212,130 円
事業の目的	子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、子ども及びその保護者に必要な子ども・子育て支援事業を総合的かつ計画的に行うために策定した、子ども・子育て支援計画を着実に実行することにより、「子育てするなら加須」と言えるような子育て支援のまちを実現する。	事業の概要	各年度の実施状況を把握、点検し、加須市子ども・子育て会議において報告のうえ、市民に公表する。	

事業の実績・成果

加須市子ども・子育て支援計画（平成27年度～令和元年度）における、平成30年度の実施状況を関係各課へ照会し取りまとめたところ、目標を達成及び概ね達成したのは全事業の86%であった（実施状況等は以下のとおり）。この実施状況を加須市子ども・子育て会議に報告し、併せて市のホームページで公表した。

・加須市子ども・子育て会議
　第2回会議（令和元年6月25日）

平成30年度　加須市子ども・子育て支援計画の進捗状況評価一覧表
（上段は再掲を含む取組数）

（単位：件）

基 本 目 標	取 組 数	取組に対する評価数（%）				
		1	2	3	4	5
1　地域における子育て支援と少子化対策	104	52 (50%)	35 (34%)	10 (9%)	7 (7%)	0 (–%)
	(うち再掲43)	(うち再掲27)	(うち再掲13)	(うち再掲1)	(うち再掲2)	
2　親と子の健康づくり	32	13 (41%)	9 (28%)	7 (22%)	3 (9%)	0 (–%)
	(うち再掲11)		(うち再掲7)	(うち再掲3)	(うち再掲1)	
3　ワーク・ライフ・バランスの子育て支援	27	16 (59%)	9 (33%)	2 (8%)	0 (–%)	0 (–%)
	(うち再掲1)		(うち再掲1)			
4　教育環境の充実	72	31 (43%)	35 (49%)	5 (7%)	1 (1%)	0 (–%)
	(うち再掲19)	(うち再掲10)	(うち再掲9)			
5　安全で安心な 生活環境の充実	35	22 (63%)	11 (32%)	2 (5%)	0 (–%)	0 (–%)
	(うち再掲6)	(うち再掲1)	(うち再掲5)			
合　　計	270	134 (49%)	99 (37%)	26 (10%)	11 (4%)	0 (–%)
再掲を除く合計	190	96 (50%)	64 (34%)	22 (12%)	8 (4%)	0 (–%)

※ 平成30年度評価基準
1　… 達成済（事業実施による効果が表れた。【実績値が100%以上】）
2　… 概ね順調（事業実施による効果が概ね現れた。【実績値が80%以上】）
3　… やや遅れている（事業実施による効果が小さかった。【実績値が80%未満】）
4　… 大幅に遅れている（事業実施による効果が表れなかった。【実績値が50%未満】）
5　… 未着手（事業の着手が出来なかったもの）

事 業 名	産後支援ヘルパー派遣事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1111-07
款	03	民生費	当 初 予 算 額	701,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	701,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	128,492 円
事業の目的	核家族化や子育ての孤立化が進行する中、産後支援ヘルパーを派遣し、出産後間もない産婦に対し、安心した環境で子育てができるよう支援する。	事業の概要	出産後、家事援助が受けられない者に対し、緊急時を含め社会福祉協議会との調整をし、1 日 1 回（30 回を限度）、午前 9 時から午後 5 時までの 2 時間の間、食事の世話、衣類の洗濯、住まい等の清掃、買い物、沐浴の介助等の支援をする。	

事業の実績・成果

出産後、家族等から家事援助等が受けられず、日常生活を営むのに支障がある家庭に対して、ホームヘルパーを派遣し、家事援助による子育て支援を行った。すくすく子育て相談室、加須保健センター、市民課、各総合支所市民福祉健康課やイベント等で事業のチラシを配布し周知を図ることで申請数は前年度と同数だった。当該年度は、申請後、急遽、里帰り出産や祖父母の支援を受けられるケースが多く、ほぼ半数のキャンセルがあった。

委託先：（社）加須市社会福祉協議会

派遣世帯数・事業委託費の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
派遣世帯数（世帯）	3	6	7	11	5
派遣日数（日）	25	81	78	167	39
派遣時間（時間）	42.5	109	123	284	62
事業委託費（円）	54,915	147,735	183,410	573,316	128,492

事 業 名		子育て短期預かり事業			（総合戦略）
担 当 課		子育て支援課		総合振興計画コード	1111-11
款	03	民生費		当 初 予 算 額	1,244,000 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	1,244,000 円
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	834,900 円
事業の目的	育児疲れや仕事、学校等の公的行事への参加のため、一時的に子どもの養育が困難になったときに市が委託した施設で預かり、養育困難時の子育てを支援することで子育て支援の充実を図る。		事業の概要	保護者の病気、育児疲れ、学校行事への参加等により養育が一時的に困難となる児童を、委託先の（福）愛の泉で預かる事業。 ・ショートステイ…0 歳～18 歳未満、7 日間まで、食事あり ・トワイライトステイ（平日夜間＝学校等終了後～午後 9 時）…3 歳～小学生、食事あり ・ホリデーステイ（午前 8 時 30 分～午後 9 時）…3 歳～小学生、食事あり	

事業の実績・成果

令和元年度は育児疲れや就労の理由で定期的な利用があったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和 2 年 3 月から事業が休業になったため、ショートステイの利用日数が平成 30 年度の 191 日から 152 日に、ホリデーステイの利用日数は年度の利用日数 44 日から 30 日と減少している。

ショートステイ委託先：（福）愛の泉　愛泉乳児園（2 歳未満）、愛泉寮（2 歳以上）
トワイライトステイ委託先：（福）愛の泉
ホリデーステイ委託先：（福）愛の泉

利用日数・委託額の推移

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用日数（日）	ｼｮｰﾄｽﾃｲ	44	70	240	191	152
	ﾄﾜｲﾗｲﾄｽﾃｲ	8	2	20	0	0
	ﾎﾘﾃﾞｰｽﾃｲ		6	26	44	30
委託額（円）	ｼｮｰﾄｽﾃｲ	182,000	323,500	1,133,750	954,700	712,150
	ﾄﾜｲﾗｲﾄｽﾃｲ	6,900	1,950	24,000	0	0
	ﾎﾘﾃﾞｰｽﾃｲ		21,750	94,250	187,500	122,750

事 業 名		妊娠・出産包括支援事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1111-16
款	03	民生費	当 初 予 算 額	514,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	724,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	130,000 円

事業の目的	子育てに関する不安や悩みに対して、専門職が不安や悩みに傾聴し、寄り添いの相談支援を行うことにより、産婦が家庭や地域における孤立感を軽減し、安心して育児に臨めるよう支援する。	事業の概要	産後の不安や負担軽減のため、集団来所による Happy ママくらぶ（産後をサポートする教室）を月１回行う。 また、育児不安を抱えた母子に対し、助産師等による家庭訪問の実施や市内産婦人科へ委託し、身体的回復のための支援、授乳の指導、乳房ケア等を行う。

事業の実績・成果

乳幼児健康相談や乳幼児訪問等により、育児や発育・発達に関する相談を行うことにより、子育て家庭の乳幼児健康診査後のフォローや育児不安の軽減、子どもの発育・発達に関する悩みの解消等を図ることができた。

1　Happy ママくらぶ ～産後をサポートする教室～
※令和元年度からすくすく子育て相談室（子育て支援課）の妊娠・出産包括支援事業へ移行
生後 10 か月未満の母子を対象に、母子のケアおよび育児の学習会を集団で行う
一組 3 回まで利用可

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実施回数 (回)	12	12	12	12
参加延人数 (人)	298	177	299	160

2　産後ケア（訪問型）【令和元年度新規事業　平成 31 年 4 月 1 日開始】
生後 4 カ月未満の母子を対象に、助産師が自宅へ訪問し、保健指導等産後のケアを行う
一組 5 回まで利用可（デイサービス型との併用可）

	令和元年度
申 込 数 (組)	6
利 用 数 (組)	3
利用回数 (延)	8

3　産後ケア（デイサービス型）【令和元年度新規事業　令和 2 年 1 月 1 日開始】
生後 4 カ月未満の母子を対象に、委託医療機関（スピカレディースクリニック）において、産婦の休息と沐浴等産後ケアを日帰りで行う
一組 7 回まで利用可（訪問型との併用可）

	令和元年度
申 込 数 (組)	1
利 用 数 (組)	0
利用回数 (延)	0

＊出産予定日が翌年度のため申込のみ

事 業 名	子育て支援医療費支給事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1112-01
款	03	民生費	当　初　予　算　額	339,229,000 円
項	02	児童福祉費	最　終　予　算　額	343,295,000 円
目	01	児童福祉総務費	決　　算　　額	336,614,848 円
事業の目的	子育てに係る経済的な支援のひとつとして、医療費の一部を支給することにより、保護者の経済的負担を軽減し、児童の保健の向上と福祉の増進を図る。	事業の概要	支給対象年齢：15 歳（中学校修了まで） 支給方法：市内医療機関は現物給付。その他は償還払い(現物給付の利用上限 21,000 円)。 県補助：入院・通院共に就学前まで 市単独：入院・通院共に中学校修了まで ※県に補助枠拡大を要望	

事業の実績・成果

中学校修了までの方の医療費自己負担分を支給することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。

1　事業内容

(1) 支給対象　　市内に住所を有し、医療保険に加入している乳幼児及び児童・生徒
重度心身障害者医療費支給事業、ひとり親家庭等医療費支給事業の対象者は除く。

(2) 支給内容　　医療保険制度の適用となる全疾病（治療用補装具を含む）を対象に一部負担金を補助する。

(3) 支払方法　　市内は現物給付、その他は償還払い(現物給付の利用上限を 21,000 円とする)

(4) 費用負担　　県：1/2（県補助対象分（入院・通院ともに小学校就学前まで）の支出に対して）

2　支給件数・支給金額の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
支給件数(件)	164,540	166,021	161,758	163,061	159,992
支給金額(円)	323,655,507	336,768,224	323,272,494	323,478,063	326,646,683

事 業 名		遺児手当事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1112-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	3,174,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	3,174,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	2,655,000 円
事業の目的	遺児の保護者に手当を支給し、子育て中の遺児家庭を経済的に支援し、児童の健全な育成を図る。	事業の概要	父母の一方又は父母がともに死亡した義務教育修了前の児童を監護・養育している方に児童１人につき月額3,000 円の手当を支給する。 所得制限なし	

事業の実績・成果

遺児に対して遺児手当を支給することで、児童扶養手当、ひとり親家庭等医療費とともに、ひとり親家庭等を経済的に支援し、児童の健全な育成を図った。

１　事業内容

(1) 支給対象者　　父母の一方又は父母がともに死亡した児童の保護者
(2) 支 給 内 容　　児童１人につき月額3,000 円
(3) 支 給 期 間　　義務教育修了前まで
(4) 所 得 制 限　　なし
(5) 支 払 方 法　　2 期に分けて支給（9 月、3 月）

２　対象世帯数・対象児童数・延児童数・手当支給額の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
対象世帯数（世帯）	64	63	64	59	55
対象児童数（人）	102	99	96	83	82
延 児 童 数（人）	1,149	1,158	1,032	964	885
手当支給額（円）	3,447,000	3,474,000	3,096,000	2,892,000	2,655,000

事 業 名	ひとり親家庭等医療費事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1112-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	46,340,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	50,600,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	48,710,722 円
事業の目的	子育て中のひとり親家庭等を経済的に支援し、生活の安定を図る。	事業の概要	対象者は、市内のひとり親家庭等の 18 歳までの児童とその母(父)又は養育者。医療費の保険適用後の負担額から支給対象者の自己負担分、他制度から本人に支給される給付金等を控除した残りを支給する。15 歳までの児童の医療費は現物支給。	

事業の実績・成果

ひとり親家庭等に対し、医療費の一部を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援した。

1　事業内容

(1) 支給対象者　ひとり親家庭等の 18 歳に達した年度末までの児童（一定の障害がある児童は 20 歳未満まで）とその母（父）又は養育者

(2) 支 給 内 容　医療保険の適用される医療費のうち、その保険適用後の負担額（医療費の 3 割等）から支給対象者の自己負担分、他制度から本人に支給されるもの（附加給付等）を控除した残りを支給

なお、支給対象者のうち児童を除く者が市町村民税課税者の場合、自己負担金が発生（ただし、現物支給対象の児童に対しては自己負担金を控除しない。）

①医療機関等ごと、1 人につき通院 1,000 円／月

②医療機関等ごと、1 人につき入院 1,200 円／日

(3) 支 給 期 間　受給者証交付申請日（申請日前に遡及する場合あり）から受給資格消滅日まで（支給対象者又は扶養義務者等の所得が制限額を超える場合は、支給停止となる。）

(4) 所 得 制 限　児童扶養手当制度の一部支給限度額

(5) 支 払 方 法　償還払いまたは現物給付

(6) 費 用 負 担　県：1/2（県補助対象分の支出に対して）

2　支給対象者数・支給件数・支給額の推移

（単位：人）

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
対象者数	（父母）	988	968	996	986	950
	（児童）	1,466	1,448	1,503	1,498	1,424

（単位：件）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
支給件数	18,119	18,366	19,101	18,799	19,129

（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
支給額	42,625,892	42,336,044	43,929,293	45,966,267	47,581,640

事 業 名	母子家庭等自立支援事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1112-06
款	03	民生費	当 初 予 算 額	9,422,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	9,422,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	6,795,326 円
事業の目的	母子家庭及び父子家庭の生活の安定のため、母及び父の就業を支援し、就業に有利な専門技能が持てるよう補助する。	事業の概要	・母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業　1年以上の就学で支給期間は4年が上限、給付金は市民税非課税世帯が月額100,000円（課税世帯は月額70,500円）、最終年は月額40,000円加算。 ・母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業 修了した講座の受講料の60%（上限20万円。12,000円を超えない場合は支給なし）、一般教育訓練給付支給対象者の費用の 60%（上限 20 万円）の差額支給する。	

事業の実績・成果

○母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業

指定された講座を受講した場合に、受講に要した経費の一部（60%（12,001円以上200,000円以下））を支給し、自立を支援した。

児童扶養手当受給者、ホームページ、窓口チラシ等で事業周知のほか、関係課にも周知を依頼した。

支給支援件数　　2件　　192,326円

○母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業

1年以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が見込める場合、修業期間の全期間で促進給付金、また訓練修了後に一時金を支給し、母子家庭の自立を支援した。

児童扶養手当受給者、ホームページ、窓口チラシ等で事業周知のほか、関係課にも周知を依頼した。

高等職業訓練促進給付金支給件数　4件　　4,802,000円
入学支援修了一時金支給件数　　2件　　100,000円

（単位：件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
高等職業訓練促進給付金支給件数	6	5	6	5	4
入学支援修了一時金支給件数	3	2	2	2	2

事 業 名		未熟児養育医療給付事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1112-17
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,539,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	5,637,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	4,561,645 円
事業の目的	未熟児の保健の向上と保護者の経済的負担の軽減を図るため、養育医療費を給付する。		事業の概要	・対象児童：医師が入院養育を必要と認めた市内居住の 1 歳未満の未熟児、出生児体重 2,000ｇ以下 ・給付方法：保護者の申請に基づき医療券を交付し、指定医療機関にて受けた養育医療に対して給付を行う。

事業の実績・成果

埼玉県からの権限委譲を受け、平成 25 年 4 月 1 日より市の事業として事務処理を行っている。

1　事業内容

(1) 支給対象　市内に居住し、医師が入院養育を必要と認めた満 1 歳未満の未熟児

(2) 支給内容　指定養育医療機関で行う入院治療のうち、「診察」「薬剤又は治療材料の支給」「医学的処置、手術その他の治療」「病院または診療所への入院」「移送」が対象

(3) 支払方法　市へ申請後、医療券の交付を受け、指定医療機関にて養育医療の給付を受ける。

(4) 費用負担　世帯構成員の所得に応じた自己負担額を支払う。

2　支給件数・支給金額の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
支給件数(件)	57	47	47	67	54
支給金額(円)	6,281,031	4,964,118	4,797,432	5,357,367	4,559,853

事 業 名		民間認定こども園・幼稚園等給付費支給事業		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1112-18
款	03	民生費	当 初 予 算 額	376,683,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	400,434,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	347,847,047 円
事業の目的	就学前（0～5 歳）児童に必要に応じた保育・教育を提供し、保育・教育の適正化と子育て家庭への支援を図る。		事業の概要	就学前(0～5 歳）児童の認定区分ごとに保育･教育を提供する。保育又は教育を提供した民間施設（子ども･子育て支援新制度に移行した私立幼稚園, 認定こども園及び地域型保育施設）は、利用した児童分の施設型給付費を市に請求し、市は確認のうえ施設に支払う（法定代理受領)。 単価は児童の年齢、園の定員による。

事業の実績・成果

子ども･子育て支援新制度に移行した認定こども園等に対して、国が定める公定価格に基づいて運営費を支出し、保育・教育の充実を図った。

認定こども園等の定員・入所児童数・運営費等

	認定区分	定員	3歳未満児延べ児童数	3歳児延べ児童数	4歳以上児延べ児童数	合計	運営費
		（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（円）
認定こども園騎西桜が丘	1号	80	0	208	331	539	
	2・3号	130	616	288	588	1,492	136,538,594
認定こども園大利根ふじ	1号	75	0	305	618	923	
	2・3号	80	258	168	360	786	118,534,636
市外認定こども園	1号	－	0	336	682	1,018	
	2・3号	－	105	97	146	348	88,004,555
認定こども園計		365	979	1,402	2,725	5,106	343,077,785
幼稚園（新制度移行済）	1号	－	0	0	0	0	0
地域型保育施設	2・3号	－	20	0	0	20	4,115,610
事業所内保育	2・3号	－	3	0	0	3	653,260
合計			1,002	1,402	2,725	5,129	347,846,655

＊認定区分・・・1 号　満 3 歳以上教育認定（幼稚園、認定こども園幼稚園部分入園児）
2 号　満 3 歳以上保育認定（保育所、認定こども園保育部分入園児）
3 号　満 3 歳未満保育認定（保育所、認定こども園保育部分、小規模保育等入園児）

平成 30 年度埼玉県教育認定子どもに係る施設型給付費等補助金返還金　　392 円

事 業 名		にぎやか家庭子育て応援事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1112-19
款	03	民生費	当　初　予　算　額	58,000 円
項	02	児童福祉費	最　終　予　算　額	58,000 円
目	01	児童福祉総務費	決　　算　　額	46,600 円
事業の目的	少子化で子どもの数が少なくなる中、子どもをたくさん産み育て、市の人口減少の歯止めと活性化に貢献している家庭を励まし、子育てを応援する。		事業の概要	１月１日現在において、市内に在住し０歳～１５歳までの児童を５人以上養育している家庭に対し、記念品(10,000 円の絆サポート券) を添えて表彰する。

事業の実績・成果

市民表彰式で表彰することにより「子どもを産み育てやすいまち」をアピールすることができた。また、絆サポート券を記念品として支給し、多子家庭の支援と地域の活性化を図った。

1　事業内容

(1)　支給対象　市内に在住し 0 歳～15 歳までの児童 5 人以上を養育している家庭

(2)　支給内容　記念品（絆サポート券　10,000 円分/1 家庭）

2　表彰実績

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
支給件数（件）	6	6	3	4

事 業 名		多子世帯学童保育料軽減事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1112-23
款	03	民生費	当 初 予 算 額	8,096,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	8,096,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	6,871,025 円
事業の目的	複数の子どもを育てている家庭に対し、経済的な支援を行う。		事業の概要	兄弟姉妹が同時に放課後児童健全育成室を利用の場合、2 人目の保育料を半額、3 人目以降の保育料を無料とする。 公立放課後児童健全育成事業では、保育料算定時に保育料を軽減する。 民間放課後児童健全育成事業では、公営の保育料軽減額を上限に市が民間放課後児童クラブへ補てんする。

事業の実績・成果

放課後児童健全育成事業を利用する多子世帯等の保護者に対し、保育料を減免することで、経済的負担の軽減を図った。

1　事業内容

(1) 支給対象　・兄弟姉妹が同時に放課後児童健全育成事業を利用している世帯
　　・生活保護受給世帯

(2) 支給内容

【公立放課後児童健全育成事業】
・同時入室第 2 子の保育料を半額減額
・同時入室第 3 子以降の保育料全額減額

【民間放課後児童健全育成事業】
・同時入室第 2 子の保育料の半額減額（上限 4,000 円）
・同時入室第 3 子以降の保育料全額減額（上限 8,000 円）
・生活保護世帯受給世帯の保育料全額減額

2　減免額

事業名	平成 30 年度	令和元年度
公立放課後児童健全育成事業	4,300,500 円	4,370,000 円
民間放課後児童健全育成事業	6,614,475 円	6,871,025 円

事 業 名		誕生記念祝事業			（総合戦略）
担 当 課		子育て支援課		総合振興計画コード	1112-24
款	03	民生費		当　初　予　算　額	7,000,000 円
項	02	児童福祉費		最　終　予　算　額	7,000,000 円
目	01	児童福祉総務費		決　　算　　額	6,080,000 円
事業の目的	出産に対して祝意を表するとともに、出産後の経済的不安を軽減し、安心してよりよい子育てが行えるよう支援する。		事業の概要	出生届の手続きを行った保護者に対し、児童手当や子育て支援医療費の申請時に出生児童 1 人につき 10,000 円の絆サポート券を支給する。	

事業の実績・成果

出生児童 1 人につき、絆サポート券 10,000 円を贈呈し、出産後の経済的不安の軽減を図った。

1　事業内容

（1）支給対象　　市内に在住し、出生後最初の住民登録を市内にした新生児を出産した者またはその配偶者

（2）支給内容　　記念品（絆サポート券　10,000 円分／1 児童）

2　支給実績

（1）支給件数　　608 件

事 業 名	教育・保育に係る教材費等補助事業			（総合戦略）
担 当 課	保育幼稚園課		総合振興計画コード	1112-25
款	03	民生費	当 初 予 算 額	699,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	2,589,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	893,349 円
事業の目的	生活保護世帯、低所得世帯、多子世帯の幼稚園・保育所等の利用にかかる実費負担を軽減し、これら世帯の幼稚園・保育園等の円滑な利用を図る。	事業の概要	幼稚園・保育所等を利用する生活保護世帯、低所得世帯、多子世帯の副食教材・行事費等の実費徴収にかかる費用の一部を補助。 加須市独自に保育所の副食費多子軽減範囲を小学校3年生以下の兄姉まで拡大し一部を補助。 補助限度額（月額）：副食材料費 4,500 円、教材・行事費 2,500 円	

事業の実績・成果

1　生活保護世帯等の幼稚園・保育所等の利用に伴う副食材料費、教材・行事費の一部を補助することにより、幼稚園・保育所等の円滑な利用を推進した。

補助対象者数・金額

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
補助対象児童数（人）	9	9	15	8	6
内、幼稚園（人）	1	1	3	1	1
内、保育所（人）	8	8	12	7	5
補助金額（円）	87,076	134,258	224,720	73,991	52,317
内、幼稚園（円）	41,436	42,048	117,632	38,561	33,757
内、保育所（円）	45,640	92,210	107,088	35,430	18,560

2　未移行幼稚園を利用する年収 360 万円未満世帯及び小学校3年生以下の兄姉から数えて第3子以降の副食材料費の一部を補助することにより、円滑な利用を促進した。

補助対象者数・金額

	令和元年度
補助対象児童数（人）	16
補助金額（円）	292,032

3　加須市独自に保育所の副食費多子軽減範囲を小学校3年生以下の兄姉にまで拡大し、副食材料費の一部を補助することにより、円滑な利用を促進した。

補助対象者数・金額

	令和元年度
補助対象児童数（人）	22
補助金額（円）	549,000

事 業 名	家庭児童相談事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1113-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,330,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	4,330,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	4,195,637 円
事業の目的	家庭での子どもに関するさまざまな問題に、専門の相談員を配置し、児童の福祉の向上を図る。	事業の概要	・家庭における児童の福祉に関する相談指導業務。 ・すくすく子育て相談室で 3 名の家庭児童相談員が、家庭における児童の養育に関し、相談指導業務を行い、家庭における児童の福祉の向上を図る。月曜日～金曜日 9 時～16 時まで。	

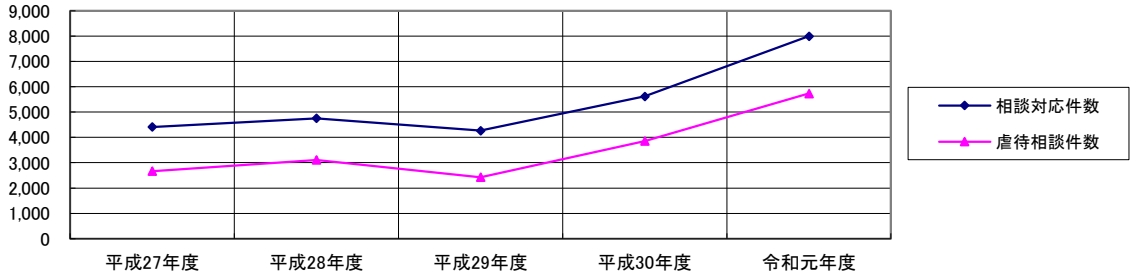
事業の実績・成果

相談員 3 人体制で、家庭における児童養育等に関する相談指導業務を行い、家庭における児童の福祉の向上を図った。相談員の家庭訪問等による児童や家族の支援を継続した。

・家庭児童相談員　3 人（交代で週 3 日勤務）
・開設日・時間　　月～金曜日、午前 9 時～12 時、午後 1 時～4 時
・報酬　　1 人月額　115,000 円（非常勤特別職）

相談内容・延べ件数の推移　（単位：件）

	性格・生活習慣等	知能言語	学校生活等			非行	家族関係		環境福祉	障害	その他	計
			人間関係	登校拒否	その他		虐待	その他				
平成 27 年度	2	2	2	19	42	147	2,667	1,359	30	1	137	4,408
平成 28 年度	4	2	1	14	47	49	3,109	1,363	18	0	148	4,755
平成 29 年度	21	0	0	28	2	0	2,425	1,639	64	0	88	4,267
平成 30 年度	1	0	0	23	0	2	3,857	1,409	261	48	15	5,616
令和元年度	0	0	0	12	0	0	5,734	2,033	151	18	45	7,993



令和元年度の相談対応件数及び虐待相談件数は大幅に増加した。継続的に支援を必要とする家庭が年々増加し、問題が複雑化しているため、複数の関係機関と連携する必要があり日々対応を行っている。
実務者会議（月 1 回）や個別ケース検討会議（随時）を開催し、各関係機関と適切な対応を図るための情報交換を行った。家庭訪問や面接等も行い、児童の安全の確認や保護者の養育相談等を積極的に行っている。

事 業 名		子育て総合相談事業			（総合戦略）
担 当 課		子育て支援課		総合振興計画コード	1113-06
款	03	民生費		当 初 予 算 額	5,920,000 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	5,920,000 円
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	5,294,911 円
事業の目的	安心して子どもを産み育てられるよう、保護者の身近な場所で、子育ての相談や助言、情報提供、関係機関との連携により、妊娠・出産・子育ての切れ目のない相談支援を行う。		事業の概要	すくすく子育て相談室において、妊産婦と乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種相談に応じ、必要に応じて支援プランの策定や関係機関との連絡調整を行い、母子保健と子育て支援との一体的な提供を通じて包括的な支援を行う。	

事業の実績・成果

平成30年4月、加須版ネウボラとなる子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点の2つの機能を併せ持つ「すくすく子育て相談室」を開設し、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行った。

1　すくすく子育て相談室の概要

(1)子育て世代包括支援センター

○母子保健コーディネーター2名（臨時職員：保健師、助産師）

母子健康手帳の交付時に全ての妊婦に対して面談を行い、支援が必要な家庭と判断した場合には、妊娠・出産・育児に関する「支援プラン」を作成し、情報提供やアドバイスを行うほか、関係機関と連携し、その家庭の状況に適したサービスを提供して支援を行った。

○子育てコンシェルジュ1名（再任用職員：保育士）

子育てに関する様々な福祉サービスの情報を提供し、サービスを利用する場合は関係機関の申請につなげるなど、きめ細やかな相談支援を行った。

(2)子ども家庭総合支援拠点

○家庭児童相談員（子ども家庭支援員）2名（非常勤特別職：教員免許）

○虐待対応専門員1名（正職員：社会福祉士、再任用職員：保育士）

児童及び妊産婦等を対象に支援や保護が必要な子どもなどへの支援や児童相談所との連携を行い専門的な相談に応じ、家庭訪問等による継続的な支援業務を行った。

2　相談実績

(1)子育て世代包括支援センター（妊娠・出産・子育ての相談）：延べ相談件数　2,252件

主な内訳：母子健康手帳について　655件（うち支援プラン作成79件、12.1%）

予防接種について　536件

その他（健診案内等）　1,061件

(2)子ども家庭総合支援拠点（児童虐待等の相談）：延べ相談件数　7,993件

主な内訳：児童虐待関係　5,734件

その他（養育に欠ける問題等）　2,259件

事 業 名	子育て支援ネットワーク事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1114-01
款	03	民生費	当　初　予　算　額	486,000 円
項	02	児童福祉費	最　終　予　算　額	486,000 円
目	01	児童福祉総務費	決　　算　　額	291,541 円
事業の目的	子育て支援関係団体の連携を強化して、子育て環境の充実を図り、地域での子育て支援を促進する。	事業の概要	・子育て支援団体の情報交換会、研修 ・ファシリテーターの養成 ・親支援プログラムの開催 ・チラシ、メール配信等によるイベント案内	

事業の実績・成果

1　事業内容

(1) 子育て支援情報交換会・研修会・学習会の開催

実施回数　5回　　参加人数　延べ90人参加

支援センター職員や幼稚園職員等子育て支援の現場に携わる職員等での情報交換会・研修会・学習会

(2)親支援プログラム講座（ノーバディズ・パーフェクト・プログラム）の開催

「完璧な親なんかいない」という理念のもと、子育て中の親を支援するカナダ生まれのプログラムを開催。

第１回　令和元年5月22日～6月26日（全6回）
　　場　所　子育て支援センター愛の泉ふれあいホーム
　　参加者　7名

第２回　令和元年7月2日～8月6日（全6回）
　　場　所　プラザきさい
　　参加者　6名

第３回　令和元年10月31日～12月5日（全6回）
　　場　所　加須保育園子育て支援センター
　　参加者　8人

(3)親支援プログラム フォローアップの開催（同窓会・交流会）

過去に開催した同プログラムの参加者の同窓会・交流会を開催

令和元年6月13日（参加者14人）
令和元年6月25日（参加者11人）
令和元年6月26日（参加者5人）
令和元年10月28日（参加者18人）
令和元年11月6日（参加者10人）
令和元年11月13日（参加者7人）

(4)親支援プログラム ファシリテーター研修

親支援プログラムファシリテーターとしての見識を深め、専門的な技術の習得およびスキルアップを図った。

令和元年12月8日（日）
参加者　親支援プログラムファシリテーター等8人
講　師　子ども家族支援研究センター　伊志嶺 美津子先生

事 業 名	子育て支援センター事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1114-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	55,943,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	56,513,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	47,933,189 円
事業の目的	地域における子育て支援拠点としてのセンターの充実を図り、子育て支援を推進する。	事業の概要	子育て中の方を対象に親子の交流の場を提供し、親子交流会、育児相談の開催、子育てサークルの育成、子育て情報の提供等を行う。 ・地域子育て支援センター：20 か所 一般型：7 か所（うち公立 2 か所） 公立幼稚園：13 か所		

事業の実績・成果

子育て支援センターに運営費を助成し、地域における子育て支援を推進した。また、スタッフの研修を行い質の向上を図った。

1　子育て支援センター助成　　35,134,732 円

（1）子育て家庭への支援活動を企画する職員を配置し、育児に対する相談・子育てサークル等への支援・特別保育事業の積極的な取り組みなどを行うことにより育児支援を行った。

（2）対象施設

子育て支援センター愛の泉ふれあいホーム・加須保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・吉川保育園・北川辺子育て支援センター・大利根子育て支援センター

（3）事業内容

	年間開所日数(日)	年間延利用者数(人)	主な事業内容
愛の泉ふれあいホーム	265	5,944	育児相談（面接相談、電話相談） 子育てサークル育成・支援 育児講座
加須保育園	235	5,385	
花崎保育園	288	1,013	
三俣第一保育園	257	26,292	
吉川保育園	81	147	
北川辺子育て支援センター	226	838	
大利根子育て支援センター	288	9,521	

2　子育て支援センター等スタッフ研修の開催

子育て支援センター等のスタッフを対象に、研修を開催した。

日　時　令和元年 8 月 28 日（水）

参加者　子育て支援センター等職員　31 人

講　師　NPO 法人子ども家庭リソースセンター理事（臨床心理士）　永田陽子先生

事 業 名		児童遊園地維持管理事業		
担 当 課		まちづくり課	総合振興計画コード	1114-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	11,727,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	31,588,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	27,963,270 円
事業の目的	子どもを育てやすいまちとするため、子どもが安全に、満足して遊べる場を提供する。		事業の概要	・自治協力団体への委託協定により、遊具や休養施設、樹木等の管理を行う。 ・自治協力団体、職員による施設の定期点検、専門業者による遊具点検を実施し、その結果に基づいて修繕、撤去、設置を行う。 ・土砂の補充や外柵等施設の修繕を行う。

事業の実績・成果

地元自治協力団体、職員、専門業者による遊具点検を実施し、遊具の劣化等の早期発見を図った。また、点検結果を基に遊具等の修繕や撤去を行い、事故防止に努めたことで児童遊園地における事故はゼロだった。

1　日常点検・委託　　1,396,153 円

（1）遊園地数　95 箇所

（2）管理委託料　遊園地 1 箇所につき 4,000 円　(80 箇所)

（3）遊具点検委託料　児童遊園地　78 箇所　(209 基)

（4）点検実施時期　自治協力団体　(58 団体) 年 2 回 (9 月、3 月。大利根地域は 6 月、1 月)
職員　年 6 回 (隔月)
専門業者　年 1 回 (8 月～10 月)

（5）委託料（砂場清掃 7 箇所、トイレ清掃業務 1 箇所、剪定業務 1 箇所）

（6）トイレ汲取り料、ゴンベイ砂、消耗品等

2　光熱水費　　252,019 円

（1）電気料　6 箇所　69,057 円

（2）水道料　31 箇所　182,962 円

3　修繕等の実施状況　　426,180 円

遊具等の修繕（遊具、照明等）

4　土地借上（10 箇所）　借上面積　10,639 ㎡　　6,028,326 円

5　土地購入（1 箇所）　購入面積　615.26 ㎡　　19,860,592 円

6　児童遊園地の状況（令和 2 年 3 月 31 日現在）　（単位：箇所）

加須地域	加須	不動岡	三俣	礼羽	大桑	水深	樋遣川	志多見	大越
	9	1	2	10	6	7	5	10	8
北川辺地域	西	東							
	16	13							
大利根地域	東	原道	元和	豊野					
	3	0	0	0					

＊騎西地域は児童遊園地なし

7　児童遊園地箇所数の推移（令和 2 年 3 月 31 日現在）　（単位：箇所）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
合　計	95	95	95	95	90

事 業 名		母子福祉団体助成事業			
担 当 課		子育て支援課		総合振興計画コード	1114-05
款	03	民生費		当 初 予 算 額	18,000 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	18,000 円
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	18,000 円
事業の目的	地域において児童福祉の向上を推進する団体に対する助成を行い、地域における子育て支援を促進する。		事業の概要	加須市における母子及び寡婦福祉団体への事業費補助金を交付し支援	

事業の実績・成果

母子家庭等の福祉の向上を図るため、加須市大利根母子福祉会に対して事業費補助金（18,000 円）を交付した。

会員相互の連絡を密にし、多様化する社会生活の変化に対応する新たな生活意識の熟成を図るため、三世代交流、バザーへの協力、研修会等を実施するとともに、同種の団体との連携や協働に努めた。

事 業 名	民間児童館助成事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1114-09
款	03	民生費	当　初　予　算　額	3,189,000 円
項	02	児童福祉費	最　終　予　算　額	3,189,000 円
目	01	児童福祉総務費	決　　算　　額	3,189,000 円
事業の目的	児童の健全な育成を促進するために、地域の子育て支援拠点であるみつまた児童館が実施する総合的な事業に対して助成する。	事業の概要	みつまた児童館が実施する児童の健全育成・養育に関する相談事業、地域グループの活動支援事業、異年齢交流・世代間交流事業に対し支援する。	

事業の実績・成果

1　児童館の概要

「みつまた児童館」

・みつまた保育園に併設。年間開設日数 279 日

・保育士 3 名、児童厚生員（児童の遊びを指導するもの）1 名を配置

・地域の子育て支援活動の拠点のひとつとして定着

2　実施事業

（1）放課後児童健全育成事業

職　員　4 名

平　日（学業日）　12 時～20 時

土曜日・祝日等　　8 時～17 時

夏休等　　7 時～20 時

（2）地域児童育成活動支援事業

①児童の健全育成、養育に関する相談（24 回　5 人）

②子育て支援サービスに関する情報提供（25 回）

③ボランティアグループ等の日常の活動支援（28 回　1 団体）

④市支援窓口、児童相談所、学校、児童委員等との連携・協力（23 回）

⑤他世代との交流の促進（74 回　371 人）

⑥出前児童館「すくっこ広場」（8 回　444 人）

（3）児童健全育成特別事業

①育児に関する情報提供（13 回　58,830 人）

②併設保育園の乳幼児・児童等と児童館利用児童との交流（257 回　26,292 人）

③児童サークル開講による子育て支援（27 回　307 人）

④その他（子育て支援のお知らせに掲載し、広く地域に呼びかけた）（3 回）

事 業 名		子育てワクワク情報提供事業			（総合戦略）
担 当 課		子育て支援課		総合振興計画コード	1114-10
款	03	民生費		当 初 予 算 額	3,000 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	3,000 円
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	648 円
事業の目的	各事業情報を集約して、市ホームページ等を活用し、情報提供し、子育てを支援する。		事業の概要	・市ホームページの子育てイベントカレンダー、ホッとメール配信サービス、窓口でのわかりやすい各種パンフレットの配置等を活用した事業の周知。 ・子育てガイドブックを配布し子育て情報を広く周知。 ・子育て支援に関するパネル展示。	

事業の実績・成果

〇かぞホッとメール（子育て情報メール）の配信

登録者に対し、子育てイベント情報・子どもの健康に関する情報・医療機関情報等の即時性の高い情報を配信した。

メール配信登録者数　2,353 人　メール配信件数　478 回

〇子育てわくわくフェア事業の開催

子育て中の皆さんに向けた情報発信の一環として、地域で展開中の子育て支援の取組みや加須市のサービスをＰＲするため、関係団体にパネル作成を依頼し、情報展示や子育て支援関連チラシの配布を行った。

・児童手当現況届（子育て支援課）

【日時・場所】令和元年 6 月 14 日（金）～28 日（金）　加須市役所 1 階市民ギャラリー

・小児科医による救急講座・子育て相談（医療体制推進課）

【日時・場所】①令和元年 9 月 11 日(水)　プラザきさい
②令和元年 9 月 18 日(水)　子育て支援センター ぴっぴ
③令和元年 10 月 2 日(水)　みのり
④令和元年 10 月 9 日(水)　パストラルかぞ

・図書館まつり（図書館課）

【日時・場所】①令和元年 10 月 26 日(土)　北川辺図書館
②令和元年 10 月 26 日(土)　童謡のふる里おおとね図書館
③令和元年 11 月 2 日(土)　騎西図書館
④令和元年 11 月 23 日(土)　加須図書館

・親子ふれあい事業「こどもフェスタ」（主催：社会福祉法人 加須市社会福祉協議会）

【日時・場所】令和元年 8 月 3 日（土）　アスタホール

事 業 名	子育てサロン事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1114-11
款	03	民生費	当 初 予 算 額	223,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	223,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	37,024 円
事業の目的	各地域で活動する子育て支援団体の連携により、子育てに関する情報の共有化を図るとともに、子育て家庭の現状と課題を把握し、地域ぐるみで子育てを支援する体制づくりと意識の醸成を図る。	事業の概要	子育て中の親子を対象に子育て相談や情報交換等の場の提供及び子育てサークル等子育てボランティアへの活動の場の提供と支援を図る。	

事業の実績・成果

1　子育てサロンの運営

身近な地域に親子で交流できる場所を設け、子育て支援団体等を中心にサロンを運営した。
児童館やこども館などの施設では、来館者が自由に参加できるスペースとして定着している。

（単位：人）

No	地域名	施設名	開設日	利用者数
1	加須	花崎児童館子育てサロン ※ならでわの日	平成22年6月24日	8,672 ※185
2	加須	市民プラザかぞ子育てサロン ※子育てワンポイントセミナー	平成22年10月8日	1,114 ※65
3	加須	加須コミュニティーセンター子育てサロン	平成23年10月12日	150
4	加須	利根川こども館子育てサロン	平成25年2月22日	17,062
5	加須	不動岡コミュニティーセンター子育てサロン	平成25年6月23日	3,949
6	騎西	ふれあい広場	平成23年4月12日	214
7	騎西	ホップサロン	平成23年5月17日	50
8	騎西	ファミサポサロン	平成29年4月1日	93
9	騎西	あいあいサロン	平成24年5月30日	139
10	北川辺	北川辺子育てサロン	平成23年1月31日	56
11	大利根	さくらんぼ広場	平成23年1月19日	146
12	大利根	きらきらキッズ	平成23年1月19日	0
13	大利根	ポッケ	平成23年1月19日	95
合　計				31,740

※は内数

事 業 名		保育団体助成事業		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1114-12
款	03	民生費	当 初 予 算 額	480,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	480,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	480,000 円
事業の目的	私立保育園同士の連携及び公立保育所との情報交換を深めるとともに人権を尊重した保育を推進する。	事業の概要	保育団体（加須私立保育園園長会、人権保育推進委員会）の運営費を補助することで、それぞれの団体の活動を推進し、一層の保育の質を高めることに寄与する。	

事業の実績・成果

1　加須私立保育園園長会補助金（72,000 円）

私立保育園間の連携、情報共有及び公立保育所との情報交換を図るため、加須私立保育園園長会に対して運営費補助金を交付した。

・保育の質の向上や新たな制度の理解を深めるため、公私立保育所職員合同研修会を開催した。

2　人権保育推進委員会補助金（408,000 円）

・加須市人権保育推進委員会補助金（248,000 円）

・加須市騎西地域人権保育推進委員会補助金（160,000 円）

・加須市の人権保育の推進を図るため、加須・騎西の 2 地域の人権保育推進委員会に対して運営費補助金を交付し、保育所の様々な取組みに対して支援・協力を得た。

事 業 名		子どもの居場所づくり事業		（総合戦略）
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1114-15
款	03	民生費	当 初 予 算 額	252,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	252,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	100,072 円
事業の目的	地域における子育て支援を図るため、放課後や休日の就学児童の居場所を創出する。		事業の概要	放課後や休日に就学児童が立ち寄り、その場所で一時を過ごせる子どもの居場所を公共施設等に創出する。 地域ボランティア等と協働し、居場所での見守り活動や「放課後子ども教室」を実施し、体験学習や遊びを提供する。

事業の実績・成果

地域ボランティアの協力を得ながら、様々なイベントを企画し、平日の放課後や土曜日などに地域の実情に合わせた活動を実施する。放課後の子どもの居場所の一つとして地域ぐるみで心豊かでたくましい子どもを育成する。

1　放課後子ども教室開設学校数：3 校

	開設学校	実施回数（回）	参加延べ人数（人）
1	不動岡小学校	7	218
2	騎西小学校	3	178
3	田ケ谷小学校	2	234
合　計		12	630

2　事業概要

	開設学校	事　業　概　要
1	不動岡小学校	・年間 7 回のプログラムで募集し、延べ 218 名が参加した。 ・会場は不動岡公民館 ・土曜日に実施し、不動岡公民館で外国料理を作ったり、藍染めを体験したり、茨城県自然博物館へバスで社会科見学などを実施した。
2	騎西小学校	・年間 3 回のイベントを実施した。 ・イベントごとに児童を募集し、延べ 178 名が参加した。 ・いずれも平日の授業終了後に実施し、警察官体験、体操教室、もちつき体験を実施した。
3	田ケ谷小学校	・年間 2 回のイベントを実施した。 ・イベントごとに児童を募集し、延べ 234 名が参加した。 ・いずれも平日の授業終了後に実施し、芋煮会と昔のあそび体験を実施した。

事 業 名		子育て支援管理事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1114-20
款	03	民生費	当 初 予 算 額	53,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	53,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	34,663 円
事業の目的	子育て支援事業を適正、効果的に実施する。		事業の概要	子育て支援事業にかかる管理運営経費

事業の実績・成果

経常経費の効率的、効果的な支出を行った。
普通旅費：2,476 円
消耗品費：32,187 円

事 業 名		児童虐待防止等ネットワーク事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1114-21
款	03	民生費	当 初 予 算 額	214,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	214,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	177,022 円
事業の目的	保護者からの虐待等で、保護が必要な児童に対して適切な対応を図り、児童の健全な育成を図る。		事業の概要	児童虐待等ネットワークを構成している機関（要保護児童対策地域協議会）の代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を開催し、虐待等の予防から早期発見・早期対応、保護・支援・アフターケアまでの総合的な支援を図る。

事業の実績・成果

児童虐待相談件数が増加し、それに伴い相談内容が複雑・多様化しているため、関係機関による個別ケース検討会議も随時開催している。問題点の整理と関係機関の役割分担を行い、虐待防止に努めている。

実務者会議、代表者会議での各関係機関との連携強化を図り、要保護児童等に対する情報交換、支援等についての協議を行い、虐待予防から早期発見・早期対応、保護・支援・アフターケアまでの総合的な支援を図った。

また、市内小学１年生全員にクリアファイルを配布、大型商業施設２か所でポケットティッシュを配布し、児童虐待防止への啓発を行った。

○会議開催件数　個別ケース検討会議　38 回（随時）
　　実務者会議　12 回（月１回）
　　代表者会議　１回（年１回）

○実務者会議で取り扱った件数　42 件
　うち、日常生活において落ちついた件数　11 件（うち、転出 5 件）

事 業 名	訪問支援ホームスタート事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1114-22
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,506,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	1,506,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	1,450,000 円
事業の目的	6 歳以下の未就学児がいる家庭へボランティアが訪問し、子育ての孤立感を解消し、元気に子育てできるよう支援する。	事業の概要	・6 歳以下の未就学児がいる家庭へボランティアが無料で訪問する。 ・週に 1 回、2 時間程度（全 6 回程度の訪問、達成状況を把握しながら、延長について確認する。） ・地域子育て拠点事業補助金の「機能強化型分」を活用し、ホームスタートを実施する関係機関へ助成する。	

事業の実績・成果

1　訪問実績

ホームスタートの研修を受けた「ホームビジター」が、調整役の「オーガナイザー（専門職）」と一緒に子育て中の家庭を訪問し、子育ての孤立感を解消し、元気に子育てできるよう支援を行った。

訪問件数　　19 件　　延べ 144 回

2　公開講座

地域関係者に対して、ホームスタートについて理解を深めるため公開講座を実施した。

（1）第 1 回目　令和元年 7 月 11 日（木）
場　所　愛の泉ふれあいホーム
内　容　関係機関交流会
助言者　野田　敦史氏（高崎健康福祉大学准教授、ホームスタート・かぞトラスティー）

（2）第 2 回目　令和元年 8 月 23 日（金）
場　所　加須市騎西文化・学習センター　「キャッスルきさい」視聴覚室
内　容　ホームスタート説明会「地域における家庭訪問型子育て支援ホームスタートの役割・意義について」
講　師　野田　敦史氏（高崎健康福祉大学准教授、ホームスタート・かぞトラスティー）

（3）第 3 回目　令和 2 年 2 月 13 日（木）
場　所　社会福祉法人愛の泉　あいせんこどもの城　地域交流スペース
内　容　ワークショップ「子育て中のパパ・ママ！みんなあつまれ！！」
～みんなで子育ての今について話してみよう聞いてみよう～
助言者　谷田　清美氏（児童家庭支援センター愛泉こども家庭センター相談員、ホームスタート・かぞトラスティー）

事 業 名		就学前子ども教育・保育認定事業		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,842,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	47,476,200 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	26,796,075 円
事業の目的	就学前（0～5 歳）児童に必要に応じた保育・教育を提供し、保育・教育の適正化と子育て家庭への支援を図る。	事業の概要	就学前（0～5 歳）児童に、必要に応じて支給認定証を交付する。 保育サービスの提供を実施するため必要となる一連の事務を行う。 市民税を算定基礎に保育料の賦課徴収を行う。	

事業の実績・成果

1　支給認定者数（年度末現在）

（単位：人）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1 号認定（教育）	1,027	941	931	942
2 号認定（保育　満 3 歳以上）	1,668	1,663	1,709	1,812
3 号認定（保育　満 3 歳未満）	583	586	716	795
合計	3,278	3,190	3,356	3,549

2　納付義務者（保護者等）の利便性、保育料徴収率の向上を図るため、市内民間保育所(認定こども園を除く)14 園に保育料収納事務を委託した。

〇施設割　　1 施設につき　　月額　2,000 円

〇収納児童割　1 件の収納につき　150 円を乗じて得た額

・令和元年度決算額　336,000 円

事 業 名		民間保育所運営委託事業		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,643,337,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	1,626,867,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	1,533,394,437 円
事業の目的	保育を希望する乳幼児の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援するとともに、保育サービスの充実を図る。	事業の概要	保育所で保育の利用を行った場合、国が定める公定価格に基づいて、給付費を各保育所に支出する。（市内公立保育所を除く） ※なお、公定価格は入所児童の年齢、保育所の規模、場所、運営状況により決められている。	

事業の実績・成果

民間保育所に対して、国が定める公定価格に基づいて運営費を支出し、保育の充実を図った。

1　保育所の定員・入所児童数・運営費等

	定員	3歳未満児延べ児童数	3歳児延べ児童数	4歳以上児延べ児童数	合計	運営費
	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（円）
愛泉幼児園	140	617	330	571	1,518	123,001,840
戸川保育園	70	345	168	383	896	91,655,790
加須保育園	160	788	384	803	1,975	156,357,030
不動岡保育園	80	336	284	495	1,115	95,496,570
不動岡第二保育園	20	241	0	0	241	64,993,590
志多見保育園	60	285	144	347	776	79,195,100
花崎保育園	180	966	403	634	2,003	168,980,480
三俣第一保育園	130	744	301	626	1,671	142,444,440
三俣第三保育園	120	99	292	620	1,011	127,839,480
みなみ保育園	131	667	336	588	1,591	131,872,940
にしき保育園	50	332	132	264	728	93,073,810
吉川保育園	60	293	133	293	719	80,469,680
リトル花保育園	90	536	240	412	1,188	120,290,110
私立市内計	1,291	6,249	3,147	6,036	15,432	1,475,670,860
私立市外委託	－	217	55	174	446	46,808,390
私立計	－	6,466	3,202	6,210	15,878	1,522,479,250
公立市外	－	80	14	46	140	10,915,187
合計	－	6,546	3,216	6,256	16,018	1,533,394,437

2　年間延べ入所児童数の推移

（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
保育所入所児童数	22,094	22,547	22,986

※避難者支援事業該当者・夜間保育事業該当者・公立保育所含む

事 業 名	病後児保育事業			（総合戦略）
担 当 課	保育幼稚園課		総合振興計画コード	1121-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	9,554,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	11,730,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	11,173,000 円
事業の目的	保育を必要とする病後児童に対する保育サービスの充実を図り、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的とする。	事業の概要	病気回復中の乳幼児を預かる施設に対し、必要な看護師等の配置費用を、年間延べ利用者数に応じて補助金として支給（国1/3・県1/3）。 〇利用者数と補助金 ・基本分：4,166,000 円（内改善分2,225,000 円） 10～ 49 人＝416,000 円 400～599 人＝5,202,000 円	

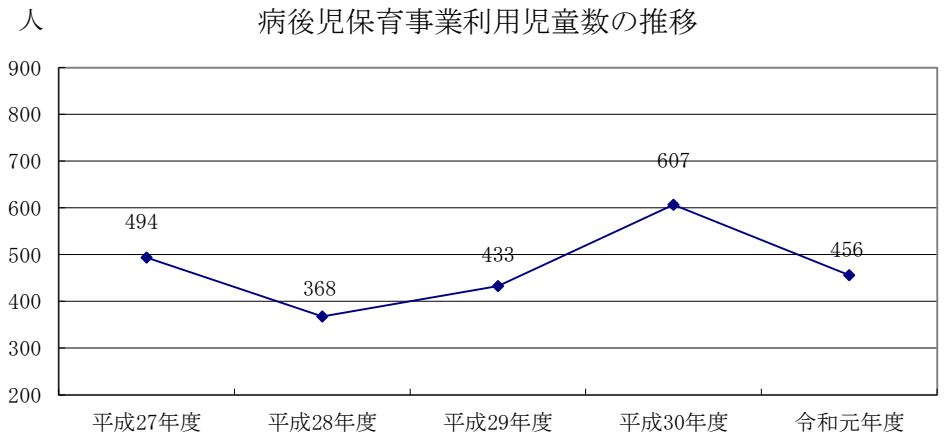
事業の実績・成果

病気の回復期にある児童を児童福祉施設等で預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援した。窓口にパンフレットを設置するなど様々な媒体を利用し制度の周知を図った。

1　実施場所　　愛泉乳児園・三俣第一保育園

2　病後児保育利用延べ人数　　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用延べ人数	494	368	433	607	456



事 業 名	低年齢児保育促進事業			（総合戦略）
担 当 課	保育幼稚園課		総合振興計画コード	1121-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	68,190,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	71,830,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	70,752,000 円
事業の目的	乳幼児を含めた多様な年齢の児童を育てる家庭の保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。	事業の概要	低年齢児の特性に応じた保育体制を確保するため、民間保育所に次の補助（県費 1/2）を行う。 ① 1 歳児 4 人に対し保育士 1 名の配置で 1 歳児 1 人当たり月額 20,000 円。 ② 乳児の年度途中入所に応じるため予め保育士を確保した場合、未充足乳児 1 人当たり 80,000 円（上限 882,000 円）。	

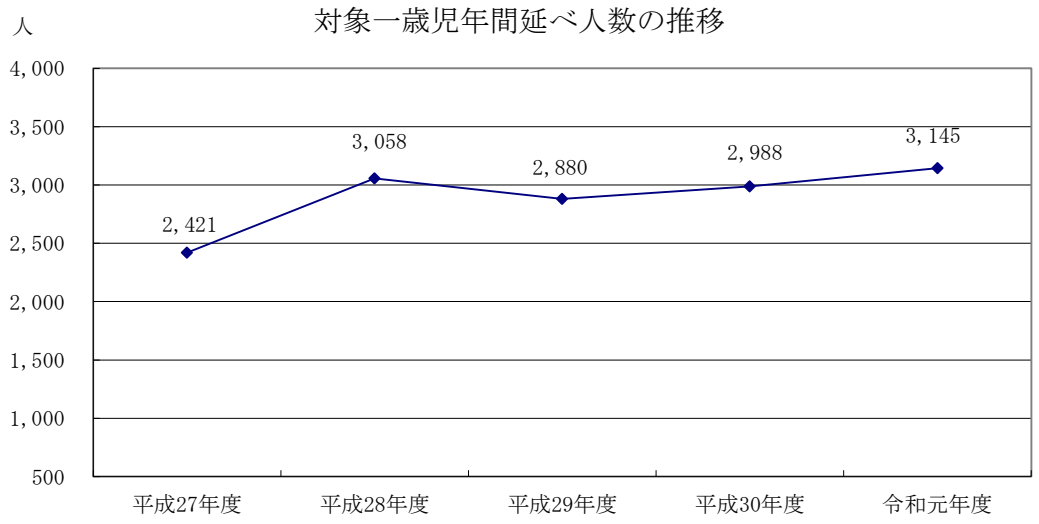
事業の実績・成果

安定的に低年齢児（0 歳児・1 歳児）の受入れができるよう、あらかじめ保育士を確保し、年度途中入所の需要等に対応できる体制を整えた保育所に対して助成を行った。

1　実施場所　　愛泉幼児園・戸川保育園・加須保育園・不動岡保育園・不動岡第二保育園・志多見保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・三俣第二夜間保育園・三俣第三保育園・みなみ保育園・にしき保育園・吉川保育園・リトル花保育園・認定こども園騎西桜が丘・大利根ふじこども園
他 市外 9 園

2　対象一歳児年間延べ人数の推移　　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入所児童数	2,421	3,058	2,880	2,988	3,145



事 業 名	民間保育所障害児保育事業			（総合戦略）
担 当 課	保育幼稚園課		総合振興計画コード	1121-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	11,848,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	16,288,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	14,924,320 円
事業の目的	障がいがある児童の家庭を支援する保育サービスの充実を図る。	事業の概要	・保育を必要とし、障がいがある児童を集団保育で保育する。 ・身障手帳・療育手帳所持児童等の障がい児 3 名につき保育士 1 名増員の対策を講じた民間保育所に対し、増員保育士の人件費の一部を助成。 （特別児童扶養手当該当の場合は市費で月額 74,140 円、その他は県費で月額 40,000 円）	

事業の実績・成果

障がい児の受け入れを推進するために、民間保育所における保育士の加配に対し補助を行うことにより、円滑な障がい児保育を行った。

1　実施場所　　愛泉幼児園・戸川保育園・加須保育園・不動岡保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・三俣第三保育園・みなみ保育園・吉川保育園・リトル花保育園・認定こども園騎西桜が丘

2　障がい児保育対策事業対象児童数の推移　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
入所児童数	6	12	15	20	27

事 業 名		長時間保育対策事業			（総合戦略）
担 当 課		保育幼稚園課		総合振興計画コード	1121-06
款	03	民生費		当 初 予 算 額	30,796,000 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	30,796,000 円
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	28,212,200 円
事業の目的	労働環境等の多様化に伴う保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。		事業の概要	・保育短時間、保育標準時間の前後の時間において、更に延長保育を行う。 ・事業に際しては、保育士 2 名以上及び対象児童数に応じて必要となる職員を配置する。 ・児童に対しては、適宜間食又は給食等を提供する。 ・延長保育を実施する民間保育所に補助を行う。	

事業の実績・成果

保護者の就労形態の多様化と通勤時間の増加等に伴い、認定時間の前後の時間において、さらに延長保育を行うため、実施する民間保育園に補助を行った。

1　実施場所

（標準時間認定児の延長保育が実施された園）

愛泉幼児園・戸川保育園・加須保育園・不動岡保育園・不動岡第二保育園・志多見保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・三俣第二夜間保育園・三俣第三保育園・みなみ保育園・にしき保育園・吉川保育園・リトル花保育園・認定こども園騎西桜が丘・大利根ふじこども園

（短時間認定児の延長保育が実施された園）

戸川保育園・加須保育園・不動岡保育園・不動岡第二保育園・志多見保育園・花崎保育園・三俣第三保育園・みなみ保育園・吉川保育園・リトル花保育園・　認定こども園騎西桜が丘

2　延長保育事業延べ利用児童数の推移　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
短時間認定児 延べ利用人数	11,430	5,269	4,629	4,249	5,925
標準時間認定児 延べ利用人数	36,048	37,714	38,777	33,965	37,183

平成 27 年度から子ども子育て新制度が始まり、保育を必要とする事由や必要量により、1 日最大 11 時間利用可能な「保育標準時間」と 1 日最大 8 時間利用可能な「保育短時間」に区分されている。区分に応じた保育時間を超えると延長保育となる。（区分に応じた保育時間は各園によって異なる。）

事 業 名		一時保育促進事業			（総合戦略）
担 当 課		保育幼稚園課		総合振興計画コード	1121-07
款	03	民生費		当 初 予 算 額	13,984,000 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	14,318,000 円
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	13,363,380 円
事業の目的	家庭保育者の一時的な保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。		事業の概要	・公立と民間の保育所で一時的な保育の需要に応じる。 ・一時保育（一般型）を実施する民間保育所に対し、年間延利用児童数に応じた補助金を交付する。 ・一時保育（幼稚園型）を実施する幼稚園に対し、年間延べ利用児童数に応じた補助金を交付する。	

事業の実績・成果

家庭において保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児を、保育所、幼稚園、認定こども園その他の場所において、一時的に預かり、必要な保育を行った。

① 一般型

保育所・幼稚園・認定こども園等に在籍していない乳幼児を対象に、保育所の場所において一時保育を行った。

(1)実施場所　（公立）北川辺保育所・わらべ保育園
（民間）愛泉幼児園・加須保育園・不動岡保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・吉川保育園
※吉川保育園の一時保育は令和元年８月から休止

(2)年間延べ利用児童数　930 人

② 幼稚園型

認定こども園や幼稚園に在籍する満３歳以上の幼児で、教育時間の前後または長期休業日等に当該園において、一時保育や預かり保育を行った。

(1)実施場所　（市内）大利根ふじこども園・認定こども園騎西桜が丘
（市外）栗橋さくら幼稚園・さくらのもり

(2)年間延べ利用児童数　5,204 人

事 業 名		保育所アレルギー等対応特別給食提供事業		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-08
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,800,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	4,800,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	4,800,000 円
事業の目的	食物アレルギー等により給食等処遇に特別な配慮を必要とする児童に対し、アレルギー等に対応した給食の提供の充実を図る。	事業の概要	・食物アレルギー等により、健康面において給食等に特別な配慮が必要な児童を 2 人以上受け入れている民間保育所に対して助成（月額 50,000 円）し、当該児童に配慮した給食を提供する。	

事業の実績・成果

食物アレルギーや障害等のため、給食等処遇に特別な配慮を要する児童への対処等給食の充実を図り、調理員配置基準より 1 人以上多く調理員を配置している園へ助成を行った。
民間保育所への助成金＝ 50,000 円／月 × 12 ヶ月 × 8 ヶ所 ＝ 4,800,000 円

実施場所・対象児童数 （単位：人）

保育園名	延べ人数
加須保育園	31
花崎保育園	84
三俣第一保育園	103
三俣第三保育園	61
みなみ保育園	53
にしき保育園	33
リトル花保育園	24
認定こども園騎西桜が丘	36
合 計	425

事 業 名		避難者支援民間保育所等運営委託事業		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-11
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,345,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	4,345,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	3,246,010 円

事業の目的	子育て家庭の保護者の勤務等により、保育を必要とする児童の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援する。	事業の概要	原発避難者特例法に基づき、被災した子育て家庭の保護者の勤務等により、保育所で保育の実施を行った場合、国が定めた公定価格に基づいて、給付費を各保育所に支払う。（市内公立保育所を除く） ※なお、公定価格は入所児童の年齢、保育所の規模、場所、運営状況により決められている。

事業の実績・成果

市内民間保育園において、原発避難者特例法に基づく対象児童（3 名）の保育を実施した。

(参考)
東日本大震災における原子力発電所の事故による災害に対処するための避難住民に係る事務処理の特例及び住所移転者に係る措置に関する法律（平成 23 年法律第 98 号）第 3 条第 1 項の規定に基づき、次に掲げる市町村を指定市町村として指定する。
いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、葛尾村、飯舘村

対象児童の受入内訳

	避難前住所	保育園名	入所期間
1	大熊町	三俣第一保育園	平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月
2	大熊町	三俣第一保育園	平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月
3	双葉町	花崎保育園	平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

事 業 名		夜間保育所運営委託事業		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-15
款	03	民生費	当 初 予 算 額	55,566,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	55,566,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	28,084,920 円
事業の目的	夜間保育（11:00～22:00）を希望する乳幼児の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援するため、保育サービスの充実を図る。	事業の概要	三俣第二夜間保育園で保育の実施を行った場合、国が定める公定価格に基づいて、給付費（委託料）を保育所に支払う。	

事業の実績・成果

民間保育所に対して、国が定める公定価格に基づいて運営費を支出し、保育の充実を図った。

保育所の定員・入所児童数・運営費等

	定員	3歳未満児延べ児童数	3歳児延べ児童数	4歳以上児延べ児童数	合計	運営費
	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（円）
三俣第二夜間保育園	30	46	12	132	190	28,084,920
合計	－	46	12	132	190	28,084,920

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">民間保育所助成事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">保育幼稚園課</td><td>総合振興計画コード</td><td>1122-02</td></tr>
<tr><td>款</td><td>03</td><td colspan="2">民生費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>15,313,000 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>02</td><td colspan="2">児童福祉費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>19,889,800 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>01</td><td colspan="2">児童福祉総務費</td><td>決 算 額</td><td>19,772,120 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">保育環境の整備・充実を図り保育サービスの充実に資する。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">・民間保育所振興費
定員１人 5,000 円、４月１日入園児１人 2,000 円。職員１人 9,000 円（職員に全額支給が条件）。日本スポーツ振興センター共済掛金１人 375 円。
・民間保育所歯科検診費
15,000 円～30,000 円
・民間保育所施設整備費助成
年間 20 万円（毎年１施設の補助）</td></tr>
</table>

事業の実績・成果

民間保育所等（16 園）すべてに対して助成し、民間保育所等の運営の充実と民間保育所等に勤務する職員の処遇等の改善を図った。

１　民間保育所振興費　　13,930,120 円

（１）振興費補助

・民間保育所の入所児童の処遇改善及び施設の改善に要する経費を助成した。

（２）職員厚生費補助

・職員の処遇改善に要する経費を助成した。

（３）独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済加入費補助

・園児の災害時の保障のため独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済加入に要する経費（定員１名に対し、年額 365 円）を助成した。

２　民間保育所歯科検診費　600,000 円

民間保育所入所乳幼児の歯科検診を推進し、乳幼児の歯科保健の充実を図るため、歯科検診費に対して補助金を交付した。

３　民間保育所施設整備費補助金　200,000 円

不動岡保育園で実施した子供用椅子の更新に対して助成を行った。

４　保育教諭確保のための幼稚園教諭免許状取得支援事業費補助金　16,000 円

大利根ふじこども園の保育士２名の幼稚園免許状更新に係る受講料に対して補助金を交付した。

５　保育体制強化事業費補助金　2,400,000 円

保育士の業務負担の軽減を図るために保育支援者を雇用した施設に対して補助金を交付した。

６　保育所等ＩＣＴ化推進事業費補助金　1,500,000 円

保育所等において業務効率化のためにＩＣＴ化の設備を導入した施設に対して補助金を交付した。

７　保育所等新型コロナウイルス対策感染症対策事業費補助金　1,126,000 円

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、マスクや消毒液等を購入した施設に対して補助金を交付した。

事 業 名	公立放課後児童健全育成事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1123-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	214,848,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	215,998,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	193,144,463 円
事業の目的	放課後の時間帯や長期休業期間中の就労等により家庭保育ができない保護者に代わり、家庭的機能の補完を行いながら児童の生活の場を提供し、子育ての支援及び児童の健全な育成を図る。	事業の概要	・保護者の就労等により、家庭保育が困難な世帯の小学校就学児童を対象に小学校や幼稚園の余裕教室等を利用して学童保育を行う。 ・開設時間： 学校開業日：放課後～19 時 学校休業日：7 時 30 分～19 時 ・合同保育の実施		

事業の実績・成果

児童福祉法第 6 条の 3 第 2 項の規定に基づき、保護者が就労等により昼間留守家庭となる市内の就学児童に対し、授業終了後に児童厚生施設や小学校及び幼稚園の教室等を利用して、適切な遊び及び生活の場を与えてその健全な育成を図り、保護者の仕事と家庭の両立支援を行った。

1　実施施設一覧　（単位：人）

地域	小学校区	実施施設	定員	開設時間 通常	開設時間 土曜日	開設時間 長期休業日	対象学年
加須地域	加　須	加須小学校放課後児童健全育成室	75	放課後～19:00	7:30～19:00（7:30～8:00は延長保育）	同左	1 年生～6 年生
	花崎北	花崎北小学校放課後児童健全育成室	95				
	加須南	加須南小学校放課後児童健全育成室	60				
	不動岡	不動岡小学校放課後児童健全育成室	62				
	三　俣	三俣小学校放課後児童健全育成室	93				
	礼　羽	礼羽小学校放課後児童健全育成室	50				
	大　桑	大桑小学校放課後児童健全育成室	115				
	水　深	水深小学校第一放課後児童健全育成室	65				
		水深小学校第二放課後児童健全育成室	45				
		水深小学校第三放課後児童健全育成室	64				
	志多見	志多見小学校放課後児童健全育成室	40				
	樋遣川	樋遣川小学校放課後児童健全育成室	30				
	大　越	大越小学校放課後児童健全育成室	32				
大利根地域	大利根東	大利根東放課後児童健全育成たなばた室	60				
	原　道	原道放課後児童健全育成のぎく室	51				
	元　和	元和放課後児童健全育成かえで室	61				
	豊　野	豊野放課後児童健全育成もみじ室	30				

・令和 2 年 3 月に不動岡小学校放課後児童健全育成室内の保育面積拡張、志多見小学校放課後児童健全育成室は、使用していた保育室と校舎内会議室を一時的に交換し、待機児童ゼロを継続した。

・公立放課後児童健全育成室において土曜日及びお盆の合同保育を実施した。

放課後児童健全育成室	拠点施設
加須小学校放課後児童健全育成室	加須南小学校放課後児童健全育成室
加須南小学校放課後児童健全育成室	
水深小学校第一放課後児童健全育成室	水深小学校第一放課後児童健全育成室
水深小学校第二放課後児童健全育成室	
水深小学校第三放課後児童健全育成室	
不動岡小学校放課後児童健全育成室	不動岡小学校放課後児童健全育成室
礼羽小学校放課後児童健全育成室	
志多見小学校放課後児童健全育成室	
三俣小学校放課後児童健全育成室	三俣小学校放課後児童健全育成室
樋遣川小学校放課後児童健全育成室	
大越小学校放課後児童健全育成室	
大利根東放課後児童健全育成たなばた室	大利根東放課後児童健全育成たなばた室
原道放課後児童健全育成のぎく室	
元和放課後児童健全育成かえで室	
豊野放課後児童健全育成もみじ室	

２　利用児童数と保護者負担金（学童保育料）収納状況の推移

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
児童数（人）		123, 383	135, 314	134, 587	144, 097	140, 523
調定額（円）		33, 027, 495	36, 793, 915	45, 650, 164	47, 531, 374	48, 675, 597
	現年度	32, 858, 395	36, 642, 995	45, 499, 464	47, 298, 049	48, 221, 197
	過年度	169, 100	150, 920	150, 700	233, 325	454, 400
収入済額（円）		32, 876, 575	36, 643, 215	45, 416, 839	47, 076, 974	48, 048. 047
	現年度	32, 717, 475	36, 492, 295	45, 266, 139	46, 889, 374	47, 867, 047
	過年度	159, 100	150, 920	150, 700	187, 600	181, 000
収納率（%）		99. 5	99. 6	99. 5	99. 0	98. 7
	現年度	99. 6	99. 6	99. 5	99. 1	99. 3
	過年度	94. 1	100. 0	100. 0	80. 4	39. 8

※児童数は年間延べ利用児童数

3　保護者負担金（月額）　（単位：円）

<table>
<tr><th colspan="3">階　　層</th><th>学童保育料</th><th>おやつ代</th><th>多子軽減</th><th>減　免</th></tr>
<tr><td>1</td><td colspan="2">生活保護法による被保護世帯及び市民税非課税世帯</td><td>0</td><td rowspan="7">2,000</td><td rowspan="7">同一世帯において、複数児童が同時利用する場合、学童保育を利用する第 2 子の学童保育料を左記料金の 1／2、第 3 子以降の学童保育料を無料とする。</td><td rowspan="7">なし</td></tr>
<tr><td>2</td><td colspan="2">市民税均等割のみ課税世帯</td><td>2,000</td></tr>
<tr><td>3</td><td rowspan="5">市民税所得割の額の区分が次の区分に該当する世帯</td><td>40,000 円未満</td><td>3,000</td></tr>
<tr><td>4</td><td>40,000 円以上
70,000 円未満</td><td>4,500</td></tr>
<tr><td>5</td><td>70,000 円以上
140,000 円未満</td><td>5,500</td></tr>
<tr><td>6</td><td>140,000 円以上
240,000 円未満</td><td>7,000</td></tr>
<tr><td>7</td><td>240,000 円以上</td><td>8,000</td></tr>
</table>

4　延長保育料

利　　用　　月	月当たりの料金
5 月、6 月、9 月、10 月、11 月、2 月	200
4 月、7 月、12 月、1 月、3 月	500
8 月	1,000

※1 階層は延長保育料負担 0 円

事 業 名	民間放課後児童健全育成事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1123-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	297,330,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	298,540,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	224,328,151 円
事業の目的	放課後の時間帯や長期休業期間中の就労等により家庭保育ができない保護者に代わり、家庭的機能の補完を行いながら児童の生活の場を提供し、子育ての支援及び児童の健全な育成を図る。	事業の概要	民間放課後児童クラブに事業委託し、放課後児童健全育成事業を実施する。	

事業の実績・成果

1　放課後児童健全育成事業　224,328,151 円

保護者が就労等により、昼間家庭にいない市内小学校に通う児童に対し、授業の終了後に公共施設等を利用して適切な遊びや生活の場を提供して、その健全な育成を図るため、民間児童クラブに放課後児童健全育成事業を委託した。（委託料の 1/3 を国、1/3 を県が補助）

放課後児童支援員や補助員の処遇改善に関する費用を補助した。（1/3 を国、1/3 を県が補助）

【保育実績】

年間延べ登録児童数　（単位：人）

地 域	クラブ名称	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
加須	愛泉学童クラブ　おおぞら組	549	567	555	526	445
	愛泉学童クラブ　つばさ組	394	408	395	401	378
	かぞ児童クラブ	363	389	437	418	425
	みつまた児童クラブ	334	362	468	606	650
	みつまた第三児童クラブ	310	290	317	276	196
	にしき学童	459	397	417	448	435
	みなみ児童クラブ		184	240	348	412
騎西	騎西学童保育室 風の子学童クラブ	389	418	539	518	530
	騎西学童保育室 風の子第２学童クラブ	209	138			
	種足つばさ学童クラブ	421	473	549	517	572
	田ケ谷学童保育室 くすの木学童クラブ	397	371	368	371	389
	高柳学童保育室 けやき学童クラブ	366	401	352	338	384
	鴻茎学童保育室 おおぞら学童クラブ	519	491	356	385	454
	学童保育室ふたばクラブ	542	570	454	517	481
北川辺	東小学童クラブの会きらきらキッズ	486	483	508	431	425
	東小学童クラブの会きらきらキッズ第２				311	347
	北川辺学童保育の会　げんきクラブ第１	439	577	661	722	404
	北川辺学童保育の会　げんきクラブ第２					330
合計（延べ児童数）		6,177	6,519	6,616	7,133	7,257

※みなみ児童クラブ：平成 28 年４月１日開室
※騎西学童保育室風の子第２学童クラブ：平成 29 年３月 31 日閉室
※東小学童クラブの会きらきらキッズ第２：平成 30 年４月１日開室
※愛泉学童クラブおおぞら組（旧はと組）：平成 31 年４月１日名称変更
※北川辺学童保育の会げんきクラブ第２：平成 31 年４月１日開室

2　健全育成室修繕費　3,155,392 円

公設民営の放課後児童クラブ施設の修繕、改修を実施した。また、必要な備品を購入した。

事 業 名	三世代ふれあい家族応援事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	3213-08
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,400,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	7,700,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	5,800,000 円
事業の目的	三世代同居家族の市内への定住化を促進し、安心した子育てと高齢者が安心して暮らせる環境を推進する。併せて、市内産業の活性化を図る。	事業の概要	三世代同居を目的とした住宅の取得やリフォームに係る費用の一部を助成する。 当初、平成30年度事業終了を予定していたが、事業効果等を考慮し事業継続。	

事業の実績・成果

市内に三世代世帯が同居し、相互に協力することにより、子どもを安心して産み育てるとともに、高齢者が安心して暮らせる環境を整えるため、住宅の新築、購入又は増改築等に要する費用の一部を補助することにより、本市の定住人口の増加及び地域経済の活性化につなげることを目的として、平成 28 年４月１日から交付受付を開始した。

（事業の概要）

○交付対象費用

①同居するためのリフォーム工事に要した費用

②同居するための新築又は住宅の購入に要した費用

○補助金額　市内事業者との契約　：　30 万円

その他　：　20 万円

○補助金の交付状況

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
補助金交付件数（件）		8	11	17	25
	うち　市内事業者	3	1	8	8
	市外事業者	5	10	9	17
補助金交付額（円）		1,900,000	2,300,000	4,200,000	5,800,000
	うち　市内事業者	900,000	300,000	2,400,000	2,400,000
	市外事業者	1,000,000	2,000,000	1,800,000	3,400,000

○補助金を交付した世帯の合計人数

125 人（うち 79 人が市外からの転入者）

○固定資産税減免対象（税務課）

200 ㎡までの宅地に適用される税額の１/6 軽減措置を、3 年間 500 ㎡までに拡大

○固定資産税減免状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対象（件）	7	19	33
減免税額（円）	45,300	118,900	220,000

※　平成 29 年度から適用

事業名	子育てのための施設等利用費給付事業			
担当課	保育幼稚園課		総合振興計画コード	1112-28
款	03	民生費	当初予算額	0円
項	02	児童福祉費	最終予算額	53,676,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	28,576,020円
事業の目的	幼児期の教育及び保育等を行う施設等の利用費を無償化し、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図る。	事業の概要	無償化に必要な施設等利用給付認定を行い、請求に基づき給付費を支払う。 保育所、幼稚園、認定こども園等の保育料のほか、幼稚園の預かり保育、認可外保育施設等の利用料を無償化する。無償化の対象は3歳児クラスから5歳児クラスの子ども全員と、0歳児クラスから2歳児クラスの住民税非課税世帯の子ども。	

事業の実績・成果

無償化に必要な施設等利用給費認定について申請に基づき審査し、該当者全員を認定した。
令和元年10月以降について、請求分の給付費を執行した。

支出金額

	令和元年度（10月1日～）
施設　（円）	26,858,360
保護者（円）	1,717,660

事業名	児童扶養手当支給事業		
担当課	子育て支援課	総合振興計画コード	1112-05
款 03	民生費	当初予算額	533,880,000円
項 02	児童福祉費	最終予算額	533,880,000円
目 02	児童措置費	決算額	504,051,023円
事業の目的	子育て中のひとり親家庭等に対する経済的な支援を行い、生活の安定と自立に向けた支援を行う。	事業の概要	・対象者は18歳までの児童（障害の状態にある場合は20歳未満） ・申請者や扶養義務者の所得により、手当の一部又は全部が支給停止になる場合がある。 ・受給開始から5年等経過した受給者は自立に向けた活動等を行わないと手当額の2分の1が支給停止となる。 ・支払月は奇数月の年6回のほか転出者、喪失者等に対し随時払を行う。

事業の実績・成果

児童扶養手当を支給することで、ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進を図った。

また、児童扶養手当法の一部改正により、令和元年11月分の児童扶養手当から支払回数が4か月分ずつ年3回から2か月分ずつ年6回に見直された。支払月が変わる令和元年11月の支払は、同年8月分から同年10月分までの3か月分を支払、今年度の支払月は、4・8・11・1・3月の年5回となった。

1　児童扶養手当支給額

区分		手当月額（円）	延月人数（人）	支出額（円）
全部支給者		42,500	1,848	78,540,000
		42,910	4,890	209,829,900
		42,330、42,000	23	969,630
一部停止者		42,490～10,030	1,370	39,962,700
		42,900～10,120	3,741	109,643,760
加算額	2子加算	10,040、10,030～5,020	1,347	12,590,720
		10,140、10,130～5,070	3,550	33,373,380
		10,000、5,000	23	150,000
	3子以降加算	6,020、6,010～3,010	398	2,286,550
		6,080、6,070～3,040	1,005	5,788,530
１３条の２対象者			162	6,026,900
１３条の３対象者			1	29,570
合計			18,358	499,191,640

2　支給延児童数・支給額の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
延児童数（人）	15,135	14,758	15,105	14,858	18,358
支給額（円）	374,052,300	377,480,240	397,275,980	391,050,260	499,191,640

事 業 名		児童手当支給事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1112-14
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,701,084,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	1,701,084,000 円
目	02	児童措置費	決 算 額	1,631,368,493 円

事業の目的	家庭等における生活の安定、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として児童手当を支給する。	事業の概要	・対象者は中学校修了までの児童 3 歳未満：1 万 5 千円 3 歳以上小学校修了前：第 1･2 子 1 万円 第 3 子以降：1 万 5 千円 中学生 1 万円を 6･10･2 月に支給する。 ・平成 24 年 6 月より所得制限を導入し、限度額超過者は、一律 5 千円を支給する。

事業の実績・成果

児童手当を支給することにより、子育て家庭に対する経済的支援を行った。また、市民に対して制度の周知を図るとともに、適正かつ迅速な事業執行に努めた。
※平成 24 年 4 月 1 日から「児童手当の一部を改正する法律」が施行され、平成 24 年 6 月から所得制限が導入された。

1　事業内容
（1）支給対象　0 歳から中学校修了前までの間にある児童の養育者に支給
（2）支給月額　3 歳未満　一律 15,000 円
3 歳以上小学校修了前　10,000 円（第 3 子以降は 15,000 円）
小学校修了後中学校修了前　一律 10,000 円
特例給付（所得制限超過者）　一律　5,000 円
（3）支払時期　原則として、6 月、10 月、2 月にそれぞれの前月分までを支給

2　児童手当支給額

延児童数・支給額の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延児童数（人）	158,912	156,935	154,283	151,843	148,775
支給額（円）	1,744,930,000	1,722,270,000	1,694,675,000	1,666,380,000	1,628,365,000

事 業 名		避難者支援児童扶養手当支給事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1112-15
款	03	民生費	当 初 予 算 額	7,782,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	7,782,000 円
目	02	児童措置費	決 算 額	4,051,960 円
事業の目的	原発避難者特例法に基づいたひとり親家庭等の避難者に児童扶養手当を支給し、経済的支援を図る。		事業の概要	・避難元団体から通知があった日の属する月の翌月分から手当を支給する。支払は1･3･5･7･9･11 月の奇数月年6回。 ・ひとり親家庭等の児童が 18 歳（障害の状態にある場合は 20 歳未満）に達した日の属する年度末まで手当を受けることができる。

事業の実績・成果

避難元自治体と連携し、原発避難者特例法に基づいたひとり親家庭等の避難者の実態把握と手当支給に努め経済的支援を図った。

また、児童扶養手当法の一部改正により、令和元年 11 月分の児童扶養手当から支払回数が 4 か月分ずつ年 3 回から 2 か月分ずつ年 6 回に見直された。支払月が変わる令和元年 11 月の支払は、同年 8 月分から同年 10 月分までの 3 か月分を支払、今年度の支払月は、4・8・11・1・3 月の年 5 回となった。

1　対象者

・双葉町　　受給者数　6 人　　延児童数　114 人
・浪江町　　受給者数　1 人　　延児童数　 30 人
・富岡町　　受給者数　1 人　　延児童数　 4 人

2　児童扶養手当支給額

区　　分		手 当 月 額（円）	延月人数（人）	支 出 額（円）
全 部 支 給 者		42,500	16	680,000
		42,910	51	2,188,410
一 部 停 止 者		42,490～10,030	12	260,440
		42,900～10,120	25	505,950
加算額	2 子 加 算	10,040、10,030～5,020	8	77,160
		10,140、10,130～5,070	36	340,000
	3 子以降加算	6,020、6,010～3,010	―	―
		6,080、6,070～3,040	―	―
合　　計			148	4,051,960

事 業 名		未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金支給事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1112-27
款	03	民生費	当 初 予 算 額	0 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	3,625,000 円
目	02	児童措置費	決 算 額	1,759,259 円
事業の目的	消費税の増税やこれまで寡婦控除の適用を受けることのできなかった未婚のひとり親家庭への支援として、今年度限り給付金を支給する。	事業の概要	8 月の児童扶養手当現況届を提出し、11 月分の手当が支給（全部支給・一部支給）となる方のうち、これまで婚姻（法律婚）をしたことがない方を対象に給付金を支給する。	

事業の実績・成果

消費税の引き上げとなる環境の中、子どもの貧困に対応するため、ひとり親家庭への支援として、今年度限りの臨時・特別の措置として、児童扶養手当の受給者のうち未婚のひとり親家庭に対して給付金を支給した。

1　支給内容　　1 人 17,500 円
2　支給件数　　49 人
3　支 給 額　　857,500 円（国庫補助事業：補助率 10/10）

事 業 名		公立保育所管理運営事業		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-09
款	03	民生費	当 初 予 算 額	313,532,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	319,191,200 円
目	03	児童福祉施設費	決 算 額	252,048,469 円

事業の目的	公立保育所において、保育を必要とする児童の保育を実施し、子育てと仕事の両立への支援を行う。	事業の概要	公立保育所（7ヶ所）の運営管理 公立保育所の保育時間 第一保育所、こすもす保育園、第三保育所、第四保育所（7:30～18:30） 騎西保育所（7:30～18:30） 北川辺保育所（7:30～19:30） わらべ保育園（7:30～19:30）

事業の実績・成果

公立保育所において安全等を十分に配慮して保育を実施し、保育を必要とする保護者の子育て支援を行った。
待機児童ゼロを目指し、保育士（臨時職員）の確保に努めた。

○主な支出

・電気カーペット購入　　(騎西保育所)
・保育室カーテン購入　　(北川辺保育所)
・保育室床張替修繕　　(第四保育所)
・ホール水銀灯修繕　　(騎西保育所)
・雨漏り箇所天井塗装修繕　(北川辺保育所)
・中ホール照明設備修繕　　(わらべ保育園)
・保育室外空調機改修工事　(第四保育所)
・保育室外空調機改修工事　(北川辺保育所)

○保育所等入所児童数（4月1日現在）　　（単位：人）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
公立入所児童数		574	561	554	503	516
内訳	市内①	563	549	548	495	511
	市外受託	11	12	6	8	5
私立入所児童数		1,394	1,428	1,415	1,486	1,520
内訳	市内②	1,333	1,371	1,358	1,441	1,474
	市外受託	61	57	57	45	46
合　計（公＋私）		1,968	1,989	1,969	1,989	2,036
市外委託③		65	57	49	54	69
内訳	公立	15	10	12	10	9
	私立	50	47	37	44	60
①＋②＋③合計		1,961	1,977	1,955	1,990	2,054

※市内・・・市内在住の児童
　市外受託・・・市外在住で加須市の保育所等に入所している児童
　市外委託・・・市内在住で加須市以外の保育所等に入所している児童
※①＋②＋③合計は、保育所等に入所している市内在住児童の合計

事 業 名		公立保育所管理運営事業【繰越明許】		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-09
款	03	民生費	当 初 予 算 額	27,971,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	27,971,000 円
目	03	児童福祉施設費	決 算 額	26,460,000 円
事業の目的	公立保育所において、保育を必要とする児童の保育を実施し、子育てと仕事の両立への支援を行う。		事業の概要	公立保育所（7ヶ所）の運営管理 公立保育所の保育時間 第一保育所、こすもす保育園、第三保育所、第四保育所（7:30～18:30） 騎西保育所（7:30～18:30） 北川辺保育所（7:30～19:30） わらべ保育園（7:30～19:30）

事業の実績・成果

【平成30年度から令和元年度へ繰越を行った理由】
平成30年9月30日から10月1日にかけて台風24号の強風により破損した北川辺保育所の屋根の修繕について仮修繕対応済みであるが、本復旧工事は年度内の完了が困難なため令和元年度に繰り越した。

●工事費
・北川辺保育所屋根復旧工事　26,460,000円

事 業 名		公立保育所障害児保育事業		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-10
款	03	民生費	当 初 予 算 額	49,726,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	49,726,000 円
目	03	児童福祉施設費	決 算 額	46,470,850 円
事業の目的	障がいがある児童の家庭を支援する保育サービスの充実を図る。		事業の概要	障がいがあり保育を必要とする児童の集団保育を、全公立保育所で実施。障がい児3人に対し最低1名の保育士を加配するとともに、専門家や専門機関と必要な連携をとりながら、児童の発達及び保護者の就労と子育てを支援する。

事業の実績・成果

障がいの程度等により、民間保育所が受け入れを困難とした児童の入所や支援を行った。
特別支援学校のコーディネーター派遣により、個別相談や巡回指導を実施した。

（単位：人、円）

	特別な配慮が必要な児童数	加配保育士数	決 算 額
第一保育所	8	3	6,024,245
こすもす保育園	17	4	8,428,325
第三保育所	0	0	0
第四保育所	3	3	6,371,766
騎西保育所	5	3	6,210,487
北川辺保育所	8	4	8,137,037
わらべ保育園	6	5	11,298,990
合 計	47	22	46,470,850

※特別な配慮が必要な児童数及び加配保育士数は4月1日現在

事業名	あすなろ園管理運営事業		
担当課	保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-12
款 03	民生費	当初予算額	6,060,000円
項 02	児童福祉費	最終予算額	6,060,000円
目 03	児童福祉施設費	決算額	4,632,340円
事業の目的	母子通園により障がい児の機能訓練や生活訓練を実施し、子どもの発達に合わせた支援とともに親支援を行い、集団保育や就学につなげる。	事業の概要	障がいがある就学前児童の発達支援と同時に、共に通う保護者に対して家庭における育児の支援（助言・指導）等を行い、集団保育や就学に向けた訓練を行う。 保育所・幼稚園における障がい児保育についても、医師や保健センター、特別支援学校等とも連携して支援を行い、就学に向けた保護者への助言、あるいは児童発達支援事業所等の活用につなげる。

事業の実績・成果

就学前の心身障がい児に対する日常生活の指導訓練･地域社会との交流及び専門家等による診断又は指導を実施した。

○通園児童数（4月1日現在）　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
あすなろ園	15	14	18	13	14

○利用状況（3月31日現在）　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
生活指導	16	14	8	12	11
理学療法	6	4	4	6	6
言語療法	25	22	16	9	11

※専門家の訓練利用は通園者以外も利用可能である。

事 業 名	公立児童館等管理運営事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1114-08
款	03	民生費	当 初 予 算 額	19,730,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	19,730,000 円
目	04	児童館費	決 算 額	18,011,793 円
事業の目的	地域の児童健全育成拠点施設を充実させ、市民の子育てを支援する。	事業の概要	利用児童の安全確保に配慮した適切な施設管理を行うとともに、健全な遊びを提供する。	

事業の実績・成果

児童福祉法第40条に基づく児童厚生施設として、子どもたちに健全な遊びを提供し、健康増進や豊かな情操の育成に努めた。

現在、利根川こども館を含め、加須児童館、花崎児童館の3館を運営している。

行事、イベントについては、職員の創意工夫、地域との連携により実施しており、利用者は増加傾向にある。

1　自主事業

	内　　容	参加人数
加須児童館(人)	こいのぼりづくり、演劇鑑賞会、クリスマス会　ほか	691
花崎児童館(人)	こいのぼりづくり、七夕飾りづくり、クリスマス会　　ほか	553
利根川こども館(組)	ちびっこ広場※1	44※2

※1 幼児と保護者を対象に工作、歌、運動会などのイベントを通じて、健全な育成を図る事業。
　　じゃがいも、大根の植付や収穫、クリスマス会などを実施した。

※2 幼児と保護者を1組として計上している。

2　児童館利用状況　（単位：人）

	開館日数（日）	幼児	小学生	中学生	大人等	合計	一日平均利用者数
加須児童館	281	2,971	6,426	1,217	2,507	13,121	47
花崎児童館	281	3,793	8,974	748	4,879	18,394	65
利根川こども館	280	6,434	4,247	412	10,628	21,721	78
合　計	842	13,198	19,647	2,377	18,014	53,236	58

3　利用者の推移　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加須児童館	12,057	11,815	11,574	12,459	13,121
花崎児童館	20,748	21,682	23,510	23,039	18,394
利根川こども館	25,728	24,047	25,829	25,416	21,721
合　計	58,533	57,544	60,913	60,914	53,236

※　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元年度（3月）は休館した。

事 業 名		子どもふれあいの家管理運営事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1114-13
款	03	民生費	当 初 予 算 額	546,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	1,561,000 円
目	04	児童館費	決 算 額	1,450,154 円
事業の目的	地域の子どもたちの交流施設の充実と経費節減を図るため、効率的な施設管理を行う。		事業の概要	・地域の子育て支援拠点として適切な施設管理を行う。水深小第二健全育成室として利用中。

事業の実績・成果

水深小学校区の児童数が増え、放課後児童クラブの利用児童数も増加している。このため、利用児童数が水深小学校内の併設施設の収容能力を超えたため、子どもふれあいの家を再び放課後児童健全育成室として利用した。

この結果、水深小第二健全育成室として活用することで、利用児童数の分散化を図っている。

事 業 名		生活保護管理事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2145-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	9,520,000 円
項	03	生活保護費	最 終 予 算 額	9,520,000 円
目	01	生活保護総務費	決 算 額	7,496,034 円
事業の目的	生活保護の適正な運営を図り生活保護者の自立を促進する。		事業の概要	生活保護新規申請時調査の徹底・29 条調査・扶養義務者照会、医療報酬支払基金等による診療報酬及び介護報酬明細書点検確認、嘱託医による医療要否意見書の確認などを実施する。

事業の実績・成果

○嘱託医による医療要否意見書のチェック及び要保護者の医療扶助の決定実施にともなう専門的判断及び必要な助言指導等により、医療扶助費の適正化に努めた。

○医療報酬支払基金等による診療報酬明細書及び介護報酬明細書の審査を実施するとともに、後発医薬品の使用促進と医療費の抑制を図るため、保護だより等の啓発資料を配布し、医療扶助費等の適正化に努めた。

○課税調査を始めとする生活保護法第 29 条調査を実施し、生活保護の適正実施に努めた。

○市の就労支援相談員やハローワークの就労相談員等によるチーム連携により、要保護者への自立に向けた就労支援を実施し、適正指導に努めた。

○定期的な家庭訪問や施設訪問、病状調査を実施し、適切な支援に努めた。

○市内の無料低額宿泊所と定期的に情報交換を行い、適正運営と地域との共生に努めている。施設の入居者は増加し満室状態が続いているが、周辺自治会との信頼関係が築かれている。

○ホームレスや生活困窮等により緊急的な食事提供が必要な方に対し、アルファ米の提供を行った。

事 業 名		生活保護適正実施推進事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2145-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	5,077,000 円
項	03	生活保護費	最 終 予 算 額	7,166,000 円
目	01	生活保護総務費	決 算 額	6,780,549 円
事業の目的	生活保護費の不正受給防止を図る。		事業の概要	生活保護システムを活用し、保護業務に係る決定、経理、医療、介護、統計等の一連の事務処理を効率的に実施する。 医療扶助の適正化を図るため、診療報酬明細書（レセプト）の内容点検を業務委託により実施する。 健康管理支援事業の実施に向け、準備・実施する。

事業の実績・成果

○生活保護システムの運用は、事務処理の効率化や統計業務の正確性に寄与した。
○診療報酬明細書の点検のうち、資格点検を職員が行うほか、内容点検、縦覧点検については、専門業者に委託し、医療扶助費の適正な支払いに努めた。

【参考】再審査請求の状況（平成 27 年度～令和元年度）　（単位：円、件）

		返戻金額	診療機関による取下げ等	成果額	点検内容	
					資格点検	内容点検
平成 27 年度	合計金額	9,432,738	1,776,010	7,656,728	1,429,670	6,227,058
	合計枚数	206	34	172	60	112
平成 28 年度	合計金額	8,875,744	5,438,035	3,437,709	2,448,307	989,402
	合計枚数	253	30	223	75	148
平成 29 年度	合計金額	3,550,773	789,973	2,760,800	1,190,078	1,570,722
	合計枚数	142	22	120	27	93
平成 30 年度	合計金額	3,488,981	64,245	3,424,736	2,801,080	623,656
	合計枚数	170	7	163	40	123
令和元年度	合計金額	2,423,938	0	2,423,938	1,214,340	1,209,598
	合計枚数	168	0	168	8	160

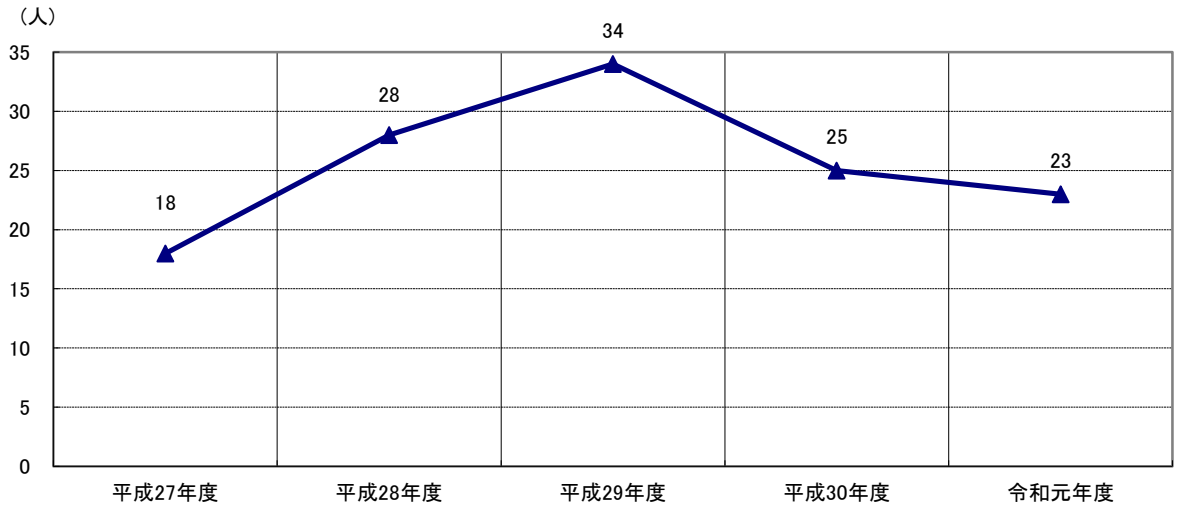
○現業員の資質の向上及び知識の習得を図ることを目的とし、各種研修会に参加した。
○後発医薬品使用促進について、チラシを年３回送付し、その他担当ケースワーカーが家庭訪問の際に原則使用についての説明を行い、使用率向上を図った。

事 業 名		生活保護者自立支援事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2145-07
款	03	民生費	当 初 予 算 額	5,283,000 円
項	03	生活保護費	最 終 予 算 額	5,323,000 円
目	01	生活保護総務費	決 算 額	4,655,927 円
事業の目的	生活保護世帯の社会的自立を支援する。	事業の概要	就労支援相談員による就労意欲の喚起及び就労自立支援、面接相談員の生活保護相談を実施する。	

事業の実績・成果

1　事業の実績

就労自立の状況・推移



就労支援状況（就労・廃止件数）

令和元年３月末現在		人数	左のうち 就労している者	左のうち保護 廃止となった者
就労支援対象者		312	156	23
内訳	生活保護受給者等就労自立促進事業による支援	62	20	6
	ＣＷによる支援	250	136	17

2　事業の成果

就労支援相談員との連携により、被保護世帯の就労自立支援活動に取組み自立の助長を図ることができた。

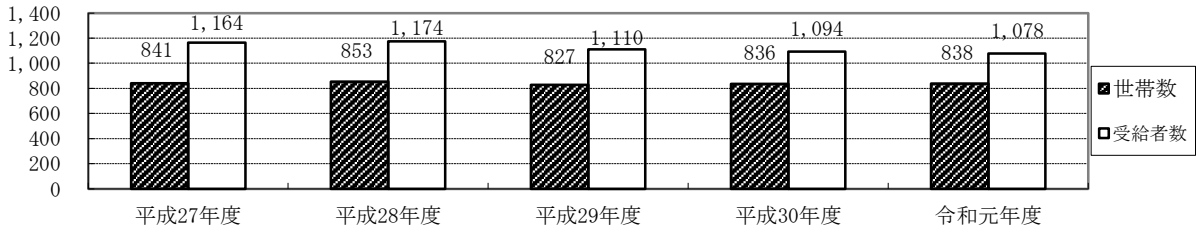
事 業 名		生活保護事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2145-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	2,016,195,000 円
項	03	生活保護費	最 終 予 算 額	2,205,814,000 円
目	02	扶助費	決 算 額	1,923,904,441 円
事業の目的	最低限度の生活の保障と要保護者の自立を図る。	事業の概要	生活保護に関する相談、申請受付業務を行うとともに生活困窮の程度に応じた保護の実施および自立助長のための就労支援を行う。	

事業の実績・成果

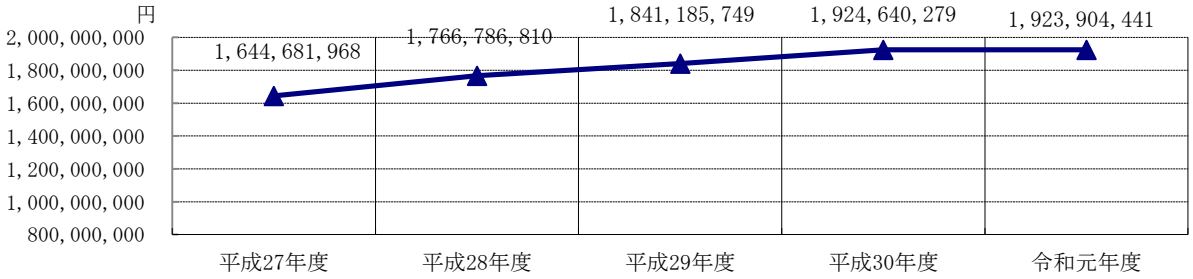
生活保護の状況について

1　生活保護世帯数および受給者数の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
世帯数（世帯）	841	853	827	836	838
受給者数（人）	1,164	1,174	1,110	1,094	1,078



2　生活保護費
保護費の推移



生活保護世帯数は、ここ数年横ばいであるが高齢者世帯の増加により医療扶助費や介護扶助費が増大し、生活保護費は増加傾向にある。

3　類型別世帯数

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
高齢者世帯	428(52.0%)	446(52.9%)	448(54.7%)	461(55.6%)	482(57.9%)
母子世帯	39(4.8%)	38(4.5%)	37(4.5%)	33(4.0%)	24(2.9%)
障害者世帯	75(9.1%)	79(9.4%)	83(10.1%)	83(10.0%)	92(11.0%)
傷病者世帯	155(18.8%)	152(18.0%)	149(18.1%)	159(19.2%)	151(18.1%)
その他世帯	126(15.3%)	128(15.2%)	103(12.6%)	93(11.2%)	84(10.1%)

※　類型別世帯数では停止世帯を含まないため、生活保護世帯数の合計と誤差が生じている。

事業名	災害時要援護者支援事業		
担当課	地域福祉課	総合振興計画コード	3134-01
款 03	民生費	当初予算額	1,014,000円
項 04	災害救助費	最終予算額	1,889,000円
目 01	災害救助費	決算額	877,361円
事業の目的	災害に備えて、高齢者や障がいのある方など自ら避難することが困難な方について、地域の中で避難支援を受けられるようにするための制度を整備することにより、安心して暮らすことができる地域づくりの推進を図る。	事業の概要	災害時に備え、要援護者の把握及び登録台帳を整備し、避難支援等関係者と情報を共有する。 要援護者名簿は、1年に1回、自治協力団体、民生委員・児童委員、自主防災組織、消防団等に配付し情報を更新する。 福祉避難スペースにおける必要備品の整備や福祉避難所確保に向け施設の検討を行う。

事業の実績・成果

1　災害時要援護者名簿の整備

災害時等における安否確認や避難誘導、救出活動等を的確に行えるよう、要援護者名簿を整備した。

（1）名簿の配付　　自治協力団体、自主防災組織、民生委員、消防団に配付
※年度更新時に旧名簿は回収

（2）登録者情報の更新　　定期的な登録者情報の更新に努め、災害時に備えた。

（3）登録者数　　6,787人（実人数）

（単位：人）

内訳（複数項目該当者は重複加算）		延合計	7,104
① ひとり暮らし高齢者	2,276	⑤知的障害者（Ⓐ、A、B）	27
② 高齢者のみの世帯	4,326	⑥精神障害者（1、2級）	18
③ 要介護（3、4、5）	83	⑦外国人（日本語不自由）	0
④ 身体障害者（1、2、3級）	269	⑧その他	105

2　福祉避難スペースの整備

専門的なサービスは必要としないながらも、一般的な避難所では避難生活に困難が生じる要援護者の方々が安心して避難生活を送ることができるよう、拠点避難所（全23ヵ所）において福祉避難スペースを確保するとともに、追加整備が必要とされる拠点避難所があったため、バリアフリーのためスロープを購入・配備し、避難支援体制の充実を図った。

【繰越明許　令和元年度から令和2年度へ繰り越す理由】

補助避難所と要援護者の広域避難所にも拠点避難所と同等の整備が必要とされ、新たに、車いすが回転可能なトイレ用テントと手すり付き簡易トイレ、段ボールベッドを補助避難所（市内7中学校）、広域避難所2ヵ所に配備するため令和2年3月に補正予算を措置したが、年度内に事業完了できないため。

3　福祉避難所の確保

福祉避難スペースでは避難生活が困難な要援護者が必要な支援を受けられるよう、施設・設備、体制の整った介護老人福祉施設、介護老人保健施設、障害児施設、障害者サービス事業所等と協定を締結し、福祉避難所として指定している。

福祉避難所協定締結施設数　　（単位：件）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	18	19	22	27

事業名	被災者支援事業			
担当課	地域福祉課		総合振興計画コード	3135-01
款	03	民生費	当初予算額	3,215,000円
項	04	災害救助費	最終予算額	3,215,000円
目	01	災害救助費	決算額	1,443,368円
事業の目的	災害見舞金・弔慰金・応急住宅補助金を支給することで、災害を受けた者などの保護と福祉の増進を図る。	事業の概要	災害の被災者に、見舞金及び仮設住宅補助金を支給する。 【見舞金・弔慰金】 家屋全焼（壊）20万円 半焼（壊）10万円、床上浸水5万円 部分焼（一部損壊）1万円 傷害見舞金3万円、弔慰金10万円 【仮設・賃貸住宅の補助】 月額2万円（上限）×12ヶ月まで	

事業の実績・成果

1　加須市災害見舞金等支給要綱に基づく見舞金弔慰金
災害見舞金弔慰金　1,050,000円

（単位：件）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
家屋	全焼・全壊（20万円）	2	9（※1）	8	7	4
	半焼・半壊（10万円）	1	1	1	1	0
	床上浸水（5万円）	0	0	0	0	0
	部分焼･一部損壊（1万円）	1	4	6	12	10
見舞金	負傷者（3万円）	1	5	4	0	5
弔慰金	死亡者（10万円）	0	2（※2）	1	0	0

※1及び※2…東日本大震災による福島県双葉町からの避難者が被災したものを1件ずつ含む。
（双葉町が支給する見舞金等を控除した額を加須市が支給）

2　加須市災害弔慰金の支給等に関する条例に基づく災害弔慰金
なし

3　り災者応急住宅費補助金　392,000円

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数（件）	1	1	2	4	4
金額（円）	140,000	170,000	320,000	355,800	392,000

事 業 名	不妊治療事業			（総合戦略）
担 当 課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	1111-04
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	9,700,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	9,700,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	3,983,000 円
事業の目的	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実するため、不妊や不育に悩む夫婦が不妊治療や不妊検査、不育症検査を受けることによる経済的負担を軽減することにより、不妊治療等を受けやすい環境を整備する。	事業の概要	①不妊治療費助成事業は、埼玉県不妊治療費助成事業の支給の決定を受けた、初回治療時妻年齢43歳未満の夫婦を対象に、不妊治療費用の一部（県の助成金額を控除した自己負担額の1/2、上限15万円）を助成する。②早期不妊検査費助成事業及び不育症検査費助成事業は、妻年齢43才未満の夫婦が受けた不妊検査費用や不育症検査費用の一部（上限2万円、1回限り）を助成する。	

事業の実績・成果

安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを推進することができた。

1　不妊治療費被助成者数

（単位：件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
不妊治療費被助成者数	52	48	49	39	34
不妊治療による妊娠者数	22	16	16	16	17

※　平成27年度分の不妊治療費助成申請者数には、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）の繰越明許分35件を含む。

【参考】　（単位：件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
埼玉県不妊治療費助成事業申請者数（加須市民）	81	82	91	85	87

2　早期不妊検査費被助成者数

（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
早期不妊検査費被助成者数	10	16	10

3　不育症検査費被助成者数

（単位：件）

	平成30年度	令和元年度
不育症検査費被助成者数	3	5

事業名	妊婦保健事業			（総合戦略）
担当課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	1111-05
款	04	衛生費	当初予算額	61,562,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	61,562,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	54,902,920円
事業の目的	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実するため、母体や胎児の健康の保持増進を図るとともに、妊娠・出産・子育てに関する正しい知識を習得いただき、安心して出産できるよう支援する。	事業の概要	妊婦健康診査（14回分のうち1回目13,910円、2回目以降は5,000円、5,600円または8,000円を助成）及び関連検査（HIV抗体検査、子宮頸がん検診、HTLV-1検査、性器クラミジア検査）費用を助成する。 また、パパママ学級を開催し、安心して出産できるよう支援する。		

事業の実績・成果

妊娠届出をした妊婦の95.7%（608人／635人）が妊婦健康診査を受診したため、妊婦の健康を守ることに役立った。

また、パパ・ママ学級参加者へのアンケートの結果、「参加して育児不安が減ったか」という質問に対して、回答者の98.0%（149人／152人）が「そう思う」「だいたいそう思う」と回答し、妊娠や出産に対する不安の軽減につなげることができた。

1　妊娠届出等

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
妊娠届出(件)	729	684	690	624	635
母子手帳交付数(冊)	757	721	718	659	670

2　妊婦健康診査受診者数　（単位：人）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
妊婦健康診査受診（公費負担）者数	1回目	701	665	676	609	608
	2回目	661	668	659	612	589
	3回目	679	633	658	588	571
	4回目	651	659	650	606	555
	5回目	516	516	539	532	508
	HTLV-1抗体検査	741	650	694	611	603
	性器クラミジア検査	704	661	694	618	602
	6回目から14回目	5,049	4,995	5,341	4,638	4,285

3　パパ・ママ学級　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
パパ参加者数	90	95	73	104	93
ママ参加者数	125	117	94	133	125
計	215	212	167	237	218

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月に実施を予定していた実践編1回は中止

事業名	避難者支援妊婦保健事業				
担当課		健康づくり推進課		総合振興計画コード	1111-06
款	04	衛生費		当初予算額	509,000円
項	01	保健衛生費		最終予算額	509,000円
目	01	保健衛生総務費		決算額	175,220円
事業の目的	原発避難者特例法に基づき、東日本大震災により被災した者のうち、妊婦に対して妊婦健康診査受診等の支援を行う。		事業の概要	妊婦健康診査（14回分のうち1回目13,910円、2回目以降は5,000円、5,600円または8,000円を助成）及び関連検査（HIV抗体検査、子宮頸がん検診、HTLV-1検査、性器クラミジア検査）費用を助成する。（平成24年1月から実施）	

事業の実績・成果

東日本大震災により被災した者のうち、妊婦に対して妊婦健康診査を受ける機会を提供した。

（単位：人）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
妊婦健康診査受診（公費負担）者数	1回目	1	4	1	3	2
	2回目	0	3	3	3	1
	3回目	0	2	3	3	1
	4回目	0	4	4	2	1
	5回目	1	1	2	2	1
	HTLV-1抗体検査	1	4	2	3	2
	性器クラミジア検査	1	4	2	3	2
	6回目から14回目	0	38	6	12	11

事 業 名	こんにちは赤ちゃん事業			（総合戦略）
担 当 課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	1111-08
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	2,637,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	2,637,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	1,894,478 円
事業の目的	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実するため、乳児家庭の孤立化を防ぎ、親子の健全な育成環境の確保を図る。また、産後うつ病を防ぎ、適切な養育の実施を確保する。	事業の概要	生後 4 か月までの乳児のいる全ての家庭に助産師、保健師が訪問し、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、母子の心身の状態等を把握し、助言を行う。 また、未熟児訪問や、養育支援訪問（専門的相談・指導が必要な家庭訪問）を行う。	

事業の実績・成果

産婦から提出された出生連絡票に基づき連絡し、生後 4 か月までの乳児のいる家庭を助産師または保健師が訪問した。出生連絡票の提出がない場合、地区担当保健師から連絡を行い訪問した。

訪問により、乳児の発育・発達、健康状態を把握するとともに、母親（父親）の育児に対する相談を受け、育児支援を行うことができた。

1　訪問件数（年度訪問件数）　（単位：件）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
688	680	653	652	572

※訪問件数については、前年度生まれの乳児、他市へ依頼した訪問も含む。

2　令和元年度訪問状況　（単位：件）

令和 2 年 5 月末日現在（令和 2 年生まれの児の訪問が終了していないため）

対象者数（出生数－転出＋転入）		606
訪問者数		532
訪問予定者数		60
未訪問の内訳	来所面接	0
	施設入所	3
	希望なし	11

※対象者数は、令和 2 年 3 月 31 日までの児

※希望なしの理由は、里帰り中のため調整がつかない、経産婦のため心配なことがない等。

3　養育支援訪問（未熟児養育医療申請者、病院からの連絡等）　（単位：件）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
28	57	79	66	53

※平成 28 年度からは未熟児養育医療申請者の訪問件数に病院からの連絡等の訪問件数を合算。

※訪問件数については、前年度生まれの乳児も含む。

事 業 名		母子保健推進員訪問活動事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	1114-06
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	163,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	163,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	93,546 円
事業の目的	地域における子育て支援を促進するため、母子愛育会の班員のうち、母子保健推進員として登録した者が、市民の見守り・声掛け訪問活動を実施する。		事業の概要	愛育班員のうち母子保健推進員として登録した者が、受け持ち地域に住む全ての市民を対象に家庭訪問を実施する。そして、母子保健推進員と保健師が地域の健康問題を把握し、健康増進に取り組む。

事業の実績・成果

各地域の母子保健推進員が、それぞれの担当地域の市民宅を訪問し、健康に関する資料や情報を直接提供した。また、遊びの広場等の健康づくり地域交流事業の案内を行い事業への参加につながった。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
家庭訪問件数（件）	1,631	1,537	1,553	942	906
母子保健推進員数（人）	289	293	285	247	241

事 業 名		親子歯科保健推進事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	1115-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	1,338,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	1,338,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	1,197,426 円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、親と子がむし歯、歯並び、歯周疾患について正しい知識を習得する機会を拡充する。	事業の概要	・2 歳児から就学前の幼児を対象とした歯 LOW 教室、フッ素塗布 ・親と子のよい歯のコンクール	

事業の実績・成果

歯の健康について知識の普及を図り、フッ素塗布によるむし歯の予防に努めたことにより、むし歯のない幼児を増やすことができた。

1　むし歯のない幼児の割合　（単位：%）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
歯 LOW 教室	94.4	97.7	94.7	97.5	100.0
2 歳児健診	95.2	97.4	97.0	97.0	97.2
3 歳児健診	80.8	81.8	82.9	86.6	88.1

2　3 歳児健診における歯みがき指導参加状況

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
健診受診者(人)	770	739	758	738	739
参加人数(人)	583	591	634	637	597
参加率（%）	75.7	80.0	83.6	86.3	80.8

3　フッ素塗布（歯 LOW 教室含む）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実施回数（回）	16	16	16	16	15
参加人数（人）	768	744	604	577	463

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 1 回実施を見合わせ、15 回実施した。

事業名	乳幼児健診事業			(総合戦略)
担当課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	1115-03
款	04	衛生費	当初予算額	12,577,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	12,577,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	11,450,706円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、乳幼児の健診を実施し、乳幼児の健康の保持増進及び虐待予防を図る。	事業の概要	乳幼児の身体計測、内科診察・歯科診察、保健相談、栄養相談、心理相談、歯科相談を実施する。	

事業の実績・成果

乳幼児健診を行うことにより、乳幼児の発育・発達の遅れ、疾病等の早期発見が図られた。

また、未受診児については、未把握のないよう、再通知や訪問、電話等で状況把握し、リスクの軽減を図った。

〈乳幼児健診実績の推移〉

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
3～4か月児健診	受診人数（受診率%）	687(96.5)	704(96.6)	680(97.8)	638(98.0)	606(97.4)
	健康管理上注意する者（その者の割合%）	307(44.7)	286(40.6)	300(44.1)	280(43.9)	263(43.4)
9～10か月児健診	受診人数（受診率%）	700(94.3)	697(95.5)	683(96.7)	685(96.6)	603(93.8)
	健康管理上注意する者（その者の割合%）	303(43.3)	279(40.0)	278(40.7)	287(41.9)	260(43.1)
1歳6か月児健診	受診人数（受診率%）	726(96.3)	763(95.4)	724(95.6)	693(96.5)	681(94.7)
	健康管理上注意する者（その者の割合%）	289(39.8)	335(43.9)	331(45.7)	331(45.7)	314(46.1)
2歳児健診	受診人数（受診率%）	743(94.8)	763(94.7)	745(94.2)	731(94.8)	684(93.7)
	健康管理上注意する者（その者の割合%）	336(45.2)	347(45.5)	352(47.2)	359(49.1)	314(45.9)
3歳児健診	受診人数（受診率%）	770(94.0)	752(93.4)	758(95.1)	738(94.6)	739(91.9)
	健康管理上注意する者（その者の割合%）	328(43.6)	308(40.6)	285(38.6)	285(38.6)	285(38.6)

＜乳幼児健診実績＞（平成31年 4月 1日～令和2年 5月31日現在）

	該当者（人）	受診者（人）	未受診者（人）	受診率（%）	異常なし（人）	健康管理上注意する者（人）	その割合（%）
3～4 か月健診	622	606	16	97.4	343	263	43.4
9～10 か月健診	643	603	40	93.8	343	260	43.1
1歳6か月健診	719	681	38	94.7	367	314	46.1
2歳児健診	730	684	46	93.7	370	314	45.9
3歳児健診	804	739	65	91.9	454	285	38.6

＜令和元年度　未受診児の状況＞（平成31年 4月 1日～令和2年 5月31日現在）　（単位：人）

	3～4か月児健診	9～10か月児健診	1歳6か月児健診	2歳児健診	3歳児健診
医療機関で受診	12	21	14	15	13
保育園(所)・幼稚園で受診	0	13	22	23	39
市外・海外在住	1	1	0	0	8
市の保健師による訪問・面接	3	5	2	8	5
合　　計	16	40	38	46	65

（乳幼児健診実績の期間）

3月中に各地域の合計30回の乳幼児健診を実施する。その中で複数名の未受診児や、乳幼児健診受診後の医療受診（精密検査等）を受ける児もいる。やむを得ない事情で受診できなかった児へ受診の機会を与えることと、医療機関の受診後の状況を確認する必要があるため5月末日の状況を掲載している。

事 業 名		育児健康相談事業		（総合戦略）
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	1115-10
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	390,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	390,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	362,795 円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、養育者の育児不安の軽減を図り、乳幼児の健全な発育発達を促す。	事業の概要	乳幼児健康相談、訪問、面接、電話などにより、育児や発育・発達に関する相談を行う。	

事業の実績・成果

乳幼児健康相談や乳幼児訪問等により、育児や発育・発達に関する相談を行うことで、子育て家庭の乳幼児健康診査後のフォローや育児不安の軽減、子どもの発育・発達に関する悩みの解消等を図ることができた。

1　乳幼児健康相談（乳幼児に関する健康相談）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実施回数 (回)	47	47	41	34	32
実人数 (人)	428	413	315	325	268
延人数 (人)	819	812	663	611	541

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3 月分は中止

2　乳幼児に対する訪問、面接、電話の実施延べ件数

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
訪問実人数 (人)	766	745	683	694	608
訪問延件数 (件)	848	779	705	747	658
面接延件数 (件)	113	110	50	105	92
電話延件数 (件)	426	241	408	656	829

※訪問数はこんにちは赤ちゃん訪問の件数も含む

事 業 名	幼児発達支援事業			（総合戦略）
担 当 課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	1115-11
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	2,860,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	2,860,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	2,766,014 円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、幼児期の発達、または養育者の育児の不安などにより、育児支援が必要な養育者と子に対して支援を行う。	事業の概要	ことばの遅れや発達、行動面や対人関係等に心配のある幼児や、子どもとの関わりに不安をもっている養育者に対し、遊びを通して発達を促し、養育者の育児不安や育児負担の軽減を図る。 また、必要な幼児に対し医療機関への受診を勧め、幼児の特徴を知り、発達を促す関わりができるようにする。	

事業の実績・成果

親子・育児教室では、ことばの遅れや発達、行動面や対人関係等に心配のある子どもや、子どもとの関わりに不安を持つ養育者に対し、遊びを通して発達を促し、養育者の育児不安や育児負担の軽減を図るとともに、必要に応じて医療機関へ受診を勧め、健全な発達を促すことができた。

また、ことばの相談では、ことばの遅れや発音等心配のある子どもに対し、言語聴覚士による個別相談を行うとともに、必要に応じて医療機関への受診を勧め、言語発達及び健全な発達を促すことができた。

1　親子・育児教室

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実施回数（回）	57	58	59	59	56
参加延人数（人）	895	625	831	852	780

※　令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4 回中止した。

※　加須地域は概ね 3 歳 4 か月までは親子教室、概ね 3 歳 4 か月以降は育児教室として、騎西・北川辺・大利根地域は年齢にかかわらず、親子教室として実施した。

2　ことばの相談（言語聴覚士による相談）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実施回数（回）	48	70	69	72	72
参加延人数（人）	395	570	530	548	560

事 業 名		健康づくり推進計画進行管理事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	170,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	170,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	131,136 円

事業の目的	「埼玉一の健康寿命のまち」の実現を目指し、市民一人ひとりが健康づくりの主体となり自分に適した健康づくりを進めるための計画を推進する。	事業の概要	第 2 次加須市健康づくり推進計画（計画期間：平成 28 年度～令和 2 年度）に位置付けられた事業及び「埼玉一の健康寿命のまち」推進部会とその下部組織の 7 つの分野ごとのワーキンググループ（市民と行政で構成）で推進した事項を健康づくり推進委員会で進捗を確認し、評価し、翌年度事業に反映する。

事業の実績・成果

健康づくり推進委員会を開催し、第 2 次健康づくり推進計画に位置付けられた事業の進捗状況を評価するとともに、「埼玉一の健康寿命のまち」推進部会ワーキンググループの活動状況を確認した。

1　健康づくり推進委員会開催回数：2 回

2　健康づくり推進計画に位置付けられた事業の平成 30 年度評価：順調・おおむね順調 75.3%

計画の柱等	1（達成済）	2（概ね順調）	3（やや遅れている）	4（大幅に遅れている）	5（未着手）	計
1　病気の予防	2	9	4	3	0	18
2　食生活・栄養	6	2	2	0	0	10
3　身体活動・運動	5	5	2	0	0	12
4　休養・こころの健康	5	3	3	0	0	11
5　歯・口腔の健康	0	3	3	0	0	6
6　たばこ・アルコール	1	3	1	0	0	5
7　医療体制	2	9	0	0	0	11
計	21	34	15	3	0	73

3　「埼玉一の健康寿命のまち」推進部会ワーキンググループ令和元年度活動状況

ワーキンググループ名	開催回数	主な検討事項	啓発場所
共通		・がん検診の受診率向上について	
1　病気の予防	4 回	・国保健診の重要性の PR について	かぞ地域健康まつり会場
2　食生活・栄養	4 回	・加須市減塩プロジェクトの普及・啓発について	老人クラブ連合会会議会場 他 3 会場
3　身体活動・運動	3 回	・「加須市内の運動施設マップ」の作成及び有効活用について	巡回ラジオ体操会場 他 2 会場
4　休養・こころの健康	4 回	・ゲートキーパー、こころの体温計のさらなる PR について	北川辺ふるさと秋まつり会場
5　歯・口腔の健康	4 回	・歯科保健事業の周知について ・「噛みんぐ 30」の PR	グラウンドゴルフ大会会場 他 8 会場
6　たばこ・アルコール	4 回	・受動喫煙の影響について ・アルコール対策について	騎西銀杏祭会場
7　医療体制	4 回	・市民にわかりやすい医療情報の提供について	パストラルかぞ 他 3 会場
計	27 回		

事 業 名		健康情報活用事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-21
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	9,221,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	9,221,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	7,219,633 円
事業の目的	市民の病気を予防するため、市民の健康データを管理・共有し、各種相談事業や健診（検診）事業等で有効に活用する。		事業の概要	健康管理システム「健康かるて」により、市民の乳幼児健診、予防接種、成人健診（検診）等のデータを一元管理し、市民個々への適切な事業案内や相談・指導を実施する。 また、統計データとして集計・分析することにより、県等への報告や事業の見直し、事務改善等に役立てる。

事業の実績・成果

健康管理システムを安定的に運用できるよう、健康管理システムを保守管理した。

予防接種や健診対象者の抽出、未受診者のフォローに活用する等、健康管理システムを適切に管理、運用することで、市民の健康づくり推進のための事業を円滑に実施できた。

また、多量なデータ入力が必要となる大腸がん及び子宮頸がん検診結果のデータパンチを委託したほか、健康管理システムを活用して健診結果の時系列的管理や統計処理及び分析を実施し、事務効率の向上に努めた。

事 業 名		献血推進事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-23
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	191,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	191,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	177,375 円
事業の目的	がん患者、けが人等の生命を救うため、相互扶助の精神に基づき、献血の普及を図り、良質な血液を確保する。		事業の概要	埼玉県の献血推進計画や埼玉県赤十字血液センターの献血受入計画に基づき、市内の各所で献血を実施する。 赤十字血液センターと協力して、献血の普及、協力事業所の確保を図るとともに、献血者へ記念品を配布する。

事業の実績・成果

各事業所・団体等29会場で献血を実施し、献血思想を普及するとともに、良質な血液の確保が図られた。

1　献血者内訳等

会場数（回数）	献血者数目標値（人）	受付者数（人）	献血者数（人）		
			200ml	400ml	計
29 (55)	2,733	2,235	271	1,605	1,876

2　献血者の推移

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
献血者数（人）	2,151	1,709	2,114	2,168	1,876

事 業 名		骨髄移植ドナー推進事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-24
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	420,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	420,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	140,000 円
事業の目的	白血病や再生不良性貧血などの病気は、骨髄移植や末梢血幹細胞移植が最も効果のある治療とされていることから、骨髄等の移植推進を図るとともに、その基盤ともなる骨髄バンクドナー登録の推進を図る。	事業の概要	骨髄等の移植推進を図るとともに、埼玉骨髄バンク推進連絡会と連携し、市内献血実施事業所等の協力を得ながら骨髄バンク登録の推進を図る。 また、骨髄移植ドナー協力者等へ助成（ドナー：1 日につき 20,000 円（ドナー休暇がある場合は 10,000 円）、7 日分まで。ドナーが勤務する事業所当：1 日につき 10,000 円）（事業所等にドナー休暇規定がある場合は支給しない）する。	

事業の実績・成果

平成26年度から埼玉骨髄バンク推進連絡会の協力を得て、献血会場におけるドナー登録会を実施しているため、令和元年度も多くのドナー登録者を確保できた。

1　骨髄移植ドナー登録数

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実施回数（回）	31	20	15	19	23
登録者数（人）	99	51	52	68	61

2　骨髄移植ドナー推進事業助成金事業　（単位：人）

	区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
提供者数	総数	0	2	1
	ドナー休暇あり	0	0	0
	ドナー休暇なし	0	2	1

事 業 名		健康づくり管理事業			
担 当 課		健康づくり推進課		総合振興計画コード	2211-25
款	04	衛生費		当　初　予　算　額	11,473,000 円
項	01	保健衛生費		最　終　予　算　額	11,473,000 円
目	01	保健衛生総務費		決　　算　　額	7,173,286 円
事業の目的	健康づくりの推進に係る共通的な経費、備品等を適切に管理・執行する。 また、職員の能力向上を図る。		事業の概要	健康づくりの推進に係る共通的な物品、備品等の管理や事業日程を調整する。 また、計画的に研修等に参加し、職員の能力向上を図る。	

事業の実績・成果

1　専門的知識の維持・向上

職員の積極的な各種研修等への参加及び専門誌からの情報収集に努めることにより、専門的知識の維持や向上を図ることができた。

2　保健事業のお知らせ

乳幼児健康診査、予防接種、健康診査、がん検診、健康相談等を掲載した令和元年度の年間事業「保健事業のお知らせ」を作成し、各世帯に配布した。

3　保健事業に係る健診用品、自動車等の維持管理

乳幼児への訪問や処遇困難ケースに係る緊急訪問を円滑に遂行するため、各種用品、自動車等を維持管理した。

事 業 名		親と子の食育事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2212-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	79,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	79,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	66,998 円
事業の目的	食に対する意識を高め、正しい食習慣の形成確立を目指し、将来の生活習慣病予防や健康づくりを推進する。	事業の概要	講話や調理実習等を通して、栄養バランスのとれた食生活の重要性を伝える。 また、各ライフステージにおける食事づくりのポイントや注意点、情報提供を行い、日常生活に反映できるよう支援する。	

事業の実績・成果

講話や調理実習等を通して、栄養バランスのとれた食生活の重要性を伝え、各ライフステージにおける食事作りのポイントや注意点等の情報提供を行い、日常生活に反映できるよう支援した。

1　らくらく離乳食教室

生後 5～8 か月の子どもと保護者を対象に、口腔発達に合わせた離乳食のすすめ方及び食生活リズムについての講話・実演を通して、乳児の食に関する情報を伝えることができた。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
予定回数(回)	21	12	12	12	12
実施回数(回)	21	12	12	12	※9
参加者数(人)	239	211	158	164	134

※実施回数の減少の理由：１回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、２回は北川辺保健センター及び大利根保健センター会場にて申込者がいなかったため。

なお、参加者を増やすための工夫として、令和 2 年度から対象月齢の細分化、教室内容のリニューアルを図る。

【令和元年度らくらく離乳食教室終了後アンケート】

項目	よく理解できた	概ね理解できた	あまり理解できない	全く理解できない	その他
回答割合（%）	89.6	9.9	0.5	0	0

2　学童のための栄養学習

カルシウムに関する講話・実習及び試食を実施したことにより、参加者が食を通して人とのふれあいを体験し、食や健康の大切さを学ぶことができた。

日　時	実施場所	対象者	参加人数	講座名
令和元年 12 月 6 日	鴻茎小学校家庭科室	鴻茎小学校に通う児童とその保護者	45 人(児童 18 人、保護者 27 人)	わくわく食育クッキング～どんな食べ物からカルシウムをとっていますか～

事業名	食生活改善推進事業			（総合戦略）
担当課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	2212-07
款	04	衛生費	当初予算額	962,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	962,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	947,514円
事業の目的	食育を通じて、心の豊かさや家族のつながりを促進するとともに、加須らしい食文化・食生活を次世代へ継承するため、市民の食生活の改善を図る。	事業の概要	食生活改善推進員による食生活改善推進活動を支援するとともに、生活習慣病予防等をテーマに食生活改善推進員が講師となりヘルシークッキングを開催する。 また、食生活改善推進員協議会との共催により、食生活改善推進員を養成するための講座や資質の向上を図るための定例リーダー研修会を開催する。		

事業の実績・成果

食生活改善推進員が市民を対象に講話や調理実習を行うことにより、参加者が市の健康課題である糖尿病や高血圧を予防する正しい食習慣を身に付ける機会を提供し、より地域に根差した食生活改善活動を推進した。

1　ヘルシークッキング（市からの委託事業）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施回数（回）	30	30	30	30	30
参加者延人数（人）	661	673	691	655	658
うち初回参加人数(人)	210	202	231	145	148

2　食生活改善推進員養成講座（市との共催事業）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施日数（日）	7	6	6	6	6
参加者延人数（人）	75	51	26	56	44
食生活改善推進員数（人）	235	195	188	185	190

3　食生活改善推進員定例リーダー研修会（市からの補助事業）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施回数（回）	6	6	6	6	6
参加者延人数（人）	159	157	155	161	157

4　食生活改善推進員定例伝達活動（市からの補助事業）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施回数（回）	50	49	49	53	51
参加者延人数（人）	816	657	691	710	700

事 業 名		健康づくり地域交流事業			
担 当 課		健康づくり推進課		総合振興計画コード	2214-02
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	1,819,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	1,819,000 円
目	01	保健衛生総務費		決 算 額	1,818,410 円
事業の目的	地域特性に合わせた交流の場の提供や、愛育班だよりを発行し、市民の心と体の健康増進を図る。		事業の概要	遊びの広場（子どもを遊ばせながら、母親同士が集い合える場の提供）、三世代交流会等を開催する。また、愛育班だよりを発行する。	

事業の実績・成果

家庭訪問等で把握した地区の状況に合わせ、遊びの広場、三世代交流会等を開催することにより、地域での交流が促進された。

1　遊びの広場：親子で遊べる場や友達づくりの場

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
開催回数（回）	35	37	37	35	34
一般参加人（人）	945	905	961	1,004	1,025

2　三世代交流会：高齢者と親と子どもが一緒に遊び相互理解を深める場

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
開催回数（回）	11	10	10	10	10
一般参加人（人）	1,446	1,295	1,301	1,300	1,289

3　愛育班だより：訪問により把握した健康問題をテーマに、各地区愛育班で発行

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
発行回数（回）	26	25	25	25	21
発行部数（部）	41,060	40,410	41,020	43,620	34,720

事 業 名		医療体制確保基金事業			
担 当 課		医療体制推進課		総合振興計画コード	2221-01
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	2,682,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	2,682,000 円
目	01	保健衛生総務費		決 算 額	1,373,284 円
事業の目的	市民が安心できる医療体制を確保するため、これに要する経費の財源を基金に積み立てる。		事業の概要	基金を積み立て、済生会病院の誘致や、産婦人科・救急科の市内開設、看護師の人材確保等の支援に要する経費に充てる。	

事業の実績・成果

医療体制確保基金

寄附金（ふるさとづくり寄附金）及び基金運用から生じた利益（利子）について、医療体制確保基金へ積み立てを行った。また、埼玉県済生会加須病院建設に係る造成工事、周辺整備、建設工事等補助金の財源に充てるため、同基金の取り崩しを行った。

【年度末基金残高の推移】 （単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
積み立て額	3,003,040,000	515,898,492	761,393,183	549,272,000
（うち寄附金）	1,010,000	885,000	1,040,000	720,000
利　　子	1,293	497,877	701,341	653,284
取り崩し額	2,030,000	15,013,492	135,737,183	622,572,910
年度末残高	3,001,011,293	3,502,394,170	4,128,751,511	4,056,103,885

※積み立て額（549,272,000 円）には、繰越明許分（548,552,000 円）を含む。

※令和元年度は、済生会病院誘致事業（出入口部函渠工事、周辺道路整備工事、新病院建設工事等補助金等）に充当するため、622,572,910 円を取り崩した。なお、取り崩し額（622,572,910 円）には、繰越明許分（423,976,500 円）を含む。

事 業 名		医療体制確保基金事業【繰越明許】			
担 当 課		医療体制推進課		総合振興計画コード	2221-01
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	548,552,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	548,552,000 円
目	01	保健衛生総務費		決 算 額	548,552,000 円
事業の目的	市民が安心できる医療体制を確保するため、これに要する経費の財源を基金に積み立てる。		事業の概要	基金を積み立て、済生会病院の誘致や、産婦人科・救急科の市内開設、看護師の人材確保等の支援に要する経費に充てる。	

事業の実績・成果

【平成30年度から令和元年度へ繰越を行った理由】

積立金（繰越明許額　559,512,000 円）

医療体制確保基金への積立（548,552,000 円）

済生会病院誘致事業の工事費の一部（造成工事、農業用水路切廻工事、既設構造物撤去工事）を繰越すことに伴い、併せて事業予算について、医療体制確保基金への積立を行った。

事業名	済生会病院誘致事業			
担当課	医療体制推進課		総合振興計画コード	2221-02
款	04	衛生費	当初予算額	21,468,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	746,069,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	739,326,098円
事業の目的	市民が安心できる医療体制を確保するために、済生会病院を誘致する。	事業の概要	埼玉県済生会加須病院の開設に向けて、済生会との連絡調整を行い、造成工事、周辺整備等を進めていく。	

事業の実績・成果

埼玉県済生会加須病院開設に向け、主に次の業務を実施した。

（1）済生会栗橋病院との協議

済生会新病院建設支援プロジェクト推進本部会議：計11回開催

済生会新病院の建設に係る連絡調整会議：計11回開催（平成30年4月23日設置）

（2）説明会、現地見学会の開催

① 住民説明会

・開催日：令和元年9月7日（土）

・参加者：隣接地権者及び関係区長　12人

② 議員現地見学会

・開催日：令和元年9月18日（水）

・参加者：市議会議員　23人

③ 自治協力団体連合会研修会

・開催日：令和2年1月20日（月）

・参加者：自治協力団体連合会　128人

（3）補助金の交付

加須市済生会新病院建設工事等補助金交付要綱（令和元年9月18日制定）に基づき、埼玉県済生会に令和元年度分の補助金を交付した。（補助額　345,760,000円）

（4）新病院建設等支援に係る主な事業

事業内容	支出額
外周仮杭等設置委託	1,232,000円
出入口部函渠工事	15,400,000円
周辺道路整備工事（水路補強）	23,100,000円
電柱移設	604,410円
計	40,336,410円

（5）済生会栗橋病院への職員派遣（平成30年1月1日から）

（6）病院用地の買い戻し

土地開発基金で購入した土地（病院用地）を一般会計に買い戻した。（350,553,432円）

【繰越明許　令和元年度から令和2年度へ繰越す理由】

（繰越明許額　2,987,000円）

地盤影響中間調査委託

12月議会において補正予算を計上し、年度をまたいで継続的に事業を実施するため。

事 業 名		済生会病院誘致事業【繰越明許】			
担 当 課		医療体制推進課		総合振興計画コード	2221-02
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	548,552,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	548,552,000 円
目	01	保健衛生総務費		決 算 額	423,976,500 円
事業の目的	市民が安心できる医療体制を確保するために、済生会病院を誘致する。		事業の概要	埼玉県済生会加須病院の開設に向けて、済生会との連絡調整、造成工事、周辺整備等を行う。	

事業の実績・成果

【繰越明許　平成30年度から令和元年度へ繰越を行った理由】

工事請負費（繰越明許額　559,512,000円）

①　造成工事（403,431,800円）
　病院用地の土地造成、調整池設置、擁壁設置のため、12 月議会において補正予算を計上したものであるが、年度をまたいで継続的に施工することから繰越を行った。

②　農業用水路切廻工事（16,137,000円）
　工事場所が他の工事場所（出入口部、調整池）と隣接し、工事が重ならないよう令和元年度に着工するため繰越を行った。

③　既設構造物撤去工事（4,407,700円）
　水路切廻工事を令和元年度に行うことにより、既存水路を1シーズン使用した後、撤去工事に着工するため繰越を行った。

事 業 名		地域医療ネットワーク（とねっと）事業		（総合戦略）
担 当 課		医療体制推進課	総合振興計画コード	2222-01
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	3,481,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	3,481,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	3,442,502 円
事業の目的	地域の限られた医療資源を効率的・効果的に活用し、中核病院と病院・診療所が医療情報を共有することで、市民へ質の高い医療サービスを提供でき、地域全体で市民の医療を完結する「地域完結型医療」を実現する。	事業の概要	・医療機関及び参加者の増加を図るため、普及啓発を行う。 ・協議会事務局費を負担し、協議会の事務を支援する。	

事業の実績・成果

「とねっと」を管理・運営する埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会の会長市として、協議会事務局と連携し、事業の諸課題の解決に向け、埼玉県や構成市町等との協議を進めた。

1　会議の開催状況
(1) 協議会総会　(2 回)
(2) 協議会作業部会全体会会議　(3 回)
(3) 協議会 IT ネットワーク担当部会システムワーキンググループ会議　(5 回)
(4) 利根地域医療連携連絡協議会（行政担当課長）会議　(6 回)

2　令和元年度の主な取組
(1) 利根保健医療圏域外の住民及び医療機関も含めた普及啓発
(2) 利根保健医療圏域内の中核病院及び圏域外の医療機関が救急時に患者の医療情報を参照できる救急アプリの開発（期限付き特例運用）
(3) 国のデータヘルス改革の進捗等の確認（9 月 25 日 厚生労働省の視察受入・意見交換）

など

3　「とねっと」の普及・啓発
協議会事務局と連携して、市民及び医療機関への普及・啓発に取り組み、14,469 人の市民、市内 48 の医療機関（歯科、調剤薬局含む）の参加を得ることができた（令和 2 年 3 月 31 日現在）。

［普及・啓発の主な取組］
(1) 各種団体の総会等における「とねっと」参加案内
(2) 市内イベントや地区防災訓練における「とねっと」参加案内
(3) 消防フェスタにおける「とねっと」参加案内
(4) 学校等を通じた新入生への「とねっと」参加案内
(5) 視察対応

【住民及び医療機関等の参加状況】

	市内	利根保健医療圏全体	圏域外
参加住民数（人）	14,469	33,725	23
参加施設数（施設）	48	147	2

（注）利根保健医療圏全体の参加施設数には、県立循環器・呼吸器病センター、県立がんセンター、県立小児医療センターを含む。

事業名	医療情報提供事業			
担当課	医療体制推進課		総合振興計画コード	2222-03
款	04	衛生費	当初予算額	654,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	654,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	409,503円
事業の目的	市民が安心して医療機関にかかることができるよう、医療機関の情報を的確に提供する。	事業の概要	広報紙やホームページ、ガイドブック、チラシなど様々な媒体を活用し、市民に必要な医療情報を提供する。	

事業の実績・成果

様々な媒体で、市民に医療機関や医療相談窓口等に関する情報を分かりやすく提供し、市民がこれらの情報を収集、把握する際の一助とすることができた。

1　印刷媒体による情報提供

	掲載内容	提供方法等
加須市医療機関ガイドブック※	市内医療機関の名称、連絡先、診療科目、診療時間、休診日、時間外診療や往診の有無など	庁舎及び公共施設に配備し、転入者や希望者に配付
休日・夜間救急診療カレンダー	市内救急病院の休日・夜間における救急診療体制や休日当番医など	毎月、「市報かぞ」に掲載
市内医療機関診療情報	夏季及び年末年始における市内医療機関の診療予定など	各総合支所等公共施設に配置
地域の医療機関情報	市内医療機関、歯科診療所、調剤薬局及び各種医療相談窓口など	「加須市子育てガイドブック」平成30年度改訂版に掲載

※令和元年10月改訂　3,000部印刷（印刷製本費400,140円）

2　ホームページによる情報提供　（単位：件）

情報内容	市内医療機関診療情報				救急医療機関	小児救急・休日小児科診療	夜間休日救急診療
	病院	小児科	耳鼻科・眼科	内科・整外等			
閲覧件数	2,417	1,381	2,028	2,201	2,417	7,934	14,414

3　埼玉県の救急電話相談

埼玉県の委託により埼玉県医師会が実施している、小児救急電話相談、大人の救急電話相談、医療機関案内（24時間、年中無休）

（単位：件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民からの問合せ件数	1,574	1,457	989	916	965

※　平成29年10月1日から相談時間が24時間化、国が推奨する共通ダイヤル＃7119を導入。

事 業 名	小児科医による救急講座・子育て相談事業			（総合戦略）
担 当 課	医療体制推進課		総合振興計画コード	2222-04
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	154,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	154,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	137,363 円
事業の目的	子育て支援の一環として、子育て中の方が、将来にわたり安心して医療を受けられる小児医療体制を構築する。	事業の概要	小学生までの子どもを子育て中の保護者や養護教諭などを対象に、小児科専門医による講話や相談を行う講座を開催する。（年４回）	

事業の実績・成果

保護者が、子どもの急な病気やけがにも慌てずに対処できるように、加須、騎西、北川辺、大利根の各地域で１回ずつ、市内の小児科専門医による救急講座・子育て相談を開催し、参加者の安心感を高めるとともに、子どもの救急に対する理解を深めることができた。

１　事業概要

講師　　福島小児科医院　院長　福島　崇義　氏
（主な経歴：北里大学小児救命救急センター勤務 等）

テーマ　「知っておきたい子どもの救急　～こんなときどうするの？～」
（子どもの健康管理、注意すべき症状、急な病気のときの対処方法、最近の症例等）

開催日時・場所

開催日	時間	場所	参加者数
9 月 11 日(水)	10 時～11 時 30 分	プラザきさい 騎西コミュニティセンター　多目的ホール	70 人
9 月 18 日(水)	10 時～11 時 30 分	子育て支援センター　ぴっぴ	49 人
10 月 2 日(水)	10 時～11 時 30 分	みのり　多目的ホール	50 人
10 月 9 日(水)	10 時～11 時 30 分	パストラルかぞ　小ホール	135 人

２　参加者数　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
全域	214	373	333	261	304

３　参加者の主な意見・感想（アンケートより抜粋）

・病院へ行くタイミングがちょっとわからず、それについてお話が聞けて良かったです。アレルギーについても、息子が小学校に上がるので、もう一度検査してみたいと思いました。
・救急やケガに対しての対処法を知ることができ、少し安心しました。実際に起こった時など慌てずに対処できると思いました。
・改めて、子どもを育てるときに何事もなく過ごせるよう、予防することから考えようと思いました。小児科の先生がこんなに子どもと親のことを考えてくださっていると知ってうれしかったです。お話も面白く楽しく聞けました。
・先生の体験談をもとに貴重なお話を聞くことができました。解熱剤の使い方や子どもの呼吸の特徴についてなど勉強になりました。

４　開催結果

参加者のアンケートでは「大変わかりやすかった」「わかりやすかった」及び、安心感が「大変高まった」「高まった」という回答が 99%以上となり、参加者の高い満足を得ることができた。

事 業 名		初期・２次・３次救急医療支援事業		
担 当 課		医療体制推進課	総合振興計画コード	2223-01
款	04	衛生費	当　初　予　算　額	50,670,000 円
項	01	保健衛生費	最　終　予　算　額	50,670,000 円
目	01	保健衛生総務費	決　　算　　額	50,418,700 円

事業の目的	医師不足などによる厳しい医療環境のなかで、地域の救急医療体制を確保し、医療に対する市民の安心感を高める。	事業の概要	関係機関と連携し、救急医療を必要とする市民が、安心して医療を受けられる救急医療体制を整備する。 ・在宅当番医制の運営 ・救急病院の当直医確保への支援 ・東部北地区病院群輪番制の運営支援 ・埼玉東部消防組合との連携 ・救急医療体制推進協議会等での協議 ・公的病院救急医療等運営費の補助 ・西山救急クリニックへの支援

事業の実績・成果

厳しい救急医療環境の中で、休日・夜間における初期（軽症）救急患者及び第二次（重症）救急患者の受入態勢を維持することができた。

1　初期救急医療体制 … 救急医療支援事業、在宅当番医制

（1）救急医療支援事業

内容	土曜日・日曜日・祝日の夜間において、救急医療体制の確保に必要な調整及び医師雇い入れ賃金の一部を補助（補助金額：9,500 千円）
参加病院	市内 2 救急告示病院（中田病院、十善病院）
対象日数	中田病院：60 日、十善病院：60 日
対象日患者数	中田病院：224 人、十善病院：28 人

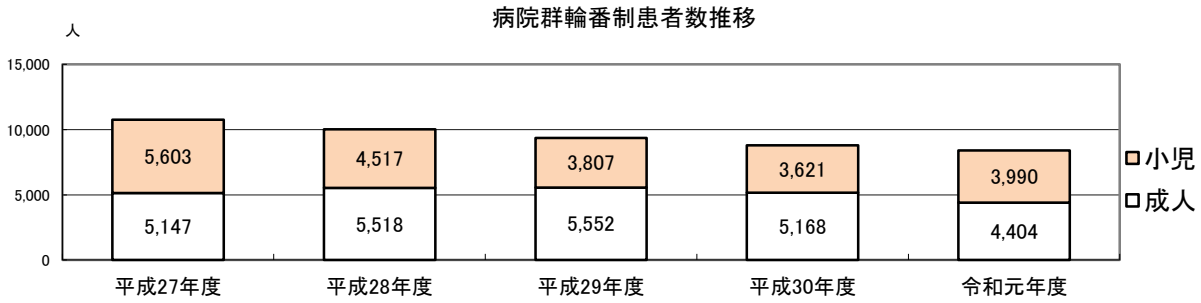
（2）在宅当番医制

内容	医療機関が当番制で休日診療を実施し、初期救急患者への診療を行う
委託先	北埼玉医師会（加須医師会：市内 2 救急告示病院（中田病院、十善病院） 羽生市医師会：医師会会員の 24 医療機関）
構成市及び負担金	加須市：2,721 千円、羽生市：1,323 千円　　合計 4,044 千円
実施日	加須医師会　：中田病院:37 日、十善病院:36 日　合計　73 日 羽生市医師会：24 医療機関　合計　76 日
実施日患者数	加須医師会　：2,864 人（中田病院:2,189 人、十善病院:675 人） 羽生市医師会：2,075 人

2　第二次救急医療体制

（1）病院群輪番制

内容	東部北地区（6 市 2 町）の二次救急医療機関が連携して、輪番方式で休日・夜間等の重症患者の受入を実施
運営費補助金 （6 市 2 町合計）	成人 35,360 千円、小児 35,360 千円　（計）70,720 千円 ※小児 35,360 千円のうち 16,265 千円は県補助金
加須市負担金	成人 6,269 千円、小児 3,385 千円　（計）9,654 千円
実施日（回数） 及び患者数	成人：442/442（実施率 100.0%）　4,404 人 小児：442/442（実施率 100.0%）　3,990 人



（2）公的病院救急医療等運営費補助

救急医療等の不採算部門を担う公的病院に特別交付税を活用した財政支援を行った。
補助額…済生会栗橋病院：27,200 千円

事 業 名	休日小児科診療事業			（総合戦略）
担 当 課	医療体制推進課		総合振興計画コード	2223-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	1,625,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	1,625,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	1,517,000 円
事業の目的	小児患者の重症化の予防と保護者の負担の軽減を図るとともに、軽症患者の集中により逼迫している小児第二次救急医療体制の緩和を図る。		事業の概要	市内の小児科専門医が当番制で診療にあたる休日小児科診療体制を整備する。 【実施期間】①4 月から 10 月の祝日 ②11 月から 3 月の日曜、祝日、年末年始（元日を除く） 【診療時間】午前 9 時～正午

事業の実績・成果

多くの医療機関が休診となる4月から10月の祝日とインフルエンザやウイルス性胃腸炎などが流行する 11 月から翌年 3 月の日曜日・祝日・年末年始における小児科診療体制を整備し、多くの小児患者及び保護者の負担の軽減を図ることができた。

1　事業内容

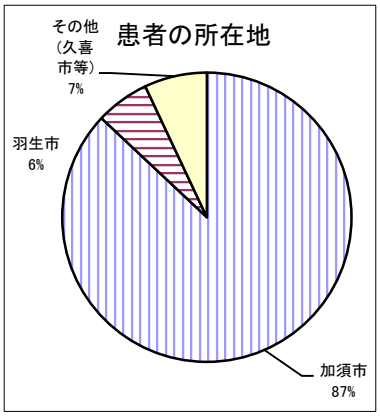
(1) 実施日　平成 31 年 4 月～令和元年 10 月の祝日及び
令和元年 11 月～令和 2 年 3 月の日曜、祝日、年末年始（1 月 1 日を除く）全 43 日

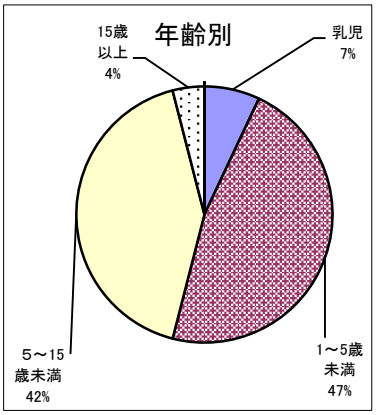
(2) 診療時間　午前 9 時～正午

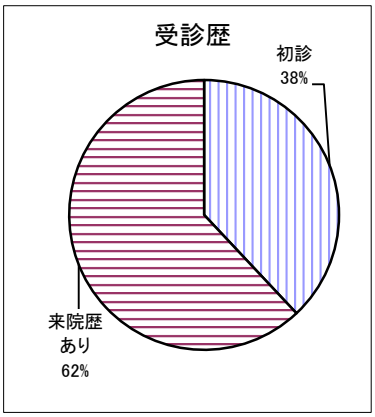
(3) 医療機関　中田病院（小児科）、加藤こどもクリニック、つのだ小児科医院、
ともながこどもクリニック、福島小児科医院による当番制

(4) 委託料　当番 1 回当たり 35,000 円、会議出席謝金 1 回当たり 3,000 円（合計 1,517,000 円）

2　患者の内訳（令和元年度）

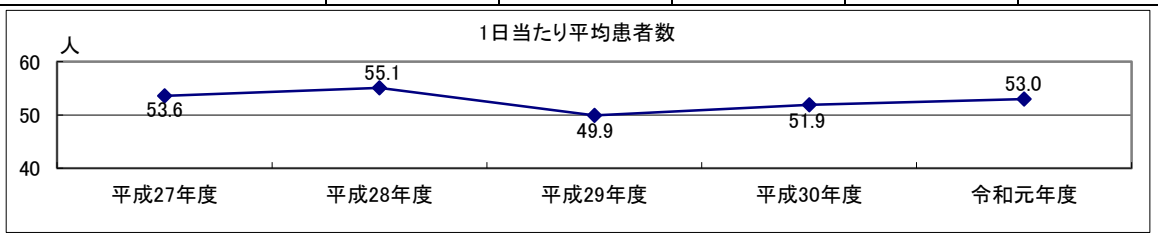






3　患者数の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実　施　日（日）	41	39	39	41	43
患　者　数（人）	2,198	2,149	1,948	2,129	2,281
1 日当たり平均患者数(人)	53.6	551	49.9	51.9	53.0



事 業 名		特別休日歯科診療事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2223-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	200,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	200,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	200,000 円
事業の目的	急病患者の歯科医療を確保するため、多くの歯科診療所が休診日にあたるゴールデンウィーク、年末年始などに歯科診療体制を整える。	事業の概要	ゴールデンウィーク、年末年始に市内の歯科診療所が当番制で急患歯科診療を実施する。 ゴールデンウィーク 4 日間（通常 3 日間） 年末年始 4 日間 診療時間：午前 9 時～正午	

事業の実績・成果

ゴールデンウィーク、年末年始などの特別休日に急病患者に対する歯科診療機会を提供することができた。

○受診者数　（単位：人）

	月　日	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
ゴールデンウィーク	4 月 30 日※					2
	5 月 3 日	3	7	0	2	9
	5 月 4 日	4	2	2	1	5
	5 月 5 日	1	1	5	3	0
シルバーウィーク	9 月 21 日	1				
	9 月 22 日	3				
	9 月 23 日	1				
年末年始	12 月 31 日	18	9	11	19	16
	1 月 1 日	11	5	2	5	6
	1 月 2 日	5	5	5	7	4
	1 月 3 日	6	3	4	4	2
計		53	32	29	41	44

※　令和元年度はゴールデンウィークが 10 連休であったため、歯科医師会と協議し 4 月 30 日を実施した。

事 業 名	産婦人科・救急科開設支援事業			（総合戦略）
担 当 課	医療体制推進課		総合振興計画コード	2223-06
款	04	衛生費	当初予算額	10,000 円
項	01	保健衛生費	最終予算額	10,000 円
目	01	保健衛生総務費	決算額	5,223 円
事業の目的	特に整備が必要な分娩を扱う産婦人科及び救急医療を担う救急科の市内開設を促進し、市民がより安心できる医療環境を整備する。	事業の概要	新たに分娩を扱う産婦人科又は救急医療を担う救急科を市内に開設しようとするものに対し、1,000 万円を上限に開設費用の 1/2 を市が補助することによって、市内開設の促進を図る。	

事業の実績・成果

軽い症状にも関わらず、休日や夜間に病院・クリニックの救急外来で受診する『コンビニ受診』が増加傾向にあるため、適正受診を推進するチラシを作成・配布するほか、市ホームページや広報紙への掲載を行った。

また、産婦人科及び救急科の市内開設への支援制度である「加須市産婦人科・救急科開設支援事業補助金交付要綱」について、本事業の周知、活用に向け、市ホームページに掲載した。また、埼玉県産婦人科医会に本制度を周知し、医会の協力のもと、理事会、会員、関係団体へ PR を行っていただいた。

事 業 名	看護師等育成確保支援事業			（総合戦略）
担 当 課	医療体制推進課		総合振興計画コード	2223-07
款	04	衛生費	当初予算額	19,000 円
項	01	保健衛生費	最終予算額	19,000 円
目	01	保健衛生総務費	決算額	4,535 円
事業の目的	長寿化の進行に伴い、今後ますます医療を必要とする人の増加が見込まれるなか、地域医療を担う人材を確保し、市民がより安心できる医療環境を整備する。	事業の概要	埼玉県看護師等育英奨学金の貸与を受けて看護師等養成施設に就学していた学生で、卒業後、市内の医療機関等において正規の就学期間を超える期間にわたって引き続き看護業務に従事しているものに対し、埼玉県に返還した奨学金の額の 1/2 を上限に市が助成する。	

事業の実績・成果

市内の医療機関等における看護師や准看護師を確保するための支援制度として、「加須市看護師等育成確保支援事業補助金交付要綱」を制定し、本事業の周知、活用に向け、市ホームページに掲載するとともに、県内の看護師等養成施設などに周知した。

1　事業概要

（1）　対象者

・埼玉県看護師等育英奨学金の貸与を受けている方、またはこれから貸与を受ける方

・看護師等養成施設を卒業した日の翌日から 2 ヶ月以内に市内の医療機関で看護師の業務に従事し、正規の就学期間を超える期間にわたって引き続き従事している方

（2）　補助金額

・上記対象者が埼玉県に返還した奨学金の額の 2 分の 1

2　本事業の周知施設

看護大学・短期大学	12 件
看護学校	38 件
准看護師学校	16 件
合　計	66 件

事 業 名	予防接種事業			（総合戦略）
担 当 課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	1115-08
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	235,907,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	235,400,912 円
目	02	予防費	決 算 額	182,252,092 円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、予防接種により対象疾病の罹患防止と免疫水準を維持することにより、流行を阻止する。	事業の概要	定期予防接種（ＢＣＧ、ポリオ、三種混合、四種混合、日本脳炎、麻しん風しん混合、二種混合、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌、水痘、Ｂ型肝炎予防接種）成人男性の風しん抗体検査及び風しん予防接種費用を全額助成する。 また、中学３年生インフルエンザ予防接種費用を2,000 円助成する。	

事業の実績・成果

小児予防接種の実施により、感染症による患者の発生及び感染症の流行を抑制することができた。

○定期接種実績

（単位：人）

種　類	平成27年度接種者数	平成28年度接種者数	平成29年度接種者数	平成30年度接種者数	令和元年度	
					接種者数	対象者数
ＢＣＧ	717	737	668	684	623	662
三種混合	2	0	0	3	2	
不活性ポリオ	144	66	54	23	2	
四種混合	2,911	2,961	2,753	2,782	2,612	2,532
二種混合	697	776	763	712	681	967
麻しん風しん混合１期	733	722	747	701	662	720
麻しん風しん混合２期	878	901	827	761	750	780
麻しん	0	0	0	0	0	
風しん	1	1	0	0	0	
日本脳炎	3,793	3,623	3,413	4,285	3,645	4,139
ヒブ	2,876	2,975	2,810	2,684	2,471	2,532
小児用肺炎球菌	2,900	2,891	2,799	2,692	2,524	2,532
子宮頸がん	18	7	5	2	9	
水痘	1,597	1,324	1,416	1,396	1,374	1,440
Ｂ型肝炎		1,112	2,099	1,996	1,810	1,812

※「子宮頸がん」は平成25年６月から定期予防接種として継続するものの、接種を勧奨しないとされた。（厚生労働省通知）

○定期外接種（市独自の予防接種）実績

（単位：人）

種　類	平成27年度接種者数	平成28年度接種者数	平成29年度接種者数	平成30年度接種者数	令和元年度	
					接種者数	対象者数
中学3年生インフルエンザ	561	561	558	629	573	967

事 業 名		予防接種事業【繰越明許】			（総合戦略）
担 当 課		健康づくり推進課		総合振興計画コード	1115-08
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	40,609,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	40,609,000 円
目	02	予防費		決 算 額	11,552,626 円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、予防接種により対象疾病の罹患防止と免疫水準を維持することにより、流行を阻止する。		事業の概要	成人男性の風しん抗体検査及び風しん予防接種費用を全額助成する。	

事業の実績・成果

風しん抗体検査及び風しん予防接種クーポン券送付

	令和元年度
対象者（男性のみ）	昭和47年4月2日～昭和54年4月1日
対象者数	5,986人

風しん抗体検査及び予防接種実績

（単位：件）

	令和元年度
抗体検査	1,050
予防接種	220

市が全額助成し、対象者の自己負担なし

※平成31年4月1日から開始

本事業は、法令により令和4年3月31日まで時限的に実施することとされている。

対象者は、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性である。

国から示されたとおり、下表のようにクーポン券を3年に分けて発送する。

対象者（男性のみ）	クーポン券発送年度
昭和47年4月2日～昭和54年4月1日 ①	令和元年度
昭和41年4月2日～昭和47年4月1日 ②	令和2年度
昭和37年4月2日～昭和41年4月1日 ③	令和3年度

（参考）平成31年2月28日　13,498人（①＋②＋③）

事 業 名		避難者支援予防接種事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	1115-12
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	2,856,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	2,856,000 円
目	02	予防費	決 算 額	1,013,586 円
事業の目的	原発避難者特例法に基づき東日本大震災により被災した者に対し、予防接種の支援を行う。		事業の概要	定期予防接種（ＢＣＧ、ポリオ、三種混合、四種混合、日本脳炎、麻しん風しん混合、二種混合、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌、水痘、Ｂ型肝炎）を全額助成、高齢者インフルエンザを 4,019 円、高齢者肺炎球菌を 5,316 円助成する。 また、中学 3 年生インフルエンザ予防接種費用を 2,000 円助成する。

事業の実績・成果

東日本大震災により被災し、市内に避難している方に対する予防接種の実施により、感染症による患者の発生及び感染症の流行を抑制することができた。

○定期予防接種等接種実績

（単位：人）

		接種者数	市町村別内訳								
			双葉町	大熊町	浪江町	飯館村	川内村	いわき市	南相馬市	富岡町	楢葉町
小児用	BCG	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	二種混合	7	4	1	0	0	0	0	1	0	1
	四種混合	8	5	3	0	0	0	0	0	0	0
	麻しん風しん混合	5	3	1	0	0	0	0	0	1	0
	日本脳炎	27	21	6	0	0	0	0	0	0	0
	ヒブ	7	4	3	0	0	0	0	0	0	0
	小児用肺炎球菌	7	4	3	0	0	0	0	0	0	0
	水痘	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0
	Ｂ型肝炎	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0
	中学3年生インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小　計	71	48	20	0	0	0	0	1	1	1
高齢者用	高齢者インフルエンザ	90	79	0	6	3	0	0	2	0	0
	高齢者肺炎球菌	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	小　計	94	83	0	6	3	0	0	2	0	0
合　計		165	131	20	6	3	0	0	3	1	1

事 業 名		高齢者予防接種事業		（総合戦略）
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2111-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	76,613,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	76,360,694 円
目	02	予防費	決 算 額	74,391,266 円

事業の目的	健康寿命を延ばすため、対象疾患の罹患・流行を防止する。	事業の概要	高齢者インフルエンザは、接種当日 65 歳以上の高齢者等が、市内及び県内の委託医療機関で実施した接種費用の一部を助成する。（自己負担額 1,000 円） 高齢者肺炎球菌は、加須市内、古河市内の委託医療機関の場合、国が示す定期接種対象者に加須市独自対象者を加え、年度末年齢 65 歳以上で接種歴のない全員を対象に接種費用の一部を助成する。（自己負担額 3,000 円）

事業の実績・成果

高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌予防接種費用の一部を助成することにより、高齢者の疾病予防に努めることができた。

（単位：人）

種 類	平成 27 年度 接種者数	平成 28 年度 接種者数	平成 29 年度 接種者数	平成 30 年度 接種者数	令和元年度	
					接種者数	対象者数
高齢者インフルエンザ	13,553	14,387	13,855	14,087	16,017	32,719
高齢者肺炎球菌	1,554	1,524	1,253	1,342	1,733	22,019

令和元年度接種率：高齢者インフルエンザ 49.0%（全体）、高齢者肺炎球菌 49.4%（65 歳）

事 業 名		がん検診事業			（総合戦略）
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード		2211-14
款	04	衛生費	当 初 予 算 額		155,270,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額		155,270,000 円
目	02	予防費	決 算 額		132,496,946 円
事業の目的	市民の病気を予防するため、各種がん検診等を実施し、がんの早期発見、早期治療を促す。		事業の概要	各種がん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん）、胃がんリスク検診、B 型及びC 型肝炎ウイルス検診を実施する。 また、生活保護受給者への健康診査を実施する。	

事業の実績・成果

日本人の死亡原因第一位である「がん」の早期発見・早期治療を促すことができた。
また、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん検診において、受診率の向上がみられた。

1 実施内容

検診名	検診内容
胃がん検診 （集団検診、個別検診）	胃部エックス線検査 胃内視鏡検査（胃部エックス線検査の不適応者）
肺がん検診 （集団検診、個別検診）	胸部エックス線検査 喀痰検査（ハイリスク者及び希望者）
大腸がん検診 （集団検診、個別検診）	便潜血検査
子宮頸がん検診 （集団検診、個別検診）	子宮頸部細胞診 HPV 検査
乳がん検診 （集団検診、個別検診）	乳房エックス線検査
前立腺がん検診 （集団検診、個別検診）	PSA 検査
胃がんリスク検診 （個別検診）	ヘリコバクター・ピロリ抗体IgG 検査、血清ペプシノゲン検査
健康診査(生活保護等) （個別検診）	身体計測、血圧、血液検査（脂質、血糖、貧血、肝機能等）、尿検査 ＊医師の判断により心電図

2 実績

(1) がん検診

ア 胃がん検診（内視鏡検査）

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
対象者数（人）		34,106	32,110	34,777	35,145	35,537
バリウム検査	受診者数(人)	3,573	3,358	3,304	3,177	3,296
内視鏡検査	受診者数(人)	255	294	364	406	419
バリウム+内視鏡	受診者数(人)	3,828	3,652	3,668	3,583	3,715
	受診率（%）	11.2	15.9	14.1	13.8	13.8
バリウム検査	要精密検査者数（人）	234	173	91	169	242
	胃がん発見者数（人）	6	2	2	3	3
内視鏡検査	要精密検査者数（人）	31	32	47	37	40
	胃がん発見者数（人）	2	2	3	0	0

※平成 24 年 9 月 1 日から胃内視鏡検査を実施している。

イ 肺がん検診

	平成27年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	令和元年度
対象者数（人）	34,106	32,110	34,777	35,145	35,537
受診者数（人）	5,687	5,690	5,954	6,378	6,714
受診率（%）	16.7	17.7	17.1	18.1	18.9
要精密検査者数（人）	85	108	153	176	284
肺がん発見者数（人）	4	2	4	4	8

ウ 大腸がん検診

	平成27年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	令和元年度
対象者数（人）	34,106	32,110	34,777	35,145	35,537
受診者数（人）	7,822	7,785	7,891	8,616	8,883
受診率（%）	22.9	24.2	22.7	24.5	25.0
要精密検査者数（人）	530	566	511	563	585
大腸がん発見者数（人）	29	21	14	21	23

エ 子宮頸がん検診(妊婦健診を除く。)

	平成27年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	令和元年度
対象者数（人）	25,787	25,123	24,505	24,464	24,407
受診者数（人）	4,938	4,774	4,678	4,884	4,884
受診率（%）	28.3	27.7	27.4	27.6	28.1
要精密検査者数（人）	68	72	63	50	49
子宮頸がん発見者数（人）	2	3	2	1	1

オ 乳がん検診

	平成27年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	令和元年度
対象者数（人）	21,121	19,813	20,949	21,120	21,294
受診者数（人）	2,685	2,448	2,469	2,578	2,625
受診率（%）	23.8	25.2	23.0	23.5	24.1
要精密検査者数（人）	171	136	155	195	179
乳がん発見者数（人）	8	16	12	9	8

カ 前立腺がん検診

	平成27年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	令和元年度
対象者数（人）	11,701	11,551	12,401	12,591	12,825
受診者数（人）	2,006	2,212	2,257	2,557	2,737
受診率（%）	17.1	19.1	18.2	20.3	21.3
要精密検査者数（人）	148	182	149	209	158
前立腺がん発見者数（人）	13	14	10	12	8

キ 胃がんリスク検診

	平成27 年度	平成28 年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対象者	40 歳、 50 歳	40 歳、 41～45 歳で受診歴がなく希望する者	40 歳、 41～45 歳で受診歴がなく希望する者	40 歳、 41～45 歳で受診歴がなく希望する者	40 歳、 41～45 歳で受診歴がなく希望する者
受診者数（人）	101	49	87	97	75

※ 「対象者数(人)」の数値は、県報告値（「人口」－「就業者数」＋「農林水産業従事者数」）とする。
※ 胃がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診における「受診率（%）」の数値は、県報告値（（「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2 年連続受診者数」）÷「当該年度の対象者数」×100）とする。なお、胃がん検診は、指針の変更に伴い、平成28年度実施分から受診率の算出方法を変更する。
※ がん発見者数は、精密検査実施医療機関から年度を越えて結果が報告されるため、人数は増加する場合がある。

(2) 健康診査(生保健診等)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
対象者数（人）	767	796	798	763	780
受診者数（人）	73	68	76	70	67

事 業 名	生活習慣病予防事業			（総合戦略）
担 当 課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	2211-16
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	2,384,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	2,384,000 円
目	02	予防費	決 算 額	1,826,390 円
事業の目的	市民の病気を予防するため、生活習慣病を予防するとともに、健康に関する正しい知識を普及し、市民が「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高める。	事業の概要	生活習慣病予防講座の開催、健康手帳の交付、かぞ健康マイレージの実施等を通じ、心疾患、脳血管疾患等の生活習慣病を予防するとともに、健康に関する正しい知識を普及する。	

事業の実績・成果

健康手帳の交付、生活習慣病予防講座の開催、かぞ健康マイレージの実施等を通じ、生活習慣病の予防を図ることができた。

1　健康手帳の交付　（単位：冊）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
交付数	4,932	4,738	4,932	5,577	5,097

2　生活習慣病予防講座（健康教育）の開催

(1) 令和元年度実施内容及び実績

実　施　内　容	実施回数（回）	参加延人数（人）
歯周疾患予防	8	63
骨粗しょう症・転倒予防	14	1,247
病態別（高脂血症、糖尿病、高血圧等）	7	212
一般（生活習慣病、運動、栄養等）	147	9,026
計	176	10,548

(2) 年度別実績

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実施回数（回）	140	161	158	183	176
参加延人数（人）	8,009	7,899	7,655	10,627	10,548

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 2 講座中止。

3　かぞ健康マイレージの実施　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
応募者数	423	471	484	575	613

4　健康まつりの開催

(1) 実施内容

アルコールパッチテスト、健康相談、足裏健康測定、脳年齢測定、血管年齢測定等

(2) 年度別実績　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
参加人数	6,830	8,267	6,134	6,295	7,721

事業名	健康相談事業			（総合戦略）
担当課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	2211-17
款	04	衛生費	当初予算額	409,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	409,000円
目	02	予防費	決算額	370,522円
事業の目的	市民の病気を予防するため、健康相談を実施し、健康の保持増進及び生活習慣病予防に努める。	事業の概要	高血圧、脂質異常症、糖尿病、歯周疾患、骨粗しょう症、女性の健康、病態別（肥満、心臓病など）から重点課題を選定し、重点健康相談を実施する。また、健康全般、栄養、歯科など総合健康相談を実施する。	

事業の実績・成果

健康相談のアンケート結果から、自分や家族の体の状態や生活習慣の改善点、健診を受ける必要性について「分かった」「やや分かった」と答えた方が 100%であったため、相談者に健診受診の必要性や生活習慣の改善点を指導することができた。

また、総合健康相談では、新型コロナウイルスに関する相談が多くあり、前年度よりも相談件数の増加につながった。

1　重点健康相談（歯周疾患、骨粗しょう症、高血圧、糖尿病）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施回数(回)	21	15	16	20	19
相談件数(件)	285	413	447	535	534

※令和元年度内訳 534 件（歯周疾患 16 件、骨粗しょう症 410 件、高血圧 36 件、糖尿病 72 件）

2　総合健康相談

(1) 保健相談

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施回数(回)	254	156	89	65	154
相談件数(件)	1,120	924	514	420	473

【種類別実施内訳】

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)
保健センター健康相談	24	84	23	50	27	64	14	45	13	78
おはよう健康相談	38	289	38	301	―	―	―	―	―	―
医療診断センター健康相談	12	147	12	100	12	80	12	70	12	47
まちかど健康相談	3	21	3	23	―	―	―	―	―	―
他課依頼健康相談	36	214	36	216	12	147	―	―	―	―
出前健康相談	1	12	1	7	1	10	1	9	1	9
健康まつり健康相談	4	217	4	188	4	180	4	262	4	215
新型コロナウイルス相談	―	―	―	―	―	―	―	―	105	105
その他（電話・来所）	136	136	39	39	33	33	34	34	19	19
合計	254	1,120	156	924	89	514	65	420	154	473

(2) 栄養・歯科相談

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
栄養	実施回数(回)	48	35	39	19	19
	相談件数(件)	119	82	50	42	71
歯科	実施回数(回)	9	4	1	1	2
	相談件数(件)	7	8	1	1	2

事業名	肝炎検診事業		
担当課	健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-19
款 04	衛生費	当初予算額	901,000円
項 01	保健衛生費	最終予算額	901,000円
目 02	予防費	決算額	598,452円
事業の目的	市民の病気を予防するため、肝炎検診を実施し、肝炎に関する健康被害の回避、症状の軽減、進行の遅延に努める。	事業の概要	当該年度中に40歳を迎える方、または当該年度において満41歳以上となる方であって、過去に当該肝炎健診に相当する検診を受けたことがない方を対象に委託医療機関で肝炎ウイルス検査を実施する。

事業の実績・成果

肝炎ウイルス検査を実施することにより、肝炎の早期発見につながった。

（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受診者数	242	165	158	178	149
要精密検査者数	0	1	0	1	2

事業名	骨粗しょう症予防事業		（総合戦略）
担当課	健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-20
款 04	衛生費	当初予算額	1,878,000円
項 01	保健衛生費	最終予算額	1,878,000円
目 02	予防費	決算額	1,814,356円
事業の目的	市民の病気を予防するため、寝たきりの主な原因となる骨折を予防するため、骨密度測定を実施し、早期から骨量減少への対策を行う。	事業の概要	骨密度測定を各保健センターを会場に実施する。測定後は結果説明をし、要指導域、要精検域及び希望者に対して保健師・管理栄養士による個別相談を実施する。

事業の実績・成果

自身の骨密度を知ることにより、骨粗しょう症の予防に対する意識を高めることができた。
平成28年度から実施回数を7回から9回、定員を840人から1,080人に増やした。
希望者も多く、定員1,080人に対し1,091人に実施した。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施回数(回)	7	9	9	9	9
受診者数(人)	805	1,036	1,002	1,040	1,091

事 業 名		新型インフルエンザ等予防対策事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-22
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	198,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	704,088 円
目	02	予防費	決 算 額	655,656 円
事業の目的	市民の病気を予防するため、新型インフルエンザなどの感染拡大を可能な限り抑制し、健康被害を最小限にとどめる。		事業の概要	広報紙、ホームページ、子育てホッとメール等で新型インフルエンザ等の感染症の正しい知識や予防法を周知する。 また、地域防災計画（新型インフルエンザ等対策編）に基づき、マスク、消毒薬などを計画的に備蓄する。

事業の実績・成果

1　新型コロナウイルス感染症対策

令和２年１月１５日に国内で初の感染者が確認され、その後、全国的な流行に発展した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策として、主に次の内容に取り組んだ。

（1）実施体制

新型インフルエンザ等予防対策会議（令和２年１月３１日、２月２０日）

緊急部長会議（２月２１日）

新型コロナウイルス感染症対策本部会議（２月２５日から３月２７日まで計１３回）

（2）市民への情報提供

ホームページにおける注意喚起と情報提供（１月２４日から随時）

（3）市備蓄品の活用

①マスクを配布（計 51,000 枚）

- 加須医師会　10,000 枚
- 埼玉県済生会栗橋病院　2,000 枚
- 加須市歯科医師会　1,550 枚
- 高齢者福祉施設　5,000 枚
- 妊婦　1,930 枚
- 入学（園）式・卒業（園）式　14,367 枚
- 小学校一時預かり　5,600 枚
- 市主催会議参加者等　10,553 枚

②消毒液を配布（公共施設に 86 リットル）

2　新型インフルエンザ等の感染症発生に備え物品整理を行い、品質管理を維持、充足を図った。

3　組織再編により加須市地域防災計画第５編新型インフルエンザ等対策編（新型インフルエンザ等対策行動計画）を見直し、業務継続計画（ＢＣＰ）を策定した。

４　毎週発表される感染症サーベイランスを確認し、保健所管内の流行状況に応じて、ホームページ、かぞホッとメールで情報発信し、予防啓発に努めた。

令和２年１月頃から新型コロナウイルス感染症が流行したことから感染拡大を防ぐため、マスクや消毒の使用量が増え、令和２年３月から備蓄を使用している。また、ホームページや防災行政無線等でも感染予防を呼びかけた。

○インフルエンザ対策備蓄品一覧

（令和2年3月末）

			医薬部外品			第3医薬品
マスク （単位：枚）	感染防護キット （個）	デイスポ手袋 （箱） （1箱100枚入り）	速乾性手指消毒剤 エタノール（手指用） 2種類 （L）	次亜塩素酸ナトリウム （除菌消毒剤） 2種類 （L）	次亜塩素酸医療用泡 ハイター （L）	日本薬局方消毒用エ タノール （L）
12,100	148	145	60	160	40	35

事 業 名	こころの健康づくり事業			（総合戦略）
担 当 課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	2214-01
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	994,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	994,000 円
目	02	予防費	決 算 額	702,900 円
事業の目的	市民が心身ともにより健康的な生活を送ることができるよう、心の健康づくりを推進し、精神疾患や自殺の予防を図る。	事業の概要	精神科医師、臨床心理士へ相談する機会を提供する。 また、自殺予防に関する啓発を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携し訪問指導を実施する。	

事業の実績・成果

面接・電話・訪問による相談のほか、保健センターや市民プラザ等における精神科医や臨床心理士等による相談を実施した。また、ホームページだけでなく、メンタルチェックシステム「こころの体温計」を手軽に利用できるよう個人用携帯端末にダウンロードできる仕様とし、こころの健康づくりへの普及啓発に努め、相談者のこころの健康づくりに役立てた。

1　精神保健相談　（単位：件）

相談手段	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
電　話	202	217	145	61	50
面　接	171	132	163	32	25
訪　問	22	5	26	8	4

2　こころの健康相談

ア　精神科医による相談

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
回数（回）	12	12	12	12	12
延べ人数（人）	14	9	14	9	6

イ　臨床心理士による相談

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
回数（回）	25	25	25	25	19
延べ人数（人）	22	26	28	26	25

3　合同相談

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
回数（回）	12	12	12	12	12
延べ人数（人）	19	18	16	11	11

4　メンタルチェックシステム「こころの体温計」　（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ホームページアクセス件数	15,954	18,527	21,237
アプリ開設　ダウンロード数	5,075	6,576	9,412

5　自殺予防週間及び月間についての周知

・市報かぞ平成30年9月・3月号
・ホームページへの掲載
・図書館資料等を活用した行政情報PR活動3月

事 業 名		成人歯科保健推進事業			（総合戦略）
担 当 課		健康づくり推進課		総合振興計画コード	2215-04
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	2,135,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	2,387,306 円
目	02	予防費		決 算 額	2,387,306 円
事業の目的	高齢期における健康を維持し、食べる楽しさを享受できるように、歯の喪失を予防するため、歯科疾患の早期発見、早期治療による歯と口腔の健康の保持増進を図る。 また、8020 運動の普及啓発を推進する。		事業の概要	・成人歯科検診（20 歳以上の方及び妊婦を対象）を歯科医院へ委託 ・8020 お達者歯科健康診査（65 歳以上を対象に公民館等で健診を実施し、80 歳以上で 20 本以上自分自身の歯がある方を地区敬老会で表彰） ・歯科保健推進協議会を開催し、意見等を事業に反映させる。	

事業の実績・成果

成人歯科検診の実施により、口腔内の状態を把握し、歯周疾患等の早期発見・予防を図ることにつながった。また、8020 お達者歯科健康診査の実施により、8020 運動の普及啓発を推進できた。

1　成人歯科検診（歯周病検診）

対象：20 歳以上の市民

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
検診人数（人）	145	223	267	310	408
平均むし歯歯数（本）	13.7	11.2	12.1	10.9	12.3
平均現存歯数（本）	27.1	26.9	27.0	27.1	26.8

2　8020 お達者歯科健康診査

対象：65 歳以上の市民

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実施回数（回）	8	8	8	8	8
参加人数（人）	68	55	30	37	51
表彰人数（人）	59	50	18	25	27

事 業 名		動物適正飼養事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4343-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	779,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	779,000 円
目	02	予防費	決 算 額	559,202 円
事業の目的	狂犬病予防対策を推進するとともに、ペットの適正な飼育等の普及啓発を行い、快適な地域生活環境の保全を図る。	事業の概要	犬の登録及び狂犬病予防注射の実施や狂犬病予防に向けた普及・啓発を行う。さらに、ペットの適正飼養についての広報活動及び指導を実施する。	

事業の実績・成果

1　畜犬登録及び集合狂犬病予防注射の実施

(1) 日時　　4 月 8・10・12・14・16・18 日（6 日間）

(2) 場所　　各地域の公民館、体育館、総合支所、コミュニティセンター等

2　狂犬病予防注射勧奨通知の送付

(1) 発 送 日　　令和 2 年 2 月 12 日

(2) 対　　象　　狂犬病予防注射を 5 年以上未接種の 5 才から 12 才犬の飼い主

(3) 対象人数　　304 人

【犬の登録頭数の推移】　（単位：頭）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
新規登録数	449	483	430	431	448
登録頭数	8,173	7,981	7,784	7,653	7,606

【年度別狂犬病予防注射済頭数・接種率の推移】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
登録頭数（頭）	8,173	7,981	7,784	7,653	7,606
注射済頭数（頭）	6,330	6,195	5,924	5,593	5,519
接種率（%）	77.5	77.6	76.1	73.1	72.6

3　長寿犬飼養表彰式の実施

(1) 実施日　　令和元年 11 月 15 日

(2) 場　所　　パストラルかぞ　小ホール

(3) 対象者　　209 人(212 頭)

4　適正飼育についてチラシ・広報紙による啓発

・犬猫の糞尿迷惑看板の配布　令和元年度配布実績　69 枚

5　マナーアップキャンペーンの実施

犬の登録及び狂犬病予防注射接種や、飼い方のマナーについて、犬の飼い主の義務・責任を確認してもらうため、市民との協働による加須市独自の方法で、「愛犬家のマナーアップキャンペーン」を実施した。

・宣言者数　1,394 名（令和 2 年 3 月 31 日現在）

宣言はがき

事 業 名		環境美化推進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4121-01
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	585,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	585,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	338,248 円
事業の目的	環境美化の推進を図るため、市と市民等の協働により、公共施設における地域の植栽・清掃等の環境美化活動を促進する。		事業の概要	花の植付や清掃活動などの環境美化活動に必要な物品、用具等の支給やボランティア活動保険への加入、活動団体の名称を表示したサインボードの設置などを行う。

事業の実績・成果

ボランティア団体や企業等との協働により、市が管理している道路や公園等の清掃、花壇の植栽等の美化活動を行った。

1　支援内容

(1) 美化活動を行うために必要な物品、用具等の支給又は貸与
(2) 緑化に必要な花の種・苗の支給
(3) 収集又は搬出が困難なごみの回収
(4) 活動団体の名称を表示したサインボードの設置
(5) ボランティア活動保険への加入

2　支給内容

・軍手、鎌、ほうき等の清掃用具
・パンジー、ビオラ、マリーゴールド等の苗
・ボランティア活動保険への加入

3　ボランティア団体数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
団体数（団体）	37	35	35	40	37
人数（人）	696	657	604	688	665

4　美化活動の現状と効果

清掃活動地域は、25 か所で実施され、継続的に清掃活動が行われた。また、12 か所の植栽活動地域では、主に春季と秋季の年 2 回、花苗等の植栽が行われた。

令和元年度は、構成員の高齢化により、団体数が減少したが、1 団体が新規登録となり、新たな活動地域を得ることができ、快適で美しい環境づくりを継続的に推進することができた。

事 業 名		地域衛生協働事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4122-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	2,121,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	2,121,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	1,583,555 円
事業の目的	地域の公衆衛生の維持・向上を図るため、地域住民との協働による地域の衛生活動を推進する。		事業の概要	自治協力団体が地域の公衆衛生の向上等の為に行う害虫駆除で使用する防疫薬剤を配布する。また、薬剤散布に使用する機材の購入費補助を行う。

事業の実績・成果

1　自治協力団体（市全域）への防疫薬剤の配布

自治協力団体（市全域）に対し、次表のとおり市が防疫薬剤を配布した。各地区において消毒機による衛生害虫の防疫活動が行われ、地域衛生の向上が図られた。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
団体数(団体)	26	29	26	20	20
回 数 （ 回 ）	121	115	104	100	112

2　環境衛生功労者感謝状の贈呈

長年にわたり地域の清掃、ごみ等の分別指導や草刈り等の環境衛生活動を率先して実施し、地域の環境美化に尽力した方に感謝状を贈呈した。

・ 対　象　　環境衛生功労者　23 名・3 団体

3　明るい社会づくりの会への活動事業費補助　　140,000 円

明るく住みよい社会づくりを図るため、加須市明るい社会づくりの会に補助金を交付し、次の事業が実施された。

・第 3 回加須市小学生ノーポイ運動創作品展

(1) 日　時　　令和元年 8 月 21 日（水）から 25 日(日)

(2) 場　所　　加須未来館

(3) 参加者　　1,147 人

・会報配布、東日本大震災被災地ボランティア(宮城県石巻市)など

事 業 名		清掃活動促進事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4123-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	16,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	16,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	15,549 円
事業の目的	市民や事業者と市の協働による清潔な地域環境の実現を図るため、市民や事業者の生活環境の保全及び環境美化意識の向上に努める。		事業の概要	・加須市コミュニティ協議会等の市民団体と協働により、まちの一斉清掃を実施する。

事業の実績・成果

コミュニティ協議会等の市民団体との協働により、市内の一斉清掃を実施するとともに、渡良瀬遊水地クリーン作戦を実施し、環境美化の促進と環境保全の意識高揚を図った。

1　年間清掃活動の実績

実施日	地域	参加人数（人）	ごみ回収量（kg）
5 月 26 日（日）	北川辺	1,631	1,220
6 月 2 日（日）	加　須	5,000	3,730
7 月 28 日（日）	大利根	2,796	2,520
8 月 25 日（日）	騎　西	3,500	2,250
11 月 3 日（日）	加　須	4,700	5,100
11 月 10 日（日）	北川辺	1,630	1,520
12 月 22 日（日）	大利根	2,314	3,390
3 月 1 日（日）	加　須	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	騎　西		
	北川辺		
3 月 8 日（日）	大利根		
合　計		21,571	19,730

※地域別開催回数　　加須 2 回、騎西 1 回、北川辺 2 回、大利根 2 回

2　渡良瀬遊水地クリーン作戦

実施日	参加団体数	参加人数（人）	ごみ回収量（kg）
4 月 13 日（土）	40	463	280

事 業 名	「浮野の里」自然環境保全事業			（総合戦略）
担 当 課	環境政策課		総合振興計画コード	4211-06
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	8,124,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	23,016,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	22,714,311 円
事業の目的	自然環境との共生を推進するため、県の緑のトラスト保全地であり、優れた自然と歴史的景観が残る「浮野の里」を保全し、活用を図る。		事業の概要	「浮野の里」公有地の管理委託や「さいたま緑のトラスト協会」ボランティアと連携した保全活動・保全管理を行うとともに、「浮野の里」自然観察会を開催し環境学習の場としても活用する。 また、県絶滅危惧種に指定されるトキソウの保護と増殖を図る。 （浮野の里面積：約 125 万㎡、うち令和元年度末時点の公有地面積：89,910 ㎡）

事業の実績・成果

1　「浮野の里」公有地管理業務委託　　1,655,000 円

展望台・浮野観察舎等の清掃、クヌギ並木遊歩道の除草、並木への殺虫剤散布を行うほか、あやめ祭りの主会場となる花菖蒲園内の除草（花菖蒲の育成・管理は当事業には含まれない）や「ちりじ野」のヨシ刈り払いなど通年の維持管理を行った。業務は、地元の市民活動団体であり、浮野の里を熟知している「浮野の里・葦の会」に委託し、「浮野の里」の環境を保全するとともに、地域の活性化に寄与した。

2　浮野の里トイレ清掃委託　　117,360 円

清掃業務（週 2 回）を加須市シルバー人材センターに委託し、来訪者への衛生面の向上を図った。

3　さいたま緑のトラスト協会ボランティアスタッフの保全活動への参加

13 人がボランティアスタッフとして登録し、浮野の里・葦の会の活動にあわせて定期的（毎月 2 回）な保全活動を行い、浮野の里の自然環境保全に貢献した。

4　浮野の里・あやめ祭り

全国水の郷百選やさいたま緑のトラスト保全地第 10 号地に指定されている浮野の里の豊かな自然の中で、浮野の里・葦の会により「浮野の里・あやめ祭り」が開催され、多くの方が来場した。

日　時　　令和元年 6 月 9 日（日）から 16 日（日）　午前 9 時から午後 3 時まで

5　浮野の里ヨシ焼き

浮野の里の貴重な湿地環境の保全や害虫駆除のため、浮野の里・葦の会によりヨシ焼きを実施した。

日　時　　令和 2 年 1 月 13 日（月・祝）午前 9 時から

6　施設の整備

・散策木道改修工事　　3,520,000 円
・観察舎解体撤去工事　　1,045,000 円
・駐車場照明灯修繕工事　　90,498 円

7　公有地取得

浮野の里周辺の不適正な土地利用を防止するなど、自然環境の保全のため、新たに公有地として取得した。

・取得地　加須市多門寺地内 8 筆　3,845 ㎡
・取得額　計 14,611,000 円（単価 3,800 円/㎡）

事 業 名	オニバス保護活用事業			（総合戦略）
担 当 課	地域振興課（北川辺）		総合振興計画コード	4211-07
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	471,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	471,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	425,438 円
事業の目的	豊かな自然環境を保全するために、絶滅危惧種であるオニバス及び同所に自生する水生植物の保護育成を通じ、地域の活性化を図る。	事業の概要	オニバスの保護に伴う除草などの一連の作業をオニバスの会に委託している。 オニバスの会及び環境科学国際センター等の協力を得ながら、オニバスの保護育成に努める。	

事業の実績・成果

絶滅危惧種であるオニバスの保護に努めるとともに、その活動を通じ、地域の観光資源として活用を図るため、オニバスの会を中心に保護活動に取り組んだ。

■ オニバス自生地管理

オニバス保護活動団体である「オニバスの会」にオニバス自生地及び試験田等の管理委託を行い、開花時期に照準を合わせ、管理作業及び景観づくりに努めた。

1 除草作業　令和元年6月11日、21日、7月5日、12日、19日、26日
2 復元池干し上げ等の作業　令和2年3月16日

※オニバス開花時期等
発芽確認　令和元年5月16日
開花確認　令和元年7月22日

■ オニバスガイドの活動内容

オニバスガイドを開設し、次の活動を行った。
（チーフガイド2名、ボランティアガイド14名）

1 オニバス開花時期のガイド活動
令和元年8月中の毎週土・日曜日及び8月13日（火）～15日（木）　（午前8時～11時）
2 オニバスフェスタ
令和元年8月10日（土）　午前7時～正午
3 開花時期における来訪者数（7月下旬～9月上旬）　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開花時期の来訪者数	1,250	1,084	1,883	1,212	1,041
オニバスフェスタ来場者数	300	260	220	280	250

オニバスフェスタ

オニバスの花

■ 施設修繕実施内容

案内看板の修繕を行った。

事 業 名		「風の里」環境保全事業		
担 当 課		地域振興課（騎西）	総合振興計画コード	4212-10
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	20,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	20,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	20,000 円
事業の目的	見沼代用水（星川）の旧河川敷を利用し、水辺に生息する動物や植物の生息・生育空間を保全する役割をはたす”ビオトープの創出”を目的として整備された「風の里」の保全管理をする。		事業の概要	・周辺住民と協働しての清掃活動 （H22.8.30 に加須市と加須市上種足地区いきいき農村整備事業維持運営委員会が「加須市上種足地区いきいき農村整備事業施設の維持運営に関する協定」を締結） ・自然観察会等の実施

事業の実績・成果

見沼代用水（星川）の旧河川敷を利用し、水辺に生息する動物や植物の生息・生育空間を保全する役割をはたす“ビオトープの創出”を目的として整備された「風の里」の保全管理を行った。

また、貴重な自然環境を利用して、地元小学校の児童を対象に自然観察会を開催し、講師（埼玉県川の国アドバイザー）より詳しい説明等を受け、参加者は生物多様性の大切さと市内の自然環境の現状を体感することができた。

・地域住民との協働での清掃活動の実施

（単位：回）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実施回数	2	2	2	2	2

・風の里公園自然観察会　　令和元年 7 月 1 日（月）
参加者 27 人（種足小学校 3 年生 25 人、教師 2 人）

事 業 名		一般廃棄物処理基本計画進行管理事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4331-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	175,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	175,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	62,800 円

事業の目的	循環型社会の構築を目指すため、一般廃棄物の資源化・減量化・適正処理を総合的･計画的に推進する。	事業の概要	・一般廃棄物処理基本計画の施策を計画的に推進するため、省令第 1 条の 3 の規定により毎年度の事業に係る実施計画を定める。 ・計画の進行管理を行なうため、前年度の事業成果を取りまとめ、廃棄物減量等推進審議会に報告し意見を聴く。 （計画期間：平成 24 年度～令和 3 年度）

事業の実績・成果

平成 24 年 3 月に策定した一般廃棄物処理基本計画に基づき進行管理を行っている。8 年目となる令和元年度は、加須市廃棄物減量等推進審議会を 1 回開催し、各種意見を聴取するとともに、計画に基づいた一般廃棄物処理を行っていることが確認できた。

○令和元年度　第 1 回加須市廃棄物減量等推進審議会

1　開催日　　令和元年 8 月 23 日（金）

2　議事　　(1) 会長及び副会長の選出について
(2) 平成 30 年度ごみ処理の状況について
(3) ごみの資源化・減量化に向けた取組について
(4) 加須・大利根クリーンセンター事業報告について
(5) 指定ごみ袋の販売実績及び分別推進料の使いみちについて
(6) 平成 30 年度いなほの湯運営実績について
(7) 平成 31 年度一般廃棄物処理実施計画について

3　出席委員数　15 人 ／ 委員数 20 人

事 業 名	５Ｒの推進事業			
担 当 課	資源リサイクル課		総合振興計画コード	4331-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	7,025,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	7,025,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	4,749,055 円
事業の目的	市民との協働により「日本一のリサイクルのまち」をめざし、ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみの発生抑制・再使用・再生利用等５Ｒを推進し、市民の意識を高める。	事業の概要	・ごみ処理施設見学会、講座等の開催やホームページ、広報等を活用した市民への啓発を実施する。 ・資源回収報償金を交付し市民のリサイクル活動を支援する。	

事業の実績・成果

ごみの資源化・減量化を図るため、ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）、不要なものを買わない・もらわない（リフューズ）、修理しながら長く使い続ける（リペア）の５Ｒの推進に関する啓発活動を行った。

また、適正な分別を図ることで、ごみの資源化を推進するため、市民がパソコンやスマートフォンなどでごみの分け方を簡単に検索できるように提供するとともに、加須市公式アプリ「かぞっぷ」を活用し、地域別のごみカレンダーの情報提供を行い、市民のごみ分別排出の支援を行った。

さらに、小型家電の回収量の増加を図るため、平成30年7月から本庁舎、騎西総合支所、北川辺総合支所、大利根総合支所に回収ボックスを設置し、資源化の周知及び排出機会の拡大を行った。

1　１人１日あたりのごみ排出量の推移　（単位：ｇ）

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
１人１日当たりのごみ排出量	973	988	984	995	966

2　資源ごみ集団回収

(1) 回収実績　（単位：kg、本、円）

団体数	紙 類	布 類	生びん	金属類	報償金	資源化総量
60 団体	894,150	27,680	481	25,433	4,738,720	947,504

(2) 回収量・報償金の推移　（単位：t、円）

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
回 収 量	1,192	1,120	1,068	1,007	948
報償金額	5,966,450	5,605,830	5,339,715	5,038,775	4,738,720

3　ごみ処理施設見学会の実施（小学４年生対象）

(1) 参加数（参加者数は、引率者を含む。）

学校数	クラス数	参加者数
22	33	990

事 業 名		資源物再生処理事業			
担 当 課		資源リサイクル課		総合振興計画コード	4331-05
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	183,818,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	183,818,000 円
目	03	環境衛生費		決 算 額	164,969,693 円
事業の目的	循環型社会の構築をはかるため、ごみの資源化・減量化を推進する。		事業の概要	・スチール缶、アルミ缶、飲食用びん、ペットボトル、プラスチック類・ゴム製品、紙・布類、小型家電、布団の資源化を図る。	

事業の実績・成果

資源ごみ等のリサイクルを行うとともに、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づき、びん類・ペットボトルの再商品化を図り、ごみの資源化・減量化を推進した。

1　リサイクル率の推移　（単位：%）

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
リサイクル率	38.7	39.1	38.8	38.4	37.1

※令和 3 年度までの目標値 40%

2　再生資源売払代金（歳入）

分別収集された資源ごみや焼却後の磁性物、クリーンセンターで分別した小型家電や布団、硬質プラスチック、粗大ごみ処理施設での破砕処理後の金属類などを再生事業者に売払った。

（単位：kg、円）

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
資源化量	4,459,854	4,250,072	3,974,191	3,806,248	3,744,929
売払代金	29,349,343	26,925,596	33,970,472	29,727,004	17,930,696

3　容器包装リサイクル法に係る拠出金（歳入）

・有償入札拠出金（ペットボトル）　10,326,646 円

4　資源ごみの中間処理の概要

分別収集した資源ごみ等について、リサイクルを図った。

（単位：kg、円）

品　目	委託事業者	処理量	委託料	備　考
びん類	㈱ｳｨｽﾞｳｪｲｽﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ	124,940	4,410,095	容器包装リサイクル法に基づく処理
びん類	㈱山口商店	394,590	9,891,859	
びん類	三栄ガラス㈱	214,480	290,174	
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 ｺﾞﾑ製品	㈱ダイヤ整環	2,020,920	96,902,932	
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 ｺﾞﾑ製品	㈱ｳｨｽﾞｳｪｲｽﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ	704,730	46,007,860	

※ペットボトルの処理委託料は、加須クリーンセンターごみ処理事業に記載

事 業 名	バイオマス資源化事業			（総合戦略）
担 当 課	資源リサイクル課		総合振興計画コード	4331-06
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	21,844,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	21,844,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	18,655,749 円
事業の目的	ごみの資源化・減量化のため、草木類や生ごみ等のバイオマス（生物由来のもの）の資源化を推進する。		事業の概要	・民間リサイクル業者と連携した草木類の資源化（チップ化して燃料へ）を実施する（緑のリサイクル事業）。 ・生ごみ処理容器等購入費補助金を周知及び交付する。 ・公園の剪定枝などをチップ化、堆肥化、木炭化する。また、体験会などを実施する。

事業の実績・成果

剪定枝、家具類などの木くず類について、「緑のリサイクル事業」として民間処理施設においてチップ化し、発電施設や製紙メーカーなどの工場で使用する電力用ボイラーなどの代替燃料として、資源化を図った。

また、公園の管理作業で発生する剪定枝や枯葉などの資源を再利用するとともに、チップ化体験会や炭焼き体験会を実施し、自然への理解、環境への認識を深めた。

1　草木類中間処理委託

（単位：kg、円）

年　　度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
資源化量	3,977,030	4,851,560	4,883,570	5,106,740	4,208,260
市委託処理量	1,705,830	1,751,580	1,832,010	1,928,640	1,918,260
委託費	14,937,227	15,454,680	16,343,534	16,664,069	16,798,677

※平成 23 年度からの開始

2　生ごみ処理容器等購入の支援

燃やすごみ減容のため、コンポスト・電気式処理機等の生ごみ処理容器購入費を助成した。

（平成 24 年 6 月 1 日から補助金額の統一・拡充）

補助上限額：電気式　　40,000 円／1 基

コンポスト　4,000 円／1 基

（単位：基、円）

機種	基数	補助金額
コンポスト	46	169,791
電気式処理機	37	1,338,903
計	83	1,508,694

3　チップ化体験会（けやき公園駐車場）

実施日　　令和元年10月18日（金）

来場者数　12人

4　炭焼き体験会（種足ふれあいの森）

実施日　　令和元年11月14日（木）

来場者数　40 人

事業名	リサイクル協働事業			（総合戦略）
担当課	資源リサイクル課		総合振興計画コード	4331-07
款	04	衛生費	当初予算額	23,600,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	23,600,000円
目	03	環境衛生費	決算額	22,001,409円
事業の目的	ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみの分別や集積所の管理等について、地区リサイクル推進協力会を中心とした市民との協働を進める。		事業の概要	・リサイクル推進協力会連絡会・役員会における地域間の情報共有、各地域協力会で実施する研修実施、各地区のごみ収納かご、カラスネット購入の支援を行う。 ・市内の地区協力会におけるごみ集積所管理等のリサイクル推進員の活動を支援する。 ・ごみ集積所整備に対する支援を行う。

事業の実績・成果

「日本一のリサイクルのまち」を目指し、ごみの分別・収集体制の統一を機に設立した市民団体であるリサイクル推進協力会を多方面から支援し、市民と行政の協働によるごみの資源化と減量化を図った。

1　ごみ集積所整備の支援　　14件　　763,297円
　ごみの集積所の新設、改修等について、各地区のリサイクル協力会に補助金を交付した。

2　地区リサイクル推進協力会への支援
　(1)各地区リサイクル推進協力会交付金を交付した。

（単位：地区、円）

地域	地区協力会数	交付金額
加須地域リサイクル推進協力会	75	9,772,600
騎西地域リサイクル推進協力会	48	2,649,100
北川辺地域リサイクル推進協力会	19	927,200
大利根地域リサイクル推進協力会	37	1,895,000
合計	179	15,243,900

　(2)ごみ集積所の適正管理・不法投棄対応等に係る現地確認、指導等を行った。

3　地域リサイクル推進協力会・リサイクル推進協力会連絡会の運営支援
　(1)リサイクル推進員研修の実施
　　4会場　8回開催、参加者数434人（リサイクル推進員数843人）　出席率51.5%

（単位：人）

地域	開催日	推進員数	参加数
加須地域リサイクル推進協力会	10月1日（3回）	361	217
騎西地域リサイクル推進協力会	6月25日（2回）、29日（1回）	211	132
北川辺地域リサイクル推進協力会	9月11日（1回）	72	11
大利根地域リサイクル推進協力会	9月7日（1回）	199	74
合計	8回	843	434

　(2)リサイクル推進協力会役員会、リサイクル推進協力会連絡会を開催し、情報提供、情報共有を行った。

4　ごみ収納かご・カラスネット購入支援

集積所のごみ収納かご、カラスネットを一括購入・配布し、購入等の一部を助成した。

(1) ごみ収納かごの配布　(単位：基)

地　　域	常設(大)	常設(小)	折畳(大)	折畳(小)	計
加須地域リサイクル推進協力会	38	15	21	3	77
騎西地域リサイクル推進協力会	13	2	1	0	16
北川辺地域リサイクル推進協力会	3	0	0	0	3
大利根地域リサイクル推進協力会	8	0	0	0	8
合　　計	62	17	22	3	104

(2) カラスネットの配布　(単位：枚)

地　　域	大	小	計
加須地域リサイクル推進協力会	42	18	60
騎西地域リサイクル推進協力会	45	13	58
北川辺地域リサイクル推進協力会	0	0	0
大利根地域リサイクル推進協力会	12	9	21
合　　計	99	40	139

事 業 名		ＰＣＢ廃棄物適正処理推進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4332-05
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	3,140,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	3,026,600 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	1,636,780 円
事業の目的	PCB 特措法に基づく適正な PCB 廃棄物等の保管・処理を実施する。		事業の概要	市の保有する PCB 廃棄物の保有状況調査を適宜実施し、保管及び処分に係る計画・スケジュールを作成する。 また、当該計画等に基づき、各保有課と調整のうえ、法令に定める適正な保管・処分を計画的・効率的に実施する。

事業の実績・成果

○PCB 廃棄物の保管及び処分状況等届出書の取りまとめ

毎年県への届出が義務付けられている PCB 廃棄物の保管及び処分状況届出書について、一括して取りまとめ、提出した。

○低濃度 PCB 廃棄物の処理　1,474,780 円

各施設で保管していた低濃度 PCB 廃棄物を適切に処理した。

・旧騎西コミュニティセンター（変圧器 3 基）
・加須市民体育館（変圧器 6 基、コンデンサー1 基）
・防災倉庫（変圧器 2 基）

○PCB 濃度分析検査の実施　64,800 円

PCB の含有が疑われる廃棄物等について分析調査を実施した。

・検査基数：3 基（2 施設分）

事 業 名		不法投棄防止事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4343-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	1,424,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	1,424,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	1,239,916 円

事業の目的	地域の環境美化及び生活環境の保全を図るため、ごみの不法投棄を防止する。	事業の概要	・関係課との合同パトロールを行い、ごみの不法投棄を防止する。 ・希望する市民へ看板を配布し、民地への不法投棄防止を支援する。 ・集積所への不法投棄ごみのうち、タイヤなどの処理困難物を回収し適正に処理する。 ・集積所への不法投棄防止対策を検討する。

事業の実績・成果

市民からの情報提供や日々の不法投棄防止パトロールにより、ごみ集積所の不適正排出、道路・河川等の不法投棄によるごみを回収し、処理困難物の適正処理を行い、生活環境の保全を図った。

また、不法投棄防止看板を作製し、希望する市民に配布した。

1　不法投棄処理困難物処理　（単位：kg、円）

委託先	処理困難物	処理量	委託料
(株)クワバラ・パンぷキン	ﾀｲﾔ･ｿﾌｧｰ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･消火器等	3,730	48,490
(株)ダイヤ整環	ﾀｲﾔ･ｿﾌｧｰ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･消火器等	6,770	88,010
(財) 家電製品協会 ((有)ヤマトヨ商店の運搬料含む)	特定家庭用機器	－	332,108
武蔵野環境(株)	廃プラスチック	370	33,385
(株)ショーモン	医療廃棄物	－	27,500
合計		10,870	529,493

2　不法投棄防止看板の作製　（単位：枚、円）

作製枚数	購入費
195	710,423

事 業 名		生活環境緊急対策事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4343-05
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	348,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	348,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	43,169 円
事業の目的	市民の生活環境の保全を図るため、緊急性を要する事故・災害の発生時において、環境衛生面での迅速な対応を行う。		事業の概要	油の流出などの水質事故への迅速な対応や床下浸水被害家屋等への消毒の迅速な実施などの生活環境上の緊急時の対応を行う。また、スズメ蜂などの害虫駆除業者の市民への紹介を行う。

事業の実績・成果

1　市民からの蜂駆除に関する問合せ・相談
　駆除事業者等の紹介　131 件

2　集中豪雨や台風の影響による床下浸水家屋の床下消毒の実施
　集中豪雨により家屋が床下浸水したため、職員が出向き消毒を実施。
　・令和元年度浸水家屋消毒件数：3 件

事 業 名		広域利根斎場組合運営事業		
担 当 課		市民課	総合振興計画コード	4343-06
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	38,371,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	38,371,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	38,371,000 円
事業の目的	生活環境の保全を図るため、「広域利根斎場」の円滑な管理運営を行う。	事業の概要	火葬業務等を行う斎場（メモリアルトネ）の管理運営を行うため、運営費負担金を支出する。 【構成市】：加須市、久喜市、幸手市、宮代町	

事業の実績・成果

1　広域利根斎場組合の施設の維持管理や運営業務が円滑に行われるよう負担金を交付した。

負担金額の推移　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
負担金額	39,413,000	39,362,000	38,955,000	38,950,000	38,371,000
負担金総額	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000

※負担金総額は、久喜市・加須市・幸手市・宮代町の合計

＜参考＞広域利根斎場組合決算額の推移　（単位：円）

決　算　額	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
歳　入	256,444,680	266,695,079	261,051,737	249,378,699	246,105,691
歳　出	203,948,701	216,360,589	224,489,335	214,628,166	216,775,465

2　広域利根斎場組合施設使用状況

・火葬受入件数は、1 日最大人体 16 件、小動物の単独火葬 1 日 2 件

広域利根斎場組合施設利用の推移（加須市分）　（単位：件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
火葬室	1,128	1,121	1,081	1,166	1,178
待合室	1,749	1,624	1,553	1,579	1,536
葬祭場	734	633	619	654	601
霊安室	334	287	277	296	268
小動物	1,359	1,305	1,237	1,167	1,171

事 業 名		保健センター管理運営事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-26
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	26,913,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	26,913,000 円
目	04	保健センター費	決 算 額	25,109,347 円
事業の目的	健康づくりの拠点である保健センターの施設設備を適切に維持管理するとともに有効活用を図る。		事業の概要	老朽化の進んでいる保健センターの施設、電気、機械設備等を計画的に維持管理・修繕する。 また、北川辺及び大利根保健センターについては、施設の設置目的に沿った形で貸し出す。

事業の実績・成果

消防設備点検、自家用電気工作物保安管理、浄化槽維持管理・法定点検、清掃業務、冷暖房保守、警備等の委託等の管理運営を行うとともに、コピー、冷暖房灯油・重油、電気・ガス、水道・下水道、電話等の適正管理に努めた。

また、加須保健センター、北川辺保健センター、大利根保健センターにおいて、下表の修繕及び工事を実施した。

保健センター名	修繕・工事名	決算額
加須保健センター	屋上防水改修工事	5,389,200 円
	高圧引込ケーブル交換工事	533,500 円
北川辺保健センター	ガス給湯器交換工事	257,730 円
	外灯交換工事	206,800 円
大利根保健センター	２階大会議室空調機移設工事	448,524 円
	合併処理浄化槽送風機交換工事	449,928 円
	多目的トイレ大便器修繕	193,406 円
	自動ドア修繕	306,900 円
合計		7,785,988 円

事 業 名		医療診断センター管理運営事業		
担 当 課		医療体制推進課	総合振興計画コード	2223-05
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	126,833,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	126,833,000 円
目	05	医療診断センター費	決 算 額	123,948,501 円
事業の目的	高度医療機器を活用した画像診断によって地域医療の高度化を図り、もって、市民の健康の保持・増進に寄与する。		事業の概要	MRＩやＣＴ等の高度医療機器を活用し、医療機関からの依頼による検査及び市民の健康の保持増進に必要な事業（脳ドック、乳がん検診）を実施する。 また、地域医療ネットワークシステム「とねっと」を活用した医療連携を推進する。

事業の実績・成果

MRＩやＣＴなどの高度医療機器を使って、医療機関からの依頼による検査や脳ドック検査などを行うことで地域医療に貢献し、市民の健康の保持・増進を図ることができた。

1　年度別検査の状況　（単位：件）

区分 / 年度	診療日数	医療機関からの依頼件数					検診件数			合 計
		MRI	CT	MMG	超音波	小計	脳ドック	乳がん	小 計	
平成27年度	243	1,926	702	64	2	2,694	218	1,907	2,125	4,819
平成28年度	244	1,808	669	61	3	2,541	167	1,780	1,947	4,488
平成29年度	245	1,806	635	38	1	2,480	188	1,809	1,997	4,477
平成30年度	244	1,651	823	46	0	2,520	181	1,766	1,947	4,467
令和元年度	240	1,727	904	39	0	2,670	136	1,792	1,928	4,598

2　脳ドック検査の状況

MRＩを使って脳ドック検査を実施し、受検者の疾病等の早期発見や健康意識の向上などに貢献した。

	件　数	市内・市外の別		備　　考
		市　内	市　外	うち、国民健康保険、後期高齢者医療利用補助
人　数(件)	136	121	15	国保82　後期高齢26
割　合(%)		89.0%	11.0%	79.4%

3　乳がん検診の状況

マンモグラフィを使って乳がん検診（個別検診）を実施し、がんの早期発見、早期治療につなげることができた。

	受診者数	要精密検査者数	うち、乳がん発見者数
人　数(件)	1,792	109	5
割　合(%)		6.1%	0.3%

※個別検診（医療診断センター分）のみ集計

事 業 名		健康ふれあいセンター管理運営事業			
担 当 課		資源リサイクル課		総合振興計画コード	2214-09
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	37,795,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	37,795,000 円
目	06	健康ふれあいセンター費		決 算 額	37,591,640 円
事業の目的	市民の健康の保持及び増進、体力の向上並びに住民相互のふれあいと交流の場としての施設を目指す。		事業の概要	・指定管理者による施設の管理・運営を実施し、衛生管理や設備の点検及び修繕を行う。 ・経営安定化のための集客事業を実施する。	

事業の実績・成果

健康ふれあいセンターの管理運営を、指定管理者の㈱クリーン工房に委託し、民間のノウハウを活用した運営を行った。

※指定管理の期間は平成30年4月～令和3年3月までの3年間

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月10日から休館した。

1　入館者数

入館者数は、72,480人で前年比97.7%となった。

（単位：日、人）

年度	営業日数	入館者数			
		大人	子供（小学生）	幼児（小学校就学前）	合　計
平成27年度	318	70,391	5,074	4,363	79,828
平成28年度	315	70,774	5,522	4,438	80,734
平成29年度	311	68,347	4,634	4,319	77,300
平成30年度	311	67,565	3,615	3,009	74,189
令和元年度	293	65,959	3,827	2,694	72,480

2　施設利用料金及び売上金（指定管理者の収入）

売上げは、54,242,424円で前年比93.8%となった。

（単位：円）

年度	施設利用料金	売上金	合　計
平成27年度	32,283,300	34,339,361	66,622,661
平成28年度	30,371,100	36,068,717	66,439,817
平成29年度	28,313,600	33,436,833	61,750,433
平成30年度	27,075,050	30,728,840	57,803,890
令和元年度	26,076,250	28,166,174	54,242,424

3　主な施設の修繕等

・配管洗浄剤購入（レジオネラ菌対策）
・厨房空調修繕
・受変電設備高圧ガス開閉器交換
・温水循環ポンプ更新
・熱源回りバルブモータ交換
・浄化槽放流ポンプ№1、およびフロートスイッチ更新

事 業 名		加須クリーンセンター管理運営事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4332-01
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	11,627,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	11,629,576 円
目	01	清掃総務費	決 算 額	11,136,380 円
事業の目的	処理施設の適切な管理運営のために、施設の安全管理及び周辺環境美化を推進する。		事業の概要	・処理施設の安全確保及び安定稼働を確保するため円滑な施設運営を行う。 ・周辺地域の生活環境の保全に配慮し、周辺住民環境対策や、場内の環境美化を推進する。 ・施設見学会で見学者に施設概要等を説明し、ごみの資源化・減量化の PR を図る。

事業の実績・成果

加須クリーンセンターの安全確保及び安定稼働を図るため、施設の保守点検や場内環境整備を行い、円滑な運営に努めた結果、適切な管理運営が行えた。

また、周辺環境対策として地元環境対策協議会へ補助金を交付し、意見交換会等を開催することにより、地域住民の環境問題に関する認識を深めてもらい、施設への理解を得ることで安全かつ安定した施設運営が行えた。

1　円滑な受付、誘導

受付を臨時職員、混雑時の誘導を職員及び委託事業者社員が担当し、円滑な業務を行った。

2　適切な施設管理

(1)　施設保守点検　・施設警備保守
　　・自動ドア保守点検

(2)　場内環境美化　・場内樹木剪定委託
　　・場内清掃業務委託

3　周辺環境対策

(1)　周辺ほ場に景観形成作物としてホテイアオイの植付けを行い、いなほの湯や加須クリーンセンターへの来館者の目を楽しませるとともに、周辺環境の向上及び地域の活性化を図った。

(2)　会員によるグラウンドゴルフ大会やジャパンテック(株)宇都宮工場（ペットボトル再商品化）を視察して、自治体が行うごみ減量化、再資源化の認識と理解を深めた。

事 業 名		大利根クリーンセンター管理運営事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4332-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	8,239,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	8,236,424 円
目	01	清掃総務費	決 算 額	7,567,214 円

事業の目的	処理施設の適切な管理運営のために、ごみの適正処理及び周辺環境美化を推進する。	事業の概要	・処理施設の安全確保及び安定稼働を確保するため円滑な施設運営を行う。 ・周辺地域の生活環境の保全及び増進に配慮し、周辺住民環境対策や、場内の環境美化を推進する。 ・施設見学会で見学者に施設概要等を説明し、ごみの資源化・減量化の PR を図る。

事業の実績・成果

大利根クリーンセンターの安全確保及び安定稼働を図るため、施設の保守点検や場内環境整備を行い、円滑な運営に努めた結果、適切な管理運営が行えた。

また、周辺環境対策として地元環境対策協議会へ補助金を交付し、意見交換会等を開催することにより、地域住民の環境問題に関する認識を深めてもらい、施設への理解を得ることで安全かつ安定した施設運営が行えた。

1　円滑な受付、誘導

受付を臨時職員、混雑時の誘導を職員及び委託事業者社員が担当し、円滑な業務を行った。

2　適切な施設管理

(1)　施設保守点検　・自家用電気工作物保安管理
　　・消防設備点検
　　・浄化槽保守点検

(2)　場内環境美化　・場内樹木消毒
　　・高木剪定を委託

3　周辺環境対策

地元環境対策協議会会長と随時打ち合わせを行い、令和 2 年 2 月 11 日には、協議会会員との意見交換会を行った。

事 業 名		ごみ収集事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4331-04
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	513,751,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	513,751,000 円
目	02	じん芥処理費	決 算 額	509,745,484 円

事業の目的	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るとともに、ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみ集積所に出されたごみを適正に収集運搬する。	事業の概要	・燃やすごみ,燃やさないごみ,粗大ごみ,資源ごみ等を適正に収集運搬する。 ・ごみカレンダー等を配布し、ごみ収集日程やごみの出し方などを周知徹底する。 ・指定ごみ袋取扱店と連携した指定ごみ袋の安定供給とごみ処理手数料の円滑な徴収・収納を実施する。

事業の実績・成果

ごみ集積所に出されたごみを適正に収集運搬するとともに、指定ごみ袋制度、粗大ごみの戸別収集を実施し、生活環境の保全等を図った。

1 燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、資源ごみ等収集運搬業務委託 416,773,202 円

市民が集積所に出した燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみ等の収集運搬業務及び粗大ごみ戸別収集業務を委託し収集を行った。

○収集品目別・地域別委託料 （単位：円）

<table>
<tr><th>収集品目</th><th>加須</th><th colspan="2">騎西</th><th>北川辺・大利根</th></tr>
<tr><td>燃やすごみ</td><td rowspan="2">119,987,190</td><td>A</td><td rowspan="7">A：41,084,280
B：38,363,640</td><td>37,057,790</td></tr>
<tr><td>プラスチック類・ゴム製品</td><td>B</td><td rowspan="4">30,954,662</td></tr>
<tr><td>燃やさないごみ</td><td rowspan="4">88,133,040</td><td rowspan="3">A</td></tr>
<tr><td>危険ごみ</td></tr>
<tr><td>粗大ごみ</td></tr>
<tr><td>びん・缶・ペットボトル</td><td rowspan="2">B</td><td>26,149,100</td></tr>
<tr><td>紙・布類</td><td>19,685,400</td><td>15,358,100</td></tr>
</table>

※集積所のごみ収集を祝日も実施したことにより、市民サービスの向上が図られた。

2 指定ごみ袋制度の運用

指定ごみ袋の製造及び配送を行い、ごみ処理手数料を徴収した。

（単位：冊、円、店舗）

<table>
<tr><th colspan="2">販売冊数</th><th>手数料徴収額</th><th>徴収委託料</th><th>登録店舗数</th></tr>
<tr><td>燃やすごみ 45ℓ</td><td>214,916</td><td>53,729,000</td><td rowspan="9">18,955,971</td><td rowspan="9">208</td></tr>
<tr><td>燃やすごみ 30ℓ</td><td>142,541</td><td>24,231,970</td></tr>
<tr><td>燃やすごみ 20ℓ</td><td>96,164</td><td>10,578,040</td></tr>
<tr><td>燃やすごみ 15ℓ</td><td>94,542</td><td>6,617,940</td></tr>
<tr><td>燃やさないごみ 45ℓ</td><td>14,734</td><td>3,683,500</td></tr>
<tr><td>燃やさないごみ 30ℓ</td><td>7,020</td><td>1,193,400</td></tr>
<tr><td>燃やさないごみ 20ℓ</td><td>4,953</td><td>544,830</td></tr>
<tr><td>燃やさないごみ 10ℓ</td><td>5,093</td><td>254,650</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>579,963</td><td>100,833,330</td></tr>
</table>

・指定ごみ袋製造・配送業務委託料 60,824,195 円

・指定ごみ袋受注及びごみ処理手数料出納業務委託料 6,343,800 円

3 犬猫等死体処理業務委託 942,240 円

市の管理する道路等の犬や猫等の動物の死体処理を適正に行った。（処理件数 72 件）

4 ごみカレンダー

令和２年度版を庁内印刷により作成し、令和２年３月に全戸配布した。

事 業 名		加須クリーンセンターごみ処理事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4332-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	544,948,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	551,867,000 円
目	02	じん芥処理費	決 算 額	530,304,401 円

事業の目的	加須・騎西地域等から排出されるごみの中間処理及び最終処分を安定して行うために、処理施設の安定稼働を目指す。	事業の概要	・燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、ペットボトル等の中間処理・処分を実施する。 ・ごみ焼却施設、粗大ごみ処理施設、ペットボトル減容施設の運転及び維持管理を行う。 ・直接搬入ごみの分別指導を行う。 ・最終処分場を維持管理する。 ・環境調査を実施する。 ・リサイクルフェアを実施する。

事業の実績・成果

処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、加須・騎西地域等から排出されるごみの処理等を、安定して行うことができた。

1　燃やすごみの処理

○燃やすごみ搬入量　（単位：t）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
22,493	22,289	22,375	22,479	22,473

燃やすごみの中から、草木類 43t、紙類 60t、布団類 8t、布類 12t を分別し資源化した。

令和元年度東日本台風（台風第 19 号）により発生した災害廃棄物（稲わら 206ｔ）を処理した。

2　燃やさないごみ、粗大ごみ、危険ごみの処理

○燃やさないごみ搬入量（危険ごみ含む）　（単位：t）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1,555	1,594	1,631	1,712	1,765

○粗大ごみ搬入量　（単位：t）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
105	103	90	98	106

燃やさないごみ及び粗大ごみの中から、家具類 313t、小型家電 189t、金属類 439ｔ、プラスチック類 54t、硬質プラスチック 24t、びん類 29t、アルミ缶 6t、スチール缶 11t を分別し資源化した。また、危険ごみの中から、乾電池 31t、蛍光管 11t を資源化した。

3　ペットボトルの処理

○ペットボトル処理量　（単位：t）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
218	221	218	223	210

処理量に、ペットボトルのラベル、キャップを含む。

ペットボトル選別業務委託料　公益社団法人加須市シルバー人材センター　5,825,632 円

4　焼却灰等の状況

○焼却灰等の処分の状況　（単位：t、円）

焼却灰発生量(ばいじん含む)	処分の内容		
2,985	資源化	数量	委託料
	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ㈱	2,169	61,703,736
	埋立処分	数量	委託料
	㈱ｳｲｽﾞｳｪｲｽﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ	562	18,681,843
	ｸﾞﾘｰﾝﾌｨﾙ小坂㈱	243	9,046,301
	埼玉県環境整備ｾﾝﾀｰ	11	278,355

※委託料に運搬費を含む。

○不燃残渣の処分の状況　（単位：t、円）

不燃残渣発生量	処分の内容		
274	埋立処分	数量	委託料
	埼玉県環境整備ｾﾝﾀｰ	274	6,927,390

※委託料に運搬費を含む。

○自己最終処分場の状況　（単位：㎥）

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
埋立量	0	0	0	0	0
残余容量	11,151	11,151	11,151	11,151	11,151

5　施設修繕の状況

・ごみ焼却施設定期修繕：1･2号炉耐火物修繕
・ごみクレーン・灰クレーン年次点検：既存の構造物のメンテナンス等
・バグフィルタ下部スクレーバコンベヤ補修
・粗大ごみ処理施設修繕：供給フィーダ、不燃物選別機、磁選修繕等
・浸出水処理施設修繕：二層ろ過器、活性炭吸着塔面前配管交換、給水ユニット、エアドライヤ更新

6 リサイクルフェアの実施

粗大ごみや燃やさないごみとしてクリーンセンターに搬入された家具等について、希望する市民に無償譲渡し、ごみの再使用（リユース）を促進する「リサイクルフェア」を開催し、ごみの減量化を図った。

また、市民がパソコン等を安心して処分できるよう、リサイクルフェア期間中のイベント回収を実施し、資源化の促進を図った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月の実施を予定していたリサイクルフェアを中止した。

		第22回	第24回
開催年月		令和元年6月	令和2年1月
来場者数		627人	532人
引渡品	点数	80点	45点
	重量	1,957 kg	314 kg
パソコン回収		74台	―

※第24回は、本庁舎市民ギャラリーにて開催

事 業 名		大利根クリーンセンターごみ処理事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4332-04
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	162,424,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	162,424,000 円
目	02	じん芥処理費	決 算 額	155,628,163 円
事業の目的	北川辺・大利根地域等から排出されるごみの中間処理及び最終処分を安定して行うために、処理施設の安定稼働を目指す。		事業の概要	・燃やすごみ等の中間処理・処分を実施する。 ・ごみ焼却施設の運転及び維持管理を行う。 ・直接搬入ごみの分別指導を行う。 ・環境調査を実施する。 ・リサイクルフェアを実施する。

事業の実績・成果

処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、北川辺・大利根地域から排出されるごみの処理等を、安定して行うことができた。

1 燃やすごみの処理

○燃やすごみ搬入量 （単位：t）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
5,297	5,508	5,574	5,634	5,808

燃やすごみの中から、草木類 865t、紙類 54t、布類 1t を分別し資源化した。

令和元年度東日本台風（台風第 19 号）により発生した栃木市の災害廃棄物（畳 180 枚 7t）を受入れ処理した。

2 燃やさないごみ、粗大ごみの処理

○燃やさないごみ搬入量（危険ごみ含む） （単位：t）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
165	161	157	160	159

○粗大ごみ搬入量 （単位：t）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
215	186	207	223	228

燃やさないごみ及び粗大ごみの中から、家具類 122t、小型家電 31t、金属類 64t、プラスチック類 166t、硬質プラスチック 6t、びん類 8t、アルミ缶 1t、スチール缶 2t、乾電池 1t、蛍光管 1t を分別し資源化した。

3 焼却灰等の状況

○焼却灰等の処分の状況 （単位：t、円）

焼却灰発生量(ばいじん含む)	処分の内容		
	再資源化	数量	委託料
	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ㈱	396	11,947,129
560	ﾒﾙﾃｯｸ㈱	51	2,692,929
	埋立処分	数量	委託料
	㈱ｳｲｽﾞｳｪｲｽﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ	113	4,762,176

※委託料に運搬費を含む。

4 施設修繕の状況

・1 号炉運転制御装置緊急修繕：制御盤の消耗部品等の交換
・塩化水素分析計取替修繕: 塩化水素分析計の取替修繕
・焼却炉内耐火物修繕:焼却炉内の耐火物の取替修繕
・2 号炉運転制御装置緊急修繕：制御盤の消耗部品等の交換
・非常用自家発電装置緊急修繕:自家発電装置の消耗部品等の交換
・投入扉油圧シリンダー修繕:油圧シリンダーの消耗部品等の交換

5　リサイクルフェアの実施

粗大ごみや燃やさないごみとしてクリーンセンターに搬入された家具等について、希望する市民に無償譲渡し、ごみの再使用（リユース）を促進する「リサイクルフェア」を開催し、ごみの減量化を図った。

また、市民がパソコン等を安心して処分できるよう、リサイクルフェア期間中のイベント回収を実施し、資源化の促進を図った。

		第23回
開催年月		令和元年11月
来場者数		509 人
引渡品	点数	62 点
	重量	1,786 kg
パソコン回収		75台

事 業 名		加須クリーンセンターし尿処理事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4224-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	142,033,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	142,033,000 円
目	03	し尿処理費	決 算 額	133,494,505 円
事業の目的	河川の浄化を図るため、加須・騎西地域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。		事業の概要	・浄化槽汚泥及び汲み取りし尿の安定処理を行う。 ・し尿処理施設の運転及び維持管理を実施する。

事業の実績・成果

処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、加須・騎西地域のし尿及び浄化槽汚泥を、安定して処理することができた。

1　し尿及び浄化槽汚泥の処理

○し尿処理量　（単位：kl）

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
生し尿	778	780	788	731	714
浄化槽汚泥等	18,401	18,571	18,580	18,716	18,785
合計	19,179	19,351	19,368	19,447	19,499

2　焼却灰等の状況

○焼却灰等の処分の状況　（単位：t、円）

焼却灰発生量(ばいじん含む)	処分の内容		
	再資源化	数量	委託料
62	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ㈱	62	1,755,545

※委託料に運搬費を含む。

3　施設修繕の状況

・脱臭設備修繕：脱臭塔、循環ポンプ整備
・高度処理設備修繕：ろ過器及びろ過器周辺整備
・薬品設備修繕：次亜塩素酸ソーダタンク更新
・生物凝集沈殿設備修繕：曝気ブロワーC 及び凝集槽撹拌機整備
・脱水Ⅱ剤設備修繕：供給ポンプ整備、注入ポンプ AB 更新
・地下ポンプ室排風機修繕：地下ポンプ室排風機更新
・1 階マンハッチ天蓋更新：マンハッチ交換

4 公衆衛生向上の支援

し尿の適正処理及び悪臭防止を推進するため、し尿収集運搬許可業者 9 社で組織する加須市清掃組合に対し補助金を交付し公衆衛生向上に努めた。

・悪臭防止対策（清掃車から発生する悪臭防止対策）　480,000 円
・し尿処理業務の円滑化対策　180,000 円

事 業 名		大利根クリーンセンターし尿処理事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4224-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	70,558,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	70,558,000 円
目	03	し尿処理費	決 算 額	67,924,302 円
事業の目的	河川の浄化を図るため、北川辺・大利根地域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。	事業の概要	・浄化槽汚泥及び汲み取りし尿の安定処理を行う。 ・し尿処理施設の運転及び維持管理を実施する。	

事業の実績・成果

処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、北川辺・大利根地域のし尿及び浄化槽汚泥を、安定して処理することができた。

1　し尿及び浄化槽汚泥の処理

○し尿処理量　（単位：kl）

区　分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
生し尿	658	576	596	575	547
浄化槽汚泥等	9,487	9,548	9,940	10,471	10,985
合　計	10,145	10,124	10,536	11,046	11,532

2　焼却灰等の状況

○焼却灰等の処分の状況　（単位：t、円）

焼却灰発生量(ばいじん含む)	処分の内容		
	再資源化	数量	委託料
27	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ㈱	27	827,015

※委託料に運搬費を含む。

3　施設修繕の状況

・放流水 COD 計修繕：COD 計の部品修繕
・ドラムスクリーン減速機モーター修繕:減速機モーターの部品修繕
・汚泥脱水機(駆動装置ほか)修繕工事:脱水機等の部品修繕
・曝気槽上部照明器具取替修繕:照明器具の取替修繕
・プルボックス取替修繕:プルボックスの取替修繕
・電動ボール弁取替修繕:ボール弁の取替修繕
・動力電線取替修繕:動力電線の取替修繕

事 業 名		であいサポート支援事業		（総合戦略）
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	1111-03
款	05	労働費	当 初 予 算 額	2,850,000 円
項	01	労働諸費	最 終 予 算 額	2,850,000 円
目	01	労働諸費	決 算 額	2,850,000 円
事業の目的	結婚を希望する市民等に出会いの機会を提供することにより結婚を支援し、少子化対策及び市内定住の促進を図る。	事業の概要	結婚希望者に対し、相談・紹介・助言などを行う民間団体である加須市結婚相談所「であいサポートｉ」の円滑な運営を側面から支援する（補助金・適切な指導・助言・事業協力）。 団体活動については、市補助金、イベント参加者負担金及び会員登録費用により運営。	

事業の実績・成果

結婚相談やお見合いイベント開催等により、結婚希望者の出会いをサポートする「加須市結婚相談所であいサポートｉ」に助成した。

事業の円滑な運営を側面から支援することにより、結婚を希望する市民等に出会いの機会を提供し、結婚へ向けた支援を行った。

○活動実績（相談員 10 人、事務局 4 人）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談・紹介実績	登録者数（人）	302 (男 203・女 99)	309 (男 199・女 110)	282 (男 182・女 100)	223 (男 141・女 82)	166 (男 105・女 61)
	相談件数（件）	1,637	1,696	2,000	1,689	1,300
	紹介者数（人）	317	303	298	287	179
	お見合い件数（組）	145	146	146	124	91
	婚約成立件数（組）	8	10	15	9	9

※お互いの条件に合う人を紹介、希望によりお見合いを設定

◇令和元年度　であいふれあいのつどい(お見合いパーティー等) 実績

	月　日	対　象	参加総数(人)	男性(人)	女性(人)	マッチング組数(組)
1	6 月 2 日	25～45 歳の男女	38	19	19	10
2	8 月 4 日	25～45 歳の男女	44	24	20	15
3	10 月 6 日	25～45 歳の男女	28	14	14	10
4	12 月 8 日	25～45 歳の男女	44	22	22	17
5	3 月 8 日(※)	35～50 歳の男女	-	-	-	-

(※) 3 月 8 日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

事 業 名		景気・雇用対策推進事業			（総合戦略）
担 当 課		産業雇用課		総合振興計画コード	5122-07
款	05	労働費		当 初 予 算 額	7,997,000 円
項	01	労働諸費		最 終 予 算 額	7,997,000 円
目	01	労働諸費		決 算 額	0 円
事業の目的	経済環境や雇用情勢の変化に対処し、市内景気の着実な拡大と雇用の安定・創出を図るため、諸施策の推進を図る。		事業の概要	景気・雇用対策の基礎資料作成を目的として、中小企業実態調査を実施（3 年に 1 度）し、市内の景気・雇用の実態を把握するとともに、庁内の関係事業を掘り起こし、進行管理を実施して、効果的な事業実施をサポートする。	

事業の実績・成果

「景気・雇用対策本部」を運営し、全庁横断的に景気・雇用対策事業を推進することにより、景気や雇用情勢の変化に対応し、市内中小企業の経営や市民生活の安定を図った。

1　加須市総合振興計画推進本部会議及び加須市まち・ひと・しごと創生本部会議の開催
令和元年７月９日（火）

【繰越明許　令和元年度から令和２年度へ繰り越す理由】
市内中小企業実態調査（繰越明許額　7,997,000 円）
令和元年９月１日基準日として実施予定であったが、令和元年 10 月から施行された消費税率引き上げの影響を反映できるよう、調査基準日を令和２年４月１日としたため繰り越した。

事 業 名	女性就業支援事業			（総合戦略）
担 当 課	人権・男女共同参画課		総合振興計画コード	5141-04
款	05	労働費	当 初 予 算 額	40,000 円
項	01	労働諸費	最 終 予 算 額	40,000 円
目	01	労働諸費	決 算 額	1,600 円
事業の目的	活力ある産業のまちづくりを支援するため、女性の活躍を支え女性のための就業支援を行う。	事業の概要	女性の様々なニーズに対応できるよう、多様な就労形態等の情報を発信し、潜在的に就労意識のある女性の発掘から就業に向けて支援する。	

事業の実績・成果

○女性就業支援セミナー

結婚・出産・育児・介護等により仕事を辞めた女性が、再び仕事を始めたい、働きたいという希望を叶えるため、就業支援セミナーを実施した。

1　日　　時　　令和元年9月25日（水）10:00～12:00
　　場　　所　　ハローワーク行田
　　テ ー マ　　「子育てしながら自分らしい働き方を探そう」
　　参加者数　　21人（加須市2人、羽生市2人、行田市17人）
　　（埼玉県、ハローワーク行田、加須市、羽生市、行田市共催による）

2　日　　時　　令和元年10月4日（金）10:00～11:30
　　場　　所　　市民プラザかぞ　5階　青年センター活動室
　　テ ー マ　　「女性の再就職」
　　参加者数　　11人

3　日　　時　　令和元年12月12日（水）10:00～11:50
　　場　　所　　市民プラザかぞ　5階　女性センター活動室
　　テ ー マ　　「職種を知ろう～事務職編～」
　　参加者数　　8人（加須市3人、熊谷市2人、桶川市1人、行田市1人、白岡市1人）
　　相談会　1人（セミナー終了後）
　　（産業雇用課共催による）

事 業 名	ふるさとハローワーク事業			（総合戦略）
担 当 課	産業雇用課		総合振興計画コード	5221-01
款	05	労働費	当 初 予 算 額	1,134,000 円
項	01	労働諸費	最 終 予 算 額	1,134,000 円
目	01	労働諸費	決 算 額	1,001,594 円
事業の目的	職業紹介機能を整え、市民の就業機会の増加を図る。	事業の概要	加須市ふるさとハローワークを国とともに管理・運営し、求職者に身近で便利な職業相談・職業紹介サービスを提供する。	

事業の実績・成果

加須市ふるさとハローワークを国とともに管理・運営し、求職中の市民に、より身近な場所で職業相談・職業紹介サービスを提供することにより、早期就業を支援した。

利用実績 （単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
求人検索	8,737	6,963	6,038	5,690	5,179
職業相談	6,406	5,691	5,463	5,324	5,317
職業紹介	3,021	2,612	2,210	2,310	2,209
就職決定者	555	532	516	549	470

事 業 名	シルバー人材センター支援事業			（総合戦略）
担 当 課	産業雇用課		総合振興計画コード	5221-03
款	05	労働費	当 初 予 算 額	22,395,000 円
項	01	労働諸費	最 終 予 算 額	22,395,000 円
目	01	労働諸費	決 算 額	22,395,000 円
事業の目的	高齢者が健康で生きがいのある充実した暮らしを送れるよう、高齢者の社会参加を促進する。	事業の概要	高齢者の就業支援事業を実施する公益社団法人加須市シルバー人材センターに助成するとともに、適切な指導・助言・事業協力等を行い、円滑な運営を側面から支援する。	

事業の実績・成果

高齢者の就業支援事業を実施する公益社団法人加須市シルバー人材センターに助成し、事業の円滑な運営を側面から支援することにより、高齢者の社会参加を促進した。

1　会員数の推移　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
会員数	706	755	780	846	867

2　主な受託実績

	受託件数(件)	契約金額(円)	金額比率(%)	主な仕事
公共事業	1,008	164,709,284	35.0	公園等清掃、除草、植木剪定
一般企業等	2,406	233,537,089	49.7	除草、清掃、軽作業
個人家庭等	2,599	71,715,129	15.3	除草、植木剪定、障子等張替え
合　計	6,013	469,961,502	100.0	

3　課題に対する対応状況

(1) 会員の増強

・入会説明会を年52回開催（参加：延べ189人、うち入会：147人）

・ポスターの掲示、リーフレットの配布、各地域市民まつり等への参加によるPR活動、シルバーだより全戸配布

・福利厚生の向上のため互助会発足

(2) 就業機会の拡大

・ローテーション就業の推進

・企業訪問によるPR活動

事 業 名	就業支援事業			（総合戦略）
担 当 課	産業雇用課		総合振興計画コード	5221-04
款	05	労働費	当 初 予 算 額	267,000 円
項	01	労働諸費	最 終 予 算 額	262,923 円
目	01	労働諸費	決 算 額	147,376 円
事業の目的	市民が安定した生活を営めるよう、厳しい雇用情勢に対応し、求職者の早期就業を支援する。	事業の概要	国や県、関係機関と連携し、セミナーや相談会等を開催するとともに、内職相談を実施する。また、就業支援に関する情報を市ホームページやメール配信などを通じ広く提供する。	

事業の実績・成果

就業を希望する市民に対して、国・県及びその他関係機関との連携により、それぞれの状況に応じた就業支援セミナー等を実施することにより、早期就業を支援した。

1　就業支援セミナー等の利用実績　（単位：人）

セミナー名	人数	主催者
生活保護受給者等就労相談 （全43回開催、生活保護受給者等を対象とした相談員による就労相談）	154	ハローワーク行田・加須市共催
就業支援セミナー （全18回開催、求職活動の内容や面接履歴書作成等の指導）	183	ハローワーク行田・加須市共催
県北地域障害者就職面接会 （障がい者を対象とした面接会）	127	ハローワーク行田主催・加須市後援
埼玉県キャリアセンターブランチ （就職相談全103回、セミナー全3回開催、求職者の活動を幅広く支援）	348	埼玉県シニア活躍推進課・加須市共催
女性のための就職支援セミナー （全1回開催、女性を対象とした再就職に向けた情報収集等の就業支援）	8	埼玉県女性キャリアセンター・加須市共催
若者向けセミナー&相談会 （全22回開催、働くことに悩みを抱える若者と保護者を対象とした就業支援）	11	とうぶ若者サポートステーション・加須市共催
福祉の仕事就職面接会 （福祉関連業種の面接会）	32	ハローワーク行田・加須市共催
合　計	863	

2　かぞホッとメールによる「就業支援情報」の配信
配信メール件数：10 件
登録者数

年　代	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)
10 代以下　(～19 歳)	2	3	5	1.0
20 代　(20～29 歳)	3	11	14	2.8
30 代　(30～39 歳)	15	81	96	18.9
40 代　(40～49 歳)	38	148	186	36.8
50 代　(50～59 歳)	33	81	114	22.5
60 代以上　(60 歳～)	61	30	91	18.0
合　計	152	354	506	100.0

3　ハローワーク求人情報の提供
ハローワーク行田が毎週火曜日に発行するハローワーク求人情報を、公共施設や加須駅など 33 箇所に設置し、情報を入手しやすい環境を整えた。

4　内職相談
内職をお探しの方へ内職提供登録事業者のあっ旋と紹介を行った。
内職相談受付状況の推移　(単位：件)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
相談件数	108	114	127	83	84
紹介件数	50	66	81	57	52
決定件数※	33	26	24	15	21

※決定件数は相談者より連絡があった件数

事 業 名	実践型地域雇用創造事業			（総合戦略）
担 当 課	産業雇用課		総合振興計画コード	5221-07
款	05	労働費	当 初 予 算 額	22,301,000 円
項	01	労働諸費	最 終 予 算 額	22,301,000 円
目	01	労働諸費	決 算 額	21,866,086 円
事業の目的	市民が安定した生活を営めるよう、雇用創造協議会が行う雇用創出に向けた取り組みへの支援を行う。	事業の概要	雇用創造協議会が関係機関と連携を図り、事業者及び求職者に対するセミナーや就職面接会を開催するとともに、就職支援に関する情報をホームページ等を通じ提供する。また地元農産物を活用した六次産業化等による新商品開発及び新たな販路の開拓を行う。 国から雇用創造協議会への委託事業（100%の財源措置）	

事業の実績・成果

市民が就業による安定した生活を営めるよう、加須市地域雇用創造協議会が行う事業を支援した。

加須市地域雇用創造協議会では、厚生労働省より実践型地域雇用創造事業を受託し、地域雇用創造計画書に基づき、平成30年度より3年間、セミナーや就職面接会、農産物を活用した商品開発を行っている。

1　就職支援セミナー・就職面接会の開催

○事業活用による就職者数（5月末現在）

	平成30年度	令和元年度
就職者数	96人	100人

○セミナー開催実績

セミナー名	平成30年度	令和元年度
経営力・販売力向上セミナー（事業主対象）	1コース 21社	1コース 20社
六次産業化・創業支援セミナー（事業主対象）	1コース 27社	1コース 23社
ビジネススキル実践セミナー（求職者対象）	5コース 199人	5コース 184人
販売力向上・販路開拓拡大セミナー（求職者対象）	3コース 76人	3コース 106人

○就職面接会開催実績（年2回開催）

	平成30年度	令和元年度
参加者数	125人	165人
就職者数	26人	35人

2　新商品の開発及び成果物の公開

カレー大学のプロデュースを受けて、花咲徳栄高校食育実践科と加須市地域雇用創造協議会が令和元年度に共同開発した「アスリート×メシ　アスメシカレー（加須産いちじく入り）」の成果物公開セミナーは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

事 業 名		中小企業退職金共済掛金助成事業		
担 当 課		産業雇用課	総合振興計画コード	5222-01
款	05	労働費	当 初 予 算 額	9,639,000 円
項	01	労働諸費	最 終 予 算 額	9,639,000 円
目	01	労働諸費	決 算 額	9,194,000 円
事業の目的	雇用を安定させるため、中小企業の育成を図る。また、労働意欲を高揚するため、勤労者福祉の充実（退職金の確保）を図る。	事業の概要	中小企業の事業主に対して、中小企業退職金共済法に定める退職金掛金の一部を助成する。 ・新規加入月から３年間 ・一人につき掛金月額（上限 5,000 円）に 0.2 を乗じて得た年間総額	

事業の実績・成果

市内の中小企業の事業主に対して、中小企業退職金共済法に定める退職金掛金の一部を助成することにより、中小企業者の費用負担を軽減し、勤労者の雇用の安定と労働意欲の高揚を図った。

1　令和元年度の実績

区　分	補助対象数	補助交付数	補助交付率（%）
事業所数	163	146	89.6
従業員数（人）	1,064	1,025	96.3

2　補助金交付事業所等の推移

区　分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
補助交付事業所数	159	141	150	142	146
補助交付人数(人)	970	927	1,034	1,019	1,025
補助金総額(円)	8,570,200	8,202,200	8,758,200	9,025,200	9,194,000

事 業 名	勤労者資金貸付事業			（総合戦略）
担 当 課	産業雇用課		総合振興計画コード	5222-02
款	05	労働費	当 初 予 算 額	48,004,000 円
項	01	労働諸費	最 終 予 算 額	48,004,000 円
目	01	労働諸費	決 算 額	5,869,084 円
事業の目的	勤労者の労働意欲を高揚するため、勤労者福祉（勤労者の生活の安定・向上）の充実を図る。	事業の概要	①勤労者の住宅の確保及び生活環境改善のために必要な資金の融資あっ旋を行う。 勤労者住宅資金　貸付限度額　1,500 万円（担保有）500 万円（担保無） 勤労者生活資金　貸付限度額　100 万円 失業者生活資金　貸付限度額　50 万円 ②埼玉県の融資制度利用者に対する保証料補助及び利子補給を行う。	

事業の実績・成果

勤労者の住宅の確保及び生活環境の改善、失業者の生活の安定のために必要な資金の融資あっせん等を行うことにより、勤労者の労働意欲の高揚を図った。

1　預託内容等　（単位：件/円）

令和元年度 預託金額		令和元年度末 融資残額
勤労者住宅資金	5,852,000	17 件 23,450,129
勤労者生活資金	0	0 件 －
失業者生活資金	0	0 件 －
合　計	5,852,000	17 件 23,450,129

2　あっせん等件数・金額の推移（新規分）　（単位：件/円）

区　分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
勤労者住宅資金	0 件 －	0 件 －	0 件 －	0 件 －	0 件 －
勤労者生活資金	0 件 －	0 件 －	0 件 －	0 件 －	0 件 －
失業者生活資金	0 件 －	0 件 －	0 件 －	0 件 －	0 件 －
合　計	0 件 －	0 件 －	0 件 －	0 件 －	0 件 －

3　埼玉県勤労者向け融資制度利用者に対する助成の推移　（単位：件/円）

区　分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
保証料助成	0 件 －	0 件 －	1 件 15,449	0 件 －	1 件 17,084
利子補給	0 件 －	0 件 －	0 件 －	0 件 －	0 件 －

事業名	勤労者福祉促進事業			
担当課	産業雇用課		総合振興計画コード	5222-03
款	05	労働費	当初予算額	654,000円
項	01	労働諸費	最終予算額	654,000円
目	01	労働諸費	決算額	621,325円
事業の目的	勤労者の労働意欲を高揚するため、勤労者福祉（勤労者の生活の安定・向上）の充実を図る。	事業の概要	県との共催により、労働講座を開催する。 市内の勤労者団体が協力して、勤労者及びその家族を対象とした文化・福利厚生事業を実施する加須市勤労者福祉協議会に助成するとともに、適切な指導・助言・事業協力を行い、円滑な運営を側面から支援する。	

事業の実績・成果

勤労者の労働意欲の高揚を図るため、県との共催により労働講座を開催するとともに、勤労者福祉協議会が実施する市内の勤労者及びその家族を対象とした文化・福利厚生事業に助成し、勤労者福祉の充実を図った。

1　労働講座　（単位：人）

テーマ	講師	開催日	開催場所	参加者数
最新！労働法の基礎セミナー【労働時間、休日・休暇】	社会保険労務士 佐藤　義哲	令和2年 2月5日（水）	市民プラザかぞ 青年・女性センター 活動室	20

2　勤労者福祉協議会への補助金交付額の推移　（単位：千円）

区　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
補助金交付額	700	700	600	600	600

※加須地域のみ。騎西地域、北川辺地域、大利根地域に該当する団体なし。

3　勤労者福祉協議会が実施した主な事業　（単位：人）

区分	行事名	開催日	開催場所	参加者数
福利厚生事業	ファミリー潮干狩り	令和元年 6月22日（土）	千葉県富津海岸	19
	グランドゴルフ大会	令和元年 7月6日（土）	加須市民運動公園	25
	勤労者大運動会	令和元年 9月29日（日）	加須市民運動公園	約150
	勤労者ボウリング大会	令和2年 1月18日（土）	ジョイナスボウル	9
文化事業	原爆絵画展	令和元年 7月29日（月）～ 7月31日（水）	本庁舎1階 市民ギャラリー	約200

事 業 名		災害対策住宅資金利子補給事業		
担 当 課		産業雇用課	総合振興計画コード	5222-04
款	05	労働費	当 初 予 算 額	26,000 円
項	01	労働諸費	最 終 予 算 額	30,077 円
目	01	労働諸費	決 算 額	30,077 円

事業の目的	平成23年3月11日に発生した東日本大震災により住宅に被害を受けた市民の早期復興を支援する。	事業の概要	東日本大震災により住宅に被害を受けた市民に対し、自ら居住する住宅の新築、改築等のために借り受けた融資に係る利子の一部を補給する。 ・支払った利子の20%（上限25万円） ・対象期間　融資実行から5年間、上限額に至る、令和2年3月31日までのいずれか早い日まで ・申請は平成27年3月31日で終了

事業の実績・成果

東日本大震災で住宅に被害を受け、全壊又は半壊のり災証明書が交付された市民が金融機関から資金を借り受け、住宅の新築、改築等をする場合、当該融資の返済に当たり支払った利子の一部を補給し、市民の早期復興を支援した。

1　利子補給実績

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件　　数	5	5	5	3	2
金額（円）	170,815	166,194	129,899	68,395	30,077

事 業 名		農業委員会運営事業		
担 当 課		農業委員会	総合振興計画コード	5116-06
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	21,632,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	21,632,000 円
目	01	農業委員会費	決 算 額	20,829,310 円

事業の目的	優良農地を維持保全し、効率的な農地の利活用を図るため、農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局が連携して取り組み、農業委員会業務を適正に執行する。	事業の概要	・農業委員会法第 6 条第 1 項事務（農地権利移転許可、農地転用の意見、遊休農地への対応等） ・農業委員会法第 6 条第 2 項事務（農地等の利用の最適化の推進） ・農業委員会法第 6 条第 3 項事務（法人化、農業経営の合理化、情報提供等） ・農業者年金基金からの委託業務等

事業の実績・成果

農業委員会の業務を適正に執行した。（毎月 25 日に農業委員会総会を開催）

○農地移動件数の推移

（単位:件）

農地法第 3 条	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
	215	235	170	115	172

※農地法第 3 条:　農地の売買・貸借等による権利移動

（単位:件）

農地法第 4 条	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
	60	60	56	47	38

※農地法第 4 条:　農地の所有者が自ら農地を農地以外に転用する場合

（単位:件）

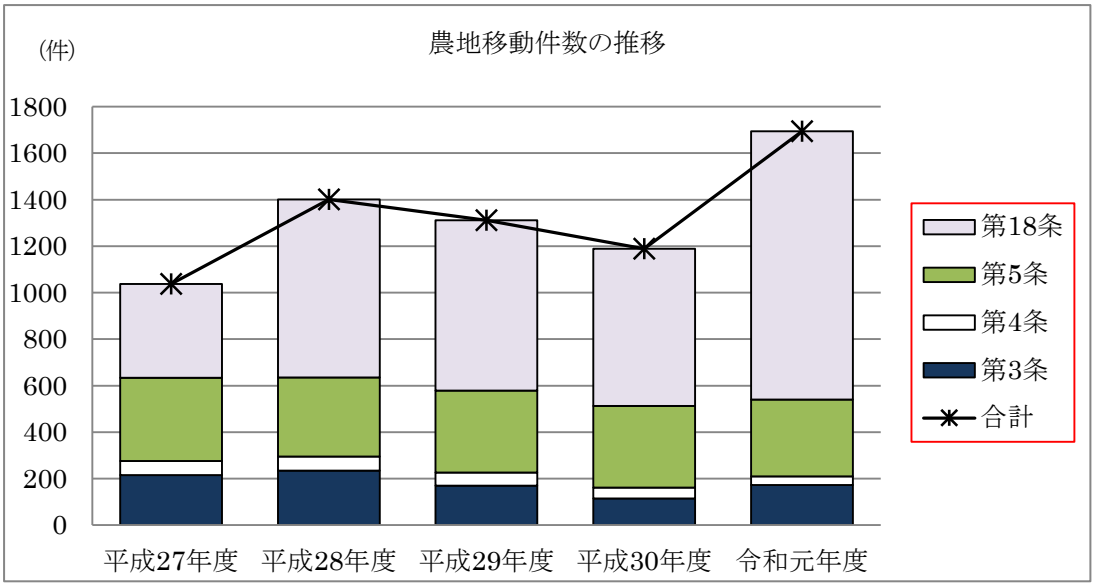
農地法第 5 条	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
	359	340	353	351	330

※農地法第 5 条:　権利移動を伴い農地を農地以外に転用する場合

（単位:件）

農地法第 18 条	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
	403	766	733	676	1154

※農地法第 18 条:　農地の貸借の合意解約



○農地パトロールの実施

全農業委員及び農地利用最適化推進委員による管内の全農地のパトロールを実施

地域のパトロールを各地区の担当農業委員及び農地利用最適化推進委員と連携して通年実施

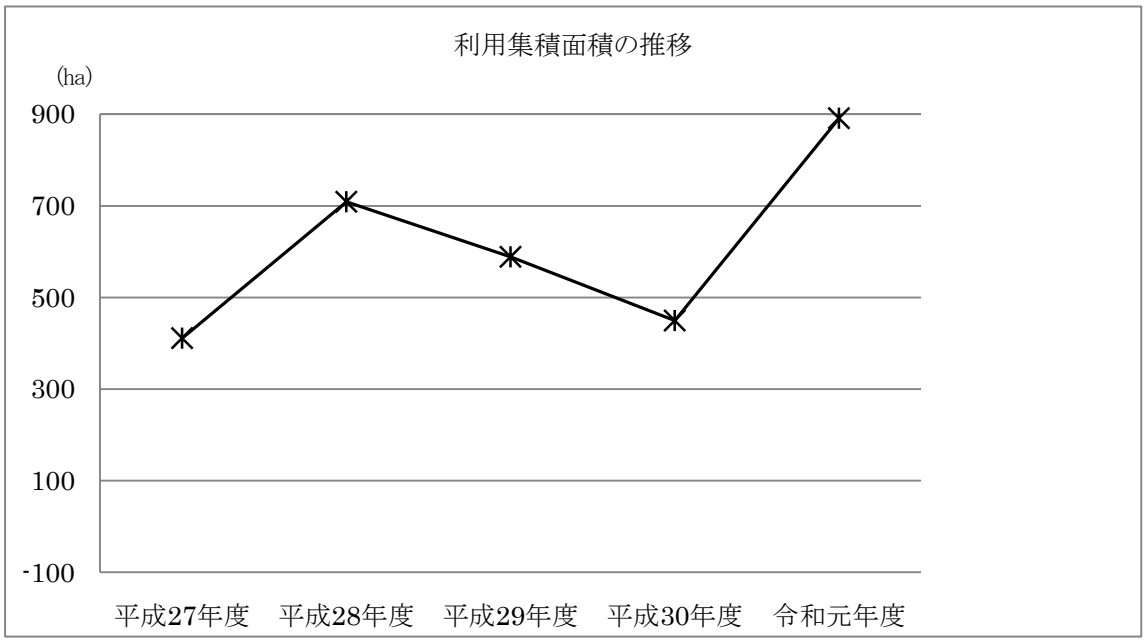
○農用地利用集積の推移

年２回、10 月・２月に農業経営基盤強化促進法に基づく利用集積申出受付を実施

その他、４月から３月に農地中間管理事業による利用集積申出を実施

(単位: ha)

利用集積面積	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
	411.27	708.58	558.55	449.32	890.98



事業名	耕作放棄地解消事業			
担当課	農業委員会		総合振興計画コード	5116-11
款	06	農林水産業費	当初予算額	152,000円
項	01	農業費	最終予算額	152,000円
目	01	農業委員会費	決算額	8,526円

事業の目的	市内の耕作放棄地の解消と発生防止のため、加須市耕作放棄地対策協議会から事業継承をした市農業委員会において、農業委員及び推進委員が連携しながら、戸別訪問を実施するなど、将来の耕作放棄地を抑制し、また、耕作放棄地の再生と有効利用を図る。	事業の概要	毎年１回の農地利用状況調査を実施し、所有者に対する利用意向調査及び、利用に向けた指導を行う。また、耕作放棄地を解消し引き受けて作物の生産を再開する農業者、農業者組織、農業参入法人等が行う再生作業や必要な施設の整備等の取組を総合的に支援する。 また、農業委員及び推進委員の戸別訪問等を実施し、耕作放棄地の新たな発生を未然に防ぐ。

事業の実績・成果

市内全域の耕作放棄地等を把握するため、農業委員及び農地利用最適化推進委員による耕作放棄地の現地調査を実施し、耕作放棄地の再生、活用が図られるよう努めた。

また、農地の適正管理について、所有者等への改善指導を行った。

○市内耕作放棄地の推移　（単位:ha）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
耕作放棄地	49.6	64.4	88.6	105.5	101.2

○市内耕作放棄地が再生された農地の推移　（単位:ha）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
国庫交付金事業により再生された農地	3.4	0	0	0	0
営農再開により再生された農地	0.4	3.9	4.8	7.2	9.5

事 業 名		農業管理事業			
担 当 課		農業振興課		総合振興計画コード	5116-03
款	06	農林水産業費		当 初 予 算 額	6,050,000 円
項	01	農業費		最 終 予 算 額	6,050,000 円
目	02	農業総務費		決 算 額	3,977,285 円
事業の目的	農業施策全般に関わる管理事務を適正に行い、農村環境の保全に資する。		事業の概要	・農業振興課及び各総合支所農政建設課の効率的な管理運営、事務を適正に行う。 ・県からの移譲を受けた農地転用許可事務等を適切に執行していく。	

事業の実績・成果

1　管理運営、事務

所管の公用車の管理、施設の保険料等の諸経費の支払い、関係機関負担金の支払い等、課及び各総合支所農政建設課の事務を適正に行った。

2　農地転用許可事務

【農地転用許可件数】　(単位：件)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
農地法第 4 条	35	32	26
農地法第 5 条	204	207	212

※農地法第 4 条：農地の所有者が自ら農地を農地以外に転用する場合
農地法第 5 条：権利移動を伴い農地を農地以外に転用する場合

事 業 名		加須未来館周辺景観形成事業		
担 当 課		農業振興課	総合振興計画コード	4233-02
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	260,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	260,000 円
目	03	農業振興費	決 算 額	202,961 円
事業の目的	魅力的な景観を形成することによる集客力の向上を図る。		事業の概要	加須未来館周辺の遊休農地等を活用し、花卉等を栽培する。

事業の実績・成果

加須未来館周辺の休耕田等に景観形成作物（コスモス等）の栽培を実施し、加須未来館への集客の向上及び大越地区の生産調整を行った。

○受託者　　加須市グリーンツーリズム振興組合
（コスモス）市の花、市の木普及事業に記載

（菜の花）令和２年４月開花（令和元年 12 月播種）
事業面積　播　　種　4,792 ㎡
　　適正管理　6,315 ㎡
　計　　11,107 ㎡

事 業 名		道の駅おおとね周辺景観形成事業		
担 当 課		農政建設課（大利根）	総合振興計画コード	4233-05
款	06	農林水産業費	当　初　予　算　額	1,134,000 円
項	01	農業費	最　終　予　算　額	1,134,000 円
目	03	農業振興費	決　　算　　額	1,127,788 円
事業の目的	道の駅おおとね周辺の魅力的な景観形成を推進する。	事業の概要	道の駅周辺の景観形成を目的として、ホテイアオイの植付を行い、まちづくり事業を推進する。	

事業の実績・成果

道の駅童謡のふる里おおとね周辺の景観形成と集客を目的に、株式会社米米倶楽部に対し補助を行い、ホテイアオイの植付け（約 8,000 ㎡）を実施した。

ホテイアオイを適正に管理することにより、来客者に対し観賞する機会を 6 月から 9 月まで提供することができた。

管理・事業に係る経費

・委託料（地権者 11 名）	123,788 円
・負担金補助及び交付金（米米倶楽部）	1,000,000 円
・会場借上料（地権者説明会）	3,000 円
・切手代	1,000 円

事 業 名		農業振興ビジョン策定事業		
担 当 課		農業振興課	総合振興計画コード	5111-01
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	501,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	501,000 円
目	03	農業振興費	決 算 額	321,074 円
事業の目的	時代の変化に対応し、加須市の今後の農業振興施策を展開するため、農業振興ビジョンの策定に取組む。		事業の概要	今後の加須市の農業振興を図るため、行政と地域の農業団体であるＪＡほくさいをはじめ、各農業団体や農業者、企業、市民団体、市民が一体となって課題を整理し、共通認識を図りながら今後の方向性を検討する。 ①現状分析と課題整理　②策定委員会の開催 ③加須市農業振興ビジョン策定

事業の実績・成果

令和２年度に策定する「第２次加須市農業振興ビジョン」の基礎資料とするため、農業の現状と課題について、農業者及び消費者からの市民意向を把握し、農林業センサスの結果や品目別検討会などを通じて集約した多様な意見等を反映させるためアンケートを実施した。

○抽出対象（発送人数）
①認定農業者全員（268 人）
②農地台帳に登載された農地を 5,000 ㎡以上経営（耕作）する農業者　75 歳未満（732 人）
③住民基本台帳に登載された一般市民（農家以外）20 歳～75 歳未満（1,000 人）
※②③は無作為抽出
○調査期間　令和２年２月 10 日発送 ～ ２月 28 日締切
○調査内容
◆農業者（認定農業者含む）
・農業経営の概要、農業経営の課題や今後の展望
・農地の耕作状況と今後の賃借意向等
・地域農業の振興のあり方
◆消費者
・市内産の農産物や農業イベント等
・農産物等の購入
・農作業への興味・関心、市の農業への期待

※アンケート調査の集計及び分析は令和２年度に実施する。

事 業 名		農業振興ビジョン進行管理事業		
担 当 課		農業振興課	総合振興計画コード	5111-02
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	97,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	97,000 円
目	03	農業振興費	決 算 額	56,520 円
事業の目的	平成 24 年度に策定した農業振興ビジョンについて、各施策を推進し、進捗状況を確認し、PDCA を実施することにより加須市農業の振興を図る。	事業の概要	農業振興ビジョン推進会議を設置し、農業振興ビジョン達成のための施策の進捗状況の確認・検証をし、さらに各施策を進める。 ・平成 25 年 3 月策定 ・計画期間：平成 25 年度～平成 32 年度	

事業の実績・成果

加須市農業振興ビジョンについて、各施策の進捗状況の確認及び評価を行うとともに、事業の推進を図るため、加須市農業振興ビジョン推進会議を開催した。

○開 催 日　　令和元年 8 月 21 日（水）
○開 催 時 間　　10 時～11 時 27 分
○出席委員数　　20 名（31 名中）
○会 議 内 容　　農業振興ビジョン平成 30 年度実施状況報告について

平成 30 年度については 31 項目中、18 項目（58.1%）が「達成済」及び「概ね順調」と評価された。
［平成 30 年度取組結果（評価区分ごとの項目数等）］

区 分	取組項目数	割 合
1 達成済	12（ 0）	38.7%（ 0.0%）
2 概ね順調	6（19）	19.3%（61.3%）
3 やや遅れている	7（ 7）	22.6%（22.6%）
4 大幅に遅れている	3（ 2）	9.7%（ 6.4%）
5 未着手	3（ 3）	9.7%（ 9.7%）

※（ ）内：平成 29 年度取組結果

［平成 30 年度取組結果（基本方針ごとの評価数）］

基本方針	達成済	概ね順調	やや遅れ	大幅遅れ	未着手
1 良好な生産基盤の確保と農地の有効活用	3	2	1	0	0
2 農業公社の充実	1	1	2	0	1
3 多様な担い手の育成	1	2	1	0	1
4 売れる農産物づくり	1	1	2	1	0
5 地産地消の推進と新たな流通の開拓	4	0	1	1	0
6 “農”とのふれあい促進	2	0	0	1	1

事業名	園芸振興事業			
担当課	農業振興課		総合振興計画コード	5111-03
款	06	農林水産業費	当初予算額	3,465,000円
項	01	農業費	最終予算額	7,865,000円
目	03	農業振興費	決算額	6,397,564円
事業の目的	園芸農家関係団体の活動への支援を通じ、園芸農家の経営の安定・合理化、産地力の強化促進する。	事業の概要	・園芸農業者（野菜・果樹）で組織する各農業団体に補助金を交付し、活動を支援。（野菜5団体、果樹3団体） ・園芸農家への機械設備の整備を支援する。 ・中川上流地区国営事業に伴う高収益作物等の導入を検討する。	

事業の実績・成果

1　園芸団体運営補助事業

市内の園芸農業者（野菜・果樹・花き）で組織する各農業団体の運営や事業を支援し、本市園芸農業の振興を図った。

（単位：円）

事業主体	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加須市園芸組合連合会	670,000	670,000	670,000	670,000	670,000

事業内容：加須地域内の園芸農業者（野菜、果樹、花き）で組織する各農業部会（胡瓜・茄子、梨、葡萄、花卉）の運営や事業、園芸農産物の生産改良及び販売改善等を支援し、本市園芸農業の振興を図った。

（単位：円）

事業主体	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
埼玉県野菜園芸技術研究会加須支部	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000

事業内容：加須地域内の胡瓜の野菜栽培農家で組織する団体により、農産物の生産改良及び販売改善新技術の研究導入等を支援し、野菜生産技術の向上と経営の安定を図った。

（単位：円）

事業主体	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加須市騎西いちじく組合	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000

事業内容：騎西地域内のいちじく農家の発展に期するため、計画的にいちじくの生産・生産物の共同出荷・講習や先進地視察を実施し、いちじく栽培技術の向上及び安定推進を支援し、地域農業の振興を図った。

（単位：円）

事業主体	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加須市騎西露地野菜研究会	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000

事業内容：騎西地域内のブロッコリーの露地野菜農家で組織する団体により、農産物の生産改良及び販売改善新技術の研究導入等を支援し、野菜生産技術の向上と経営の安定を図った。

（単位：円）

事業主体	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加須市騎西果実生産協同組合	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000

事業内容：騎西地域内の梨農家の発展に期するため、計画的に梨の生産・生産物の共同出荷・講習や先進地視察を実施し、梨栽培技術の向上及び安定推進を支援し、地域農業の振興を図った。

（単位：円）

事　業　主　体	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加須市騎西園芸組合	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000

事業内容：騎西地域内の胡瓜・茄子の施設野菜農家で組織する団体により、農産物の生産改良及び販売改善新技術の研究導入等を支援し、野菜生産技術の向上と経営の安定を図った。

（単位：円）

事　業　主　体	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
青果物出荷協議会	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000

事業内容：北川辺地域内の系統販売農家の会員相互の事業上の連絡・協調、出荷体制の確立、環境保全型農業の推進を支援し、地域農業の振興を図った。

2　梨赤星病防除対策事業

市内の梨栽培農家で組織する団体による、薬剤の共同購入及び啓発看板の設置等により梨園周辺住民の理解が得られ、病原元となる植物抑制が図られた。

（単位：円）

事　業　主　体	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加須市園芸組合連合会 梨部会	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000

3　多目的防災網設置補助金

防ひょう・防風網の整備（新設及び張替え）を行う農家に対して整備費用の一部を支援

補助率：資材費の３分の１以内

	加須地域	騎西地域	計
作　物	梨	梨	
件　数	1件	3件	4件
金　額	239,814円	592,750円	832,564円
ほ場面積	2,712㎡	7,114㎡	9,826㎡

4　次世代施設園芸技術導入支援事業費補助金

次世代施設園芸に必要な統合環境制御装置及び環境制御機器の導入を支援

補助率：事業費の２分の１以内（県単事業）

（単位：円）

事　業　主　体	内容	総事業費	県補助金額
北川辺地域農家	統合環境制御装置（1台）、 自動潅水装置電磁弁（2台）他	6,010,200	1,000,000

5　埼玉野菜プレミアム産地づくり事業費補助金

産地間競争に勝ち続けられる足腰の強い野菜産地の育成を図るため、埼玉野菜の生産拡大や高品質化に必要な生産施設・機械の整備を支援

補助率：事業費の２分の１以内（県単事業）

（単位：円）

事　業　主　体	内容	総事業費	県補助金額
北川辺地域法人	乗用長ネギ土寄管理機（1台）、 ネギ収穫機（1台）他	7,605,970	3,400,000

事 業 名		花・植木振興事業		
担 当 課		農業振興課	総合振興計画コード	5111-04
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	166,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	166,000 円
目	03	農業振興費	決 算 額	166,000 円
事業の目的	地元花卉市場の立地を活かし、本市の花卉園芸の振興を図る。		事業の概要	・花卉生産団体へ補助金を交付し事業費を支援する。(3 団体) ・花卉生産団体（加須花きかがやき会）への販売活動支援として「市役所お花直売会」を実施する。 ・市民を対象とした花植木市場の見学会を 2 年に 1 回のペースで開催し、花植木への関心を高める。

事業の実績・成果

市内で花き園芸を営む農業者の団体に対し、運営費及び事業費の一部を助成し、花き園芸農業の活性化及び花・植木の生産振興を図った。

(花・植木栽培育成事業費補助金) (単位：円)

事 業 主 体	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
加須花きかがやき会	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
加須市騎西花卉園芸組合	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
加須市北川辺花卉園芸組合	61,000	61,000	61,000	61,000	61,000

事 業 名		エコ農業推進事業		
担 当 課		農業振興課	総合振興計画コード	5111-06
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	5,777,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	5,777,000 円
目	03	農業振興費	決 算 額	5,241,580 円
事業の目的	市民の食の安全・環境対策への関心が高まるなか、農産物の安全安心による付加価値を高めるとともに、地球温暖化や生物多様性に配慮した営農活動を促進し、農業経営の安定と環境保全に資する。	事業の概要	環境保全のため、営農活動から排出される廃ビニール廃プラスチック（産業廃棄物）の適正処理や、減農薬、減化学肥料、有機農業等の取組に対する支援を行う。	

事業の実績・成果

1　特別栽培農産物の生産促進

特別栽培農産物とは、農林水産省の「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に基づき、栽培期間中、節減対象農薬及び化学肥料（窒素成分）の双方を慣行の５割以下に減らして栽培された農産物をいう。

（生産面積の推移）　（単位：ａ）

種　　別	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
米	7,252	6,681	6,320	5,480	7,685
麦	103	23	49	0	0
大豆	227	0	58	14	0
野菜	35	15	0	0	0

2　環境保全型農業推進事業補助金…補助金額 70,000 円

市内の園芸農業者で組織する団体による、環境に配慮した害虫の共同駆除により、害虫発生の抑制が図られた。　（単位：円）

事　業　主　体	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
加須市園芸組合連合会	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000

3　環境保全型農業直接支援対策事業

地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者の組織する団体に対して、当該営農活動の実施に対する支援を行い、農業分野の有する環境保全機能を発揮させた。

（取組実績）

区　分	令和元年度
団体構成員数	13 人
取組作物・面積	・有機農業による水稲　473ａ　・緑肥の取組による水稲　333ａ ・有機農業による野菜類　90ａ　・有機農業による大豆　102ａ ・有機農業による小麦　11ａ　・有機農業によるそば　0ａ ・リビングマルチ　5ａ　合計　1,014ａ
交付額	809,700 円

4　農業用廃プラスチック処理運営協議会補助金

使用済み農業用プラスチック（廃プラ）を適正に処理するため、この収集処理を行う団体に対し、補助金（処理費用の一部）を交付した。この取組により野外での廃プラ焼却（野焼き）や不法投棄等に歯止めをかけ、更にリサイクルを推進し、廃プラの適正処理が図られた。

(1) 塩化ビニール…補助金額 1,274,890 円　（単位：kg）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
処　理　量	19,510	24,920	20,250	16,400	23,510

(2) ポリエチレン…補助金額 3,086,990 円　（単位：kg）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
処　理　量	60,010	61,760	58,370	58,550	56,710

事 業 名	農産物ブランド育成事業			（総合戦略）
担 当 課	農業振興課		総合振興計画コード	5111-07
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	9,401,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	10,399,428 円
目	03	農業振興費	決 算 額	10,115,327 円
事業の目的	加須市農産物のブランド化を進め、付加価値の高い「売れる農産物」づくりに資する。	事業の概要	・市として農産物の共通ブランドを確立させ、市産品のさらなる振興を図るとともに、農産物を使用した加工品の開発の検討を行う。	

事業の実績・成果

1　そば、いちじくの産地としての定着、ブランド化を推進するため生産者へ支援を行った。

・そば産地づくり推進支援事業（種子代相当額の一部を助成）

作付け拡大支援事業

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
助成農家数（件）	7	5	6	4	2
拡大面積　（㎡）	67,383	62,201	86,086	43,890	6,385
交付金（円）	235,838	217,702	301,299	153,613	22,347

生産継続支援事業

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
助成農家数（件）	5	5	1	20	21
対象面積　（㎡）	55,064	73,454	46,390	233,739	284,773
交付金（円）	943,304	244,773	162,365	706,448	973,861

・いちじく作付拡大対策事業（いちじくの苗木（挿木）購入費の一部を支援）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
助成農家数（件）	11	4	4	4	3
苗木購入数量（本）	535	140	130	170	205
市補助金（円）	86,670	22,080	24,570	32,130	39,461

2　北川辺こしひかりの更なる知名度アップのために商標シール、のぼり旗によりＰＲを行った。

・ロゴシール頒布実績

サイズ（規格）	平成 29 年度			平成 30 年度			令和元年度		
	枚数（枚）	金額（円）	購入者数（人）	枚数（枚）	金額（円）	購入者数（人）	枚数（枚）	金額（円）	購入者数（人）
大（12.5㎝×10㎝）5 円／枚	1,550	7,750	8	1,040	5,200	6	1,550	7,750	7
小（6㎝×4㎝）3 円／枚	1,700	5,100	12	2,360	7,080	10	3,125	9,375	12
合　計	3,250	12,850	20	3,400	12,280	16	4,675	17,125	19

3　良質な農産物の生産技術の研究や新たな加工品づくりに取り組む団体へ支援を行い、ブランド育成に努めた。

（単位:円）

事業主体	事業内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加須市騎西稲作経営研究会	現地検討会、坪刈りの実施、秋の収穫祭品評会出品	38,000	38,000	38,000
北川辺米の会	地域内水稲の現地検討会及び適期刈取指導会の開催、食味求評会	38,000	38,000	38,000
北川辺農産物加工研究会	研修会、栽培研究、加工実習、産業祭参加	38,000	38,000	38,000
農業創生センター加工部会	例月売り出し（10回）、道の駅創業祭・市民まつり、渡良瀬遊水地まつり、ミュージックフェスタに出店、先進地視察研修会の実施	30,000	30,000	30,000

4　転作麦作付けの拡大と定着化に係る助成

生産調整実施者の転作麦作付けの拡大と定着化を図るため、カントリーエレベーターの利用に係る麦の乾燥調製料金の一部（1／3以内）を助成し、土地利用型作物としての転作麦の作付け拡大と定着化を推進した。

【助成農家等の推移】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
助成農家（戸）	91	88	84	80	76
補助金額（円）	7,430,961	6,875,844	7,338,023	7,593,657	8,200,880
麦荷受重量（ｔ）	1,261.4	1,186.4	1,309.1	1,339.8	1,589.8

5　農産物の加須ブランドの認定

市内の優れた農産物等を活用し、市のイメージの向上と地域経済の活性化を目指すための、かぞブランド認定制度において、令和元年１２月１７日に新たに３品目（下記⑱⑲⑳）が認定された。

①北川辺コシヒカリ　②特別栽培米コシヒカリ　③きゅうり（加須市園芸組合）
④きゅうり（加須市騎西園芸組合）　⑤いちごとまと　⑥木甘坊　⑦つるつきいちご
⑧加須市騎西産の茄子　⑨加須産のいちじく　⑩加須市騎西産の梨　⑪香り豚
⑫加須産の胡蝶蘭　⑬加須産のシクラメン　⑭加須市産酒米・五百万石　⑮ねぎ
⑯彩の国 いもぶた　⑰加須市産のカトレア　⑱加須市産酒米・山田錦　⑲福島ぶどう園のぶどう
⑳ストロベリーフィールズナカヤマの苺

事 業 名		加須市ライスセンター管理運営事業		
担 当 課		農業振興課	総合振興計画コード	5111-08
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	12,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	12,000 円
目	03	農業振興費	決 算 額	11,242 円

事業の目的	事業の概要
米の一大産地として穀類の付加価値を高め、地域農産物のブランド化を図る。	ライスセンターの運営 遠赤外線乾燥調製施設 60 石×３基 色彩選別機１基 ６インチもみすり機　１基 温湯消毒器　１基 精米機（移動用）１基 フォークリフト１台

事業の実績・成果

株式会社かぞ農業公社が、指定管理による施設の管理運営を行い、特別栽培米及び一般米の乾燥調製を行った。秋の長雨の影響を受け、利用面積が減少したことなどにより施設利用料が減少した。

指定管理の期間
平成 27 年 8 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日の 5 年 8 ヶ月間

○業務内容
(1) 施設及び設備の管理運営
(2) 穀類の乾燥及び調整
(3) センターの利用の許可
(4) センターの利用料金の徴収

○業務実績

	面積（ ha）	荷受重量（kg）	施設使用料（円）
平成 25 年度	25.92	139,868.9	3,216,970
平成 26 年度	29.88	152,434.7	3,506,000
平成 27 年度	29.74	168,713.7	3,880,414
平成 28 年度	41.45	215,479.2	4,956,020
平成 29 年度	53.94	286,489.2	6,589,252
平成 30 年度	55.71	264,712.5	6,088,386
令和元年度	54.95	234,631.0	5,396,526

事 業 名	新規就農者育成事業			（総合戦略）
担 当 課	農業振興課		総合振興計画コード	5112-01
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	13,345,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	12,698,792 円
目	03	農業振興費	決 算 額	5,021,716 円
事業の目的	今後の加須市の農業の新たな担い手を確保するため、新規就農者の育成を図る。	事業の概要	・研修事業：農業研修生に奨励金を交付 ①研修生　月額30千円(上限3年) ②受入農家　月額20千円（上限3年） ・助成事業：農業用設備等導入費用の一部に補助金を交付（上限1,000千円、1年度限定） ・加須の農業担い手塾の開講：募集人員20名 ・農業次世代人材投資資金の交付（上限1,500千円、5年間）	

事業の実績・成果

1　研修事業

(1) 対象者

市内に住所を有する方で、市内で就農することが確実と見込まれ、年齢が64歳以下の方

(2) 支援内容

次のいずれかの研修を受講した場合、1ヶ月当たり3万円を支給（最長3年間）

① 埼玉県農業大学校が実施する研修

② 市内の農業者、農業生産法人等のもとでの研修

※研修生を受け入れた農業者等（埼玉県農業大学校を除く）に対し、1ヶ月当たり2万円を支給

○ 新規就農者育成数・研修奨励金の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新規対象者数（人）	0	1	2	1	0
新規対象者支給額（円）	0	360,000	720,000	360,000	0
事業継続者数（人）	1	1	0	0	0
事業継続者支給額（円）	360,000	240,000	0	0	0
合　計	1	2	2	1	0
	360,000	600,000	720,000	360,000	0

○ 新規就農者研修受入農家数・謝金の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
研修受入農家数（人）	1	1	0	0	0
受入農家支給額（円）	240,000	160,000	0	0	0

2　助成事業

(1) 対象者

市内に住所を有する方で、次のいずれかの要件に該当する方

① 埼玉県就農計画認定要領に基づく就農計画の認定を受けた方

② 新たな営農類型に変更しようとする方

③ 就農に意欲と熱意があると認められる方

(2) 支援内容

市内で就農するときから5年以内に必要となった農業用設備又は農業用機械を取得する場合、費用の2分の1以内の額（上限100万円、1年度限り）を助成

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新規対象者数（人）	1	2	1	0	2
新規対象者補助金額（円）	1,000,000	2,000,000	1,000,000	0	2,000,000

3　農業次世代人材投資資金（平成28年度は青年就農給付金）

(1) 対象者

農業経営者となることについて強い意欲を有している45歳未満の独立・自営就農する方

(2) 支援内容

農業経営開始から経営が安定するまで（最長5年間）、最大資金150万円を交付

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
給付対象者数（人）	1	1	3	2
給付金額（円）	1,500,000	1,500,000	2,331,058	2,000,000

4　就農支援のための市民農業塾の開講

市民農業塾「加須の農業担い手塾」を開講し、新規就農者や定年帰農者等に対する就農支援を行った。

7月から3月までの全15回の日程で、野菜栽培、農産物加工、販売等を研修し、農業の基礎知識及び機械操作などを習得することにより、就農への機会づくりを図った。

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第15回は中止とした。

	平成27年度（第1期）	平成28年度（第2期）	平成29年度（第3期）	平成30年度（第4期）	令和元年度（第5期）
受講者数（人）	16	12	17	7	8

事業名	担い手育成支援事業			
担当課	農業振興課		総合振興計画コード	5112-02
款	06	農林水産業費	当初予算額	3,499,000円
項	01	農業費	最終予算額	8,544,000円
目	03	農業振興費	決算額	7,004,289円
事業の目的	認定農業者等の担い手の育成及び確保を図り、優れた農業経営体の構築に資する。		事業の概要	・認定農業者の確保・育成に努めるとともに、担い手組織活性化のための支援を行う。 ・制度資金活用に係る利子補給・利子助成を行い、経営支援を行う。 近代化資金 1%以内 農業経営基盤強化資金（スーパーＬ） 0.5%以内

事業の実績・成果

1　市内農業者で組織する担い手関連団体の運営や各種事業に対して補助し、農業の振興を図った。

（単位:円）

事業主体	事業内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ヤング農マンKAZO	市民まつり、まちなか賑わいフェスティバル参加、視察研修実施、定例会の開催（毎月）	30,000	30,000	30,000
加須市農村女性組織連合会	農業まつり参加、研修会	50,000	50,000	50,000
加須市若手農業女性生活研究会	農業まつり参加、研修会、手芸講座(新聞紙で作るエコバッグ)	40,000	40,000	40,000
加須市北川辺４Ｈクラブ	各種イベント参加、他団体交流会、餅つき体験事業（幼稚園児対象）	112,000	44,000	44,000
大利根農業青年会議所	商工夏祭り・市民まつり参加、各研修会等参加	30,000	30,000	30,000
童謡のふる里おおとね主穀作受託協議会	特別栽培米栽培・販売、勉強会、受託農地・作業の利用調整会議	50,000	50,000	50,000

2　担い手農家の経営改善及び集落営農の組織化・法人化等、担い手の育成・確保のための推進及び支援を行った。

・認定農業者数　（各年度3月31日現在）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
認定農業者数（経営体）	272	268	262	269	270

・新規認定農業者数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新規認定数（経営体）	33	15	6	15	11

・集落営農組織・法人化の状況

集落営農組織　7　（内　農事組合法人 2、法人１）　　令和元年度末現在

農事組合法人　馬内大型農機集団	（農業法人）平成 18 年 10 月設立
農事組合法人　学頭営農	（農業法人）平成 18 年 8 月設立
深沼営農組合	－
株式会社たがや農産	（株式会社）平成 23 年 9 月設立
大曽営農組合	－
駒場営農集団	－
柳生新田・三軒営農集団	－

3　農業近代化資金利子補給金・農業経営基盤強化資金利子助成金　1,665,979 円

農業近代化資金と農業経営基盤強化資金の借入者に対し利子補給・利子助成を行い、もって農業者等の資本整備の高度化を図り、農業経営の近代化に努めた。

・農業近代化資金借入に対する利子補給実績

1,529,798円（上期 53 件 780,003 円、下期 52 件 749,795 円）

・農業経営基盤強化資金借入に対する利子助成実績

136,181 円（上期 7 件 73,608 円、下期 4 件 62,573 円）

4　融資主体補助型強い農業・担い手づくり総合支援事業補助金　5,045,000円

地域の担い手が融資を受け、農業用機械・施設等を導入する際、融資残について補助金を交付することにより主体的な経営展開を支援した。

（対象地区・内容）

地　区　名	整備内容	補助額	事業費
加須地域第2地区	ハイベルコン　1基 乾燥機　1基 籾摺機　1台 乗用管理機　1台 ハロー　2台 畦塗り機　1台 トラクター　1台 ロータリー　1台	5,045,000円	18,506,205円

事業名	農作物災害対策事業			
担当課	農業振興課		総合振興計画コード	5112-03
款	06	農林水産業費	当初予算額	2,020,000円
項	01	農業費	最終予算額	7,020,000円
目	03	農業振興費	決算額	4,371,800円
事業の目的	天災による災害によって損失を受けた農業者に対し、被害農作物の回復等に要する補助措置及び農業経営に必要な資金の貸し付けを円滑にする措置を構ずることにより、農業経営の安定を図ることを目的とする。	事業の概要	被害状況を勘案し、病害虫の防除用農薬購入費や樹勢・草勢の回復用肥料購入費等の助成を行う。 また、災害復旧に必要な資金の貸付を円滑にするため、農業災害資金融資に係る利子の補給を行う。	

事業の実績・成果

1　負担金

農業災害補償法に基づく埼玉県農業共済組合に対し、区域市町で事務費負担金を負担した。

農業共済事業事務費負担金　2,020,000円

2　収入保険制度の周知支援

平成31年1月から始まった収入保険制度について、ポスター掲示や市のホームページで周知を行った。

3　令和元年東日本台風（台風第19号）により用排水路等に堆積した稲わらの撤去支援

令和元年東日本台風（台風第19号）により、広範囲に浸水が起こり、膨大な量の稲わらが散乱・体積し、用排水路等から稲わらを撤去し、営農再開に適切な環境を確保した。

農作物災害対策　稲わら等処理費　2,351,800円

事業名	農作物災害対策事業【繰越明許】			
担当課	農業振興課		総合振興計画コード	5112-03
款	06	農林水産業費	当初予算額	6,918,000円
項	01	農業費	最終予算額	6,918,000円
目	03	農業振興費	決算額	1,816,000円
事業の目的	天災による災害によって損失を受けた農業者に対し、被害農作物の回復等に要する補助措置及び農業経営に必要な資金の貸し付けを円滑にする措置を構ずることにより、農業経営の安定を図ることを目的とする。	事業の概要	被害状況を勘案し、病害虫の防除用農薬購入費や樹勢・草勢の回復用肥料購入費等の助成を行う。 また、災害復旧に必要な資金の貸付を円滑にするため、農業災害資金融資に係る利子の補給を行う。	

事業の実績・成果

平成30年台風第24号により被災した農業者に対し、県助成金により農業用生産施設の復旧を支援した。

○被災農業者向け経営体育成支援事業助成金【繰越明許】

・繰越明許額　6,918,000円

・繰越理由　平成30年台風第24号による被災後、市では平成30年12月補正にて予算化し、平成30年度事業として進めてきたが、本事業に係る県助成金が令和元年度へ繰越になったため。

・被災農業者向け経営体育成支援事業助成金　1,816,000円

	加須地域	騎西地域	北川辺地域	大利根地域	計
件数	5件	3件	7件	2件	17件
金額	831,000円	218,000円	581,000円	186,000円	1,816,000円

事 業 名		経営安定・自給力向上事業		
担 当 課		農業振興課	総合振興計画コード	5112-04
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	7,300,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	7,300,000 円
目	03	農業振興費	決 算 額	6,760,000 円
事業の目的	経営所得安定対策等の推進により農業経営の安定を促進するとともに食料自給率の向上に資する。また、農業再生協議会の運営により地域農業の調整役を担う。		事業の概要	農業経営の安定と生産力の確保を図るため、各種交付金等により助成する。

事業の実績・成果

○加須市農業再生協議会の事務局業務

加須市農業再生協議会の運営により、各地域の農業に関する調整を行いながら、経営所得安定対策を普及推進することで、安定的な農業経営体の育成に資した。

また、各地域水田協議会との綿密な調整を図るため、幹事会（2 回）、通常総会、臨時総会を開催し地域農業の調整役を担った。

事 業 名		地産地消推進事業		（総合戦略）
担 当 課		農業振興課	総合振興計画コード	5114-01
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	3,719,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	3,352,900 円
目	03	農業振興費	決 算 額	2,988,780 円
事業の目的	地域農産物の地域内消費を促進し、安全・安心を求める消費者ニーズに対応するとともに、生産者の所得向上を図る。		事業の概要	地元農産物の地域内消費拡大を図るために、直売所への出荷団体の支援、地場産小麦の地域内流通推進等、地産地消の啓発を行う。

事業の実績・成果

1　学校給食への地元農産物の提供

（提供実績の推移）　（単位：kg）

品　目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
じゃがいも	1,074	1,553	704	1,403	1,764
たまねぎ	3,458	3,989	5,895	4,972	6,237
ねぎ	2,628	1,736	1,409	2,151	3,179
だいこん	2,142	1,461	1,298	2,971	1,407
きゅうり	1,555	3,464	4,196	3,407	3,718

2　加須産小麦「あやひかり」の粉を手打ちうどんや和洋菓子等の地元加工食品へ供給し、地場産農産物の地域内利用率の向上を図った。　1,482,516 円

(1) あやひかり供給実績（6,475 kg）

① 手打うどん（3,525 kg）…（手打うどん会 5 店舗）手打うどん販売

② 和洋菓子（625 kg）…（和洋菓子 5 店）いがまんじゅう等販売

③ その他（2,325 kg）… 製麺所、直売所販売、イベント販売等

(2) 地産地消推進事業補助金

・あやひかり加工業者に対する補助金による支援　…253,000 円

3　地産地消アンテナショップの出店　　出店料10,000円、消耗品費（景品代）18,550円

農業に対する関心を高めるとともに、未来館直売所のＰＲを行うため、中心市街地内のイベントにおいて、加須市グリーン・ツーリズム振興組合（未来館直売所）や市内農業者が出店し、新鮮・安全な農産物を提供した。

・加須駅通り商店会ナイトバザール　6月28日（3団体出店）、9月28日（3団体出店）

4　農産物直売農家めぐり　　21,846円

消費者（市民等）に対し、直売農家・直売所を周知・ＰＲするため、市のバスを使用して農産物直売農家めぐりを開催した。

〇開催日　8月28日（水）　参加者数22名　直売農家等6軒、直売所1ヶ所
　　2月21日（金）　参加者数23名　直売農家等5軒、直売所3ヶ所

5　農産物直売所の活性化のための取組

(1) 市内農産物直売所の支援

市内農産物直売所に対し、補助金による支援を行った。

（単位：円）

事　業　団　体	市補助金
加須農産物直売所協議会	50,000
騎西農産物直売所利用組合	50,000
道の駅きたかわべ物産販売施設農産物直売所出荷組合	50,000
ＪＡほくさい北川辺農産物直売部会	50,000
童謡のふる里おおとね農業創生センター生産者部会	50,000
加須市グリーン・ツーリズム振興組合	650,000

(2) 農産物直売所生産者組織支援補助金

農産物直売所生産者組織に対し、農産物直売所活性化計画に基づく支援を行った。

（単位：円）

事　業　団　体	事 業 内 容	事業費	市補助金
童謡のふる里おおとね農業創生センター生産者部会	出荷時期の延伸と年間安定生産・出荷のための「雨よけパイプハウス」を導入	1,242,000	300,000

事 業 名		道の駅きたかわべ物産販売施設管理運営事業		（総合戦略）
担 当 課		農政建設課（北川辺）	総合振興計画コード	5114-02
款	06	農林水産業費	当　初　予　算　額	137,000円
項	01	農業費	最　終　予　算　額	5,271,000円
目	03	農業振興費	決　　算　　額	4,924,163円
事業の目的	地域農産物の販売促進を行い、生産者の所得向上を図るため、地域食文化の継承及び新たな特産品の研究開発等を行うことによる地域産業の振興に努める。		事業の概要	指定管理者による農産物直売施設及びレストラン等の管理運営及び農産物の販売促進と生産者・消費者の交流を目的とした各種イベントを実施する。

事業の実績・成果

物産物直売施設を拠点に、産地ＰＲの一環として四季を感じる新鮮野菜を中心に、生産者と消費者との交流の場を設けることにより、農産物出荷組合の活性化にもつながることができた。

≪指定管理制度の導入≫

・平成31年4月1日より、新たな指定管理者による施設管理となった。

指定管理者　ウム・ヴェルト株式会社

指 定 期 間　平成31年4月から10年間

（1）イベント事業

1回目　令和元年 9月14日（土）～15日（日）　新米フェア
2回目　令和元年11月10日（日）　15周年記念祭
3回目　令和元年11月16日（土）～17日（日）　秋の収穫祭

（2）来客者数　（単位：人）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
153,507	145,413	144,363	141,868	200,983

（3）販売実績　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
農産物直売施設	34,264,408	35,475,153	34,137,822	35,151,829	98,480,445
レストラン	43,940,968	41,144,506	40,179,217	42,076,308	37,927,200
物産施設	―	―	―	―	37,367,850
合　　計	78,205,376	76,619,659	74,317,039	77,228,137	173,775,495

（4）物産施設（旧スポーツ遊学館）　利用状況の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
来館者数（人）	23,858	20,583	19,181	18,894	41,367
自転車(大人)(人)	997	951	935	1,074	1,143
自転車(子供)(人)	124	112	120	121	202
双眼鏡（回）	0	5	1	0	3
会議室（回）	51	40	3	0	―
カヌー（艇）	34	75	65	45	10
ヨット（艇）	0	0	0	0	0
シャワー（回）	85	100	75	94	37

※令和元年度から会議室の貸出しは廃止
※令和元年度から来場者数は、レジ通過者数を記載

（5）その他

「道の駅かぞわたらせ」への来場者の増加に伴い来場者の安全対策を講じるため、市が所管している駐車場に、防護柵を設置した。

○委託名：道の駅かぞわたらせ防護柵設置工事に伴う測量設計業務委託　○委託費：462,000円
○工事名：道の駅かぞわたらせ防護柵設置工事　○工事費：3,850,000円

「道の駅かぞわたらせ」への名称変更に伴い、主要地方道佐野古河線に設置されている案内標識４箇所について、修繕を行った。

○修繕名：道の駅名称変更に伴う県道案内標識修繕　○修繕費：484,000円

事 業 名		童謡のふる里おおとね農業創生センター管理運営事業		
担 当 課		農政建設課（大利根）	総合振興計画コード	5114-03
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	994,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	3,154,000 円
目	03	農業振興費	決 算 額	3,056,225 円
事業の目的	市内で栽培された農作物を活かし、消費者ニーズに応えた付加価値を付けた地元農産物の販売促進し地域農業の振興を図る。	事業の概要	農産物直売室・各種加工室・農村レストラン等を指定管理者（米米倶楽部）が一体的に管理運営し、地元農産物の販売を促進する。	

事業の実績・成果

農村レストラン及び農産物直売所の販売促進のため、生産者と消費者の交流を目的とした各種イベントを実施し、集客を図った。

管理運営事業

（1）イベント事業

- 5/1～5/6　加須市合併 10 周年創業感謝祭
- 7/6～7/7　七夕フェア
- 7/7　道の駅「きつれがわ」のイベントに参加し、加須市のＰＲに努めた。
- 8/11～8/16　お盆フェア
- 8/24　おおとね商工夏まつり 2019 に参加
- 9/8～9/24　新米フェア
- 9/20～9/26　お彼岸フェア
- 11/3　大利根ミュージックフェスタに参加
- 11/10　第９回おおとね市民まつりに参加
- 12/28～12/31　年末感謝セール（黒米おこわのプレゼント）
- 1/13　もち米、黒米のＰＲイベント
- 3/20～3/22　加須市民の日記念事業 農業創生センター春野菜フェア
  （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

（2）来客者数（5 月 1 日～4 月 30 日）　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
来客者数	183,947	180,233	179,791	181,407	180,717

※ 直売所はレジ通過客数、レストランは来客数

（3）販売実績（5 月 1 日～4 月 30 日）　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
農村レストラン	31,194,358	31,332,319	33,679,818	36,239,975	41,242,903
農産物直売所 （うち特別栽培米）	239,190,314 (8,965,649)	238,863,513 (8,430,078)	233,653,151 (8,050,616)	229,166,307 (9,077,996)	218,893,263 (7,904,716)

販売実績（補助団体）（5 月 1 日～4 月 30 日）　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
生産者部会	45,871,953	44,101,239	44,406,699	43,338,685	40,342,646
加工部会	11,230,546	9,832,616	9,824,833	10,065,732	10,644,743

事 業 名	加須の農業ＰＲ事業			（総合戦略）
担 当 課	農業振興課		総合振興計画コード	5115-07
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	1,469,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	1,482,880 円
目	03	農業振興費	決 算 額	1,331,049 円
事業の目的	加須市の農業・農産物を市内外に PR することで、消費拡大や生産農家所得の向上を図る。	事業の概要	加須市の農産物の更なる販売促進が図られるよう、PR・広報活動、即売会等を行うとともに、効果的な方法を検討する。 また、メディア取材等に的確な資料を提供する。	

事業の実績・成果

1　各地域農業まつり等への支援

各地域で開催される農業まつり等の運営に対して補助をし、本市農業のＰＲを図った。

（単位：円）

事 業 名	事 業 内 容	事業費	市補助金
加須地域農業まつり	農産物品評会、農産物(野菜・米・豚肉・花き等)直売、農機具展示・相談、バザー等	1,223,792	813,000
騎西農産物収穫祭	農産物品評会、農産物直売、食品展示販売等	717,641	250,000
北川辺ふるさと秋まつり	農産物直売、食品展示販売等	100,000	100,000
童謡のふる里おおとね市民まつり	農産物直売、食品展示販売等	81,174	81,174

2　青空市場の開催

加須市の農産物のＰＲと消費拡大を図ることを目的として、加須地域市民まつりにおいても、青空市場を実施している。

(販売実績の推移)

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
参加団体数	10	10	中止	中止	中止
売上金額(円)	535,970	533,140	中止	中止	中止

3　本庁舎玄関ホールへの花卉・養殖魚等の展示

販売以外においても、加須市の農産物についての理解の醸成を図るため、市本庁舎玄関ホールに加須市産の花卉、養殖魚を展示し、本市農産物のＰＲを図った。

・花　卉　　コチョウラン、ポインセチア等

・養殖魚　　ヒレナガニシキゴイ

4　農産物 PR イベント

こいのぼりフェスティバル（東京スカイツリー)、加須市民平和祭などのイベントにおいても、加須市の農産物の PR と消費拡大を図ることを目的とし、加須産農産物の PR 販売等を実施した。

事業名	多面的機能支援事業		
担当課	農業振興課	総合振興計画コード	5116-07
款 06	農林水産業費	当初予算額	22,268,000円
項 01	農業費	最終予算額	22,268,000円
目 03	農業振興費	決算額	22,243,843円

事業の目的	事業の概要
集落機能の健全化を促進するとともに、農地、水路等の生産環境の適切な保全を図る。	農地の多面的機能の向上を図るため、農地・農村環境保全等の共同活動を行う組織に対し、適切な指導・支援を行う。 交付金負担割合（国1/2、県1/4、市1/4） ・加須地域　2団体 ・騎西地域　11団体 ・北川辺地域　18団体 ・大利根地域　1団体 合計　32団体

事業の実績・成果

水路、農道等の維持管理に対する農業経営体への負担を軽減し、農業・農村の多面的機能の適切な発揮と農業経営体への農地集積をより一層促進することを図るために、農地・水保全管理支払制度を改変するかたちで、平成27年度に法制化された。

○認定（活動組織⇔市）認定年度：平成29年度 → 協定終了年度：令和3年度30団体
認定年度：平成27年度 → 協定終了年度：令和元年度 2団体

活動組織名	対象農用地面積（ha）	年度交付金額（円）	年度交付金額内訳（円）		
			国1/2	県1/4	市1/4
大越美土里の会（大越地区）	18.18	818,100	409,050	204,525	204,525
樋遣川ひまわり会（樋遣川地区）	13.63	613,350	306,675	153,337	153,338
種足野通川資源保全ﾈｯﾄﾜｰｸ（種足地区）	57.54	2,589,300	1,294,650	647,325	647,325
内田ケ谷東部資源保全ﾈｯﾄﾜｰｸ（内田ケ谷地区）	26.09	2,073,043	1,036,521	518,260	518,262
鴻茎資源保全ﾈｯﾄﾜｰｸ（鴻茎地区）	41.80	1,978,650	989,325	494,662	494,663
下崎環境保全協議会（下崎地区）	28.69	1,278,570	639,285	319,642	319,643
牛重環境保全協議会（牛重地区）	22.50	1,012,500	506,250	253,125	253,125
芋茎環境保全協議会（芋茎地区）	10.40	468,000	234,000	117,000	117,000
外田ケ谷環境保全協議会（外田ケ谷地区）	12.00	540,000	270,000	135,000	135,000
道地環境保全協議会（道地地区）	12.00	540,000	270,000	135,000	135,000
日出安環境保全協議会（日出安地区）	11.90	535,500	267,750	133,875	133,875
西郷環境保全協議会（内田ケ谷地区）	2.00	100,000	50,000	25,000	25,000
上崎環境保全協議会（上崎地区）	22.16	1,108,000	554,000	277,000	277,000

伊賀袋区水と緑を守る会	9.20	409,200	204,600	102,300	102,300
飯積区水と緑を守る会	20.60	920,600	460,300	230,150	230,150
麦倉北区水と緑を守る会	12.43	537,430	268,715	134,357	134,358
麦倉中区水と緑を守る会	8.56	383,120	191,560	95,780	95,780
麦倉南区水と緑を守る会	20.60	920,600	460,300	230,150	230,150
元久保区水と緑を守る会	6.61	289,930	144,965	72,482	72,483
柳生南区水と緑を守る会	2.28	100,040	50,020	25,010	25,010
柳生北区水と緑を守る会	7.55	331,110	165,555	82,777	82,778
藤畑区水と緑を守る会	4.55	199,630	99,815	49,907	49,908
小野袋区水と緑を守る会	8.83	394,630	197,315	98,657	98,658
柏戸区水と緑を守る会	11.77	525,970	262,985	131,492	131,493
向古河区水と緑を守る会	20.60	920,600	460,300	230,150	230,150
駒場区水と緑を守る会	8.92	395,160	197,580	98,790	98,790
本郷区水と緑を守る会	6.53	289,370	144,685	72,342	72,343
栄東区水と緑を守る会	9.95	440,870	220,435	110,217	110,218
大曽区水と緑を守る会	12.82	576,900	288,450	144,225	144,225
高野区水と緑を守る会	3.27	147,150	73,575	36,787	36,788
柳生新田区水と緑を守る会	8.91	400,950	200,475	100,237	100,238
佐波農地環境保全協議会	9.09	405,570	202,785	101,392	101,393
合　　計	471.96	22,243,843	11,121,921	5,560,953	5,560,969

活動内容

① 農地維持支払交付金　…14,555,650 円
畦畔・農用地法面・水路等の草刈、側溝の泥上げ、農業用施設の点検等

② 資源向上支払交付金事業（地域資源の質的向上を図る共同活動）　… 6,769,040 円
施設の軽微な補修、地域住民との交流等の普及・啓発活動、植栽等の景観形成、水質・生態系保全活動等

③ 資源向上支払交付金事業（施設の長寿命化を図る活動）　… 919,153 円
老朽化が進む農業用用排水路、農道等の施設の長寿命化のための補修・更新等の活動等

事 業 名		加須未来館グリーンツーリズム推進事業			（総合戦略）
担 当 課		農業振興課		総合振興計画コード	5117-01
款	06	農林水産業費		当 初 予 算 額	1,146,000 円
項	01	農業費		最 終 予 算 額	1,146,000 円
目	03	農業振興費		決 算 額	940,598 円
事業の目的	都市と農村の交流活動を促進し、地域農業の振興と周辺地域の活性化を図る。		事業の概要	加須未来館の施設を利用し、グリーン・ツーリズム推進講座（郷土料理講座、工芸講座）農業体験、ふれあいイベントなどを実施する。	

事業の実績・成果

1　加須未来館でのグリーン・ツーリズム推進事業の実施

加須未来館を拠点として、グリーン・ツーリズム推進事業を展開することにより、都市住民との積極的な交流を図った。

○農業体験講座

事業費：272,000円（管理委託料117,000円、講師等謝金155,000円）

講座内容	回数	参加人数（延べ）
水稲（コシヒカリ）づくり体験	3	163人
さつまいもづくり体験	4	31人
大根づくり体験	3	27人
春じゃがいもづくり体験	3	42人

○ふれあい料理講座

事業費：342,143円（講師等謝金155,000円、賄材料費187,143円）

手作り味噌講座等 11講座　参加人数 198人

○ふれあい工芸講座

事業費：72,783円（講師等謝金40,000円、消耗品費32,783円）

正月飾り講座等　5講座　参加人数 47人

○ グリーン・ツーリズム推進事業（ふれあいイベント）

事業費：232,072円

（協力者謝金157,500円、賄材料費12,186円、消耗品費2,386円、イベント委託料60,000円）

・春のふれあい感謝祭　5月 3日（祝）、 4日（祝）　来場者数 5,012 人
・ラベンダー祭り　6月 22日（土）、 23日（日）　来場者数 2,339 人
・夏休み子ども広場　8月 3日（土）、 4日（日）　来場者数 1,761 人
・秋の収穫感謝祭　11月 16日（土）、 17日（日）　来場者数 1,344 人
・新春子ども広場　1 月 12 日（日）　来場者数 941 人

事 業 名	市民農園管理運営事業			（総合戦略）
担 当 課	農業振興課		総合振興計画コード	5117-02
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	7,607,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	7,607,000 円
目	03	農業振興費	決 算 額	7,326,639 円
事業の目的	都市住民が農村との交流を体験できる事業を広く展開し、農業に対する理解を深める。	事業の概要	・市民農園（加須地域 233 区画、北川辺地域 122 区画）、バーベキューサイト、加工実習室等の管理運営を行う。 ・グリーンファーム加須を活用したうどん・そば打ち講座などを実施する。	

事業の実績・成果

市民農園やバーベキューサイト等を都市住民の方々が利用することにより、食の安全・農業に対する理解が深まったとともに、地域農業者と都市住民の交流の場として十分利活用された。

1　加須地域の市民農園

○市民農園利用状況

市民農園は、農作業や地域農業者との交流を通じて都市住民の方々（農業体験のない市民）に、農業への理解の醸成を図るため整備した施設であり、広く市民に利用されている。

・総区画数 233 区画　50 ㎡区画 …　222 区画（賃貸借料 1 区画当たり年間　8,000 円）
　　80 ㎡区画 …　11 区画（賃貸借料 1 区画当たり年間　12,800 円）

（市民農園利用区画数の推移）　（単位：区画）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用区画	233	233	233	232	233

※3 月末現在の貸出利用状況

○加工実習室・情報交換室・研修室利用状況

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用回数	383	393	365	371	419
利用人数(人)	9,665	9,863	8,879	8,791	10,479

○バーベキューサイト利用状況

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用炉数	113	104	91	94	118
利用人数(人)	1,992	1,645	1,718	1,551	1,926

○各種交流講座等の開催

講 座 名	開催回数(回)	参加人数(人)	事 業 費
手打ちそば講座	8	73	委託費 48,000 円、材料費 18,000 円
手打ちうどん講座	5	46	委託費 30,000 円、材料費 10,092 円
手づくり豆腐講座	3	32	委託費 18,000 円、材料費 7,995 円
手づくりこんにゃく講座	4	38	委託費 24,000 円、材料費 5,550 円
栽培講習会	2	30	加須農林振興センター職員等による

○第12回市民農園収穫祭（11月24日（日））　　事業費　33,687円

市民農園利用者が中心となって開催し、利用者が丹精こめて栽培した新鮮な野菜の販売や、季節料理（新米、新そば、焼き芋）、郷土料理（芋煮）などの試食が行われ、約700人が来場した。

○グリーンファーム加須の施設管理

市民農園の管理及び各種講座を開催している、グリーンファーム加須の適正な管理を行った。

（主な経費）　　（単位：円）

経費名	内容	金額
委託料	施設管理補助、施設警備等	2,440,576
賃金	臨時職員賃金	1,875,300
工事・修繕料	空調設備工事、耕耘機修繕等	638,611
土地借上料	市民農園用地借上料	773,109
機器借上料	複合機借上料	37,627
光熱水費	水道、ガス、電気代	684,760

2　北川辺地域の市民農園

○北川辺農園利用状況（総区画数122区画、賃貸借料1区画当たり年間3,000円）

・新古河農園　52区画　35㎡区画…　52区画
・風張農園　22区画　35㎡区画…　22区画
・柳生新田農園　18区画　35㎡区画…　18区画
・土部農園　12区画　35㎡区画…　12区画
・久保山農園　18区画　35㎡区画…　18区画

（北川辺農園利用区画数の推移）　　（単位：区画）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新古河農園	52	52	52	52	50
風張農園	18	16	18	19	19
柳生新田農園	13	13	9	9	9
土部農園	11	11	11	11	11
久保山農園	17	16	18	15	15

※3月末現在の貸出利用状況

○土地借上料　　（単位：円）

経費名	内容	金額
借上料	北川辺農園用地借上料	188,133

事 業 名	ライスパーク管理運営事業				
担 当 課		農政建設課（北川辺）		総合振興計画コード	5117-04
款	06	農林水産業費		当 初 予 算 額	6,477,000 円
項	01	農業費		最 終 予 算 額	6,477,000 円
目	03	農業振興費		決 算 額	6,212,138 円
事業の目的	農とのふれあい促進を図るため、施設の適切な維持管理及び運営により、快適な利用環境を形成する。		事業の概要	管理棟、水塚等各施設の管理運営と利用者への貸出業務を適切に行う。	

事業の実績・成果

農業体験施設としての機能を活用し、各種団体への充実した活動拠点としてサポートし、利用者の支援を行った。

○管理運営の主な内容

・委託（警備、清掃、高木剪定）

○施設利用者の状況 （単位：人）

施 設 名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
ふれあい農園	875	812	632	612	524
農業体験室	91	44	125	213	440
ふれあい広場	1,516	1,446	917	537	179
研修室	1,153	1,420	1,121	1,245	1086
料理室・厨房	472	427	387	419	485
情報室	78	53	19	36	0
読書コーナー・ロビー	509	29	18	27	212
その他	3,283	3,674	2,949	2,548	2489
合 計	7,977	7,905	6,168	5,637	5415

事 業 名	ライスパーク農業体験推進事業			（総合戦略）
担 当 課	農政建設課（北川辺）		総合振興計画コード	5117-05
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	533,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	533,000 円
目	03	農業振興費	決 算 額	412,546 円
事業の目的	各種農業体験を通じ、農業者以外の市民等の農業に対する理解を促進するため、農業体験者数の増加を図る。	事業の概要	計画的に農作物の栽培をし、各種農業体験及び加工体験を適切に実施する。	

事業の実績・成果

農村環境を生かした農業体験を通じて、学習機会の提供と昔ながらの体験の中から伝承につなげると共に、農業への理解促進を図った。

○田んぼオーナー制による米作り体験実施（収入額：70,000 円）
オーナー区画数　15 区画（1 区画 50 ㎡）（一般 11 区画、ふるさと納税 3 区画、北川辺幼稚園 1 区画）
参加費（年額）　1 区画 5,000 円
体験開催日　田植え体験　令和元年 5 月 5 日（北川辺幼稚園：5 月 8 日）
稲刈り体験　令和元年 9 月 7 日（北川辺幼稚園：9 月 4 日）
脱穀体験　令和元年 9 月 20 日

○サツマイモ掘り体験実施（収入額：24,100 円）
実施期間　令和元年 10 月 11 日～12 月 13 日
参加者数　158 人

○そば打ち講座開催（収入額：20,000 円）
【1 回目】
開 催 日　令和元年 12 月 7 日　参加者数　10 人（10 組）　参 加 費　1,000 円/組
【2 回目】
開 催 日　令和 2 年 2 月 16 日　参加者数　13 人（10 組）　参 加 費　1,000 円/組
【3 回目】
令和 2 年 3 月 8 日開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○まんじゅう作り講座開催（収入額：7,500 円）
開 催 日　令和元年 11 月 10 日　参加者数　16 人（15 組）　参 加 費　1 組 500 円

事 業 名		道の駅おおとね簡易パーキング維持管理事業		
担 当 課		農政建設課（大利根）	総合振興計画コード	5211-13
款	06	農林水産業費	当　初　予　算　額	2,244,000 円
項	01	農業費	最　終　予　算　額	2,244,000 円
目	03	農業振興費	決　　算　　額	2,243,694 円
事業の目的	観光資源でもある道の駅のイメージアップに努める。	事業の概要	屋外トイレの清掃と周辺のゴミ等の片付け作業を実施する。	

事業の実績・成果

道の駅「童謡のふる里おおとね」に設置されたトイレ、休憩所、駐車場及び外周広場等の清掃を定期的に実施し、常に清潔で衛生的な状態を保つことができた。

○実施内容(シルバー人材センター)
トイレ、休憩所、周辺清掃　毎日実施
休憩所窓清掃　月１回実施
周辺除草　年１０回実施(繁茂期)
ゴミ運搬処理

○対象施設の内訳
①　簡易パーキング面積：9,000 ㎡
②　トイレ面積：81.00 ㎡
　男子用（和式便器１・洋式便器１・小便器６・手洗い設備３・おむつ交換台１）
　女子用（和式便器４・洋式便器３・手洗い設備３・おむつ交換台１）
　身体障碍者用（洋式便器１・手洗い設備１）
③　休憩所面積：94.50 ㎡

事 業 名		畜産振興事業		
担 当 課		農業振興課	総合振興計画コード	5111-05
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	2,937,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	2,937,000 円
目	04	畜産業費	決 算 額	2,667,934 円
事業の目的	家畜伝染病の予防等に取組む関係団体の活動を支援し、畜産経営の安定・振興を図る。		事業の概要	畜産経営の安定及び振興を図るため、畜産農家で組織する団体の活動費助成及び活動支援を行う。また、家畜伝染病自衛防疫協議会を畜産農家、ＪＡ、獣医師、市で組織し、家畜伝染病予防法に基づく予防や自衛防疫事業、畜舎病害虫発生防除対策事業を実施する。

事業の実績・成果

1　畜産振興団体育成強化事業

畜産農家の経営の合理化と安定を図るため、畜産団体の各種活動を支援し、各種活動が円滑に実行された。

・畜産環境保全対策事業の推進

・経営の安定、新技術の導入等に係る研修会の開催等

（単位：円）

事 業 主 体	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
加須市畜産連合会	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000

2　加須市家畜伝染病自衛防疫事業

家畜伝染病の発生と蔓延の防止を徹底するため、家畜伝染病予防法に基づく自衛防疫事業を支援し、ワクチン接種が円滑に実施された。

（単位：円）

事 業 主 体	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
加須市家畜伝染病自衛防疫協議会	1,461,600	1,257,160	1,507,480	1,381,922	1,473,308

3　畜舎害虫発生防除対策事業

畜舎及び堆肥舎から発生する蚊や蝿の防除と悪臭の防止を徹底するため、畜産団体が実施する畜舎害虫防除薬剤を一括購入する事業を支援し、害虫発生防除対策が図られた。

（単位：円）

事 業 主 体	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
加須市家畜伝染病自衛防疫協議会	1,085,000	1,085,000	1,080,000	1,020,642	991,647

事 業 名		北川辺排水機場維持管理事業		
担 当 課		農政建設課（北川辺）	総合振興計画コード	3141-07
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	18,335,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	18,335,000 円
目	05	農地費	決 算 額	16,600,810 円

事業の目的	市民の生命財産を守るため、台風や大雨時の雨水を渡良瀬川に強制的に排水し、冠水被害を軽減する。	事業の概要	・排水機場の運転監視 ・施設の点検・修繕 ・維持管理委託(北川辺領土地改良区)

事業の実績・成果

災害にそなえて、排水機場の機能を十分に発揮できるよう、施設の日常的な保守点検や修繕を実施したことにより、台風や大雨時には排水機場が正常に運転された。

○維持管理の主な内容

・管理委託

排水機場維持管理業務委託（北川辺領土地改良区）

・保守点検委託

排水機場点検業務委託

自家用電気工作物保安管理業務委託

消防設備保守点検業務委託

・修繕

監視制御装置 UPS 蓄電池等交換作業

○主ポンプ稼働日数 （単位：日）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
稼働日数	25	42	36	14	55

○主ポンプ稼働時間 （単位：時間）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
稼働時間	366	329	373	52	478

○主ポンプ排水量 （単位：㎥）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
排水量	7,712,485	8,022,572	8,594,083	565,258	11,220,234

事 業 名		北川辺排水機場大規模修繕事業		
担 当 課		農政建設課（北川辺）	総合振興計画コード	3141-08
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	4,620,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	4,620,000 円
目	05	農地費	決 算 額	4,565,000 円
事業の目的	市民の生命財産を守るため、台風や大雨時の雨水を渡良瀬川に強制的に排水し、冠水被害を軽減する。	事業の概要	年次計画に基づいた排水機場の修繕を実施する。	

事業の実績・成果

平成 24 年度から主要設備の年次計画に基づいた大規模修繕を実施したことで、施設の信頼性を向上させることができた。

○大規模修繕の実施状況　（単位：円）

	修繕内容	修繕費用
平成 24 年度	中央監視制御装置の更新	12,936,000
平成 25 年度	2 号主ポンプ用ディーゼル機関の分解整備及び修繕	9,922,500
平成 26 年度	3 号主ポンプ用ディーゼル機関の分解整備及び修繕	10,152,000
	3 号主ポンプ用ディーゼル機関冷却水温度調節弁修繕	648,000
平成 27 年度	1 号主ポンプ用モーターの分解整備及び修繕	15,660,000
平成 28 年度	1 号主ポンプ精密点検整備及び修繕（電気・機械）	16,470,000
平成 29 年度	2 号主ポンプ精密点検整備及び修繕（電気・機械）	17,820,000
平成 30 年度	3 号主ポンプ精密点検整備及び修繕（電気・機械）	18,306,000
令和元年度	クレーン点検整備及び修繕	4,565,000

＊平成 24 年度は排水機場維持管理事業で実施。

事 業 名		会の川整備支援事業		
担 当 課		治水課	総合振興計画コード	4212-03
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	4,512,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	9,862,000 円
目	05	農地費	決 算 額	9,754,362 円

事業の目的	埼玉県、見沼代用水土地改良区などの関係機関と連携を図り、用排水路としての機能を維持し、街中に貴重なうるおいとふれあいの空間を提供し、地域住民の暮らしの中で安全性、利便性の向上を図る。	事業の概要	会の川沿線整備計画に基づき、護岸整備及び沿線道路整備等を進める。 見沼代用水土地改良区に対し、雑草刈払い等の維持管理費用を一部負担する。 川の国埼玉はつらつプロジェクト地域協議会の設立、運営、護岸改修に係る関係機関との調整、附帯施設の整備。 会の川フェンスの計画的な更新。

事業の実績・成果

会の川において初期に施工された護岸は、昭和40～50年代のもので、老朽化が進み、堤塘土砂の吸出しにより護岸崩落などが生じている。このため、これまで県の水辺再生事業などを活用した整備を継続してきており、護岸改修ほか水辺環境の整備等が県、市によって実施されている。また、市から土地改良区へ、会の川の維持管理費に係る一部負担を行っている。

食糧費
川の国埼玉はつらつプロジェクト　地域協議会　2回開催　4,362円

委託費
会の川フェンス改修設計委託　L=120m　367,200円

工事費
会の川フェンス設置工事　L=120m　4,892,800円
「川の国埼玉はつらつプロジェクト」案内看板設置工事　990,000円

負担金
会の川用悪水路管理費及び修繕工事負担金　3,500,000円
①. 雑草刈払業務　（諏訪堰～葛西用水合流点）　A=25,614㎡
②. 堰管理（一畝歩堰、切所堰、嵯峨堰、肱曲堰）4箇所
③. 仮設単管柵設置（大正橋～昭和橋間）　1箇所
④. 法面雑草除去　1式
⑤. 堤塘補修工事（不動岡地内）　1箇所
⑥. 雨量計設置（嵯峨堰）　1箇所

【川の国埼玉はつらつプロジェクト】
平成29年度から「川の国埼玉はつらつプロジェクト」に会の川が採択され、埼玉県と加須市で事業を開始、会の川の護岸工事に着手した。
○令和元年度事業概要
・県事業（護岸工事）
工事場所：加須市本町、向川岸町地内
工事大要：両岸　延長約110mのブロック護岸工事、植樹工　9本
・市事業（案内看板設置）
工事場所：向川岸町、不動岡一丁目、東栄二丁目
工事大要：案内サイン1基、距離表示サイン2基の設置
・事業を円滑に進めるため、地元自治会、各種団体、関係行政機関による地域協議会を運営し、年に協議会を2回行った。

事 業 名	ほ場等整備推進事業			（総合戦略）
担 当 課	農業振興課		総合振興計画コード	5116-01
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	105,338,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	105,338,000 円
目	05	農地費	決 算 額	104,486,145 円
事業の目的	良好な生産基盤を確保することにより、生産コストの低減を図るとともに、経営規模の拡大を促進する。	事業の概要	ほ場を拡大し、農作業の効率化を支援するため、県営埼玉型ほ場整備事業加須方式を活用した基盤整備を推進する。 また、個人での区画の拡大を支援するため、市単による畦畔除去及びそれに伴う整地等に係る経費の一部を助成する。 このほか、県営ほ場整備事業等への各種負担金を支出する。	

事業の実績・成果

1　ほ場整備事業の推進

・土地改良施設維持管理適正化事業賦課金　864,900 円
（加須地域　第 41 期生　下谷水利組合沖古井、小沢揚水機場ポンプ盤等修繕）
（加須地域　第 43 期生　大利根南部水利組合第 3 揚水機場ポンプ盤等修繕）

・土地改良施設維持管理適正化事業による整備補修工事　4,301,000 円
（加須地域　第 41 期生　下谷水利組合小沢揚水機場）
・埼玉型ほ場整備事業加須方式による基盤整備の推進　85,521,587 円
（戸崎地区、名倉地区、駒場地区、戸室地区、日出安地区）
・埼玉県土地改良事業団体連合会賦課金　284,256 円
（戸崎地区、名倉地区、駒場地区、戸室地区、日出安地区）
・加須土地改良推進協議会負担金　171,100 円

2　農地の畦畔除去・整地に係る助成

・加須市農地集積事業補助金　3,597,760 円

年度	件数（件）	畦畔除去（m）	整地面積（㎡）
平成 27 年度	41	3,361	188,272
平成 28 年度	58	4,143	180,305
平成 29 年度	61	4,140	188,792
平成 30 年度	70	4,131	207,345
令和元年度	58	4,109	195,416

3　農業経営改善事業資金返済補助金

かんがい排水・農道舗装・土地改良事業（平成 5 年度から平成 23 年度）実施のために借入れた農林漁業資金の償還に充てるため、補助金を交付した。

地域名	地　　区	補助団体数	補助金額(円)
騎　西	騎西、田ケ谷、鴻茎	5	8,955,542
合　計		5	8,955,542

事 業 名	土地改良区管理用排水路整備支援事業			（総合戦略）
担 当 課	治水課		総合振興計画コード	5116-04
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	54,873,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	65,859,000 円
目	05	農地費	決 算 額	52,427,854 円
事業の目的	農業用水の安定供給、風水害による農業被害の軽減など、農業経営基盤の安定ため、関係団体と連携して農業用施設の適正な改修、維持管理等のマネジメントを行う。	事業の概要	土地改良区管理水路の機能の維持・向上のための改修事業において、土地改良区へ事業費用を一部負担し、用排水路の整備を支援する。	

事業の実績・成果

県や土地改良区が実施する用排水路整備事業における事業費の一部を負担し、幹線用排水路の整備を支援することにより、溢水被害の防止や農業生産基盤の安定化を推進している。

また、各事業団体へ工事費や維持管理の一部を負担することによって、農業用施設の適切な維持管理が行われた。

【加須地域】

県土地改良事業団体連合会負担金

県営かん排一般型（北川辺）県営農地防災（稲荷木落・稲荷木落２期） 259,814 円

基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金（騎西領、黒沼、笠原沼） 1,286,909 円

利根導水路大規模地震対策事業負担金 1,763,410 円

【騎西地域】

青毛堀用悪水路土地改良区負担金（上青毛南堀） 2,650,000 円

備前堀土地改良区負担金

農地耕作条件改善事業（古笊田落） 2,000,000 円

【大利根地域】

県営農地防災事業（湛水防除）負担金（稲荷木落） 34,467,721 円

羽生領島中領用排水路土地改良区負担金（堤根落・自然排水路） 10,000,000 円

【繰越明許】

県営土地改良事業の実施に係る負担金（稲荷木落） 10,985,790 円

事業名	水路維持管理事業			
担当課	治水課		総合振興計画コード	5116-05
款	06	農林水産業費	当初予算額	31,091,000円
項	01	農業費	最終予算額	31,091,000円
目	05	農地費	決算額	26,581,013円
事業の目的	農業用用排水路の安定供給と環境改善に努め、農業の振興を図る。		事業の概要	農業用用排水路の浚渫について自治協力団体へ費用の1/2(限度額200円/m)を交付（重機運搬費は全額補助） 自治協力団体等へ水路延長などを考慮し、水路維持管理委託料を支給 土地改良区管理用排水路へ維持管理に関する費用の助成 市街化調整区域を流れる市管理水路の維持管理（雑草刈払、浚渫清掃、転落防止柵）

事業の実績・成果

自治協力団体等への市管理用排水路の水路管理委託料及び水路浚渫補助金を交付し、市民との協働による水路維持管理（通水機能及び水路環境の維持）を行った。

水路危険箇所に転落防止柵の修繕を行った。

土地改良区管理水路の維持管理費の一部を負担することにより、治水・利水機能の維持を図った。

自治協力団体等水路管理委託料

加須地域	915,000円
騎西地域	478,313円
大利根地域	393,000円

※北川辺地域については、多面的機能支援事業の農地維持支払交付金を、18の活動組織に交付し水路等の維持管理を実施している。

農業用用排水路水路浚渫補助

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
補助金（円）	864,780	840,000	982,000	685,200	580,600
件数	8	8	10	9	9

土地改良区等負担金

見沼代用水協力協議会負担金	1,361,880円
羽生領島中領用排水路土地改良区負担金	9,754,490円
施設管理強化推進委員会負担金 （利根中央地区幹線水利施設管理事業負担金）	2,148,572円

事 業 名		幹線用排水路改修事業		
担 当 課		治水課	総合振興計画コード	5116-08
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	87,013,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	119,718,000 円
目	05	農地費	決 算 額	102,096,283 円
事業の目的	農業用用排水路改修によって、市街化調整区域の浸水被害の防止と農業用水の安定供給を図る。	事業の概要	幹線用排水路の改修工事、修繕、緊急工事を実施。	

事業の実績・成果

自治協力団体等からの要望箇所を排水路整備事業評価システムにより評価を行い、事業効果の高い幹線用排水路の改修等を実施し、浸水被害の軽減と農業用水の安定供給が図られた。

工事施工場所

加須地域　　馬内地区、南篠崎地区において、水路改修工事を行った。
騎西地域　　鴻茎地区において、水路改修工事を行った。
北川辺地域　　向古河・栄・駒場地区において、水路改修工事を行った。

（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
委託料	2,975,400	4,066,200	2,624,400	5,394,600	6,401,880

（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
工事費	47,589,120	31,190,400	22,263,400	143,676,120	91,745,500

【繰越明許　令和元年度から令和２年度へ繰り越す理由】

加須地域
工事名　：　野々内用排水路改修工事
工事費　：　4,378,000 円
繰越理由：　測量・設計に期間を要したため、令和２年度へ繰越した。

工事名　：　下川面用排水路改修工事
工事費　：　3,707,000 円
繰越理由：　測量・設計に期間を要したため、令和２年度へ繰越した。

事 業 名		幹線用排水路改修事業【繰越明許】		
担 当 課		治水課	総合振興計画コード	5116-08
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	26,100,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	26,100,000 円
目	05	農地費	決 算 額	22,181,640 円
事業の目的	農業用用排水路改修によって、市街化調整区域の浸水被害の防止と農業用水の安定供給を図る。	事業の概要	幹線用排水路の改修工事、修繕、緊急工事を実施。	

事業の実績・成果

【繰越明許　平成30年度から令和元年度へ繰越を行った理由】
自治協力団体等からの要望箇所を排水路整備事業評価システムにより評価を行い、事業効果の高い幹線用排水路の改修等を実施し、浸水被害の軽減と農業用水の安定供給が図られた。

加須地域
工事名　：　往還北用排水路改修工事
工事費　：　5,294,800 円
繰越理由：　工事内容について水路隣接地権者との調整に不測の日数を要し、年度内の工事完了が困難となったため、令和元年度へ繰越した。

工事名　：　野々内用排水路改修工事
工事費　：　3,394,400 円
繰越理由：　工事内容について水路隣接地権者との調整に不測の日数を要し、年度内の工事完了が困難となったため、令和元年度へ繰越した。

大利根地域
工事名　：　19-9 排水路改修工事
工事費　：　13,492,440 円
繰越理由：　国庫補助金の交付決定後（平成30年11月12日）に発注を行ったことにより、水路改修工事に使用する材料の調達に時間を要し、年度内の工事完了が困難となったため、令和元年度へ繰越した。

事 業 名		枝線用排水路改修事業		
担 当 課		治水課	総合振興計画コード	5116-09
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	20,059,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	65,169,000 円
目	05	農地費	決 算 額	44,053,030 円
事業の目的	農業用用排水路改修によって、市街化調整区域の浸水被害の防止と農業用水の安定供給を図る。	事業の概要	枝線用排水路の改修工事、修繕、緊急工事を実施。	

事業の実績・成果

自治協力団体等からの要望箇所を排水路整備事業評価システムにより評価を行い、事業効果の高い枝線用排水路の改修等を実施し、浸水被害の軽減と農業用水の安定供給が図られた。

工事施工場所
加須地域　馬内地区、外野地区、上樋遣川地区において、水路改修工事を行った。
北川辺地域　麦倉地区において、水路改修工事を行った。

（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
委託料	17,355,600	13,774,320	2,111,400	2,580,120	3,143,800

（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
工事費	57,269,160	36,723,760	23,866,920	26,038,800	29,986,400

【繰越明許　令和元年度から令和 2 年度へ繰り越す理由】

加須地域
委託名　：　深沼用排水路改修工事
工事費　：　5,705,000 円
繰越理由：　測量・設計に期間を要したため。、令和 2 年度へ繰越した。

大利根地域
工事名　：　20-198 枝線排水路改修工事
工事費　：　5,508,000 円
物件補償料：3,000,000 円
繰越理由：　支障電柱の移設に不測の日数を要したため。、令和 2 年度へ繰越した。

事 業 名		枝線用排水路改修事業【繰越明許】		
担 当 課		治水課	総合振興計画コード	5116-09
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	7,586,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	7,586,000 円
目	05	農地費	決 算 額	6,447,060 円
事業の目的	農業用用排水路改修によって、市街化調整区域の浸水被害の防止と農業用水の安定供給を図る。	事業の概要	枝線用排水路の改修工事、修繕、緊急工事を実施。	

事業の実績・成果

【平成30年度から令和元年度へ繰越を行った理由】
自治協力団体等からの要望箇所を排水路整備事業評価システムにより評価を行い、事業効果の高い幹線用排水路の改修等を実施し、浸水被害の軽減と農業用水の安定供給が図られた。

加須地域
委託名　：　西浦用排水路改修事業測量設計委託
委託費　：　2,970,000 円
繰越理由：　12 月補正予算で契約後の委託履行期間がとれないため、令和元年度へ繰越した。

工事名　：　水路改修工事（常泉地内外５箇所）
工事費　：　3,477,060 円
繰越理由：　3 月補正予算のため、工事期間がとれないため、令和元年度へ繰越した。

事業名	農地利用集積推進事業			
担当課	農業振興課		総合振興計画コード	5116-10
款	06	農林水産業費	当初予算額	13,741,000円
項	01	農業費	最終予算額	93,692,000円
目	05	農地費	決算額	88,609,647円
事業の目的	耕作できなくなった農地を担い手農家に集積し、効率的かつ安定的な農業経営を実現する。	事業の概要	農地を円滑に担い手に集積していくため、出し手の貸付希望農地を把握し、出し手と担い手農家とのマッチングを行い、担い手農家に農地を集積していく。	

事業の実績・成果

1　農地利用集積円滑化事業

○　農地所有者から依頼を受け、市が担い手農家との交渉を行い、円滑な農地流動化を推進した。
所有者代理事業：市が農地所有者から委任を受けて、所有者に代わり、農地の貸付を行ったもの。
農地売買等事業：市が所有者から農地を借りて、耕作希望者に農地の貸付を行った。

（単位：ａ）

事業名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
所有者代理事業	507	100	138	311	612
農地売買等事業	676	984	7,109	3,921	1,997
計	1,183	1,084	7,247	4,232	2,609

○　賃借料の支払い
市が担い手農家から賃貸料として収入し、所有者に対して賃借料として支出した。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
累計利用権設定面積（ａ）	15,090	13,294	10,784	10,073	8,608
賃借料支払額（円）	8,369,516	8,044,994	5,601,702	6,180,164	3,980,696

※累計利用権設定面積には無償貸借分は含まない。

2　農地中間管理事業
農地中間管理機構（公益社団法人埼玉県農林公社）を活用した担い手への農地の集積及び集約化を推進するため、農地の集積等に協力する地域及び農業者等に対し、機構集積協力金を交付した。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
集積面積（ａ）	18,850	47,407	23,681	22,886	61,542
地域集積協力金（円）	51,913,600	10,960,000	39,366,900	31,960,400	79,292,400
経営転換協力金（円）	1,800,000	2,987,000	744,000	7,800,000	22,500
耕作者集積協力金（円）	4,086,000	1,863,680	2,435,670	1,150,500	－

※令和元年度より耕作者集積協力金は廃止

3　人・農地プランに位置付けられた中心経営体へのマッチング実績

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
出し手農地面積（ａ）	23,089	48,398	27,232	32,976	71,815
マッチング面積（ａ）	10,372	9,480	8,998	13,466	26,402
マッチング率（%）	44.92	19.59	33.04	40.84	36.76

事 業 名		農業集落排水事業特別会計繰出事業		
担 当 課		下水道課	総合振興計画コード	4222-01
款	06	農林水産業費	当 初 予 算 額	501,573,000 円
項	01	農業費	最 終 予 算 額	501,573,000 円
目	06	農業集落排水事業費	決 算 額	501,573,000 円
事業の目的	農村生活環境の改善と農業用排水路の水質保全に寄与する農業集落排水事業の健全かつ円滑な運営を図る。	事業の概要	農業集落排水事業特別会計の収支の均衡を図るため、同会計への繰出金を措置する。	

事業の実績・成果

農業集落排水事業特別会計に繰出すことにより、円滑な事業運営が図られた。

○農業集落排水事業特別会計繰出金の推移 (単位：円)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
加 須 市	475,000,000	488,000,000	476,405,000	459,890,000	501,573,000

事 業 名		商業観光管理事業			
担 当 課		商業観光課		総合振興計画コード	5131-05
款	07	商工費		当 初 予 算 額	1,531,000 円
項	01	商工費		最 終 予 算 額	1,531,000 円
目	01	商工総務費		決 算 額	1,491,026 円
事業の目的	商業観光施策全般に関わる管理事務を適正に行い、地域商業の振興及び観光行政を円滑に遂行する。		事業の概要	課内事務の効率的な管理・運営事務を適正に行う。	

事業の実績・成果

市内商業や産業の振興を図るために要する消耗品類等の事務用品を購入し、円滑な商業観光行政の推進を図った。また、商業振興や観光行政にかかる各種研修会やセミナーへ参加し、業務に必要な専門的知識と情報を習得した。

事 業 名	地域通貨発行による地域福祉サービス支援事業			（総合戦略）
担 当 課	商業観光課		総合振興計画コード	2131-07
款	07	商工費	当 初 予 算 額	1,560,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	1,560,000 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	1,559,840 円
事業の目的	地域の支え合い（共助）や高齢者の生きがいづくりを推進するとともに、高齢者福祉の充実を図る。併せて地域商業の振興を図る。	事業の概要	生活支援を必要とする方をサポートして謝礼として受け取る「絆サポート券(500 円)」を市内で流通させ、地域商業の振興を図る。	

事業の実績・成果

高齢者等の生活支援サービスの充実を図り、元気な高齢者の「生きがいづくり」、「介護予防」、併せて地域商業の振興を図った。また、加須市商工会と連携を図り、広報紙やチラシ等を活用し、おたすけサポーターや利用会員の募集、絆サポート券の利用等についてＰＲを行った。

・総事業費　3,121,591 円（加須市商工会）
・補助金額　1,559,840 円

○ちょこっとおたすけ絆サポート事業の利用状況

	利用会員登録数(人)	サポーター登録数(人)	活動時間数(時間)
平成 27 年度	768	80	3,659
平成 28 年度	835	93	4,752
平成 29 年度	885	91	4,315
平成 30 年度	957	92	4,505
令和元年度	946	86	3,772

（単位：時間）

お手伝いサービスの内容	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
買物代行、犬の散歩代行など	109	237	160	91	95
買物や通院など外出の付き添い、話し相手	2,396	3,246	3,077	3,273	2,778
掃除や洗濯・部屋の模様替えなど	513	486	425	519	386
庭の草むしりや芝刈り・枝の切り落としなど	640	783	653	622	513
その他	1	0	0	0	0
合　計	3,659	4,752	4,315	4,505	3,772

○ちょこっとおたすけ絆サポート券の利用状況

	券販売枚数(枚)	券換金枚数(枚)	取扱店舗数(店舗)
平成 27 年度	14,791	14,230	602
平成 28 年度	27,209	19,263	595
平成 29 年度	25,903	24,097	571
平成 30 年度	25,616	22,792	564
令和元年度	23,736	24,862	596

＊有効期間１年間の発行券を集計。

事 業 名	企業立地促進事業			（総合戦略）
担 当 課	産業雇用課		総合振興計画コード	5121-01
款	07	商工費	当 初 予 算 額	184,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	184,000 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	132,155 円
事業の目的	市内への企業立地を促進することにより、雇用の創出や地域産業の活性化、新たな財源確保を図る。	事業の概要	県や関係機関と連携し、工業団地や民有地物件などへの企業立地を促進するとともに、企業訪問などにより既存立地企業との関係を良好に保ち、継続的な支援を行う。	

事業の実績・成果

県や関係機関と連携し、工場適地への優良企業の立地を促進するとともに、工業の振興を図り、雇用の創出や地域経済の活性化、新たな財源確保に努めた。

1　企業からの相談等（市内工業団地内空き区画及び工場立地適地に関する情報収集など）
・相談件数　27 件

2　企業訪問
市内企業の実態や行政への要望等を把握し、実情に即した商工労働振興施策を展開していく基礎資料とするため、企業訪問を実施した。
・訪問企業数　49 社（工業団地立地企業：3 社　団地以外の企業：46 社）

工業団地名	加須	加須大利根	川口	加須流通	下高柳	むさしの
件　　数	0	0	0	0	0	1
工業団地名	騎西	藤の台	城南	豊野台	団地外の市内企業	市外
件　　数	1	0	1	0	43	3

3　エコ産業団地づくり（産業活性化）サポート
・快適かぞ市民活動への参加誘導（3 工業団地協議会が参加）

4　工業団地内、工業団地外、工場適地への企業立地
・企業立地件数　2 件

事 業 名		住宅改修等需要促進事業		
担 当 課		産業雇用課	総合振興計画コード	5122-02
款	07	商工費	当 初 予 算 額	11,288,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	17,288,000 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	13,283,440 円
事業の目的	市民の消費を促し、市内事業者への工事受注機会を拡大し、工業の振興及び地域経済の活性化を図るとともに居住環境の向上を図る。	事業の概要	市民が市内施工業者により自己所有の居宅等を改修する場合、その工事費用の一部を助成する。 ・対象工事：200 千円以上（税別） ・補助率：工事費用の 5%相当額 ・助成金交付限度額：50 千円	

事業の実績・成果

市民が市内施工業者により自己所有の居宅を改修する場合、その工事費用の一部を助成することにより、市民の消費を促すとともに、市内事業者の工事受注機会の拡大を図った。

また、令和元年東日本台風（台風第 19 号）に伴う居宅改修についても同様の助成をすることで、市民の居住環境の回復を図った。

住宅改修補助の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
補 助 件 数	253	239	326	283	305
補助金額(千円)	9,859	9,366	13,017	11,393	12,225
補助対象金額(千円)	379,352	295,184	462,007	404,687	432,064

事 業 名	中小企業融資支援事業			（総合戦略）
担 当 課	産業雇用課		総合振興計画コード	5122-03
款	07	商工費	当 初 予 算 額	9,123,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	9,123,000 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	3,381,393 円
事業の目的	市内中小企業の育成と経営基盤の安定を図り、もって中小企業の振興に資する。		事業の概要	中小企業者に対し、市が融資あっ旋した資金の保証料助成や利子補給等を行い、負担軽減を図る。 ・保証料補助 支払済みの保証料の全額（上限 30 万円）を補助 ・利子補給 毎年又は完済後の支払利子額の 20%を補給

事業の実績・成果

事業資金等の融資あっせんを行った中小企業者に対し、保証料助成や利子補給を行い、市内中小企業の経営の安定と設備の近代化・事業の拡大等を促進した。

1　中小企業資金利子補給（毎年利子補給分含む）　（単位：件/円）

区　分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
特別小口資金	5 件 348,657	4 件 221,550	3 件 39,371	3 件 28,471	3 件 17,823
事 業 資 金	19 件 248,480	20 件 433,655	16 件 523,625	16 件 564,398	15 件 530,112
不況対策資金	26 件 662,021	34 件 1,048,624	29 件 467,457	24 件 569,552	15 件 110,417
起業家育成資金	1 件 15,746	1 件 13,012	1 件 10,202	0 件 －	2 件 8,414
県短期事業資金	3 件 40,330	4 件 50,205	2 件 29,917	3 件 39,444	1 件 14,876
合　計	54 件 1,315,234	63 件 1,767,046	51 件 1,070,572	46 件 1,201,865	36 件 681,642

2　市制度融資保証料補助の推移　（単位：件/円）

区　分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
特別小口資金	0 件 －	1 件 88,000	1 件 110,000	3 件 339,328	0 件 －
事 業 資 金	3 件 560,700	5 件 985,300	13 件 2,733,265	7 件 1,746,450	12 件 2,468,875
不況対策資金	6 件 855,375	2 件 234,300	1 件 295,680	0 件 －	1 件 225,500
起業家育成資金	1 件 11,000	1 件 66,000	0 件 －	0 件 －	0 件 －
合　　計	10 件 1,427,075	9 件 1,373,600	15 件 3,138,945	10 件 2,085,778	13 件 2,694,375

3　代位弁済補填の推移　（単位：件/円）

区　分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
補填金額	2 件 539,766	0 件 －	0 件 －	0 件 －	0 件 －

事 業 名		事業資金融資あっ旋事業		（総合戦略）
担 当 課		産業雇用課	総合振興計画コード	5122-04
款	07	商工費	当 初 予 算 額	170,000,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	170,000,000 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	42,489,000 円

事業の目的	中小企業者の経営安定化と事業発展を促進することにより、雇用の創出や地域産業の活性化を図る。	事業の概要	市内中小企業者に対し、運転資金、設備資金などの事業に必要な資金の融資あっ旋を行う。（預託事業） 融資限度額 ・特別小口資金　2,000 万円 ・事業資金　2,000 万円 ・不況対策資金　2,000 万円

事業の実績・成果

市内中小企業者に対し、必要な事業資金（特別小口資金、事業資金、不況対策資金）の融資あっ旋を行い、経営の安定と設備の近代化・事業の拡大等を促進した。

1　預託内容等　（単位：件/円）

令和元年度 預託金額		令和元年度末 融資残額
特別小口資金	1,508,000	6 件 15,388,000
事 業 資 金	23,007,000	49 件 269,982,500
不況対策資金	17,974,000	18 件 63,669,900
合　計	42,489,000	73 件 349,040,400

2　融資実行の状況（融資実行件数、金額の推移）　（単位：件/円）

区　分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
特別小口資金	0 件 ―	1 件 4,000,000	1 件 5,000,000	3 件 10,390,000	0 件 -
事 業 資 金	3 件 29,000,000	5 件 50,000,000	15 件 137,000,000	7 件 95,000,000	13 件 146,700,000
不況対策資金	3 件 30,000,000	2 件 9,000,000	1 件 8,000,000	0 件 ―	1 件 10,000,000
合　計	6 件 59,000,000	8 件 63,000,000	17 件 150,000,000	10 件 105,390,000	14 件 156,700,000

事 業 名		地場産業継承支援事業		（総合戦略）
担 当 課		産業雇用課	総合振興計画コード	5123-02
款	07	商工費	当 初 予 算 額	667,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	667,000 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	160,000 円
事業の目的	地域に根ざした地場産業を振興することにより、雇用の創出や地域産業の活性化を図る。		事業の概要	地場産業や伝統工芸品の経営・技術改善、販路拡大等に取り組んでいる団体の活動を支援するため、補助金を交付する。 また、地場産業や伝統工芸品に関する産業及び製作が存続されるよう、事業継承や後継者育成への支援を行う。

事業の実績・成果

市の地場産業である武州織物工業の発展、活性化を支援するため、地場産業団体に側面から支援し、地場産業団体の振興を図った。

1　加須市商工業団体補助金　（単位：円）

事業主体	事業内容	総事業費	市補助金	自己資金等
加須市鯉幟組合	展示ブース陳列、駅前広場への掲揚、その他宣伝、広告	723,280	70,000	653,280

2　加須市伝統的手工芸品産業奨励補助金　（単位：円）

事業主体	事業内容	総事業費	市補助金	自己資金等
武州織物工業協同組合	ものづくり体験教室（藍染体験）、手づくり教室（藍染実演販売）の開催	104,000	50,000	54,000
石織商店	藍染体験（不動岡小学校、伝統工芸会館）の開催など	379,235	40,000	339,235

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="4">商業振興プラン進行管理事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">商業観光課</td><td>総合振興計画コード</td><td>5131-02</td></tr>
<tr><td>款</td><td>07</td><td colspan="2">商工費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>72,000 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>01</td><td colspan="2">商工費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>72,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>02</td><td colspan="2">商工業振興費</td><td>決 算 額</td><td>53,400 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">加須市商業振興プランに位置付けられた各施策等を展開することにより、本市商業の振興を図る。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">商工会、商店会、商業者及び市民などで構成する加須市商業振興プラン推進会議を開催し、商業振興プランに位置づけられた各施策等の適切な進行管理を行う。
【計画期間】平成 30 年度から令和 4 年度まで</td></tr>
<tr><td colspan="6">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="6">「加須市商業振興プラン」の適切な進行管理を行うために「加須市商業振興プラン推進会議」を設置し、基本方針ごとに具体的な取り組みや事業の進行管理等について検証や意見交換を行った。

令和元年 8 月 29 日　第 1 回加須市商業振興プラン推進会議開催
・第 2 次加須市商業振興プランの評価について

〇委員 22 名、うち 18 名出席</td></tr>
</table>

事業名	商店街共同施設支援事業			
担当課	商業観光課		総合振興計画コード	5131-03
款	07	商工費	当初予算額	2,976,000円
項	01	商工費	最終予算額	2,976,000円
目	02	商工業振興費	決算額	2,063,316円
事業の目的	商店街の近代化及び美化を促進し、商店街の振興や活性化を図る。	事業の概要	商店街等が所有している街路灯の維持管理費用や新設に係る費用の一部を助成する。 また、商店街等が所有している街路灯の電灯料の一部を助成する。	

事業の実績・成果

商店街の近代化や美化を促進し、商店街の振興を図るため、商業団体が共同で設置した街路灯等の維持管理を側面から支援し、安心・安全なまちづくり及び商店街の環境整備を促進した。

1　街路灯電灯料補助の推移

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
団体数	17	17	16	17	17
街路灯基数	844	827	763	860	843
（ＬＥＤ基数）	(385)	(380)	(375)	(470)	(526)
補助基数	784	768	707	799	767
補助金額（円）	1,411,200	1,382,400	1,272,600	1,438,200	1,380,600

※街路灯基数の欄は、平成27年度から平成28年度までは実街路灯総数、平成29年度から令和元年度までは街路灯稼働基数
※補助金額は、1基につき年間1,800円

2　街路灯補修補助の推移

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
団体数	2	0	0	0	2
基数	59	0	0	0	137
補助金額（円）	74,358	0	0	0	682,716

※工事費査定額の15パーセント以内の額
※基数はＬＥＤ化を含む

事 業 名	個店魅力アップ促進事業			（総合戦略）
担 当 課	商業観光課		総合振興計画コード	5131-04
款	07	商工費	当　初　予　算　額	1,532,000 円
項	01	商工費	最　終　予　算　額	1,532,000 円
目	02	商工業振興費	決　　算　　額	1,439,225 円
事業の目的	元気でがんばる商店を支援し、地域商業の振興を図る。	事業の概要	地域商店の良さを知っていただく「加須の逸品カタログ」の作成支援や、かぞまちばるの開催を支援することなどにより、商店街や地域商店の魅力アップを図る。 また、販路拡大の機会の提供として、市外で行われる物産展等への出店に対する支援を行う。	

事業の実績・成果

1　一店逸品事業（補助金交付額　750,000 円）

市内のこだわりのお店や加須の逸品を紹介する第 12 弾カタログ「ＫＡＺＯＦＡＮ（かぞファン）」の作成を支援することにより、個店の良さや魅力のＰＲを図った。

ＫＡＺＯＦＡＮ（加須の逸品カタログ）参加店舗数

（単位：店舗）

	参加店舗数	備　　考
平成 27 年度	95	加須地域　70、騎西地域　9 北川辺地域 3、大利根地域 13
平成 28 年度	124	加須地域　98、騎西地域　11 北川辺地域 3、大利根地域 12
平成 29 年度	134	加須地域 107、騎西地域 12 北川辺地域 4、大利根地域 11
平成 30 年度	152	加須地域 116、騎西地域 15 北川辺地域 6、大利根地域 15
令和元年度	153	加須地域 117、騎西地域 16 北川辺地域 5、大利根地域 15

第 12 弾「加須の逸品カタログ」

2　まちばる開催事業（補助金交付額　680,000 円）

地域経済の活性化と個店の魅力アップを目的とし、11 月 15 日（金）～30 日（土）に、かぞまちばる実行委員会が開催した「かぞまちばる」を支援した。

・まちばる参加店：48 店舗

・あとばる参加店：79 店舗

＊あとばるは、12 月 1 日（日）～10 日（火）に開催。まちばるで使い切れなかったチケットを、期間中に「あとばる参加店」で金券として利用できるイベント。

・チケット販売数 732 セット（1 セット 2,200 円　※500 円券・700 円券・1,000 円券のセット）

事 業 名	市（いち）の開催促進事業			（総合戦略）
担 当 課	商業観光課		総合振興計画コード	5132-01
款	07	商工費	当 初 予 算 額	228,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	228,000 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	228,000 円
事業の目的	市内商業者の活動を支援し商業の活性化を進めるとともに、商農連携により産業の振興を図る。	事業の概要	商工会等と連携し「マルシェ de 加須」の開催を促進し、商業の振興を図るとともに、同実行委員会が取り組む地産地消・商農連携の取組みを支援する。	

事業の実績・成果

1　「マルシェ de 加須」の定期開催

マルシェ de 加須実行委員会により、市（いち）が定期的に開催され、各会場では地元産の新鮮野菜やグルメなどが提供された。

賑わいの創出が図られたほか、地産地消や農業と商業の連携など、市の特徴をＰＲする場として効果のあるものとなった。

※　令和元年度末現在　会員数　40 人

お花見マルシェ

2　「マルシェ de 加須」開催状況

	開催日	名　　称	出店数（店）	来場者数（人）	売上額（円）
第 1 回	5 月　3 日（祝）	市民平和祭マルシェ（利根川河川敷）	17	2,554	1,395,100
第 2 回	7 月　7 日（日）	七夕マルシェ（市役所本庁舎駐車場）	15	2,082	544,050
第 3 回	8 月 31 日（土）	千方神社マルシェ（千方神社境内）	7	1,160	487,500
第 4 回	9 月 29 日（日）	お月見マルシェ（市役所本庁舎駐車場）	14	1,923	675,850
第 5 回	10 月 6 日（日）	渡良瀬遊水地まつりマルシェ（渡良瀬遊水地芝生サッカーグラウンド）	4	365	172,150
第 6 回	12 月 1 日（日）	こいのぼりマラソンマルシェ（市民体育館駐車場）	9	1,268	600,900
第 7 回	12 月 7 日（土）	キッズタウンフェスタマルシェ（市民体育館駐車場）	4	433	149,000
第 8 回	2 月 2 日（日）	節分マルシェ（市役所本庁舎駐車場）	13	1,124	406,600
合計			83	10,909	4,431,150

《市（いち）の開催状況》

	開催回数（回）	出店数（店）	来場者数（人）	売上額（円）
平成 27 年度	8	109	12,661	4,795,590
平成 28 年度	8	99	13,320	5,374,470
平成 29 年度	8	121	16,513	6,275,550
平成 30 年度	7	86	11,401	4,408,950
令和元年度	8	83	10,909	4,431,150

※開催回数は、雨天による中止を除く

事 業 名	にぎわう商店街推進事業			（総合戦略）
担 当 課	商業観光課		総合振興計画コード	5132-02
款	07	商工費	当 初 予 算 額	2,254,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	2,254,000 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	1,777,000 円
事業の目的	商店街や地域商店の賑わいづくりを促進することにより、地域商業の活性化を図る。	事業の概要	商店街（会）等が独自に取り組む賑わい創出事業の支援をはじめ、商工会や商店街が実施する賑わいづくり事業や中心市街地スタッフ会議等事業を支援することにより、まちなかの賑わい創出を図る。	

事業の実績・成果

1　商店街（会）等が独自に取り組む賑わい創出イベントへの支援

商店街や地域商店に活気や人を呼び込む取組みを促進し、商店街や地域商店の利用促進を図った。

【にぎわう商店街推進事業補助金】

（1）商店街（会）イベント実施状況　（単位：人）

開催日	事業名	事業実施商店街（会）	来場者数
4月　6日（土）	桜見っどナイト	不動岡奉仕会	800
6月 29日（土）	第76回ナイトバザール	加須駅通り商店会	1,000
8月　3日（土）	夕涼みにイカナイト	不動岡奉仕会	800
9月 28日（土）	第77回ナイトバザール	加須駅通り商店会	1,000
12月 3日(火)～ 8日(日)	歳末福引大売出し	加須ぎんざ商店会	900
2月　3日（月）	節分会 福の市	不動岡奉仕会	8,000
		計	12,500

（2）商店街（会）別補助金交付状況　（単位：円）

商店街（会）名	事業費	補助対象経費	補助金額
加須一番街商店会	460,876	441,776	220,000
加須ぎんざ商店会	407,528	116,361	58,000
加須駅通り商店会	1,751,797	1,601,807	631,000
不動岡奉仕会	276,763	209,000	103,000
合　計	2,896,964	2,368,944	1,012,000

4月6日（土）開催
「桜見っどナイト」

2　まちなかの賑わい創出を支援する取組み

加須市商工会や商店街が実施するまちなかの賑わい創出を支援し、地域商業の活性化を図った。

イベント名	事業費	補助金交付額	賑わい創出人数
まちなか賑わいフェスティバル 8月31日（土） 【まちなか賑わい創出事業補助金】	1,014,504円	100,000円	3,300人
中心市街地７商店街共同売出し 10月25日（金）～27日（日） 【まちなか賑わい創出事業補助金】	419,170円	155,000円	1,050人
彩の街騎西スタンプ会事業 ・六彩市　6月 9日(日) ・ありゃりゃーい市　12月 8日(日) ・だるま市　2月 1日(土) ほか 【商店街活性化事業補助金】	1,702,542円	500,000円	15,000人

8月31日（土）開催

「まちなか賑わいフェスティバル」

事 業 名		騎西ルネサンス推進事業			（総合戦略）
担 当 課		地域振興課（騎西）		総合振興計画コード	5132-05
款	07	商工費		当 初 予 算 額	1,140,000 円
項	01	商工費		最 終 予 算 額	1,140,000 円
目	02	商工業振興費		決 算 額	1,095,924 円
924	騎西地域の街なかにぎわいと活気を創出するため、加須市商工会青年部騎西地区や市民活動団体等の支援を行う。		事業の概要	加須市商工会青年部騎西地区が開催している奇彩ハロウィンや市民活動団体等の空き店舗の活用を支援する。	

事業の実績・成果

○加須市騎西地域まちなか賑わいづくり事業

・騎西地域の商店街の活性化及び振興を図るため、市民活動団体「きさいルネサンス“藤”」に対し、商店街等でのイベント（騎西藤まつり、夕涼み会等）開催時に空き店舗や空き地等を活用した、まちなかの賑わいづくりを目的とする「ものづくり通り」を実施するための補助金を交付し、地域に賑わいを創出することができた。

（単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
補助金額	196,500	154,000	224,511	330,924

○「奇彩ハロウィン」開催事業

・地域経済の活性化を図るため、加須市商工会（騎西支所青年部）に対し、「奇彩ハロウィン」を開催するための補助金（765,000 円）を交付し、商店街の魅力向上及び地域の賑わいづくりを行った。

（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
来場者数	8,500	10,000	11,000	11,000	11,000

事 業 名		商工団体振興支援事業		
担 当 課		商業観光課	総合振興計画コード	5133-01
款	07	商工費	当 初 予 算 額	32,704,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	32,704,000 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	32,704,000 円
事業の目的	市内中小企業の振興と経営の安定化を支援するとともに、本市特産品の魅力を市内外にＰＲすることにより、市内商業の振興と活性化を図る。		事業の概要	本市商工業の振興と活性化を図るため、商工団体（商工会、手打うどん会）への支援を行う。

事業の実績・成果

市内中小企業の経営や技術の改善発達、販路拡大を促進するため、市内の商工業団体が実施する各種事業を側面から支援し、市内中小企業の振興と経営の安定化を図った。

商工団体補助事業一覧 （単位：円）

事業主体（事業内容）	総事業費	市補助金	自己資金等
加須市商工会 ・ 経営改善普及事業（小規模事業者を中心とした金融・税務・経営・労務等の相談、指導、研修会等の開催並びに経営発達支援事業、創業塾の実施、経営革新計画の推進、補助金申請支援） ・ 地域総合振興事業 ・ 商業関連事業（マルシェ de 加須、一店逸品事業、歳末セール、空き店舗対策、スタンプ会支援） ・ 工業関連事業（講習会、ビジネス交流会、販路開拓支援、ものづくり研究会（MONO KAZO）の開催等） ・ 建設関連事業（リフォームフェアの開催・絆券交付事業等） ・ サービス業関連事業（まちばる・業種別技術講習会の開催等） ・ 青年部関連事業（人材育成研修会、キッズタウンフェスタ、奇彩ハロウィン等地域振興事業、各地区事業等） ・ 女性部関連事業（地域振興・環境・健康増進、広報誌発行） ・ 地域活性化委員会（まちなか賑わいフェスティバル、職業体験等・おおとね商工夏祭り・北川辺サマーフェスタ） ・ 各地域観光振興事業（加須市民平和祭、藤まつり、各地区夏まつり、銀杏祭、北川辺ふるさと秋まつり、童謡のふる里おおとね市民まつり他） ・ 広報事業（商工会情報発行、年６回） ・ 委員会関連事業（総務、金融、会員増強、機能強化） ・ 絆サポート事業の実施	215,691,830	32,344,000	183,347,830
加須手打うどん会 ・ うどんの日キャンペーン手打ちうどん即売会 ・ 商工まつり、全国ご当地うどんサミット in 熊谷、こいのぼりマラソン大会などへの参加 ・ 加須市民の日協賛事業（共通食事券販売） など	4,597,574	360,000	4,237,574
合 計	220,289,404	32,704,000	187,585,404

補助金交付額の推移 （単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
加須市商工会	32,344,000	32,344,000	32,344,000	32,344,000	32,344,000
加須手打うどん会	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000
合計	32,704,000	32,704,000	32,704,000	32,704,000	32,704,000

事 業 名	創業支援事業			（総合戦略）
担 当 課	産業雇用課		総合振興計画コード	5141-01
款	07	商工費	当 初 予 算 額	4,000,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	4,000,000 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	590,000 円
事業の目的	創業者を支援することにより、次代を担う新たな産業の育成を図る。		事業の概要	創業者に対し、運転資金、設備資金の融資あっ旋を行う。（預託事業） ・融資限度額　1,500 万円 ・市商工会や県創業ベンチャー支援センターと連携し創業者への相談やセミナー開催に向けた支援を行う。 ・ワンストップ相談窓口の周知及びＰＲを積極的に行い、より多くの創業者が利用し、創業への足掛かりとなるよう支援する。

事業の実績・成果

新規で事業を興す起業家または起業して間もない創業者を資金調達面で支援することにより、次代の本市を支える新たな産業の育成を図った。

１　融資制度の周知

広報紙や市のホームページで制度融資のＰＲをするとともに、ポスターや案内チラシを市内金融機関や公共施設等に設置し、制度の周知に努めた。

令和元年度預託金額　590,000 円

令和元年度末融資残額　1,422,000 円（2 件）

融資の相談及び実行件数等の推移

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
融資に関する相談件数	4	3	1	2	1
融資実行件数	0	1	0	0	0
融資実行金額(円)	0	3,000,000	0	0	0

２　創業者への支援

産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」が国（経済産業大臣・総務大臣）から認定（H28.5.20、R 元.6.12 改正）されたことを受け、市と市商工会が連携し、「創業支援ワンストップ相談窓口」を設置し、創業に向けた相談を随時受付ける体制を整備し、創業支援の充実を図った。

創業に関する相談等の推移

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
創業に関する相談件数	2	3	17	2
認定特定創業支援事業による証明発行件数	1	0	2	2

事 業 名	産業チャレンジ支援事業			（総合戦略）
担 当 課	産業雇用課		総合振興計画コード	5141-05
款	07	商工費	当 初 予 算 額	5,001,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	5,001,000 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	943,419 円
事業の目的	農業・商業・工業を問わず市内事業所の経営革新、販路拡大、新規参入などチャレンジする企業を支援することにより地域経済の活性化を促す。	事業の概要	先端産業創出プロジェクトへ参入する事業所や、展示商談会やイベント等へ出展する事業所の負担軽減のため、費用の一部を補助する。 新商品の研究開発費用の助成を行う。 市内で電気工事業を開業するにあたり登録を受け付ける。	

事業の実績・成果

1　加須市展示商談会出展補助金

市内の中小企業の展示商談会に出展する事業所に対して、出展費用の一部を助成することにより、中小企業者の費用負担を軽減し、販路拡大や新規参入などへの企業意欲の高揚を図った。

展示商談会の出展一覧

区　分	場所	出展企業数	補助交付額
燕三条ものづくりメッセ	新潟県三条市	1 社	30,000 円
全国ご当地うどんサミット 2019	埼玉県熊谷市	1 社	92,040 円
産業交流展 2019	東京都江東区	1 社	27,500 円
行幸マルシェ	東京都千代田区	3 社	16,100 円
彩の国ビジネスアリーナ	埼玉県さいたま市	11 社	266,707 円
埼玉県農商工連携フェア	埼玉県さいたま市	1 社	37,235 円
農と食の展示・商談会	埼玉県さいたま市	1 社	33,000 円
めぶき FG ものづくり企業フォーラム	茨城県つくば市	2 社	33,000 円
合　　計		21 社	535,582 円

2　新商品開発事業補助金

市内で、農業・工業・商業を営む方が連携協力して、農産物や特産品を使った新商品の開発・生産・販売をする事業者団体や、農業の 6 次産業化（農産物の生産から加工、販売までを行う）を目指して新たな商品開発に取り組む農業者に対し、補助金交付を行った。

(1)　補助金交付件数　2 件

①研究開発費に対する補助金　2 件

②設備設置費に対する補助金　0 件

(2)　新商品開発事業補助金交付の推移

区　　分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
①研究開発費に対する補助金	1 件 5,946 円	1 件 9,200 円	0 件 －	0 件 －	2 件 384,107 円
②設備設置費に対する補助金	1 件 84,264 円	4 件 670,920 円	1 件 1,000,000 円	1 件 91,812 円	0 件 －
合　　計	2 件 90,210 円	5 件 680,120 円	1 件 1,000,000 円	1 件 91,812 円	2 件 384,107 円

事 業 名	かぞブランド創出事業			（総合戦略）
担 当 課	産業雇用課		総合振興計画コード	5142-01
款	07	商工費	当 初 予 算 額	1,432,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	1,415,116 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	850,837 円
事業の目的	市内の優れた産品や製品、農作物等を「かぞブランド」として認定し、本市の知名度及び産品の付加価値の向上を図り、産業振興及び地域活性化に資する。	事業の概要	かぞブランド認定委員及び公募により選ばれた市民モニターにより①加須らしさ②優位性・独自性③信頼性・安全性④市場性・将来性について審査をし、認定委員会で決定後、市が認定する。	

事業の実績・成果

1　「かぞブランド」認定品を新たに7品認定した。

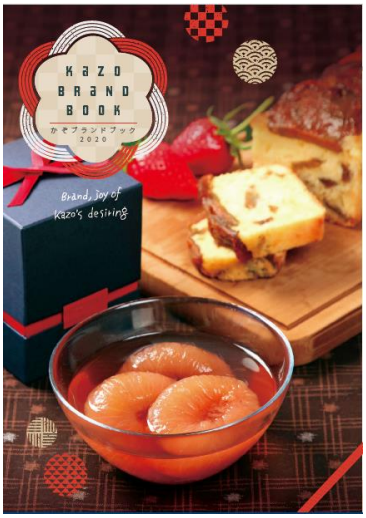
かぞブランド認定品数

区　　分	令和元年度 新規認定品数	合　　計
① 一次産品	3	20
② 加工品	3	20
③ 工芸品	0	6
④ 工業製品	0	5
⑤ 飲食店メニュー	1	5
合　　計	7	56

2　付加価値の向上を図ることができる「かぞブランド」認定シールを13,900枚販売した。

3　イベントでの「かぞブランド」をＰＲする活動として、かぞどんとこい祭り（令和元年7月13日（土）、14日（日））に合わせて、新たに加須市合併10周年記念期間限定ショップを開設した。

4　「かぞブランド」認定品への興味を高めるため、表紙をはじめデザインを一新したパンフレット「かぞブランドブック2020」を作成した。



事 業 名	産業元気ネットかぞ運営事業			（総合戦略）
担 当 課	産業雇用課		総合振興計画コード	5142-06
款	07	商工費	当 初 予 算 額	796,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	812,884 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	812,484 円
事業の目的	地域産業の発展を支援することにより、雇用の創出や地域経済の活性化を図る。	事業の概要	中小事業者や個人商店、直売農家等が簡単に情報発信、情報収集できる産業情報総合サイト「産業元気ネットかぞ」を適正に管理・運営し、利用を促進する。	

事業の実績・成果

市内で事業を営む方が、自由に手軽に情報発信できる場として農工商絆サイト「産業元気ネットかぞ」を管理・運営している。事業所自らが更新するＰＲ情報や従業員募集情報などの掲載、また、市からの関連情報提供などにより、市内事業所を支援し地域経済の活性化を図った。

1　登録事業者数　196 件（令和 2 年 3 月 31 日現在）

業　種	農業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業
件　数	26	34	46	1	3	5
業　種	卸売・小売業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援業	サービス業
件　数	18	1	13	9	4	36

2　年間サイト閲覧件数

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
件　数	98,435	161,323	261,610	253,943	292,314

3　主な掲載情報

・自慢の逸品　　写真付きで商品やサービスを紹介
・耳より情報　　一般（消費者）向けのお得情報など
・求人情報　　市内事業所の人材募集情報
・ビジネス情報　　同業・異業種を問わず、事業者向けの商談情報など
・市からのお知らせ　　産業関連情報やその他の関係情報の提供

4　周知・広報

・市ホームページに関連記事の掲載
・商工会との連携により、商工会ホームページにリンクを設定

事 業 名	スポーツ遊学館管理運営事業			（総合戦略）
担 当 課	地域振興課（北川辺）		総合振興計画コード	5211-11
款	07	商工費	当 初 予 算 額	63,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	63,000 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	12,528 円
事業の目的	市内外の交流人口の拡大を図るため、渡良瀬遊水地の自然とのふれあいを通した環境学習の推進及び来訪者の増加につながるようなサービス向上を図る。	事業の概要	施設の管理運営、レンタサイクル、カヌーの貸出業務を行うとともに、パネル等により来訪者に対する情報発信を行う。	

事業の実績・成果

≪指定管理制度の導入≫
・平成31年4月1日から指定管理者により、道の駅かぞわたらせと一括での施設管理となった。
指定管理者　ウム・ヴェルト株式会社
指 定 期 間　平成31年4月から10年間

事 業 名	道の駅かぞわたらせ簡易パーキング維持管理事業			
担 当 課	農政建設課（北川辺）		総合振興計画コード	5211-12
款	07	商工費	当 初 予 算 額	1,874,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	1,874,000 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	1,828,067 円
事業の目的	物産販売施設や北川辺スポーツ遊学館の利用者の増加を図るため、適正な管理による施設の好感度アップに努める。	事業の概要	埼玉県行田県土整備事務所との管理覚書に基づき、トイレ、休憩所及びパーキング内の清掃を行なうとともに、ゴミの収集・処分を行なう。	

事業の実績・成果

道の駅かぞわたらせに立ち寄った利用者が快適に過ごせるよう、常に清潔で衛生的な状態を保つことで、利用者とのトラブル等もなく管理に努める事ができた。

○維持管理実施内容
清掃員　2人（ウム・ヴェルトへの委託）
時　間　8:00～10:00　　2時間/1日
日　数　365日
内　容　パーキングトイレ・休憩所の清掃、トイレ消耗品交換・補充、ゴミ収集・処分、除草を適宜行った。

○これまでより、多くの駐車スペースを確保し、快適な道の駅となるように、道の駅かぞわたらせ駐車場の改修工事を埼玉県が事業主体となり実施した。（令和2年3月25日完成）
大型車 ： 22台 ⇒ 22台
小型車 ： 48台 ⇒ 68台（＋20台）
※ 土日などの小型車の利用が多い時には、大型車スペースでも小型車が利用できるよう区画線を設置した。最大で小型車合計95台が駐車可能（＋27台）。

事 業 名		企業内人権教育指導者育成事業		
担 当 課		産業雇用課	総合振興計画コード	6211-05
款	07	商工費	当 初 予 算 額	66,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	66,000 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	65,200 円
事業の目的	人権尊重社会を実現するため、市内の企業における人権教育指導者を育成し、企業の社会的責任と自覚を促す。	事業の概要	市内企業の経営者、労務担当者及び職場のリーダー等を対象に年５回の人権問題指導者研修会を生涯学習課、人権・男女共同参画課と共催で開催する。	

事業の実績・成果

人権・同和問題に対する理解と認識を深め、企業の社会的責任と自覚を促すため、人権問題指導者研修会との共催により、企業内人権教育指導者研修会を開催し、企業内における指導者の育成と資質の向上を図った。

1　対象企業

企業の経営者、労務担当者及び職場のリーダー等（ハローページ掲載の個人事業に類する企業を除く市内企業等）

2　企業内人権教育指導者研修会実施内容

期日	開催場所	テーマ	講師	延参加企業数（社）	延参加人数（人）
9/26（木）	パストラルかぞ小ホール	外国人の人権「地域で暮らす外国人」	ふじみの国際交流センター理事長　石井　ナナエ　氏	15 社	15 人
10/3（木）		高齢者の人権「認知症と共に歩む」	公益財団法人認知症の人と家族の会埼玉県支部世話人　高沢　保　氏	9 社	10 人
10/16（水）		同和問題「部落氏に学ぶ人権問題」～差別やいじめと向き合うには～	東日本部落解放研究所事務局長　吉田　勉　氏	14 社	16 人
11/13（水）		人権一般「ハラスメントは許されない人権侵害」～仕事におけるハラスメントの法改正をふまえて～	独立行政法人労働政策研究・研修機構内藤　忍　氏	23 社	28 人
11/20（水）		障がいのある人の人権「聴覚障害を理解する」	映像作家早瀬　憲太郎　氏	15 社	18 人
			合　計	76 社	87 人

3　企業内人権教育指導者研修会の実施状況の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
研修回数　(回)	5	5	5	5	5
対象企業数　(社)	1,271	1,186	1,298	1,255	1,113
延参加企業数　(社)	81	89	59	72	76
延参加人数　(人)	99	93	60	74	87
企業参加率　(%)	6.4	7.5	4.5	5.7	6.8

事 業 名		観光ビジョン進行管理事業		
担 当 課		商業観光課	総合振興計画コード	5211-02
款	07	商工費	当 初 予 算 額	66,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	66,000 円
目	03	観光費	決 算 額	23,400 円
事業の目的	観光の振興を推進するため、観光によるまちおこしを実践するとともに、地域の活性化を図る。		事業の概要	観光によるまちおこしを着実に推進するために、年度毎の進行管理計画（進行管理シート）を作成し、観光ビジョン施策の的確な進行管理に努める。 計画期間：平成 24 年度から令和 3 年度

事業の実績・成果

○進行管理計画書の作成

観光ビジョン推進プログラムに位置づけた、関係各課（機関・団体含む）が取り組んでいる事業について、平成 30 年度実績を取りまとめ、加須市観光ビジョン推進会議を開催し、施策ごとの取組みや進捗状況について検証し意見交換を行った。

令和元年 8 月 23 日　　加須市観光ビジョン推進会議開催

委員 18 名　うち 8 名出席

事 業 名	「うどん」と「こいのぼり」によるまちおこし事業			（総合戦略）
担 当 課	商業観光課		総合振興計画コード	5211-14
款	07	商工費	当 初 予 算 額	598,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	598,000 円
目	03	観光費	決 算 額	526,360 円
事業の目的	加須市の特産品である「うどん」と「こいのぼり」の魅力を全国に発信し、観光による交流人口の増加を図りながら、地域の賑わいと地域経済の活性化を図る。	事業の概要	加須市の特産品である「うどん」をPRするため、「加須うどん」に創意工夫を加えながら、様々な事業を展開して知名度アップを図る。 また、関連機関と連携しながらこいのぼりに関連した事業を展開し、「こいのぼりのまち」としてのＰＲを図る。	

事業の実績・成果

1　うどんによるまちおこし事業内容

加須市の名物であるうどんの魅力を全国に向けて発信し、観光による交流人口の拡大を図るため、各機関における事業展開により観光振興を図った。

主な内容

・「加須市うどんの日　手打ちうどん即売会」の開催

実 施 日　　6 月 25 日（火）
実施場所　　パストラルかぞ正面入口付近
実施内容　　加須手打うどん会による、手打ちうどんの即売会を実施し約 1,000 食を販売した。

・うどんフェスティバルの開催

実 施 日　　10 月 26 日（土）
実施場所　　加須はなさき公園
実施内容　　うどんづくり愛好家等 12 団体が出店し、うどんや特産品等を販売した。

・全国ご当地うどんサミット in 熊谷への出店協力

実施日時　　11 月 16 日（土）、17 日（日）
実施場所　　熊谷スポーツ文化公園
主　　催　　全国ご当地うどんサミット in 熊谷　実行委員会
実施内容　　日本全国のご当地うどんが集まるイベントに、加須市から加須手打うどん会が出店し、加須うどんを販売した。

2　こいのぼりによるまちおこし事業内容

市全体で特産品であるこいのぼりによるまちおこし事業に取り組み、全国に向けた知名度アップと鯉幟産業と連携した観光振興を展開した。

・各公共施設や市外へのこいのぼり掲揚・展示等

掲揚・展示場所　　各地域総合支所、各小中学校、各幼稚園、各保育園、市民体育館、各文化・学習センター、各図書館、道の駅おおとね、道の駅かぞわたらせ、加須駅前、東京スカイツリータウン、下今市駅、とうきょうスカイツリー駅　等

・合併 10 周年記念「コラボレーションこいのぼり事業」の実施

市内運送事業所の協力により車両への「こいのぼり」ラッピング
≪協力事業所≫　㈱盛運　㈲増田総業　加須タクシー㈱　朝日自動車㈱　騎西タクシー㈲

・市内小学校 2 校で「加須のこいのぼり」を活用した学習を実施

平成 28 年 9 月に閉店した手描きこいのぼり製造店「橋本弥喜智商店」で長年勤めた方が講師を務め、橋本商店から寄贈を受けた数々の道具や資料等を使用し実施した。

事業名	観光サイクリング推進事業			(総合戦略)
担当課	商業観光課		総合振興計画コード	5212-03
款	07	商工費	当初予算額	498,000円
項	01	商工費	最終予算額	498,000円
目	03	観光費	決算額	422,198円
事業の目的	観光交流人口の増加を図り、賑わいの創出と地域の活性化を図る。		事業の概要	年間を通して自転車による観光を推進するため、観光レンタサイクルの維持管理や利用促進を図るためＰＲを行う。 また、サイクリング適地としての知名度向上を図るため、自転車を用いたイベントを実施する。

事業の実績・成果

民間企業の企画協力のもと、かぞ観光サイクリングラリー、サイクリングイベントを開催し、サイクリングを通じて、加須市の魅力を発信した。また、新たなレンタサイクルステーションを、花崎コミュニティセンター内に開設し、市内5箇所において観光レンタサイクル事業を展開した。

【かぞ観光レンタサイクルの維持管理・利用促進】

環境に優しい交通手段の提供、交通アクセスの利便性の向上、観光事業の推進及び地域の活性化に寄与することを目的とし、市内5箇所において無料のレンタサイクル貸出事業を実施した。

観光レンタサイクル利用実績 (単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加須市商工会館	608	782	1,027	877	846
花崎コミュニティセンター					95
騎西文化・学習センター	52	37	64	79	39
北川辺総合支所	20	13	10	23	12
道の駅おおとね	14	12	19	10	3
合計	694	844	1,120	989	995

【かぞ観光サイクリングラリー】

・イベント名　『KAZO KOINOBORI Cycling Rally』
・実施期間　令和元年10月1日から令和元年10月27日（約1ケ月間）
・参加者　102人（市内35人、市外67人）
・チェックポイント　市内、渡良瀬遊水地周辺10箇所
・賞品　○加須産特産品詰め合わせ　4,500円分（18名分）
○こいのぼり手ぬぐいセット（赤・青）（10名分）
○参加賞：オリジナルトートバッグ
・企画協力　ブリヂストンサイクル株式会社

【サイクリングイベント】

・イベント名　『KAZO WATARASE FUN RIDE』
・開催日　令和元年10月6日（日）（渡良瀬遊水地まつりと同時開催）
・開催場所　渡良瀬遊水地サッカーグラウンド、渡良瀬遊水地
・来場者数　142人（市内63人、市外78人）
・内容　○渡良瀬遊水地内にオススメコースを3種類設定しマップを配布し、サイクリング適地としてのＰＲ
○オリンピアン、ポタガールとのステージイベントを開催
○かぞ観光サイクリングラリーのＰＲ
○かぞ観光レンタサイクルのＰＲ

事 業 名		観光資源活用事業		（総合戦略）
担 当 課		商業観光課	総合振興計画コード	5213-01
款	07	商工費	当 初 予 算 額	884,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	4,184,000 円
目	03	観光費	決 算 額	3,771,847 円
事業の目的	観光によるまちおこし図るために、観光資源を活用した市のＰＲを推進する。		事業の概要	観光情報を積極的に提供、発信し、観光客を誘致する。 また、まち歩きによる観光を推進し、観光資源の有効活用を図りながら、利根地域北部を中心とした観光ネットワークを整備する。

事業の実績・成果

既存の観光資源を有効活用し、観光客を誘致し交流人口の拡大を図るため、マスメディアや冊子媒体等を通して観光情報を積極的に発信した。

市観光ガイドブック「かぞYou遊」の情報を最新のものとした改訂版を作成した。

また、行田市、羽生市および当該の観光施設の連携を図る「近隣観光施設ネットワーク連絡会議」に参加し、観光ネットワークの整備に努めた。

主な事業内容

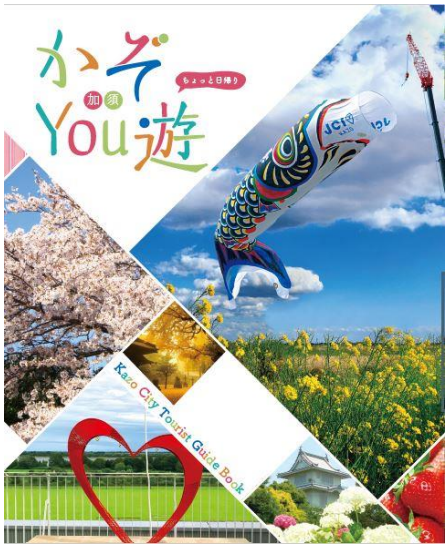
・古河花火大会への協賛

・近隣観光施設ネットワーク連絡会議への参加（年間 12 回）

○観光入込客数の推移　（単位：千人）

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
観光入込客数	2,539.4	2,589.0	2,590.5	2,656.6	2,554.4

（県観光入込客数調査報告）



事 業 名		物産観光協会支援事業		（総合戦略）
担 当 課		商業観光課	総合振興計画コード	5213-06
款	07	商工費	当 初 予 算 額	11,256,000 円
項	01	商工費	最 終 予 算 額	11,256,000 円
目	03	観光費	決 算 額	11,255,400 円
事業の目的	交流人口の増加を図り、賑わいの創出と地域経済の活性化を図る。		事業の概要	加須市物産観光協会の運営を支援する。 【物産観光協会事業計画】 ・物産・観光イベント開催等事業 ・普及事業 ・宣伝ＰＲ・物産振興事業 ・観光拠点地振興事業

事業の実績・成果

加須市物産観光協会が実施した事業について支援を行い、観光客の誘致を図った。
加須市物産観光協会への補助金　11,255,400 円

【主な事業内容】

■観光イベント等開催事業

○観光物産展等への開催、参加、協力

・藤まつり、あじさい祭り、オニバスフェスタ等の開催

・東京スカイツリータウンこいのぼりフェスティバル、板橋農業まつり、西武ライオンズフレンドリーシティ感謝祭、ラグビーワールドカップ熊谷会場市町村ＰＲ等への参加

・東武鉄道・東武トップツアーズと連携し、東武鉄道健康ハイキング、東武鉄道ミステリーツアー、東武鉄道忘年会ツアーへの協力

■普及事業

○観光案内所スタッフによる近隣観光案内所視察研修の実施

○地域の祭行事や伝統芸能への支援

・夏祭り、節分会、だるま市、商工会サマーフェスタ、イルミネーション大作戦、獅子舞、おおとね商工夏まつり、北大桑円満寺千手観世音大祭等

■宣伝事業

○メディア等への情報発信

・テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等のマスコミ等へ情報提供

○観光大使による PR 活動

・新たに 6 名（組）を任命　※令和元年度末の観光大使：99 名(組)

○観光案内所の運営

○ホームページの運営

○市外各所で加須のこいのぼりを展示

○新たな PR 備品の作製（幟旗、市名入りこいのぼり）

■観光拠点地振興事業

○地域に根ざし、交流拠点ともなる歴史ある観光資源の保存

・植木剪定等に係る助成（不動ヶ岡不動尊總願寺、千方神社、玉敷神社）

東京スカイツリータウン
こいのぼりフェスティバル

不動ヶ岡不動尊總願寺
「節分会」

藤まつり

オニバスフェス

事業名	建築物耐震改修促進事業		
担当課	建築開発課	総合振興計画コード	3136-05
款 08	土木費	当初予算額	1,277,000円
項 01	土木管理費	最終予算額	1,277,000円
目 01	土木総務費	決算額	15,265円
事業の目的	地震による建築物の倒壊等の被害から、市民の生命、身体、財産等を保護する。	事業の概要	・建築物耐震改修促進計画の運用等を行う。 ・昭和56年以前の木造住宅の耐震診断及び耐震改修に掛かる費用の一部に補助金を交付し耐震化を促進する。 耐震診断補助額　25,000円×10件 耐震改修補助額　100,000円×10件 ・被災建築物応急危険度判定を実施する仕組み等を整える。

事業の実績・成果

1　地震により建築物が被災した際、余震等による建築物の倒壊等から生じる二次災害を防止するために行う被災建築物応急危険度判定を、迅速かつ適確に実施できるよう連絡体制の強化等を図った。

(1)加須市応急危険度判定士ネットワーク参集連絡訓練の実施　：1回
(加須市応急危険度判定士ネットワーク登録人数：57人)
(2)応急危険度判定実施本部シナリオ演習へ参加　：1回
(3)被災建築物応急危険度判定模擬訓練へ参加　：2回
(4)備蓄判定機材の状況(令和2年3月31日現在)

備品名		備蓄数
登録証ケース	(個)	100
腕章	(個)	110
判定調査票	(枚)	900
判定ステッカー	(枚)	1500
下げ振り	(個)	35
クラックスケール	(個)	35
コンベックス	(個)	15
軍手	(組)	72
バインダー	(個)	92
ガムテープ	(個)	35
マジック	(本)	35
応急危険度判定パンフレット	(冊)	300

2　耐震化の促進を図るために、イベントや広報等で補助制度のPRや耐震相談会を実施し、また市職員による木造住宅の無料簡易耐震診断を行った。

(1)　イベント参加による耐震相談会（総合防災訓練、市民まつり）　：2回
無料簡易耐震診断・耐震改修相談会（加須市役所本庁舎）　：1回
広報誌等によるPR　：4回
(2)　市職員による木造住宅の無料簡易耐震診断　：11件
判定結果別件数　(単位：件)

診断結果	A（安全）	B（概ね安全）	C（やや危険）	D（危険）
件数	3	5	2	1

(3)　既存木造住宅耐震診断・改修補助金の交付（0件）　0円

事 業 名		利根川堤防強化対策配水管布設費支援事業		
担 当 課		水道課	総合振興計画コード	3143-03
款	08	土木費	当 初 予 算 額	1,476,000 円
項	01	土木管理費	最 終 予 算 額	1,476,000 円
目	01	土木総務費	決 算 額	0 円

事業の目的	利根川堤防強化対策事業に伴う家屋移転対象者の経済負担を軽減することにより、同事業の促進を図る。	事業の概要	大越地区及び東・原道地区における堤防強化対策事業の家屋移転対象者に対して、移転先への配水管の布設に要する工事費負担の軽減を図る。 〈事業期間〉 大越地区（平成 23 年度～令和元年度） 東・原道地区（平成 24 年度～令和元年度） 〈負担額〉 100m以内⇒ 5,000 円/m 100m超 ⇒ 15,000 円/m

事業の実績・成果

・令和元年度は、利根川堤防強化対策に係る家屋移転対象者が１名いたが、移転先が配水管布設の必要がなかったため予算執行なし。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
支援件数(件)	0	0	0	0	0
工事延長(m)	0	0	0	0	0
工事費(円)	0	0	0	0	0
一般会計負担金(円)	0	0	0	0	0
水道事業負担金(円)	0	0	0	0	0
個人負担金(円)	0	0	0	0	0

事 業 名		建築営繕事業			
担 当 課		建築開発課		総合振興計画コード	3213-04
款	08	土木費		当 初 予 算 額	1,458,000 円
項	01	土木管理費		最 終 予 算 額	1,458,000 円
目	01	土木総務費		決 算 額	1,346,729 円
事業の目的	公共施設の行政目的を十分に反映し、市民が利用しやすく、安全、快適で高品質な建築物を整備する。		事業の概要	施設所管課から依頼を受けた建築工事、電気設備工事、機械設備工事について、加須市市有施設設計方針に基づき設計を行い、工事監理を行う。	

事業の実績・成果

1　公共建築物の設計に必要となる設計積算資料等及び大型図面複合機の活用を図った。

(1) 設計積算資料 360,480 円

・積算資料、建築施工単価、コスト情報等 185,536 円

・建築工事、電気設備工事、機械設備工事の監理指針等 120,944 円

(2) 大型図面複合機 586,512 円

・大型図面複合機リース料 508,032 円

・大型図面複合機カウンター料 78,480 円

2　次の公共建築物について、設計・工事監理を行った。

(1) 幼稚園及び小中学校普通教室等空調設備整備工事
(2) 幼稚園及び小中学校普通教室等空調設備整備工事設計・監理業務委託
(3) 小中学校特別教室空調設備整備工事設計業務委託
(4) 小中学校特別教室空調設備整備工事（１工区～６工区）監理業務委託
(5) 小中学校特別教室空調設備整備工事（１工区）
(6) 小中学校特別教室空調設備整備工事（２工区）
(7) 小中学校特別教室空調設備整備工事（３工区）
(8) 小中学校特別教室空調設備整備工事（４工区）
(9) 小中学校特別教室空調設備整備工事（５工区）
(10) 小中学校特別教室空調設備整備工事（６工区）
(11) 加須市立騎西中央幼稚園仮設空調設備設置工事
(12) 加須市立騎西中央幼稚園再整備複合化建築工事
(13) 加須市立騎西中央幼稚園再整備複合化電気設備工事
(14) 加須市立騎西中央幼稚園再整備複合化機械設備工事
(15) 加須市立騎西中央幼稚園再整備複合化工事監理等業務委託
(16) 加須市立騎西中央幼稚園再整備旧園舎解体工事及び跡地整備工事
(17) 加須市立樋遣川幼稚園及び大越幼稚園園舎耐震補強工事設計業務委託
(18) 加須市立田ケ谷小学校校舎大規模改造工事設計業務委託

市民が安全に利用しやすいように公共施設の整備（改修工事等）を実施し、標記の目的どおりに完了した。また、設計業務において、加須市らしい建築物の仕様の統一性を高めた施設整備を行うために、『加須市市有施設設計方針』を基準とし、市民のために安全・快適な施設整備を進める計画として完了した。

事業名	特定行政庁等建築行政事業			
担当課	建築開発課		総合振興計画コード	3213-05
款	08	土木費	当初予算額	1,488,000円
項	01	土木管理費	最終予算額	1,488,000円
目	01	土木総務費	決算額	470,960円
事業の目的	建築基準法等により、市民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする。	事業の概要	・建築確認申請の適正な審査と建築パトロールを実施することにより、違反建築物の早期発見を行う。	

事業の実績・成果

1　安全な建築物の普及に努めることを目標に確認申請を適正に審査し、また、確認処理した建築物（民間の指定確認検査機関が処理したものも含む。）について現場パトロールを行い、安全で快適な生活環境を確保した。

(1)　建築確認申請等件数の推移　（単位：件）

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
確認申請	市審査	建築物	30	16	17	12	11
		工作物	1	0	0	3	4
		変更建築物	4	3	2	1	1
		変更工作物	0	0	0	0	0
		小計	35	19	19	16	16
	民間審査	建築物	530	617	618	617	643
		工作物	0	2	2	2	1
		変更建築物	50	26	29	30	16
		変更工作物	0	0	0	0	0
		小計	580	645	649	649	660
	合計		615	664	668	665	676
完了検査	市検査	建築物	23	16	13	18	7
		工作物	0	0	0	0	0
		小計	23	16	13	18	7
	民間検査	建築物	537	515	590	576	629
		工作物	0	1	2	1	1
		小計	537	516	592	577	630
	合計		560	532	605	595	637
長期優良	認定		59	93	94	69	64
	変更		1	6	12	2	3
	合計		60	99	106	71	67

低炭素	認　　定	1	1	1	3	1
	変　　更	0	0	0	0	0
	合　計	1	1	1	3	1
道路位置	指　　定	1	0	0	0	1
	変更・廃止	1	0	6	1	3
	合　計	2	0	6	1	4
図書等写し	台帳記載事項証明	89	125	124	101	140
	道路位置指定図書	64	69	59	54	72
	建築計画概要書等	103	119	120	139	156
	合　計	256	313	303	294	368

※確認申請及び完了検査申請の件数は、計画及び完了の通知件数を含む。

(2)屋外広告物許可申請等件数の推移　　(単位：件)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新　　規	17	25	22	43	22
期間更新	26	23	34	43	17
変更改造	1	3	0	4	5
合　　計	44	51	56	90	44

2　完了検査の的確な実施を図るため、確認処理した建築物の建築主に、完了検査を受検していただくための「今後の案内」を郵送した。また、パトロールを実施した建築物の建築主に対して「完了検査の案内」を郵送し、検査受検の督促を行い、完了検査率の向上を図った。

完了検査率の推移(民間確認検査機関分を含む。)　　(単位：%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
完了検査率	98.31	98.44	98.43	98.12	98.79

3　建築主からの後退用地無償譲渡による分筆・所有権移転登記を行うことにより、市街化区域内における狭あい道路解消を図った。

分筆測量登記委託の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件　数　(件)	3	3	0	0	1
面　積　(㎡)	75.90	26.79	0	0	31.07
委託料　(円)	0	442,280	0	0	0

事業名	地籍調査事業			
担当課	農政建設課（北川辺）		総合振興計画コード	3211-04
款	08	土木費	当初予算額	27,081,000円
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	27,081,000円
目	01	道路橋りょう総務費	決算額	25,792,444円
事業の目的	国土調査法に基づく地籍調査を実施することで、国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともに、地籍の明確化を図る。	事業の概要	国有林及び公有水面を除く一筆ごとの土地について、所有者・地番・地目・境界の確認と調査を行い、併せて境界の測量及び面積の測定を行うことにより、その成果である地籍図及び地籍簿を作成する。	

事業の実績・成果

地籍の明確化とその利用の高度化を図るため、地域住民の協力のもと平成12年度から年次計画に基づいて調査を実施してきたが、平成28年1月に業務を受注してきた請負業者による不正が発覚し、平成23年度から平成26年度までに実施した飯積Ⅰ地区から飯積Ⅳ地区までの調査に誤りがあることが判明した。

このため、平成27年度の調査を中止して業務委託契約を解除すると共に、契約約款に定められた違約金を請求した。また、この不正による市の損害について、損害賠償請求（平成28年度）を行った。

平成28年度以降は、賠償金を原資とし、誤りが判明した飯積Ⅰ地区から飯積Ⅳ地区の再調査を行っている。

○誤りが判明した地区の概要

	飯積Ⅰ	飯積Ⅱ	飯積Ⅲ	飯積Ⅳ	計
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
面積(ha)	34	31	35	41	141
筆数(筆)	533	428	599	754	2,314

○契約解除に伴う違約金　（単位：円）

	請求日	納入日	請求金額
違約金	平成28年3月24日	平成28年4月13日	1,164,996

(参考)

○損害賠償請求（平成28年度）　（単位：円）

	請求日	納入日	請求金額
損害賠償	平成28年4月5日	平成28年4月13日	113,885,367

※令和元年度実績

・平成25年度調査地区（飯積Ⅲ）の再調査の後半工程（地積図、地籍簿作成）が完了。

・平成26年度調査地区（飯積Ⅳ）の再調査の前半工程（境界確認、一筆測量）が完了。

事 業 名		道路管理事務事業		
担 当 課		道路課	総合振興計画コード	3224-04
款	08	土木費	当 初 予 算 額	77,055,000 円
項	02	道路橋りょう費	最 終 予 算 額	79,182,000 円
目	01	道路橋りょう総務費	決 算 額	56,881,453 円
事業の目的	・加須市道及び法定外公共物に係る行政手続きを適正に処理することにより、道路利用者の通行の安全と適切な道路利用を推進する。	事業の概要	・道路法で定める市で管理する道路の台帳を調整・保管し、閲覧に供する。 ・道路、水路の境界確定,復元及び証明書の発行。 ・市道への占用行為及び工事施工等の許可、承認。 ・法定外公共物の払い下げ等に関する事務。 ・市道内に残る未登記の調査及び所有権移転登記。	

事業の実績・成果

1　道路法に基づく許可事務

道路法に基づき道路工事施行承認及び道路占用許可に係る事務（申請受付から承認、許可）を停滞なく処理した。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
道路工事施行承認（件）	98	117	104	97	122
道路占用許可（件）	738	883	750	780	721
道路占用料（円）	36,084,598	37,737,062	38,288,606	38,765,318	38,577,327

2　加須市道及び法定外公共物の管理事務

道路台帳補正及び境界査定委託を実施し、道路の台帳及び境界を適正に管理した。

（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
委託金額	43,866,248	44,551,800	38,378,960	48,320,712	40,340,760

3　道路・水路境界の確認及び確定事務（申請受付、現場立会い、境界確認証明書の交付）

境界確認申請に基づき、査定事務を停滞なく処理した。

（単位：件）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
申請件数	393	388	396	414	402

4　法定外公共物等の用途廃止に関する事務

法定外公共物等用途廃止に係る申請について書類を迅速に審査するとともに、法定外公共物等用途廃止検討委員会を開催し、法定外公共物等の用途廃止について適正に処理を行った。

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
開催回数（回）		6	6	6	3	1
処理件数（件）	道　路	40	26	14	11	3
	水　路	23	4	4	2	0

5　屋外広告物の簡易除却
違法な屋外広告物の除却を定期的に実施し道路景観が改善された。

除去回数及び件数		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	回数（回）	1	2	1	1	1
	件数（件）	6	70	18	24	78

6　道路賠償責任保険料
道路管理瑕疵による交通事故等について、速やかに現場を確認し保険会社へ事務手続きを開始することにより、適正に事務処理を行うとともに、道路交通に支障を来さないよう安全対策を実施した。

事故発生件数及び保険金支払額		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	件数（件）	1	3	5	2	2
	金額（円）	370,980	673,692	334,368	92,084	106,560

7　道路敷借上料
市道を適正に管理するため、市道敷地として使用している私有地に係る契約に基づき、土地賃借料を支払った。

件数及び借上料		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	件数（件）	17	17	17	16	19
	借上料（円）	209,104	209,104	209,108	207,472	339,766

事業名		道路維持管理事業			
担当課		道路課	総合振興計画コード		3224-03
款	08	土木費	当初予算額		162,294,000円
項	02	道路橋りょう費	最終予算額		366,794,000円
目	02	道路維持費	決算額		262,955,140円
事業の目的	安全で快適な道路環境を作るため、加須市管理道路の維持を行う。		事業の概要	道路パトロール、自治会や市民からの通報に基づき、直ちに修繕を行う。 幹線道路は、路面調査による損傷度等から優先順位を付け計画的に修繕を行い、生活道路は、自治会等から要望が出された路線を「生活道路整備事業評価システム」により事業化する。	

事業の実績・成果

道路の維持補修の実施により、市民の日常生活や交通などの安全を確保し、生活環境の改善を図った。

単価契約工事		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	件数（件）	74	68	84	66	74
	事業量（㎡）	6,883	5,440	7,014	7,793	5,102
	事業費（円）	49,485,356	44,163,360	50,105,520	49,077,732	45,542,941

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
舗装新設工事	件数（件）	41	17	23	19	18
	事業量（㎡）	30,662	15,792	14,158	13,847	21,080
	事業費（円）	230,521,120	116,980,520	100,371,200	112,212,960	149,723,400

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
業務委託	件数（件）	81	41	38	57	45
	事業費（円）	31,646,585	41,326,052	38,535,911	34,491,161	37,947,805

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
維持管理工事	件数（件）	29	34	31	20	21
	事業費（円）	8,526,870	11,199,060	11,673,517	5,664,600	7,908,020

（単位：%）

舗装率	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	69.3	69.4	69.5	69.8	69.9

（単位：円）

原材料費	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	10,759,780	11,038,379	10,899,437	9,010,954	10,242,380

【繰越明許　令和元年度から令和2年度へ繰越す理由】

加須地域　（繰越明許額　57,800,000円）

市道1146号線と市道6275号線は、舗装版の経年劣化による穴やひび割れによる走行の安全を確保するために、9月議会において補正予算を計上したが、市道1146号線は道路占用埋設管工事との調整が必要となり、市道6275号線は用地手続きに時間を要したことから、年度内の完了が困難になり工事費を繰越したものである。

市道6573号線は、12月補正において補正予算を計上したが、工事完成までの期間を要すことから年度内の完了が困難になり工事費を繰越したものである。

市道134号線と市道10055号線は、舗装版のわだち掘れ等による走行の安全性を確保するために、市道3454号線は、舗装化を行い交通の利便性の向上を図るために、3月議会において補正予算を計上し、年度を跨いで早期完成を目指すため、委託費、工事費を繰越したものである。

北川辺地域　（繰越明許額　4,400,000円）

市道北2069号線は、舗装版の劣化による穴やひび割れが発生していたことから12月議会において補正予算を計上したが、境界確認に不測の日数を要し年度内の完了が困難であることから、工事費を繰り越したものである。

事 業 名		道路維持管理事業【繰越明許】		
担 当 課		道路課	総合振興計画コード	3224-03
款	08	土木費	当 初 予 算 額	45,400,000 円
項	02	道路橋りょう費	最 終 予 算 額	45,400,000 円
目	02	道路維持費	決 算 額	41,259,800 円
事業の目的	安全で快適な道路環境を作るため、加須市管理道路の維持を行う。	事業の概要	道路パトロール、自治会や市民からの通報に基づき、直ちに修繕を行う。幹線道路は、路面調査による損傷度等から優先順位を付け計画的に修繕を行い、生活道路は、自治会等から要望が出された路線を「生活道路整備事業評価システム」により事業化する。	

事業の実績・成果

【平成30年度から令和元年度へ繰越を行った理由】

加須地域

市道112号線は、豪雨時に冠水する道路の嵩上げにより安全な通行を確保するものである。また、市道1148号線外は、道路と並行して設置されている水路等にガードレールを設置し歩行者等の安全を確保するもので、いずれも3月議会において補正予算を計上し、年度を跨いで早期完成を目指すため、委託費、工事費の繰越しを行った。

事 業 費　1件　21,613,000円
〔内 訳〕
工 事 費　2件　19,723,000円
委 託 費　1件　1,890,000円

騎西地域

市道146号線は、舗装版の劣化により騒音振動が顕著になり、安全な通行を確保するものである。また、市道騎2142号線外は、道路と並行して設置している水路等にガードレールの設置、蓋版を設置し歩行者等の安全を確保するため、いずれも3月議会において補正予算を計上し、年度を跨いで早期完成を目指すため、委託費、工事費の繰越しを行った。

事 業 費　1件　17,227,600円
〔内 訳〕
工 事 費　2件　16,849,600円
委 託 費　1件　378,000円

大利根地域

市道大2086号線は、豪雨時に冠水する道路の嵩上げにより安全な通行を確保するため3月議会において補正予算を計上し、年度を跨いで早期完成を目指すため、委託費、工事費の繰越しを行った。

事 業 費　1件　2,419,200円
〔内 訳〕
工 事 費　1件　1,933,200円
委 託 費　1件　486,000円

事業名	街路樹維持管理事業			
担当課	道路課		総合振興計画コード	4232-03
款	08	土木費	当初予算額	42,018,000円
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	42,018,000円
目	02	道路維持費	決算額	41,665,115円

事業の目的	街路樹を適切に管理し、「安心・安全」および「良好な沿道環境」の確保を図る。	事業の概要	街路樹の樹形調整及び樹勢維持のために適切な管理を行いながら、維持管理の方針に基づき問題の解決を図る。 ※維持管理基準 ・高木基本剪定：2～3年に1回実施 ・低木剪定：毎年度実施（樹高50～70㎝以下に剪定） ・薬剤散布：害虫の発生時に適宜実施 ・除草：年2回実施

事業の実績・成果

市内幹線道路植樹帯の適正な維持管理を行い、快適な道路環境の整備を実施した。

安全な通行のため、街路樹の低木の高さは、可能な限り高さを抑える剪定を行った。特に交差点付近では、乗用自動車の運転者の目線の高さに配慮した剪定を行い安全を確保した。

（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
委託料	42,976,566	38,711,520	38,507,771	38,880,081	41,665,115
工事費	0	0	0	0	0

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
箇所数(回)	剪定	47	47	40	45	44
	除草	38	37	31	33	40
	薬剤散布	15	17	19	13	1
	補植	0	0	0	0	0

事 業 名		道路災害復旧事業			
担 当 課		道路課		総合振興計画コード	3224-06
款	08	土木費		当 初 予 算 額	0 円
項	02	道路橋りょう費		最 終 予 算 額	14,240,000 円
目	02	道路維持費		決 算 額	0 円
事業の目的	自然災害等により被災した道路の復旧を早期に実施し、地域住民の安全性及び利便性を確保する。		事業の概要	令和元年度台風19号により被災した、市道大2129号線及び稲荷木落排水路のり面の原形復旧工事の実施。	

事業の実績・成果

【繰越明許　令和元年度から令和２年度へ繰越す理由】

大利根地域（繰越明許額　14,240,000 円）

市道大 2129 号線は、大利根地域北下新井地内の稲荷木落排水路に隣接した生活道路であり、令和元年 10 月 12 日から 13 日に上陸した台風 19 号による豪雨及び稲荷木落排水路の増水等により、道路の陥没及び法面の崩落が発生し、通行ができない状況となったことから、隣接住宅地への出入口の確保及び、住宅地への被害の拡大を防ぐための応急復旧を災害復旧事業として実施するため、12 月議会において補正予算を計上したものであるが、年度内の完了が困難なことから工事費を繰越したものである。

事 業 名		野中まちづくりプラン整備推進事業			
担 当 課		農政建設課（大利根）		総合振興計画コード	3212-05
款	08	土木費		当 初 予 算 額	49,000 円
項	02	道路橋りょう費		最 終 予 算 額	49,000 円
目	03	道路新設改良費		決 算 額	0 円
事業の目的	野中土地区画整理事業から除外する区域約 22.8ha について、道路及び公園等の基盤施設の整備を推進し、安心・安全で良好な居住環境の形成を図る。		事業の概要	「野中地区まちづくりプラン」に基づく 44 路線（延長約 5.0㎞）について、用地買収方式により道路整備（現道拡幅及び新設）を進める。	

事業の実績・成果

令和２年度予算に向けて、交渉継続路線の個別交渉を進めるとともに、新規路線着手に向けて検討を行った。

また、関係地権者への事業周知にあたり、郵送方式での実施を予定していたが、回覧方式に見直したことから、予算執行がなかった。

事 業 名		国・県道整備促進事業			
担 当 課		道路課		総合振興計画コード	3221-01
款	08	土木費		当 初 予 算 額	10,000 円
項	02	道路橋りょう費		最 終 予 算 額	10,000 円
目	03	道路新設改良費		決 算 額	10,000 円
事業の目的	加須市と他地域を結ぶ広域幹線道路である国県道の整備促進を図る。		事業の概要	・国道 125 号バイパス建設促進期成同盟会で埼玉県に要望活動を行う。 ・市内の国道、県道の整備促進を図るため、県との調整を図り、地元関係者との調整を行う。 ・国道　3 路線（バイパス整備 2 路線） ・県道　22 路線（バイパス整備 5 路線）	

事業の実績・成果

・埼玉県と共に事業を推進している路線
　一般国道 125 号加須羽生バイパス
　一般国道 125 号栗橋大利根バイパス
　主要地方道加須北川辺線（埼玉大橋の歩道整備）
　主要地方道羽生外野栗橋線バイパス
　都市計画道路栗橋大利根加須線
　都市計画道路幸手久喜加須線、下高柳道地線
　都市計画道路幸手鷲宮加須線
　一般県道北中曽根北大桑線バイパス

・国道 125 号バイパス建設促進期成同盟会負担金
　国道 125 号バイパスの整備促進を図るため、埼玉県知事及び地元選出県議会議員に対し、要望活動を行った。

（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
負担金	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000

事 業 名		幹線道路側溝事業			
担 当 課		道路課		総合振興計画コード	3222-03
款	08	土木費		当 初 予 算 額	12,000,000 円
項	02	道路橋りょう費		最 終 予 算 額	12,000,000 円
目	03	道路新設改良費		決 算 額	11,530,200 円
事業の目的	側溝整備により、道路溢水対策を図ると共に、道路幅員を有効活用し、歩行者の安全確保及び通行の利便性を図り、市内の道路交通網の充実を図る。		事業の概要	幹線 1・2 級市道のうち、交通安全上危険な箇所、溢水箇所及び自治会等からの要望が出された路線について、検証し事業化する。	

事業の実績・成果

　道路に側溝等を設置することにより、道路の溢水対策を図るとともに、市民の通行の安全性と利便性の向上を図る。

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
事業費等	箇所数（件）	8	7	1	2	3
	事業費（円）	29,322,000	9,618,480	4,125,600	5,390,000	11,530,200

事 業 名		幹線道路側溝事業【繰越明許】			
担 当 課		道路課		総合振興計画コード	3222-03
款	08	土木費		当 初 予 算 額	14,714,000 円
項	02	道路橋りょう費		最 終 予 算 額	14,714,000 円
目	03	道路新設改良費		決 算 額	14,224,960 円
事業の目的	側溝整備により、道路溢水対策を図ると共に、道路幅員を有効活用し、歩行者の安全確保及び通行の利便性を図り、市内の道路交通網の充実を図る。		事業の概要	幹線1・2級市道のうち、交通安全上危険な箇所、溢水箇所及び自治会等からの要望が出された路線について、検証し事業化する。	

事業の実績・成果

【平成30年度から令和元年度へ繰越を行った理由】

加須地域

市道254号線は、豪雨時に冠水する道路について早期の側溝整備を推進するため、12月議会において補正予算を計上したものであるが、通学路等の調整に時間を要し、年度内の完了が困難なことから工事費の繰越しを行った。

市道228号線は、早期の側溝整備を推進するため、9月議会において補正予算を計上したものであるが、境界確認等に時間を要し、年度内の業務完了が困難なことから委託費の繰越しを行った。

市道149号線は、道路側溝を整備することで、溢水対策を図るとともに、安全な通行を確保するもので、3月議会において補正予算を計上し、年度を跨いで早期完成を目指すため、委託費の繰越しを行った。

事 業 費　　1件　　14,224,960円
〔内 訳〕
工 事 費　　1件　　6,189,760円
委 託 費　　2件　　8,035,200円

事 業 名		幹線道路新設改良事業		
担 当 課		道路課	総合振興計画コード	3222-04
款	08	土木費	当 初 予 算 額	95,900,000 円
項	02	道路橋りょう費	最 終 予 算 額	125,400,000 円
目	03	道路新設改良費	決 算 額	64,973,073 円
事業の目的	国県道とのネットワークを構築し、円滑な交通誘導により、交通事故の防止に寄与する。 また、渋滞緩和により環境への負荷を軽減させる。	事業の概要	「第二次加須市幹線道路網整備計画」に於いて整備期間を短期（平成 28 年度 - 令和 2 年度）、中期（令和 3 年度 - 令和 7 年度）、長期（令和 8 年度 - 令和 12 年度）に区分し、短期に位置付けた幹線 1・2 級市道の整備を行う。	

事業の実績・成果

道路の拡幅整備や構造改良等の実施により、市民の通行の安全性と利便性の向上を図った。

事業費等		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
	箇所数（件）	63	49	35	34	27
	事業費（円）	201,201,019	195,260,637	177,609,344	92,237,513	64,973,073

【繰越明許　令和元年度から令和 2 年度へ繰越す理由】

加須地域（繰越明許額　20,000,000 円）

市道 144 号線道路改良は、地権者との用地交渉等に不測の日数を要し、年度内の完了が困難となったため、用地費及び補償費を繰越したものである。

市道 266 号線道路改良は早期に道路拡幅を行い、通行の安全を確保するもの 3 月議会において補正予算を計上し、年度を跨いで早期完了を目指すため、委託費を繰越したものである。

騎西地域（繰越明許額　33,784,954 円）

市道 145 号線道路改良は、用地交渉等に不測の日数を要し、年度内の完了が困難であることから、用地費、補償費及び工事費を繰越したものである。

市道 277 号線道路改良は、9 月議会において補正予算を計上したものであるが、用地交渉に不測の日数を要し、年度内の完了が困難であることから、工事費を繰り越したものである。

事 業 名		幹線道路新設改良事業【繰越明許】		
担 当 課		道路課	総合振興計画コード	3222-04
款	08	土木費	当 初 予 算 額	20,140,216 円
項	02	道路橋りょう費	最 終 予 算 額	20,140,216 円
目	03	道路新設改良費	決 算 額	16,857,332 円
事業の目的	国県道とのネットワークを構築し、円滑な交通誘導により、交通事故の防止に寄与する。 また、渋滞緩和により環境への負荷を軽減させる。	事業の概要	「第二次加須市幹線道路網整備計画」に於いて整備期間を短期（H28 - H32）、中期（H33 - H37）、長期（H38 - H42）に区分し、短期に位置付けた幹線1･2級市道の整備を行う。	

事業の実績・成果

【繰越明許　平成30年度から令和元年度へ繰越を行った理由】

騎西地域

市道277号線道路改良は、地権者との用地交渉に不測の日数を要し、年度内の完了が困難であることから、用地費、補償費及び工事費の繰越しを行った。

市道158号線道路改良は、地権者との用地交渉に不測の日数を要し、年度内の完了が困難であることから、工事費の繰越しを行った。

事　業　費	1件	13,617,332円
〔内　訳〕		
工　事　費	2件	10,778,400円
用　地　費	2件	73,304円
補　償　費	2件	2,765,628円

大利根地域

市道128号線道路改良に伴う物件補償調査委託について、地権者と立入調査の日程調整に不測の日数を要し、年度内の業務完了が困難であることから、委託費の繰越しを行った。

事　業　費	1件	3,240,000円
〔内　訳〕		
委　託　費	1件	3,240,000円

事 業 名		生活道路側溝事業			
担 当 課		道路課		総合振興計画コード	3223-01
款	08	土木費		当 初 予 算 額	28,900,000 円
項	02	道路橋りょう費		最 終 予 算 額	39,850,000 円
目	03	道路新設改良費		決 算 額	28,118,686 円
事業の目的	側溝整備により、道路溢水対策を図ると共に、道路幅員を有効活用し、歩行者の安全確保及び通行の利便性を図り、市内の道路交通網の充実を図る。		事業の概要	生活道路のうち、交通安全上危険な箇所及び自治会等からの要望が出された路線について、「生活道路整備事業評価システム」により評価し事業化する。	

事業の実績・成果

道路に側溝等を設置することにより、道路の溢水対策を図るとともに、市民の通行の安全性と利便性の向上を図った。

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
事業費等	箇所数（件）	31	44	8	20	15
	事業費（円）	59,896,530	97,561,147	29,910,600	34,496,589	28,118,686

【繰越明許　令和元年度から令和 2 年度へ繰越す理由】

加須地域（繰越明許額　8,000,000 円）
市道 8094 号線については、境界確認及び用地交渉に不測の日数を要し、年度内の完成が困難であることから、工事費を繰越したものである。
市道 1417 号線については、早期に側溝を整備し、道路排水を確保するため 12 月議会において補正予算を計上し、年度を跨いで早期完了を目指すため、委託費を繰越したものである。

事 業 名		生活道路側溝事業【繰越明許】			
担 当 課		道路課		総合振興計画コード	3223-01
款	08	土木費		当 初 予 算 額	4,200,000 円
項	02	道路橋りょう費		最 終 予 算 額	4,200,000 円
目	03	道路新設改良費		決 算 額	3,868,420 円
事業の目的	側溝整備により、道路溢水対策を図ると共に、道路幅員を有効活用し、歩行者の安全確保及び通行の利便性を図り、市内の道路交通網の充実を図る。		事業の概要	生活道路のうち、交通安全上危険な箇所及び自治会等からの要望が出された路線について、「生活道路整備事業評価システム」により評価し事業化する。	

事業の実績・成果

【平成 30 年度から令和元年度へ繰越を行った理由】

加須地域
法定外公共物道路については、早期の事業進捗を図るため 12 月議会において補正予算を計上したものであるが、用地交渉に不測の日数を要し、年度内の完了が困難であることから、工事費の繰越しを行った。

事　業　費　　1 件　　3,868,420 円
〔内　訳〕
工　事　費　　2 件　　3,868,420 円

事 業 名		生活道路新設改良事業		
担 当 課		道路課	総合振興計画コード	3223-02
款	08	土木費	当 初 予 算 額	47,000,000 円
項	02	道路橋りょう費	最 終 予 算 額	110,539,000 円
目	03	道路新設改良費	決 算 額	74,599,253 円
事業の目的	幹線道路等への円滑な交通アクセスの確保、日常生活における生活道路の安全性及び交通の利便性の向上を図る。	事業の概要	生活道路のうち、交通安全上危険な箇所及び自治会等からの要望が出された路線について、「生活道路整備事業評価システム」により評価し事業化する。	

事業の実績・成果

道路の拡幅整備や構造改良等の実施により、市民の通行の安全性と利便性の向上を図った。

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
事業費等	箇所数（件）	64	80	34	45	31
	事業費（円）	101,374,575	122,676,687	19,597,863	64,783,349	74,599,253

【繰越明許　令和元年度から令和 2 年度へ繰越す理由】

大利根地域（繰越明許額　28,200,000 円）

市道大 3116 号線道路改良は、国道 125 号バイパスにより南北に分断される地域を結ぶため、3 月議会において補正予算を計上したものであるが、年度内の工事完成が困難であることから、工事費を繰越したものである。

市道大 1050 号線道路改良は、早期に整備を促進するため、9 月議会において補正予算を計上したものであるが、年度内の電柱移設が困難であるため、工事費を繰越したものである。

事 業 名		生活道路新設改良事業【繰越明許】		
担 当 課		道路課	総合振興計画コード	3223-02
款	08	土木費	当 初 予 算 額	9,400,000 円
項	02	道路橋りょう費	最 終 予 算 額	9,400,000 円
目	03	道路新設改良費	決 算 額	9,244,926 円
事業の目的	幹線道路等への円滑な交通アクセスの確保、日常生活における生活道路の安全性及び交通の利便性の向上を図る。	事業の概要	生活道路のうち、交通安全上危険な箇所及び自治会等からの要望が出された路線について、「生活道路整備事業評価システム」により評価し事業化する。	

事業の実績・成果

【平成30年度から令和元年度へ繰越を行った理由】

加須地域

市道1314号線道路改良は、電柱移転等、支障物件の移転に不測の時間を要し、年度内の電柱移転が困難となったため、補償費の繰越しを行った。

市道5382号線道路改良は、事業の早期進捗を図るため9月議会において補正予算を計上したものであるが、境界確認等に不測の時間を要し、年度内の業務完了が困難となったため、委託費の繰越しを行った。

事 業 費　　1件　　9,244,926円
〔内 訳〕
補 償 費　　1件　　3,844,926円
委 託 費　　1件　　5,400,000円

事 業 名		橋りょう維持改良事業		
担 当 課		道路課	総合振興計画コード	3226-03
款	08	土木費	当 初 予 算 額	57,300,000 円
項	02	道路橋りょう費	最 終 予 算 額	57,300,000 円
目	04	橋りょう新設改良費	決 算 額	54,742,998 円
事業の目的	市民が安全で安心して通行できる道路橋を確保するため、橋りょうの長寿命化及び耐震化という目的の違う2つの事業を実施することにより「防災のまちづくり」の実現を図る。	事業の概要	平成30年度に改訂した「橋りょう長寿命化修繕計画」に位置付けられた橋りょう（Ⅲ判定47橋、Ⅳ判定6橋）の長寿命化を行う。また、平成24年度に策定した「橋りょう整備計画」に位置付けられた耐震化15橋の進捗を図る。	

事業の実績・成果

橋りょうの長寿命化を図るため橋りょう点検を行い健全度の評価を実施した。また、長寿命化修繕設計を行い通行の安全性の向上を図った。

事業費等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	箇所数（件）	45	463	107	149	77
	うち点検数(橋)	40	460	107	147	73
	事業費（円）	77,670,320	105,346,062	27,480,600	44,755,200	54,733,800

事 業 名	県管理河川等整備支援事業			（総合戦略）
担 当 課	治水課		総合振興計画コード	3142-09
款	08	土木費	当 初 予 算 額	323,000 円
項	03	河川費	最 終 予 算 額	323,000 円
目	01	河川総務費	決 算 額	322,105 円
事業の目的	市民を洪水から守るため、国、県及び土地改良区が管理する河川・水路の整備を促進する。	事業の概要	各協会、同盟会等を通じて国、県へ河川・水路の整備促進の要望活動を実施。	

事業の実績・成果

事業を推進するために必要な経費の一部を、埼玉県河川協会、五県連合利根川上流改修促進期成同盟会、利根川治水同盟、中川・綾瀬川流域改修促進期成同盟会、青毛堀川改修事業整備促進期成同盟会、利根川上流河川利用者協議会等へ負担し、国等に要望活動を実施した。

・埼玉県河川協会

治水及び利水に関する方策を研究し、河川事業の促進等を図るため、埼玉県県土整備部河川砂防課に事務局を置き、各県土整備事務所に支局を置き円滑な河川事務に当たる。

・五県連合利根川上流改修促進期成同盟会

河川改修工事を促進し、治水利水事業の完璧を期するため、治水事業に伴う利根川上流河川事務所管内関係各市町及び関係団体で同盟会を組織する。

国会議員や関係省庁に対し、令和２年１月 31 日に要望活動を行った。

・利根川治水同盟

利根川の治水及び利水に関する方策を研究するとともに天災を防止するため、事業に関係を有する公共団体及び公営企業団体で同盟会を組織する。

国会議員や関係省庁に対し、令和元年 11 月 27 日に要望活動を行った。

・中川・綾瀬川流域改修促進期成同盟会

中川・綾瀬川流域の国直轄工事及び中川・綾瀬川流域の各河川の改修工事の促進を図るため、県及び関係市町で同盟会を組織する。

国会議員や関係省庁に対し、令和元年８月１日に要望活動を行った。

・青毛堀川改修事業整備促進期成同盟会

青毛堀川改修事業の促進を図るため、加須市、久喜市の首長、議会議長及び関係部長で同盟会を組織する。

埼玉県知事や関係当局に対し、要望活動を令和元年 10 月 25 日に行った。

・利根川上流河川利用者協議会

利根川上流河川事務所管内の河川美化の推進、計画的高度利用、改修事業の促進を図るため、利用者相互の連絡調整を行い、河川の適正な利用を図ることを目的として、管内市区町村、各種利用団体で協議会を組織する。（会長：加須市長）

平成 31 年４月 13 日に渡良瀬遊水地クリーン作戦による清掃活動を４県７会場で実施した。（本市の会場は下宮橋駐車場）

令和２年１月 24 日に、河川愛護・美化活動団体の表彰を行った。（市内の受賞は「北川辺ウォーターズ」渡良瀬遊水地の清掃活動）

事 業 名		雨水流出抑制対策事業（公共施設）		
担 当 課		治水課	総合振興計画コード	3141-02
款	08	土木費	当 初 予 算 額	20,000 円
項	03	河川費	最 終 予 算 額	20,000 円
目	02	河川改良費	決 算 額	8,000 円
事業の目的	雨水を一時貯留させ、河川や水路への流出を抑制し、洪水を防止することにより市民生活の安全を確保する。	事業の概要	加須市溢水対策計画に基づき、公共施設（学校や公園など）の改修等に併せて雨水貯留施設設置に努める。また、「雨水の利用の推進に関する法律」（平成26年5月1日施行）に基づき、雨水の利用の推進を図る。	

事業の実績・成果

小学校、中学校、高校及び公園などにおいて、9,474 立方メートルが対策済みであり、引き続き公共施設での対策量の確保に向け、公共施設の改修時期に併せ、施設の機能を損なわない範囲での関係各課との協議を進め、設置を促進する。

○令和2年3月31日時点における対策済施設及び対策量(㎥)

①. 香林寺池風の子公園	:	1,209
②. 大利根中学校	:	1,677
③. 県立不動岡高校	:	2,576
④. 加須小学校	:	1,450
⑤. 久下公園	:	546
⑥. 騎西小学校	:	820
⑦. こすもす保育園	:	810
⑧. 水深小学校	:	39
⑨. くさぶえ公園	:	347
計	:	9,474

事 業 名	都市計画事務事業			（総合戦略）
担 当 課	まちづくり課		総合振興計画コード	3211-01
款	08	土木費	当　初　予　算　額	4,371,000 円
項	04	都市計画費	最　終　予　算　額	4,371,000 円
目	01	都市計画総務費	決　　算　　額	2,043,379 円
事業の目的	地域の特性を活かし、秩序ある整備と発展を目指すため、計画的な土地利用と市街地の整備を推進する。	事業の概要	・都市計画法に基づく各種都市計画制度（開発、都市計画事業を除く）を運用する。 ・基礎的な地図資料となる都市計画基本図を作成し、都市計画情報を併せた行政資料を提供する。 ・政策的な課題について都市計画の観点から検討、解決する。	

事業の実績・成果

都市計画区域再編後、まちづくりの基礎となる各種都市計画の推進を図った。

都市計画関係法令や市条例等に基づく、土地利用規制等の運用について、庁内関係課及び総合支所関係課と協議・調整を図り、必要に応じて都市計画審議会を開催するなど、都市計画決定手続等が円滑に進められた。

○都市計画全図及び基本図等の提供

・都市計画図、全図、基本図を販売した。

都市計画図等の売払枚数（平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで）（単位：枚）

本　庁	総合支所			合　計
	騎　西	北川辺	大利根	
220	1	0	6	227

・庁内各課の公共施設の計画・設計等で使用する基盤地図として、基本図の電子データを提供し、業務の効率化を推進した。

○都市計画審議会の開催

	開催日	内　容
第 15 回	令和元年 12 月 24 日	○加須都市計画区域区分、用途地域、防火地域及び準防火地域、土地区画整理事業、地区計画の変更（正能及び戸崎地区の各一部） ○第 16 号、20 号、48 号生産緑地地区の変更

事 業 名		土地開発基金事業			
担 当 課		財政課		総合振興計画コード	3211-05
款	08	土木費		当 初 予 算 額	1,535,000 円
項	04	都市計画費		最 終 予 算 額	1,535,000 円
目	01	都市計画総務費		決 算 額	21,153 円
事業の目的	公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のため、あらかじめ土地を取得することにより、事業の円滑な執行を図る。		事業の概要	・必要に応じ土地取得の財源とする。 ・基金の運用収益から生じる歳入歳出を管理する。	

事業の実績・成果

土地開発基金の運用から生じた収益（利子）について、同基金へ積み立てた。
また、同基金の周知を図り、事業用地の取得に活用されたことにより、各事業が円滑に遂行された。

1　土地取得
道路改良事業に伴う資材等置場用地取得　　取得面積　499 ㎡　　取得価額　2,045,900 円

2　保有地の一般会計による買い戻し
埼玉県済生会加須病院用地　　取得面積　39,133 ㎡　　取得価額　350,553,432 円

【年度末基金残高の推移】　（単位：円）

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
取り崩し額		0	2,030,000	15,013,492	462,034,000	0
積み立て額		0	0	0	0	0
利　　子		2,128,848	2,024,065	1,482,709	8,703,372	21,153
年度末残高		952,539,723	952,533,788	939,003,005	485,672,377	485,693,530
	うち現金	554,040,026	252,170,411	237,617,696	102,832,968	451,361,653
	うち債券	300,000,000	300,000,000	300,000,000	0	0
	うち土地	98,499,697	400,363,377	401,385,309	382,839,409	34,331,877

事 業 名		開発許可等事務事業			
担 当 課		建築開発課		総合振興計画コード	3213-03
款	08	土木費		当 初 予 算 額	508,000 円
項	04	都市計画費		最 終 予 算 額	508,000 円
目	01	都市計画総務費		決 算 額	448,254 円
事業の目的	良好な住環境の形成の面から公共の福祉の増進に資する。		事業の概要	・都市計画法に基づく開発許可申請について、適正な審査を行う。 ・加須市住みよいまちづくり指導要綱に基づく事前協議について、適正な指導を行う。	

事業の実績・成果

1　都市計画法及び加須市住みよいまちづくり指導要綱に基づき、適正な指導及び審査を行ったため、住みよいまちづくりを推進できた。

(1)　開発許可等申請件数の推移　(単位：件)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開発行為許可	164	169	162	155	136
開発行為変更許可	77	70	78	62	72
予定建築物等以外の建築等許可	11	11	7	8	10
建築行為許可	11	9	13	12	13
地位承継	2	1	0	3	0
適合証明	425	484	387	475	374
開発登録簿写し	169	165	157	200	180
合　　計	859	909	804	915	785

(2)　開発許可件数の推移　(単位：件)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
専用住宅	115	127	133	122	107
共同住宅等	23	26	10	8	8
併用住宅	0	1	2	1	1
店　　舗	5	10	8	7	2
その他の建築物	21	9	8	15	16
合　　計	164	173	161	153	134

(単位：件)

許可件数のうち法第34条該当号別	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
第1号【日常生活に必要な店舗等】	2	0	2	0	2
第4号【農林漁業用施設】	1	0	0	0	0
第7号【既存工場の関連施設】	0	0	0	0	1
第9号【沿道サービス】	1	3	2	4	1
第10号【地区計画の区域】	1	0	2	0	0
第11号【集落区域の指定】	109	110	108	94	78
第12号【既存集落区域の指定等】	27	34	30	32	31
第14号【開発審査会】	0	0	0	1	0
合　　計	141	147	144	131	113

令和元年度許可　市街化区域内：21件　市街化調整区域内：113件　非線引区域：0件

＊法第34条第11号【集落区域内の開発行為】の戸建住宅の予定戸数：233戸

事 業 名	利根川未来パーク推進事業			（総合戦略）
担 当 課	まちづくり課		総合振興計画コード	4212-08
款	08	土木費	当 初 予 算 額	24,000 円
項	04	都市計画費	最 終 予 算 額	24,000 円
目	01	都市計画総務費	決 算 額	6,240 円
事業の目的	利根川周辺の多様な自然資源や機能を保全・活用して魅力的なまちづくりを推進する。	事業の概要	利根川未来パークに位置付けた事業の進捗管理・検証等を行い、また、未来館周辺の新たな拠点と3 地域の既存施設や資源のネットワーク化をはかり、まちづくりの取り組みを一体化することによって地域の魅力と活力を向上する。	

事業の実績・成果

○利根川未来パーク構想の推進

この構想は、加須未来館周辺に整備された新たな拠点と周辺に点在する既存施設、また、両岸の堤防内外で実施されている各種事業のネットワーク化を図り、魅力あるまちづくりを進め、利根川沿川の魅力を活用したイベントや事業の情報を市内外に発信し、多くの人が集い賑わう活力あるまちづくりを推進していくものである。

【実績】

関係各課と調整を図り、利根川周辺に点在する公共施設で開催される各種イベント情報や、地域・季節ごとの旬の味覚などの魅力を掲載した「利根川かわら版」を季刊ごとに作成し、令和元年夏号（6 月）・秋号（9 月）・冬号（12 月）、令和 2 年春号（2 月）として発刊した。

事 業 名		景観形成推進事業			
担 当 課		まちづくり課		総合振興計画コード	4233-01
款	08	土木費		当 初 予 算 額	55,000 円
項	04	都市計画費		最 終 予 算 額	55,000 円
目	01	都市計画総務費		決 算 額	3,120 円
事業の目的	やすらぎとうるおいのある景観形成の推進を図る。		事業の概要	・景観モデル地区において地域の特性にあった景観指針の策定をする。 ・市民との協働による景観まちづくり事業を推進する。	

事業の実績・成果

やすらぎとうるおいのある景観形成の推進を図るため、市民との協働による景観まちづくりを推進した。

「水深地区景観指針」（平成 24 年 3 月策定）に基づき、「水深地区景観まちづくりセミナー」を開催し、地元住民の景観を活かしたまちづくりの意識向上を図った。また、平成 28 年度に作成し、平成 29 年度に一部修正した、水深地域の自然や歴史、街並み、建築物などの景観資源を市内外に発信するツールである「水深地区景観マップ」歴史・自然編及びイベント編を市内公共施設や観光案内所等に配布した。

○水深地区景観まちづくりセミナー

開 催 日	内 容	参加人数
令和元年 6 月 6 日	下高柳憩いの場の植栽（ザル菊 150 株）	6 名
令和元年 7 月 24 日	下高柳憩いの場の除草	4 名
令和元年 8 月 29 日	下高柳憩いの場の除草	4 名
令和元年 10 月 2 日	下高柳憩いの場の除草	3 名
令和 2 年 2 月 20 日	下高柳憩いの場の植栽（パンジー179 株、シレネ 169 株）	8 名

水深地区景観まちづくりセミナーの様子

事 業 名		駅前広場維持管理事業		
担 当 課		まちづくり課	総合振興計画コード	3224-02
款	08	土木費	当 初 予 算 額	11,995,000 円
項	04	都市計画費	最 終 予 算 額	11,995,000 円
目	02	街路事業費	決 算 額	11,093,395 円
事業の目的	駅前広場を安全かつ快適に利用できるように管理し、環境の維持、向上を図る。		事業の概要	駅前広場内にある各施設（公衆トイレ、歩車道、植栽等）を適正に管理する。 ・対象となる駅前広場 5 箇所（加須駅北口、加須駅南口、花崎駅北口、花崎駅南口、新古河駅西口）

事業の実績・成果

加須駅、花崎駅及び新古河駅（西口）駅前広場利用者の安全性及び快適性を確保するため、駅前広場施設の修繕や駅前公衆トイレの清掃等の維持管理を行った。

施設に起因する事故はゼロで清潔な環境を維持できた。

1　駅前広場の概要

・加須駅北口駅前広場　4,217 ㎡　・加須駅南口駅前広場　4,300 ㎡
・花崎駅北口駅前広場　4,000 ㎡　・花崎駅南口駅前広場　2,200 ㎡
・新古河駅西口駅前広場　2,535 ㎡

2　駅前公衆トイレの概要

・加須駅北口駅前公衆トイレ　床面積 20.89 ㎡　（女子用 1、男子用大 1・小 2、障害者用 1）
・花崎駅南口駅前公衆トイレ　床面積 20.25 ㎡　（女子用 1、男子用大 1・小 1、障害者用 1）

3　主な維持管理費

（1）委託料　9,138,743 円

・加須駅北口、花崎駅南口　駅前公衆トイレ清掃委託
・加須駅北口、花崎駅南口　公衆トイレ特別清掃
・加須駅、花崎駅駅前広場　清掃委託
・加須駅、花崎駅駅前広場　除草委託
・加須駅、花崎駅駅前広場　樹木維持管理委託
・加須駅北口駅前広場　高木剪定業務委託
・加須駅南口駅前広場　花壇植栽業務委託
・花崎駅前広場　融雪剤散布委託
・新古河駅西口駅前広場　樹木剪定業務委託

（2）修繕料　623,406 円

・加須駅北口　ベンチ修繕
・加須駅北口　トイレ男子和便 FV 修繕
・花崎駅北口広場　屋外照明灯修繕
・花崎駅駅前男子トイレ　手洗器修繕
・加須駅北口広場　路面表示修繕
・加須駅北口広場　屋外照明灯他修繕
・加須駅北口広場　屋外照明灯ランプ修繕
・花崎駅南口トイレ床排水修繕
・加須駅北口　花壇修繕
・花崎駅南口男子トイレ　小便器詰り修繕
・新古河駅西口駅前広場　広場舗装修繕

（3）光熱水費　　1,317,537 円
・電気料　　1,106,550 円
・水道料　　141,513 円
・下水道使用料　　69,474 円

（4）その他の管理費　　13,709 円
・駅前広場公衆トイレ　火災保険料

4　維持管理費の推移　　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
維持管理費	9,948,205	10,429,484	10,876,319	10,738,363	11,093,395

事業名		公園整備事業		（総合戦略）
担当課		まちづくり課	総合振興計画コード	4232-01
款	08	土木費	当初予算額	4,514,000 円
項	04	都市計画費	最終予算額	4,514,000 円
目	03	公園費	決算額	4,226,044 円
事業の目的	自然とふれあえる場としての公園を整備し、憩い・安らぎの場を創出する。		事業の概要	・市民と協働により、新たな用途や形態の公園について計画的に推進する。 ・老朽化している遊具については、点検結果に基づいて整備計画を作成し、計画的に撤去・設置を行う。

事業の実績・成果

市民の憩いの場、レクリエーションの場として、市民が快適に利用できるよう公園内の老朽化した遊具の撤去・設置工事を行った。公園内の安全を維持した結果、施設に起因する事故はゼロであった。

1　土地借上（1 件）　　143,644 円
・市民運動公園用地借上面積　　1,015 ㎡

2　工事(2 件)　　4,082,400 円
・都市公園遊具整備工事（加須地域）
・種足ふれあいの森公園ゴンドラ撤去工事

3　都市公園の現況調書

	都市公園数	公園面積（ha）	増加の理由
平成 27 年度	124	136.8	
平成 28 年度	129	137.9	区画整理公園引継
平成 29 年度	133	138.6	区画整理公園引継
平成 30 年度	133	138.6	
令和元年度	134	139.4	産業団地内の公園の追加

※　各年度 4 月 1 日現在
※　県営加須はなさき公園を含む

事業名	公園維持管理事業			
担当課	まちづくり課		総合振興計画コード	4232-02
款	08	土木費	当初予算額	190,496,000円
項	04	都市計画費	最終予算額	193,496,000円
目	03	公園費	決算額	184,033,033円
事業の目的	緑化を推進するため、適正に公園の維持管理を行う。	事業の概要	・公園内やトイレの清掃、樹木剪定、除草等を実施する。 ・職員や専門業者による遊具点検を実施する。 ・公園内の危険箇所や不良箇所を修繕する。	

事業の実績・成果

都市公園やその他公園内の安全性及び快適性を確保するため、遊具施設等の修繕、樹木の剪定・薬剤散布、トイレ施設の清掃等の維持管理を行った。事故はゼロで安全・清潔な環境を維持できた。

1　光熱水費　13,021,368円
- 電気料　9,605,657円
- 水道料　2,705,778円
- 下水道使用料　565,613円
- 農業集落排水施設使用料　129,610円
- 土地借上料（会の川親水公園）　14,710円

2　修繕料（遊具・トイレ・水飲み場・ベンチ等の修繕、照明灯ランプの交換等）　10,785,684円

3　都市公園緑地等公共施設の維持管理業務委託　150,696,440円
- 清掃、除草、薬剤散布等業務委託
- 樹木剪定等業務委託
- スズメバチ駆除業務委託
- 浄化槽保守点検業務委託
- 遊具点検業務委託
- 開発公園等維持管理委託
- 施設等維持管理業務委託

4　都市公園緑地等公共施設の施設改修工事　1,155,000円
- つつじ公園撤去工事

5　その他の維持管理費（消耗品、燃料、火災保険、浄化槽汲取り、備品購入等）　8,374,541円

○管理施設（公園、その他公園）の内訳（令和2年3月31日現在）　（単位：施設）

	加須地域	騎西地域	北川辺地域	大利根地域	合計
都市公園	63	28	4	38	133
その他公園	87	15	33	6	141
県立公園	1	0	0	0	1
合計	151	43	37	44	275

※　県立公園については、加須はなさき公園多目的グラウンド内の簡易トイレを管理

○委託料の推移（令和2年3月31日現在）　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
委託料	147,509,310	148,430,839	150,290,492	140,923,217	150,696,440

【繰越明許　令和元年度から令和２年度へ繰越す理由】
加須地域（繰越明許額　1,499,300 円）
元町公園改修工事は、12 月議会において補正予算を計上したものであるが、測量・設計に日数を要し、年度内の完了が困難であることから、工事費を繰越したものである。

事 業 名		花の咲く里づくり推進事業			
担 当 課		まちづくり課		総合振興計画コード	4231-01
款	08	土木費		当　初　予　算　額	683,000 円
項	04	都市計画費		最　終　予　算　額	683,000 円
目	04	緑化対策費		決　　算　　額	495,420 円
事業の目的	市民の身近な緑の保全・創出・活用を図る。		事業の概要	・市民平和祭の時期に開花するよう利根川河川敷緑地公園に菜の花の播種の実施。 ・市内の公共空間に市民との協働により花などを植えて緑化を推進。	

事業の実績・成果

市民との協働によりポケットパーク（町屋新田地内）、野なか公園等の花壇に草花の植栽を行い、訪れる市民の皆様に潤いや安らぎを提供した。

○草花の植栽実績

種　類	スミレ（苗）	日々草（苗）	パンジー（株）
数　量	115	112	192

事 業 名		憩いの場整備事業			
担 当 課		まちづくり課		総合振興計画コード	4233-10
款	08	土木費		当 初 予 算 額	34,000 円
項	04	都市計画費		最 終 予 算 額	34,000 円
目	04	緑化対策費		決 算 額	33,957 円
事業の目的	子どもからお年寄りまで誰もが憩える場を提供することにより、市民間の交流を深めるとともに、環境保全意識の向上をはかる。		事業の概要	空地や公共スペースの一部などを有効活用し、地元住民と協働により身近な憩いの場として整備を行う。また、整備後の維持管理についても協働で行えるよう誘導する。	

事業の実績・成果

協働によるまちづくりを推進するため、地元住民との協働により整備した「憩いの場」で、清掃や除草、草花等の植栽活動を実施した。

また、維持管理を推進するため、加須市環境美化活動サポート事業に「水深地区環境美化推進クラブ」及び「川口環境保全協力会」を登録し、適正な維持管理を行っている。

○下高柳地内（水深地区環境美化推進クラブ）

実 施 日	内 容	参加人数
令和元年 6 月 6 日	下高柳憩いの場の植栽（ザル菊 150 株）	6 名
令和元年 7 月 24 日	下高柳憩いの場の除草	4 名
令和元年 8 月 29 日	下高柳憩いの場の除草	4 名
令和元年 10 月 2 日	下高柳憩いの場の除草	3 名
令和 2 年 2 月 20 日	下高柳憩いの場の植栽（パンジー179 株、シレネ 169 株）	8 名

○川口地内（川口環境保全協力会）

実 施 日	内 容	参加人数
令和元年 5 月 24 日	植栽活動（マリーゴールド：80 株）	4 名
令和元年 11 月 20 日	植栽活動（ビオラ：90 株）	4 名

下高柳憩いの場

川口憩いの場

事 業 名		栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計繰出事業		
担 当 課		農政建設課（大利根）	総合振興計画コード	3212-01
款	08	土木費	当 初 予 算 額	16,626,000 円
項	04	都市計画費	最 終 予 算 額	16,626,000 円
目	05	土地区画整理費	決 算 額	16,626,000 円
事業の目的	住み良い快適な居住環境の創造と宅地の利用増進を図る。		事業の概要	公債費の償還や清算金の交付・徴収事務に係る土地区画整理事業の事業費の不足分を補うため、特別会計に資金を繰り出す。

事業の実績・成果

栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業の換地処分清算業務を実施するため、清算業務等に係る経費及び公債費（土木費）償還について、一般会計から栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計へ繰り出した。

事 業 名		野中土地区画整理事業特別会計繰出事業		
担 当 課		農政建設課（大利根）	総合振興計画コード	3212-03
款	08	土木費	当 初 予 算 額	5,121,000 円
項	04	都市計画費	最 終 予 算 額	5,121,000 円
目	05	土地区画整理費	決 算 額	1,383,350 円
事業の目的	住み良い快適な居住環境の創造と、宅地の利用増進を図る。		事業の概要	国庫支出金や保留地処分金等による区画整理事業の事業費の不足分を補うため、特別会計に資金を繰り出す。 また、水道管布設工事の一部を一般会計で負担するとともに、県用地（島中幹線用水路）の一部を取得する。

事業の実績・成果

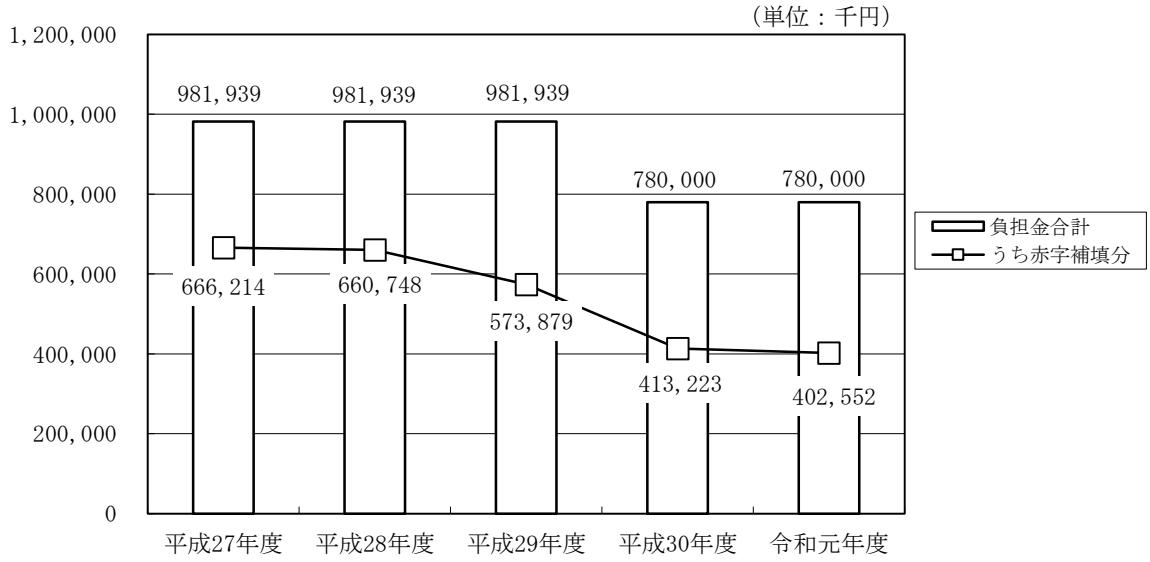
野中土地区画整理事業の推進を図るため、水道配水管布設工事の負担金に係る経費について、一般会計から野中土地区画整理事業特別会計へ繰り出した。

事 業 名		公共下水道事業会計繰出事業		
担 当 課		下水道課	総合振興計画コード	4221-08
款	08	土木費	当 初 予 算 額	780,000,000 円
項	04	都市計画費	最 終 予 算 額	780,000,000 円
目	06	公共下水道費	決 算 額	780,000,000 円
事業の目的	公共下水道事業経営に必要な資金を措置し、事業運営の安定化を図ることにより、下水道サービスを持続的に提供する。		事業の概要	第 2 次加須市公共下水道事業中期経営計画（経営戦略）により試算した収支計画に基づき、適正な繰出金を措置する。

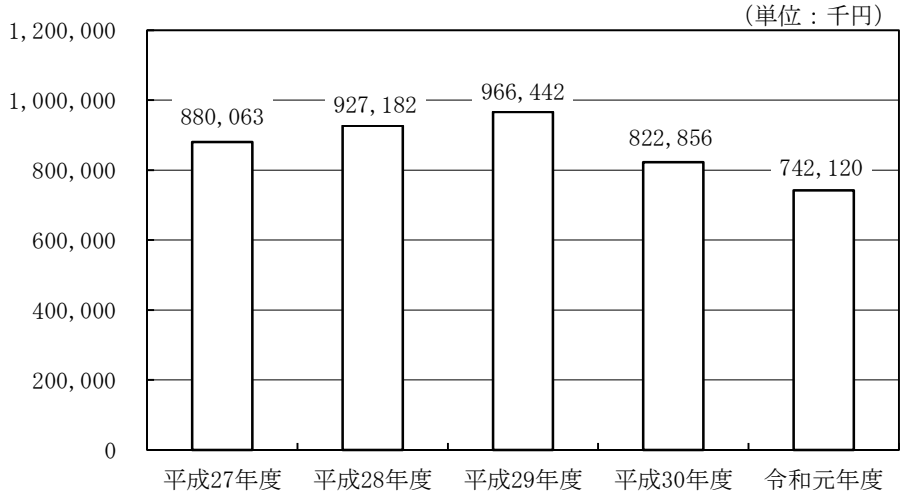
事業の実績・成果

1　下水道事業会計負担金の推移

「第 2 次加須市公共下水道事業中期経営計画（経営戦略）」に基づき、事業経営の健全化及び下水道サービスの持続的な提供を図るとともに、負担金額の低減に努めている。



2　下水道事業会計における内部留保資金の推移



※内部留保資金：減価償却費など現金の支出が伴わない経費により蓄積された資金や積立金などの利益剰余金で、企業内部に留保されている資金のこと。

事 業 名	溢水時緊急対策事業			（総合戦略）
担 当 課	治水課		総合振興計画コード	3141-04
款	08	土木費	当 初 予 算 額	1,390,000 円
項	04	都市計画費	最 終 予 算 額	1,390,000 円
目	07	都市下水路費	決 算 額	1,016,762 円
事業の目的	市民との協働により溢水に伴う被害の軽減を図る。	事業の概要	加須市溢水対策計画に基づき、集中豪雨や台風等において、溢水被害を最小限にとどめるため、水防用土のうの作成、運搬をおこなう。また、水防情報システム（水防協力員）によりバリケード等を設置するため地元の協力者へ依頼している。	

事業の実績・成果

集中豪雨や台風による溢水が発生した場合に、正確な情報を早期に把握することが大切という観点から、道路冠水や家屋の浸水被害が多発している 14 地区について、34 名の周辺住民の協働の連絡体制（平成 21 年度から継続）を構築し、溢水被害の軽減を図った。

水防協力員配置地区（自治協力団体）：　大桑第 1 区、久下 1 丁目、礼羽第 1 区、大桑第 3 区、土手町内会、花崎 1 丁目、下高柳地区、三俣第 3 区、三俣第 4 区、中央 1 丁目、正能 2 区、小野袋地区、北下新井上地区、新川通下地区

事 業 名	市街地排水路維持管理事業			（総合戦略）
担 当 課	治水課		総合振興計画コード	3141-09
款	08	土木費	当 初 予 算 額	26,678,000 円
項	04	都市計画費	最 終 予 算 額	26,678,000 円
目	07	都市下水路費	決 算 額	22,663,280 円
事業の目的	市街地における集中豪雨等による浸水被害の解消を図る。	事業の概要	排水機場の計画的なポンプ設備の修繕や保守点検。 市街化区域内を流れる市管理水路の維持管理（雑草刈払、浚渫、転落防止柵）	

事業の実績・成果

排水路の維持管理（雑草刈払、浚渫、転落防止柵改修）により、雨水の水路機能が向上し、溢水被害の改善が図られた。

（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
委託料	15,731,118	15,368,238	13,813,041	17,704,748	16,472,976

（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
工事費	5,162,400	8,667,000	9,369,000	0	0

事 業 名	溢水対策整備事業			（総合戦略）
担 当 課	治水課		総合振興計画コード	3141-01
款	08	土木費	当 初 予 算 額	0 円
項	04	都市計画費	最 終 予 算 額	22,101,000 円
目	07	都市下水路費	決 算 額	5,500,000 円
事業の目的	溢水や浸水被害を防止するため、溢水箇所などの流域を含めた広域的な視点による整備に努める。	事業の概要	溢水対策計画に基づき、溢水被害箇所の水系ごとに、排水路の改修や道路冠水箇所の道路嵩上げ、排水ポンプ等の設置を行う。	

事業の実績・成果

溢水対策計画に基づく水路改修や道路嵩上げなどの対策工事により溢水被害の改善が図られた。

工事施工場所

加須地域　　下高柳地内において、溢水対策工事をした。

（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
委託料	11,020,320	11,290,320	853,200	3,321,000	0

（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
工事費	41,225,600	56,099,520	8,900,000	0	5,500,000

【繰越明許】

加須地域

工事名　：　礼羽地内溢水対策工事

工事費　：　10,500,000 円

繰越理由：　12 月補正により予算措置したため、年度内の工事完了が困難となったため、令和 2 年度へ繰越した。

委託名　：　多門寺地内溢水対策測量設計委託

委託費　：　5,601,000 円

繰越理由：　3 月補正により予算措置したため、年度内の発注が困難となったため、令和 2 年度へ繰越した。

事 業 名	溢水対策整備事業【繰越明許】			（総合戦略）
担 当 課	治水課		総合振興計画コード	3141-01
款	08	土木費	当 初 予 算 額	23,000,000 円
項	04	都市計画費	最 終 予 算 額	23,000,000 円
目	07	都市下水路費	決 算 額	22,128,600 円
事業の目的	溢水や浸水被害を防止するため、溢水箇所などの流域を含めた広域的な視点による整備に努める。	事業の概要	溢水対策計画に基づき、溢水被害箇所の水系ごとに、排水路の改修や道路冠水箇所の道路嵩上げ、排水ポンプ等の設置を行う。	

事業の実績・成果

【平成30年度から令和元年度へ繰越を行った理由】

加須地域
工事名　：　下高柳地内溢水対策工事
工事費　：　22,128,600円
繰越理由：　12 月補正により予算措置したため、年度内の工事完了が困難となったため、令和元年度へ繰越した。

事 業 名	調整池維持管理事業（市街化区域）			（総合戦略）
担 当 課	治水課		総合振興計画コード	3141-05
款	08	土木費	当 初 予 算 額	25,689,000 円
項	04	都市計画費	最 終 予 算 額	25,978,509 円
目	08	環境整備費	決 算 額	23,437,697 円
事業の目的	市街化区域にある調整池の維持管理を適正に行い、排水区域の水害を防止する。	事業の概要	溢水被害の発生を抑えるため施設の保守点検・計画的な機器修繕及び調整池内の雑草刈払を実施する。	

事業の実績・成果

市街化区域内にある調整池の排水機場保守、雑草刈払い、修繕等を実施し、調整池の貯留、排水機能を保持した。

維持管理費の内訳
加須地域

加須流通業務団地調整池	2,546,835 円
下高柳工業団地調整池（北・南側）	3,466,452 円
川口調整池	4,261,885 円
花崎北調整池	4,422,000 円
三俣調整池	1,027,078 円
加須大利根工業団地調整池	695,200 円

騎西地域

藤の台工業団地調整池	4,161,348 円
新道上調整池	333,150 円
騎西調整池	16,093 円
あじさい調整池	111,554 円

大利根地域

大利根ハイツ調整池	64,702 円
星子沼調整池	978,680 円
新利根調整池	1,352,720 円

事業名		調整池維持管理事業（市街化区域）【繰越明許】			（総合戦略）
担当課		治水課		総合振興計画コード	3141-05
款	08	土木費		当初予算額	12,960,000 円
項	04	都市計画費		最終予算額	12,960,000 円
目	08	環境整備費		決算額	11,605,680 円
事業の目的	市街化区域にある調整池の維持管理を適正に行い、排水区域の水害を防止する。		事業の概要	溢水被害の発生を抑えるため施設の保守点検・計画的な機器修繕及び調整池内の雑草刈払を実施する。	

事業の実績・成果

【平成30年度から令和元年度へ繰越を行った理由】

加須地域

工事名　：　加須流通業務団地調整池1号ポンプ修繕工事

工事費　：　11,605,680 円

繰越理由：　ポンプの仕様により、部品調達に不測の日数を要し、年度内の工事完了が困難となったため、令和元年度へ繰越した。

事 業 名		調整池維持管理事業（市街化調整区域）		（総合戦略）
担 当 課		治水課	総合振興計画コード	3141-06
款	08	土木費	当 初 予 算 額	5,782,000 円
項	04	都市計画費	最 終 予 算 額	5,492,491 円
目	08	環境整備費	決 算 額	4,957,742 円
事業の目的	市街化調整区域にある調整池の維持管理を適正に行い、排水区域の水害を防止する。	事業の概要	溢水被害の発生を抑えるため施設の保守点検・計画的な機器修繕及び調整池内の雑草刈払を実施する。	

事業の実績・成果

市街化調整区域内にある調整池の排水機場保守、雑草刈払い、修繕等を実施し、調整池の貯留、排水機能を保持した。

維持管理費の内訳

加須地域

不動岡調整池	577,752 円
北小浜調整池	1,062,466 円
水深調整池	81,435 円
志多見ミニ工業団地調整池	486,000 円
下高柳調整池	36,966 円

騎西地域

騎西城南産業団地調整池	2,001,856 円
騎西総合公園多目的広場調整池	110,196 円
上崎調整池	15,805 円
種足野通川調整池	431,053 円

大利根地域

加須ＩＣ東地区産業団地調整池	154,213 円

事 業 名		市営住宅管理運営事業		
担 当 課		建築開発課	総合振興計画コード	3213-01
款	08	土木費	当 初 予 算 額	21,824,000 円
項	05	住宅費	最 終 予 算 額	21,824,000 円
目	01	住宅管理費	決 算 額	21,792,724 円
事業の目的	低所得者世帯に低廉な家賃で住宅を供給する。 市が管理する161戸の市営住宅の維持管理や居住環境の向上を図る。	事業の概要	・市営住宅 161 戸(秋葉団地:58 戸、三俣団地:28 戸、下崎住宅:8 戸、天沼団地:57 戸、北川辺住宅 10 戸)の入居管理、施設維持管理	

事業の実績・成果

良好な居住環境を確保するため、管理代行を行う埼玉県住宅供給公社と協議等をしながら市営住宅の維持管理を行った。

1　管理戸数（秋葉団地：58 戸、三俣団地：28 戸、下崎住宅：8 戸、天沼団地：57 戸、北川辺住宅：10 戸）合計 161 戸

2　定期公募：2 回（6 月募集：9 戸の内 3 戸入居、12 月募集：5 戸の内 2 戸入居）

3　随時募集：　定期公募で入居にならなかった住戸を対象に随時募集（平成 29 年 8 月 1 日から）（のべ 21 戸の内 5 戸入居）

4　令和元年度末現在入居戸数状況　（単位：戸）

団　地　名	現入居戸数	令和元年度入居	令和元年度退去	備　考
秋葉団地	40	2	4	空き 18 戸
三俣団地	28	4	2	空き　0 戸
下崎住宅	7	0	1	空き　1 戸
天沼団地	55	4	2	空き　2 戸
北川辺住宅	5	0	0	空き　5 戸

※「市営住宅の家賃・駐車場使用料の推移」はゼロ予算事業の市営住宅使用料収納対策事業に掲載。

事 業 名		小集落改良住宅管理運営事業		
担 当 課		建築開発課	総合振興計画コード	6211-06
款	08	土木費	当 初 予 算 額	2,758,000 円
項	05	住宅費	最 終 予 算 額	2,758,000 円
目	02	小集落改良住宅管理費	決 算 額	1,489,079 円
事業の目的	歴史的、社会的理由から整備が遅れた地域の住環境を整備する。		事業の概要	・小集落改良住宅 28 戸の入居管理、施設維持管理を行うとともに、住宅家賃の徴収を実施する。

事業の実績・成果

1　生活の安定を図るため、施設の維持管理を行った。
　○管理戸数 28 戸（加須市志多見地内）

2　小集落改良住宅の家賃収納の推移

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
調定額（円）	現年度	855,000	828,000	780,000	684,000	663,400
	過年度	1,092,000	1,266,000	1,401,000	1,494,000	1,596,000
	計	1,947,000	2,094,000	2,181,000	2,178,000	2,259,400
収納金額（円）	現年度	627,000	603,000	618,000	540,000	564,400
	過年度	54,000	90,000	69,000	42,000	210,000
	計	681,000	693,000	687,000	582,000	774,400
収納率（%）	現年度	73.33	72.82	79.23	78.94	85.08
	過年度	4.94	7.10	4.92	2.81	13.16
	計	34.97	33.09	31.49	26.72	34.27

※騎西地域、北川辺地域、大利根地域においては該当施設なし。

・入居者のために適切な維持管理をしながら住環境の整備を図った。

3　令和元年度末現在入居戸数状況　（単位：戸）

団　地　名	現入居戸数	令和元年度入居	令和元年度退去	備　　考
小集落改良住宅	19	1	1	空き 9 戸

事 業 名		埼玉東部消防組合運営事業		
担 当 課		危機管理防災課	総合振興計画コード	3151-01
款	09	消防費	当 初 予 算 額	1,364,906,000 円
項	01	消防費	最 終 予 算 額	1,364,906,000 円
目	01	常備消防費	決 算 額	1,364,906,000 円
事業の目的	埼玉東部消防組合の消防・救急活動により、災害や事故から住民の生命、身体及び財産を守る。		事業の概要	加須市、久喜市、幸手市、白岡市、宮代町及び杉戸町の消防に関する事務を共同処理するため、埼玉東部消防組合を運営する。【埼玉東部消防組合実施】

事業の実績・成果

埼玉東部消防組合運営等に係る加須市分の負担金を支出した。

○埼玉東部消防組合運営負担金（常備分）：1,308,063,000 円
埼玉東部消防組合運営費（共通経費分）に係る負担金
○埼玉東部消防組合負担金（非常備分）： 780,000 円
加須市女性防火クラブ負担金、加須市危険物防火安全協会負担金
○埼玉東部消防組合特別負担金： 56,063,000 円
高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の維持管理に要する経費等

【火災・救急】埼玉東部消防組合加須市内出動件数（1 月 1 日～12 月 31 日） （単位：件）

	平成 27 年中	平成 28 年中	平成 29 年中	平成 30 年中	令和元年中
火災件数	55	32	55	49	49
救急件数	4,755	4,806	4,857	4,957	5,115

資料提供：埼玉東部消防組合

【火災件数の内訳】（1 月 1 日～12 月 31 日） （単位：件）

	平成 27 年中	平成 28 年中	平成 29 年中	平成 30 年中	令和元年中
建 物	22	19	21	21	25
車 両	6	2	6	9	5
その他	27	11	28	19	19
合 計	55	32	55	49	49

資料提供：埼玉東部消防組合

事業名	消防団活動事業			（総合戦略）
担当課	危機管理防災課		総合振興計画コード	3152-01
款	09	消防費	当初予算額	97,526,000円
項	01	消防費	最終予算額	93,635,097円
目	02	非常備消防費	決算額	82,117,039円
事業の目的	地域における消防防災のリーダーとして地域に密着し、市民の生命財産の保護及び安全安心なまちづくりを推進する。		事業の概要	消防・自主防災訓練や警戒等による消防防災活動に対する支援、機材・器具等の保守及び更新を行う。 消防団活動のＰＲを行う。 円滑な消防団活動が行えるよう消防署との連携を図る。 総務省消防庁から配置された救助資機材搭載車両の活用を図る。

事業の実績・成果

加須市消防団員の資質向上に努め、火災防ぎょ・防火啓発活動、警戒活動など市民の安全安心の確保のために活動した。

加須市に通学している学生を対象に機能別団員として任命し、大規模災害時に活動ができる体制を整えた。

1　消防団員数の推移　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
消防団員数	418	405	414	418	430
(女性消防団員数)	(7)	(7)	(10)	(11)	(11)
(機能別団員数)			(10)	(20)	(20)

2　消防団活動状況

(1)火災訓練等出動人員の状況　（単位：人）

	平成27年中	平成28年中	平成29年中	平成30年中	令和元年中
火災・風水害	1,608	904	1,757	1,565	1,523
演習・訓練等	6,588	6,379	7,990	7,455	7,562
広報・指導	1,029	1,132	1,215	1,369	1,382
特別警戒	311	351	355	353	358
その他	201	331	367	351	355
合計	9,737	9,097	11,684	11,093	11,180

(2)機能別団員活動状況

日程	事業名	参加者	団員数
令和元年5月3日	市民平和際	11名	20名
令和元年5月26日	地区防災訓練（水深地区）	9名	20名
令和元年6月20日	平成国際大学避難訓練	10名	20名
令和元年8月8日	第1回埼玉県学生消防団研修	5名	20名
令和元年8月31日	総合防災訓練	2名	20名
令和元年10月16日	機能別団員辞令交付式	13名	20名
令和元年10月26日	平成国際大学大学祭啓発活動	5名	20名
令和元年11月17日	消防特別点検	7名	20名
令和2年1月5日	消防出初式、機能別団員会議	8名	20名
令和2年2月19日	第2回埼玉県学生消防団研修	10名	20名
計		80名	―

3　消防団第1分団詰所雨漏り修繕　498,636円

第1分団詰所の屋上の防水処理による雨漏り修繕をした。

事業名	消防団特別活動事業			
担当課	危機管理防災課		総合振興計画コード	3152-02
款	09	消防費	当初予算額	3,235,000円
項	01	消防費	最終予算額	3,235,000円
目	02	非常備消防費	決算額	2,598,168円
事業の目的	市民の生命、身体及び財産を災害から守るため。旺盛なる消防精神と厳粛なる規律を図り、消防団員の技能の熟達と士気を高める。	事業の概要	消防特別点検や消防出初式において、消防団員の礼式や、ポンプ操法等を実施し、日ごろの成果を市長が点検し、有事に対し万全な体制を整える。 また、加須市民平和祭の雑踏警戒などに参加し啓発を図る。	

事業の実績・成果

火災期を迎え団員の技能の熟達と士気を高めるため、団員377名を集め、加須市消防特別点検を加須市民運動公園において、盛大に実施した。

全地域の自治協力団体代表、市議会議員、県議会議員、各団体の代表等を招待し、加須市全体としての防災意識の高揚を図った。

また、新春初頭の恒例行事として消防出初式を実施した。

1　消防特別点検

(1)　実施日　　令和元年11月17日（日）
(2)　実施場所　　加須市民運動公園
(3)　参加機関　　消防団・女性防火クラブ
(4)　点検事項　　服装規律の点検
　　機械器具の点検
　　分列行進（徒歩・車両）
　　ポンプ車操法

2　消防出初式

(1)　実施日　　令和2年1月5日（日）
(2)　実施場所　　加須文化・学習センター「パストラルかぞ」駐車場
(3)　参加機関　　埼玉東部消防組合加須消防署・埼玉東部消防組合消防音楽隊・
　　消防団・女性防火クラブ・加須鳶組合・埼玉県防災航空隊
(4)　参加車両　　消防署車両　9台
　　消防団車両　13台
(5)　実施内容　　消防署による実戦放水訓練
　　鳶組合による纏振り・はしご乗りの演技
　　市長巡閲
　　車両の観閲

事業名	消防水利事業		
担当課	危機管理防災課	総合振興計画コード	3151-02
款 09	消防費	当初予算額	66,043,000円
項 01	消防費	最終予算額	65,943,060円
目 03	消防施設費	決算額	60,278,310円
事業の目的	火災による被害の軽減を図るため、消防活動に有効な場所に消防水利を整備する。	事業の概要	【消火栓】 ・埼玉東部消防組合で設置箇所を検討、水道課で事業執行。消火栓（開発等により民間から移譲された物も含む）の保守管理も水道課が実施。 【防火水槽】 ・埼玉東部消防組合により有蓋化箇所を市関係課と調整、検討し、有蓋化工事を実施。 ・防火水槽の維持管理も組合が実施。

事業の実績・成果

1　市内の防火水槽の維持管理、修繕、新設工事に関する埼玉東部消防組合への負担金を支出した。

○埼玉東部消防組合負担金（非常備分）：27,797,000円

防火水槽有蓋化：5基

2　市内の公設消火栓等水利施設の維持管理、修繕、新設工事に関する加須市水道事業に係る負担金を支出した。

また、市内の消火栓の一斉点検をした結果、ボルトの腐食等で早急に修理が必要な消火栓135基の修繕を実施した。

○消火栓維持管理負担金：　6,162,000円

○消火栓新設工事負担金：　6,450,000円

○消火栓修繕負担金：　19,869,310円

【年度別整備状況（公設・私設水利）】埼玉東部消防組合加須消防署管内　（単位：箇所）

種別／年度	消火栓	防火水槽	プール	池水	河川	計
平成27年度	2,195	1,044	37	16	88	3,380
平成28年度	2,212	1,053	37	13	88	3,403
平成29年度	2,219	1,054	37	13	88	3,411
平成30年度	2,235	1,057	37	16	89	3,434
令和元年度	2,253	1,063	36	16	89	3,457

資料提供：埼玉東部消防組合

事業名	消防施設整備基金事業			
担当課	危機管理防災課		総合振興計画コード	3151-03
款	09	消防費	当初予算額	1,000円
項	01	消防費	最終予算額	100,940円
目	03	消防施設費	決算額	99,948円
事業の目的	消防・救急力の強化を図るため、消防施設・車両の整備を目的とした基金の管理・運用を行う。	事業の概要	消防施設の整備等を目的とした経費に充てる財源のための基金へ積み立てる。 加須市消防車両整備費等の協力寄附金取扱要綱に基づく寄附金を受け入れる。 （中高層建築物の地上5階以上又は高さ15m以上の階の床面積の合計に1㎡当たり1,000円を乗じて得た額を基準）	

事業の実績・成果

消防施設の整備等を目的とした経費に充てる財源として、ダイコー株式会社から寄附金を受け入れた。また、利子を積み立てた。

（単位：円）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
前年度末残高		914,944	915,126	915,136	915,144	915,152
決算年度中増減高		182	10	8	8	99,948
内訳	寄附金					99,940
	利子	182	10	8	8	8
	繰入金					
決算年度末現在高		915,126	915,136	915,144	915,152	1,015,100

事業名	消防施設管理事業			
担当課	危機管理防災課		総合振興計画コード	3151-04
款	09	消防費	当初予算額	30,398,000円
項	01	消防費	最終予算額	30,398,000円
目	03	消防施設費	決算額	30,270,000円
事業の目的	加須市防災センターの構成施設である埼玉東部消防組合加須消防署の施設の充実を図り、消防・防災体制を整える。	事業の概要	加須市防災センターを構成する施設である埼玉東部消防組合加須消防署の管理運営に関する負担金を支出する。	

事業の実績・成果

1　消防審議会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

2　埼玉東部消防組合加須消防署の管理運営に係る負担金を支出した。

○埼玉東部消防組合特別負担金
・加須消防署新庁舎維持管理事業に係る負担金：30,270,000円

事業名	震災対策訓練事業			（総合戦略）
担当課	危機管理防災課		総合振興計画コード	3131-01
款	09	消防費	当初予算額	1,436,000円
項	01	消防費	最終予算額	1,436,000円
目	04	防災費	決算額	676,936円
事業の目的	震災を想定した防災訓練を実施することにより、市民の防災意識の高揚と、地域防災力の向上を図る。	事業の概要	【総合防災訓練】警察、消防、協定締結先等と連携した総合的な訓練 【地区防災訓練】避難所設営訓練、地区住民参加による避難訓練等、実践的な参加型訓練 【実地訓練】災害地区支援班と地区住民合同による避難所運営等を想定した拠点避難所における実地訓練等	

事業の実績・成果

警察、消防及び応援協定締結先等と連携を強化する総合防災訓練、地域ごとに実践的な訓練を行う地区防災訓練等を実施することにより、防災に関する知識と意識の向上を図ることができた。

1　加須市総合防災訓練【地震想定】
期　　日　　令和元年8月31日（土）
会　　場　　大利根運動公園
参加人数　　463人

2　地区防災訓練【地震想定】
各地域で避難誘導、避難所開設、炊き出し、初期消火、応急救護等を行う地区防災訓練を実施した。

地域	地区	開催日	会場	参加人数
騎西	田ケ谷	令和元年5月11日（土）	田ケ谷小学校	303人
加須	水深	令和元年5月26日（日）	水深小学校	323人
北川辺	北川辺西	令和元年9月8日（日）	北川辺西小学校	237人
加須	樋遣川	令和元年11月10日（日）	樋遣川小学校	350人
大利根	原道	令和元年12月8日（日）	原道小学校	266人
合計				1,479人

3　Ｊアラートによる情報伝達訓練（緊急地震速報に合わせたシェイクアウト行動の訓練）
実施日　令和元年6月18日（火）10時
実施場所　市内の各公共施設、市立の各小中学校等
参加実績　全57施設、7,756人

事 業 名		防災啓発事業			（総合戦略）
担 当 課		危機管理防災課		総合振興計画コード	3131-03
款	09	消防費		当 初 予 算 額	657,000 円
項	01	消防費		最 終 予 算 額	4,935,000 円
目	04	防災費		決 算 額	588,509 円
事業の目的	市民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るために、防災に対する啓発活動を行う。		事業の概要	・防災研修会等を実施し、防災に関する啓発を行う。 ・防災出前講座等を行い防災に関する啓発を行う。 ・防災啓発物の作成・購入・配布を行う。	

事業の実績・成果

1　ハザードマップ説明会の実施

平成30年度に作成し、令和元年5月に全戸配布した新たなハザードマップの見方、本市における災害リスク、日ごろの備えと避難行動等を広く周知し、市民が主体的に災害への備え、いざというときの早目の避難（広域避難）が行えるよう周知・啓発を図るため、ハザードマップ説明会を実施した。

実施期間　令和元年6月17日（月）～8月3日（土）　全17回
実施場所　公民館等
対　　象　自主防災組織、自治協力団体、消防団（水防団）、民生委員、老人会、ＰＴＡ等
　　計1,132人
内　　容　地震ハザードマップ・地震への備えについて
　　水害時の避難行動マップ・水害時の避難方法等について

2　防災講演会の実施　※ 計 934人の参加

日時：令和元年 8月10日（土）
場所：利根川右岸地域住民：加須文化・学習センター（パストラルかぞ）
　　利根川左岸地域住民：北川辺文化・学習センター（みのり）
内容：加須市における大規模水害と避難対策を考える
　　～荒ぶる災害に向かい合う犠牲者ゼロの地域づくり～
講師：片田敏孝氏（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター特任教授）

3　防災出前講座の実施

	回数(回)	人数(人)
加須	14	375
騎西	5	170
北川辺	3	125
大利根	20	537
合計	42	1,207

【繰越明許　令和元年度から令和2年度へ繰り越す理由】

以下については、年度内に完了しないため、令和2年度に繰り越した。

1　避難所案内マップ作成　繰越明許額　274,000円
2　水害時の避難行動マップ改定等　繰越明許額　4,004,000円

事業名	地域防災計画管理事業			
担当課	危機管理防災課		総合振興計画コード	3132-01
款	09	消防費	当初予算額	132,000円
項	01	消防費	最終予算額	132,000円
目	04	防災費	決算額	0円
事業の目的	災害から市民の生命及び財産を守るために、加須市地域防災計画を適正に管理するとともに周知を図る。	事業の概要	・地域防災計画見直しに係る庁内会議の開催 ・防災会議の開催 ・地域防災計画の周知	

事業の実績・成果

庁内組織による検討（台風第19号対応検証）

令和元年12月26日　第1回加須市台風第19号対応検証会議
・台風第19号対応の課題と対策（案）
・台風第19号対応の検証に当たっての情報収集等
・市職員アンケート集計結果
令和2年 1月20日　第2回台風第19号対応検証会議
・外水初動対策見直しの基本的な前提条件（案）
・市指定避難所の数、収容可能、駐車スペース等の確認
・市民アンケート中間報告
令和2年 1月27日　第3回台風第19号対応検証会議
・コールセンター体制の整備（案）
・市内広域避難所及び駐車スペースの確保（案）
令和2年 2月10日　第4回台風第19号対応検証会議
・避難情報発令基準（案）
・災害時要援護者対策（案）
・アンケート調査の分析等の報告
令和2年 2月18日　第5回台風第19号対応検証会議
・広域避難経路（案）
令和2年 3月 9日　第6回台風第19号対応検証会議
・台風等の災害時の情報発信（案）
・福祉避難所の対象災害の確認
令和2年 3月17日　第7回台風第19号対応検証会議
・自主避難所の運営に（案）
・新たな災害地区支援班編成の見直し・配置・編成（案）
・荒川洪水対策（案）
令和2年 3月23日　第8回台風第19号対応検証会議
・ＮＨＫスペシャル「大槌町町役場被災の真実」の視聴
令和2年 3月23日　第9回台風第19号対応検証会議
・避難情報発令基準（案）
・避難所全体の見直し（案）
・北川辺総合支所本部の移転及びタイミング等（案）

事業名	国民保護計画管理事業			
担当課	危機管理防災課		総合振興計画コード	3132-02
款	09	消防費	当初予算額	66,000円
項	01	消防費	最終予算額	66,000円
目	04	防災費	決算額	0円
事業の目的	我が国に対する武力攻撃事態等から、市民の生命、身体、財産を保護するために、加須市国民保護計画を適正管理するとともに周知を図る。	事業の概要	・国民保護協議会及び庁内会議を開催する。 ・当該計画を周知する。 ・初動体制の確保を行う。	

事業の実績・成果

国や県と連携し、武力攻撃事態等に対処するにあたり、迅速・的確に市民に防災行政無線を用いて情報を伝達するためのＪアラート（全国瞬時警報システム）や、職場に大量の情報を電子メールで送るＥｍ－Ｎｅｔ（緊急情報ネットワークシステム）等を用い、速やかに情報収集・伝達が行えるように備えるとともに、平時からシステムの点検や情報伝達訓練を実施している。

事業名	防災管理事業			
担当課	危機管理防災課		総合振興計画コード	3133-01
款	09	消防費	当初予算額	3,838,000円
項	01	消防費	最終予算額	8,079,123円
目	04	防災費	決算額	7,167,237円
事業の目的	災害発生時に被害を最小限に抑えるため、防災管理体制の整備を図る。	事業の概要	災害の発生に備え、市の初動体制等の組織整備、災害時優先電話、雨量計システム及び防災倉庫等の維持管理を行う。 また、災害時応援協定締結を推進するとともに、協定先との連携強化を図る。 そのほか、災害時における業務継続計画（ＢＣＰ）に基づく管理を行う。	

事業の実績・成果

1　災害に備える協定の締結

災害に備え、各種協定を締結した。　（単位：件）

区分	締結数	うち新規	新規締結先
自治体間の相互応援協定	9	1	群馬県館林市
物資の供給に関する協定	19	1	一般社団法人埼玉県LPガス協会加須支部
輸送に関する協定	6	0	
災害復旧に関する協定	5	0	
救急救護に関する協定	3	0	
放送に関する協定	4	0	
報道に関する協定	1	0	
郵便局との協定	1	0	
避難場所として使用する協定	20	1	埼玉県立加須げんきプラザ
復旧その他に関する協定	8	0	
計	76	3	

2　防災関係に共通する事務の執行
防災関係事業を円滑に実施するため、防災服等の備品購入や、自動車の維持管理等を行った。

3　雨量計システムの整備管理
(1) 設置箇所：騎西総合支所、北川辺総合支所、大利根総合支所
(2)警報メール：加須市地域防災計画に規定上の参集基準である1時間20ﾐﾘ以上又は3時間40ﾐﾘ以上の降雨量を測定した場合、迅速に参集できるように担当職員に警報メールが送信される。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
警報メールの発令回数	9	5	5	14

4　Ｊアラートによる情報伝達訓練
(1) 気象情報（緊急地震速報）1回　(2) 国民保護情報（即時音声合成情報）4回

5　安否確認情報伝達訓練　2回

6　Ｅｍ－Ｎｅｔによる情報伝達訓練　12回（毎月）

7　令和元年東日本台風（台風第19号）対応に関するアンケート調査の実施
市民アンケート　対象 12,048通　有効回答 5,622票　回収率46.7%
支援者アンケート　対象　1,290通　有効回答　754票　回収率58.4%

事業名	避難所整備事業			（総合戦略）
担当課	危機管理防災課		総合振興計画コード	3133-02
款	09	消防費	当初予算額	7,334,000円
項	01	消防費	最終予算額	29,487,000円
目	04	防災費	決算額	4,411,116円
事業の目的	災害時に備え、市内の避難所において適切な避難所運営ができるよう、避難所環境の整備・充実を図る。		事業の概要	・特に拠点避難所における環境整備等の計画に基づき、工事・修繕等を行い、避難所の環境整備や維持管理等を行う。 ・拠点避難所における非常災害用井戸（加須地域のみ）等の維持管理を行う。 ・避難所看板の計画的な整備を行う。

事業の実績・成果

避難所で基本的な生活を確保するための環境整備・維持管理を行った。
また、避難所看板整備（設置・修正）計画等に基づき避難所看板の改修・整備を行った。

1　保守･管理
○市内小学校非常災害用井戸　発電機装置保安管理業務　11箇所
○市内小学校非常災害用井戸　水質検査　11箇所

2　避難所看板整備
○新設：10箇所、修繕：1箇所

【繰越明許　令和元年度から令和2年度へ繰り越す理由】
以下については、年度内に完了しないため、令和2年度に繰り越した。
1　広域避難場所用消耗品セット一式　繰越明許額　2,800,000円
2　避難所看板名称整備委託　繰越明許額　2,853,000円
3　広域避難場所用資機材備品　繰越明許額　16,500,000円

事 業 名	自主防災活動組織育成・支援事業			（総合戦略）
担 当 課	危機管理防災課		総合振興計画コード	3133-03
款	09	消防費	当 初 予 算 額	5,163,000 円
項	01	消防費	最 終 予 算 額	5,163,000 円
目	04	防災費	決 算 額	2,728,300 円
事業の目的	自主防災組織の新規結成と既存組織の活動を促進し、地域の防災力の向上を図る。	事業の概要	・自主防災組織における経費補助を行い、設立・活動の支援を図る。 ・出前講座や説明会の実施。	

事業の実績・成果

地域住民が連携して自分たちの地域の安全確保や被害を最小限にとどめるための活動を行う、自主防災組織設立を促進した。

資機材購入や防災訓練の補助金による支援により、自主防災組織の強化及び訓練実施促進が図られた。

1　自主防災組織設立支援等に関する説明会　　令和元年10月8日(火)　　15/22団体出席

防災リーダーとなる人材を養成することを目的に、自主防災組織リーダー養成講座を令和2年2月29日(土)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期となった。

2　令和元年度設立団体【4団体】

花崎三丁目自主防災会　　(平成31年 4月 23日設立)
三俣第二区　　(平成31年 4月 14日設立)
久下三丁目自主防災会　　(令和元年 7月 1日設立)
樋遣川第二区自主防災会　　(令和2年1月19日設立)

【自主防災組織数の推移】　　(単位：団体)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
組織数	128	132	142	146	150

【自主防災組織の組織率】加入世帯数／全世帯数×100　　(単位：%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
組織率	71.2%	75.9%	81.3%	83.2%	85.7%

3　自主防災訓練実施状況

訓練回数　29回　訓練組織　【33団体】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4団体が自主防災訓練中止又は延期となった。

4　防災訓練及び防災思想の経費に要する経費補助　【31団体】

5　防災用資機材等の購入に要する経費補助　【16団体】

6　設立に要する経費補助　【0団体】

事 業 名		防災行政無線管理運営事業		
担 当 課		危機管理防災課	総合振興計画コード	3133-04
款	09	消防費	当 初 予 算 額	45,163,000 円
項	01	消防費	最 終 予 算 額	567,410,730 円
目	04	防災費	決 算 額	45,118,647 円

事業の目的	市民に防災情報を迅速かつ正確に伝達し、災害時に即応できる体制を確立する。	事業の概要	・防災行政無線システムの保守管理及びバッテリー交換等の適正な管理を行う。 ・災害、犯罪、行政情報の放送を行う。 ・ホームページ及びかぞホッとメールへの配信、自動音声応答サービス等の補完対策の実施 ・Ｊアラートによる情報伝達

事業の実績・成果

1　防災行政無線通信設備保守管理業務
　災害時に円滑に放送するため、防災行政無線設備の機能維持に必要な保守点検等を行った。
(1) 固定系の精密点検及び安全点検　年１回
(2) 移動系ＭＣＡ無線機の精密点検　年１回
(3) 戸別受信機の簡易点検　随時
(4) 防災行政無線担当者の実務研修　年３回
(5) 屋外拡声子局のバッテリー交換　年 92 か所（204 台）
(6) Ｊアラート設備の保守管理　随時

2　放送内容・回数
(1) 定時放送（機器の点検を目的とした試験放送）
　平和の鐘、児童の声による見守り放送、メロディーを定時に放送している。
(2) その他の放送

（単位：回）

放送内容	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
交通安全啓発	12	11	16	53	11
防犯啓発	33	33	52	71	51
危機管理・防災	40	29	27	13	30
火災発生	6	11	16	29	20
光化学スモッグ	8	1	8	3	7
熱中症予防	39	34	25	49	39
イベント広報	44	39	42	12	5
未帰宅者発見依頼	43	63	45	65	50
選挙啓発	34	10	10	5	44
動物	－	－	20	1	4
その他	－	－	15	7	48
合計	259	231	276	308	309

※動物及びその他の区分は、平成 29 年度から新設

【繰越明許　令和元年度から令和２年度へ繰り越す理由】
以下については、年度内に完了しないため、令和２年度に繰り越した。
1　希望する世帯へ無償貸与するための防災ラジオの購入　繰越明許額　469,342,271 円
2　情報配信多様化サーバ及び防災アプリ作成等機能拡充　繰越明許額　52,129,000 円
3　自動音声応答サービスのフリーダイヤル化　繰越明許額　22,000 円
4　携帯型無線機用アンテナ設置（北川辺総合支所）　繰越明許額　86,000 円

事業名	災害用物資確保事業			（総合戦略）
担当課	危機管理防災課		総合振興計画コード	3133-05
款	09	消防費	当初予算額	9,401,000円
項	01	消防費	最終予算額	14,276,000円
目	04	防災費	決算額	12,441,726円
事業の目的	災害時において避難所等で必要となる食料や生活必需品などの災害用物資の備蓄を行う。	事業の概要	・震災及び風水害に応じた食料、生活必需品等の備蓄及び民間機関等との協定により総合的な備蓄体制を確立し災害用物資を確保する ・備蓄食料の補充・廃棄などの適正管理と拠点避難所への分散配置を図る ・生活必需品等（食料、生活用品、医薬品、衛生用品、毛布、消耗品）の備蓄 ・防災倉庫等の維持管理経費 ・避難所運営に伴う資機（器）材等の整備	

事業の実績・成果

災害発生時に備え非常用食料等を迅速かつ的確に配給するため、拠点避難所等に食料品及び生活用品の分散配置を行った。また、令和元年東日本台風（台風第19号）で使用した物資の補充や毛布のリパックを行った。

【備蓄品の購入数状況】

備蓄品	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
非常用備蓄食料品（食）		20,030	15,260	9,170	7,050 (1,870)
飲料水（本）	7,080	960	960	3,000	4,512 (1,104)
災害用備蓄毛布（枚）	600	760	600	600	400
避難所用マット（枚）	1,000	1,000	1,000	1,000	1,020 (210)
避難所用間仕切り（張）		7	30	30	30
電気式簡易トイレ（基）					8

※ その他、粉ミルク・使い捨て哺乳瓶・弾性ストッキング・携帯電話充電バッテリー・ガソリン缶詰等も備えた。

※（　）は令和元年東日本台風（台風第19号）で使用した物資の補充分（外数）。

【備蓄食料数（年度末現在）】　（単位：食）

備蓄食料品	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
乾パン	1,320				
ビスケット	25,200	21,260	12,300	12,600	12,900
クラッカー	1,320	7,000	15,960	15,960	15,890
アルファ米（五目）	16,750	12,450	5,700	5,700	
アルファ米田舎ごはん		9,000	14,900	14,900	20,650
おかゆ	1,050	900	900	850	850
わかめご飯	1,050	650	250		
パン	5,040	1,080	1,080	1,080	1,100
合計	51,730	52,340	51,090	51,090	51,390

※ 保存期間５年

事業名		被災者生活再建支援事業		
担当課		危機管理防災課	総合振興計画コード	3135-03
款	09	消防費	当初予算額	501,000円
項	01	消防費	最終予算額	501,000円
目	04	防災費	決算額	0円
事業の目的	災害時の住民への支援として、日赤や国（災害救助法の適用）の支援が得られない場合に利用する制度として、埼玉県と県内の市町村が費用を負担し合い、県内で住民が被災した際に当該対象者に対し適切に支援し、加須市及び県内住民の生活の安定と被災地の速やかな復興に資する。		事業の概要	・1「生活再建支援金に関する要綱」に則った、損壊家屋再建費用の支給支援 ・2「埼玉県・市町村家賃給付金に関する要綱」に則った、家屋損壊に伴う民間賃貸住宅賃借料の給付支援 ・3「埼玉県・市町村人的相互応援に関する要綱」に則った、罹災証明書発行に伴う職員などの相互派遣支援

事業の実績・成果

1　災害発生後、被災者に対し迅速な被災者支援ができるように、適切な支援体制を整えた。

2　令和元年度　当該支援に係る申請なし。

事業名		浸水住宅改善資金貸付事業		
担当課		危機管理防災課	総合振興計画コード	3141-12
款	09	消防費	当初予算額	5,084,000円
項	01	消防費	最終予算額	5,084,000円
目	04	防災費	決算額	0円
事業の目的	大雨等により床上床下浸水及び恐れのある住宅の改善を図るため住宅の改善資金の貸付及び利子補給の支援を行う。		事業の概要	貸付条件等 ・貸付資金は、1,000万円を限度として融資する。 ・貸付利率は、2.5%以内とする。 ・貸付期間は、15年以内とし、また借受人が約定どおり償還している場合には前年度償還した資金に係る利子の全額を補助する。 ・貸付に係る利子を補給する。

事業の実績・成果

1　浸水住宅改善資金：指定金融機関（埼玉りそな銀行加須支店）と協定し、預託を行った。
預託額　5,000,000円

2　令和元年度　申請なし。

事 業 名		利根川（右岸・左岸）及び渡良瀬川右岸の堤防強化対策事業		（総合戦略）
担 当 課		治水課	総合振興計画コード	3143-01
款	09	消防費	当 初 予 算 額	12,000 円
項	01	消防費	最 終 予 算 額	12,000 円
目	04	防災費	決 算 額	6,910 円
事業の目的	利根川及び渡良瀬川の堤防の決壊による洪水被害を防ぎ、市民の安全・安心を確保する。		事業の概要	国土交通省が実施している首都圏氾濫区域堤防強化対策や栄水防拠点整備等の整備を促進するために、地域との連絡調整や進捗説明など、国と連携して実施する。 利根川左岸の堤防嵩上げについても、「防災・減災、国土強靭化のための 3 か年緊急対策」で実施するため、地域協議会を設置して連携する。

事業の実績・成果

【食糧費】市が主催する地域協議会のお茶を購入した。　6,910 円

○首都圏氾濫区域堤防強化対策の推進
・堤防強化対策事業に係る沿川関係区長への説明会を実施（令和元年 5 月 17 日）
・関係機関との事業に係る各種協議・調整を実施

○利根川左岸並びに渡良瀬川右岸の堤防強化対策の推進
・地域協議会の開催（令和元年 7 月 17 日）
・利根川左岸工事説明会（令和元年 10 月）

○栄水防拠点の整備促進
・国土交通省令和元年度工事（令和元年 11 月 13 日完成）
　堤防上面整備（防草シート、砕石）
　法面整備（盛土・わら芝張）工事
　進入路、階段 2 箇所整備工事
・栄水防拠点出入口整備工事（市発注）（令和 2 年 2 月 28 日完成）
・関係機関との事業に係る各種協議・調整を実施。

事 業 名		栄・火打沼地区広域避難地整備事業		
担 当 課		農政建設課（北川辺）	総合振興計画コード	3144-01
款	09	消防費	当 初 予 算 額	1,209,000 円
項	01	消防費	最 終 予 算 額	8,909,000 円
目	04	防災費	決 算 額	7,191,583 円
事業の目的	洪水時における住民の安全を確保する。		事業の概要	年次計画（平成 24 年度～平成 30 年度）に基づき、国の水防拠点整備と併せた広域避難地の整備を行う。また、周辺市有地の管理を行う。

事業の実績・成果

平成 25 年度から国が施工している北川辺地域水防拠点整備による基盤整備が令和元年 11 月 13 日に完了した。また、市施工の出入口部整備が令和 2 年 3 月 12 日に完成し、全ての整備事業が完了した。

また、周辺市有地は、年 2 回の除草作業により火災予防や防犯対策が図られた。

○事業概要

事業名	北川辺地域水防拠点整備及び 北川辺地域広域避難地整備
平場面積	2.6ha
盛土高	12m
盛土量	約 55 万㎥

※令和元年度は圧密沈下に対応した約 7.6 万㎥の盛土工事が実施された。

○国の水防拠点整備との連携

・近隣自治会への回覧配布
・周辺住民への対応
・出入口部分の道路水路の協議

○周辺市有地の管理

・除草業務委託（年 2 回）

（単位：㎡）

除草面積	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000

○出入口部整備

・測量設計委託　　1,182 千円
・出入口整備工事　　5,808 千円

事 業 名	水害広域避難対策事業			（総合戦略）
担 当 課	危機管理防災課		総合振興計画コード	3144-04
款	09	消防費	当 初 予 算 額	256,000 円
項	01	消防費	最 終 予 算 額	2,358,000 円
目	04	防災費	決 算 額	1,970,923 円
事業の目的	大規模水害に対応するために、広域避難や緊急避難対策も含めた総合的な避難体制を構築する。	事業の概要	広域避難に係る検討を行い、地域防災計画に反映させ、水害に備える。 また、広域避難の実効性を高めるとともに、市民へ避難方法等の普及を図り、避難情報発令の際に、迅速に行動ができるように日頃から備える。	

事業の実績・成果

1　水害広域避難訓練

洪水避難訓練を実施し、市民が実践的な訓練に参加できる機会を増やし、水害時の対応方法を身につけるとともに防災意識の高揚を図ることができた。

バスによる市外の広域避難所の確認する広域避難訓練を実施した。

（1）実施日　　令和元年6月23日（日）

（2）広域避難訓練

浸水深が深く、浸水継続時間が長い、かつ家屋倒壊等の恐れがある地域から、比較的浸水の恐れが低い地域へ、災害時応援協定を締結したバス会社のバス等で避難する広域避難訓練を実施した。

市内の広域避難先である加須西中、ふじアリーナ、種足小では、避難所開設・運営（避難者受入れ訓練）、物資配給訓練等を実施した。

また、関東どまんなかサミット会議構成市町の協力を得て、確保した市外の広域避難所の現地確認を実施した。

訓　練　名	行　　程	参加者
避難者受入訓練 ※訓練参加した職員等	加須西中（大越地区）、ふじアリーナ（北川辺中地区）、種足小（豊野地区）	57名
市内広域避難訓練 ※バスに乗車した市民	大越小→加須西中→むさしの村→田ケ谷総合センター	45名
	北川辺中→ふじアリーナ	34名
	豊野小→種足小→SFAﾌｯﾄﾎﾞｰﾙｾﾝﾀｰ→大光電機（一時避難所）	42名
市外広域避難訓練 ※バスに乗車した市民	板倉町立東小学校、野木町立野木中学校 ※北川辺中地区の避難先	31名
計		209名

（3）参加機関　自治協力団体、自主防災組織、利根川上流河川事務所

市（危機管理防災課､治水課、各総合支所地域振興課、災害地区支援班員、施設管理者）

2　令和元年東日本台風（台風第19号）における広域避難の実施

令和元年東日本台風（台風第19号）で広域避難に使用したバスの借り上げ、協定に基づき開設した民間、協定締結自治体へ開設に係る費用を支払った。

（1）市外への広域避難者　857人（うち県外への避難者711人）

（2）バスを使用した広域避難者　約500人

（3）開設した広域避難所　市内12か所　市外4か所

事 業 名		水防センター管理運営事業		
担 当 課		治水課	総合振興計画コード	3145-01
款	09	消防費	当 初 予 算 額	1,202,000 円
項	01	消防費	最 終 予 算 額	1,202,000 円
目	04	防災費	決 算 額	1,177,996 円

事業の目的	利根川及び渡良瀬川の洪水等による被害の軽減を図るため、地域水防団等の待機場所、国や市の現地対策本部として、迅速な水防活動の拠点施設を担う水防センターの適切な維持管理を行う。	事業の概要	大利根水防センター及び合の川水防センターの維持管理を実施し、有事の際に備える。大利根水防センターの管理は大利根総合支所地域振興課、合の川水防センター管理は北川辺総合支所地域振興課で行っている。

事業の実績・成果

【合の川水防センター】

洪水時の水防活動拠点である「合の川水防センター」の適切な管理を行い、市民の安心、安全な生活の確保に努めた。

・合の川水防センター負担金　217,530 円

※国土交通省利根川上流河川事務所との細目協定書に基づき支出。

【内訳】

・電気料　188,463 円

・水道料　10,987 円

・消防設備等点検業務　18,080 円

【大利根水防センター】

国土交通省関東地方整備局との共有管理部分であるトイレ、廊下、風除室の清掃を、公益社団法人加須市シルバー人材センターに委託することで常に清潔な状態が保たれ、来訪者の利用に際し好感度の向上が図られた。また、トイレ付帯施設の浄化槽点検清掃を行い適切な管理が図られた。

・大利根水防センター施設管理負担　160,330 円

※国土交通省利根川上流河川事務所との細目協定書に基づき支出。

【内訳】

・電気料　154,420 円

・水道料　5,492 円

・目的外排水　418 円

・大利根水防センター清掃業務委託　466,404 円

・浄化槽検査等に係る手数料　324,740 円

事 業 名	加須市・羽生市水防事務組合運営事業			（総合戦略）
担 当 課	治水課		総合振興計画コード	3145-02
款	09	消防費	当 初 予 算 額	3,258,000 円
項	01	消防費	最 終 予 算 額	3,258,000 円
目	04	防災費	決 算 額	3,112,400 円
事業の目的	利根川及び渡良瀬川の洪水等による被害の軽減を図る。	事業の概要	加須市・羽生市水防事務組合の運営。 利根川・渡良瀬川の非常時を想定した水防計画の策定、水防工法訓練の実施、重要水防箇所の堤防巡視を実施。 ※加須市・羽生市水防事務組合議員数：17 名）	

事業の実績・成果

加須市・羽生市水防事務組合が計画する水防計画の見直しや、水防団員による堤防警戒等の水防活動を行い、利根川及び渡良瀬川の水防に万全を期した。

また、水防訓練を 6 月 1 日に上新郷地区河川防災ステーションにおいて開催し、204 人の水防団員による水防工法技術の習得と作業能力の向上を図った。

・加須市・羽生市水防事務組合負担金　　3,024,000 円
（事務局　加須市）
・専任水防団員報酬　　156,000 円（年額　5,200 円／人　専任水防団員数　30 人）

その他の事業

令和元年 6 月 12 日　堤防巡視（川俣出張所管内）を実施。

令和元年 6 月 12 日　堤防巡視（大利根・渡良瀬遊水地出張所管内）を実施。

令和元年 7 月 29 日　加須市・羽生市水防協議会を開催。

令和元年 7 月 29 日　令和元年第 1 回加須市・羽生市水防事務組合議会を開催。

令和 2 年 3 月 26 日　令和 2 年第 1 回加須市・羽生市水防事務組合議会を開催。

令和元年東日本台風（台風第 19 号）の上陸に伴う水防活動

令和元年 10 月 12 日埼玉県を襲った東日本台風（台風第 19 号）の際、強い風雨が続く状況の下、昼夜にわたり河川巡視を行い、堤防や護岸施設、洪水流の状況を把握することにより、漏水等による被害の発生を未然に防いだ。

また、加須市において初めてとなる避難指示（緊急）を発令した際、水防団車両による広報活動及び避難誘導を実施した結果、8,609 人の市民が無事に浸水地域外への避難を完了するうえで、重要な役割を果たした。

・出動期間：令和元年 10 月 12 日（土）～15 日（火）
・出動者数：延べ 661 人

事 業 名		救命機器管理事業		
担 当 課		危機管理防災課	総合振興計画コード	3153-01
款	09	消防費	当 初 予 算 額	7,896,000 円
項	01	消防費	最 終 予 算 額	7,502,270 円
目	04	防災費	決 算 額	7,062,000 円
事業の目的	市内の公共施設等にAEDを効果的に設置し、多くの市民の大切な命を救える体制を整備する。		事業の概要	・既設 AED の消耗部品等の交換を含めた適切な維持管理 ・貸出し用 AED の利用を促進する。 【貸出し対象・条件】 ①市が後援する行事等, ②市民が 10 名以上集まる行事等, ③医療従事者、救急救命士、または救命講習修了者を配置する。

事業の実績・成果

市民への人命救助の思想を普及するとともに、心肺停止者の救命率の向上を図った。
また、使用期限をむかえる本体及び消耗品の交換（パッド、バッテリ）を行った。

1　機器等更新実績
《ＡＥＤ設置台数：82 台》

区　　分	使用期限	更新・交換数量
本体更新	8 年※1	19 台
成人用パッド交換	2 年	40 個
小児用パッド交換※2	2 年	20 個
バッテリ交換	4 年	0 個

※1 令和元年度から本体使用期限が 8 年の AED(日本光電)を購入
※2 小児用パッドは、0 歳児から就学前児童まで使用可能

2　貸出実績
《貸出用：7 台》
加須市民体育館（2 台)、危機管理防災課(2 台)、騎西総合支所地域振興課、北川辺総合支所地域振興課、大利根総合支所地域振興課（各 1 台）

《実績》

(単位：回)

区　分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	備　　考
貸　出	30	32	31	72	82	スポーツ大会、市民まつり、小学校持久走大会等

事 業 名		教育委員会運営事業		
担 当 課		教育総務課	総合振興計画コード	1211-01
款	10	教育費	当 初 予 算 額	4,232,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	4,232,000 円
目	01	教育委員会費	決 算 額	3,876,451 円
事業の目的	・社会や地域の教育課題に柔軟かつ的確に対応し、かつ市民に開かれた教育委員会を運営するため、教育委員会の充実を図る。	事業の概要	・教育委員会の会議を開催する。 ・総合教育会議へ参加する。 ・教育長、教育委員の学校訪問を実施する。 ・各種総会、研修会へ参加し、教育の諸問題に関する知識を深める。	

事業の実績・成果

委員報酬　2,969,999 円
費用弁償　377,332 円
- 教育委員会定例会開催回数　12 回、臨時会開催回数　1 回
- 議案の議決　64 件
- 規則の公布　7 件
- 報告事項　256 件
- 教育長学校訪問　小学校 22 校、中学校 8 校、幼稚園 13 園（8 日間）
- 教育委員教育関連施設訪問　小学校 7 校、中学校 3 校、幼稚園 3 園、文化財関係施設 6 施設、公民館 1 館、文化・学習センター2 館、スポーツ施設 3 施設、図書館 2 館、学校給食センター2 センター（6 日間）
- 埼玉県市町村教育委員会連合会総会
- 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会
- 北埼玉地区教育委員会連合会総会
- 埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会
- 市町村教育委員研究協議会

教育委員会交際費

教育委員会交際費について、「加須市教育委員会交際費の支出及び公開に関する基準」に基づいた交際費の支出及びホームページでの公開により、適正な支出と透明性の確保に努めた。

教育委員会交際費の推移　（単位:円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
予算額	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
決算額	354,040	353,500	189,220	290,504	291,500

事業名	教育委員会事務局管理事業			
担当課	教育総務課		総合振興計画コード	1211-02
款	10	教育費	当初予算額	1,335,000円
項	01	教育総務費	最終予算額	1,335,000円
目	02	事務局費	決算額	914,124円
事業の目的	・社会や地域の教育課題に柔軟かつ的確に対応し、かつ市民に開かれた教育委員会を運営するため、教育委員会事務局の適正な管理運営を行う。	事業の概要	・教育委員会事務局の管理運営に係る諸経費を執行する。 ・加須市の教育を広く周知するため、「加須市の教育」を刊行する。 ・加須市の教育、学術及び文化の振興に寄与し、功績が顕著である個人や団体に対し、教育功労者表彰を行う。	

事業の実績・成果

・刊行物「加須市の教育」160部発行　　164,160円
・教育功労者表彰　表彰者47名
　※表彰式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
・関東地区都市教育長協議会総会（開催月5月）
・埼玉県都市教育長協議会総会（開催月4月）
・埼玉県都市教育長協議会定例協議会（開催月7，10，11，1月）
・東部地区教育長協議会総会（開催月4月）
・北埼玉地区教育委員会連合会総会（開催月4月）
・東部地区教育長会議（開催月4,5,7,9,10,11,1,2月）
　※3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
・埼玉県市町村教育委員会教育長研究協議会（開催月4，11月）

事業名	学校教育管理事業			
担当課	学校教育課		総合振興計画コード	1212-11
款	10	教育費	当初予算額	1,159,000円
項	01	教育総務費	最終予算額	1,159,000円
目	02	事務局費	決算額	928,758円
事業の目的	学校教育課の事業を円滑に進めるために必要な経費を措置する。	事業の概要	課の運営に係る諸経費（主に人権関係予算と負担金等）の適正な管理執行に努める。	

事業の実績・成果

・事業を円滑に進めるにあたり、必要経費を適切に支出することができた。

事 業 名		避難者支援就学援助事業		
担 当 課		学校教育課	総合振興計画コード	1112-16
款	10	教育費	当 初 予 算 額	1,525,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	1,525,000 円
目	03	教育振興費	決 算 額	386,869 円
事業の目的	東日本大震災により被災した児童生徒の保護者のために、必要な援助をし、経済的負担の軽減を目指す。	事業の概要	被災により援助が必要な児童生徒に対し、学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、医療費、ＰＴＡ会費、児童生徒会費等の就学援助費を支給する。	

事業の実績・成果

東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律第2条第2項及び第3項の市町村を定める政令（平成23年政令第127号）第2条第1項（別表2）及び第2項（別表3）に含まれる市町村における、東日本大震災で被災し経済的に就学困難な児童生徒に対して、給食費、学用品費、校外活動費等の援助を行った。

被災児童生徒の転入に留意し、必要に応じて就学援助の案内を行い、制度の周知に努めた。

1　被災地別就学援助者数　（単位：人）

	平成27年度		平年28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
合計	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生
	13	4	12	4	5	2	5	3	2	3
南相馬市	2	1	2		1	2	1	1		2
いわき市	4	1		1			1	2		
双葉郡双葉町	1		1	2						
双葉郡大熊町	1		3		2					
双葉郡浪江町	3	2	4	1	2		2		1	1
双葉郡楢葉町	1									
双葉郡富岡町			1				1		1	
福島市	1		1							

2　事業費　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
支給金額	1,150,605	1,072,421	507,309	743,005	386,869

事 業 名	小学校英語教育推進事業			（総合戦略）
担 当 課	学校教育課		総合振興計画コード	1211-04
款	10	教育費	当　初　予　算　額	10,265,000 円
項	01	教育総務費	最　終　予　算　額	10,665,000 円
目	03	教育振興費	決　　算　　額	10,382,016 円
事業の目的	外国語活動について、体験を通して言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	事業の概要	全ての市立小学校に外国語活動指導助手を配置する。 英語教育研究員が、全ての市立小学校を計画的に訪問し、担任や外国語指導助手の授業支援や指導を行う。 小学校と中学校の連携のための研修会や授業力向上のための研修会を行う。	

事業の実績・成果

1　外国語活動指導助手の主な活動

- 小学校における「外国語活動」や「総合的な学習の時間」をはじめとする国際理解教育に係る授業の補助
- 小学校における国際理解教育に係る教材開発の補助
- 外国の文化や言語等の紹介

2　外国語活動指導助手の配置状況（加須市立全小学校に配置）　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
配置人数	直接雇用・11 ［臨時職員］ 学校教育課職員・1	直接雇用・11 ［臨時職員］ 学校教育課職員・1	直接雇用・11 ［臨時職員］ 学校教育課職員・1	直接雇用・14 ［臨時職員］ 学校教育課職員・1	直接雇用・14 ［臨時職員］ 学校教育課職員・1

3　令和元年度埼玉県英語指導方法改善事業（文部科学省委託「生徒の発信力強化に向けた英語指導力向上事業」）の実施

〇研究発表日　令和 2 年 1 月 29 日（水）

〇授業公開　　加須市立加須小学校　　加須市立昭和中学校

〇成果　　小学校の外国語活動と中学校の外国語科（英語科）の学習指導を円滑に接続することにより、「コミュニケーションの基礎となる資質・能力」の育成をめざすことができた。

事 業 名	中学校英語教育推進事業			（総合戦略）
担 当 課	学校教育課		総合振興計画コード	1211-05
款	10	教育費	当 初 予 算 額	23,691,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	23,691,000 円
目	03	教育振興費	決 算 額	21,200,277 円
事業の目的	外国語について、言語や文化に対する理解を深め、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。	事業の概要	生徒の英語能力の基礎を養うため、全ての市立中学校に、外国語指導助手を配置する。 英語教育研究員が、全ての市立中学校を計画的に訪問し、英語教員や外国語指導助手の授業支援や指導を行う。 外国語指導助手の授業力向上のための研修会を定期的に行う。	

事業の実績・成果

1　外国語指導助手（ＡＬＴ）の主な活動

- 中学校外国語科における英語教員とのチームティーチングの実施
- 外国の生活や文化等の紹介
- 教材や指導計画作成への協力及びスピーチコンテスト等への協力

2　外国語指導助手（ＡＬＴ）配置状況　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
派遣会社 ＡＬＴ人数	① ボーダーリンク 3 昭和中…1 加須西中…1 加須北中…1 ② ジョイトーク 3 加須東中・加須平成中…1 騎西中…1 加須北中・大利根中…1	① ボーダーリンク 3 昭和中…1 加須西中…1 北川辺中…1 ② ジョイトーク 3 加須東中・加須平成中…1 騎西中…1 加須北中・大利根中…1	① ボーダーリンク 3 昭和中…1 加須西中…1 北川辺中…1 ② ジョイトーク 3 加須東中・加須平成中…1 騎西中…1 加須北中・大利根中…1	① ジョイトーク 6 昭和中…1 加須西中…1 加須東中・加須平成中…1 加須北中・北川辺中…1 騎西中…1 大利根中…1	① ジョイトーク 6 昭和中…1 加須西中…1 加須東中・加須平成中…1 加須北中・北川辺中…1 騎西中…1 大利根中…1

事 業 名	少人数学級推進事業			（総合戦略）
担 当 課	学校教育課		総合振興計画コード	1211-06
款	10	教育費	当　初　予　算　額	22,288,000 円
項	01	教育総務費	最　終　予　算　額	22,288,000 円
目	03	教育振興費	決　　算　　額	17,827,500 円
事業の目的	児童生徒の学力を向上させるために、非常勤講師の配置による学習形態の工夫を図り、児童生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな学習指導の実現を目指す。	事業の概要	一学級の人数が多くなる学年に非常勤講師を配置し、チームティーチングや少人数指導による授業を展開することで、個に応じたきめ細かな学習指導、生活指導を行い、学力向上や心の教育の充実を図る。	

事業の実績・成果

【教育活動補助員】
◎時給 1,250 円×14,262 時間（4 月～3 月）＝ 17,827,500 円
〈配置校〉小学校 3 学年から 6 学年、中学校第 2・3 学年の 1 学級あたりの児童生徒数が多い学校に配置した。

加須小	2 人	三俣小	1 人	大桑小	2 人	加須南小	2 人
騎西小	1 人	田ケ谷小	2 人	北川辺西小	2 人	北川辺東小	1 人
大利根東小	2 人	昭和中	1 人				

合計 10 校　16 人

〈実　績〉　2 学期を中心に、指導主事が配置校を訪問し、教育活動補助員の授業及び学習支援の様子を参観し、指導した。

〈成　果〉　各学級において、チームティーチング（担任と教育活動補助員の 2 人で 1 学級の授業を担当する）による学習指導を展開したことにより、きめ細やかな指導が実践され、学力の向上、生活指導の充実に大きな成果を上げた。

○必要な学校に対する教育活動補助員の配置率　100％
＜非常勤講師の実配置校数／非常勤講師が必要な学校数＞

事 業 名	学校訪問指導事業			（総合戦略）
担 当 課	学校教育課		総合振興計画コード	1211-07
款	10	教育費	当 初 予 算 額	21,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	21,000 円
目	03	教育振興費	決 算 額	20,980 円
事業の目的	幼児、児童生徒に生きる力を育むために、市立幼稚園及び小・中学校への訪問指導を行い、教職員の指導力の向上、学校の教育力の向上を目指す。	事業の概要	市立幼稚園及び小・中学校への計画訪問及び要請訪問を行い、教員の指導力向上を図るために指導助言や示範授業を行う。	

事業の実績・成果

1　研究発表会・本発表（平成 30・令和元年度委嘱の幼稚園及び小・中学校）

＜成果＞　研究発表会での報告及び指導講評により、市内の教職員に広げることができた。

＜実績＞
- 不動岡幼稚園　10 月 31 日　幼稚園教育・公開保育
- 花崎北幼稚園　11 月 6 日　幼稚園教育・公開保育
- 三俣小学校　10 月 8 日　道徳教育・本発表
- 樋遣川小学校　1 月 29 日　学習指導の改善・本発表
- 種足小学校　11 月 12 日　学習指導の改善・本発表
- 原道小学校　11 月 22 日　健康教育・本発表
- 加須平成中学校　11 月 13 日　生徒指導・特別活動・人権教育・本発表

	平成 27 年度 研究本発表	平成 28 年度 研究本発表	平成 29 年度 研究本発表	平成 30 年度 研究本発表	令和元年度 研究本発表
幼稚園	加須幼 樋遣川幼 大越幼	大桑幼 北川辺幼	水深幼 志多見幼	三俣幼 騎西中央幼	不動岡幼 花崎北幼
小学校	礼羽小 加須南小 豊野小	加須小 田ケ谷小 北川辺東小	大桑小 大越小 騎西 元和小	志多見小 花北小 大利根東小	三俣小 樋遣川小 種足小 原道小
中学校	加須東中	北川辺中 大利根中	加須北中	昭和中 騎西中	加須平成中

2　加須市教育委員会、東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問（計画訪問）

＜成果＞　公開授業（保育）、研究授業・協議通して、指導の改善及び指導力の向上を図ることができた。

＜実績＞　幼稚園 5 園　小学校 22 校　中学校 8 校　各 1 回の訪問　合計 35 回

3　加須市教育委員会要請訪問

＜成果＞　学校（園）の目的に応じた訪問指導により、研究授業・校内研究等の具体的な指導を直接行うことができた。

＜実績＞　訪問 76 回

4　加須市教育委員会学校人権教育計画訪問

＜成果＞　計画的な学校人権教育の訪問指導の実施により、実施した幼稚園及び小・中学校における学校人権教育の推進を図ることができた。

＜実績＞　訪問 9 回

5　初任者に係る指導主事の計画訪問

＜成果＞　新規採用教員への計画的な訪問により、授業改善や教員の資質向上を図ることができた。

＜実績＞　訪問 37 回

事 業 名		特別支援教育推進事業		
担 当 課		学校教育課	総合振興計画コード	1211-08
款	10	教育費	当 初 予 算 額	66,962,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	66,962,000 円
目	03	教育振興費	決 算 額	63,048,844 円
事業の目的	児童生徒の教育的ニーズに対応するため、介助を必要とする児童生徒の就学支援体制の充実を図る。	事業の概要	特別支援学級や通常学級で学ぶ児童生徒の教育活動を支援する障がい児介助員を配置する。難聴・言語障害通級指導教室（ことばの教室）を運営する。発達障害・情緒障害通級指導教室を運営する。	

事業の実績・成果

1　幼稚園補助員、障がい児介助員の配置

学校生活において個別の支援の必要な幼児、児童生徒のいる幼稚園・学校に、幼稚園補助員及び障がい児介助員を配置し、教育環境の充実を図った。その結果、障がいのある幼児、児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応した指導・支援を行うことができた。また、関係学校のみならず、関係諸機関との連携に意を用いた。

○　幼稚園補助員、障がい児介助員の推移　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
配置人数	小学校 50 中学校 5	小学校 53 中学校 4	小学校 55 中学校 5	小学校 53 中学校 7	小学校 53 中学校 7
合　計	55	57	60	60	60

2　特別支援学級等の開設、運営

特別な支援を必要とする児童生徒の指導・支援のため、計画的に特別支援学級や通級指導教室を開設するとともに、その適切な運営に努めた。

○　令和元年度に開設した特別支援学級　29 校

新設	なし
増設※	2 校（加須南小、加須平成中）
クラス増※	2 校（礼羽小、水深小）
既設	27 校

○　令和元年度に開設した通級指導教室　　4 校

既設	4 校

増設：今まであった障害種の他に、新たな障害種の学級を設置したもの。
クラス増：特別支援学級に在籍する人数が増え、クラス数が増えたもの。

事 業 名	学習指導改善研究事業			（総合戦略）
担 当 課	学校教育課		総合振興計画コード	1211-09
款	10	教育費	当 初 予 算 額	7,141,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	7,141,000 円
目	03	教育振興費	決 算 額	6,035,613 円
事業の目的	子どもたちに知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育成するために、市立幼稚園及び小・中学校の充実した教育活動の実践を目指す。	事業の概要	充実した教育活動の実践を図るために市立幼稚園及び小・中学校に公開保育の指定や研究委嘱を行う。また、各教科等の充実を図るための支援を行うとともに、教育課程検討委員会を設置し、教育活動全体の改善を図る。	

事業の実績・成果

1　事業の成果

幼児、児童生徒の「生きる力」の育成を図るため、基礎的・基本的な内容や技能を確実に定着させる指導方法の工夫改善を推進した。

（1）授業での取組（研究委嘱等）

（2）授業外での取組（学力アップ事業、ひとり学びノートとこいのぼり問題集の活用と改訂等）

（3）学習指導の充実に向けた取組（家庭学習リーフレットの作成等）

2　研究委嘱校（加須市教育委員会・加須市教育研究会委嘱）

○　平成 27・28 年度研究委嘱校

幼稚園	大桑幼　北川辺幼
小学校	加須小　田ケ谷小　北川辺東小
中学校	北川辺中　大利根中

○　平成 28・29 年度研究委嘱校

幼稚園	水深幼　志多見幼
小学校	大桑小　大越小　騎西小　元和小
中学校	加須北中

○　平成 29・30 年度研究委嘱校

幼稚園	三俣幼　騎西中央幼
小学校	志多見小　花崎北小　大利根東小
中学校	昭和中　騎西中

○　平成 30・令和元年度研究委嘱校

幼稚園	不動岡幼　花崎北幼
小学校	三俣小　樋遣川小　種足小　原道小
中学校	加須平成中

※　研究紀要の作成や研究発表を行い学習指導の改善を図った。

3　補助金

（1）加須市教育研究会

＜目的＞市立幼稚園及び小･中学校の教育活動の促進と相互の連携を密にし､学校教育の振興を図る。

＜成果＞各教科等の研究部の研修の充実が図られた。陸上競技会等の行事が円滑に実施できた。

（2）加須市小・中学校児童生徒体力向上推進委員会

＜目的＞児童生徒の体力向上を図るための事業の実施や研究を進める。

＜成果＞加須市なわとび大会の円滑な運営をすることができた。情報交換や事業発表を通して、各校の体力向上の取組が充実した。

事 業 名		学力アップ事業			（総合戦略）
担 当 課		学校教育課		総合振興計画コード	1211-11
款	10	教育費		当 初 予 算 額	17,542,000 円
項	01	教育総務費		最 終 予 算 額	17,542,000 円
目	03	教育振興費		決 算 額	13,896,199 円
事業の目的	児童生徒の学力向上を図るため、児童生徒の実態に応じたきめ細かな学習指導の展開を目指す。		事業の概要	きめ細やかな学習指導を実施するための各種非常勤講師の配置、日本語指導が必要な外国籍児童生徒の支援、児童生徒の学力向上対策等を実施する。中学生を対象に、土日を活用した中学生学力アップ教室「加須まなびTime」を実施し、学力の向上を図る。		

事業の実績・成果

非常勤講師

（1）学力向上を図るための非常勤講師

◎時給　1,250 円×1,184 時間（4 月～3 月）＝1,480,000 円

〈配置校〉学力の向上を図るために、小規模校への人的支援を行い、個に応じたきめ細やかな教育の推進を行うために配置。大越小１人　高柳小１人　豊野小１人　鴻茎小１人　合計４校２人

〈成　果〉各学校において授業を担当し、担当教科における学力の向上に成果を上げた。

（2）特定教科専門指導非常勤講師

◎時給 2,250 円×1,402 時間（4 月～3 月）＝3,154,500 円

〈配置校〉小規模の中学校であるため、教職員配当基準等により、免許状を有する教員が配置されない教科のある加須北中学校・加須平成中学校、北川辺中学校、大利根中学校に配置。
加須北中：音楽科・美術科　家庭科　各１人　加須平成中：技術家庭科　１人　北川辺中：家庭科・美術科　各１人　大利根中：音楽科　１人　　合計　４校７人

〈成　果〉本非常勤講師を配置することができたため、免許をもたない教員に免許外の教科担当をさせることを回避できた。また、専門性を有する講師を配置したため、充実した教科指導を実施することができた。

（3）欠員対応非常勤講師

◎教員：時給 2,250 円×2,364 時間＝5,319,000 円

〈配置校〉県費の臨時的任用教員が配置されるまでの間、欠員を解消するために配置。

〈成　果〉市費による本非常勤講師の配当が可能であるため、学校における教職員の欠員状態がなくなり、指導の連続性を確保できた。

２　日本語指導が必要な外国籍児童生徒への支援

○　謝金　1,000 円×１５２回＝152,000 円

＜実　績＞加須小　大越小　花崎北小　種足小　鴻茎小　大利根東小
昭和中　加須北中　加須平成中

＜成　果＞専門家による指導により、少しずつではあるが日本語の習得が進んだ。

３　「加須市ひとり学びノートコンテスト」の実施

○　学習サポーター賃金　880 円×延べ 1,217 時間＝1,070,960 円

（1）各学校の工夫によって、実施期間を設定　１日４時間以内　小学校７日、中学校 10 日

＜実　績＞市立全小・中学校 30 校　学校規模を配慮して各学校に 1～3 人配置

＜成　果＞学習サポーターの配置により、個に応じた指導を充実できた。

４　中学生学力アップ教室「加須まなびTime」の実施

○　学習コーディネーター賃金　2,250 円×368 時間（5 人　5 会場）

○　学習サポーター賃金　1,250 円×604 時間（12 人　5 会場）

○　教材費等　187,855 円（公立高等学校入試問題集　ドリル　教科書等）

（1）土日に公民館等を活用して、週１回２時間の学習機会を提供した。

（2）会場の責任者として学習コーディネーター、自主学習の補助を行う学習サポーターを配置した。

＜成　果＞土日を有効に活用したことにより、生徒の学力向上だけでなく学習習慣も身に付けさせることができた。

事 業 名	保・幼・小中一貫教育事業			（総合戦略）
担 当 課	学校教育課		総合振興計画コード	1211-12
款	10	教育費	当 初 予 算 額	428,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	428,000 円
目	03	教育振興費	決 算 額	183,091 円
事業の目的	学校不適応児童生徒の解消のために、保育所(園)、幼稚園、小・中学校相互の滑らかな接続をめざし、教育指導・内容の充実を図る。	事業の概要	幼児、児童生徒間の異年齢集団による交流活動を通して、豊かな人間性や社会性をはぐくむ。 また、教職員が校（園等）種を越えて交流し、互いの指導内容や指導方法等を理解し合うことで、教員としての指導力や人間性を高める。	

事業の実績・成果

保育所（園）・幼稚園・小学校・中学校等の交流実績

令和元年度の実績と主な事例

交流園・校	主な交流内容	回数
幼稚園→保育所（園）	一緒にゲームやダンスによる活動。	29
幼稚園→小学校	学校行事への参加。合同の体験活動。授業の参観。研究会への参加。	198
幼稚園→中学校	学校行事への参加。合同の体験活動。授業の参観。研究会への参加。	0
小学校→幼稚園	幼稚園行事への参加。児童による読み聞かせの実施。体験活動への参加。	212
小学校→保育所（園）	保育行事への参加。児童による読み聞かせの実施。体験活動への参加。	43
小学校→中学校	児童の中学校見学。生徒指導での情報提供等。	76
中学校→保育所（園）	生徒の保育実習実施。	32
中学校→幼稚園	手作りおもちゃを使った活動。ダンスやゲームによる活動。	50
中学校→小学校	学力フォローアップにおける指導の補助。中学校教員による授業の実施。学校紹介。	120
幼稚園→保育所	保育所と幼稚園の幼児が一緒に遊ぶ活動や合同による行事、観劇等。	29
リンクミーティング	各園校の実態及び課題把握　　教科学習の交流（外国語活動、英語）	105

○　成果

・　異年齢の幼児、児童生徒の縦の交流により、相手を敬ったり思いやったりする等の豊かな心をはぐくむことができた。
・　教職員が異校種の保育や授業を参観したり、実際に保育や授業を行ったりすることで、発達段階に応じた指導方法を理解し、幼児、児童生徒の校種間の接続を意識するようになった。
・　市内全中学校区でのリンクミーティングが本格的に始まり、校種間の連携が深くなった。市立小・中学校においては、学力向上や生徒指導での連携を目指す取組もあった。
・保育園から中学校まで、地域で目指す子供像を共有し、発達段階に応じた指導を行うことができた。

事 業 名		教師用教科書・指導書措置事業		
担 当 課		学校教育課	総合振興計画コード	1211-16
款	10	教育費	当 初 予 算 額	1,792,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	1,433,400 円
目	03	教育振興費	決 算 額	1,269,743 円
事業の目的	小・中学校の公教育としての水準の維持を図るために、教科書、指導書を措置し、児童生徒の基礎学力の確実な定着を目指す。	事業の概要	小学校に全教科の教師用指導書セットを各学年に１セットを措置するとともに、小学校の全学級に、教師用教科書及び朱書指導書を措置し教員の指導力向上を図る。	

事業の実績・成果

令和元年度は、小・中学校を対象に、教師用教科書及び指導書を購入し、4 月に措置した。

学習指導要領に沿った授業展開が図られ、教育の水準維持とともに児童生徒の基礎学力の定着につながった。

負担行為額の推移 （単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
全 域	20,887,668	18,597,590	238,561	5,061,795	1,269,743
備 考	小学校新教科書使用開始 中学校使用教科書採択年度	中学校新教科書使用開始	小学校「特別の教科 道徳」教科書採択年度	小学校「特別の教科 道徳」使用開始	小学校使用教科書採択年度

事 業 名		社会科副読本資料作成事業		
担 当 課		学校教育課	総合振興計画コード	1211-17
款	10	教育費	当 初 予 算 額	3,036,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	3,036,000 円
目	03	教育振興費	決 算 額	2,941,100 円
事業の目的	郷土「加須市」を理解し、地域社会の一員としての自覚をもつとともに、郷土「加須市」を愛する児童の育成目指す。	事業の概要	3 年に一度の周期で小学校第 3・4 学年用社会科副読本の改訂を行う。また、改訂後は、指導の手引き、評価テスト、ワークプリントを作成し、市立各小学校へ配布して、その活用を図る。	

事業の実績・成果

令和元年度は、社会科副読本編集委員会を組織し、新学習指導要領に準拠した内容の社会科副読本を 3,100 部（令和２年度の小学 3 年生・4 年生と令和３年度の小学 3 年生全員分）作成し、市立全小学校に配布した。令和元年度に実施した評価テストの結果は、「加須市の理解が深まった児童の割合」が 68.0%であった。

○　平成 22 年度に社会科副読本編集委員会を組織して、改訂された学習指導要領に準拠した社会科副読本を作成し、4,500 部印刷をして市立全小学校に配布した。

○　平成 23 年度は、社会科副読本「新しいかぞ」に準拠した指導の手引き・評価用テスト編集委員会を組織して、指導の手引き及び評価テストを作成し市立全小学校へ配布した。

○　平成 24 年度は、社会科副読本「新しいかぞ」に準拠したワークシートを作成し、市立全小学校へ配布した。

○　平成 25 年度は、社会科副読本編集委員会を組織し、最新の情報を掲載した社会科副読本を 3,300 部（平成 26 年度から平成 28 年度の小学 3 年生全員分）作成し、市立全小学校に配布した。

○　平成 26 年度は、社会科副読本に準拠した指導の手引き及び評価テスト、ワークシートを作成し、市立全小学校に配布した。

○　平成 27 年度は、新しい社会科副読本作成のための情報収集を行った。

○　平成 28 年度は、社会科副読本編集委員会を組織し、３県境や加須市のうどん、埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワーク「とねっと」等の最新の情報を掲載した社会科副読本を 3,100 部（平成 29 年度から令和元年度の小学 3 年生全員分）作成し、市立全小学校に配布した。

○　平成 29 年度は、平成 29 年度から市立小学校で使用している社会科副読本の指導の手引きの作成を行った。

○　平成 30 年度は、令和 2 年度から使用する新しい社会科副読本作成のための情報収集を行った。平成 30 年度に実施した評価テストの結果は、「加須市の理解が深まった児童の割合」が 64.9%であった。

事 業 名		学校ＩＣＴ教育活用事業		
担 当 課		学校教育課	総合振興計画コード	1211-18
款	10	教育費	当　初　予　算　額	147,858,000 円
項	01	教育総務費	最　終　予　算　額	942,893,000 円
目	03	教育振興費	決　　算　　額	147,730,398 円

事業の目的	児童生徒の確かな学力の向上と情報活用能力の育成のために、情報教育環境を活用し、わかる・楽しい授業の実現を目指す。	事業の概要	児童生徒の確かな学力の向上と情報活用能力の育成のために、教育ソフトの活用に関する研究や情報教育環境活用のための教員研修を行う。 校務系コンピュータの配備により、教員の校務支援を行う。 教育系コンピュータをセンターサーバに接続し、一括管理する。 校務系コンピュータによる情報の一括管理を行う。

事業の実績・成果

1　事業決算額の推移　　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
事業決算額	113,546,619	112,928,933	132,287,391	145,414,542	147,730,398

2　活用事例

小学校	
教科名	活　用　方　法
国語、算数、社会、総合的な学習の時間等	インターネットを活用した情報収集　デジタルカメラから画像の取り込み フラッシュドリル英単語学習 図鑑ソフトを活用した調べ学習等
中学校	
教科名	活　用　方　法
国語、数学、社会、技術・家庭、総合的な学習の時間等	インターネットを活用した情報収集 デジタルカメラやスキャナーの画像の取り込み 図や絵、写真の編集 文書、表計算処理ソフトの活用 ドリル学習等

3　成果

（1）　児童生徒に、情報処理機器に関する知識や技能・情報モラルを身に付けさせ、ＩＴ社会に対応できる能力の育成を図ることができた。

（2）　ハードウェア・ソフトウェアの両面から教育の情報化を推進することにより、情報通信機器の効果的な活用が図られ、「わかる・楽しい授業」が実現できた。

【繰越明許　令和元年度から令和２年度へ繰り越す理由】

学校情報化推進計画策定	8,800 千円
小中学校情報通信ネットワーク工事一式	786,235 千円
計	795,035 千円

事 業 名	サイエンススクール事業			（総合戦略）
担 当 課	学校教育課		総合振興計画コード	1211-19
款	10	教育費	当 初 予 算 額	1,870,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	1,870,000 円
目	03	教育振興費	決 算 額	1,760,000 円
事業の目的	児童の科学や理科への興味・関心を高めるため、加須未来館を活用した理科学習の充実を目指す。	事業の概要	小学校第 4 学年の全児童を対象に、加須未来館においてプラネタリウムや望遠鏡等を活用した理科学習を実施する。 加須未来館での学習を実施するために、児童が移動するためのバスを措置する。	

事業の実績・成果

市内の全ての小学校の４年生児童を対象として､加須未来館を活用した理科学習を実施することができた。事業の実施によって「理科への興味関心をもつことができた児童の割合」を 87.6%とすることができたことを、学習後のアンケート結果から確認することができた。

事業委託内容

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
対象 （学級）	32	32	34	33	33
（人）	986	933	986	940	924
バス借上料（円）	1,213,056	1,313,280	1,340,280	1,340,280	1,760,000
バス台数 （台）	16	16	17	17	17

事業名	いじめ・不登校対策事業		
担当課	学校教育課	総合振興計画コード	1213-01
款 10	教育費	当初予算額	15,828,000円
項 01	教育総務費	最終予算額	15,828,000円
目 03	教育振興費	決算額	14,797,852円
事業の目的	すべての児童生徒が楽しく、安心して学校に通えるよう、市立小・中学校におけるいじめの問題を根絶し、併せて不登校問題の解消を目指す。	事業の概要	各学校において、いじめ・不登校の未然防止のための校内指導体制を充実させる。また、家庭や地域と連携し、いじめ・不登校の問題の克服を図る。不登校問題対策委員会を定期的に開催し、情報交換及び有効な対応策を検討する。 学校や教育センターにさわやか相談員やスクールカウンセラー等を配置し、教育相談体制を充実させる。

事業の実績・成果

1　不登校の未然防止と不登校の改善を図る取組

市内8公立中学校にさわやか相談員8人を配置し、スクールカウンセラーとともに個別教育相談や家庭訪問を行うなど、教育支援を行った。

また、教育センターにスクールカウンセラー1人、スクールソーシャルワーカー2人を配置し、教育相談を実施するとともに、適応指導教室「学習室ピア」を設置し、運営の充実を図り、不登校の解消に取り組んだ。教育相談体制の充実や家庭訪問等による児童生徒、保護者一人一人への支援により、児童生徒個々の状況に改善が見られた。

2　不登校問題対策委員会の開催

(1) 第1回：不登校児童生徒の予防と対応（令和元年5月30日）
　指導者　加須市立加須平成中学校　小野田　誠　校長

(2) 第2回：各校における不登校の状況について（令和2年1月15日）
　指導者　学校教育課指導主事　参会者で協議

3　不登校児童生徒数の推移

(1) 小学校　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
不登校児童数	7	6	5	28	22

(2) 中学校　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
不登校生徒数	62	76	65	100	74

4　いじめ防止等のための取組

(1) 全ての市立小・中学校において「学校いじめ防止基本方針」を作成し、計画的、組織的な対応をすることにより、いじめの未然防止、早期発見、早期解消を図った。また、各学校において、小さなトラブルも、いじめの可能性を考えて適切に対応しているため、重大な事態に陥ることはなかった。3学期に起きたいじめについては、解消としていない。（解消とは、いじめの行為が止んで3ヶ月経過した状態である。）

(2) 年間3回の「いじめ撲滅期間」を設定して集中的にいじめの防止等のための取組を実施することにより、児童生徒、保護者、地域住民への啓発を図った。全市的ないじめ防止への意識の高揚につながった。

5　令和元年度の小・中学校におけるいじめの認知件数及び解消件数（単位：件）

	認知件数	解消件数		認知件数	解消件数
小学校	44	26	中学校	18	15

※　いじめの解消には、3ヶ月以上見守る必要がある。2月以降に認知したいじめについて現在見守りをしている。

6　いじめ防止等のための組織

加須市いじめ問題対策連絡協議会の開催（令和元年10月28日、令和2年3月25日）

事 業 名		教育センター運営事業		
担 当 課		学校教育課	総合振興計画コード	1213-03
款	10	教育費	当 初 予 算 額	15,875,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	16,233,600 円
目	03	教育振興費	決 算 額	15,607,224 円
事業の目的	不登校児童生徒の学校復帰による不登校の解消を図るため、教育相談を充実させるとともに、児童生徒の生きる力を育成するため、教職員の資質向上に向けた研修の充実を図る。		事業の概要	不登校児童生徒の生活改善を図り、学校復帰を目指すため、「学習室ピア」を運営し、対象児童生徒を指導する。 教育相談室の運営や教育相談活動の充実を図る。 教育センターの企画立案のもとに、各種研修会を実施する。

事業の実績・成果

○　加須市教職員研修会の改善を図り、内容面から講座を精選した。今日的な教育課題を加え、16 講座を開設し、教職員の資質向上を図った。

〈教育講演会、校長研修、教頭・副園長・主幹教諭研修、学年経営研修、教員研修、教養講座、加須市を知る研修、課題研修、生徒指導・教育相談中級研修〉

【講座数・参加人数の推移】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
教職員研修会（講座）	15	17	19	16	16
延べ人数（人）	1303	1429	1290	1026	1015

○　適応指導教室「学習室ピア」を運営し、引きこもりの解消とともに不登校児童生徒の学校復帰を図った。

（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
通級児童生徒数	21	27	21	15	19
学校復帰数	18	21	17	15	16

○　教育相談を実施し、健やかな児童生徒の育成及び保護者の不安の解消を図った。

【相談件数の推移】　（単位：件）

相談内容（一部）	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
不登校	86	330	234	370	289
障害等	57	95	95	108	45
友人・いじめ	18	24	11	13	59
進路	6	12	3	9	14
学級経営等	10	12	41	21	38
就学相談	1	3	12	14	13

態様別	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
電話相談	70	272	216	260	297
来所相談	613	881	732	515	365
自宅訪問	20	51	2	3	5
学校訪問	73	70	160	141	136
関係機関	0	12	7	0	1
合　　計	776	1286	1117	919	804

事 業 名	学校いきいきステーション事業			（総合戦略）
担 当 課	学校教育課		総合振興計画コード	1221-01
款	10	教育費	当 初 予 算 額	4,344,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	4,344,000 円
目	03	教育振興費	決 算 額	4,184,154 円
事業の目的	公立学校（園）の一層の活性化と家庭や地域の教育力の向上のため、学校及び公立幼稚園・家庭・地域が一体となって子どもの健全育成を目指す。	事業の概要	すべての公立学校（園）に、学校（園）と家庭・地域社会の橋渡しとなる「ふれあい推進長（学校応援コーディネーター）」を委嘱し、ボランティアからなる「学校（幼稚園）応援団」を組織する。「学校（幼稚園）応援団」を活用しながら学校（園）・家庭・地域が一体となって様々な活動を展開することで、子どもの健全育成に取り組む。	

事業の実績・成果

【実績・成果】

〇令和元年度は、全ての市立幼稚園及び小･中学校で「学校（幼稚園）応援団」を組織し、学校と地域とが協働しながら諸活動を進めることができた。具体的には、学習支援、学校の環境整備、登下校における安全の確保、学校・家庭・地域の交流活動等を、各学校の実態に応じて実施した。

〇登下校時における変質者や痴漢等による被害から、児童生徒の安全を確保するため、地域社会や警察署との連携を図り、児童生徒が一時的に避難できる場所としての「子ども１１０番の家」を各小学校から委託した。児童生徒の安全を地域で一丸となって守る取組として継続的に行っている。

【学校応援団の登録者数の推移】 （単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
合　　計	4,847	4,740	4,736	4,586	3,990

（「子ども 110 番の家」を含む）

※合併前の旧加須市では、平成 17 年度から県のモデル事業として取組を開始した。また、旧騎西町、北川辺町、大利根町のでは、県の事業化を受けて平成 20 年度から取組を開始した。合併後の平成 22 年度から「学校いきいきステーション事業」として、全市的に学校応援団の活動を展開している。

以降、全ての市立小学校（22 校）に、学校と地域の橋渡し役を果たす「ふれあい推進長（学校応援コーディネーター）」を委嘱し、教育活動を支援する「学校応援団」を組織して、活動を推進してきた。平成 23 年度からは、市立中学校（8 校）全てにおいても学校応援団活動がスタートし、これにより市立全小・中学校（30 校）で学校応援団の活動が展開されるようになった。

事 業 名	あいさつふれあい推進事業			（総合戦略）
担 当 課	学校教育課		総合振興計画コード	1221-06
款	10	教育費	当 初 予 算 額	376,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	376,000 円
目	03	教育振興費	決 算 額	296,300 円
事業の目的	心のふれあうまちづくりのために、あいさつを通して、児童生徒の心の教育の推進や地域の防犯意識の高揚を目指す。	事業の概要	教育機関、地域、行政機関等が一体となった市を挙げた「加須市あいさつ運動～あいさつ　さわやか　かぞのまち～」を推進する。 年間を通した継続的な取組及び5月と10月に強化期間を設定しての取組を実施する。	

事業の実績・成果

1　地域の方にあいさつをしている児童生徒の割合　（単位：%）

	地域の方に対してあいさつをしている児童生徒の割合				
年　　度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小学校全体の平均	96.8	95.8	89.1	98.0	86.4
中学校全体の平均	89.2	89.5	71.9	99.0	74.9
小・中学校全体の平均	94.3	93.7	83.5	98.3	82.6

2　地域と連携したあいさつ運動

「加須市あいさつ運動」の主な活動

(1) 通年を通した取組

市立幼稚園、小・中学校が学校や地域の実態に応じて、効果的なあいさつ運動を展開した。

(2) あいさつ強化期間の取組

ア　前期強化期間の取組

(ｱ) 加須市民平和祭キャンペーン（利根川河川敷）

(ｲ) 駅での街頭キャンペーン

・　加須駅（加須南小学校・不動岡高等学校参加）
・　花崎駅（加須平成中学校参加）
・　柳生駅（北川辺西小学校・北川辺幼稚園参加）

(ｳ) 市役所・各総合支所キャンペーン

イ　後期強化期間の取組

(ｱ) 加須市民祭りキャンペーン（パストラルかぞ）

(ｲ) 駅での街頭キャンペーン

・　加須駅　（礼羽小学校・不動岡高等学校参加）
・　新古河駅（北川辺東小学校参加）
・　栗橋駅　（大利根中学校・開智未来中学・高等学校参加）

※花崎駅（加須東中学校・花咲徳栄高等学校参加予定）は大雨予報のため中止

(ｳ) 市役所・各総合支所キャンペーン

ウ　あいさつ啓発ポスターの掲示、ティッシュの配布

啓発ポスター：市内125施設に208枚配布

3　緑の少年団活動

不動岡小学校の児童が草花の種まき・苗植え、街頭での緑の募金活動等を実施した。

事 業 名	通学路安全対策事業		
担 当 課	学校教育課	総合振興計画コード	3122-03
款 10	教育費	当 初 予 算 額	4,000,000 円
項 01	教育総務費	最 終 予 算 額	18,480,000 円
目 03	教育振興費	決 算 額	14,287,720 円
事業の目的	市内の子どもたちの安心・安全の確保のため、登下校において、事故やけがなどによる負傷を避け、安全に登下校できるよう、速やかな対応による通学路環境の改善を目指す。	事業の概要	各学校による通学路の安全点検の結果報告をもとに現地調査を行い、関係課や関係機関と協議の上、対策案を立案し、安全対策を講じる。

事業の実績・成果

○　令和元年度は、通学路安全対策事業費で 28 箇所の改善を行った。

（単位：上段　箇所　　下段　円）

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
工事箇所数と事業費	工事 36 3,135,240	工事 18 3,720,600	工事 19 3,918,240	工事 19 3,996,000	工事 28 14,287,720

○　令和元年度に改善を行った 28 箇所の内容

No.	報告箇所	工事内容	No.	報告箇所	工事内容
1	北小浜４８２	「止まれ」の路面標示の修繕	16	砂原１２７２－１	外側線の設置 路面標示の設置
2	北小浜６８３	看板の設置	17	北下新井５２１－１	路面標示の修繕 学童注意の路面標示の設置
3	南大桑２０８４	学童注意の路面標示の設置	18	北下新井２１７１	路面標示の修繕 (横断歩道、停止線)
4	南篠崎６９６	カーブミラー(２基)設置	19	北下新井８４３－１	グリーンベルトの設置 外側線、路面標示の修繕
5	平永９５－２	「止まれ」の路面標示の修繕 横断歩道の修繕	20	北下新井５６３～ 琴寄１６６６－１	路面標示の設置(赤ライン)
6	志多見１４９５	「止まれ」の路面標示の修繕 白線を引く	21	北下新井５２４	路面標示の設置、修繕(停止線３、止まれ１、学童注意１)
7	久下１６８３	減速マークの設置	22	北下新井１－１２－６	路面標示の設置(赤ライン)
8	北小浜７０	カーブミラー(１基)	23	生出５１５	路面標示の修繕 (横断歩道、停止線)
9	馬内５５６	「止まれ」の路面標示の修繕 学童注意の路面標示の設置	24	砂原４１８－３～ 琴寄２１８６－３	路面標示の設置(速度落とせ)
10	下樋遣川５４２６	フェンスの設置	25	旗井１１６７	道路のかさ上げ
11	中種足８２－１	ガードレールの延長	26	細間６９９	道路のかさ上げ
12	戸崎１８１－１	路面標示の修繕	27	大利根中学校南側	ガードレールの設置
13	柳生２０６７	路面標示の設置(白ライン)	28	琴寄４７７	グリーンベルトの設置 白線の修繕
14	柳生ふれあい公園付近	グリーンベルトの設置			
15	道目４３１	路面標示の修繕 交差点マークの設置			

交通防犯課への依頼９箇所　治水課への依頼１箇所　騎西総合支所地域振興課への依頼２箇所
北川辺総合支所地域振興課への依頼２箇所　大利根総合支所地域振興課への依頼１４箇所

【成果】

通学路安全点検の結果をもとに改善が必要と判断した箇所に優先順位をつけ、関係課や関係機関と協議して対応することにより、通学路における児童生徒の安全な環境が維持できた。

事 業 名		防災教育推進事業		
担 当 課		学校教育課	総合振興計画コード	3131-02
款	10	教育費	当 初 予 算 額	128,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	128,000 円
目	03	教育振興費	決 算 額	44,345 円
事業の目的	東日本大震災を受け、本市独自の防災教育を推進し、災害発生時に的確な判断の下に、安全な行動によって生命の確保ができる子どもたちの育成を目指す。	事業の概要	拠点避難場所や地域で活躍できる中学生ボランティアリーダーを育成するための研修会を実施する。また、防災教育研修の開催や従来の訓練の方法を見直した引き渡し訓練及び避難訓練などの実施、防災教育指導資料の活用を図る。	

事業の実績・成果

1　中学生ボランティアリーダー育成研修会

日　時　　令和元年７月 31 日（水）9：00～16：15

場　所　　県立加須げんきプラザ

参　加　　市立各中学校の２年生男女合計 33 人

内　容　　・　災害発生時の避難行動
　　・　災害に対する日頃の備え
　　・　拠点避難所でのボランティア活動
　　・　炊き出し訓練（アルファ米、カレー）
　　・　救急救命講習（AED 実習、心肺蘇生法実習を含む）

2　加須市防災教育研修会

日　時　　令和元年８月 22 日（木）9：15～12：00

場　所　　大利根水防センター

参　加　　市立各小・中学校の教職員１名、保護者・学校応援団１名

内　容　　（1）講　　話
　　「効果的な防災教育の推進～関係機関と連携した取組の充実に向けて～」
　　講師　国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所　大須賀 勝　様
　　（2）降雨体験車・自然災害体験車による体験

3　成果

○　中学生ボランティアリーダー研修会では、体験的・実践的な研修を実施することで、災害発生時に的確に判断し、行動できる中学生の育成を図ることができた。

○　加須市防災教育研修会では、講話と体験活動を通して、災害時への対応について理解を深めることができた。また、各校の取組について情報交換を行うことで学校間の横のつながりを深めることができた。

事 業 名		学校グリーンカーテン事業		
担 当 課		学校教育課	総合振興計画コード	4111-02
款	10	教育費	当 初 予 算 額	430,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	430,000 円
目	03	教育振興費	決 算 額	373,181 円
事業の目的	環境問題に真剣に取り組む幼児、児童生徒を育成するために、具体的かつ体験的な環境学習を実施する。	事業の概要	市立各幼稚園及び小・中学校の壁面や花壇等を活用し、ゴーヤやヘチマ等を栽培してネットにはわせ、校（園）舎南側にグリーンカーテンをつくる。	

事業の実績・成果

1　実　績

全ての市立幼稚園（13 園）、小･中学校（30 校）において、校舎等の壁面や花壇等を利用し、ゴーヤやヒョウタン、ヘチマ等を栽培してネットにはわせ、校舎南側にグリーンカーテンを作った。

2　成　果

(1) 環境問題に関する児童生徒の興味・関心が高まった。

本事業終了後、市立小・中学校の 30 学級 788 名の児童生徒に対する抽出のアンケートを実施した。その結果 90%以上の児童生徒に、環境問題への興味・関心があることが確認できた。

(2) 各教科・領域等、多面的な学習の機会としての活用が行われている。その中で、児童生徒が主体的に取り組む姿が多く見られた。学校によっては、児童会活動や生徒会活動との関連で事業の充実を図っていた。

(3) ヒョウタンやヘチマの実を活用し、環境教育の充実を図る中で、園や学校それぞれの創意工夫を凝らした取組を行う状況が見られる。

【今後の取組について】

・平成 22 年度より新市全域で取り組み、令和元年度まで継続して実施している。

・令和 2 年度より予算が無くなるが、引き続き、学校との連携を図って事業の在り方を工夫して進めていく。

事 業 名		幼稚園及び小中学校空調設備整備事業【繰越明許】		
担 当 課		教育総務課	総合振興計画コード	1212-12
款	10	教育費	当 初 予 算 額	2,600,000,000 円
項	01	教育総務費	最 終 予 算 額	2,600,000,000 円
目	03	教育振興費	決 算 額	2,589,123,385 円
事業の目的	学校施設の整備・充実を図り、安全で快適な学習環境を確保する。	事業の概要	・全小中学校 30 校の普通教室及び全幼稚園 13 園の保育室のエアコンの令和元年 7 月の一斉稼働を目指す。 ・全小中学校 30 校の特別教室のエアコンを令和元年度中に整備する。	

事業の実績・成果

【繰越明許　平成 30 年度から令和元年度へ繰越を行った理由】

平成 30 年度「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」の内定通知が平成 30 年 12 月 4 日、交付決定が平成 31 年 2 月 1 日であり、平成 30 年度内に完成しないため。

●委託料　　決算額　245,878,002 円

幼稚園の保育室及び小中学校の普通教室にエアコンを設置し、令和元年 7 月 1 日までに稼働させるため、幼稚園及び小中学校普通教室等空調設備整備工事（1 期工事）の設計・監理業務を委託した。

また、騎西中央幼稚園については、騎西小学校との複合化再整備工事に合わせてエアコン設置工事を行うため、騎西中央幼稚園再整備複合化工事監理等業務(空調分)を委託した。

さらに、小中学校特別教室空調設備整備工事（2 期工事）に伴い、校舎外壁等の吹付材のアスベスト調査業務、小中学校特別教室空調設備整備工事設計業務、小中学校特別教室空調設備整備工事監理業務を委託した。

・小中学校校舎外外壁等アスベスト調査業務委託
・幼稚園及び小中学校普通教室等空調設備整備工事設計・監理業務委託
・騎西中央幼稚園再整備複合化工事監理等業務委託(空調分)
・小中学校特別教室空調設備整備工事設計業務委託
・小中学校特別教室空調設備整備工事監理業務委託

●空調設備設置工事　　決算額　2,343,245,383 円

幼稚園の保育室及び小中学校の普通教室にエアコンを設置し、令和元年 7 月 1 日までに稼働させるため、幼稚園及び小中学校普通教室等空調設備整備工事を実施した。また、騎西中央幼稚園については、騎西小学校との複合化再整備工事に合わせてエアコン設置工事を実施した。

さらに、令和 2 年 3 月末までに小中学校の特別教室にエアコンを設置するため、小中学校特別教室空調設備整備工事を実施した。

その他、故障していた、大越幼稚園職員室及び原道小学校職員室のエアコン改修工事を実施した。

・幼稚園及び小中学校普通教室等空調設備整備工事
・加須小学校機械警備移設工事　外 10 校工事
・大越幼稚園職員室空調機改修工事
・原道小学校職員室空調機改修工事
・騎西中央幼稚園再整備複合化機械設備工事(空調分)
・騎西中央幼稚園再整備複合化電気設備工事(空調分)
・小中学校特別教室空調設備整備工事（１工区）
・小中学校特別教室空調設備整備工事（２工区）
・小中学校特別教室空調設備整備工事（３工区）
・小中学校特別教室空調設備整備工事（４工区）
・小中学校特別教室空調設備整備工事（５工区）
・小中学校特別教室空調設備整備工事（６工区）
・不動岡小学校空間センサー移設工事
・水深小学校特別教室空調設備整備工事
・鴻茎小学校特別教室空調設備整備工事

事 業 名		小学校管理運営事業		
担 当 課		教育総務課	総合振興計画コード	1212-01
款	10	教育費	当 初 予 算 額	271,535,000 円
項	02	小学校費	最 終 予 算 額	271,535,000 円
目	01	学校管理費	決 算 額	229,931,848 円
事業の目的	・明るく豊かで活力に満ちた児童の健全な育成を目指し、小学校における教育環境の整備を図る。	事業の概要	・小学校２２校について、必要な消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、委託料、土地借上料、備品購入費を措置し、管理運営を行う。	

事業の実績・成果

小学校の管理運営を行うに当たり、必要諸経費を適切に支出することができた。

・【諸経費過去５年間の推移と対前年比】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
電気料（円）	40,012,716	35,815,551	36,646,446	38,559,958	41,566,963
対前年比（%）	92.70	89.51	102.32	105.22	107.80

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
水道料（円）	22,876,556	17,835,943	17,788,694	18,021,210	16,404,948
対前年比（%）	102.57	77.97	99.74	101.31	91.03

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
修繕料（円）	26,192,134	26,596,056	26,301,517	26,420,519	26,544,667
対前年比（%）	100.64	101.54	98.89	100.45	100.47

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
電話料（円）	4,690,171	4,807,704	5,105,628	5,493,647	5,483,225
対前年比（%）	104.98	102.51	106.20	107.60	99.81

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
委託料（円）	15,027,411	13,828,959	17,402,503	14,905,174	14,619,668
対前年比（%）	114.03	92.02	125.84	85.65	98.08

機械警備の委託、消防設備、給食用リフトの点検及び修繕を行い、防犯・防火・安全対策の機能維持並びに汚水処理施設及び受水槽の維持管理を行い、環境・衛生の保全に努めた。

・音楽会に係る会場借上料　120,300 円
・各種大会に参加するためのバス借上料　3,995,750 円

大会名	会　場	バス利用参加人数	バス台数
市内陸上競技会 （開催日）10/16	加須市民運動公園	21 校、914 人	大型 13 台
市内音楽会 （開催日）10/24	パストラルかぞ	22 校、649 人	大型 11 台
東部・北地区音楽会 （開催日）11/8	パストラルかぞ	7 校、176 人	大型 3 台
埼玉県小中学校 音楽会中央大会 （開催日）11/22	深谷市民文化会館	1 校、17 人	中型 1 台

事 業 名		小学校施設整備事業			（総合戦略）
担 当 課		教育総務課		総合振興計画コード	1212-05
款	10	教育費		当 初 予 算 額	87,246,000 円
項	02	小学校費		最 終 予 算 額	858,152,000 円
目	01	学校管理費		決 算 額	105,722,082 円
事業の目的	・学校施設の整備・充実を図り、安全で快適な学習環境を確保する。		事業の概要	・小学校 22 校について、環境改善を要する施設を常に把握し、優先度を判断して計画的に修繕、改修工事及び施設備品の購入を行う。	

事業の実績・成果

●修繕料　　決算額　288,360 円
浄化槽の修繕を実施し、適正な維持管理に努めた。
・高柳小学校浄化槽蓋交換修繕

●手数料　　決算額　97,529 円
ブラウン管テレビの処分を行った。
・ブラウン管テレビ処分手数料
・水深小学校校庭借地買収契約書の印紙代

●委託料　　決算額　19,813,500 円
種足小学校・高柳小学校プールの漏水調査を委託した。また、田ケ谷小学校校舎大規模改造工事設計・アスベスト調査業務委託を実施した。
水深小学校校庭借地買収地の所有権移登記等の嘱託登記業務委託を実施した。
・種足小学校漏水調査業務委託
・高柳小学校プール循環系統漏水調査業務委託
・田ケ谷小学校校舎内部アスベスト含有建材分析調査業務委託
・田ケ谷小学校校舎大規模改造工事設計業務委託
・水深小学校校庭用地嘱託登記業務委託

●施設改修工事　　決算額　33,724,240 円
志多見小学校昇降機の老朽化による改修工事や志多見小・原道小の校長室及び高柳小学校保健室のエアコンの老朽化による改修工事を実施した。また、浄化槽設備の老朽化による改修工事や、ブロック塀等の安全対策のため改修工事を実施し、学校施設の機能の強化や回復、安全性の向上に努めた。
令和元年 9 月 8 日～9 日にかけて関東地方に接近した台風 15 号により、志多見小学校東側の校門の門扉が東側に倒れ、再利用が不可能なたな状態であるため、交換工事を実施した。また、令和元年 10 月 12 日～13 日にかけての台風 19 号の影響により、元和小学校放送室の床に 10cm 程度の雨水がたまり放送設備が破損したため、放送設備交換工事を実施した。
・志多見小学校昇降機改修工事
・高柳小学校浄化槽沈殿槽センターウェル交換工事
・高柳小学校浄化槽沈殿槽越流堰交換工事
・田ケ谷小学校微細目スクリーン交換工事
・鴻茎小学校浄化槽水中ポンプ及び配管交換工事
・原道小学校浄化槽ブロアー交換工事
・北川辺東小学校校門改修工事
・加須南小学校散水設備改修工事
・三俣小学校ブロック塀安全対策工事
・騎西小学校ブロック塀安全対策工事
・元和小学校放送設備交換工事
・志多見小学校正門門扉交換工事

・志多見小学校校長室エアコン交換工事
・原道小学校校長室エアコン交換工事
・高柳小学校保健室エアコン交換工事

【繰越明許　令和元年度から令和２年度へ繰り越す理由】
繰越明許額　749,826,489 円
田ケ谷小学校校舎大規模改修工事及び監理業務委託、備品購入等を令和２年度に実施予定。
また、豊野小学校校長室及び保健室のエアコン交換、元和小学校及び豊野小学校の中庭の劣化した床仕上材撤去工事が令和元年度内に完了しないため、令和２年度に繰り越した。
その他、令和２年度に増加する予定の特別支援教室等の備品購入が令和元年度内に完了しないため、令和２年度に繰り越した。
（手数料：2,000 円、委託料：13,886,000 円、施設改修工事費：726,496,489 円、備品購入費：7,869,000 円、負担金補助及び交付金（水道加入負担金）：1,573,000 円）

事 業 名		小学校施設整備事業【繰越明許】			（総合戦略）
担 当 課		教育総務課		総合振興計画コード	1212-05
款	10	教育費		当 初 予 算 額	47,743,000 円
項	02	小学校費		最 終 予 算 額	47,743,000 円
目	01	学校管理費		決 算 額	33,931,318 円
事業の目的	・学校施設の整備・充実を図り、安全で快適な学習環境を確保する。		事業の概要	・小学校 22 校について、環境改善を要する施設を常に把握し、優先度を判断して計画的に修繕、改修工事及び施設備品の購入を行う。	

事業の実績・成果

【繰越明許　平成 30 年度から令和元年度へ繰越を行った理由】

騎西小学校校舎北側トイレ改修工事の平成 30 年度学校施設環境改善交付金の交付決定が平成 31 年 3 月 15 日であり、平成 30 年度内に完成しないため。

なお、騎西小学校校舎北側トイレ改修工事については、加須市立騎西中央幼稚園再整備複合化工事と合わせて、１つの工事で契約している。

また、水深小学校隣接住宅地については、平成 31 年 1 月 18 日に寄付を受託したものであり、寄付家屋解体工事及び所有権移転登記等嘱託登記が、平成 30 年度内に完了しないため。

備品購入については、令和元年度に特別支援教室等が増える可能性がある教室について、不足する備品の購入費を３月補正予算で確保したことから、平成 30 年度内に購入が完了しないため。

●委託料　　決算額　1,137,743 円

騎西小学校校舎北側トイレ改修工事の監理等業務（騎西中央幼稚園再整備複合化工事監理業務委託と合わせて１つの契約で委託）を委託した。

また、水深小学校隣接寄附住宅の所有権移転登記等の嘱託登記業務を委託した。

・騎西中央幼稚園再整備複合化工事監理等業務委託
・水深小学校隣接寄附住宅所有権移転・建物滅失等嘱託登記業務委託

●施設改修工事　　決算額　32,691,515 円

騎西中央幼稚園再整備複合化工事に合わせて騎西小学校校舎北側トイレ改修工事（騎西中央幼稚園再整備複合化工事と合わせて１つの契約で工事）を実施し、教育環境の改善を図った。

また、水深小学校隣接寄付住宅の家屋を解体し整地し、学校敷地の拡張及び、東側県道からの出入り口を確保した。

・騎西中央幼稚園再整備複合化建築工事
・騎西中央幼稚園再整備複合化機械設備工事
・騎西中央幼稚園再整備複合化電気設備工事
・水深小学校隣家解体整備工事

●備品購入費　　決算額　102,060 円

北川辺西小学校の普通教室が令和元年度に１室増加するため配膳台を購入した。また、礼羽小学校の普通教室の教卓が老朽化したため新たに購入した。

・普通教室備品購入（北川辺西小・礼羽小）

事 業 名	小学校健康推進事業		
担 当 課	学校教育課	総合振興計画コード	1212-07
款 10	教育費	当 初 予 算 額	28,606,000 円
項 02	小学校費	最 終 予 算 額	28,606,000 円
目 01	学校管理費	決 算 額	27,121,192 円
事業の目的	学校保健安全法に基づき小学校児童及び教職員の健康管理をすることで、教育環境の充実を図る。	事業の概要	学校保健安全法に基づく児童の健康診断（内科・歯科検診、尿検査、心電図検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査）を実施する。 フッ素塗布、歯磨き指導を実施する。 教職員の健康診断、胃がん、大腸がん検診及びストレスチェックを実施する。 学校環境衛生検査を実施する。 食物アレルギーに関する職員研修を充実する。

事業の実績・成果

1　学校医・学校歯科医・学校薬剤師の執務内容

学校医　　：内科検診、就学時健診、学校保健委員会講師、研修等
学校歯科医　　：歯科検診、就学時歯科検診、臨時歯科検診、フッ素塗布、学校保健委員会講師等
学校薬剤師　　：飲料水、プール水水質検査及び結果指導、学校環境検査、研修等

2　学校歯科保健事業における歯科衛生士の派遣

フッ素塗布　　：フッ素塗布 22 校×2 回　　歯みがき指導　：延べ 55 回派遣

3　児童及び教職員健康診断の受診の推移　　（単位　　上段：人　　下段：円）

年度 合計	児童健康診断						教職員健康診断		
	尿検査 一次	尿検査 二次	ぎょう虫 卵検査	心臓検診	脊柱側 彎検査	結核	健康診断	胃	大腸
平成 27 年度 11,239 5,476,752	5,814 753,493	377 109,932	2,860 324,324	935 1,820,696	953 555,599	3 10,216	198 1,620,324	36 166,500	63 115,668
平成 28 年度 8,315 5,176,882	5,721 741,441	410 119,555		922 1,795,424	970 565,510	11 56,272	203 1,666,224	32 148,000	46 84,456
平成 29 年度 8,499 5,435,420	5,744 744,421	551 160,671		962 1,879,260	948 552,684	8 38,410	233 1,912,464	18 83,250	35 64,260
平成 30 年度 8,321 5,021,604	5,648 731,980	555 161,837		877 1,704,888	981 571,923	6 25,775	207 1,691,496	17 78,625	30 55,080
令和元年度 7,796 4,747,825	5,504 713,318	273 79,606		811 1,586,962	948 552,684	12 45,960	200 1,639,332	15 69,375	33 60,588

＊ぎょう虫卵検査は平成 28 年度から廃止（平成 27 年度は年 2 回を 1 回にして段階的に廃止した）

4　教職員ストレスチェック

該当教職員　398 人　受検者数　374 人　受検率 94.0%　高ストレス者数　29 人

5　養護教諭Ｂ型肝炎予防接種（接種規定回数 1 人 3 回）　接種者　2 人　延べ接種回数 4 回

事 業 名	小学校就学援助事業			（総合戦略）
担 当 課	学校教育課		総合振興計画コード	1112-07
款	10	教育費	当 初 予 算 額	44,119,000 円
項	02	小学校費	最 終 予 算 額	44,119,000 円
目	02	教育振興費	決 算 額	35,561,267 円
事業の目的	小学校６年間の普通教育を保障し、義務教育の円滑な実施のため、経済的理由によって就学が困難と認められる児童の保護者に、必要な援助をし、経済的負担の軽減を目指す。	事業の概要	要保護児童の保護者に対して、修学旅行費及び医療費の就学援助費を支給する。 準要保護児童の保護者に学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、医療費、ＰＴＡ会費、児童会費等の就学援助費を支給する。 認定基準は、生活保護最低生活費認定基準の見直しによる影響がないように基準を設定する。	

事業の実績・成果

経済的な理由によって、就学が困難と認められる児童の保護者に対して、給食費、学用品費、校外活動費等の必要な援助を行った。また、保護者に対し、就学援助制度の案内を行い制度の周知に努めた。

さらに、援助を必要とする時期に速やかな支給が行えるよう「新入学児童生徒学用品費」の入学前支給を行った。

１　就学援助者数の推移　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
就学援助者数	730	680	631	629	593

２　援助費額の推移　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
支給額	42,754,547	39,800,328	40,362,160	38,779,522	35,561,267

３　児童数に対する就学援助者の割合　（単位：％）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
割合	12.5	12.0	11.0	11.1	10.7

事 業 名	小学校特別支援教育就学奨励事業			（総合戦略）
担 当 課	学校教育課		総合振興計画コード	1112-09
款	10	教育費	当 初 予 算 額	4,528,000 円
項	02	小学校費	最 終 予 算 額	4,528,000 円
目	02	教育振興費	決 算 額	3,716,993 円
事業の目的	特別支援学級に在籍する児童及び学校教育法施行令第２２条の３に規定する障害の程度に該当する児童の保護者のために、通学に係る費用について必要な補助をし、経済的負担の軽減を目指す。	事業の概要	特別支援学級へ在籍する児童及び学校教育法施行令第２２条の３に規定する障害の程度に該当する児童の保護者に対し、所得に応じて、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費等を国の基準により支給する。	

事業の実績・成果

教育の機会均等の趣旨にのっとり、特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、学用品費等を支給し、経済的な負担の軽減を図る。

保護者に対し、制度の案内及び周知に努め、利用可能な世帯に対して補助額の多い就学援助制度の案内を図った。

１　特別支援教育就学奨励費支給者数の推移　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
就学支給者数	77	87	105	124	152

２　支給額の推移　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
支給額	2,098,213	2,189,798	2,664,498	3,459,771	3,716,993

事 業 名		小学校教材用備品整備事業		
担 当 課		教育総務課	総合振興計画コード	1212-03
款	10	教育費	当 初 予 算 額	1,884,000 円
項	02	小学校費	最 終 予 算 額	1,884,000 円
目	02	教育振興費	決 算 額	1,845,080 円
事業の目的	・理科教育に関する指導内容に沿った備品を整備し、理科教育の振興を図る。	事業の概要	・各校の理科備品の整備状況を踏まえ、理科教育設備の充実に必要な備品を整備する。	

事業の実績・成果

国庫補助（補助率；事業計画額の 1/2）を活用し、整備率の低い騎西・北川辺地域に重点を置きながら、各校の理科設備備品を購入し理科教育の振興を図った。

● 理科設備備品購入 （15 校） 決算額 1,845,080 円

● 理科教育設備整備率

各学校の理科教育設備の整備率

＝ 各学校総計の年度末現有額 ÷ 理科教育振興費国庫補助金交付要綱に定める基準額

単位（%）

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
理科教育設備整備率	85.3	85.9	86.4	87.5	76.8

※令和元年８月に理科教育振興費国庫補助金交付要綱に定める基準額が、10,341 千円から、11,630 千円に改定されたため、令和元年度の整備率は平成 30 年度よりも下がった。

事 業 名		中学校管理運営事業		
担 当 課		教育総務課	総合振興計画コード	1212-02
款	10	教育費	当 初 予 算 額	153,679,000 円
項	03	中学校費	最 終 予 算 額	153,679,000 円
目	01	学校管理費	決 算 額	132,015,254 円
事業の目的	・明るく豊かで活力に満ちた生徒の健全な育成を目指し、中学校における教育環境の整備を図る。	事業の概要	・中学校８校について、必要な消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、委託料、土地借上料、備品購入費を措置し、管理運営を行う。	

事業の実績・成果

中学校の管理運営を行うに当たり、必要諸経費を適切に支出することができた。

・【諸経費過去５年間の推移と対前年比】

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
電気料（円）	22,589,599	18,992,820	20,081,253	20,249,437	19,230,709
対前年比（%）	92.07	84.07	105.73	100.84	94.97

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
水道料（円）	9,371,131	8,654,201	8,162,418	8,074,345	8,293,021
対前年比（%）	92.99	92.35	94.32	98.92	102.71

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
修繕料（円）	14,721,432	14,812,600	14,822,918	14,972,089	15,168,758
対前年比（%）	100.21	100.62	100.07	101.01	101.31

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
電話料（円）	2,151,571	2,289,685	2,414,918	2,475,744	2,618,518
対前年比（%）	104.78	106.42	105.47	102.52	105.77

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
委託料（円）	7,987,215	8,075,724	9,809,604	8,331,460	10,420,968
対前年比（%）	92.61	101.11	121.47	84.93	125.08

機械警備の委託、消防設備、給食用リフトの点検及び修繕を行い、防犯・防火・安全対策の機能維持並びに汚水処理施設及び受水槽の維持管理を行い、環境・衛生の保全に努めた。

・部活動の大会に参加するためのバス借上料　14,275,695円
・音楽会に参加するためのバス借上料　721,600円

大会名	会　場	バス利用参加人数	バス台数
市内音楽会 （開催日）10/24	パストラルかぞ	8校、285人	大型4台
東部・北地区音楽会 （開催日）11/8	パストラルかぞ	3校、116人	大型2台
埼玉県小中学校 音楽会中央大会 （開催日）11/22	深谷市民文化会館	1校、37人	大型1台

事 業 名		中学校施設整備事業		
担 当 課		教育総務課	総合振興計画コード	1212-06
款	10	教育費	当 初 予 算 額	3,067,000 円
項	03	中学校費	最 終 予 算 額	29,967,000 円
目	01	学校管理費	決 算 額	17,358,203 円
事業の目的	・学校施設の整備・充実を図り、安全で快適な学習環境を確保する。	事業の概要	・中学校８校について、環境改善を要する施設を常に把握し、優先度を判断して計画的に修繕、改修工事及び施設備品の購入を行う。	

事業の実績・成果

●修繕料　　決算額　235,450 円

加須西中学校汚水処理施設内流量調整槽の開口蓋の老朽化による腐食や大利根中学校浄化槽ばっ気管の老朽化によるエアー漏れが発生したので修繕を実施した。

・加須西中学校汚水処理施設内流量調整槽開口蓋修繕
・大利根中学校浄化槽ばっ気エアー漏れ修繕

●手数料　　決算額　79,993 円

ブラウン管テレビの処分を行った。

・ブラウン管テレビ処分手数料

●委託料　　決算額　334,800 円

大利根中学校・加須西中学校プールの漏水調査を委託した。

・大利根中学校漏水調査業務委託
・加須西中学校プール循環系統漏水調査業務委託

●施設改修工事　　決算額　16,708,960 円

北川辺中学校の保健室・校長室、騎西中学校の校長室、加須西中学校の職員室のエアコンが老朽化により故障したので交換した。加須北中学校のダムウェーターが老朽化により故障したので改修した。加須平成中学校の放送設備が老朽化により故障したので改修した。騎西中学校の太陽光発電設備の発電量を表示するためのパソコン等が故障したので交換した。また、受水槽の加圧ポンプが老朽化により故障したので交換した。加須西中学校北側出入口横のブロック塀を安全対策のため撤去した。大利根中学校浄化槽の放流ポンプやフロートスイッチが故障したので交換した。また、浄化槽の蓋が老朽化のため腐食したので交換した。

・北川辺中学校保健室空調機改修工事
・加須北中学校ダムウェーター改修工事
・騎西中学校太陽光発電設備ＰＣ交換工事
・騎西中学校揚水ポンプ交換工事
・加須西中学校ブロック塀安全対策工事
・北川辺中学校校長室エアコン交換工事
・騎西中学校校長室エアコン交換工事
・加須西中学校職員室エアコン交換工事
・大利根中学校浄化槽放流ポンプ及びフロート交換工事
・大利根中学校浄化槽蓋交換工事

【繰越明許　令和元年度から令和２年度へ繰り越す理由】　繰越明許額　11,827,729 円

大利根中学校コンピュータ室のエアコン交換工事及び加須平成中学校校長室外のエアコン交換工事が令和元年度内に完了しないため、令和２年度に繰り越した。
また、令和２年度に増加する予定の特別支援教室等の備品購入が令和元年度内に完了しないため、令和２年度に繰り越した。
（施設改修工事費：11,498,729 円、備品購入費：329,000 円）

事 業 名		中学校施設整備事業【繰越明許】		
担 当 課		教育総務課	総合振興計画コード	1212-06
款	10	教育費	当 初 予 算 額	478,000 円
項	03	中学校費	最 終 予 算 額	478,000 円
目	01	学校管理費	決 算 額	184,248 円
事業の目的	・学校施設の整備・充実を図り、安全で快適な学習環境を確保する。	事業の概要	・中学校８校について、環境改善を要する施設を常に把握し、優先度を判断して計画的に修繕、改修工事及び施設備品の購入を行う。	

事業の実績・成果

【繰越明許　平成30年度から令和元年度へ繰越を行った理由】

令和元年度に特別支援教室等が増える可能性がある教室について、不足する備品の購入費を３月補正予算で確保したことから、平成30年度内に購入が完了しないため。

●備品購入費　　決算額　184,248円

加須東中学校の普通教室が令和元年度に１室増加するため教師用の机・イス及び配膳台を購入した。

また、加須平成中学校の特別支援教室が１室増加するため、スチール戸棚を新たに購入した。

・特別支援教室等備品購入（加須平成中・加須東中）

事 業 名		中学校健康推進事業		
担 当 課		学校教育課	総合振興計画コード	1212-08
款	10	教育費	当 初 予 算 額	13,936,000 円
項	03	中学校費	最 終 予 算 額	13,936,000 円
目	01	学校管理費	決 算 額	12,921,463 円

事業の目的	学校保健安全法に基づき生徒及び教職員の健康を管理することで、教育環境の充実を図る。	事業の概要	学校保健安全法に基づく生徒の健康診断等（内科検診、歯科検診、尿検査、心電図検査、貧血検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査）を実施する。 教職員の健康診断、胃がん、大腸がん検診及びストレスチェックを実施する。 生徒に歯科指導を実施する。 学校環境衛生検査を実施する。 食物アレルギーに関する職員研修を充実する。

事業の実績・成果

1　学校医・学校歯科医・学校薬剤師の執務内容
学校医　　内科検診等
学校歯科医　歯科検診、臨時歯科検診等
学校薬剤師　飲料水、プール水水質検査及び結果指導、学校環境検査、研修等

2　学校歯科保健事業における歯科衛生士の派遣
歯科指導（歯周病予防を含む）延べ 16 回派遣

3　生徒及び教職員の健康診断受診の推移　　（単位　上段：人　下段：円）

年度 合計	生徒健康診断						教職員健康診断		
	尿検査 一次	尿検査 二次	貧血 検査	心臓検診	脊柱側 彎検査	結核	健康 診断	胃	大腸
平成 27 年度									
6,240	2,901	305	1,006	945	942	3	101	15	22
4,473,346	376,099	88,936	673,014	1,837,080	549,186	10,256	829,008	69,375	40,392
平成 28 年度									
6,338	2,930	344	928	991	992	1	114	13	25
4,654,083	379,728	100,310	620,832	1,928,140	578,336	5,000	935,712	60,125	45,900
平成 29 年度									
6,251	2,859	390	973	932	931	1	114	21	30
4,577,837	370,526	113,724	650,937	1,810,460	542,773	1,500	935,712	97,125	55,080
平成 30 年度									
6,150	2,850	361	917	943	943	1	94	14	27
4,365,111	369,360	105,267	613,473	1,835,368	549,769	6,000	771,552	64,750	49,572
令和元年度									
5,960	2,779	261	931	923	923	2	104	13	24
4,352,984	360,158	76,107	622,839	1,796,368	538,109	3,850	851,364	60,125	44,064

4　教職員ストレスチェック
該当教職員　201 人　受検者数　190 人　受検率 94.5%　高ストレス者数　17 人

5　養護教諭Ｂ型肝炎予防接種（接種規定回数１人３回）　接種者　１人　延べ接種回数　１回

事 業 名		生徒派遣援助事業		
担 当 課		教育総務課	総合振興計画コード	1212-10
款	10	教育費	当 初 予 算 額	800,000 円
項	03	中学校費	最 終 予 算 額	1,149,019 円
目	01	学校管理費	決 算 額	1,149,019 円

事業の目的	・明るく豊かで活力に満ちた生徒の健全な育成を目指すために、中学校における各種スポーツ及び文化活動の振興を図る。	事業の概要	・全国大会等に出場する生徒の派遣費補助を行う。

事業の実績・成果

・令和元年度全国小中学校体育連盟主催の競技大会及び文化系全国大会等への生徒派遣費補助金
1,149,019 円

令和元年度実績　19件（16人、3組）

	学校名	学年	性別	競技種目	出場種目	大会期日	大会会場	市補助金	県中体連補助金	補助合計
関東大会	加須西中学校	3	男	テニス	シングル	7月31日～8月2日	小瀬スポーツ公園（山梨県甲府市）	22,438	3,440	25,878
	加須東中学校	1	男	水泳	100m自由形	8月7日～9日	敷島公園水泳場（群馬県前橋市）	35,427	3,320	38,747
	騎西中学校	2	男	水泳	100m・200m背泳ぎ	8月7日～9日	敷島公園水泳場（群馬県前橋市）	37,626	3,320	40,946
	昭和中学校	2	女	水泳	100m・200m背泳ぎ	8月7日～9日	敷島公園水泳場（群馬県前橋市）	73,932	6,640	80,572
		2	男	水泳	100m・200mバタフライ					
	昭和中学校	3	男	陸上	棒高跳び	8月8日～9日	小瀬スポーツ公園陸上競技場（山梨県甲府市）	37,938	3,440	41,378
	北川辺中学校	3	女	陸上	砲丸投げ	8月8日～9日	小瀬スポーツ公園陸上競技場（山梨県甲府市）	112,460	6,880	119,340
		3	女	陸上	走り幅跳び					
	騎西中学校	2・3	男	陸上	駅伝	11月30日・12月1日	八景島海の公園周回コース（神奈川県横浜市）	151,806	24,570	176,376
	大利根中学校	2	男	全国中学生創造ものづくり教育フェア　創造アイデアロボットコンテスト		12月1日	長野市立篠ノ井西中学校（長野県長野市）	29,670	0	29,670
全国大会	昭和中学校	2	男	水泳	200m自由形・個人メドレー	8月16日～19日	京都アクアアリーナ（京都府京都市）	63,940	11,860	75,800
	加須西中学校	3	男	テニス	シングル	8月21日～22日	マリンテニスパーク・北村（大阪府大阪市）	35,320	12,400	47,720
	昭和中学校	3	男	陸上	棒高跳び	8月21日～24日	ヤンマースタジアム長居（大阪府大阪市）	84,940	12,400	97,340
	昭和中学校	3	男	陸上	110mハードル	8月21日～24日	ヤンマースタジアム長居（大阪府大阪市）	97,868	12,400	110,268
	騎西中学校	3	男	陸上	1,500m	8月21日～25日	ヤンマースタジアム長居（大阪府大阪市）	95,868	12,400	108,268
	北川辺中学校	3	男	陸上	110mハードル	8月21日～24日	ヤンマースタジアム長居（大阪府大阪市）	173,184	24,800	197,984
		3	女	陸上	砲丸投げ					
	大利根中学校	3	男	陸上	棒高跳び	8月21日～24日	ヤンマースタジアム長居（大阪府大阪市）	86,702	12,400	99,102
	大利根中学校	2	女	全国中学生創造ものづくり教育フェア　「あなたのためのおべんとう」コンクール		1月25日・26日	女子栄養大学（豊島区駒込） 東京芸術センター（足立区千住）	9,900	0	9,900

事 業 名		中学生夢創造チャレンジ事業		
担 当 課		学校教育課	総合振興計画コード	1221-02
款	10	教育費	当 初 予 算 額	578,000 円
項	03	中学校費	最 終 予 算 額	578,000 円
目	01	学校管理費	決 算 額	340,607 円

事業の目的	生徒の将来の夢や希望を育むため、進路意識の啓発、高揚を図り、中学生が望ましい職業観や働くことの意義、生き方等を学ぶ機会の充実を目指す。	事業の概要	中学生が人とのふれあいを通して「働くことの意義」や「生き方」について学ぶ、市立各中学校が企画する職場体験学習（原則として 3 日間）に必要な消耗品費や保菌検査、損害保険加入等を支援する。 地域の方等から生き方や職業についての話を聞く「ふれあい講演会」の支援を行う。

事業の実績・成果

1　ふれあい講演会

市内のすべての中学校において、ふれあい講演会を実施することができた。講師には、舞台俳優、イラストレーター、マリンバ奏者、英語通訳に関する仕事関係者、シンガーソングライター、給食センター栄養教諭、気象予報士といった、多彩な講師による公演が展開された。この学びの機会を通して、生徒一人一人が、進路決定における視野を広げることができた。

2　職場体験学習

215 の事業所（延べ 260 事業所）に協力をいただき、881 名の生徒が 2 日または 3 日間の職場体験学習に参加した。飲食業で体験する生徒については、全員の保菌検査を実施し、安全の確保を図った。活動を通し、望ましい職業観や勤労観の形成を図ることができた。多くの人々とのふれあいは、社会性等を養むことにつながった。（加須北中は、実施学年の移行に伴い、令和元年度は未実施）

※　職場体験学習事業所（一部紹介）

職業分類	事業所（順不同）
農業	宮内バラ園・サンリツファーム・長花園・大利根造園・栗原造園・トキタ種苗　など
製造業	いずみ寿司・日大衣料・湖池屋・日本ワイパーブレード・妙高コーポレーション・埼北東洋冷蔵・釜屋・ブリヂストンサイクル騎西工場・中央化学・グローリー株式会社・株式会社ラスコ・リーブルテック株式会社・（株）コロンバン埼玉工場・根岸研磨　など
販売	東武ストア加須マイン・イトーヨーカ堂・シャトレーゼ・ウェルシア・カサモ関口商店・とりせん・カスミビバモール・たかのチェーン・ナフコ・セキ薬品・マツモトキヨシ・コメリ・マミーマート・カインドウェア・田辺スポーツ・山崎生花店・小林登商店・・コヤナギスポーツ・矢島生花・十勝甘納豆・ガソリンスタンド・コンビニエンスストアの各地区店舗・ミクニライフ&オート・根岸自動車・ヤマダ電機・松勘工業・ワークマン・しまばやし・しまむら・イオンモール羽生　など
飲食業	てるこう・すき家・デニーズ・とんでん・久下屋脩兵衛・おおぎやフーズ・北海道ラーメン・うなぎの荒川・かたやま・食堂カーちゃん・幸楽苑・コナズコーヒー・ラーメンくりの木・サンドウィッチパプリカ　など
電気工事・建設業	大川緑地開発・吉備工業株式会社・小林土建・ダイユウエンタープライズ・平井板金・臺建設　など
理容・美容	レガリーニ・真弓美容院・パンダ美容室・小笠原美容室・アクア大利根店理美容室　など
学校・幼稚園	市立幼稚園・市立小学校・大利根ふじこども園・市内保育園　など
公共施設	市役所・公民館・市立体育館・加須はなさき公園・加須げんきプラザ・加須東部消防組合・消防署分署・市立図書館・いなほの湯・総合支所　など
社会福祉施設	市立保育園・ケアビレッジシャローム・みずほの里・デイサービスセンター・あけぼの園・さいたま妙松苑・ワークスみぎわ・けやきハウス・特別養護老人ホーム愛泉苑・グループホーム藤の里・山﨑整骨院デイサービス　など
その他	中田病院・柿崎耳鼻咽喉科・騎西クリニック病院・中村動物病院・埼玉りそな銀行・スイミングスクール・むさしの村・武州運輸倉庫株式会社・加須ふれあいクリニック・むさしの歯科・ひだまり接骨院・フラワー歯科・Step up consulting・若山運送・竹内写真館・足利銀行・公文・サン旅行　など

事 業 名	中学校就学援助事業			（総合戦略）
担 当 課	学校教育課		総合振興計画コード	1112-08
款	10	教育費	当 初 予 算 額	48,207,000 円
項	03	中学校費	最 終 予 算 額	48,207,000 円
目	02	教育振興費	決 算 額	39,915,707 円
事業の目的	中学校３年間の普通教育を保障し、義務教育の円滑な実施のため、経済的理由によって就学が困難と認められる生徒の保護者に、必要な援助をし、経済的負担の軽減を目指す。	事業の概要	要保護生徒の保護者に対して、修学旅行費、医療費の就学援助費を支給する。 準要保護生徒の保護者に学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、医療費、ＰＴＡ会費、生徒会費等の就学援助費を支給する。 認定基準は、生活保護最低生活費認定基準の見直しによる影響がないように基準を設定する。	

事業の実績・成果

経済的な理由によって、就学が困難と認められる生徒の保護者に対して、給食費、学用品費、校外活動費等の必要な援助を行った。また、保護者に対し、就学援助制度の案内を行い制度の周知に努めた。

さらに、援助を必要とする時期に速やかな支給が行えるよう「新入学児童生徒学用品費」の入学前支給を行った。

１　就学援助者数の推移　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
就学援助者数	420	413	392	379	388

２　援助費額の推移　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
支給額	38,710,942	38,786,386	43,014,946	40,201,236	39,915,707

３　生徒数に対する就学援助者の割合　（単位：%）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
割合	14.3	13.9	13.6	13.2	13.8

事 業 名		中学校特別支援教育就学奨励事業		（総合戦略）
担 当 課		学校教育課	総合振興計画コード	1112-10
款	10	教育費	当 初 予 算 額	3,644,000 円
項	03	中学校費	最 終 予 算 額	3,644,000 円
目	02	教育振興費	決 算 額	1,779,299 円
事業の目的	特別支援学級に在籍する生徒及び学校教育法施行令第２２条の３に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者のために、通学に係る費用について必要な補助をし、経済的負担の軽減を目指す。	事業の概要	特別支援学級へ在籍する生徒及び学校教育法施行令第２２条の３に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者に対し、所得に応じて、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費等を国の基準により支給する。	

事業の実績・成果

教育の機会均等の趣旨にのっとり、特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、学用品費等を支給し、経済的な負担の軽減を図る。

保護者に対し、制度の案内及び周知に努め、利用可能な世帯に対して補助額の多い就学援助制度の案内を図った。

１　特別支援教育就学奨励費支給者数の推移　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
就学支給者数	30	39	46	51	54

２　支給額の推移　（単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
支給額	1,148,234	1,196,769	1,962,921	2,209,405	1,779,299

事 業 名		中学校教材用備品整備事業		
担 当 課		教育総務課	総合振興計画コード	1212-04
款	10	教育費	当 初 予 算 額	1,037,000 円
項	03	中学校費	最 終 予 算 額	1,037,000 円
目	02	教育振興費	決 算 額	1,011,628 円
事業の目的	・理科教育に関する指導内容に沿った備品を整備し、理科教育の振興を図る。	事業の概要	・各校の理科備品の整備状況を踏まえ、理科教育設備の充実に必要な備品を整備する。	

事業の実績・成果

国庫補助（補助率；事業計画額の 1/2）を活用し、整備率の低い北川辺・大利根地域に重点を置きながら、各校の理科設備備品を購入し理科教育の振興を図った。

- 理科設備備品購入（6 校）決算額　1,011,628 円
- 理科教育設備整備率

各学校の理科教育設備の整備率

＝　各学校総計の年度末現有額　÷　理科教育振興費国庫補助金交付要綱に定める基準額

（単位：%）

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
理科教育設備整備率	87.9	88.6	83.2	84.1	80.5

※昭和中学校の大規模改造工事に併せ、老朽化等のため使用できない理科備品を整理・廃棄したため、令和元年度の整備率は平成 30 年度より下がった。

事 業 名	幼稚園預かり保育事業			（総合戦略）
担 当 課	保育幼稚園課		総合振興計画コード	1121-14
款	10	教育費	当 初 予 算 額	9,032,000 円
項	04	幼稚園費	最 終 予 算 額	8,571,000 円
目	01	幼稚園費	決 算 額	4,544,900 円
事業の目的	仕事など家庭の事情により、保育の延長が必要な幼児に対して、公立幼稚園で預かり保育を実施することにより、子育てを支援する。	事業の概要	保護者の就労・入通院や家族の看護・介護等により、通常の保育終了の午後 3 時から 4 時 30 分までの 1.5 時間、定期的、または一時・緊急時に保育を必要とする幼児を対象に保育を行う。 定期利用　月額 2,200 円 一時・緊急　日額 200 円	

事業の実績・成果

1　保護者の利用希望のあった 8 園で預かり保育を実施し、子育て支援を行った。

2　実施形態

（1）定期利用 年間又は 3 か月以上を通じて継続的な利用者

（2）一時・緊急時利用 短期間の継続的利用者又は断続的な利用者及び緊急時の一時的利用者

3　預かり保育利用延べ人数　（単位：人）

幼稚園名	令和元年度		
		うち定期利用者	うち一時・緊急時利用者
加須幼稚園	890	178	712
不動岡幼稚園	477	395	82
三俣幼稚園	1,353	659	694
礼羽幼稚園	475	129	346
水深幼稚園	1,123	750	373
花崎北幼稚園	583	344	239
騎西中央幼稚園	612	311	301
北川辺幼稚園	919	410	509
合　　計	6,432	3,176	3,256

※　子育てのための施設等利用給付の認定を受けると、預かり保育料は無償となる。

事業名	公立幼稚園管理運営事業		
担当課	保育幼稚園課	総合振興計画コード	1131-01
款 10	教育費	当初予算額	134,886,000円
項 04	幼稚園費	最終予算額	135,347,000円
目 01	幼稚園費	決算額	115,840,917円
事業の目的	公立幼稚園（13園）の適正な管理運営を行う。	事業の概要	・公立幼稚園13園について、必要な消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、委託料、土地借上料、備品購入費などを適正に管理し、管理運営を行う。 ・幼児・教職員の健康診断等を実施する。 ・幼稚園の環境衛生検査を実施する。 ・産休代替、欠員補充職員を雇い上げ適正に配置する。 ・幼稚園補助員を配置する

事業の実績・成果

諸経費過去5年間の推移

（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
電気料	5,995,440	5,594,546	5,944,977	6,348,052	7,951,569
水道料	1,453,601	1,672,600	1,626,746	1,884,279	1,678,161
修繕料	5,155,381	5,656,992	4,509,069	4,862,871	4,534,529
電話料	1,163,562	1,246,363	1,217,865	1,257,994	1,273,675
委託料	5,689,677	6,231,813	5,339,968	5,341,688	5,058,233

機械警備の委託、消防設備、給食用リフトの点検及び修繕を行い、防犯・防火・安全対策の機能維持並びに汚水処理施設及び受水槽の維持管理を行い、環境・衛生の保全に努めた。

公立幼稚園園児数の推移（各年5月1日現在）　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
園児数	656	834	745	705	669

事業名	公立幼稚園施設整備事業			
担当課	保育幼稚園課		総合振興計画コード	1132-01
款	10	教育費	当初予算額	252,898,000円
項	04	幼稚園費	最終予算額	225,602,000円
目	01	幼稚園費	決算額	214,408,123円
事業の目的	公立幼稚園の施設整備を行い、教育環境の充実を図る。	事業の概要	加須市公立幼稚園再整備計画に基づき、計画的に施設の修繕、改修、改築等を行う。	

事業の実績・成果

１．騎西中央幼稚園再整備

老朽化が著しい騎西中央幼稚園について、再整備の早期実現、騎西小学校の余裕教室の有効活用、幼小連携などの幼稚園教育の充実を図るとともに、再整備コストにおいても有利な騎西小学校との複合化工事を実施した。
（トイレ改修部分は、交付金が前倒しで交付されたため、平成30年度から令和元年度へ繰り越した。繰越明許に記載。）

●委託料
・騎西中央幼稚園再整備複合化工事監理等業務委託　5,519,131円

●工事費
・騎西中央幼稚園再整備複合化工事　155,876,333円
・騎西中央幼稚園再整備旧園舎解体工事及び跡地整備工事　47,630,000円

２．樋遣川幼稚園及び大越幼稚園耐震化

市内の公立幼稚園及び小中学校の耐震化が全て完了となるよう、耐震化が未完了の樋遣川幼稚園と大越幼稚園の耐震化に着手した。

●手数料
・樋遣川幼稚園及び大越幼稚園園舎耐震補強設計判定料　200,000円

【繰越明許　令和元年度から令和２年度へ繰り越す理由】
令和元年度９月議会において補正予算計上した耐震補強設計が、発注から完了まで期間を要することから、年度内の完了が困難となったため繰り越した。

【繰越明許額　3,301,900円】
・樋遣川幼稚園及び大越幼稚園園舎耐震補強工事設計業務委託　1,901,900円
・アスベスト建材分析調査業務委託　1,400,000円

事業名	公立幼稚園施設整備事業【繰越明許】		
担当課	保育幼稚園課	総合振興計画コード	1132-01
款 10	教育費	当初予算額	30,974,000円
項 04	幼稚園費	最終予算額	30,974,000円
目 01	幼稚園費	決算額	23,468,593円
事業の目的	公立幼稚園の施設整備を行い、教育環境の充実を図る。	事業の概要	加須市公立幼稚園再整備計画に基づき、計画的に施設の修繕、改修、改築等を行う。

事業の実績・成果

【繰越明許　平成30年度から令和元年度へ繰越を行った理由】
騎西中央幼稚園再整備工事について、令和元年度当初要望の交付金のうちトイレ改修部分が前倒しで交付されたため、3月議会において補正予算計上し、令和元年度へ繰り越した。

老朽化が著しい騎西中央幼稚園について、再整備の早期実現、騎西小学校の余裕教室の有効活用、幼小連携などの幼稚園教育の充実を図るとともに、再整備コストにおいても有利な騎西小学校との複合化を実施した。

●委託料
・騎西中央幼稚園再整備複合化工事監理等業務委託（トイレ改修分）　806,324円

●工事費
・騎西中央幼稚園再整備複合化工事（トイレ改修分）　22,662,269円

事業名	民間幼稚園就園奨励事業		（総合戦略）
担当課	保育幼稚園課	総合振興計画コード	1133-01
款 10	教育費	当初予算額	28,555,000円
項 04	幼稚園費	最終予算額	14,278,000円
目 01	幼稚園費	決算額	10,323,800円
事業の目的	私立幼稚園に在園する園児の保護者の負担軽減をし、幼稚園教育の振興を図る。	事業の概要	子ども・子育て支援新制度に移行しない私立幼稚園の保護者について、所得に応じ、設置者（幼稚園）に対して補助金を交付し、設置者が保護者に対して、保育料等の減免等を行う。 年収約360万円未満の世帯について、小学校3年生以下という兄姉の年齢制限を撤廃し、年収約360万円未満のひとり親世帯については、第1子を第2子と取扱い、第2子以降は第3子以降と取扱う。

事業の実績・成果

私立幼稚園に子どもを就園させている保護者に対して、所得状況に応じて入園料及び保育料の軽減を図った。（令和元年10月から無償化された。）

1　私立幼稚園補助対象者数の推移　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
補助対象者数	246	233	216	177	173

2　補助金額の推移　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
補助金額	28,158,400	27,237,100	26,610,600	21,813,300	10,323,800

事 業 名		家庭の学びと地域の絆推進事業		
担 当 課		生涯学習課	総合振興計画コード	1222-01
款	10	教育費	当 初 予 算 額	279,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	279,000 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	87,167 円
事業の目的	家族・地域の絆づくりの一層の推進のため、「家庭の教育力」と「地域の教育力」の向上を図る。		事業の概要	・家族や地域の絆を深めるために「就学前子育て講座、親の学習講座、家庭教育学級」を子育て中の保護者を対象に開催するなど、子どもと親の育ちを応援する学びの機会を充実する。 ・関係団体と連携して絆づくり啓発品を配付しながらあいさつ運動を継続する。

事業の実績・成果

○加須地域　　講師謝金　50,000 円

「世代間の交流」、「子育て講座」、「人権教育」等をテーマに心豊かな人間形成を育むための講座などを開催した。

・実施概要　加須地域 9 公民館において家庭教育学級を開催した。
延べ講座実施回数　17 回　　参加者数　965 人

子育てワンポイントセミナーは、地域市民ボランティアである「子育て支援“ひだまり”」と連携を図りながら、小さな子供を持つ親子の居場所や学習機会を提供し、地域で子育てを応援し取り組んだ。

市民プラザかぞ　　9 回　28 組　65 人
志多見幼稚園　　10 回　86 組　184 人

○騎西地域　　講師謝金　　0 円

就学時健康診断の機会を捉え、その保護者を対象にした「子育て講座」を開催し、学校や家庭での児童に対する保護者の悩みや不安の解消を図った。

開催内容
子育て講座
・参加者数　　延べ　143 人（5 講座開催）

○北川辺地域　　講師謝金　　0 円

就学時健康診断の機会を捉え、その保護者を対象にした「家庭教育学級（親の学習講座）」を開催し、学校や家庭での児童に対する保護者の悩みや不安の解消を図った。

開催内容
親の学習講座（北川辺地内　2 小学校（各 1 回）にて開催）
・参加者数　　延べ 57 人

○大利根地域　　講師謝金 25,000 円

就学時健康診断の機会を捉え、その保護者を対象にした「家庭教育学級」を開催し、学校や家庭での児童に対する保護者の悩みや不安の解消を図った。

また、「家庭・地域と児童のきずな参観」を開催し、家族や地域の絆を深め、家族や地域の教育力の向上を図った。

開催内容

1 子育て講座（大利根地域内4小学校（4回）で実施）

・参加者数　　113人

2 令和元年度 家庭・地域と児童のきずな参観

（単位：人）

学校名	実施日	参加者数
原道小学校	令和元年6月12日	102
豊野小学校	令和元年6月12日	122
元和小学校	令和元年10月3日	160
大利根東小学校	令和元年11月15日	174
合計		558

※家庭の学びと地域の絆推進事業は各地域で実施されており、各地域の実情を周知するため、各地域での実績報告としている。

事 業 名	かぞ子ども大学事業			
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1222-02
款	10	教育費	当 初 予 算 額	231,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	231,000 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	152,798 円
事業の目的	地域で子どもを育てるしくみをつくり、地域の教育力向上を図る。	事業の概要	子ども大学実行委員会に参画し、入学・修了式のほかに年間 5 回程度の講義を行う。講義内容は、「はてな学」、「ふるさと学」、「生き方学」の 3 つのテーマを学習する。	

事業の実績・成果

平成国際大学や加須青年会議所、埼玉県と協働して「子ども大学かぞ」を実施し、子どもの学ぶ力の向上や地域の教育力の向上を図った。なお、「子ども大学かぞ」は平成 26 年度より実施している。

1　対象者　市内在住の小学 4 年生～6 年生

2　学習回数及び参加者数

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
学習回数（回）	5	5	6	6	6
参加者数（人）	21	25	56	50	54

3　学習プログラム

	日　　時	会　　場	学習内容
1	8 月 31 日（土） 9：30～12：00	平成国際大学	入学式 ダンスの練習、発表（はてな学）
2	9 月 7 日（土） 9：30～11：30	加須市民体育館	スポーツクライミングに挑戦 （ふるさと学）
3	9 月 14 日（土） 9：30～15：30	平成国際大学	みんなの生年月日探訪 （生き方学）
4	9 月 23 日 （月・祝日） 9：30～11：30	加須げんきプラザ	みんなで「ピザ」をつくろう （はてな学）
5	10 月 19 日（土） 9：30～13：30	平成国際大学	みんなでつくろう「ミニこいのぼり」 （ふるさと学） 修了式
6	11 月 10 日（日） 7：30～17：30	葛生化石館・フォレストアドベンチャーおおひら	修学旅行 化石について学ぼう（はてな学） 空中アスレチックをクリアしよう

事業名	成人式開催事業			
担当課	生涯学習課		総合振興計画コード	1223-01
款	10	教育費	当初予算額	1,635,000円
項	05	社会教育費	最終予算額	1,635,000円
目	01	社会教育総務費	決算額	1,168,539円
事業の目的	青少年の健全育成のため、新成人を祝い、励まし、成人としての意識の高揚と自覚を促す。	事業の概要	成人式実行委員の協議・運営により、成人式典及び各地域毎にアトラクションを行う。	

事業の実績・成果

新成人の門出を祝福し、社会人としての自覚と心構えを認識していただくように式典を実施した。

1　開催内容

	加須地域	騎西地域	北川辺地域	大利根地域
開催日（令和2年）	1月12日(日)	1月12日(日)	1月12日（日）	1月12日(日)
開催場所	加須文化・学習センター	騎西文化・学習センター	北川辺文化・学習センター	大利根文化・学習センター
式典内容	・式典 ・アトラクション	・式典 ・アトラクション	・式典 ・アトラクション	・式典 ・アトラクション
該当者(人) 男性	353	103	58	67
女性	346	77	50	65
計	699	180	108	132
出席率(%)	69.5	76.1	74.1	68.9
記念品	DVD-R（式典及びアトラクション等の写真）	CD-R（式典及びアトラクション等の写真）	DVD-R（式典及びアトラクション等の写真）	CD-R（式典及びアトラクション等の写真）

2　実施形態

各地域で、実行委員制度により実施

（市内中学校出身の新成人による実行委員会を組織し、主体的な式典の企画・運営が行われた。）

3　参加者の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
該当者数(人)	1,209	1,151	1,238	1,141	1,119
出席者数(人)	888	871	918	807	794
出席率（%）	73.4	75.7	74.2	70.7	71.0

住所を有している方及び連絡を受けた方に、12月に案内状を送付した。

事 業 名		青少年健全育成事業		
担 当 課		生涯学習課	総合振興計画コード	1223-02
款	10	教育費	当 初 予 算 額	3,268,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	3,268,000 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	2,971,669 円
事業の目的	青少年の健全な発達を促し、自主性・社会性や正義感・倫理観を持った豊かな人間性を育むため、地域と一体となった青少年関係団体の活動の充実を図る。		事業の概要	・青少年の健全な発達及び地域の教育力の向上のため、青少年関係団体の活動を支援したり、青少年関係団体と連携し協働で事業を行う。

事業の実績・成果

1　社会教育関係団体への活動支援、助成等を行い、社会教育の振興を図りつつ、団体としての自立を促した。

・青少年健全育成事業は各地域で実施されており、各地域の特性を周知するため、各地域での実績報告としている。

① 社会教育団体への助成、組織等

・加須市ＰＴＡ連合会	639,000 円	44 団体	9,201 名
・加須市青少年相談員協議会	732,000 円	1 団体	27 名
・加須市青少年育成市民会議	607,000 円	2 団体	
○加須地域			
・ボーイスカウト	90,000 円	1 団体	87 名
・ガールスカウト	90,000 円	1 団体	20 名
○騎西地域			
・加須市騎西子ども会育成連絡協議会	100,000 円	2 団体	111 名
○北川辺地域			
・加須市北川辺子ども会育成連絡協議会	394,000 円	1 団体	184 名
○大利根地域			
・加須市大利根子ども会育成連絡協議会	192,621 円	1 団体	25 名

② 社会教育団体活動内容

・加須市ＰＴＡ連合会
市長との懇談会、教育座談会、役員等研修会、広報紙Ｐ連だより第 10 号発行、
役員会議(4 回)、第 7 回加須市郷土かるた大会審判員協力

・加須市青少年相談員協議会
合同事業としてバスハイクを実施（製粉ミュージアム（館林市)、佐野市こどもの国)
加須支部　：少年教室（年 5 回)、成人式協力、定例会議
騎西支部　：バスハイク(中止)、成人式協力、定例会議
北川辺支部：潮干狩り（主催事業)、うどん作り（主催事業、中止)、商工会サマーフェスタ協力、子ども会バスツアー協力、成人式協力、定例会議
大利根支部：利根川河川敷清掃、サマーチャレンジ保育協力、バスハイク（中止)、福祉ふれあい広場協力、成人式協力

・加須市青少年育成市民会議
第 7 回加須市郷土かるた大会、加須市少年の主張大会

青少年育成加須市民会議
加須地域市民まつり参加、非行防止特別強調月間街頭キャンペーン、青少年非行防止パトロール、親子ふれあい事業（クリスマスの集い)、お雛祭り・お茶会、夏祭り・節分会防犯キャンペーン、あいさつ運動キャンペーン参加、広報紙「スマイル」発行

青少年育成加須市騎西市民会議
青少年非行防止パトロール、各支部助成

○加須地域
・ボーイスカウト
規律訓練、宿泊訓練、水泳訓練、キャンプ、駅清掃
・ガールスカウト
駅清掃、料理集会、交通安全キャンペーン参加、キャンプ、街頭募金、文化祭参加
○騎西地域
・加須市騎西子ども会育成連絡協議会
彩の国21世紀郷土かるた騎西地域大会、同県大会(中止)、加須市郷土かるた大会、ジュニアリーダー育成、騎子連だより発行、役員会議
○北川辺地域
・加須市北川辺子ども会育成連絡協議会
商工会サマーフェスタ協力、子ども会バスツアー、イルミネーション大作戦協力、加須市郷土かるた大会、役員会議、彩の国21世紀郷土かるた北川辺地域大会、同県大会(中止)
○大利根地域
・加須市大利根子ども会育成連絡協議会
彩の国21世紀郷土かるた大利根大会、同県大会(中止)、加須市郷土かるた大会、おおとね郷土かるた大会、福祉ふれあい広場協力、人権教育研修会

2　令和元年度加須市少年の主張大会
日時：令和2年2月15日（土）　午前10時から午後4時
場所：加須文化・学習センター（パストラルかぞ小ホール）
・青少年に対する理解を深めるとともに、家族や仲間との絆を深め、青少年健全育成を推進するきっかけづくりを目的とする。加須市青少年育成市民会議との共催による。

参加児童生徒31名（市内市立小・中学校及び開智未来中学校より代表各1名）

（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
観覧者数	521	557	546	555	569

事 業 名		生涯学習推進計画策定事業		
担 当 課		生涯学習課	総合振興計画コード	1311-01
款	10	教育費	当 初 予 算 額	515,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	515,000 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	229,238 円
事業の目的	学習機会の充実や学習情報の提供、学習相談の充実、自主学習活動の支援など、市民の学習活動を支援する環境整備を推進するために、策定する。		事業の概要	平成 29 年度から平成 32 年度までの 4 か年の計画期間としている。

事業の実績・成果

○　加須市の生涯学習活動に関する調査の実施

１調査の目的

加須市生涯学習推進計画の見直しにあたり、市民ニーズに即した計画策定のため、生涯学習の現状や課題を明確にするための基礎資料として実施。

２調査実施状況

（1）市内在住の 18 歳～80 歳以下の市民 1,000 人（男女各 500 人）

・対象者を各行政区（市内 20 地区）の人口割に応じて抽出

（2）調査期間

令和元年 12 月 25 日　～　令和 2 年 1 月 15 日まで

（3）回答者数

351 人（35.1%）

事 業 名		生涯学習推進計画進行管理事業		
担 当 課		生涯学習課	総合振興計画コード	1311-02
款	10	教育費	当 初 予 算 額	132,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	132,000 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	87,600 円
事業の目的	市民の生涯学習活動の充実を図るため、学習機会の拡充や学習情報の提供、学習相談の充実、自主学習活動の支援など、市民の学習活動を支援する環境整備を計画的に推進する。		事業の概要	計画の進捗状況の把握及び点検、評価を実施するとともに、推進会議や市民等からの助言や意見等を踏まえ、適切な進行管理を行う。

事業の実績・成果

1　会議の開催

生涯学習推進会議と社会教育委員会議を一元化した「生涯学習推進会議」を開催し、「第 2 次加須市生涯学習推進計画」に掲載する関係事務事業の点検・評価やその他議事に関して説明を行い、各委員から意見をいただき改善を図った。

○第 1 回加須市生涯学習推進会議

開催日　令和元年 7 月 17 日

議　事　・平成 30 年度第 2 次加須市生涯学習推進会議推進計画に基づく事業の実施状況の点検、評価について

・「生涯学習に関する意識調査」について

※各事業の事業評価における達成度「概ね順調」以上の事業の割合：89.2%

○第 2 回加須市生涯学習推進会議

開催日　令和 2 年 3 月 19 日

議　事　・「生涯学習に関する意識調査」について

事 業 名		生涯学習管理事業			
担 当 課		生涯学習課		総合振興計画コード	1311-03
款	10	教育費		当 初 予 算 額	3,920,000 円
項	05	社会教育費		最 終 予 算 額	3,922,600 円
目	01	社会教育総務費		決 算 額	2,771,727 円
事業の目的	豊かな心を育む生涯学習によるいきがいづくりを行うために、生涯学習における予算の適正な管理運営を行う。		事業の概要	生涯学習課における管理運営に係る事務経費を執行する。 加須市生涯学習推進会議委員（社会教育委員）による各種総会、研修会への参加。	

事業の実績・成果

・共用車の新車購入　　1,466,300 円
・加須市生涯学習推進会議委員（社会教育委員）及び職員に係る関係機関等の総会・研修会への参加状況
　埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会総会　　（令和元年 5 月 27 日　3 名出席）
　北埼玉地区社会教育委員協議会総会・講演会　（令和元年 7 月 18 日　4 名出席）
　関東甲信越静社会教育研究大会　　（令和元年 11 月 7～8 日　5 名出席）
　東部地区社会教育関係委員・職員研修会　　（令和 2 年 1 月 23 日 12 名出席）
・北埼玉社会教育委員協議会負担金

事 業 名		生涯学習きっかけづくり支援事業			（総合戦略）
担 当 課		生涯学習課		総合振興計画コード	1311-04
款	10	教育費		当 初 予 算 額	5,161,000 円
項	05	社会教育費		最 終 予 算 額	5,161,000 円
目	01	社会教育総務費		決 算 額	4,231,249 円
事業の目的	市民の学習参加のきっかけづくりと生涯学習活動を促進するために、市民一人ひとりがそれぞれの年代やライフスタイルに応じて、自由に学び、楽しみ、その学習成果を地域社会に活かせる仕組みを整備し、併せて地域の活性化を促進する。		事業の概要	・先駆的、話題性のあるテーマのセミナー（講座）を公民館及び文化・学習センター等と連携し、開催する。 ・生涯学習情報を掲載した情報紙等を充実させ、市民へ啓発周知する。	

事業の実績・成果

1　生涯学習セミナー（講座）、生涯学習市民企画委員
　生涯学習セミナー（講座）を実施、学習情報の提供を行い、学習のきっかけづくりと活動の支援を図ることができた。
　市民ボランティア（生涯学習市民企画委員＝愛称「アシストかぞ」）との協働による事業を実施（企画・運営）することにより、生涯学習の推進が図れた。

(1)企画委員数 17 名（平成 26 年度 ： 18 名、平成 27 年度 ： 18 名、平成 28 年度 ： 15 名、平成 29 年度 ： 14 名、平成 30 年度 ： 13 名）

※各年度当初(4 月)現在

(2)生涯学習セミナー（講座）実施に係る指標

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
受講者実人数(人)	428	432	356	434	401
受講者延べ人数(人)	2,385	2,922	2,246	885	826
募集セミナー(講座)数	18	16	16	19	23
実施セミナー(講座)数	16	13	16	17	21

２　公民館講座

心の豊かさや生きがいのための学習機会を提供し、子どもから高齢者まで、地域住民全体が気軽に集え、一人ひとりの学習意欲を支援することで、生活の充実と学習成果を生かせる、生涯学習活動の一層の推進を図るため公民館講座を開設した。

(1)加須地域（9 公民館）

・ 高齢者学級　　9 学級（延 84 回・延受講者数 3,116 人）

高齢者がその年齢にふさわしい知識を身につけ、健康で生きがいのある人生を送れることを目的に 9 公民館で実施した。

・人権教育講座　　11 講座（延 11 回・延受講者数 379 人）

人権問題についての基礎的理解を深め、差別のない明るい地域社会づくりのために人権教育講座を 9 公民館で実施した。

・一般講座　　99 講座（延 312 回・延受講者数 3,952 人）

市民の多種多様なニーズに対応できるよう、幅広い分野の講座を実施した。

内訳：女性講座、女性学級　4 館　　5 講座（延　13 回・　　313 人）

一般対象講座　　9 館　　94 講座（延 299 回・ 3,639 人）

(2)北川辺地域（1 公民館）

・高齢者学級　　1 学級（延 5 回・延受講者数 92 人）

「悠々わくわく生きがいセミナー」と題し、健康・人権・成年後見人講座、社会見学を実施した。

・人権教育講座　　2 講座（延 2 回・受講者数 39 人）

人権問題についての基礎的理解を深め、差別のない明るい地域社会づくりのために人権教育講座を実施した。

・一般講座　　6 講座（延 33 回・延受講者数 388 人）

親子リトミックや高校国語教科書朗読会等を実施したほか、自主企画講座を 1 講座行った。

○講座受講者数の推移

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
講座延べ実施回数（回）	加須市		498	478	442	453	447
		加須地域（9公民館）	432	403	406	402	407
		北川辺地域（1公民館）	66	75	36	51	40
講座受講者延べ人数（人）	加須市		9,435	8,165	8,110	8,045	7,966
		加須地域（9公民館）	8,604	7,519	7,380	7,449	7,447
		北川辺地域（1公民館）	831	646	730	596	519

＊家庭教育学級の講座延べ実施回数及び受講者延べ人数は、「家庭の学びと地域の絆事業」にて計上

３　生涯学習情報提供

さまざまな情報を提供することにより、セミナー（講座）や学習活動への参加者数の増加を図ることができた。

・生涯学習情報紙発行：「やってみませんか」（毎月）を市内全戸配布

・市広報紙及びホームページ等による情報提供

・ 騎西、北川辺、大利根各文化・学習センターでは、行政区回覧時に講座案内を作成し地域内へ配布

事 業 名	市民学習カレッジ事業			（総合戦略）
担 当 課	生涯学習課		総合振興計画コード	1311-05
款	10	教育費	当 初 予 算 額	2,682,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	2,682,000 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	2,194,774 円

事業の目的	市民一人ひとりの生涯学習を通じた学習参加のきっかけづくりと学習活動を支援するため、市全体を対象として生涯学習の広がりと深まりを求めた学習機会を提供する。	事業の概要	・公民館、文化・学習センター等と連携を図り、市民講師や市内講師、市内全域の会場を活用し、趣味的教養的セミナーや現代的、社会的課題を取り入れた総合的な幅広いセミナーを実施。 ・全市民対象のセミナーを毎年度4月に概ね60セミナーを募集、開講。 ・生涯学習を循環させるための、生涯学習フェスティバルなどのイベント等を開催する。

事業の実績・成果

1　市民学習カレッジセミナー

市民の生涯学習への意欲の高まりと、生涯学習への移行の中、市民一人ひとりの生涯学習を通じた学習活動を支援するため、市民学習カレッジセミナーを開設した。

「きっかけづくりセミナー」「趣味的セミナー」「現代的・社会的課題セミナー」「まなびセミナー」を総合的に取り入れ、公民館等と連携しセミナーを開催した。

セミナーの企画・運営をサポートするボランティア「生涯学習市民企画委員」の積極的な活動の下、さまざまなセミナーを実施した。

令和元年度は、セミナー終了後のサークル化について、受講生へのさまざまな情報提供やサークル組織化支援（会議の開催等）を積極的に行い、サークル化を促し、7サークル（グループ）が結成された。

○　市民学習カレッジセミナー

【募集セミナー数】　64セミナー
【実施セミナー数】　57セミナー
【受講者実人数　】　1,049人（加須 590人、騎西158人、北川辺99人、大利根 202人）
【受講者延べ人数】　3,878人（加須2,210人、騎西509人、北川辺487人、大利根 672人）

2　生涯学習フェスティバル

令和元年度のセミナー修了生に人気の抽選会に参加できる案内はがきを送付することにより、多数の参加者による交流を深めることができた。また、サークルや団体に日頃の学習成果発表の場を提供することにより、生涯学習を循環させることができた。

(1)かぞ生涯学習フェスティバル2019

・日　時　令和元年12月7日（土）　午前9時30分～午後3時
・場　所　加須文化・学習センター（パストラルかぞ）
・内　容　チャレンジセミナー(6団体)、ライブパフォーマンス　(13団体)、サークル勧誘(4団体)　ほか

(2)かぞ生涯学習フェスティバルの参加者数推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
かぞ生涯学習フェスティバル延べ参加者数(人)	2,088	1,880	1,865	2,974	2,374

※平成27年度まで開催していた「おおとね生涯学習フェスタ」は、平成28年度より「大利根地域文化祭（生涯学習作品展部門）」としての大利根地域文化祭の一部として開催。

3　生涯学習情報の提供

各種情報を提供することにより、セミナー（講座）や学習活動への参加者数の増加を図ることができた。

・かぞ生涯学習フェスティバルの情報を市内全戸配布の生涯学習情報紙「やってみませんか」に掲載（参加者募集：9月号、開催のお知らせ：11月号）。

・情報紙「ライフステージ」の発行

○　加須市ホームページにて、令和元年度実施の市民学習カレッジセミナー、生涯学習セミナー講座の紹介や市民企画委員会の紹介を行った。

○　ライフステージ「募集号」（平成31年4月1日発行）…令和元年度実施の市民学習カレッジセミナー・シニアいきいき大学受講生の募集、平成30年度にセミナー（講座）から誕生したサークル（グループ）の紹介、生涯学習市民企画委員会の紹介、平成30年度の生涯学習フェスティバル等の紹介

事 業 名	シニアいきいき大学事業			（総合戦略）
担 当 課	生涯学習課		総合振興計画コード	1311-06
款	10	教育費	当 初 予 算 額	767,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	767,000 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	740,532 円
事業の目的	高齢社会を明るく活力に満ちたものとしていくため、60 歳以上の市民が健康で主体的に学習に参加し、自発的な学習活動を促進する機会を平成国際大学と連携して提供し、高齢者の力を社会に活かしていく。	事業の概要	・より専門的な学習の場を提供することにより、受講生の学習活動の促進及びまちづくりへの参加を促進する。 ・60 歳以上の加須市在住の方を対象に学部・コースを開設、平成国際大学と連携して実施する。 ・1 学部 2 年間実施する。 ・卒業生のグループ化を図り、グループ結成後は、その活動の支援を行う。	

事業の実績・成果

○　加須市シニアいきいき大学

平成国際大学と連携し、加須市シニアいきいき大学を開校した。

・人文科学部・人間文化コース（1 年目）…テーマ「近代日本を支えた人びと」

・社会科学部・現代社会コース（2 年目）…テーマ「明治維新 150 年の日本」

より専門的な学習を行い、自主的な学習活動の促進及び地域のリーダーとしての資質の向上を図ることができた。

令和元年度は、両学部受講者数が 239 名と過去最高の受講者数となった。

このほか、これまでに 5 つのグループがサークルを結成し、各グループにおいて研修会など自主的に活動を展開している。また、受講年度を超えた 1 つの同窓会が設立され、平成国際大学大学祭（学園祭）への出店参加や勉強会を行っている。これら同窓会やサークル活動への支援を行った。

(1) 各学部共通

・学習期間　2 年間　　・対象　市内在住の 60 歳以上の方　　・学習単位　年 10 単位

・講師　平成国際大学教授他　　・会場　平成国際大学　　・開催期間　6 月～2 月

(2) 人文科学部・人間文化コース

・テーマ　「近代日本を支えた人びと」

・内　容　様々な分野で活躍した日本人のすがたを描き出し、その中で、地元にも目を向け、埼玉ゆかりの人々も紹介

・受講者数　男 50 名・女 41 名・計 91 名

(3) 社会科学部・現代社会コース

・テーマ　「明治維新 150 年の日本」

・内　容　2018 年は明治維新から 150 年の節目の年・明治維新および明治日本についての学習

・受講者数　男 81 名・女 67 名・計 148 名

(4) 受講延べ人数（各学部とも年間 10 講義、開校式・始業式及び卒業式・修了式）　（単位：人）

学　部	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
自然科学部・健康科学コース	428	―	511	451	―
社会科学部・現代社会コース	1,085	962	―	1,508	1,217
人文科学部・人間文化コース	―	499	488	―	816

事 業 名		文化・学習センター管理運営事業			
担 当 課		文化・学習センター		総合振興計画コード	1312-01
款	10	教育費		当 初 予 算 額	220,553,000 円
項	05	社会教育費		最 終 予 算 額	220,553,000 円
目	01	社会教育総務費		決 算 額	210,250,814円
事業の目的	市民の芸術文化活動や生涯学習活動の拠点施設として、より多くの市民が安全かつ快適に利用できるよう施設の整備・充実を図る。		事業の概要	センターの適正な管理運営と計画的な施設修繕を実施するため、運営方法の適時改善及び維持管理の効率化、設備の点検・改修を実施する。	

事業の実績・成果

各文化・学習センターの適正な管理運営を行うとともに、計画的な施設修繕を行い、市民の芸術文化の振興及び生涯学習の拠点施設として、多くの方に良好な環境で提供ができた。

◆加須文化・学習センター（パストラルかぞ）

市民の芸術文化・生涯学習の拠点となる加須文化・学習センターは、建築後26年が経過する中で、維持管理を計画的に実施し、利用者が安心・快適に芸術文化・生涯学習活動に取り組める環境を提供することができた。

1 利用者等の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数(人)	151,716	143,885	162,978	164,377	146,414
利用件数(件)	4,614	4,439	4,440	4,636	4,304
使用料(円)	24,448,950	26,113,300	23,229,050	25,060,550	19,972,060

2 各室稼働日率の推移 (単位：%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
大ホール	35.2	40.0	35.0	38.7	29.9
小ホール	54.2	55.8	55.4	51.2	51.0
リハーサル室１	63.8	63.2	61.9	63.5	65.5
リハーサル室２	51.8	54.0	56.7	53.8	51.8
展示室	65.3	77.2	76.5	75.2	70.5
多目的室	87.1	91.5	87.9	90.2	80.5
練習室１	88.0	85.0	85.3	88.9	87.3
練習室２	80.2	71.3	67.7	71.3	58.4
和室１	32.8	33.9	33.3	35.8	31.5
和室２	16.2	19.5	22.6	18.2	17.9
和室３	23.4	25.7	28.8	27.4	21.4
会議室	21.8	15.3	20.6	20.2	23.1
研修室１	43.8	43.3	46.1	53.4	48.1
研修室２	67.2	67.4	64.4	71.7	66.9
実習室１	41.9	43.0	38.7	32.3	37.3
実習室２	47.4	50.2	47.1	47.1	44.5

※稼働日率の算出方法：稼働日／開館日

3 主な修繕、工事

① 展示室パネル修繕 250,000 円

② 大ホール女子トイレ自動水栓交換 350,000円

・トイレ洋式化改修工事【繰越明許】 1,674,000 円

【繰越明許 平成30年度から令和元年度へ繰り越した理由】契約手続きに一定の期間を要し、30年度内の工事完了が困難、かつ、利用者に影響のない工期を設定する必要があったため。

◆騎西文化・学習センター（キャッスルきさい）

騎西地域の生涯学習の拠点となる騎西文化・学習センターは、築後 16 年経過する中での、維持管理を計画的に実施し、利用者が安心・快適に生涯学習活動に取り組める環境を提供することができた。

1 利用者等の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数（人）	31,958	30,223	28,400	25,551	26,339
利用件数（件）	3,025	2,975	2,930	2,738	2,657
使用料（円）	1,669,850	1,684,150	1,686,800	1,623,000	1,618,900

※貸館業務以外の、自主事業及び協働事業等は含まれない。

2 各室稼働日率の推移 （単位：%）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
多目的室	93.8	93.2	94.5	92.5	83.8
展示室	9.2	8.7	8.8	5.2	2.3
研修室	88.5	87.4	89.3	88.3	83.4
パソコン研修室	48.4	38.8	43.8	34.1	38.7
音楽室	96.1	97.7	98.4	99.4	96.7
陶工芸室	48.7	43.7	42.2	44.8	48.7
陶芸窯	25.7	33.0	24.4	33.4	33.4
料理研修室	28.3	24.6	27.3	23.7	26.8
視聴覚室	76.3	73.5	75.3	72.4	71.9
ボランティア室	12.5	12.6	12.0	9.4	6.0

※ 稼動日率の算出方法：稼動日／開館日

3 主な修繕

① 防火シャッター修繕 1,300,000 円
② 身障者用トイレ修繕 348,150 円
③ 空調加湿器交換修繕 243,000 円
④ 自家発電装置点検修繕 203,040 円
⑤ 北側駐車場区画線等設置工事 97,900 円

◆北川辺文化・学習センター（みのり）

北川辺地域の生涯学習の拠点となる北川辺文化・学習センターは、築後 15 年が経過する中で、維持管理を計画的に実施し、利用者が安心・快適に生涯学習活動に取り組める環境を提供することができた。

また施設修繕についても、迅速に行い館利用に支障がないように対応することができた。

1 利用者等の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用人数（人）	31,686	33,623	33,333	30,827	25,899
利用件数（件）	2,243	2,295	1,961	1,945	1,945
使用料（円）	1,759,800	1,789,650	1,523,600	1,585,400	1,172,400

2 各室稼働日率の推移 （単位：%）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
多目的ホール	40.3	44.5	42.5	46.3	44.5
音楽室	97.4	95.1	89.0	81.6	68.5
工芸室	48.4	44.5	43.8	45.0	46.1
研修室	80.5	81.8	83.4	84.5	74.7
和室	57.5	54.9	45.5	48.5	54.2

※ 稼働日率の算出方法：稼働日／開館日

3　主な修繕

①　非常照明灯、バッテリー交換修繕　356,400 円
②　浄化槽攪拌ブロアー交換修繕　205,700 円
③　パッケージエアコン室内機ベルト交換修繕　88,000 円
④　庭園灯破損修繕　87,966 円

◆大利根文化・学習センター（アスタホール）

大利根地域の生涯学習の拠点となる大利根文化・学習センターは、築後 20 年経過する中で、維持管理を計画的に実施し、利用者が安心・快適に生涯学習活動に取り組める環境を提供することができた。

1 利用者等の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用人数（人）	29,354	28,986	27,513	26,568	26,607
利用件数（件）	2,216	2,161	2,070	1,869	1,812
使用料（円）	1,807,300	1,654,800	1,613,100	1,497,400	1,307,100

2 各室稼働日率の推移　（単位：%）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
多目的ホール	75.0	77.7	74.1	74.1	66.4
和室１	72.8	67.4	76.9	81.4	70.9
和室２	55.3	47.4	60.7	61.0	53.9
会議室	86.9	76.9	84.1	95.7	82.9
調理室	35.6	30.4	32.6	25.3	20.1

※ 稼動日率の算出方法：稼動日／開館日

3　主な修繕

①　自転車置場コンクリート補修　289,440 円
②　舞台照明設備修繕　163,080 円
③　浄化槽用タイマー交換　54,000 円
④　和室照明器具交換　42,680 円
⑤　消防設備修繕　33,000 円
⑥　スピーカーケーブル修繕　16,233 円

事 業 名		文化・学習センター管理運営事業【繰越明許】			
担 当 課		文化・学習センター		総合振興計画コード	1312-01
款	10	教育費		当 初 予 算 額	1,726,000 円
項	05	社会教育費		最 終 予 算 額	1,726,000 円
目	01	社会教育総務費		決 算 額	1,674,000 円
事業の目的	市民の芸術文化活動や生涯学習活動の拠点施設として、より多くの市民が安全かつ快適に利用できるよう施設の整備・充実を図る。		事業の概要	センターの適正な管理運営と計画的な施設修繕を実施するため、運営方法の適時改善及び維持管理の効率化、設備の点検・改修を実施する。	

事業の実績・成果

文化・学習センターの適正な管理運営を行うと共に、計画的な施設修繕を行い、市民の芸術文化の振興及び生涯学習の拠点施設として、多くの方に良好な環境で提供するため、加須文化・学習センター内のトイレ洋式化改修工事を行った。

【繰越明許　平成30年度から令和元年度へ繰り越した理由】

・トイレ洋式化改修工事　1,674,000円

契約手続きに一定の期間を要し、平成30年度内の工事完了が困難、かつ、利用者に影響のない工期を設定する必要があるため、平成30年度から令和元年度へ繰り越し、令和元年9月に和式トイレ4基の洋式化が完了した。

事 業 名	文化・学習センター芸術文化振興事業			（総合戦略）
担 当 課	文化・学習センター		総合振興計画コード	1321-01
款	10	教育費	当 初 予 算 額	4,008,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	4,008,000 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	1,906,034 円
事業の目的	市民が優れた文化・芸術に触れることにより、教養や人間性を高め、また自ら参加することにより創造性の育成を図る。併せて芸術文化の振興を図る。	事業の概要	・文化・学習センター自主公演事業の企画・運営 ・市民創造参加型文化・学習センター協働事業 ・市内外の各種団体によるホール公演開催の促進	

事業の実績・成果

各種コンサート等を開催することにより、生の音楽等に触れる機会を提供し、市民文化の向上と芸術文化の振興への醸成に寄与できた。

◇加須文化・学習センター

（1）自主公演事業

公演日	公演名	ジャンル	ホールの別	入場者数(人)
5 月 18 日(土)	林部　智史	ポピュラー	大ホール	854
5 月 27 日(月)	北海道歌旅座	その他	小ホール	140
6 月 8 日(土)	杉山清貴	ポピュラー	小ホール	262
6 月 30 日(日)	高嶋ちさ子	クラシック	大ホール	989
7 月 27 日(土)	気軽にクラシックコンサート	クラシック	小ホール	113
8 月 5 日(月)	サンクトペテルブルク国立舞台サーカス 【2 回公演】	その他	大ホール	622
9 月 8 日(日)	白井貴子	ポピュラー	小ホール	139
計				3,119

（2）公演数及び入場者数の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
公演回数（回）	8	10	9	9	7
入場者数（人）	3,922	4,829	6,519	4,463	3,119

◇北川辺文化・学習センター

（1） 映画鑑賞会　上映回数・入場者推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
上映回数（回）	3	3	2	2	2
入場者数（人）	207	225	154	185	215

事業名	地域文化振興事業				
担当課		生涯学習課		総合振興計画コード	1321-02
款	10	教育費		当初予算額	6,056,000円
項	05	社会教育費		最終予算額	6,056,000円
目	01	社会教育総務費		決算額	5,111,023円
事業の目的	市民が多くの優れた文化・芸術に触れることにより教養を高め、また自ら参加することにより創造性の育成と芸術文化の振興を図る。		事業の概要	市内文化団体の活動支援と文化祭や美術展といった活動発表の機会をつくる。	

事業の実績・成果

1　地域文化祭の開催

○観覧者数　（単位:人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
全域	16,830	15,600	18,300	19,354	18,600
加須地域	9,300	8,000	9,000	9,566	9,600
騎西地域	4,500	4,500	6,000	6,000	5,000
北川辺地域	1,830	1,400	1,500	1,900	1,900
大利根地域	1,200	1,700	1,800	1,888	2,100

※各地域でそれぞれ文化祭を行っている。

（1）加須地域文化祭

・期　間　11月2日(土)～4日(休・月)

・場　所　加須文化・学習センター、加須市市民総合会館

・内　容　【発表部門】　歌謡・フラダンス・民謡民舞・合奏・演劇など

【展示部門】　華道・短歌・郷土資料・美術展(絵画・書・写真)・陶芸など

【文化講演会】「生きるってシアワセ！　～白血病を克服して～」

講師：大谷 貴子氏(元全国骨髄バンク推進連絡協議会会長、加須市観光大使)

・主　催　加須地域文化祭実行委員会、加須市、加須市教育委員会

（2）騎西地域文化祭

・期　間　【芸能部門】　10月27日(日)

【展示部門】　11月1日(金)～11月3日(祝・日)

・場　所　騎西文化・学習センター

・内　容　【芸能部門】　日本舞踊、新舞踊、詩吟、大正琴、尺八、和太鼓、箏、謡曲、コーラス、ギターなど

【展示部門】　絵画、書道、華道、俳句、陶芸、盆栽、手工芸、生花、短歌、保育園児・幼稚園児・小・中学生の作品など

・主　催　騎西文化祭実行委員会、加須市、加須市教育委員会

（3）北川辺地域文化祭

・期　間　【展示・体験・模擬店の部】10月26日(土)～27日(日)

【芸能・音楽の部】11月3日(祝・日)

・場　所　北川辺文化・学習センター

・内　容　【展示･体験･模擬店の部】絵画、写真、書、俳句、盆栽、編み物、陶芸、竹絵、囲碁、マージャン、フラワーアレンジメント、絵手紙、お点前など

【芸能･音楽の部】大正琴、オカリナ、コーラス、フォークダンス、合唱、吹奏楽など

・主　催　北川辺いきいき文化祭実行委員会、加須市、加須市教育委員会

（4）大利根地域文化祭
・期　間　　10 月 25 日(金)～11 月 3 日(日・祝)
・場　所　　大利根文化・学習センター
・内　容　【展示･体験･模擬店の部】写真、絵画、彫刻、書道、工芸、俳句、活け花、手芸、陶芸、押絵、塗り絵、俳句、和小物、着物リメイク、新鮮野菜など
【音楽･芸能の部】　詩吟、ハーモニカ演奏、楽器演奏、ギター演奏、民踊、舞踊、健康体操など（11 月 3 日(日・祝)ミュージックフェスタ）
・主　催　　大利根地域文化祭実行委員会、加須市、加須市教育委員会

2　「第 69 回県展」かぞの開催
6 月 27 日（木）～6 月 30 日（日）の 4 日間、パストラルかぞ展示室を会場に、第 69 回埼玉県美術展覧会（県展）の入選者及び招待者、委嘱者、審査員で、加須市に在住及び市内を拠点として活動する方の作品を展示した。
展示内訳　日本画 3 点、洋画 14 点、彫刻 2 点、工芸 1 点、書 4 点、写真 15 点、合計 39 点

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
入 場 者　(人)	356	348	389	342	494
展示作品　(点)	46	38	38	37	39

3　第 61 回加須市美術展の開催
2 月 14 日（金）～16 日（日）の 3 日間、市民プラザかぞ多目的ホール・301 会議室を会場に加須市美術連盟との共催により毎年開催している。日頃の美術活動の発表の場及び加須市美術連盟の会員と一般参加者との交流の機会を設けることにより、加須市の芸術文化の向上を図った。
・展示作品　絵画・彫刻・書・写真・陶芸　合計 150 点

4　芸術文化団体への助成
○加須市文化団体連合会　　730,000 円
文化講演会や文化祭、研修会、文連だよりの刊行などの事業及び運営のための補助である。これらの積極的な活動は加須市の芸術文化振興の発展に寄与している。
○加須市美術連盟　　146,000 円
加須市美術展の開催や研修会などの事業及び運営のための補助である。これらの積極的な活動は、個々の技術向上と美術作品に親しめる場を提供することにより市の美術文化の振興に寄与している。
○加須市騎西文化連合会　　50,000 円
騎西地域の文化振興に寄与するとともに、芸能文化に資するための補助である。当文化連合会では、会員間の相互交流・融和を図るための研修会の実施や、騎西文化祭等への協力を行っており、これらの積極的な活動は騎西地域の芸術文化振興の発展に寄与している。
○騎西文化祭実行委員会　　936,613 円
騎西文化祭の中心的な活動を行っており、この積極的な活動は活動発表の機会をつくり騎西地域の芸術文化振興の発展に寄与している。
○加須市北川辺文化協会　　760,000 円
いきいき文化祭や研修会、広報紙「せせらぎ」の刊行など事業及び運営のための補助である。これらの積極的な活動は北川辺地域の芸術文化振興の発展に寄与している。
○加須市大利根文化協会　　165,000 円
研修会の開催や、広報紙「文化おおとね」の刊行などの事業及び運営のための補助である。これらの積極的な活動は大利根地域の芸術文化振興の発展に寄与している。
○加須市大利根文化展　　100,000 円
文化展の開催のための補助である。これらの積極的な活動は大利根地域の芸術文化振興の発展に寄与している。

事 業 名	まちかど美術館推進事業			（総合戦略）
担 当 課	生涯学習課		総合振興計画コード	1321-03
款	10	教育費	当 初 予 算 額	169,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	169,000 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	126,065 円
事業の目的	芸術に対する市民の関心と興味を広く創出するため、市内各地域のまちかどで小学生等の作品を展示し、その展示作品に気軽に見て触れ合えることで「芸術文化に親しむ環境づくり」の充実を図る。	事業の概要	市内各小学校等の協力により児童の絵画作品を募集し、商店等に展示する。	

事業の実績・成果

1 加須市まちかど美術館の開催

空き店舗や協力店舗のショーウインドウを活用した「加須市まちかど美術館」を夏及び秋に各地域において開催した。

商店街に児童の作品等を展示したことにより、芸術文化に親しむ環境づくりが図られた。

8 月 29 日（木）～9 月 1 日（日）「まちなか賑わいフェスティバル」
加須小学校児童及び加須幼稚園児による絵画の展示
展示作品数 340 点　協力店舗 99 店

10 月 24 日（木）～10 月 27 日（日）
加須地域の小学校児童絵画の展示
展示作品数 336 点　協力店舗 100 店

10 月 5 日（土）～10 月 8 日（火）「奇彩ハロウィン」
騎西地域の小学校児童絵画の展示
展示作品数 111 点　協力店舗 30 店

11 月 7 日（木）～11 月 10 日（日）
北川辺地域の小学校児童絵画の展示
展示作品数 26 点　協力店舗 5 店

11 月 7 日（木）～11 月 10 日（日）
大利根地域の小学校児童絵画の展示
展示作品数 58 点　協力店舗 3 店

事 業 名		騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業		（総合戦略）
担 当 課		生涯学習課	総合振興計画コード	1322-01
款	10	教育費	当 初 予 算 額	2,387,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	2,387,000 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	2,159,606 円

事業の目的	郷土に対する理解や愛着を深めるよう郷土史の学習機会を提供する。	事業の概要	【北川辺郷土資料館】 郷土の歴史、考古及び民俗等に関する資料の保存、展示を行う。その運営のため施設の適正な管理を行う。 【騎西郷土史料展示室】 民俗資料や騎西城跡出土品等の考古資料を展示する。藤まつりや文化祭の時期にあわせて特別公開する。その運営のため施設の適正な管理を行う。

事業の実績・成果

○郷土資料館等の公開

騎西郷土史料展示室（騎西城）では、藤まつりと文化祭の時期に特別公開を実施し、市の内外に騎西地域の歴史及び文化を学ぶ機会を提供した。

北川辺郷土資料館では、主に毎週土曜・日曜に開館業務をシルバー人材センターに委託し資料の公開を行い、北川辺地域の生活及び歴史を紹介し、市内小学校社会科見学や市内団体等を受け入れ、郷土に対する理解や愛着を深める機会を提供した。

また、加須の地域性を象徴する「水塚」を中心とした「水辺の文化とくらし」というテーマについてＰＲを行った。北川辺地域の水塚の説明のほか、水害当時の実体験をパネル展示するなど、郷土の先人たちのくらし等を広く理解する内容となっている。

騎西郷土史料展示室・北川辺郷土資料館の入館者数の推移　（単位：人）

入館者数	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
騎西郷土史料展示室	4,271	2,736	3,296	2,856	3,184
北川辺郷土資料館	732	658	554	603	826

○郷土資料館等の管理

郷土史料展示室及び郷土資料館の展示施設と資料の保護・管理のため、警備及び清掃を委託した。

北川辺郷土資料館については、環境調査（文化財害虫・カビ菌類の調査）を実施し、収蔵資料保存の適切な環境を整備した。

事 業 名	加須インターネット博物館管理運営事業			（総合戦略）
担 当 課	生涯学習課		総合振興計画コード	1322-02
款	10	教育費	当 初 予 算 額	415,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	415,000 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	407,160 円
事業の目的	市民が郷土の歴史・文化を知り、郷土への理解を深めるため、インターネット上に博物館を構築し、情報を広く発信する。	事業の概要	・加須インターネット博物館には、原始・古代から現代までの郷土の歴史を網羅した総合博物館や美術館としての機能をもたせる。 ・指定文化財をはじめとする収蔵資料・郷土の偉人等をインターネットをとおして市内外に情報発信する。	

事業の実績・成果

1　加須インターネット博物館の管理運営

加須市における歴史資料や美術資料、人物資料等について、一元化した施設をインターネット上に構築することで、誰もがいつでも気軽に歴史情報を閲覧・見学でき、また、郷土の貴重な文化遺産を、子どもから大人までがともに楽しみながら学習でき、郷土への愛着と理解を深めることができた。

（令和元年度の実績）

・掲載データを作成し、コンテンツを充実させた
・市指定文化財の『玉敷神社神楽殿』や『山車と蘭陵王面』修復後の様子を掲載し、貴重な文化財の保存及び活用について啓発した
・無形民俗文化財の実演日等のリアルタイムな情報発信をし、市内外に広く提供した
・市民が郷土の歴史・文化の情報を気軽に知ることのできる場や郷土への理解を深める機会の提供をした

2　トップページアクセス件数

平成 27 年度	10,616 件
平成 28 年度	10,741 件
平成 29 年度	10,613 件
平成 30 年度	12,301 件
令和元年度	13,346 件

事 業 名		伝統文化継承支援事業			
担 当 課		生涯学習課		総合振興計画コード	1322-03
款	10	教育費		当 初 予 算 額	2,103,000 円
項	05	社会教育費		最 終 予 算 額	2,103,000 円
目	01	社会教育総務費		決 算 額	1,833,796 円
事業の目的	市内の特色ある伝統文化を伝承していくため、地域における伝統文化の継承活動を支援する。		事業の概要	・伝統文化を継承する保存団体への支援を行う。 ・加須市郷土かるたを活用し広く市民に伝統文化を啓発する。	

事業の実績・成果

○補助金

・武州加須囃子保存会補助金　350,000 円
市民平和祭や夏祭り、あやめ祭り、不動尊節分会等への参加及び運営のための補助である。これらの積極的な活動は、武州加須囃子の普及や後継者育成に寄与している。

・加須市獅子舞保存会連合会補助金　500,000 円
各地区での獅子舞奉納や加須地域文化祭での公演、展示などの事業及び運営のための補助である。これらの積極的な活動は、伝統芸能として獅子舞を保存・活用する意識向上に寄与している。

・玉敷神社神楽保存会　80,000 円
継続的な練習や公開及び運営のための補助である。これらの積極的な活動は、会員相互の資質向上及び後継者育成に寄与している。

○第 7 回加須市郷土かるた大会の開催

・市民の皆さんと協働でつくりあげた加須市郷土かるたを日常生活の中で活用していただき、地域の伝統文化や歴史に触れ、郷土への愛情と誇りを深めるとともに、地域における絆づくりによる新市の一体感の醸成と郷土加須を愛する子どもたちの健全な育成を図るため、第 7 回加須市郷土かるた大会を開催した。また、ファミリー部門では、大会へ参加することにより、参加者の方の家庭における家族の交流や絆づくりの一助を担うことができた。

(1)　事業概要
開催日時　令和元年 11 月 16 日（土）午前 8 時 45 分から午後 1 時 35 分
開催場所　騎西総合体育館（ふじアリーナ）
参加者　学年部門（市内小学生 3 年生から 6 年生）　158 チーム　474 人
ファミリー部門（市内小学生とその家族等）　23 チーム　69 人
観覧者　約 1,000 人

(2)　開催にあたっては、実行委員会を組織し、実行部隊として、競技・審判部会、大会運営部会、交通誘導駐車場部会を設け、各部会で協議を重ね、第 7 回加須市郷土かるた大会を円滑に進めることができた。

(3)　(株)湖池屋の協賛をいただき、優勝賞品及び参加賞の提供を受けた。

(4)　参加者や審判員の募集等については、校長会や PTA 理事会、総会等にて協力依頼を行った。

(5)　中学生ボランティアを募集し、6 校 14 名の生徒が参加し、審判員・読み手として活躍した。

(6)　審判員（PTA、中学生）には審判講習会への参加と当日の審判員を依頼した。

(7)　市内各地域の子ども会育成連絡協議会から全面的な協力を得て実施した。

事 業 名		文化財の保存と活用による地域活性化事業		
担 当 課		生涯学習課	総合振興計画コード	1322-04
款	10	教育費	当 初 予 算 額	13,759,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	14,594,610 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	11,618,307 円
事業の目的	市内の文化財を保存・活用することにより、後世へ継承し、市民の文化財愛護に関する意識の高揚と地域活性化を図る。		事業の概要	・市内文化財の調査・保護・啓発を行い、市民への文化財普及活動に努める。 ・開発に先立つ試掘調査を実施し、必要に応じ発掘調査を実施する。 ・発掘調査報告書刊行する。 ・文化財の理解を深め、文化財愛護精神を培かう為、文化財めぐりを実施する。

事業の実績・成果

1 埋蔵文化財保護・管理事業

○開発に伴う埋蔵文化財の調査

工事等に伴う埋蔵文化財包蔵地(遺跡)保護のための試掘調査を実施した。(単位：件)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
試掘調査数	16	8	11	12	25

※調査における地面からの平均掘削深：1.2m

○埋蔵文化財調査の報告

発掘調査による出土品の遺物整理・実測図作成を行い、騎西城武家屋敷跡についての発掘調査の調査報告書を 1 冊、400 部を刊行し、開発により滅失した遺跡の記録保存事業が完了した。今後県内外の市町村や図書館等に配布し、騎西城武家屋敷跡に関する情報を県内外に発信した。

○埋蔵文化財出土品の保存

騎西城跡から出土した十六間筋兜(市指定有形文化財)について、保存処理実施後 30 年が経過し劣化が進んでいるため、後世に遺し展示公開が出来るように、令和元年度から 4 年計画で保存処理を実施している。

2 文化財保護・管理事業

○文化財保護審議会の開催

文化財保護審議会等を 2 回開催し、文化財保護事業についての審議及び研修等を行った。

○文化財の保護・管理

・文化財の保護・啓発を促すため、指定文化財所有・管理者に対し謝金を支払った。

・騎西城土塁跡等の除草を行い、指定文化財の保全を図った。

・市指定有形文化財『定泰寺の懸仏』を含めた 8 基の文化財説明板について、文字が薄く不鮮明なためパネル交換を実施した。同様に、『騎西城 的場跡』を含めた 6 基の文化財説明板・標柱杭の銘板修繕を実施した。

○地域の歴史を紹介

・近代日本経済の父である渋沢栄一の思想と、同氏と加須市との歴史を紹介するため、『渋沢栄一来遊記念論語碑』に関する説明板を設置した。

3 文化財関係団体への助成

○加須郷土史研究会　　110,000 円

郷土史研究会が行う郷土の歴史や文化の啓発事業の補助で、同研究会の積極的な活動は、郷土の歴史や文化の啓発に貢献している。

事 業 名		文化財の保存と活用による地域活性化事業【繰越明許】		
担 当 課		生涯学習課	総合振興計画コード	1322-04
款	10	教育費	当 初 予 算 額	869,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	869,000 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	862,000 円
事業の目的	市内の文化財を保存・活用することにより、後世へ継承し、市民の文化財愛護に関する意識の高揚と地域活性化を図る。		事業の概要	・市指定有形民俗文化財『山車と蘭陵王面』の人形衣装新調等について補助金を交付し、文化財修復の支援を行う。

事業の実績・成果

【繰越明許　平成30年度から令和元年度へ繰越を行った理由】

市指定有形民俗文化財『山車と蘭陵王面』の修復への補助金のうち、人形衣装新調等について、業者都合により年度内の完了が不可能となり、令和元年度に繰り越した。

人形衣装新調及び轅（ながえ）の漆塗装について補助金を交付し、後世に貴重な文化財を伝承することができた。

（修復前）

（修復後）

人形衣装部分

轅

事 業 名	偉人顕彰事業			（総合戦略）
担 当 課	生涯学習課		総合振興計画コード	1323-01
款	10	教育費	当 初 予 算 額	3,192,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	3,229,400 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	3,091,255 円
事業の目的	郷土の偉人を顕彰することによって、郷土愛の醸成と芸術・文化の向上を図る。	事業の概要	・偉人を紹介するためのパネル展や現存する資料の整理、展示を行う。 ・各地域の偉人顕彰団体の活動を支援する。 ・偉人生没年節目においては記念事業を開催する。	

事業の実績・成果

1　偉人パネル展等の実施

郷土の偉人７人、斎藤与里・河野省三・田中正造・下總皖一・田口和美・谷山豊・若林玳蔵の功績をたたえる「加須の偉人」パネル展を開催した。

各地域の偉人の功績を、写真を交えたパネル展を実施したことにより、市民が郷土への愛着と誇りを持ち、郷土愛の醸成が図られた。

① 5月12日(日)　NHK公開収録「民謡魂」（パストラルかぞ）
② 6月27日(木)～ 6月30日(日)　県展かぞ（パストラルかぞ）
③ 8月29日(木)～ 9月 1日(日)　まちかど美術館・夏（商工会館）
④ 10月 6日(日)　渡良瀬遊水地まつり（渡良瀬遊水地）
⑤ 10月24日(木)～10月27日(日)　まちかど美術館・秋（商工会館）
⑥ 11月 2日(土)～11月 4日(休・月)　加須地域文化祭(パストラルかぞ)
⑦ 12月 7日(土)　生涯学習フェスティバル（パストラルかぞ）

2　斎藤与里作品の修復　2,145,000 円

「斎藤与里記念館の建設をすすめる会」解散に伴い、斎藤与里の絵画作品等のため平成30年12月に頂いた寄附を充当し、100号の大作「合奏」を修復した。

3　補助金

下總皖一を偲ぶ会補助金　365,000 円
田中正造翁顕彰会補助金　50,000 円

事 業 名		集会所管理運営事業		
担 当 課		生涯学習課	総合振興計画コード	6211-07
款	10	教育費	当 初 予 算 額	5,653,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	5,796,000 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	5,103,979 円
事業の目的	集会所での諸活動を通して、人権感覚を高め、人権問題の解決を図る。		事業の概要	・集会所指導員の設置による、小中学生学級や成人学級の指導、支援 ・集会所管理人の配置 ・集会所運営委員会の開催 ・集会所の維持管理、修繕の実施

事業の実績・成果

○集会所指導員の設置

集会所指導員１名を委嘱し、小中学生学級、成人学級の指導及び支援を行った。

・小中学生学級の延べ参加者数　3,861 人（児童・生徒 3,279 人、教職員 582 人）

小学校　2,904 人（児童 2,518 人、教職員 386 人）

中学校　957 人（生徒 761 人、教職員 196 人）

・成人学級の延べ参加者数　1,009 人

○集会所管理人の配置

集会所の管理を、管理人６名及び鍵管理人１名に委託した。

○集会所運営委員会の開催

各集会所において運営委員会を開催し、年間事業計画等について協議を行った。

○集会所の維持管理、修繕の実施

各集会所を地域住民が安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を行った。

・消防用設備、浄化槽保守点検業務の実施

・各種修繕の実施

集会所名	志多見	阿良川	串作	礼羽西	川口	下戸塚	大利根
修繕内容	雨漏り	玄関天井	屋根棟包み	トイレつまり			フェンス（台風第 19 号被害）
	トイレ配管	外壁サイディングはがれ	駐車場外柵	テレビアンテナ			
		電源開閉器ボックス					

※大利根集会所のフェンス修繕については、補正予算対応による。

事 業 名		人権教育推進事業		
担 当 課		生涯学習課	総合振興計画コード	6212-01
款	10	教育費	当 初 予 算 額	10,249,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	10,249,000 円
目	01	社会教育総務費	決 算 額	6,272,375 円
事業の目的	豊かな人権感覚を身につけ、人権問題についての正しい理解と認識を深め、人権が尊重される共生共存の社会の実現を図る。	事業の概要	市民が豊かな人権感覚を身につけ、さまざまな人権問題の解決に資することができるように、各種研修会や講演会を実施する。	

事業の実績・成果

○人権研修会及び講演会等の開催

人権問題指導者研修会や人権問題講演会等を開催し、同和問題をはじめとする様々な差別の解消に向けて、参加者の各人権課題に対する正しい理解と人権意識の高揚を図った。

・人権問題指導者研修会の開催（共催：人権・男女共同参画課、産業雇用課）

開 催 日　下記のとおり
時　　間　13：30～15：00
会　　場　パストラルかぞ　小ホール

（単位：人）

開催日	講　師	テーマ	参加者数
第1回 9月26日（木）	石井　ナナエ氏	「地域で暮らす外国人」 (外国人の人権)	202
第2回 10月3日（木）	高沢　　保氏	「認知症の人、家族の人権」 (高齢者の人権)	204
第3回 10月16日（水）	吉田　　勉氏	「部落史に学ぶ人権問題」～差別やいじめと向き合うには～ (同和問題)	201
第4回 11月 13日（水）	内藤　　忍氏	「ハラスメントは許されない人権侵害」 ～仕事におけるハラスメントの法改正をふまえて～ （人権一般　ハラスメント）	206
第5回 11月20日（水）	早瀬　憲太郎氏	「音のない世界からのメッセージ」 (障がいのある人の人権)	229

【参加者の推移】　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者数	890	981	1,072	1,040	1,042

・人権問題講演会

開催日時　令和2年2月6日（木）　14：00～15：45
会　　場　パストラルかぞ　大ホール
講　　師　スマイリーキクチ氏（タレント）
テ ー マ　　「言葉の責任　ネット被害者・加害者にならないために」
～命の大切さ、人生の大切さ、あきらめない心～(インターネットによる人権侵害)

【参加者の推移】　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者数	619	498	626	471	540

・人権問題地域別研修会
開催日時　下記のとおり
会　　場　各地域文化・学習センター

（単位：人）

開催日時	地　域	講　師	テーマ	参加者数
11月10日（日） 14：00～15：30	騎　西	入船亭　扇蔵氏	「落語から考える人権」 ～落語の中の障がい者～ （障がいのある人の人権）	68
2月22日（土） 10：00～11：30	北川辺	入船亭　扇蔵氏	「落語から考える人権」 ～落語の中の障がい者～ （障がいのある人の人権）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
3月14日（土） 10：00～11：45	大利根	山本　志都氏	下町のママさん弁護士と考える 「暮らしの中の人権PartⅡ」 （人権全般）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○人権文集・啓発ポスター等の作成・配布
市内小中学生による人権に関するポスター・標語・作文の入賞作品を掲載した人権文集や啓発ポスター等を作成し、各小中学校や公共施設に配布することによって、市民への人権に関する意識の高揚を図った。

○人権啓発展の開催（共催：人権・男女共同参画課）
人権パネルや市内小中学生による人権に関するポスター・標語の入賞作品を展示し、市民の各人権課題の理解と認識を深めることに貢献した。
①令和元年12月4日（水）～12日（木）
加須市役所　1階市民ギャラリー
②令和元年12月12日（木）～17日（火）
田ケ谷総合センター　ロビー
③令和元年12月17日（火）～25日（水）
大利根文化・学習センター　ギャラリー

○加須市人権教育推進協議会への補助金交付
人権教育の推進を図り、同和問題をはじめとする人権問題の解決に寄与し、明るい地域社会をつくることを目的に、市人権教育推進協議会の活動費に対して補助金を交付した。
補助金額　　742,823円

○集会所事業の実施
地域住民の教養の向上、健康の増進、児童・生徒の学力の向上と仲間づくりの場となるよう、集会所において学習会や交流事業を実施した。
・小学生学級：人権学習、国語、算数、家庭、図工、体験学習等
参加者数　　192人（加須130人、騎西　48人、大利根　14人）
・中学生学級：人権学習、国語、数学、英語、理科、社会、調理実習等
参加者数　　60人（加須　33人、騎西　20人、大利根　7人）
・成人学級：手芸、料理、生花、音楽、民踊、わら細工、エコクラフト等
参加者数　　167人（加須　158人、騎西　9人）
・北埼玉地区人権フェスティバル　スポーツレク交流会（台風第19号により中止）
開催日　令和元年10月12日（土）
会　場　行田市産業文化会館・行田市立忍中学校体育館

事 業 名		公民館施設整備事業		
担 当 課		生涯学習課	総合振興計画コード	1312-03
款	10	教育費	当 初 予 算 額	418,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	418,000 円
目	02	公民館費	決 算 額	412,296 円
事業の目的	公民館施設の整備充実を行い、利用者が安心・安全に利用できる公共施設として、公民館活動、市民活動及び生涯学習の振興を図る。		事業の概要	・公民館施設の利便性の向上を図るため、老朽化した施設や備品を計画的・緊急的に修繕並びに整備を行い、利用者の安全安心な学習環境を整備する。 ・耐震診断結果を踏まえ、他の公共施設との複合化も含めた再整備を検討する。

事業の実績・成果

各公民館施設の環境を整備し、来館者が快適に活動できる場を提供することで、公民館活動の振興が図れた。

1　修繕料　（単位：円）

公民館名	修繕内容	金　額
大桑公民館	和室畳修繕	361,800
合　計		361,800

2　施設用備品　（単位：円）

公民館名	物品名	金　額
礼羽公民館	料理実習室用湯沸器	33,000
大越公民館	掃除機	17,496
合　計		50,496

事 業 名		公民館管理運営事業		
担 当 課		生涯学習課	総合振興計画コード	1312-04
款	10	教育費	当 初 予 算 額	28,457,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	28,457,000 円
目	02	公民館費	決 算 額	25,594,655 円
事業の目的	地域住民のニーズに沿った公民館事業を効果的に展開することで生活文化の振興、福祉の充実を図るため適正な施設管理を行う。	事業の概要	自主講座の開催や貸館業務などの地域活動の拠点施設や市民サービスセンター等の行政サービスの拠点施設として、地域に積極的に活用いただける施設管理を図る。	

事業の実績・成果

各公民館において、地域住民の生活文化の振興、福祉の向上を図るよう、講座・学級の開設、施設の適切な管理・運営を行った。また、地域の市民サービスセンターとして、住民票や税関係証明書の発行業務及び図書の返却業務や地域コミュニティの活動拠点として、誰もが気軽に足を運べる地域の公民館として、来館者への声かけなどによる雰囲気づくりや施設環境づくりに努めた。

公民館延べ利用団体数及び延べ利用者数の推移　（単位：団体・人）

公民館名	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数
加 須	1,214	17,884	1,201	16,024	1,078	14,674	1,133	13,991	1,009	17,109
不動岡	4,528	32,605	4,613	33,045	4,223	31,737	3,953	31,268	3,955	32,350
三 俣	1,319	17,171	1,421	16,367	1,423	17,698	1,509	17,774	1,442	18,142
礼 羽	955	12,825	998	12,673	983	12,489	1,014	12,794	840	9,903
大 桑	754	13,475	970	11,729	1,033	12,311	994	9,504	944	10,314
水 深	828	9,678	698	9,407	644	9,911	670	9,320	674	10,701
樋遣川	765	9,545	822	9,326	785	8,584	848	8,912	766	9,519
志多見	674	7,087	605	6,123	512	5,213	555	6,129	624	6,367
大 越	458	4,825	408	4,976	405	5,210	480	5,365	528	6,801
北川辺	1,065	11,470	1,111	12,343	1,126	12,169	913	11,077	1,079	10,803
合 計	12,560	136,565	12,847	132,013	12,212	129,996	12,069	126,134	11,861	132,009

＊ 地区文化祭の来場者数を除く　　＊ 選挙の際の投票所入場者数を含む

事 業 名		地区文化祭振興事業		（総合戦略）
担 当 課		生涯学習課	総合振興計画コード	1321-04
款	10	教育費	当 初 予 算 額	855,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	855,000 円
目	02	公民館費	決 算 額	853,503 円
事業の目的	講座、クラブなどの学習及び活動成果を発表、展示することにより地域住民の学習意欲を高め、生涯学習の振興を図る。		事業の概要	・各地区公民館において文化祭実行委員会を組織し、10 月下旬から 11 月上旬の 2～3 日間（土日等）文化祭を開催する。 ・公民館利用者及び公民館講座の受講生等による学習成果の発表や作品の展示などを通じ、地域の学習拠点として来館者や地域等と交流を深め、学習への興味・意欲へつなげる。

事業の実績・成果

加須地域の各公民館にて地区文化祭を開催した。学習及び活動の成果として、講座の受講生や利用団体等による作品の展示や活動発表等を行うことで学習意欲の向上が図られるとともに、地域住民との交流により相互の理解及び親睦を深めることができた。

本年度は、7 公民館で日程変更となったが、天候にも恵まれ、他の公民館で開催される文化祭へ参加・見学される方や他の地域から訪問される方もおり、交流の機会を設けることができた。

1　加須地域各公民館文化祭の状況

館　　名	日　　程	主 な 催 事
加須公民館	11 月 9 日（土）	作品展示、バザー、太極拳体験、折り紙体験、ギター演奏、演劇、落語
	11 月 10 日（日）	作品展示、武州加須囃子（加須小）、模擬店（手打ちうどん・ヨーヨーつり）、体験教室（着付け・ヨガ・３Ｂ体操・吹き矢・囲碁）
	11 月 11 日（月）	作品展示、健康相談（血圧測定等）
不動岡公民館	11 月 9 日（土）	作品展示、芸能発表（琴演奏・どじょう掬い）、模擬店（焼きそば等）、バザー、カラオケ発表会（不老荘）、フロアカーリング（小学校体育館）
	11 月 10 日（日）	作品展示、おはやし演奏、模擬店、バザー、輪投げ、音楽サークル発表会、グラウンド・ゴルフ大会（小学校校庭）
	11 月 11 日（月）	作品展示
三俣公民館	11 月 2 日（土）	作品展示等、大正琴演奏会、三俣小お囃子、マジッククラブ、民踊、オカリナ演奏、ハーモニカ演奏、よさこい、女性会・手芸クラブバザー、模擬店
	11 月 3 日（日）	作品展示等、ギター演奏、ダンス、居合道演武、キーボード演奏、バンド、3B 体操、ハーモニカ演奏、フルート演奏、あけぼの園バザー、模擬店
礼羽公民館	10 月 26 日（土）	作品展示、ふれあい市場（地元野菜・いがまん・あんびん）、模擬店（五目ごはん）、民踊、グラウンド・ゴルフ大会
	10 月 27 日（日）	作品展示、もちつき体験・模擬店（やきそば・おでん）、音楽祭、みんなで作ろう 遊ぼう、太極拳体験、おり紙体験
大桑公民館	11 月 9 日（土）	作品展示、サークル活動発表・体験コーナー（ミニグラウンド・ゴルフ、絵手紙、フラワーアレンジメント、スーパーボールすくい）、ポップコーン、炊き込みご飯無料サービス
	11 月 10 日（日）	作品展示、サークル活動発表・体験コーナー（陶芸・ミニ盆栽・トールペイント、スーパーボールすくい）、炊き込みご飯無料サービス

水深公民館	11月9日(土)	作品展示、オープニングセレモニー、模擬店（水深まんじゅう)、落語会
	11月10日(日)	作品展示、音楽発表、水深小太鼓クラブ、フラダンス、伝統芸能、二胡、太極拳、模擬店（水深まんじゅう)、ゲーム、グラウンド・ゴルフ大会
樋遣川公民館	11月2日(土)	作品展示、音楽発表会（キーボード演奏)、模擬店（カレーライス・手打ちそば・フランクフルトほか)、花卉販売(お茶のおもてなしコーナー)、ホールインワングラウンド・ゴルフ、公式ワナゲ
	11月3日(日)	作品展示、模擬店（やきそば・手打ちうどん・赤飯ほか)、バザー、消防団活動紹介、重さ当てクイズ、プラ板工作
志多見公民館	10月19日(土)	歌とマリンバとピアノコンサート
	10月26日(土)	作品展示、志多見小・幼音楽会、模擬店（パン・うどん)、一日文化教室、コーヒーサービス
	10月27日(日)	作品展示、模擬店（カレーライス・とん汁・やきそば)、お楽しみ会、利用サークル発表会、金魚すくい、花卉・野菜販売等、親子ドッジボール（小学校体育館)
大越公民館	11月2日(土)	作品展示、防災展、行政展、福祉啓蒙、手打ちうどん販売、お茶のおもてなし
	11月3日(日)	作品展示、防災展、行政展、福祉啓蒙、模擬店（焼きそば・フランクフルト）、発表会（大正琴・カラオケ・謡曲・ハーモニカ・コーラス)、新体力テスト（小学校体育館)

2　加須地域各公民館文化祭来館者の推移

（単位：人）

公民館名	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	参加団体（個人含む）数	参加者及び来場者数	参加団体（個人含む）数	参加者及び来場者数	参加団体（個人含む）数	参加者及び来場者数	参加団体（個人含む）数	参加者及び来場者数	参加団体（個人含む）数	参加者及び来場者数
加須	46	1,797	42	1,709	41	1,562	47	1,523	48	1,581
不動岡	47	1,836	48	1,893	41	1,104	49	1,771	56	1,492
三俣	49	870	51	1,250	61	1,150	59	1,208	63	1,290
礼羽	43	903	36	920	33	900	32	1,100	33	1,000
大桑	34	1,459	40	1,419	34	1,208	50	1,490	55	1,327
水深	34	1,089	27	1,113	26	1,229	33	1,406	39	1,553
樋遣川	57	640	35	729	45	623	40	655	40	807
志多見	57	892	62	825	61	610	66	721	61	954
大越	36	493	35	516	37	550	37	444	43	597
合　計	403	9,979	376	10,374	379	8,936	413	10,318	438	10,601

＊北川辺公民館文化祭は、北川辺文化・学習センターで開催した北川辺地域文化祭と合同で開催

事業名	図書館資料整備事業		
担当課	図書館課	総合振興計画コード	1313-01
款 10	教育費	当初予算額	25,437,000円
項 05	社会教育費	最終予算額	25,437,000円
目 03	図書館費	決算額	25,012,050円
事業の目的	高度化・多様化する市民ニーズに応え、市民の教育と文化の発展に寄与する。	事業の概要	加須市立図書館資料収集要綱及び収集基準に基づき、新刊案内情報誌、貸出傾向等を参考に、利用者からリクエストのあった図書、基本図書など多様な資料を購入し、地域行政資料も積極的に受入整備することで、蔵書の充実を図り、市民ニーズに対応できる魅力ある図書館づくりを図る。

事業の実績・成果

加須市立図書館資料収集要綱等に基づき、基本図書をはじめ、利用者からのリクエストのあった本などを幅広く購入することで、市民ニーズに応え、蔵書の充実を図り、魅力ある図書館づくりに努めた。

1　資料の購入

種別	点数	購入額（円）	平均単価（円）
一般書	6,301	12,334,872	1,958
児童書	2,605	4,981,706	1,912
雑誌	5,518	3,916,811	710
CD	39	125,341	3,214
DVD	39	533,800	13,687
計	14,502	21,892,530	—

※DVDの単価は、館外貸出許諾処理済のため、市販品よりも高価となる。

2　蔵書数と貸出数（一般書には、郷土資料、参考図書、録音、点字及び童謡を含む）

1）分類別蔵書数（令和2年3月31日現在）　（単位：点）

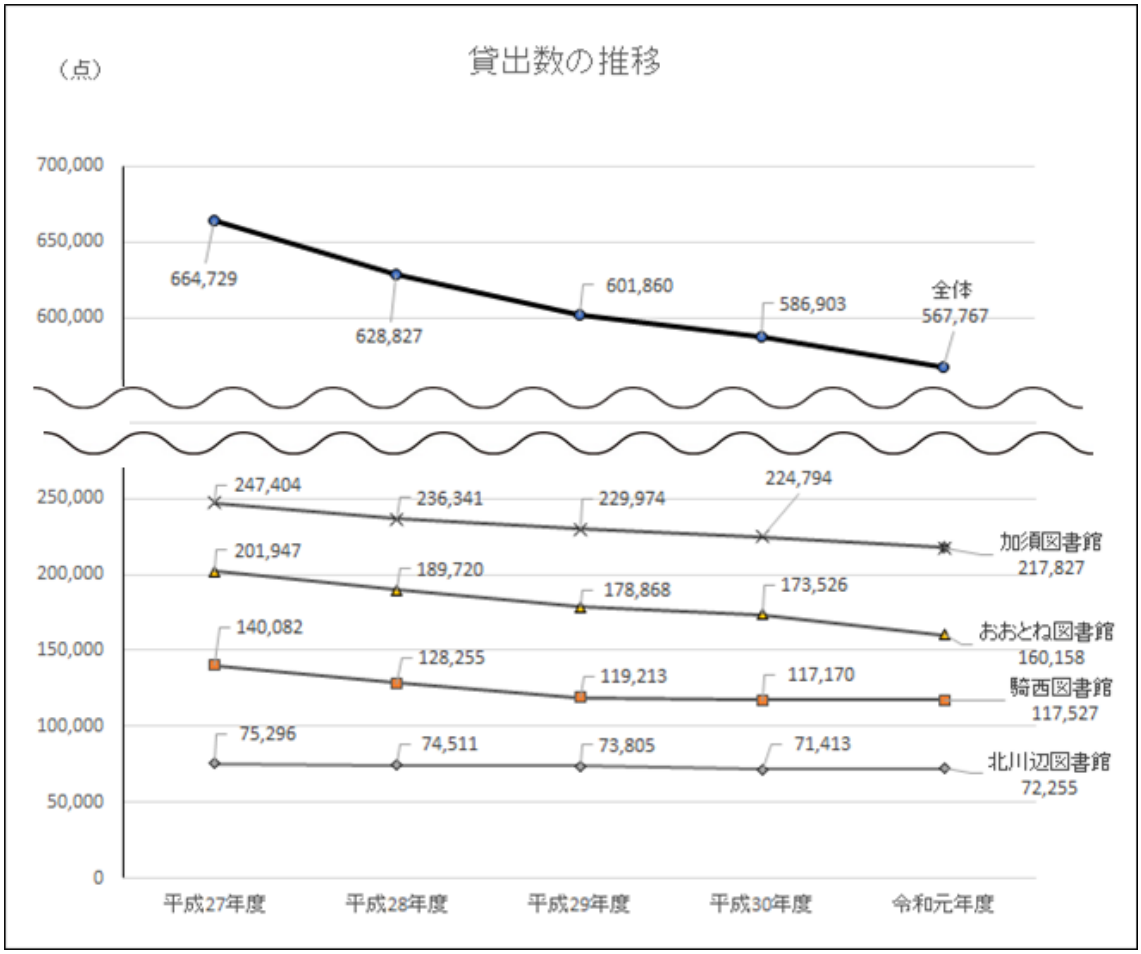
種別	総数	内訳			
		加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	おおとね図書館
一般書	409,536	183,405	85,549	56,071	84,511
児童書	171,644	75,318	33,884	29,633	32,809
雑誌	23,410	7,555	5,845	4,886	5,124
CD	6,675	1,197	2,304	1,305	1,869
DVD	4,670	1,295	1,636	810	929
ビデオ	1,691	560	440	225	466
計	617,626	269,330	129,658	92,930	125,708

2）分類別貸出数（個人利用）（令和2年3月31日現在）　（単位：点）

種別	総数	内訳			
		加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	おおとね図書館
一般書	302,436	126,008	58,727	39,411	78,290
児童書	190,010	66,217	42,095	22,116	59,582
雑誌	46,271	16,077	8,613	6,492	15,089
CD	11,853	3,188	3,390	1,773	3,502
DVD	16,903	6,148	4,688	2,426	3,643
ビデオ	292	189	14	37	52
計	567,767	217,827	117,527	72,255	160,158

※加須図書館には、ホームページからの貸出延長を含む。

3）図書館別貸出数の推移（図書・雑誌・視聴覚合計　個人利用）



4）利用別貸出数　（単位：点）

	総　数	内　訳			
		加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	おおとね図書館
個人利用	567, 767	217, 827	117, 527	72, 255	160, 158
団体貸出	24, 016	8, 864	8, 791	2, 232	4, 129
相互貸出	1, 094	365	247	165	317
計	592, 877	227, 056	126, 565	74, 652	164, 604

※加須図書館には、ホームページからの貸出延長を含む。

3　来館者数及び利用者数　（単位：人）

	総　数	内　訳			
		加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	おおとね図書館
来館者数	434, 698	183, 508	104, 534	71, 803	74, 853
利用者数	170, 155	88, 974	29, 162	17, 665	34, 354
来館者/日	1, 512	637	364	250	261
利用者/日	593	309	102	62	120

※加須図書館の利用者数には、ホームページからの貸出延長を含む。
※年間開館日数は、加須図書館 288 日、騎西・北川辺・おおとね図書館 287 日。
※「来館者数」とは、図書館に来館した延べ人数。
　「利用者数」とは、図書館資料の貸出を受けた延べ人数。

事 業 名		図書館管理運営事業		
担 当 課		図書館課	総合振興計画コード	1313-02
款	10	教育費	当 初 予 算 額	88,510,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	88,510,000 円
目	03	図書館費	決 算 額	84,653,662 円
事業の目的	市民に資料を提供して、調査研究及びレクリエーションに資するために、利用し易い環境を整備する。		事業の概要	図書館を適正に管理運営して図書館サービスの充実に努める。 ・図書館情報システムを活用した貸出、返却、予約処理及び返却の督促等を効率的に行う。 ・時節ごとの展示等を行い、親しみやすい図書館づくりに努める。

事業の実績・成果

図書の貸出、返却等の図書館業務全般を円滑に行うため、図書館情報システムや設備の維持及び管理運営業務を適正に行い、市民に親しまれ、快適に利用できるよう環境を整備した。

図書館のホームページで新刊図書の紹介や図書館内の展示の様子、各種イベント等の周知など図書館のＰＲに努めた。

１　展示等

○全館共通テーマを設定した共通展示のほか、各館ごとに工夫を凝らした企画展示を実施した。

・共通展示 80 件、企画展示 147 件（各館の合計）

令和元年度の主な展示	実施館	内　容
埼玉県高校図書館司書イチオシ本	全　館	中高生向けに高校図書館司書のイチオシ本を全館で展示（2 月）
天皇・皇室	全　館	平成から令和に元号が変わることを記念し関係する資料を展示（5 月）
十和運送(株)寄贈資料	加須図書館	十和運送(株)より寄贈された資料 37 点の展示(10 月)
敬老の日読書のすすめ２０１９	騎西図書館	敬老の日に関する資料を展示(8 月)
戦争を語り継ぐ	北川辺図書館	戦争に関する資料 85 点を展示(8 月)
ラグビーワールドカップ	おおとね図書館	ラグビーワールドカップ日本開催を記念して、ラグビーに関する資料 32 点を展示（8 月）

○図書館資料等を活用した行政情報のＰＲ

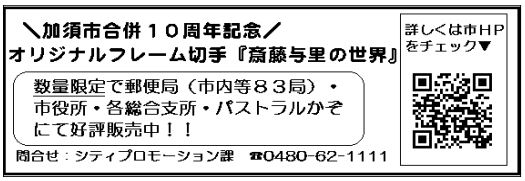
市の行政情報への関心を深めるとともに、図書の貸出数の増加を図った。

・行政情報ＰＲ件数　20 件

【館内ＰＲ展示】

メンタルヘルス情報のＰＲ
（健康づくり推進課）

【貸出票レシートでのＰＲ】



斎藤与里の切手販売の案内
（シティプロモーション課）

２　障がい者サービスの取組み

誰もが読書を楽しめるよう、「ＬＬブック※」や「点字付きさわる絵本」等の図書を充実したことにより、より多くの方に利用してもらうことができた。

・令和元年度新規購入数　12 冊（ＬＬブック 7 冊、点字付きさわる絵本 5 冊）

※ＬＬブック…知的障がいのある人や母語を異にする人など読むことが苦手な人のために、読みやすいように工夫して作られた本。

３　研修等の受入

児童や生徒が図書館に関心を持ち、読書活動に親しみを感じられるように職場体験などを積極的に受け入れた。

	日数（日）	受入者数（人）
加須図書館	12 日	30 人
騎西図書館	7 日	24 人
北川辺図書館	4 日	20 人
おおとね図書館	6 日	20 人
計	29 日	94 人

このほか、図書館見学（幼稚園 1、小学校 10、中学校 1、合計 443 人）を受け入れた。

４　有料広告の取組み

民間企業等との協働により、市の財源の確保や歳出削減、市民サービスの向上や地域経済の活性化を図ることを目的に、有料広告の取組を実施した。

種　類	件　数	掲載場所	広告料収入	掲載時期
レシート広告 (5,000 円/件・月)	1 社　1 件	貸出票レシート	20,000 円	12～3 月

５　図書館の修繕

施設運営に係る修繕について修繕計画に基づき対応したことにより、図書館運営に支障なく業務を行うことができた。

・童謡のふる里おおとね図書館照明交換修繕　　469,800 円

６　読書ノートの配布

読書活動の推進のために、5 種類の読書ノートを作成・配布し、図書館ホームページなどでＰＲに努めた。

（単位：冊）

読書ノートの名称	対　象	配付数
＿＿＿に読んであげた本	乳　児	659
ぼくのわたしの読んだ本	小学校低学年	303
	小学校高学年	198
My Reading Record	中学生	67
私の読書全記録	一　般	202
計		1,429

７　図書館情報システムの入替（令和２年２月）

図書館情報システムを入替し、図書館サービスの向上に努めた。

・加須市立図書館情報システム導入整備委託料　　17,600,000 円

【特徴】

・マイナンバーカードを使った資料の貸出サービスの提供

・サーバをクラウド化し、セキュリティの向上、導入経費、ランニングコストを縮減

・図書館ホームページを通じたパスワードの発行サービスを開始

8　複写機の入替
加須図書館の複写機がリース期間満了し老朽化したため新規入替した。
・利用者用１台（コインベンダー式）、事務室用１台　　1,007,292 円（5 年間）

9　夏と冬に親子向けの工作教室を開催
・加須館１回、騎西館２回、北川辺館１回、おおとね館２回実施。計 97 人が参加。

事業名		絵本との親子ふれあい事業		
担当課		図書館課	総合振興計画コード	1314-03
款	10	教育費	当初予算額	435,000 円
項	05	社会教育費	最終予算額	435,000 円
目	03	図書館費	決算額	425,830 円
事業の目的	親子が絵本をとおしてふれあう時間をもつとともに、親子で本に親しみ、子どもが本の楽しさを知るきっかけをつくることで子どもの読書活動を推進する。	事業の概要	9～10 か月児健診時に乳児とその保護者に絵本と絵本リストをプレゼントし、併せて図書館職員とボランティアによる読み聞かせを行うことによって、子どもの健やかな心の成長を支援する。 また、ボランティア育成のため研修会を行う。	

事業の実績・成果

9～10 か月児健診受診時に、受診者に対して、ブックスタートを実施し、絵本を通した乳児の健やかな心の成長を支援した。
ブックスタート後のフォローアップとして、子どもと保護者を対象とした講座を実施したほか、未就学児向けブックリストを配布し、継続的な読書活動の支援に努めた。

1　ブックスタートの内容
・ボランティアによる読み聞かせを実施し、好きな絵本を１冊プレゼント
・はじめての本（図書館がすすめる絵本リスト）や読書ノート、おはなし会の案内を配布
・図書館の利用方法やおはなし会等について説明し、希望者には図書館利用者カードを発行

1）実績

内　容	人（冊）数
健診受診予定者数（人）	650
健診受診者数（人）	588
絵本配布数（冊）	583
図書館利用者カード登録数（人）	341
活動ボランティア延人数（人）	119

※後日配布を含む

2）絵本の種類

（単位：冊）

タイトル／冊数	ごぶごぶごぼごぼ	がたんごとんがたんごとん	もうおきるかな	かおかおどんなかお	しろくまちゃんのほっとけーき	計
購入数	0	100	0	200	400	700
配布数	118	47	91	120	207	583

※配布冊数が購入冊数を上回っているタイトルは、前年度までの購入分を使用。

３）欠席者等への対応
未受診者は、後日図書館で絵本が受け取れる旨を案内（配布実績６組）。

４）アンケートの実施
絵本をプレゼントする乳児の月齢や、事業の満足度等について、現在子育て中の保護者の声を聞き、今後の事業運営に活かしていく（毎年実施）。
令和元年度　379 人
①絵本をプレゼントする時期…よい 95%、遅い 3%、早い 1%、無回答 1%
②事業の満足度…満足・やや満足 99%、無回答 1%

２　パパ・ママといっしょに絵本・わらべうた講座
ブックスタートのフォローアップとして、絵本やわらべうたを取り入れた継続的な子育て支援のための親子参加型講座を実施。
実施日：令和元年９月８日（日）
場　所：北川辺文化・学習センター　研修室
参加者：８名（親子３組）
講　師：地域文庫主宰、浦和子どもの本連絡会　吉田　優子氏

３　「図書館おすすめの本　４歳から６歳向け」ブックリストの配布
ブックスタートで絵本をもらった子どもが成長しても引き続き親子で本に親しむことを目的とし、4～6 歳児にすすめたい本のリストを市内幼稚園・保育所・図書館で配付した。
・配布数　907 冊

事 業 名	ブックトーク・おはなし会開催事業		
担 当 課	図書館課	総合振興計画コード	1314-04
款 10	教育費	当 初 予 算 額	159,000 円
項 05	社会教育費	最 終 予 算 額	159,000 円
目 03	図書館費	決 算 額	151,500 円
事業の目的	子どもが物語や本に親しみながら本の楽しさを知り、心豊かに健やかに成長できるよう支援する。	事業の概要	小学校等から依頼を受け、司書もしくは司書とボランティアが出向いて、ストーリーテリング、絵本の読み聞かせ、ブックトークなどを行う。 図書館では、ボランティアや職員が参加者の年齢にあわせ、手遊び、わらべうた、紙芝居、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリングなどを行うおはなし会を定期的に開催する。

事業の実績・成果

学校の依頼により、授業中や朝自習の時間に、職員やおはなし会ボランティアが訪問し、ブックトークやおはなし会を行った。訪問時には、参考となる図書を多数持参し、展示・貸出に供し、子どもが直接、物語や本に触れて読書を親しむ機会をつくり、子どもの読書活動を推進することができた。

図書館の児童室を活用し、おはなし会ボランティア等が来館者に対しておはなし会を行うことで、気軽におはなしを楽しむ居場所づくりに貢献した。

1　ブックトーク※の実施

学校名	実施回数 (回)	対象児童数 (人)
加 須 小 学 校	3	83
大 桑 小 学 校	7	244
志多見小学校	2	36
種 足 小 学 校	1	26
鴻 茎 小 学 校	7	133
元 和 小 学 校	3	171
計	23	693

※ブックトーク…テーマに沿いながら本の紹介などを行い、その本の面白さを伝えることで、子どもたちに本への興味を持たせるようにする活動。

11 月 15 日　元和小学校「頼むぞ、相棒！」

2　ボランティア等によるおはなし会の開催

1）定例おはなし会

館名	団体数 (団体)	開催数 (回)	参加者数 (人)
加 須 図 書 館	3	133	1,455
騎 西 図 書 館	3	30	257
北川辺図書館	3	123	1,029
おおとね図書館	2	52	628
計	11	338	3,369

2）出張おはなし会

実施日：毎偶数月（全 6 回）
場　所：プラザきさい　3 階キッズルーム
対象者：0 歳から 3 歳位の子どもとその保護者
協力者：ボランティア 11 名
参加者：89 名

３　ボランティアの育成、活性化のための研修等

１）絵本の読み聞かせ研修（読み聞かせ初心者向け）全２回

開催日：令和２年１月 23 日（木）、２月６日（木）

場　所：童謡のふる里おおとね図書館　多目的室

参加者：12 名

講　師：元公共図書館職員　五十嵐　静江氏

２）大人のためのおはなし会

開催日：令和元年７月 26 日（金）

場　所：市民プラザかぞ　302 会議室

参加者：47 名

講　師：おはなし“もくもく”　金城　節子氏

事 業 名	加須未来館管理運営事業			（総合戦略）
担 当 課	文化・学習センター		総合振興計画コード	1312-02
款	10	教育費	当 初 予 算 額	47,340,000 円
項	05	社会教育費	最 終 予 算 額	47,340,000 円
目	04	加須未来館費	決 算 額	44,001,888 円
事業の目的	市民の宇宙や科学に関する関心を高めるため、宇宙・天体や科学について楽しく学ぶことができる教育施設としての機能の充実を図る。	事業の概要	宇宙・科学を始め、様々なことに興味・関心を抱き、何事にもチャレンジしていく好奇心を養うため、プラネタリウム投影や少年少女発明クラブ、フリー・トライデー、天体学習会等を開催する。	

事業の実績・成果

科学や自然に関する事業を実施するとともに、実験装置などを活用して、家庭や学校では経験できない実験・観察等の機会を提供し、科学的体験学習の促進を図るための適切な管理運営を行った。

また、平成27年3月に更新したプラネタリウムの活用により、施設の活性化を図った。関東どまんなかサミット加入自治体（古河市、栃木市、小山市、野木町、板倉町）の小学校へのちらし、ポスター配布や観光情報サイトとフリーペーパーへ情報発信を行った。新たな試みとして、4、5月にPTA総会が行われる学校に対してイベントちらしを配布し入館者数増加に努めた。

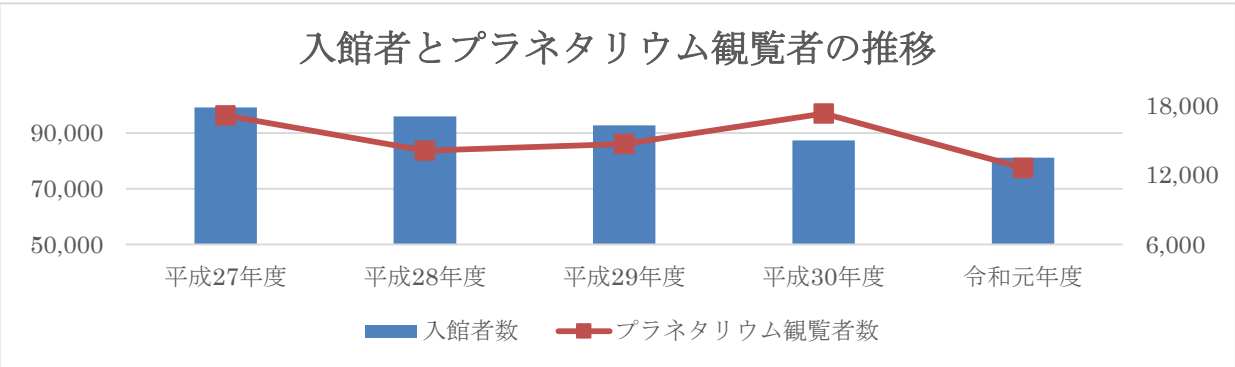
1 事業概要

・プラネタリウム一般及び学習投影の実施　270日（12,590人）
・フリートライデー（工作教室）の実施　61回（980人）
・夜間天体観望会の実施　16回（174人）
・特別天体イベントの実施　1回（22人）
・親子星空教室（おやこでほしをみよう）の実施　4回（24人）
・天体写真教室（星の写真を撮ろう）の実施　5回（14人）
・少年少女発明クラブの運営　24回（延べ677人参加）

2 来館者数及びプラネタリウム観覧者数の推移　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入館者数	99,218	96,007	92,806	87,340	81,123
プラネタリウム観覧者数	17,114	14,086	14,681	17,288	12,590

※プラネタリウム観覧者数は、一般投影と学習投影を含む。



3 プラネタリウムの利活用

プラネタリウムに市内の演奏家（二胡、オカリナ）を無償で招き、プラネタリウム内でコンサートを開催したことにより、プラネタリウムの施設利用の活性化を図ることができた。

事 業 名		スポーツ推進計画策定事業			
担 当 課		スポーツ振興課		総合振興計画コード	2231-01
款	10	教育費		当 初 予 算 額	3,672,000 円
項	06	保健体育費		最 終 予 算 額	3,672,000 円
目	01	保健体育総務費		決 算 額	2,287,624 円
事業の目的	市民がスポーツやレクリエーションを取り入れた豊かなスポーツライフを実現する。		事業の概要	平成27年度に実施した「スポーツ・レクリエーション活動の実態調査(アンケート)」結果をもとに、スポーツ推進計画の中間見直しとして令和2年度までの改訂版を策定する。 計画期間：平成24年度～令和2年度	

事業の実績・成果

加須市スポーツ推進計画の見直しにあたり、市民ニーズに即した計画とするため、その基礎資料として本市のスポーツの現状や課題などを明確にする「スポーツ・レクリエーション活動の実態調査」を実施した。

調査期間：令和元年11月7日から11月30日まで
調査方法：郵送による配布回収（※学校への調査は、各学校で配布し回収）
調査対象：2,290人（18歳以上の市民のほか、障がい者手帳をお持ちの方、小中高校生、スポーツ団体等）
回答者数：1,512人
回 収 率：66.0%

	市民（18 歳以上）	障がい者手帳をお持ちの方	小学生	中学生	高校生	スポーツ団体等
調査対象	18 歳以上の市内居住者	18 歳以上の障がい者手帳をお持ちの方	市内小学校に通学する小学5年生	市内中学校に通学する中学2年生	市内高校に通学する高校1,2年生	市体育協会・市レクリエーション協会・市スポーツ少年団
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出	障がい者手帳をお持ちの方から無作為抽出	市内全校から1クラス		施設利用の多い市内の県立高校	団体代表者
調査方法	郵送による配布・回収		学校を通じて配布・回収			郵送による配布・回収
配 布 数	1,000 件	50 件	605 件	263 件	70 件	302 件
回 収 数	352 件	28 件	605 件	263 件	70 件	194 件
回 収 率	35.2%	56.0%	100.0%	100.0%	100.0%	64.2%

設問概要：スポーツ実施状況、実施種目、実施場所、ボランティア活動、スポーツ環境など、市民のスポーツ活動等に関することについて伺った。

事 業 名		スポーツ推進計画進行管理事業		
担 当 課		スポーツ振興課	総合振興計画コード	2231-02
款	10	教育費	当 初 予 算 額	107,000 円
項	06	保健体育費	最 終 予 算 額	107,000 円
目	01	保健体育総務費	決 算 額	97,104 円
事業の目的	スポーツの振興を総合的かつ計画的に推進する。	事業の概要	・スポーツ推進計画の進行管理を行い、次年度以降の事業展開の基礎とする。 ・スポーツ推進審議会を開催し、意見を聞く。 【計画期間：平成 24 年度～平成 32 年度】	

事業の実績・成果

スポーツ推進計画に基づく施策の進捗状況について実績を取りまとめ、スポーツ推進審議会を開催し、各種施策の事業実施状況について進行管理を行った。

○スポーツ推進審議会の開催

①令和元年 8 月 20 日（火）スポーツ振興計画の進行管理及び評価、「スポーツ元気都市宣言」について説明

②令和 2 年 1 月 14 日（火）スポーツ元気都市宣言検討

加須市スポーツ推進計画の平成 30 年度の進行管理及び評価

【達成度評価】 （単位：件）

基本目標	基本目標達成度評価	数値目標達成度評価				
		1 達成済	2 概ね順調	3 やや遅れている	4 大幅に遅れている	5 未着手
1 スポーツの推進	③やや達成できなかった	3	7	2	0	0
2 スポーツを活用した地域活性化の推進	①計画どおり達成できた	2	2	0	0	0
3 スポーツ施設の充実	①計画どおり達成できた	1	1	0	0	0

(基本目標評価基準)

①計画どおり達成できた　全ての事業（取組）において達成度評価が「1 達成済」又は「2 概ね順調」

②概ね達成できた　達成度評価が「1 達成済」又は「2 概ね順調」となった事業数の割合が 80%以上

③やや達成できなかった　達成度評価が「1 達成済」又は「2 概ね順調」となった事業数の割合が 80%未満

④達成できなかった　達成度評価が「1 達成済」又は「2 概ね順調」となった事業数の割合が 50%未満

(数値目標評価基準)

1　達成済　当該年度に実施すべき取組を予定通り、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。
(成果指標の実績値がいずれも目標値の 100%以上に達し、当該年度の目標を達成)

2　概ね順調　当該年度に実施すべき取組を円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。
(成果指標の実績値がいずれも目標値の 80%以上)

3　やや遅れている　当該年度に実施すべき取組を行ったものの、事業実施による効果が小さかった。
(成果指標の実績値が目標値の 80%未満)

4　大幅に遅れている　何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。
(成果指標の実績値がいずれも目標値の 50%未満)

5　未着手　何らかの理由により、事業の着手ができなかった。

事 業 名	スポーツ普及推進事業			
担 当 課	スポーツ振興課		総合振興計画コード	2231-04
款	10	教育費	当 初 予 算 額	21,769,000 円
項	06	保健体育費	最 終 予 算 額	28,969,000 円
目	01	保健体育総務費	決 算 額	24,526,743 円
事業の目的	市民の健康の保持増進や体力の維持向上を図るとともに、生きがいづくりや交流により人と人との絆を深める。	事業の概要	スポーツ推進委員協議会の運営や体育協会他各団体との協働により、スポーツ普及事業の展開を図る。 スポーツ団体等への補助金の交付及び支援を行う。 スポーツ活動を支援するため加須はなさき公園多目的グラウンド利用団体の支援を行う。	

事業の実績・成果

体育協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会の事業などへの支援として補助金を交付した。各団体では事業計画に基づき事業が実施され、市民の健康増進に寄与した。

スポーツ推進委員協議会によるニュースポーツ普及などの各事業が活発に行われ、地域のスポーツ振興を図った。

1. 補助金・会員数の推移

(1) 体育協会

①補助金額の推移 （単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
補 助 金	9,974,172	10,288,000	10,288,000	10,288,000	10,288,000

②会員数の推移(基準：毎年 4 月 1 日) （単位：世帯）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
全 域	45,009	45,602	46,377	46,961	47,749

(2) スポーツ少年団

①補助金額の推移 （単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
補 助 金	2,410,000	2,410,000	2,410,000	2,410,000	2,410,000

②会員数の推移（指導者会員を除く） （単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
会 員 数	791	767	702	646	633

(3) レクリエーション協会

①補助金額の推移 （単位：円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
補 助 金	1,148,000	1,148,000	1,148,000	1,148,000	1,148,000

②会員数の推移 （単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
会 員 数	641	586	617	629	655

(4) スポーツ推進委員協議会

①定員等 （単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
会 員 数	55（56）	55（56）	55（56）	54（56）	53（56）

（ ）内は定数

2.各団体の事業

(1)加須市体育協会

主　な　事　業
【加須市体育協会】 藤まつり剣道大会、加須こいのぼりマラソン大会、小学生スキー教室、スポーツ表彰授与式（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）、加須ふじの里駅伝大会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）、広報紙の発行（全戸配布） 【加須地域体育協会】 体育祭（令和元年東日本台風（台風第19号）により中止）、フロアカーリング大会、グラウンド・ゴルフ大会 【騎西地域体育協会】 グラウンド・ゴルフ大会、スポレクカーニバル、ふじの里ウォーク 【北川辺地域体育協会】 球技大会、体育大会（令和元年東日本台風（台風第19号）により中止） トライアスロン大会への協力（春・秋）（秋は令和元年東日本台風（台風第19号）により中止） 【大利根地域体育協会】 フロアカーリング大会、体育祭、ストレッチ教室、菜の花ウォーク（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）、広報紙の発行（大利根地域内全戸配布） 【競技団体】 各加盟団体別大会、市主催大会などへの協力

(2)加須市スポーツ少年団本部

主　な　事　業
少年団認定員養成講習会、運動適性テスト（交流会）、地域交流事業、スポーツ表彰授与式（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）、各種目別部会大会、埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修会への派遣、指導者・母集団研修会、ふじの里駅伝大会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）への参加及び協力、体育祭及び加須こいのぼりマラソン大会への協力

(3) 加須市レクリエーション協会

主　な　事　業
レクリエーション祭、スポーツ表彰授与式（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）、各加盟団体別大会、市民平和祭への協力、市民まつりへの協力、加須地域体育祭への協力、加須こいのぼりマラソン大会への協力、渡良瀬遊水地まつり in KAZO への協力、北川辺地域体育大会への協力、加須市ニュースポーツセミナー講習会

(4) 加須市スポーツ推進委員協議会

主　な　事　業
健康づくりウォーク　加須市フロアカーリング大会、加須地域フロアカーリング大会、 なんでもアリーナ、Ｄｏ　Ｙｏｕ！スポーツミックス、体育協会及び市主催スポーツ大会などへの協力

3. 甲子園

○第101回全国高等学校野球選手権大会に出場した花咲徳栄高等学校へ補助金を交付した。

補助金交付額　4,000,000円

結果

1回戦　8月11日（日）　　VS　明石商業高校（兵庫県）　4-3　敗退

○第92回選抜高等学校野球大会に出場が決定した花咲徳栄高等学校へ補助金を交付したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会が中止となり、補助金が返還された。

補助金交付額　3,000,000円　補助金返還額　3,000,000円

４．加須市スポーツ元気都市宣言（議決及び公布日　令和２年２月 25 日）
　　加須市告示第 62 号
　　告示日令和２年３月５日

加須市スポーツ元気都市宣言

少子長寿社会が進むなか、健康づくり、地域の活性化、地域コミュニティづくりなどが重要となっており、このような中でスポーツの果たす役割はさらに重要になっています。
このため、加須市のスポーツ振興をさらに前進させるよう、加須市民が一体となりスポーツを通した新しい人の流れをつくり、活力と魅力あるまちづくりの実現を目指して、私たちは、ここに「スポーツ元気都市」を宣言します。

一　スポーツを元気に行い、健全な心と体をつくります。
一　スポーツを楽しく観て、笑顔で生き生きと過ごします。
一　スポーツをすすんで支え、地域の絆を深め仲間をつくります。
一　スポーツを通して、若者や多様な世代と人が集う元気なまちをつくります。

事 業 名		市民体育祭支援事業		
担 当 課		スポーツ振興課	総合振興計画コード	2231-06
款	10	教育費	当 初 予 算 額	2,526,000 円
項	06	保健体育費	最 終 予 算 額	2,526,000 円
目	01	保健体育総務費	決 算 額	1,884,590 円
事業の目的	身近なスポーツを通じて地域住民が交流し絆を深め、健康で活気ある地域づくりを図る。	事業の概要	４地域で開催される体育祭を支援する。 ・地域体育協会との協働により実施	

事業の実績・成果

スポーツ・レクリエーションを通して、市民の健康増進と参加者相互の交流を図るため、地域ごとに開催された体育祭へ補助金を交付し支援した。

１．開催日及び参加者数 （単位：人）

	加須地域体育祭	騎西スポレクカーニバル	北川辺地域体育大会	童謡のふる里おおとね体育祭
開 催 日	10 月 13 日（日）	10 月 27 日(日)	10 月 13 日（日）	10 月 20 日(日)
参加者数	令和元年東日本台風(台風第 19 号)により中止	1,250	令和元年東日本台風(台風第 19 号)により中止	1,700

※騎西スポレクカーニバルは雨天のため騎西総合体育館で開催

２．補助金 （単位：円）

	加須地域体育祭	騎西スポレクカーニバル	北川辺地域体育大会	童謡のふる里おおとね体育祭
交 付 額	1,000,000	526,000	500,000	500,000
支 出 額	632,699	526,000	247,125	478,766
返 納 額	367,301	0	252,875	21,234

※加須地域体育祭および北川辺地域体育大会は、令和元年東日本台風（台風第 19 号）により中止となったため、返納額が発生した。

事 業 名	こいのぼりマラソン大会開催事業			（総合戦略）
担 当 課	スポーツ振興課		総合振興計画コード	2232-02
款	10	教育費	当 初 予 算 額	20,306,000 円
項	06	保健体育費	最 終 予 算 額	20,306,000 円
目	01	保健体育総務費	決 算 額	18,336,346 円
事業の目的	市民の健康増進や体力向上を図るとともに、健康で生きがいのある暮らしづくりに寄与するとともに、市のイメージアップを図る。	事業の概要	加須市民運動公園を主会場に、1.5km、2km、3km、5km、10 km、ハーフのマラソン大会を開催する。市内スポーツ団体等との協働により開催する。	

事業の実績・成果

市民の健康増進と生涯スポーツの振興を図ることを目的とした第 24 回加須こいのぼりマラソン大会が開催され、市内外から参加した 5,937 人の選手は、加須市の市街地や自然に親しむとともに、無料のうどんやとん汁を食べ、加須市を満喫した。

1. 開催内容

(1) 開 催 日　令和元年 12 月 1 日（日）
(2) 申込人数　5,937 人（5,907 人＋30 招待選手等）
(3) 参加費総額　13,570,500 円
【内　訳】　一　般　3,500 円×3,001 人
高校生　2,000 円×159 人
団　体　1,000 円×1,354 人
（不動岡高校 903 人、開智未来中学・高校 291 人、加須北中学校 72 人、花咲徳栄高校 88 人）
中学生　1,500 円×120 人
小学生　1,000 円×466 人
親　子　2,000 円×367 組（734 人）
ナンバーカード再発行 1,500 円×10 件

(4) 協賛金総額　1,130,000 円（68 社）
(5) 種　　目　6 種目 37 部門
(6) 表　　彰　各部門 10 位まで表彰　1～6 位：賞状・賞品　7～10 位：賞状
(7) 沿道応援　ハーフコースの沿道の自治会や体育協会など多くの市民の皆さんにご協力いただき、こいのぼり、のぼり旗、応援手旗、まつり囃子などそれぞれで工夫を凝らした応援を行い、参加者は、「地元の温かい声援に背中を押していただいた」「旗やこいのぼりを持っての応援がとても力になりました」など好評をいただいた。
(8) そ の 他　「マルシェ de 加須」の開催並びに手打ちうどん（会場 3,000 食、市内うどん店 783 食）・とん汁無料サービス

2. 申込人数の推移　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
一 般 参 加 者	6,863	6,563	6,658	6,241	5907
うち市内参加者（※）	1,344	1,324	1,519	1,395	1,318
招 待 選 手 等	56	35	25	24	30
合　計	6,919	6,598	6,683	6,265	5937

※団体・ゲストランナーは除く

事 業 名	加須ふじの里駅伝大会支援事業			（総合戦略）
担 当 課	スポーツ振興課		総合振興計画コード	2232-03
款	10	教育費	当 初 予 算 額	1,332,000 円
項	06	保健体育費	最 終 予 算 額	1,332,000 円
目	01	保健体育総務費	決 算 額	889,211 円
事業の目的	市民の健康増進や体力向上、生きがいづくり、人と人との交流を図り、絆を深めるとともに、市のイメージアップを図る。		事業の概要	多くの駅伝愛好者を募り、市内のスポーツ団体が主体となり、騎西総合体育館周辺道路を周回する1.8㎞×5人及び3.0㎞×5人のふじの里駅伝大会の開催を支援する。

事業の実績・成果

第7回加須ふじの里駅伝大会についてインターネット等による申込みを行い、県内外から278チームの申し込みがあった。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会を令和2年2月20日に中止を決定した。

大会準備が進んでいたため、申込チームへ記念品及びプログラム等を送付した。

1 補 助 金　加須ふじの里駅伝大会補助金　889,211円

（総事業費）2,500,234円

2 概要

(1)主　　催　加須市体育協会/加須市陸上競技連盟/加須ふじの里駅伝大会実行委員会

(2)開 催 日　令和2年3月15日(日)　※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(3)参加費総額　1,340,228円　・窓口（5,000円×147ﾁｰﾑ）※

・ネット（5,000円×131ﾁｰﾑ）ﾈｯﾄ手数料24,772円を引く

※さくら市5ﾁｰﾑは招待

(4)参 加 申 込　278チーム・1,694人(市内51チーム・313人)

小学生男子　62ﾁｰﾑ・374人(市内21ﾁｰﾑ・131人)

小学生女子　35ﾁｰﾑ・212人(市内5ﾁｰﾑ・27人)

中学生男子　66ﾁｰﾑ・396人(市内2ﾁｰﾑ・10人)

中学生女子　32ﾁｰﾑ・197人(市内 なし)

一般男子　74ﾁｰﾑ・454人(市内21ﾁｰﾑ・131人)

一般女子　9ﾁｰﾑ・ 61人(市内 2ﾁｰﾑ・14人)

(5)種　　目　6部門　1.8km×5人　小学生（男子・女子）

3.0km×5人　中学生（男子・女子）、一般（男子・女子）

(6)コ ー ス　騎西総合体育館周辺コース

(7)協賛金総額　500,000円（62社）

※協賛金は、次回大会に繰り越すこととした。

3 参加申込チーム数の推移　（単位：チーム）

	平成27年度（第3回）	平成28年度（第4回）	平成29年度（第5回）	平成30年度（第6回）	令和元年度（第7回）
参加申込チーム数	222	263	325	287	278
県 内	190	224	94	150	133
うち市内	57	59	60	54	51
県 外	32	39	171	137	145

事 業 名	女子硬式野球振興事業			（総合戦略）
担 当 課	スポーツ振興課		総合振興計画コード	2232-06
款	10	教育費	当 初 予 算 額	1,072,000 円
項	06	保健体育費	最 終 予 算 額	1,259,986 円
目	01	保健体育総務費	決 算 額	799,802 円
事業の目的	加須市の知名度を全国的に高め、若者が集う地域づくりによる地域の活性化を図る。	事業の概要	全国女子硬式野球ユース大会、全国高等学校女子硬式野球選抜大会等の全国レベルの大会等に共催及び後援する。 主催団体、市民との協働により実施することで、加須市のイメージアップ、大会のＰＲ及び競技の普及推進を図る。	

事業の実績・成果

第10回全国女子硬式野球ユース選手権大会を開催し、全国の女子硬式野球の底辺拡大と女子野球を通じたスポーツの推進及び支援するとともに、次代を担う女子野球に打ち込む女子生徒の活躍の場を提供した。なお、全国高等学校女子硬式野球選抜大会は、準備を進め抽選会は行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になった。

女子硬式野球を開催及び支援することにより、全国から選手が参加するとともに、多くの観客が訪れ、スポーツを通じた若者が集う地域づくりを推進した。

【第21回全国高等学校女子硬式野球選抜大会】

1 大会概要【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】

大会期間	令和2年3月27日（金）～4月3日（金）　予備日4月1日（水）・4月4日（土）		
会　　場	加須きずなスタジアム（加須市民運動公園野球場）、平成国際大学野球スタジアム		
主　　催	全国高等学校女子硬式野球連盟・加須市		
主　　管	全国高等学校女子硬式野球選抜大会加須市実行委員会		
公　　認	一般社団法人　全日本女子野球連盟		
補 助 金	400,000円		
参 加 数	30チーム	観客者数	0人

2 参加チーム数の推移（選手は除く）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加チーム数	19	23	24	26	30

※全国高等学校女子硬式野球選抜大会は、平成26年度から加須市で開催している。

【第10回全国女子硬式野球ユース選手権大会】（後援）

1 大会概要

大会期間	令和元年8月17日（土）～8月22日（木）　予備日8月23日（金）		
会　　場	加須きずなスタジアム（加須市民運動公園野球場）、 平成国際大学野球スタジアム		
主　　催	全国高等学校女子硬式野球連盟		
参加者数	24チーム	観 客 数	4,308人

2 参加チーム数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加チーム数	25	29	20	21	24

※平成29年度から全国高等学校女子硬式野球連盟が主催となり、高等学校のみの参加となった。

事 業 名		総合型地域スポーツクラブ育成事業		
担 当 課		スポーツ振興課	総合振興計画コード	2233-01
款	10	教育費	当 初 予 算 額	22,000 円
項	06	保健体育費	最 終 予 算 額	22,000 円
目	01	保健体育総務費	決 算 額	0 円
事業の目的	多世代にわたる多くの市民が地域で多様なスポーツを自由な時間に楽しめる生涯スポーツの振興を図る。	事業の概要	新たなクラブの設立に向け、話し合いの他必要な場所で説明会や研修会を開催する。	

事業の実績・成果

市内にある総合型地域スポーツクラブに対し、話し合いや助言などを行った。

1. 市内の総合型地域スポーツクラブ（1 団体）

○ＦＣ　ＫＡＺＯ（平成 24 年 11 月に県で認知）

定例活動：サッカー、フットサル、

その他　：障害児スポーツ、バスケットボール、ソフトテニス、コミュニケーションスポーツ
バドミントン

○平成国際大学を利用した総合型地域スポーツクラブ設立に向け、平成国際大学教授などによりサッカーやバレーボールを中心に検討を進めている。

2. 成　　果

健康・体力の増進、技術向上と地域コミュニティづくりに寄与した。

3. 会員数の推移　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
みずわスポーツクラブ	197	110	89	87	0
ＦＣ　ＫＡＺＯ	324	450	500	550	530

※みずわスポーツクラブについては、会員の減少やＴＯＴＯの助成期間が終了したため資金繰りができず、平成 31 年 3 月で解散。

事 業 名		スポーツ施設管理運営事業		
担 当 課		スポーツ振興課	総合振興計画コード	2234-02
款	10	教育費	当 初 予 算 額	137,406,000 円
項	06	保健体育費	最 終 予 算 額	138,318,000 円
目	02	体育施設費	決 算 額	126,404,075 円
事業の目的	安全で快適にスポーツができるプレー環境を実現する。	事業の概要	市内公共体育施設の適正な運営と維持管理を行う。 ・体育館 5 館 ・都市公園施設 16 ヶ所、30 施設	

事業の実績・成果

安全・安心なスポーツ施設として市民に利用していただけるよう、適切な施設の維持管理を行った。

○市立体育館概要

施 設 名	加須市民体育館	南篠崎体育館	騎西総合体育館	北川辺体育館	大利根文化体育館
建 築 年	昭和 50 年	昭和 56 年	平成 11 年	昭和 53 年	昭和 55 年
延床面積(㎡)	4,165	1,238	4,938	1,982	2,831
アリーナ面積(㎡)	1,292	952	2,088	1,050	1,300
施設概要	アリーナ 可動式クライミングウォール ボルダー壁 卓球室 柔道場 剣道場 研修室 談話室 保育室	アリーナ クライミングウォール 談話室	・ﾒｲﾝｱﾘｰﾅ ・ｻﾌﾞｱﾘｰﾅ ・ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室 ・武道場 ・会議室 ・幼児室 ・談話ｺｰﾅｰ	アリーナ 会議室	アリーナ 格技室 集会室
利用者数(人)	73,986	33,503	110,333	27,452	34,960
対前年度比(人)	△14,431	1,870	△7,551	△3,173	△5,664
使 用 料 (円)	1,559,955	1,244,500	13,946,240	1,057,882	1,253,275
対前年度比(円)	△318,450	△172,000	△287,870	△51,705	124,575

○屋外体育施設概要

地 域 名 (施 設 名)	加須地域 (加須市民運動公園、鎮守前公園)	騎西地域 (騎西総合公園、騎西中央公園他)	北川辺地域 (渡良瀬総合グラウンド他)	大利根地域 (大利根運動公園、星子沼公園他)
利用者数(人)	110,560	116,845	27,288	68,592
対前年度比(人)	△10,156	17,388	4,281	△6,283
使 用 料 (円)	1,023,000	596,000	114,000	876,050
対前年度比(円)	△71,800	△135,100	△13,500	△121,975

※体育館及び屋外体育施設の利用者数等の減少は、令和 2 年 2 月から感染拡大が始まった新型コロナウイルス感染症対策により利用を制限したため。

○大利根地域文化体育館の卓球の利便性を向上するため、卓球台を増設した。
補正予算　912,000 円

○加須スケートパーク（スケートボードエリア）
令和元年 12 月 15 日（日）に加須ＩＣ東産業団地内に加須スケートパークがオープンし、パーク内のスケートボードエリアの維持管理を行った。

事 業 名		スポーツ施設整備事業			
担 当 課		スポーツ振興課		総合振興計画コード	2234-01
款	10	教育費		当 初 予 算 額	0 円
項	06	保健体育費		最 終 予 算 額	15,000,000 円
目	02	体育施設費		決 算 額	14,300,000 円
事業の目的	安全で快適にスポーツができるプレー環境を実現する。		事業の概要	市内のスポーツ施設の修繕・改修を実施する。	

事業の実績・成果

安全で快適にスポーツができる環境の充実を図るため、田ヶ谷サン・スポーツランド野球場フェンス（コンクリート部分）などに緩衝材を設置し、安全性の向上を図った。

田ケ谷サン・スポーツランド野球場フェンス緩衝材設置工事　14,300,000 円

事 業 名		スポーツ教室等開催事業		
担 当 課		スポーツ振興課	総合振興計画コード	2231-03
款	10	教育費	当 初 予 算 額	1,231,000 円
項	06	保健体育費	最 終 予 算 額	1,231,000 円
目	03	スポーツ振興普及費	決 算 額	779,907 円
事業の目的	健康の保持増進や体力の維持向上を目指し、スポーツを通して仲間との交流を図るとともに、生きがいづくりや交流により人と人との絆を深める。		事業の概要	市民のスポーツへの関心を高めるため、スポーツ教室を開催する。 ・ピラティス教室 ・小学生水泳教室 ・小学生スキー教室 ・体験型ニュースポーツ教室 ・小学生硬式テニス教室

事業の実績・成果

スポーツ教室を開催したことで、健康体力づくり、コミュニティづくり、スポーツの振興・普及、及び各競技の底辺拡大に寄与した。

○開催内容

教室数　15 教室

（カヌー・ヨット教室：雨天中止・児童バドミントン教室：申込みが開催定員数未満により中止）

参加人数　464 人（詳細は以下の表参照）

（単位：人）

前期スポーツ教室					
NEW スポーツなんでもアリーナ	79	Do You！スポーツミックス	89	カヌー・ヨット教室	中止
クライミング教室	9	Ｊｒクライミング教室	16	小学生水泳教室	35
小学生硬式テニス教室	20	―		合　計	248

（単位：人）

後期スポーツ教室					
クライミング教室	15	Ｊｒクライミング教室	26	ニュースポーツ教室	14
ピラティス教室	30	スポーツ吹矢教室	6	合　計	91

（単位：人）

体 験 教 室					
児童バレーボール教室	55	小学生スキー教室	55	児童バドミントン教室	中止
				合　計	110

※クライミング教室については「クライミング普及事業」より支出

教室数と参加者数の推移　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
教 室 数	15	16	16	15	15
参加者数	741	741	677	626	449

その他特別教室

○加須市合併10周年記念「JA全農WCBF少年野球教室」

開 催 日　令和元年6月8日（土）
主　　催　一般財団法人世界少年野球推進財団（ＷＣＢＦ）
会　　場　加須きずなスタジアム、陸上競技場
参 加 者　251名
　　市内の少年野球チーム10チーム
　　〈選手（小学生）171人〉〈指導者34人〉〈栄養学教室46人〉
事業概要　加須市内の少年野球チームを対象に野球教室を開催。プロ野球ＯＢの講師が野球の基本技術の他、挨拶・礼儀・マナー等を指導した。
事 業 費　0円

○加須市合併10周年記念「2019年度特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」

開 催 日　令和元年9月29日（日）
開催組織　主　催：株式会社かんぽ生命保険、ＮＨＫ、ＮＰＯ法人全国ラジオ体操連盟
　　後　援：加須市自治協力団体連合会、加須市コミュニティ協議会、加須市体育協会、加須市スポーツ少年団、加須市レクリエーション協会
会　　場　加須市民運動公園陸上競技場

参 加 者　3,518人
　　自治協力団体、体育協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団、老人会など各団体や小学生、中学生、高校生、大学生、一般参加者など
内　　容　ＮＨＫラジオ第1放送（生放送（6:30～6:40））に合わせ、講師とともにラジオ体操・みんなの体操を行った。
指 導 者　体育指導1名　アシスタント2名　ピアノ演奏者1名
事 業 費　487,080円（会場設営・撤去業務委託料）

○加須市合併10周年記念　プロ選手と夢の交流事業（加須きずな少年野球教室）

開 催 日　令和元年12月22日（日）
主　　催　加須市・加須市教育委員会
会　　場　加須きずなスタジアム
参 加 者　300名
　　市内の少年野球チーム10チーム・市内小学生１～3年生
内　　容　花咲徳栄高校出身の現役プロ野球選手や西武ライオンズＯＢ選手に、少年野球チームに加入している子供たちの他に野球をあまり知らない子供たちに野球の楽しさを知ってもらい、野球の底辺の拡大を図るためや子供たちに夢をあたえるため教室を開催した。
指 導 者　＜4～6年生指導＞
　　若 月 健 矢 選 手（オリックスバッファローズ）
　　楠 本 泰 史 選 手（横浜DeＮＡベイスターズ）
　　愛　斗　選　手（埼玉西武ライオンズ）
　　岡 崎 大 輔 選 手（オリックスバッファローズ）
　　高 橋 昂 也 選 手（広島東洋カープ）
　　西 川 愛 也 選 手（埼玉西武ライオンズ）
　　清 水 達 也 選 手（中日ドラゴンズ）
　　野 村 佑 希 選 手（北海道日本ハムファイターズ）
　　船 越 千 紘 選 手（侍ジャパン女子日本代表）
　　＜1～3年生指導＞
　　石 井 丈 裕コーチ・原　拓　也コーチ（埼玉西武ライオンズ）
事 業 費　528,336円（講師謝金　405,000円・野球教室用軟式ボールほか消耗品費・傷害保険料）

事業名	グラウンドゴルフ推進事業		
担当課	スポーツ振興課	総合振興計画コード	2231-05
款 10	教育費	当初予算額	305,000円
項 06	保健体育費	最終予算額	305,000円
目 03	スポーツ振興普及費	決算額	300,000円

事業の目的	市民の健康の保持増進や体力の維持向上を図るとともに、生きがいづくりや交流により人と人との絆を深める。	事業の概要	グラウンド・ゴルフ協会等と連携し、市民等の愛好者が交流を図れる大会を支援する。 ・さわやかグラウンド・ゴルフ大会 （実行委員会への補助金交付） ・加須市長杯 ・宮崎義重杯 ・ふじの里グラウンド・ゴルフ大会 ・加須市老人クラブ連合会GG大会 ・市民グラウンド・ゴルフ大会

事業の実績・成果

加須市さわやかグラウンド・ゴルフ大会実行委員会が主催のグラウンド・ゴルフ大会を加須市民運動公園で開催し、グラウンド・ゴルフの普及を図った。

この大会ほか、グラウンド・ゴルフの普及を目的とした大会が年間を通して開催されている。

1. 加須市さわやかグラウンド・ゴルフ大会

(1)開催日　　令和元年5月19日（日）

(2)会　場　　加須市民運動公園（陸上競技場・野球場・多目的広場）

(3)補助金額の推移　　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
さわやかグラウンド・ゴルフ大会補助金	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000

(4)参加者数の推移　　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
さわやかグラウンド・ゴルフ	1,336	1,110	1,101	1,018	989

※参加者は、関東1都6県及び県内全域

2. その他大会

大会名	開催日	参加人数
加須市春季グラウンド・ゴルフ大会	平成31年4月17日（水）	259人
加須市レディスグラウンド・ゴルフ大会	令和元年5月30日（木）	206人
加須市夏季グラウンド・ゴルフ大会	令和元年6月13日（木）	241人
加須市長杯グラウンド・ゴルフ大会	令和元年6月25日（火）	657人
ふじの里グラウンド・ゴルフ大会	令和元年6月22日（土）	241人
宮崎義重杯グラウンド・ゴルフ大会	令和元年9月15日（日）	944人
加須市秋季グラウンド・ゴルフ大会	令和元年10月2日（水）	244人
加須市老人クラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会	令和元年10月24日（木）	314人
北彩グラウンド・ゴルフ秋季加須大会	令和元年10月27日（日）	448人
加須市体育協会会長杯　ペア大会	令和元年12月17日(火)	152組304人
加須はなさき公園グラウンド・ゴルフ大会市長杯	令和2年2月6日（木）	174人

事 業 名		健康づくりウォーキング事業			
担 当 課		スポーツ振興課		総合振興計画コード	2231-07
款	10	教育費		当 初 予 算 額	96,000 円
項	06	保健体育費		最 終 予 算 額	96,000 円
目	03	スポーツ振興普及費		決 算 額	95,584 円
事業の目的	市民の健康の保持増進や体力の維持向上を図るとともに、生きがいづくりや交流による人と人との絆を深める。		事業の概要	・市民がウォーキングに取り組むためのきっかけづくりとして「ウォーキング大会」の各地区での開催を促進する。 ・スポーツ推進委員を中心に「健康づくりウォーキング」を開催する。	

事業の実績・成果

加須市健康づくりウォーキング事業は、市民の健康の保持増進や体力の維持向上を図るとともに生きがいづくりや交流の場として人と人との絆を深めることを目的に開催した。

加須市健康づくりウォークは、渡良瀬遊水地谷中湖周辺が会場のため、台風の影響により、コースを一部変更して開催、昨年度よりも多くの市民が参加した。参加を促進するため、事前申込の特典として「たまご」の提供や、ラリーポイントを設け景品を配布したり、今大会は合併10周年及び第10回記念大会のため、記念抽選会を行うなど、参加者に楽しんでもらえる企画をした。

また、各地域・地区体育協会においても多くのウォーキング大会が開催された。

【事業内容】

〇第10回加須市健康づくりウォーク

主　　催　　加須市、加須市教育委員会
主　　管　　加須市スポーツ推進委員協議会
開 催 日　　令和元年11月17日（日）
会　　場　　渡良瀬遊水地谷中湖周辺
参加人数　　245人
コ ー ス　　渡良瀬遊水地谷中湖周回路　約5㎞
※令和元年東日本台風（台風第19号）により一部通行できない区間があり、コースを短縮しての開催

〇各地域及び地区体育協会のウォーキング事業

大 会 名	主催団体	開 催 日
ふじの里ウォーク	騎西地域体育協会	令和元年11月30日（土）
菜の花ウォーク	大利根地域体育協会	令和2年3月22日（日） （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
地区歩け歩け大会	不動岡地区体育協会	令和2年1月19日（日）
三俣地区体育協会歩け歩け大会	三俣地区体育協会	令和2年2月23日（日）
礼羽地区歩け歩け大会	礼羽地区体育協会	令和2年2月2日（日）
水深地区歩け歩け大会	水深地区体育協会	令和2年2月11日（祝・火）
地区民歩け歩け大会	樋遣川地区体育協会	令和2年1月3日（金）
大越地区歩け歩け大会	大越地区体育協会	令和2年3月1日（日） （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
第1支部体協ウォーキング大会	北川辺第1支部体育協会	令和元年11月2日（土）
第2支部体協健康づくりウォーキング大会	北川辺第2支部体育協会	令和元年11月10日（日）
第3支部歩け歩け大会	北川辺第3支部体育協会	令和元年11月10日（日）

事 業 名	クライミング普及事業			（総合戦略）
担 当 課	スポーツ振興課		総合振興計画コード	2232-01
款	10	教育費	当 初 予 算 額	3,329,000 円
項	06	保健体育費	最 終 予 算 額	3,329,000 円
目	03	スポーツ振興普及費	決 算 額	2,905,748 円
事業の目的	クライミングを通じ、加須市の知名度アップや地域の活性化、全国から若者が集うまちをつくる。	事業の概要	・KAZO カップ、体験会、認定会等を埼玉県山岳連盟及び加須市山岳連盟と連携して開催する。 ・日本山岳・スポーツクライミング協会主催の全国高等学校選抜クライミング選手権大会の支援を行う。	

事業の実績・成果

2020 年の東京オリンピックの正式種目となり、スポーツクライミングに関心が高まる中、教室や体験会等の普及事業を通じてスポーツクライミングの振興及び普及を図った。

1. 第 20 回リード KAZO クライミングカップ 2019 大会の主催
- 主　　催　加須市、加須市教育委員会、埼玉県山岳・スポーツクライミング協会、埼玉県、埼玉県教育委員会、（公財）埼玉県体育協会
- 主　　管　埼玉県山岳・スポーツクライミング協会競技委員会、加須市山岳連盟
- 後　　援　加須市体育協会、（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会
- 開　　催　令和元年 5 月 26 日（日）
- 会　　場　加須市民体育館（加須こいのぼりクライミングウォール）
- 参加者数　134 人（1 都 1 府 17 県）
- そ の 他　本大会は、以下の大会を兼ねています。
  JMSCA ジャパンツアーリード第 1 戦、第 32 回県民総合スポーツ大会、第 74 回国民体育大会（埼玉予選会）、JOC ジュニアオリンピックカップ大会（埼玉予選会）、関東小学生クライミング選手権（埼玉予選会）

2. 第 32 回県民スポーツ体育大会　コバトンクライミングカップ（ロープ部門）2019 の後援
- 主　　催　埼玉県教育委員会、埼玉県スポーツ協会、埼玉県山岳・スポーツクライミング協会、埼玉県高等学校体育連盟
- 主　　管　埼玉県山岳・スポーツクライミング協会、埼玉県高等学校体育連盟登山専門部
- 後　　援　加須市教育委員会
- 開 催 日　令和元年 11 月 24 日（日）
- 会　　場　加須市民体育館（加須こいのぼりクライミングウォール）
- 参加状況　参加人数 110 人

3. 第 6 回関東小中学生選抜スポーツクライミング選手権大会の後援（再掲）
- 主　　催　関東地区山岳連盟
- 主　　管　埼玉県山岳・スポーツクライミング教室
- 後　　援　加須市、加須市教育委員会
- 開 催 日　令和元年 12 月 15 日（日）
- 会　　場　加須市民体育館（加須こいのぼりクライミングウォール）
- 参加者数　80 人

4. 第10回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会の主催
・主　　催　加須市、加須市教育委員会、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会、
(公財)全国高等学校体育連盟
・主　　管　埼玉県山岳・スポーツクライミング協会、(公財)全国高等学校体育連盟登山専門部
・後　　援　スポーツ庁、(公財) 日本スポーツ協会、埼玉県教育委員会、
(公財) 埼玉県スポーツ協会、加須市体育協会、毎日新聞社
・開 催 日　令和元年12月21日（土)、22日（日）
・会　　場　加須市民体育館（加須こいのぼりクライミングウォール）
・参加者数　213人
（男子：39都道府県　80校　109人・女子：39都道府県　80校　104人）

5. リードジャパンカップ
・主　　催　公益社団法人　日本山岳・スポーツクライミング協会
・主　　管　埼玉県山岳・スポーツクライミング協会
・後　　援　スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、
加須市
・開 催 日　令和2年3月7日（土）、8日（日）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期

6. クライミング体験会（加須市山岳連盟主催）(4回開催)　参加者数70人
・期　　日　6月22日（土)、8月3日（土)、11月9日（土)、2月22日（土）

7. クライミングウォール利用認定会（4回開催）　参加者数　31人
・期　　日　6月22日（土)、8月3日（土)、11月9日（土)、2月22日（土）

8. クライミング教室（前期）参加者　一般：9人、ジュニア：16人
クライミング教室（後期）参加者　一般：15人、ジュニア：26人
※後期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため回数を短縮した。

9. 加須市民の日記念事業　親子スポーツクライミング体験会
・開 催 日　令和2年3月23日（土）
・主　　催　加須市
・会　　場　加須市民体育館（加須こいのぼりクライミングウォール）
・概　　要　親子体験会
講師：加須市山岳連盟
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

事 業 名	全国大会等支援事業			（総合戦略）
担 当 課	スポーツ振興課		総合振興計画コード	2232-04
款	10	教育費	当 初 予 算 額	101,000 円
項	06	保健体育費	最 終 予 算 額	101,000 円
目	03	スポーツ振興普及費	決 算 額	96,690 円
事業の目的	加須市の知名度アップや地域の活性化を図り、全国から若者が集うまちをつくる。	事業の概要	トライアスロンや自転車競技等の全国レベルの大会等に共催及び後援し、さらに主催団体、市民との協働により実施することで、若者が集い競う場をつくり、加須市のイメージアップ、大会のＰＲ及び競技の普及推進を図る。	

事業の実績・成果

全国規模等の大会を招致し開催することで、市内のスポーツ団体と連携を図り、市民がスポーツに親しむきっかけづくりや加須市を全国に広めることができた。

共催・支援した大会

大 会 名	開催日 会 場	参加者数（人）	区分
加須市合併10周年記念 「第 13 回加須こいのぼり杯」タイム・トライアル・ロード・レース大会兼ショートロードレース大会	平成31年4月28日（日） 利根川河川敷工事用道路	179	H22～後援
加須市合併10周年記念 第58回全日本学生選手権チームロード・タイム・トライアル大会 （自転車競技）	令和元年6月1日（土） 利根川河川敷工事用道路	124	H22～後援
加須市合併10周年記念 第 5 回全日本学生選手権個人ロード・タイム・トライアル自転車競技大会	令和元年6月2日（日） 利根川河川敷工事用道路	218	H22～後援
加須市合併10周年記念 2019 彩の国トライアスロンイン加須大会兼関東トライアスロン選手権大会	令和元年6月2日（日） 渡良瀬遊水地	386	H 7～後援
加須市合併10周年記念 紅葉チャレンジトライアスロン・デュアスロンフェスティバル in 加須大会	令和元年10月27日（日） 渡良瀬遊水地	台風19号の影響により中止 申込368	H16～後援

事 業 名	オリンピック・パラリンピック関連事業		
担 当 課	スポーツ振興課	総合振興計画コード	2232-07
款 10	教育費	当 初 予 算 額	14,431,000 円
項 06	保健体育費	最 終 予 算 額	14,431,000 円
目 03	スポーツ振興普及費	決 算 額	2,836,461 円
事業の目的	2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催をきっかけに国際交流を深化させ観光振興や地域の活性化を図る。	事業の概要	・コロンビア選手の事前トレーニングキャンプの受入(ボクシング、柔道、陸上競技、サッカー、レスリング、ボクシング) ・小中学校の交流事業の実施

事業の実績・成果

【埼玉県国際交流協会による交流事業】 86,670 円

テーマ：コロンビア共和国の文化等について学ぶ

講　師：鈴木マルタエレーナ氏

開催日	時間	学校名	対　象	参加者数
令和元年 12 月 12 日（木）	14:30～15:20	北川辺中学校	2 年生	70 人
令和元年 12 月 17 日（火）	10:30～11:15	豊野小学校	5～6 年生	35 人
令和元年 12 月 17 日（火）	13:55～14:40	北川辺西小学校	1～3 年生	108 人
	14:50～15:35		4～6 年生	107 人
令和 2 年 1 月 14 日（火）	10:30～11:15	鴻茎小学校	5～6 年生	36 人
	13:45～14:30	花崎北小学校	6 年生	62 人
令和 2 年 1 月 16 日（木）	10:30～11:15	田ヶ谷小学校	5 年生	39 人
	14:45～15:30	加須南小学校	5 年生	36 人
令和 2 年 1 月 21 日（火）	10:30～11:15	不動岡小学校	6 年生	43 人
	13:50～14:35	種足小学校	5～6 年生	63 人
令和 2 年 1 月 23 日（木）	13:40～14:30	昭和中学校	2 年生	228 人
令和 2 年 1 月 28 日（火）	9:30～10:15	元和小学校	4 年生	30 人
令和 2 年 2 月 18 日（火）	13:40～14:30	加須西中学校	1 年生	110 人
令和 2 年 2 月 20 日（木）	10:40～11:30	加須北中学校	3 年生	37 人

【コロンビア大使館による交流事業】 18,130 円
テーマ：コロンビア共和国の文化等について学ぶ
講師：　全権公使　ガイア・エルナンデス氏　ほか大使館職員

開催日	時間	学校名	対　象	参加者数
令和元年 9 月 19 日（木）	10：30～11：15	大桑小学校	5～6 年生	150 人
	13：45～14：35	加須東中学校	2 年生	104 人
令和元年 12 月 18 日（水）	11：10～11：55	志多見小学校	5～6 年生	46 人
	13：55～14：40	北川辺東小学校	6 年生	27 人

交流事業の回数の推移

	平成 30 年度	令和元年度
小学校	4 校	12 校
中学校	1 校	5 校
高　校	2 校	-
合　計	7 校	17 校

【東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 1 年前イベント（埼玉県主催）参加】 0 円
期　　間　令和元年 7 月 20 日(土)～21 日（日）
場　　所　越谷レイクタウン
内　　容　東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成を図るため、コロンビア共和国のホストタウンである加須市、草加市、秩父市の共同スペースで、コロンビア共和国の紹介を行った。

【東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 1 年前イベント強化月間（埼玉県主催）参加】 30,800 円
期　　間　令和元年 8 月 3 日(土)
場　　所　羽生イオン
内　　容　東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成を図るため、コロンビア共和国のホストタウンとして、コロンビアコンビア共和国の紹介を行い、コロンビアの材料で手芸品づくりの体験会を実施した。

【事前トレーニングキャンプ等に関する委託】 240,000 円
委託業者　一般社団法人　ことばインターナショナル
日　　時　令和元年 8 月 2 日（金）～令和 2 年 3 月 31 日（火）
内　　容　コロンビア共和国の陸上、柔道、ウエイトリフティング、サッカー、レスリング、ボクシングの事前トレーニングキャンプに係るコロンビア共和国 IOC と在日コロンビア大使館との日程調整等を実施
※令和元年度は、日程調整が整わず事前トレーニングキャンプの実施なし

【懸垂幕及びのぼり旗の作成】 289,740 円
内　　容　東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の聖火リレーの通過市として、また、コロンビア共和国選手団の事前キャンプ開催をＰＲするための懸垂幕及びのぼり旗を作成

事 業 名		学校体育施設開放管理運営事業		
担 当 課		スポーツ振興課	総合振興計画コード	2234-03
款	10	教育費	当 初 予 算 額	4,797,000 円
項	06	保健体育費	最 終 予 算 額	4,797,000 円
目	04	学校体育施設開放施設費	決 算 額	4,044,354 円
事業の目的	地域のスポーツレクリエーションの場を確保し、生涯スポーツの振興を図る。		事業の概要	学校教育に支障のない範囲でスポーツを楽しむ団体等へ学校体育施設の貸出を行ないスポーツ活動を促進する。

事業の実績・成果

スポーツの普及振興を図るため、学校教育に支障のない範囲で市内小中学校の体育施設等を市民に開放した。

また、施設利用を促進し効果的活用に供するため、施設の維持管理に努めた。

○学校体育施設利用状況 （単位：人）

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
小中別（校数）	小学校(22)	171,336	174,065	169,223	165,622	160,696
	中学校(5)	21,813	21,495	20,142	15,401	19,013
合 計	27 校	193,149	195,560	189,365	181,023	179,709

※平成 28 年度水深小学校体育館は、改修工事により 1 年間開放中止

※平成 30 年度市内一部小・中学校体育館耐震工事により開放中止期間あり

※令和 2 年 3 月 2 日から新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として、施設開放を中止した。

○学校体育施設修繕

主な修繕箇所 （単位：円）

件 名	金 額
志多見小学校校庭夜間照明制御盤修繕工事	1,243,000
志多見小学校夜間照明修繕	297,000
水深小学校夜間照明修繕	201,080
大桑小学校夜間照明修繕	139,920
不動岡小学校夜間照明修繕	80,460
花崎北小学校サッカーゴール修繕	11,880
不動岡小学校バドミントン支柱修繕	4,800

事 業 名		給食センター管理運営事業		
担 当 課		学校給食課	総合振興計画コード	1214-01
款	10	教育費	当 初 予 算 額	713,848,000 円
項	06	保健体育費	最 終 予 算 額	713,848,000 円
目	05	学校給食費	決 算 額	648,463,798 円

事業の目的	児童生徒の心身の健全な発達に資するため、学校給食センターを適正に管理運営し、栄養バランスに優れた安全安心な学校給食を提供する。	事業の概要	各給食センターの施設を最大限に活用し栄養バランスに優れた安全安心でおいしい給食を継続的に提供する。 各給食センターの維持管理及び衛生管理の徹底を図る。また必要に応じて修繕を行う。 衛生管理意識徹底を図るため、調理等業務従事者を対象に衛生講習会を実施する。 地場産野菜使用の拡大を図る。

事業の実績・成果

3センターとも衛生管理を徹底した結果、事故等による給食停止日は発生せず、安全安心な給食を提供することができた。また、加須・騎西学校給食センターのお椀の傷みが激しいため、大幅な入れ替えを行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小・中学校及び幼稚園は臨時休業となり、学校給食を15日停止した。

1　給食の年間実施日数と提供食数

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
施設名	日数	提供食数	日数	提供食数	日数	提供食数	日数	提供食数	日数	提供食数
加須学校給食センター	188	1,115,842	187	1,138,044	189	1,143,023	189	1,145,178	173	1,030,860
騎西学校給食センター	188	584,506	187	585,620	189	571,802	189	562,383	173	488,973
北川辺学校給食センター	188	160,068	187	152,847	189	150,410	189	147,479	173	128,514
計		1,860,416		1,876,511		1,865,235		1,855,040		1,648,347

【各センター別配送先】

加須学校給食センター：加須東地域の小学校、中学校、幼稚園
大利根地域の小学校、中学校

騎西学校給食センター：加須西地域の小学校、中学校、幼稚園
騎西地域の小学校、中学校、幼稚園

北川辺学校給食センター：北川辺地域の小学校、中学校、幼稚園　　にそれぞれ提供している。

2　一食あたりの経費の状況

区分	経費(円)	総給食数(食)	平均単価(円)	経費率(%)
賄材料費	392,943,711	1,648,347	238.39	60.60
賄材料費以外	255,520,087		155.02	39.40
計	648,463,798		393.40	100.00

※計の平均単価は、区分ごとの平均単価の合計とは一致しない場合がある。

3　地元農産物の使用率の推移

品目	使用量	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
白米	全体使用量(kg)	107,848	106,960	107,204	106,549	96,239
	地元農産物使用量(kg)	107,848	106,960	107,204	106,549	96,239
	地元農産物使用率(%)	100	100	100	100	100
野菜	全体使用量(kg)	134,845	127,558	123,014	128,847	117,358
	地元農産物使用量(kg)	14,636	14,428	16,890	18,550	20,255
	地元農産物使用率(%)	10.9	11.3	13.7	14.4	17.3

事 業 名		市債元金償還事業			
担 当 課		財政課		総合振興計画コード	6315-01
款	11	公債費		当 初 予 算 額	3,108,386,000 円
項	01	公債費		最 終 予 算 額	3,110,812,000 円
目	01	元金		決 算 額	3,110,639,904 円
事業の目的	市債に係る元金について、管理、償還する。		事業の概要	・市債の元金償還	

事業の実績・成果

市債の元金を 3,110,639,904 円償還した。

このうち、債務残高の圧縮を図るため、騎西中学校大規模改修にかかる借入 38,346,000 円（平成 21 年度借入。銀行等引受資金。）について、借り換えを実施せず、市債管理基金を取り崩して繰上償還を実施した。

※　公的資金補償金免除繰上償還に係る財政健全化計画に基づき実施する繰上償還については、平成 24 年度に完了した。

事 業 名		市債利子支払事業			
担 当 課		財政課		総合振興計画コード	6315-02
款	11	公債費		当 初 予 算 額	203,737,000 円
項	01	公債費		最 終 予 算 額	157,645,000 円
目	02	利子		決 算 額	157,505,231 円
事業の目的	市債に係る利子について、管理、支払いを行う。		事業の概要	・市債の利子支払い	

事業の実績・成果

市債の利子を 157,505,231 円支払った。

事業名	予備費				
担当課	財政課			総合振興計画コード	6315-04
款	12	予備費		当初予算額	30,000,000円
項	01	予備費		最終予算額	30,000,000円
目	01	予備費		決算額	※各充当先にて計上
事業の目的	予算外の支出又は予算超過の支出に充てるため、歳入歳出予算に計上する。		事業の概要	不測の事態が生じた場合、予備費充用により対応する。	

事業の実績・成果

款項目	事業名称	課名	充用額(円)	摘要
10.3.1	中学校施設整備事業	教育総務課	756,000	北川辺中学校の保健室空調機改修に対応
10.6.1	女子硬式野球振興事業	スポーツ振興課	187,986	全国高等学校女子硬式野球選手権大会開会式参加に伴う旅費などに対応
10.6.1	スポーツ普及推進事業	スポーツ振興課	4,000,000	学校法人佐藤栄学園花咲徳栄高等学校 第101回全国高等学校野球選手権大会出場に伴う補助金に対応
10.6.1	スポーツ普及推進事業	スポーツ振興課	200,000	加須市スポーツ少年団選抜チーム 高円宮賜杯第39回全日本学童軟式野球大会出場に伴う補助金に対応
3.2.3	公立保育所管理運営事業	保育幼稚園課	4,611,600	北川辺保育所（保育室、給食調理室、職員室）の空調機改修に対応
3.2.3	公立保育所管理運営事業	保育幼稚園課	1,047,600	第四保育所（保育室、職員室）の空調機改修に対応
2.1.11	田ケ谷総合センター管理運営事業	人権・男女共同参画課	280,800	田ケ谷総合センター集会室の空調機改修に対応
6.1.3	童謡のふる里おおとね農業創生センター管理運営事業	農政建設課（大利根）	2,160,000	童謡のふる里おおとね農業創生センターの空調機改修に対応
4.1.3	「浮野の里」自然環境保全事業	環境政策課	156,600	浮野の里用地買収のための不動産鑑定費用に対応
10.3.1	中学校施設整備事業	教育総務課	1,881,000	加須平成中学校の放送設備交換費用に対応
9.1.4	防災管理事業	危機管理防災課	55,420	令和元年台風第15号における千葉県富津市への災害派遣に伴う旅費に対応
2.1.13	交通安全施設整備事業	交通防犯課	2,773,100	道路反射鏡の損害被害による修繕に対応
9.1.4	防災管理事業	危機管理防災課	126,800	令和元年台風第15号における千葉県南房総市への災害派遣に伴う旅費に対応（派遣見送りのため充当先で未執行）
10.5.1	文化財の保存と活用による地域活性化事業	生涯学習課	236,610	騎西郷土資料室のパソコン故障による入替に対応
10.3.1	生徒派遣援助事業	教育総務課	349,019	各中学校において、関東大会、全国大会への出場者の増加に伴う生徒派遣費補助金の不足に対応
2.1.1	法務相談事業	総務課	880,000	最高裁判所への上告に伴う訴訟代理人委任契約締結などの費用に対応
10.6.1	スポーツ普及推進事業	スポーツ振興課	3,000,000	学校法人佐藤栄学園花咲徳栄高等学校 第92回選抜高等学校野球大会出場に伴う補助金に対応（大会開催中止により、全額返還）
合計			22,702,535	

Ⅲ　特別会計の状況

住宅新築資金等貸付事業（特別会計）　人権・男女共同参画課

【財政の状況】

歳　入

区　　分	令和 元 年度			平成 30 年度	
	決算額（円）	構成比（%）	前年比（%）	決算額（円）	構成比(%)
繰　越　金	11,559,357	90.5	14.8	10,066,975	84.6
諸　収　入	1,212,024	9.5	△33.8	1,831,388	15.4
合　　計	12,771,381	100.0	7.3	11,898,363	100.0

歳　出

区　　分	令和 元 年度			平成 30 年度	
	決算額（円）	構成比（%）	前年比（%）	決算額（円）	構成比(%)
住宅資金貸付事　業　費	0	0	0	0	0
公　債　費	339,006	100.0	0	339,006	100.0
合　　計	339,006	100.0	0	339,006	100.0

○　貸付金収納状況

種　　別		調定額（円）	収納額（円）	未収額（円）	収納率（%）
現　年　度		740,000	0	740,000	0.0
内訳	元　　金	719,180	0	719,180	0.0
	利　　子	20,820	0	20,820	0.0
過　年　度		57,281,284	1,211,432	56,069,852	2.1
内訳	元　　金	48,419,100	941,309	47,477,791	1.9
	利　　子	8,862,184	270,123	8,592,061	3.0
合　　計		58,021,284	1,211,432	56,809,852	2.1

※　現年度とは令和 元 年度であり、過年度とは平成 30 年度以前のものをいう。

【財政の状況】

歳　入

区　分	令和元年度				平成30年度			
	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	被保険者一人当たり額(円)	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	被保険者一人当たり額(円)
国民健康保険税	2,310,456	19.0	△2.1	83,855	2,359,281	18.7	△1.9	83,006
使用料及び手数料	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0
国庫支出金	1,262	0.1	48.6	46	849	0.1	△100.0	30
県支出金	8,886,244	72.9	△1.3	322,515	9,004,033	71.6	1117.5	316,787
繰入金	870,654	7.2	△25.9	31,599	1,174,438	9.3	△14.4	41,320
繰越金	86,851	0.7	197.4	3,152	29,206	0.2	△25.1	1,028
諸収入	15,548	0.1	△3.2	564	16,062	0.1	△39.6	565
合計	12,171,015	100.0	△3.3	441,731	12,583,869	100.0	△15.1	442,736

歳　出

区　分	令和元年度				平成30年度			
	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	被保険者一人当たり額(円)	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	被保険者一人当たり額(円)
総務費	133,555	1.1	0.9	4,847	132,411	1.1	△11.8	4,659
保険給付費	8,714,750	72.1	△1.7	316,290	8,861,682	70.9	△0.5	311,779
国民健康保険事業費納付金	3,064,923	25.4	△4.5	111,237	3,210,449	25.7	皆増	112,952
共同事業拠出金	2	0.0	0.0	0	2	0.0	△100.0	0
財政安定化基金拠出金	0	0.0	－	0				
保健事業費	114,305	0.9	2.0	4,149	112,050	0.9	19.0	3,942
諸支出金	59,587	0.5	△67.0	2,163	180,424	1.4	80.2	6,348
合計	12,087,122	100.0	△3.3	438,686	12,497,018	100.0	△15.5	439,680

【国民健康保険事業の状況】

1　加入状況（年間平均）

世　　帯　　数			人　　口		
総 世 帯	国保世帯	加入割合	総 人 口	被保険者数	加入割合
47,335 世帯	16,824 世帯	35.54%	113,088 人	27,553 人	24.36%

2　被保険者の内訳

総　数	一般被保険者	退職被保険者
27,553 人	27,540 人	13 人

3　保険税率の推移

【平成 27 年度】

	医療給付費分					後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	資産割	均等割	平等割	限度額	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額
全　域	7.20%	15.0%	8,000	15,000	500,000	2.30%	7,000	140,000	2.40%	11,000	120,000

【平成 28 年度】

	医療給付費分					後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	資産割	均等割	平等割	限度額	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額
全　域	7.40%	11.0%	8,000	15,000	510,000	2.30%	7,000	150,000	2.40%	11,000	130,000

【平成 29 年度】

	医療給付費分					後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	資産割	均等割	平等割	限度額	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額
全　域	7.50%	9.0%	9,000	12,000	530,000	2.30%	7,000	160,000	2.40%	11,000	140,000

【平成 30 年度】

	医療給付費分			後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額
全　域	7.50%	21,000	540,000	2.30%	7,000	170,000	2.40%	11,000	150,000

【令和元年度】

	医療給付費分			後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額
全　域	7.50%	21,000	560,000	2.30%	9,500	190,000	2.40%	11,000	160,000

4　保険税収納状況　（単位：円）

種　別		調　定　額	収　納　額	不納欠損額	未　収　額	収　納　率
現年度		2,380,851,600	2,202,888,855	0	177,962,745	92.5%
	医療分	1,620,976,200	1,501,019,989	0	119,956,211	92.6%
	後期分	561,128,200	519,708,654	0	41,419,546	92.6%
	介護分	198,747,200	182,160,212	0	16,586,988	91.7%
滞　納		391,887,450	107,567,144	38,196,508	246,123,798	27.4%
	医療分	269,460,932	73,923,677	26,263,834	169,273,421	27.4%
	後期分	83,084,973	22,793,407	8,098,130	52,193,436	27.4%
	介護分	39,341,545	10,850,060	3,834,544	24,656,941	27.6%
計		2,772,739,050	2,310,455,999	38,196,508	424,086,543	83.3%

※現年度とは令和元年度であり、滞納とは平成30年度以前のものをいう。

5　一人当たり・一世帯当たり保険税収納状況　（単位：円）

種　別		一人当たり		一世帯当たり	
		調　定　額	収　納　額	調　定　額	収　納　額
現年度		86,409	79,950	141,514	130,935
	医療分	58,831	54,477	96,349	89,218
	後期分	20,365	18,862	33,352	30,890
	介護分	7,213	6,611	11,813	10,827
滞　納		14,221	3,902	23,292	6,391
	医療分	9,779	2,682	16,016	4,393
	後期分	3,015	827	4,938	1,354
	介護分	1,427	393	2,338	644
計		100,630	83,852	164,806	137,326

※現年度とは令和元年度であり、滞納とは平成30年度以前のものをいう。

6　調定額の推移

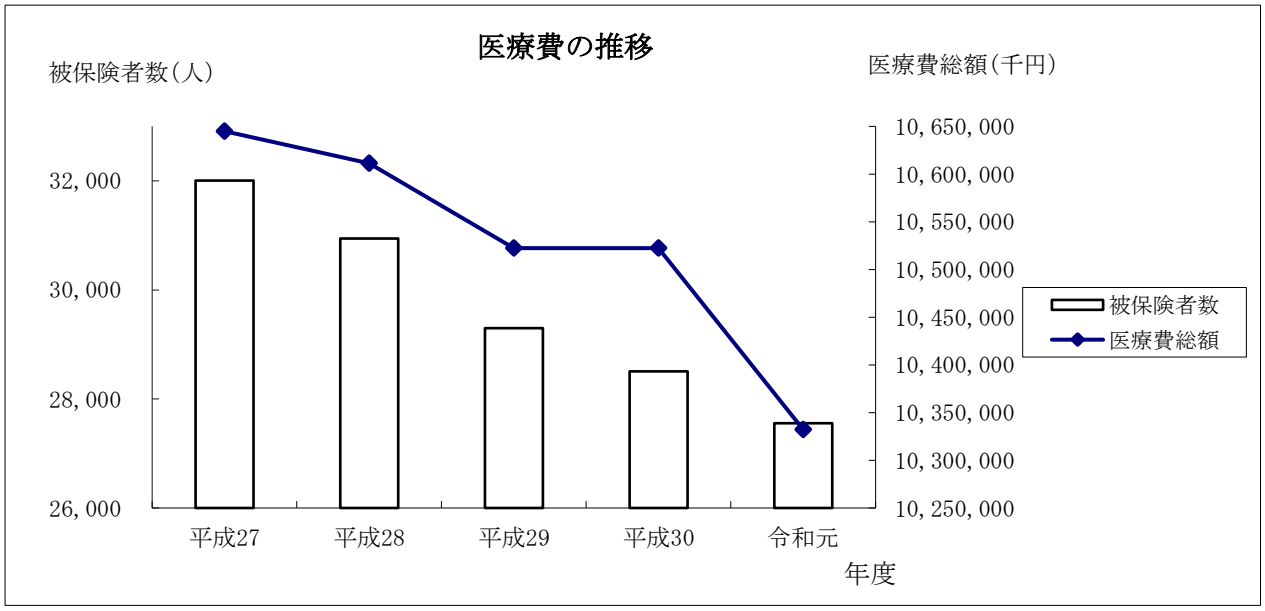
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
現年度（千円）	2,673,969	2,598,052	2,469,958	2,424,355	2,380,851
滞納繰越（千円）	444,423	392,245	377,801	381,106	391,887
被保険者数（人）	32,004	30,942	29,298	28,423	27,553

7　医療給付の状況　（単位：円）

	件　数	費　用　額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
療養の給付	450,465件	10,263,585,403	7,504,906,503	2,615,046,976	143,631,924
療　養　費	7,927件	68,546,996	49,923,741	16,283,925	2,339,330
移　送　費	0件	0	0	0	0
計	458,392件	10,332,132,399	7,554,830,244	2,631,330,901	145,971,254

8　一人当たり医療給付の状況　（単位：円）

	件　数	費　用　額	保険者負担分	一部負担金	他法負担分
療養の給付	16.4件	372,503	272,381	94,910	5,213
療　養　費	0.3件	2,488	1,812	591	85
移　送　費	0.0件	0	0	0	0
計	16.7件	374,991	274,193	95,501	5,298



	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
医療費総額（千円）	10,644,937	10,611,417	10,522,487	10,502,878	10,332,132
被保険者数（人）	32,004	30,942	29,298	28,423	27,553
一人当たり医療費（円）	332,613	342,945	360,177	369,520	374,991

9　医療の給付内訳

		件　数(件)	一人当たり件数(件)	日　数（日）	一人当たり日数(日)	費　用　額(円)	一人当たり費用額(円)
診療費	入　院	6,090	0.2	99,023	3.6	3,567,734,757	129,486
	入院外	245,319	8.9	380,416	13.8	4,216,091,949	153,018
	歯　科	55,077	2.0	98,658	3.6	642,370,130	23,314
調　　剤		143,220	5.2	－	－	1,614,829,502	58,608
食事療養		－	－	－	－	168,548,505	6,117
訪問看護		759	0.1	4,671	0.2	54,010,560	1,960
計		450,465	16.4	582,768	21.2	10,263,585,403	372,503

10　高額療養費支給状況
件　数　　18,435 件　　支給額　　1,104,557,889 円

11　出産育児一時金支給状況
件　数　　64 件　　支給額　　26,847,390 円

12　葬祭費支給状況
件　数　　204 件　　支給額　　10,200,000 円

13　国民健康保険事業費納付金の状況　（単位：円）

		平成30年度	令和元年度
事業費納付金　合計		3,210,448,736	3,064,923,294
	医療給付費分	2,132,076,955	2,050,005,292
	後期高齢者支援金等分	808,573,713	795,049,733
	介護納付金分	269,798,068	219,868,269
1人当たり納付金額		112,953	111,238

※平成30年度からの国民健康保険の県単位化（広域化）に伴い埼玉県に納付。

14　保養所利用状況

利用者総数	利用者内訳		補助金支給状況					
	大人	小人	大人	補助金額	小人	補助金額	計	補助金額
936人	930人	6人	930人	2,790,000円	6人	9,000円	936人	2,799,000円

15　人間ドック・脳ドック利用状況

人間ドック　利用者数　797人　　補助金支給額　15,940,000円
脳ドック　　利用者数　 82人　　補助金支給額　 1,640,000円

16　特定健康診査等実施状況（国民健康保険特定健康診査等事業（総合戦略））

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
特定健康診査	対象者数（人）	23,923	23,132	22,855	21,829	21,714
	受診者数（人）	6,434	6,447	6,519	7,969	7,811
	受診率（%）	26.9	27.9	28.5	36.5	36.0
特定保健指導	対象者数（人）	695	731	673	924	731
	実施者数（人）	193	212	261	361	327
	実施率（%）	27.8	29.0	38.8	39.1	44.7

17　生活習慣病重症化予防対策実施状況（糖尿病性腎症重症化予防対策事業（総合戦略））

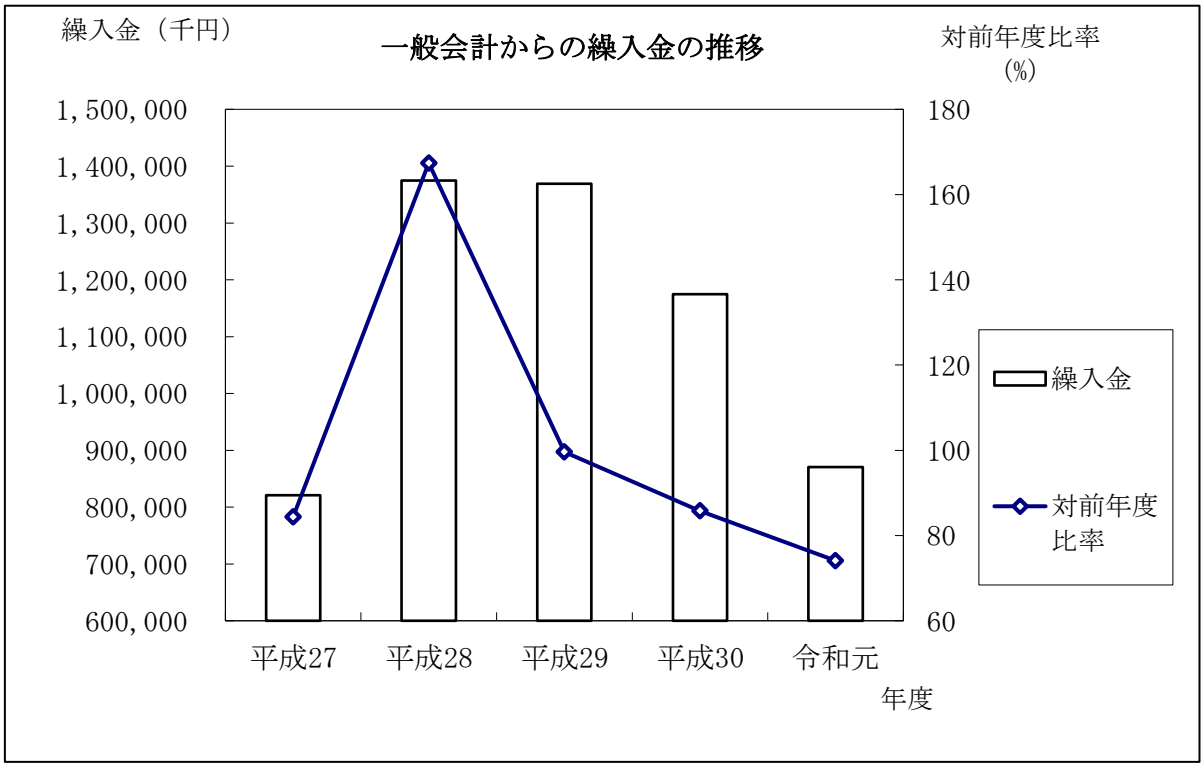
		平成30年度	令和元年度	事業内容
未受診者等への受診勧奨	対象者数（人）	107	113	糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者や受診中断者に対して受診勧奨通知書を送付した。
糖尿病性腎症で通院する患者への保健指導	対象者数（人）	169	181	糖尿病の重症化リスクの高い者のうち、保健指導プログラムへの参加について、本人及びかかりつけ医の同意があった者に対して保健指導を実施した。
	実施者数（人）	12	16	
	実施率（%）	7.1	8.8	

18　国保運営協議会開催状況

	開 催 日 出席委員数	協　　議　　事　　項
第 1 回	8 月 5 日 14 人出席	1　平成 30 年度加須市国民健康保険事業特別会計決算（案）について 2　令和元年度加須市国民健康保険事業特別会計補正予算（案）について 3　平成 30 年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計決算（案）について 4　加須市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）の進捗状況について
第 2 回	12 月 16 日 14 人出席	1　令和 2 年度 国民健康保険事業の賦課方法について
第 3 回	1 月 28 日 13 人出席	1　加須市国民健康保険事業の賦課方法（答申案）について 2　令和 2 年度加須市国民健康保険事業特別会計予算（案）について 3　令和元年度加須市国民健康保険事業特別会計補正予算（案）について 4　加須市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（案）の要旨について 5　令和 2 年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計予算（案）について 6　加須市国民健康保険表彰規程に基づく表彰（案）について

19　一般会計からの繰入金の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
繰入金額（千円）	821,149	1,374,670	1,368,876	1,174,438	870,654
対前年度比率(%)	84.4	167.4	99.6	85.8	74.1



国民健康保険直営診療所（特別会計）　医療体制推進課

【財政の状況】

歳　入

区　　分	令和元年度		平成 30 年度	
	決算額（円）	構成比（%）	決算額（円）	構成比（%）
診療収入	85,799,187	75.4	88,843,893	78.4
使用料及び手数料	11,500	0.0	8,500	0.0
財産収入	4,919	0.0	8,477	0.0
繰入金	0	0.0	4,750,000	4.2
繰越金	27,850,006	24.5	19,623,439	17.3
諸収入	75,424	0.1	73,500	0.1
歳　入　合　計	113,741,036	100.0	113,307,809	100.0

歳　出

区　　分	令和元年度		平成 30 年度	
	決算額（円）	構成比（%）	決算額（円）	構成比（%）
総務費	43,765,947	52.7	43,302,876	50.7
医業費	34,302,398	41.3	41,855,930	49.0
施設整備費	0	0.0	290,520	0.3
基金積立金	5,004,919	6.0	8,477	0.0
公債費	0	0.0	0	0.0
予備費	0	0.0	0	0.0
歳　出　合　計	83,073,264	100.0	85,457,803	100.0

国民健康保険直営診療所事業の状況

地域住民の健康状態を的確に把握するよう診療にあたった。また、保健センター、地域包括支援センター及び地域基幹病院との連携を図り、身近でなんでも相談できるかかりつけ医として患者の立場に立ったきめ細やかで、かつ適切な診療業務を実施した。

○令和元年度診療状況（一般診療・入院外）

国民健康保険診療分			後期高齢者医療診療分			その他の診療分			計		
件数	日数	費用額	件数	日数	費用額	件数	日数	費用額	件数	日数	費用額
件	日	円	件	日	円	件	日	円	件	日	円
2,532	2,806	20,888,190	2,645	3,226	27,470,940	2,525	2,932	19,714,410	7,702	8,964	68,073,540

※「件数」は受診した人数、「日数」は受診した回数を表す。

後期高齢者医療（特別会計）	国保年金課

【財政の状況】

歳　入

区　　分	令和元年度				平成30年度			
	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	被保険者一人当たり額（円）	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	被保険者一人当たり額（円）
後期高齢者医療保険料	835,174	74.0	6.3	57,543	785,308	72.9	5.2	55,950
使用料及び手数料	0	－	－	0	0	－	－	0
寄附金	0	－	－	0	0	－	－	0
繰入金	256,161	22.7	1.7	17,649	251,903	23.4	3.3	17,947
繰越金	6,982	0.6	9.6	481	6,370	0.6	38.1	454
諸収入	30,537	2.7	4.1	2,104	29,334	2.7	1.8	2,090
国庫支出金	0	0	0	0	4,510	0.4	－	321
合計	1,128,854	100.0	4.8	77,777	1,077,425	100.0	5.2	76,762

歳　出

区　　分	令和元年度				平成30年度			
	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	被保険者一人当たり額（円）	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	被保険者一人当たり額（円）
総務費	55,153	4.9	6.0	3,800	52,037	4.9	15.7	3,707
後期高齢者医療広域連合納付金	1,062,843	95.0	4.5	73,229	1,017,478	95.0	4.8	72,491
諸支出金	1,110	0.1	19.6	76	928	0.1	△24.3	66
合計	1,119,106	100.0	4.5	77,105	1,070,443	100.0	5.2	76,264

【後期高齢者医療保険事業の状況】

1　加入状況（年間平均）　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総　数	12,678	13,055	13,515	14,036	14,514
75歳未満	257	237	232	228	227
75歳以上	12,421	12,818	13,283	13,808	14,287

2　保険料収納状況　（単位：円）

種　別	調　定　額	収　納　額	不納欠損額	未　収　額	収 納 率
現年度分	837,407,260	833,850,490	0	3,556,770	99.6
特別徴収	459,949,960	459,949,960	0	0	100.0
普通徴収	377,457,300	373,900,530	0	3,556,770	99.1
滞納繰越分	5,096,200	1,323,750	1,427,530	2,344,920	26.0
計	842,503,460	835,174,240	1,427,530	5,901,690	99.1

3　不納欠損状況

保険料	発生年度	平成24年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合　計
	人数(人)	1	1	5	35	38
	金額(円)	3,040	13,300	214,150	1,197,040	1,427,530
延滞金	発生年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	合　計
	人数(人)	3	9	5	1	16
	金額(円)	4,500	21,800	42,600	1,300	70,200

※複数年度で欠損になった者がいるため、人数の合計欄が各年度の欠損人数の合計数と一致しない。

4　一人当たり保険料収納状況　（単位：円）

種　別	一人当たり	
	調　定　額	収　納　額
現年度	57,697	57,451

5　一人当たり医療費の推移　（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
医 療 費	813,169	812,073	847,167	835,042	830,862

6　一般会計からの繰入金　（単位：千円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
繰 入 金	229,564	235,215	243,797	251,903	256,161

7　健康診査受診状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受診者数(人)	2,831	2,988	3,268	3,308	3,701
個別健診(人)	2,551	2,680	2,917	3,076	3,229
集団健診(人)	280	308	351	232	472
受診率(%)	23.4	24.2	25.4	24.8	27.1

8　保養施設宿泊利用状況　（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数	1,029	961	871	919	819

9　人間ドック・脳ドック利用状況

人間ドック　利用者数　121人　　補助金支給額　2,420,000円
脳ドック　　利用者数　 26人　　補助金支給額　　520,000円

【財政の状況】

歳　入

区　分	令和元年度				平成30年度			
	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	第1号被保険者一人当たり額（円）	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	第1号被保険者一人当たり額（円）
保険料	2,198,379	23.8	0.8	66,402	2,180,407	25.2	18.1	67,538
分担金及び負担金	3,854	0.0	0.1	116	3,852	0.0	－	119
使用料及び手数料	0	0.0	－	0	0	0.0	－	0
国庫支出金	1,722,122	18.7	4.5	52,017	1,647,505	19.0	5.2	51,032
支払基金交付金	2,204,989	23.9	5.2	66,602	2,096,975	24.2	0.9	64,954
県支出金	1,288,532	14.0	4.9	38,920	1,227,792	14.2	8.1	38,031
財産収入	85	0.0	14.9	3	74	0.0	23.3	2
繰入金	1,455,796	15.8	24.4	43,972	1,170,183	13.5	△8.6	36,247
繰越金	348,421	3.8	10.7	10,524	314,873	3.6	5.2	9,753
諸収入	2,147	0.0	△69.3	65	7,002	0.1	△74.2	217
合計	9,224,326	100.0	6.7	278,622	8,648,663	100.0	5.1	267,893

歳　出

区　分	令和元年度				平成30年度			
	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	第1号被保険者一人当たり額（円）	決算額（千円）	構成比（%）	前年比（%）	第1号被保険者一人当たり額（円）
総務費	89,490	1.0	△ 4.0	2,703	93,184	1.1	△3.4	2,886
保険給付費	7,983,227	89.0	5.5	241,134	7,564,617	91.1	3.9	234,315
基金積立金	351,270	3.9	92.8	10,610	182,164	2.2	0.6	5,643
地域支援事業費	394,598	4.4	18.8	11,919	332,028	4.0	32.4	10,285
介護予防支援事業	－	－	－	－	12,858	0.2	△0.9	398
諸支出金	150,346	1.7	30.3	4,541	115,391	1.4	18.8	3,574
予備費	0	0.0	－	0	0	0.0	－	0
合計	8,968,930	100.0	8.1	270,907	8,300,243	100.0	4.8	257,101

※合計額が整合しないのは、区分ごとに四捨五入して端数処理をしているため。
※第1号被保険者数 令和2年3月31日 33,107人、平成31年3月31日 32,284人（介護保険事業状況報告より）

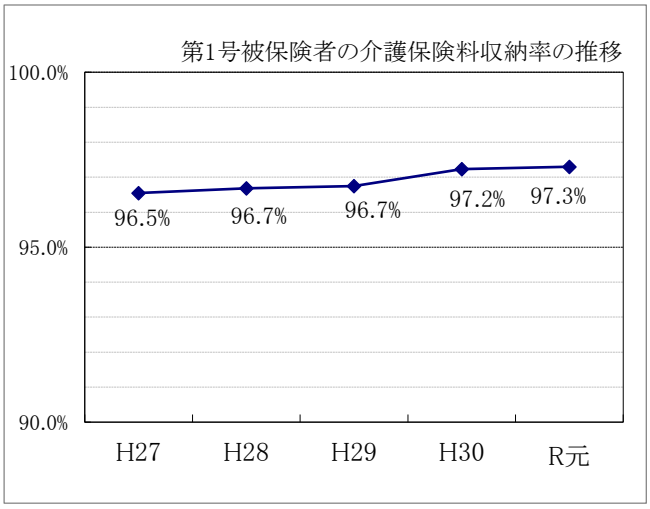
【保険事業】

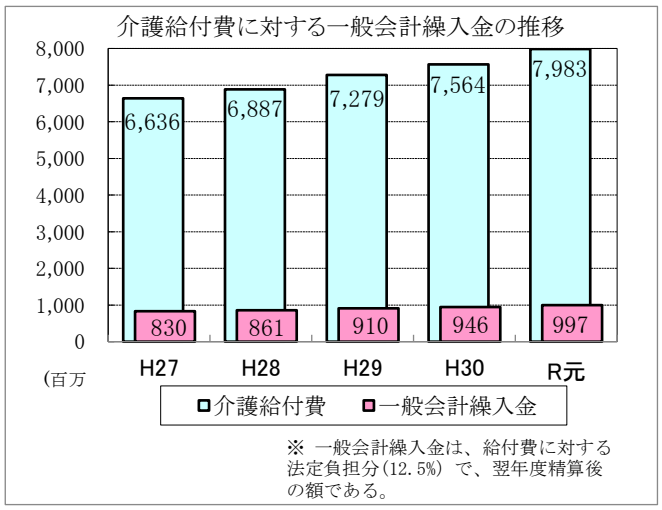
1　第１号被保険者数と要介護（要支援）認定者数　（単位：人）

	平成 28 年 3 月末	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末	令和 2 年 3 月末
第 1 号被保険者	29, 499	30, 465	31, 486	32, 284	33, 107
認定者(合計)	4, 205	4, 440	4, 634	4, 879	5, 033
要支援 1	346	366	305	347	347
要支援 2	506	526	540	637	596
要介護 1	917	960	1, 026	1, 086	1, 124
要介護 2	769	794	859	865	892
要介護 3	664	754	766	788	846
要介護 4	618	628	703	676	731
要介護 5	385	412	435	480	497

2　保険給付の状況　（単位:円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
居宅サービス費	3, 064, 894, 908	3, 004, 473, 009	3, 153, 531, 778	3, 117, 130, 563	3, 295, 413, 200
地域密着型サービス費	354, 939, 040	573, 357, 352	630, 661, 230	646, 787, 663	668, 548, 767
施設サービス費	2, 687, 008, 280	2, 769, 583, 696	2, 928, 880, 321	3, 210, 234, 213	3, 388, 294, 238
高額介護サービス費	136, 911, 439	147, 728, 520	160, 365, 558	174, 845, 117	190, 824, 749
高額医療合算サービス費	15, 602, 218	13, 478, 305	26, 305, 873	9, 945, 190	27, 068, 654
特定入所者介護ｻｰﾋﾞｽ費	372, 147, 888	374, 721, 420	375, 495, 150	401, 561, 913	408, 726, 631
審査支払費	4, 248, 013	3, 993, 560	4, 099, 440	4, 112, 600	4, 350, 680
合計	6, 635, 751, 786	6, 887, 335, 862	7, 279, 339, 350	7, 564, 617, 259	7, 983, 226, 919





3　第１号被保険者の保険料収納状況　（単位:円）

区分		調定額	収納額	不納欠損額	未収額	収納率(%)
現年度	特別徴収	1, 996, 916, 220	1, 996, 916, 220	0	0	100. 0
	普通徴収	221, 307, 370	196, 826, 800	0	24, 480, 570	88. 9
滞納繰越	普通徴収	41, 185, 280	4, 636, 381	19, 962, 410	16, 586, 489	11. 3
合計		2, 259, 408, 870	2, 198, 379, 401	19, 962, 410	41, 067, 059	97. 3

【地域支援事業】

4　地域支援事業費

1-1　介護予防・生活支援サービス事業費

01:介護予防・生活支援サービス等事業

元気あっぷ通所型サービス　（単位:人）

事業名	利用者数	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
元気あっぷ通所サービスＳ事業	新規人数	107	107	138
	延べ人数	1,642	2,978	3,347
元気あっぷ通所サービスＡ事業	新規人数	27	13	5
	延べ人数	219	268	177
元気あっぷ通所サービスＣ事業	実人数	31	35	41
	延べ人数	323	329	323

	平成 27 年度	平成 28 年度
実施箇所数（箇所）	6(6 コース)	6(6 コース)
実施回数（回）	72	71
延参加人数（人）	583	420

平成 28 年度までは元気あっぷ通所サービス事業として実施し、平成 29 年度から元気あっぷ通所サービスＣ事業へ移行。

元気あっぷ訪問型サービス　（単位:人）

事　業　名	利用者数	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
元気あっぷ訪問サービスＳ事業	新規人数	35	34	37
	延べ人数	834	1,289	1,236
元気あっぷ訪問サービスＡ事業	新規人数	5	14	3
	延べ人数	58	159	174
元気あっぷ訪問サービスＢ事業	新規人数	0	0	0
	延べ人数	0	0	0

1-2　介護予防ケアマネジメント事業費

01:介護予防ケアマネジメント事業

適切なアセスメントを行い、高齢者の状況をもとにした目標を設定し、高齢者自身が目標を理解し、目標達成に必要なサービスを主体的に利用できるようケアプランを作成した。

なお、平成 29 年度から介護予防・日常生活支援総合事業を開始したことにより、介護予防ケアマネジメントが 3 種類となった。

（単位:件）

ケアマネジメントの類型	実施件数	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
介護予防ケアマネジメントＡ	新規件数	157	148	150
	延べ件数	2,023	3,446	3,661
介護予防ケアマネジメントＢ	実件数	31	35	38
	延べ件数	61	68	74
介護予防ケアマネジメントＣ	新規件数	0	0	0
	延べ件数	0	0	0

2-1　一般介護予防事業費

01:ふれあいサロン事業（総合戦略）

身近な場所に仲間との交流の場を提供し、おしゃべりや運動の機会を増やすことで閉じこもりや認知機能の低下を予防するサロン活動の継続及び立ち上げを支援した。

また、市が会場借上料の一部を負担し、サロン活動の継続及び立ち上げを支援した。

高齢者ふれあいサロン　（単位：箇所）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
サロン数	98	103	108	114	122
再掲：新規立ち上げ・把握数	21	15	16	12	15

※脳のトレーニング教室の自主グループも含む。

高齢者ふれあいサロン（新規立ち上げ会場）　（単位：回、人）

サロン名（会場）	回数	参加者（実人数）	サポーター（実人数）
（仮称）加須脳トレ体操サロン（加須公民館）	21	22	2
（仮称）久下脳トレ体操サロン（久下会館）	21	25	1
（仮称）花崎脳トレ体操サロン（花崎公会堂）	21	19	2
元町歩っ歩の会（元町会館）	1	22	2
（仮称）礼羽転倒無止体操サロン（礼羽集会所）	9	25	1
新田なかよし会（外野新田集会所）	13	27	0
田ケ谷わいわいサロン（田ケ谷総合センター）	21	28	0
きさいゆるゆるサロン（騎西総合支所 201 会議室）	21	37	0
種足アクティブサロン（種足コミュニティセンター）	21	20	0
藤サロン（騎西コミュニティセンター）	6	12	0
麦倉ふれあいサロン（ライスパーク）	1	25	2
東ヶ丘さくらサロン（東ヶ丘集会所）	4	10	0

※高齢者相談センターが立ち上げた会場のみ掲載。

02:元気はつらつ介護予防事業（総合戦略）

認知機能の低下に効果的な「脳のトレーニング」を取り入れた認知症予防教室を実施した。

また、ファイブコグ検査（脳の健康度テスト）及び認知症講演会を実施し、普及啓発を行った。

なお、加須市独自の認知症予防体操「加須あたまの体操」「加須うどん体操」を全地域の認知症予防教室で行った。

また、筋力の低下を予防するための転倒予防教室や口腔機能の低下を予防するための健口（けんこう）教室の開催など、介護予防に関する普及啓発等に取り組むことで、市民の生活機能の維持向上を図ることができた。一定の講座を受講した市民を介護予防サポーターとして養成することで、市民の介護予防の取り組みを地域で支える体制づくりを推進することができた。

「あたまの健康教室（認知症予防教室）」の実施　（単位：回、人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
開催回数	124	72	73	72	72
参加者（実人数）	100	85	101	88	98
サポーター（実人数）	13	9	8	13	10

「脳トレ自主グループの会」　（単位：回、人）

年度 グループ名 （会場）	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
つくも会 （花崎コミュニティセンター）	24	28	24	29	24	32	24	32	22	32
脳トレ・なのはな （図書館ノイエ）	24	16	24	16	24	14	24	17	22	15
さくらワイワイサークル （市民プラザかぞ）	24	8	24	8	24	7	24	6	22	6
北川辺地域脳トレ 自主グループ （ライゼ清輝苑）	24	9	19	12	24	13	24	15	16	10
三俣すこやかクラブ （三俣コミュニティセンター）	平成 29 年度から 自主グループ				24	16	24	16	22	15
礼羽サロン （礼羽集会所）	平成 30 年度から自主グループ						24	22	22	19
脳トレサロン （市民プラザかぞ）	令和元年度から自主グループ								22	22
藤サロン （騎西コミュニティセンター）	令和元年度から自主グループ								6	12

※参加者は、実人数。

「ファイブコグ検査（脳の健康度テスト）」の実施：　4 回開催　（単位：人）

実施日	会　　場	参加者数
5 月 30 日、6 月 27 日	パストラルかぞ	36
5 月 15 日、6 月 12 日	騎西コミュニティセンター	26
5 月 24 日、6 月 21 日	北川辺文化・学習センターみのり	11
5 月 21 日、6 月 18 日	大利根文化・学習センターアスタホール	10

合計 83 人

「認知症講演会」の実施：2 回開催　（単位：人）

実施日	会　　場	参加者数
2 月 7 日	市民プラザかぞ	23
2 月 14 日		32

合計 55 人

【転倒予防教室等の開催状況】　（単位：回、人）

	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	回数	参加者（延）	回数	参加者（延）	回数	参加者（延）	回数	参加者（延）
加須・大桑・水深 高齢者相談センター愛泉苑 （愛の泉高齢者相談センター）	59	711	72	946	91	1,194	30	515
不動岡・礼羽・志多見 高齢者相談センターみずほの里 （加須中央高齢者相談センター）	20	169	20	200	75	904	15	295
三俣・樋遣川・大越 高齢者相談センター利根いこい里 （加須中央高齢者相談センター）							14	175
騎西 高齢者相談センター多賀谷寿光園 （騎西高齢者相談センター）	48	427	24	389	53	563	20	233
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑 （北川辺高齢者相談センター）	24	419	25	421	36	473	36	346
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷 （大利根高齢者相談センター）	46	577	10	275	17	432	16	297
合　　計	197	2,303	151	2,231	272	3,566	131	1,861

※高齢者相談センター名の下段の括弧書きは、平成 30 年度までの高齢者相談センターの名称。

【介護予防サポーターの登録者数】　（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
登録者数	85	90	96	67	80

03:高齢者筋力アップトレーニング事業（総合戦略）

市民の介護予防及び健康寿命の延伸を目的として、科学的根拠に基づいた運動プログラムによる筋力トレーニングと有酸素運動を実施した。

また、講座修了後も、参加者が運動を継続して実施できるよう後方支援を行った。

なお、この取組は、埼玉県から高く評価され、「埼玉県健康長寿プロジェクト」のモデル事業の指定を受け（平成 25～26 年度）、平成 27 年度には、埼玉県健康長寿埼玉モデルの推奨プログラムとして、県内市町村に普及、拡大された。さらに、平成 28 年度、平成 29 年度及び平成 30 年度には、県から健康長寿に係る先進的な取組として評価され、優良賞を受賞した。

【養成会場・期間】

	17 期生	
	コース数	実施期間
加須保健センター	2	令和元年 9 月～令和 2 年 2 月※
大利根保健センター	1	

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 2 年 3 月は事業実施せず。

【養成会場年間活動回数・人員】

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
年間活動回数（回）		85	75	73	75	69※
実人員（人）	40～64 歳	70	28	26	11	14
	65～69 歳	62	27	22	26	15
	70 歳以上	26	15	13	12	7
	計	158	70	61	49	36
延べ人員（人）		1,705	1,493	1,285	1,061	669

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定回数より 6 回減。

【養成会場・自主会場・自宅トレーニングでの実施者数】 （単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
養成会場	70	70	61	49	36
自主会場	736	792	785	775	748
自宅トレ※	659	568	622	512	584
実施者計	1,465	1,430	1,468	1,336	1,368

※平成 28 年度から転出・死亡者を除く。

3-1　包括的支援事業・任意事業費

01:老人短期入所事業

高齢者が、基本的生活習慣等が欠如している場合や緊急的に保護を要する状態にある場合等に、高齢者相談センターと連携して当該高齢者等を短期入所施設に入所させ、福祉の向上を図ることができた。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用人数（人）	5	6	9	6	8
利用日数（日）	69	132	191	80	66
利用実績（円）	347,900	831,600	859,500	461,200	410,600

02: 高齢者相談センター運営委託事業

(1) 包括的・継続的ケアマネジメント支援の実施 （単位：回、件）

	関係機関との連携・調整	ケア会議等の開催	介護支援専門員への個別支援	事業所連絡会議の開催
加須・大桑・水深 高齢者相談センター愛泉苑	135	24	180	5
不動岡・礼羽・志多見 高齢者相談センターみずほの里	15	24	18	2
三俣・樋遣川・大越 高齢者相談センター利根いこいの里	33	20	74	4
騎西 高齢者相談センター多賀谷寿光園	113	17	46	5
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑	134	24	159	5
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷	20	18	67	2
合　　計	450	127	544	23

(2) 指定介護予防支援等の実施

予防給付又は介護予防・日常生活支援総合事業の対象となる要支援認定者又は基本チェックリスト該当者のケアプランを作成するとともに、指定介護予防サービス又は介護予防・生活支援サービスの提供が確保されるよう、介護予防サービス事業者等との連絡調整を図った。

なお、高齢者相談センターが、指定介護予防支援事業所を兼ねて実施することとされている。

（単位：件）

	直営分	委託分	合計	うち新規分（再掲）	
				直営分	委託分
加須・大桑・水深 高齢者相談センター愛泉苑	991	736	1,727	30	31
不動岡・礼羽・志多見 高齢者相談センターみずほの里	180	740	920	24	70
三俣・樋遣川・大越 高齢者相談センター利根いこい里	587	509	1,096	59	67
騎西 高齢者相談センター多賀谷寿光園	1,197	354	1,551	48	7
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑	312	397	709	39	53
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷	328	590	918	38	71
合　計	3,595	3,326	6,921	238	299

※新規分とは、要支援認定者又は基本チェックリスト該当者に対し、新規にケアプランを作成した件数。

(3) 家族介護教室等の開催

介護される方を支える家族を支援するため、適切な介護知識の普及や家族間（認知症の人の家族を含む）のネットワーク形成を目的とした各種講座を開催し、家族による介護を支援した。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開催回数（回）	17	14	21	20	15
受講者数（人）	137	229	143	191	355

(4) 介護マーク貸与

認知症の人（異性）を外出先で介護する場合、外見では介護していることが分かりづらく、周りの人から誤解を受けることがあるため、介護中であることを周りに知らせる「介護マーク」を無償で貸与する事業を実施し、家族の介護負担の軽減を図った。

＜介護マーク　イメージ＞

（単位：件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新規貸与件数	2	0	2	0	2
累計貸与件数	7	7	9	9	11

03: 高齢者総合相談支援事業

高齢者総合相談件数（延件数）　（単位：件）

<table>
<tr><th></th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>令和元年度</th></tr>
<tr><td>加須・大桑・水深
高齢者相談センター愛泉苑
（愛の泉高齢者相談センター）</td><td>245</td><td>247</td><td>209</td><td>327</td><td>1,791</td></tr>
<tr><td>不動岡・礼羽・志多見
高齢者相談センターみずほの里
（加須中央高齢者相談センター）</td><td rowspan="2">953</td><td rowspan="2">968</td><td rowspan="2">780</td><td rowspan="2">701</td><td>883</td></tr>
<tr><td>三俣・樋遣川・大越
高齢者相談センター利根いこい里
（加須中央高齢者相談センター）</td><td>189</td></tr>
<tr><td>騎西
高齢者相談センター多賀谷寿光園
（騎西高齢者相談センター）</td><td>177</td><td>186</td><td>255</td><td>252</td><td>343</td></tr>
<tr><td>北川辺
高齢者相談センター加須清輝苑
（北川辺高齢者相談センター）</td><td>373</td><td>317</td><td>252</td><td>219</td><td>481</td></tr>
<tr><td>大利根
高齢者相談センターふれ愛の郷
（大利根高齢者相談センター）</td><td>388</td><td>593</td><td>581</td><td>530</td><td>325</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>2,136</td><td>2,311</td><td>2,077</td><td>2,029</td><td>4,012</td></tr>
</table>

※高齢者相談センター名の下段の括弧書きは、平成30年度までの高齢者相談センターの名称。

04:権利擁護事業

市長が成年後見等の審判請求を行い、家庭裁判所において成年後見人等を選任された高齢者等のうち成年後見人等に対する報酬の支払いが困難な人に対し、報酬の一部を助成することによって、高齢者の権利擁護を図ることができた。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
申立件数（件）	5	2	3	0	5
利用実績（円）	301,864	475,260	958,190	1,316,164	736,224

成年後見制度相談件数（実件数）　（単位：件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加須・大桑・水深 高齢者相談センター愛泉苑 （愛の泉高齢者相談センター）	3	1	0	0	2
不動岡・礼羽・志多見 高齢者相談センターみずほの里 （加須中央高齢者相談センター）	21	7	16	24	4
三俣・樋遣川・大越 高齢者相談センター利根いこい里 （加須中央高齢者相談センター）					3
騎西 高齢者相談センター多賀谷寿光園 （騎西高齢者相談センター）	0	0	1	0	1
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑 （北川辺高齢者相談センター）	0	3	1	3	2
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷 （大利根高齢者相談センター）	13	13	9	11	9
合　　計	37	24	27	38	21

※高齢者相談センター名の下段の括弧書きは、平成30年度までの高齢者相談センターの名称。

高齢者虐待相談通報件数（実件数）　（単位：件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加須・大桑・水深 高齢者相談センター愛泉苑 （愛の泉高齢者相談センター）	11	9	8	8	13
不動岡・礼羽・志多見 高齢者相談センターみずほの里 （加須中央高齢者相談センター）	0	8	8	5	4
三俣・樋遣川・大越 高齢者相談センター利根いこい里 （加須中央高齢者相談センター）					5
騎西 高齢者相談センター多賀谷寿光園 （騎西高齢者相談センター）	4	1	0	1	1
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑 （北川辺高齢者相談センター）	6	0	0	6	4
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷 （大利根高齢者相談センター）	1	3	2	2	10
合　　計	22	21	18	22	37

※高齢者相談センター名の下段の括弧書きは、平成30年度までの高齢者相談センターの名称。

05:家族介護用品支給事業

在宅で、要介護状態になっている高齢者（ねたきり又は認知症などで常時おむつを使用している非課税世帯の人）を常時介護している家族に、介護用品を支給することにより、本人及び介護している家族の精神的・経済的負担の軽減を図った。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用件数（件）	77	74	65	49	43
利用実績（円）	3,498,107	3,210,434	3,422,193	2,823,220	2,550,471

※各年度 3 月 31 日現在の件数

06:在宅医療・介護連携推進事業（総合戦略）

医療と介護の両方を必要とする人が、住み慣れた地域で医療・介護サービスを受けられるよう、医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャー等で構成する加須市在宅医療・介護連携推進委員会を開催し、情報の共有を図るなど医療と介護の連携を推進することができた。

(1) 在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置

介護保険法の規定を踏まえ、平成 30 年度から、加須市と羽生市の共同事業として、在宅医療・介護連携に関する相談窓口（北埼玉在宅医療連携室）を設置・運営（委託）

(2) 在宅医療・介護連携推進委員会の開催

ア　全 3 回開催し、多職種間の“顔の見える連携”を推進

イ　在宅医療・介護に関する地域課題について検討

ウ　医療・介護分野の多職種が在宅療養者の情報を効率的に共有する ICT「北彩あんしんリング」の利用を促進（具体的な活用事例の報告等）

エ　在宅医療・介護に携わる多職種の「連携マナー集」を作成

オ　服薬管理等に課題のある高齢者へのケアに関し、ケアマネジャー向けの啓発リーフレットを作成し、配布。

(3) 多職種研修会の開催（2 回）

ア　在宅医療・介護連携推進事業研修会（10 月 5 日開催）

テーマ：　認知症ケアの倫理　－高齢者の尊厳に配慮した意思決定支援－

講　師：　箕岡　真子 氏（日本臨床倫理学会総務担当理事）

イ　ACP（アドバンス・ケア・プランニング）研修会（11 月 28 日開催）

テーマ：　自分らしく前向きに「生き抜く」を支えるために

(4) 市民への普及啓発

啓発用リーフレット『知っておきたい 加須市の在宅医療・介護』を作成して来庁者等に配布し、加須市における在宅医療・介護連携の取り組みを周知。

07:認知症総合支援事業（総合戦略）

(1) 認知症カフェの設置促進

認知症カフェを運営する団体等への支援（補助金交付等）を通じて、認知症の人やその家族等の居場所づくり、交流、相談等の支援を行い、家族等の介護負担を軽減することができた。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
認知症カフェの設置箇所数	4	5	5	5	4
補助金交付団体数 （補助金支出額）	2 （74,000 円）	2 （187,383 円）	2 （191,071 円）	3 （223,134 円）	2 （197,526 円）

(2) 認知症初期集中支援チームによる支援

認知症の専門医及び医療・保健・福祉等の分野の複数の専門職で構成する認知症初期集中支援チームが、認知症の人とその家族等への初期の支援（訪問、観察・評価、家族支援等）を包括的、集中的に行い、医療又は介護サービスの利用につなげることができた。

令和元年度認知症初期集中支援チームによる支援事例数　…　2 件

08:徘徊高齢者早期発見支援事業

位置探索専用端末を貸与し、及び徘徊高齢者早期発見ステッカーを配付した結果、所在不明となった認知症高齢者等の早期発見や認知症の人を介護する家族の負担軽減につながった。

(1) 位置探索サービス

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
貸与人数（人）	4	7	10	8	13
利用実績（円）	12,960	30,240	45,360	15,120	48,188

※各年度末時点

※令和元年度　新規利用者　7 人　廃止者　2 人

(2) 早期発見ステッカー配付

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
配付数（人）	6	18	31	26	24
配付累計（人）	6	24	54	79	87
早期発見（延べ件数）	0	5	3	4	3
実績（円）	102,600	0	121,500	121,500	220,000

※平成 27 年 12 月 25 日から開始

※平成 27、29、30、令和元年度の実績は、ステッカー作成経費。平成 28 年度は作成なし。

※早期発見件数は、ステッカーを配付した人のうち、一時所在不明となりその後発見された人の数。

09:認知症サポーター養成研修事業

認知症サポーター養成講座を開催して、認知症を正しく理解し、自分のできる範囲で認知症の人とその家族の住み慣れた地域での生活を支える認知症サポーターを養成した。

また、認知症サポーター養成講座の講師を務めるキャラバン・メイトの交流会を 2 回開催した。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
開催回数（回）	26	16	15	16	21
受講者数（人）	585	448	416	277	447
サポーター延数（人）	3,376	3,824	4,240	4,517	4,964

10:地域ケア会議推進事業

高齢者相談センターごとに地域ケア会議を開催し、支援困難事案の解決及び地域の支援体制の構築につなげることができた。

また、自立支援型地域ケア会議を開催し、会議における事例検討を通じて、保険者としての介護予防ケアマネジメントの考え方を周知するとともに、多職種（医師、歯科医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士及び管理栄養士）の助言を与えることによって、介護支援専門員の介護予防ケアマネジメントの質の向上を図ることができた。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
高齢者相談センター主催の地域ケア会議の開催回数（回）	－	26	25	54	56
市主催の自立支援型地域ケア会議の開催回数（回）	－	－	－	3	12

11:地域ブロンズ会議事業（総合戦略）

高齢者の在宅生活を支える活動を行っている団体間のネットワークづくりや、地域で不足しているサービスの担い手の創出等を行う「生活支援コーディネーター」を配置し、各種団体等への出前講座を行うなどして、地域における支え合いの必要性等について啓発を行った。

また、令和元年度から業務の一部を地域に身近な高齢者相談センターに委託することによって、日常的な生活圏域（概ね中学校区域）を単位として「支え合いのしくみづくり」について協議する「第 2 層協議体」の設置を促進し、平成 30 年度に設置した水深地区及び志多見地区に加えて、新たに樋遣川地区、大越地区及び大利根地域で設置することができた。

さらに、「地域絆支え合いフォーラム」を開催するなどして、地域支え合い活動を推進するための下地を醸成することができた。

【財政の状況】

歳　入

区　分	令和元年度			平成30年度		
	決算額（円）	構成比（%）	前年比（%）	決算額（円）	構成比（%）	前年比（%）
分担金及び負担金	2,647,000	0.4	△3.1	2,733,000	0.4	△39.6
使用料及び手数料	139,432,798	20.5	6.9	130,416,817	17.6	△5.4
県支出金	0	0.0	－	41,440,000	5.6	1281.3
繰入金	501,573,000	73.8	9.1	459,890,000	62.2	△3.5
繰越金	33,845,881	5.0	△49.5	66,996,106	9.1	47.0
諸収入	2,357,745	0.3	2004.4	112,040	0.0	△99.2
市債	0	0.0	－	38,000,000	5.1	－
合計	679,856,424	100.0	△8.1	739,587,963	100.0	8.4

歳　出

区　分	令和元年度			平成30年度		
	決算額（円）	構成比（%）	前年比（%）	決算額（円）	構成比（%）	前年比（%）
総務費	51,259,859	7.8	△12.7	58,698,731	8.3	7.7
維持管理費	224,242,037	34.2	△16.1	267,248,003	37.9	47.7
公債費	379,978,320	58.0	0.0	379,795,348	53.8	0.0
予備費	0	0	0.0	0	0	0.0
合計	655,480,216	100.0	△7.1	705,742,082	100.0	14.7

1　加入戸数等の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加入戸数（件）	2,958	3,007	3,053	3,092	3,133
加入率（%）	72.6	73.7	74.5	75.3	76.1
未加入件数（件）	1,114	1,076	1,045	1,016	985

2　施設の維持管理費の推移

（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
維持管理費	179,090,406	236,573,170	180,969,936	267,248,003	224,242,037

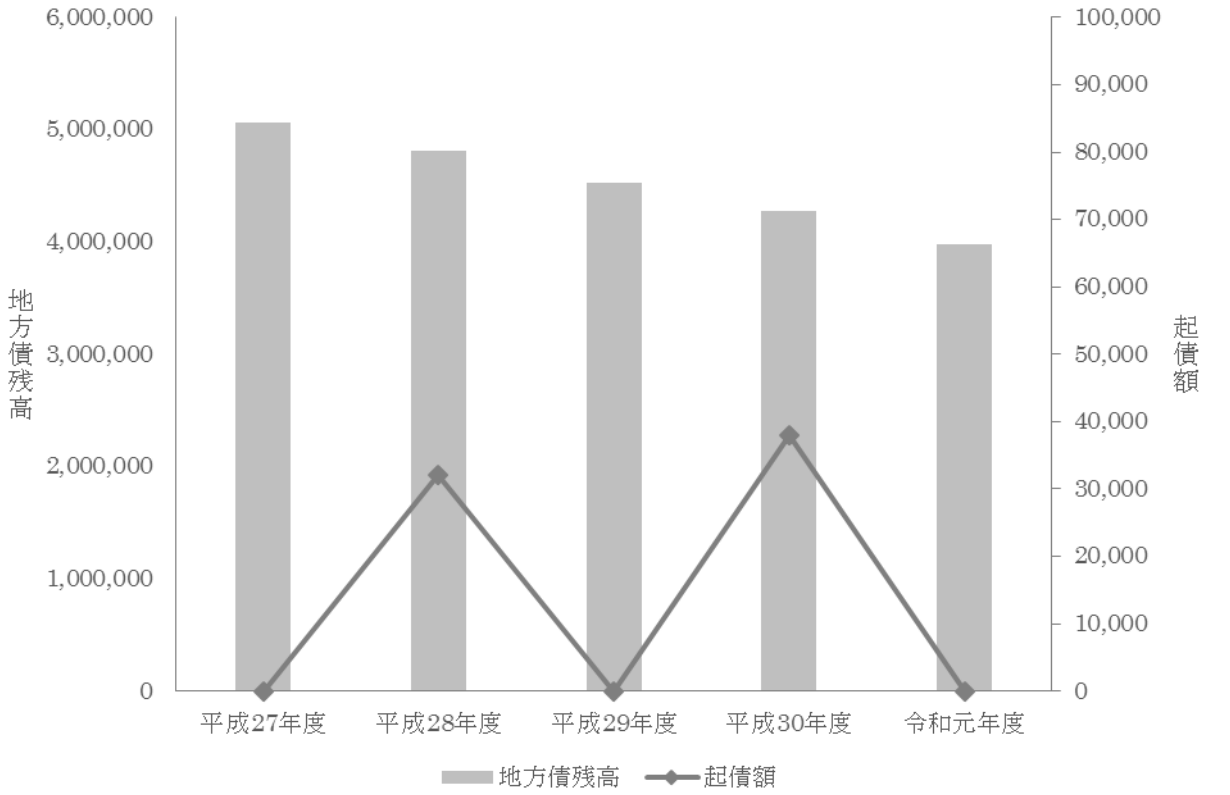
3　地方債現在高等の推移

（単位：千円）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
起債額	0	32,000	0	38,000	0
元金償還額	275,760	281,201	286,752	292,414	298,191
利子償還額	103,843	98,402	93,036	87,381	81,788
年度末残高	5,063,074	4,813,873	4,527,121	4,272,707	3,974,516

地方債残高と起債額の推移

（単位：千円）



野中土地区画整理事業（特別会計）　農政建設課（大利根）

【財政の状況】

歳　入　444,392,774 円

（単位：円）

区分	現年度	繰越明許	計
国庫補助金	26,276,000	32,029,000	58,305,000
県補助金	5,000,000	5,325,000	10,325,000
不動産売払収入	8,712,000	0	8,712,000
繰越金	340,327,725	26,704,000	367,031,725
市預金利子	19,049	0	19,049
計	380,334,774	64,058,000	444,392,774

※現 年 度：令和元年度決算分
※繰越明許：平成 30 年度から令和元年度に繰越されたもの

歳　出　248,265,230 円

（単位：円）

区分	現年度	繰越明許	計
総務費	200,822	0	200,822
建設費	112,864,872	64,058,000	176,922,872
公債費	71,141,536	0	71,141,536
計	184,207,230	64,058,000	248,265,230

※現 年 度：令和元年度決算分
※繰越明許：平成 30 年度から令和元年度に繰越されたもの

◎歳出の内訳

１款　総務費　　１項　総務管理費　　１目　一般管理費　　200,822 円

２款　建設費　　１項　建設費　　１目　建設費　　176,922,872 円
［うち、繰越明許 64,058,000 円］

物件補償調査積算業務を行い、物件移転補償（建物等８件）を実施した。

また、仮換地指定を行った一部箇所について、街区・画地確定杭設置業務や区画街路築造工事、宅地整地工事等を実施した。

［建設費の内訳］

○　需用費　　消耗品費　　5,400 円

○　修繕料　　398,200 円

○　委託料　　22,561,825 円

〔委託料の内訳〕

・物件費的委託料　　雑草刈払　　３件　　6,392,525 円
・投資的委託料　　調査・測量・設計　９件　　16,169,300 円

○　賃借料　　土地借上料　　1,644 円

○　工事請負費　　109,937,000 円
［うち、繰越明許 58,068,000 円］

〔工事請負費の内訳〕

・街路築造工事　　11 件　　105,823,000 円

区分	件数	金額
現 年 度	10	47,755,000 円
繰越明許	1	58,068,000 円

※平成 30 年度から令和元年度へ繰越を行った事業

区画街路 9-5 号線外１路線築造工事は、工事に支障となる電柱移設の遅れに伴い、平成 30 年度内の完了が困難なため、令和元年度に繰越となったが、令和元年 6 月に全てを完了した。

※令和元年度から令和２年度へ繰越を行った理由

区画街路 9-10 号線築造工事は、工事仮設用地の借地交渉に期間を要したことに伴い、令和元年度内の完了が困難なため、工事費（23,800,000 円）を令和２年度に繰越した。

・整地工事　　２件　　4,114,000 円

○　負担金　　配水管工事負担金　　1,383,350 円

○　補償費　　42,635,453 円
［うち、繰越明許　5,990,000 円］

〔補償費の内訳〕

・物件移転等補償料　　８件　　33,462,111 円

区分	件数	金額
現 年 度	7	27,472,111 円
繰越明許	1	5,990,000 円

※平成 30 年度から令和元年度へ繰越を行った事業
物件移転補償に係る建物 1 件については、建築手続きに期間を要し、平成 30 年度内の移転完了が困難なため、令和元年度に繰越となったが、令和元年 7 月に全てを完了した。

※令和元年度から令和 2 年度へ繰越を行った理由
物件移転補償に係る建物 1 件については、建築手続きに期間を要し、令和元年度内の移転完了が困難となり、補償料（6,460,000 円）を令和 2 年度に繰越した。

・支障電柱等移転補償料　1 件　301,490 円

・給水管切回し補償料　1 件　2,370,060 円

・101 条補償料　6,501,792 円

３款　公債費　１項　公債費　１目　元金　66,510,907 円

２目　利子　4,630,629 円

土木債の償還等を実施した。

※野中土地区画整理事業は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」該当事業です。

【財政の状況】

歳　入　26,103,123 円

１款	繰入金	１項	一般会計繰入金	１目	一般会計繰入金	16,626,000 円
２款	繰越金	１項	繰越金	１目	繰越金	4,489,961 円
３款	諸収入	１項	市預金利子	１目	市預金利子	509 円
		２項	雑入	１目	雑入	4,986,653 円

歳　出　21,611,171 円

１款	総務費	１項	総務管理費	１目	一般管理費	4,994,275 円

換地処分清算業務の分割徴収を実施し、一般会計に繰出した。

［総務費の内訳］
○ 役務費（郵便料）　7,622 円
○ 繰出金（一般会計繰出金）　4,986,653 円

２款	公債費	１項	公債費	１目	元金	16,017,763 円
				２目	利子	599,133 円

土木債の償還等を実施した。

河野博士育英事業（特別会計）	学校教育課

【財政の状況】

歳　入						8,138,449 円
１款	財産収入	１項	財産運用収入	１目	利子及び配当金	821 円
２款	寄附金	１項	寄附金	１目	総務費寄附金	4,250,000 円
３款	繰入金	１項	基本繰入金	１目	河野博士育英基金繰入金	3,6000,000 円
４款	繰越金	１項	繰越金	１目	繰越金	287,586 円
５款	諸収入	１項	市預金利子	１目	市預金利子	42 円
歳　出						7,850,821 円
１款	総務費	１項	総務管理費	１目	財産管理費	4,250,821 円
２款	育英事業費	１項	育英事業費	１目	育英事業費	3,600,000 円

※　平成 29 年度生 10 人、平成 30 年度生 10 人、令和元年度度生 10 人、の合計 30 人に年額 120,000 円の奨学金、合計 3,600,000 円を給付した。

※　加須市に住所を有する者で経済的理由により就学が困難な者に対し学資金を給与し、有用な人材を育成することを目的とした育英事業である。
昭和 51 年に旧騎西町において、地元出身の文学博士である河野省三氏の遺徳をたたえ、ご遺族の寄附金により設立された。

Ⅳ　ゼロ予算事業の状況

（実績・成果　部課別）

事 業 名	オープン市長室開催事業		
担 当 課	秘書課	総合振興計画コード	6121-01
事業の目的	広聴の推進を図るため、市長本人が市民の声を直接お伺いして可能な限り市政に反映させるとともに、市長室を親しみやすくする。	事業の概要	市長本人が市民の皆様と直接お会いし、市政運営に関する意見や要望等を幅広くお伺いする。①騎西総合支所　毎月第二木曜日の午後1時30分から2時30分　②加須市役所（本庁舎）毎月第二木曜日の午後3時から4時③北川辺総合支所　毎月第四木曜日の午後1時30分から2時30分　④大利根総合支所　毎月第四木曜日の午後3時から4時

事業の実績・成果

「市長への手紙・メール事業」や「出前市長室開催事業」が浸透してきたことなどにより、本事業の目的等が推進されてきているため、令和元年度以降、必要に応じて開催することとしている。

オープン市長室の開催回数の推移

（単位:回）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
合計	24	24	20	8	0
本庁舎	6	6	5	2	0
騎西総合支所	6	6	5	2	0
北川辺総合支所	6	6	5	2	0
大利根総合支所	6	6	5	2	0

オープン市長室の延参加人数の推移

（単位:人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
合計	32	25	41	7	0
本庁舎	9	11	14	2	0
騎西総合支所	5	5	7	1	0
北川辺総合支所	7	3	6	1	0
大利根総合支所	11	6	14	3	0
1回当たりの延参加人数	1.3	1.0	2.1	0.9	0

オープン市長室の要望等件数の推移

（単位:件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
合計	57	44	72	15	0
本庁舎	15	29	22	4	0
騎西総合支所	6	5	14	2	0
北川辺総合支所	19	2	18	4	0
大利根総合支所	17	8	18	5	0
1回当たりの要望等件数	2.4	1.8	3.6	1.9	0

事 業 名	出前市長室開催事業		
担 当 課	秘書課	総合振興計画コード	6121-03
事業の目的	各地域や各団体ごとに対話集会を開催し、広聴の推進を図ることで、日ごろ市民が感じている細かい問題や課題等について、可能な限り市政に反映させ、市民との協働のまちづくりを推進する。	事業の概要	日ごろ市民の皆様の活動の中で感じている細かい問題や課題等の解決に向けて、市長が市内在住・在勤で 10 人以上の団体のもとへ直接お伺いし、対話集会を行う。

事業の実績・成果

出前市長室を6回開催し、延べ191人の方が対話集会に参加していただき、日ごろ市民が感じている細かい問題や課題等について意見を伺い、これらを可能な限り市政に反映させた。

年　　度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開催回数（回）	12	10	12	6	6
延参加人数（人）	347	307	447	215	191
1回当たりの延参加人数（人）	28.9	30.7	37.3	35.8	31.8
直接対話者数（人）	70	54	51	25	40
1回当たりの直接対話者数（人）	5.8	5.4	4.3	4.2	6.7
要望等件数（件）	98	80	70	31	47
1回当たりの要望等件数（件）	8.2	8.0	5.8	5.2	7.8

事 業 名	多重債務対策事業		
担 当 課	市民相談室	総合振興計画コード	3161-02
事業の目的	市民の多重債務問題を解決し、安心した生活が送れるよう支援する。	事業の概要	各課において多重債務問題があるとわかった場合、消費生活センターへ相談を繋げていただく。 消費生活センターの消費生活相談員は、多重債務問題の解決方法を説明し、専門機関(認定司法書士等)へ連絡する。紹介後も債務整理の状況を把握し、再度多重債務状態に陥らないよう生活再建に向けて支援する。

事業の実績・成果

1　多重債務問題の解決

各課窓口に来所された市民の中で、多重債務問題を抱えた方と分かった場合、消費生活相談員と連携を図り、早期問題解決に繋げた。

・他課からの多重債務者の相談件数

生活福祉課　　13件

収納課　　1件

2　多重債務相談件数　　（単位：件）

区　　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談件数	55	71	44	32	44

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="3">産・学・官連携推進事業</td></tr>
<tr><td>担 当 課</td><td>政策調整課</td><td>総合振興計画コード</td><td>6131-13</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td>市民と行政の協働の推進を図るため、特に市内で学ぶ若者のアイデアや活力を市政に反映させ、地域に開かれた学生（若者）参加による行政運営を推進する。</td><td>事業の概要</td><td>加須市と平成国際大学との包括連携に関する協定に基づき、まちづくりに関する事項等について、市と大学が連携し学生主体による情報収集・実践活動を実施する。
高校や大学と連携して取り組んでいる連携事業について、取組状況を把握する。
包括連携協定締結企業との連携事業について、取組状況を把握する。</td></tr>
</table>

事業の実績・成果

平成国際大学学生によるテーマに基づいた課題解決プログラムにおいて、学生による情報収集活動から導き出した提案に対し評価を行うとともに、高校や大学、包括連携協定締結企業と幅広い分野において連携事業を展開するなど、協働事業の推進を図った。

○平成国際大学学生による調査研究テーマに基づく市と大学との協働事業

・テーマに基づく学生による情報収集活動を通した課題解決プログラム（PBL）を実施
テーマ：「学生による SDGs 実践活動を通したプロモーションの展開」
進め方：前期のゼミの授業の中で、学生主体による情報収集活動を通して課題解決の方策を提案

○高校や大学と連携した協働事業

・埼玉県立大学との「健康寿命の延伸に向けた取組に関する協定」（令和元年 12 月 6 日締結）や、「資料の受け入れ」「不動塾」「男女共同参画セミナー」「加須市合併１０周年記念　加須きずな少年野球教室」など、新たに連携を開始した 5 事業を含む 31 事業において連携を図った。

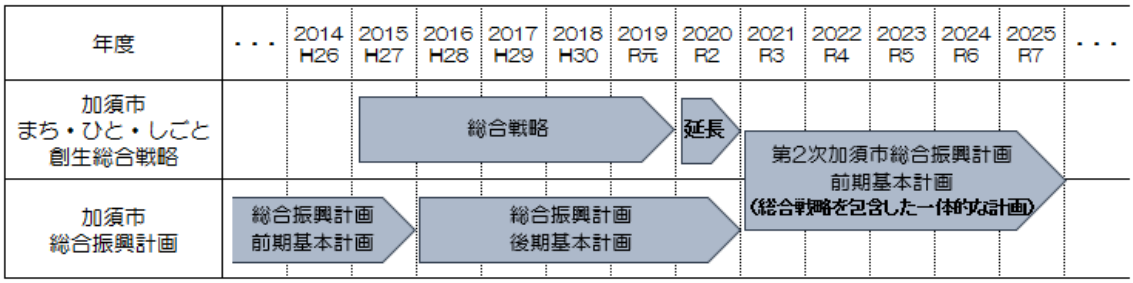
○包括連携協定締結企業との協働事業

・市民を対象とした交通安全教室の開催やイベント開催時におけるドライブシミュレーターを使用した運転適性診断の実施など、交通安全の取り組みにおいて連携を図った。

事 業 名	まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業		（総合戦略）
担 当 課	政策調整課	総合振興計画コード	6311-03
事業の目的	計画的な行政運営を推進し、人口減少に歯止めをかけるとともに、住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある地域社会を維持していくため、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定する。	事業の概要	まち・ひと・しごと創生法に基づき、「人口ビジョン」を作成した上で、市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する。 計画期間　平成27年度～令和2年度（6年間） （計画期間を1年間延長）

事業の実績・成果

平成28年2月に策定した「加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」が令和元年度をもって計画期間が満了となることに伴い、第2次総合戦略を「第2次加須市総合振興計画（計画期間：令和3年度～令和12年度）」との一体的な計画として策定することから、同計画が策定されるまでの間、計画期間を令和2年度までに延長した。



事 業 名	行政評価推進事業		
担 当 課	政策調整課	総合振興計画コード	6311-06
事業の目的	計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像である「水と緑と文化の調和した元気都市 かぞ」を実現するため、加須市独自の自治体マネジメントシステムである「やぐるまマネジメントサイクル」による事業評価を実施する。	事業の概要	施策ごとの優先度評価や事業管理シートによるＰＤＣＡマネジメントを実施することにより、全施策・事業の見直し・改善を実施する。

事業の実績・成果

加須市独自の行政評価、“加須やぐるまマネジメントサイクル”による事務事業評価を実施した。

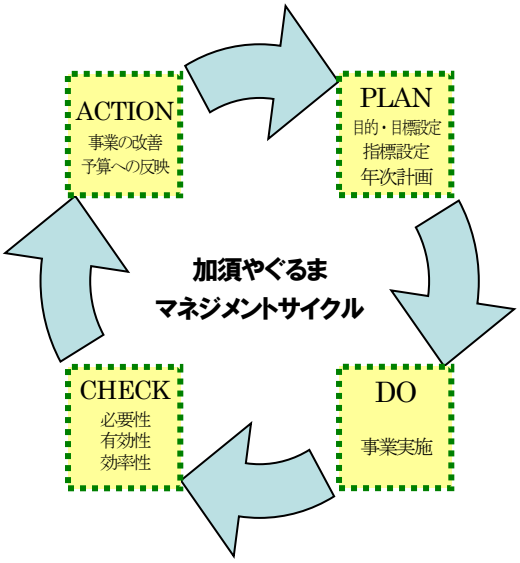
[加須やぐるまマネジメントサイクルの特徴]

■総合振興計画と予算において事業の一元化を図り、ＰＤＣＡマネジメントサイクルによる進行管理を行う。

■目的・目標を明確化

①仕事の意義を認識し、何を優先して考えるのか、改善の方向性が明らかになる。

②いつまでにどうするのか、具体的な到達点を示すことで、より効率的に仕事を進めることができる。



■計画・予算・組織の連携

必要性、有効性、効率性、達成度の４つの角度から評価、改善策を検討し、予算・定員管理などに反映させる。

○事業管理シート（事業評価調書）を更新し、ＰＤＣＡマネジメントサイクルによる事業点検を行った。

事業管理シートの事業数：令和元年４月１日現在　745 事業(再掲除く)

○令和２年度予算編成に併せ、平成 22 年度から導入している施策内事業の優先度評価を実施し、予算査定の際の参考資料とした。

○令和元年 10 月４日　「加須やぐるまマネジメントサイクル」について、令和２年度予算編成説明会の中で研修を実施し、事務の目的や成果に対する意識の向上を図った。

事 業 名	パブリシティ事業		（総合戦略）
担 当 課	シティプロモーション課	総合振興計画コード	6112-01
事業の目的	各メディアに積極的に報道してもらうことで、市の様々な事業を市内外に周知し、加須市をＰＲする。	事業の概要	市の事業や市内で行われるイベント等について、東部記者クラブをはじめとする報道機関にタイムリーかつ効果的にＦＡＸで情報提供をするとともに、各課と連携を図りそれぞれの事業をホームページに掲載することにより、積極的なＰＲを行う。

事業の実績・成果

東部記者クラブとの定例記者会見や市の様々な事業や行事･イベント情報などを積極的に情報提供した結果、令和元年度に加須市が新聞・テレビに掲載（放映）された件数は505件となった。

（単位：件）

	情報提供件数	掲載・放映件数（延べ）		
		新　聞	テレビ	小　計
平成27年度	551	349	54	403
平成28年度	558	456	42	498
平成29年度	498	452	19	471
平成30年度	486	430	70	500
令和元年度	456	438	67	505

事 業 名	フィルムコミッション事業		（総合戦略）
担 当 課	シティプロモーション課	総合振興計画コード	6112-08
事業の目的	加須市に人や物を呼び込み、観光振興や産業振興につなげるとともに、市民の郷土への誇りや郷土愛の醸成を図るために、フィルムコミッションを活用して本市の魅力を市内外に情報発信する。	事業の概要	市内のロケーション情報を提供、映画やテレビドラマ等の撮影地として誘致し、撮影に係る支援をする。

事業の実績・成果

恵まれた自然環境や資源を活かして、テレビドラマ等あらゆるジャンルのロケーション撮影の誘致・支援を行い、フィルムコミッションを通じたＰＲを行った。

【ロケ誘致等実績】
情報提供件数　70件
撮影件数　15件
主な作品　・フジテレビ　ドラマ「モトカレマニア」
ロケ地：加須はなさき公園
・テレビ東京　ドラマ「絶メシロード」
ロケ地：道の駅かぞわたらせ、三県境
・日本テレビ　バラエティ「今夜くらべてみました」
ロケ地：三県境
・ＮＨＫ　子供向け番組「シャキーン！」
ロケ地：加須未来館他
・ミュージックビデオ　スチャダラパーからのライムスター「forever Young」
ロケ地：北川辺排水機場、まるたけ騎西店、加須スケートパーク他

事 業 名	自治協力団体加入促進事業		（総合戦略）
担 当 課	市民協働推進課	総合振興計画コード	6131-03
事業の目的	市民と行政の協働によるまちづくりを進めてゆくためには、人の盛り上がりが必要であり、そのために協働のパートナーである自治協力団体への加入率向上を図る。	事業の概要	自治協力団体加入促進マニュアル及び三者協定並びにキャンペーンを活用し、自治協力団体、宅建団体及び市の連携により、市民に積極的に加入を働きかけ、意識啓発を図る。

事業の実績・成果

○加須市自治協力団体連合会と連携した加入促進

加入率の低い地域の自治協力団体連合会役員と共に、加入率を上げるための会議を開き、対応について検討すると共に、その地域の人が集まるイベントで自治会加入のチラシなどを配布し、呼びかけを行った。

また、水害時などに細やかな情報を提供する防災ラジオの貸与にあたり、自治協力団体を通じ会員世帯に貸与申請書を配布する中で自治会未加入世帯に対しても貸与申請書及び自治会加入案内チラシを配布し、自治会への加入につながるよう働きかけを行った。

○転入者への啓発

市への転入者に対し、市民課及び各総合支所市民福祉健康課で配布している転入者用封筒に、自治協力団体への加入を呼びかけるチラシを同封したほか、封筒本体に「自治協力団体に加入しましょう！」と印字し、啓発を強化した。

○開発事業者への協力依頼

「加須市住みよいまちづくり指導要綱」中に開発事業者が自治会への加入促進に協力する旨の文言を明文化し協力するよう求めた。

［自治協力団体への加入状況］ （単位：%）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加入率	84.0	83.2	82.3	81.3	80.0

事 業 名	コミュニティセンター改修事業		
担 当 課	市民協働推進課	総合振興計画コード	6134-08
事業の目的	地域コミュニティ活動を推進するため、活動の拠点施設となるコミュニティ施設の改修整備を行なう。	事業の概要	総合的なコミュニティセンターの修繕計画を立て、施設の改修を行なう。

事業の実績・成果

公共施設再整備計画に基づき、施設の統廃合や再整備も含め、今後の施設管理のありかたについても検討を行った。

事 業 名	窓口サービス改善事業		
担 当 課	業務改善課	総合振興計画コード	3231-06

事業の目的	市役所を訪れる市民に快適で気持ちよく市役所を利用していただけるように、窓口サービスの向上を図る。	事業の概要	転出入者等へのアンケート調査（市民課）及び窓口対応等実態調査（職員課）の結果を基に、接遇向上や事務改善、窓口環境の改善等に取り組む。 また、窓口受付マニュアルの整備活用を推進し、手続き時間の短縮に取り組む。

事業の実績・成果

1　窓口対応等実態調査の実施

市役所の来庁者に“職員の対応”や“庁舎の環境等”についての率直な意見を伺い、その結果を活用して職員の接遇能力の向上と窓口環境の改善を図ることを目的に実施した。（隔年）

【調査の概要】

① 実　施　日：令和元年10月1日（火）～令和元年10月31日（木）
② 実 施 場 所：本庁舎及び各総合支所
③ 有 効 票 数：683票

【調査結果】

Ⅰ　職員の対応　（単位：%）

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	満足・やや満足の前比
あいさつ	67.5	11.4	18.9	1.5	0.6	0.1	2.8
身だしなみ・言葉遣い	68.4	12.5	18.0	0.4	0.4	0.3	2.3
説明の分かりやすさ	69.4	13.6	14.7	1.3	0.6	0.4	2.6
用件が済むまでの時間	68.8	13.5	15.7	1.6	0.3	0.1	3.2
プライバシー（個人情報保護）への配慮	69.5	9.7	18.3	0.6	0.4	1.5	5.6

Ⅱ　庁舎の環境等　（単位：%）

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	満足・やや満足の前比
案内表示の分かりやすさ	53.0	13.9	25.5	5.8	1.2	0.6	4.5
記入書類や記入例の分かりやすさ	53.1	13.9	25.8	4.1	0.9	2.2	2.4
ガイドブックなどの内容・見やすさ	38.4	13.6	35.1	2.5	0.7	9.7	3.7
待合スペースの過ごしやすさ	51.9	13.6	27.8	2.5	1.0	3.2	2.4
庁舎総合案内の職員対応	62.2	14.6	22.7	0.5	0.0		−0.7

2　転出者へのアンケート調査の実施

少子高齢化が進展する中で、社会減による人口の減少を抑えていくことが課題であるため、加須市に対する市民の印象や住みやすさ、住所異動の理由等を把握するとともに、人口増減の理由である「社会増減」の要因を把握し、まちづくりの基礎資料として活用することを目的として実施した。

(1) 実施場所　　本庁舎（市民課）及び各総合支所（市民福祉健康課）
(2) 調査項目　　11項目

調査期間	届出件数（件）	回収数（件）	回収率（%）
2月1日～2月29日	230	105	45.65

3　窓口受付マニュアルの見直し

窓口サービスにおける利用者の視点に立った満足度の高い窓口サービスの充実を図るため、12月11日開催の窓口サービス向上検討委員会専門部会、10月24日及び2月14日開催の窓口サービス向上検討委員会を開催し、既存の市民向けナビゲーションシートの見直し及び活用推進を図った。

事 業 名	情報化推進計画進行管理事業		
担 当 課	業務改善課	総合振興計画コード	3233-02
事業の目的	「市民にやさしい電子市役所」を実現するため、「加須市情報化推進計画」に定める事項を着実に実行する。	事業の概要	取組状況を定期的に把握し、進捗を的確に管理するため、加須市情報化推進委員会及び幹事会の情報化推進体制による協議を行い、多様な視点からの意見等を受け、評価や見直しを行う。

事業の実績・成果

1　情報化推進計画の取組結果

「市民にやさしい電子市役所」の実現を目指し、平成29年3月に策定した第3次加須市情報化推進計画（計画期間：平成29年度から令和3年度まで）に掲げる実施項目の全87項目について、平成30年度の取組結果を加須市情報化推進委員会及び幹事会へ報告するとともに、進捗の遅れ等の見られる項目の取組を推進した。

平成30年度については、取り組んだ87項目中、76項目（87.4%）が「達成済・概ね順調」と評価された（下表参照）。

［平成30年度取組結果（評価区分ごとの項目数等）］

区　分	該当項目数	割　合
1　達成済	48(48)	55.2%（55.2%）
2　概ね順調	28(25)	32.2%（28.7%）
3　やや遅れている	7(8)	8.0%（ 9.2%）
4　大幅に遅れている	4(6)	4.6%（ 6.9%）

※（　）内：平成29年度取組結果

2　加須市情報化推進委員会等の開催

令和元年8月9日に加須市情報化推進幹事会、令和元年8月22日に加須市情報化推進委員会を各1回開催し、各情報化施策の成果、進捗状況を確認するとともに、取組を実施するに当たり、生じた課題等について議論し解決を図った。

事 業 名	組織定員管理事務事業		
担 当 課	業務改善課	総合振興計画コード	6312-03
事業の目的	限られた財源と人員の中、少数精鋭で全国トップレベルの行政サービスを提供できるように、人口 11 万 5 千人の都市にふさわしい組織の向上を図る。	事業の概要	各部課の調査やヒアリングを行い、組織に関する課題等の把握、改善を図り、必要に応じて組織の見直しを行う。 また、「加須市定員適正化計画(計画期間：平成 22 年 4 月 1 日～令和 3 年 4 月 1 日)に基づき、計画的に職員数の適正化を進める。

事業の実績・成果

1　組織の検討・再編

全部局等を対象に組織に関する調査、ヒアリングを行ったほか、随時、個別課題等についての検討を行った。

今後、更なる社会情勢の変化や行政需要が増大することが予想される中で、定員適正化計画に基づく職員数の削減をしつつ、安定的な行政サービスを提供するため、令和 2 年度は、現体制を基本にしながら、事務体制の見直し、統合、再任用職員等の活用等により、更なる市民サービスの向上及び効率的な組織体制に向けた組織にするとともに、最少の人員で最大の効果を上げられるよう組織の見直しを行った。

表 1：部課数等の概要

	令和元年度	見直し概要	令和 2 年度
本庁	14 部局 47 課所室	新設 3 課 ・産業振興課 ・観光振興課 ・建築課 廃止 3 課 ・産業雇用課 ・商業観光課 ・建築開発課	14 部局 47 課所室
総合支所	3 支所 9 課	―	3 支所 9 課
合　計	17 部局支所 56 課所室	増減なし	17 部局支所 56 課所室

(1) 産業雇用課と商業観光課を廃止し、新たに産業振興課、観光振興課を新設

ア　産業振興課

商業、工業のそれぞれの市内産業の振興と活性化に向けて、市内企業（商店街や個店）及び工業団地立地企業との相互交流や連携をこれまで以上に行い、地域経済への波及効果や雇用の確保を促進するとともに、加須市商工会や地場産業団体などの関係団体との連携と団体の強化を行い、一体的に商工業の振興を図るため、産業振興課を新設した。

イ　観光振興課

加須市物産観光協会との連携と団体の強化を図りながら、豊かな観光資源や加須ブランドなどの物産、イベント等を活用して、新しい人の流れをつくり、賑わいのあるまちとなるよう観光の振興を図るため、観光振興課を新設した。

(2) 建築開発課を廃止し、まちづくり課に「建築開発課開発指導担当」を編入して再編し、「建築課」を新設

ア　まちづくり課に「建築開発課開発指導担当」を編入して再編

市全体の土地利用を検討するにあたり、既存の民間開発による土地利用状況や、新たな開発による開発許認可の見込み等を踏まえた一体的な面整備の企画・立案を行える体制とするため、建築開発課開発指導担当をまちづくり課に編入して「まちづくり課」を再編し、豊かな自然と市街地が調和した、計画的で秩序ある住みよいまちづくりを目指す。

イ　建築課

正確かつ速やかに建築基準法等に基づく事務や、営繕業務を行うため、建築に係る法令や技術などの知識を有する建築主事（建築基準適合判定資格者）や専門職を配置し、建築指導担当及び営繕・住宅担当が連携して業務を行うことにより、合理的な業務の実施が可能となることから、建築開発課建築指導担当と営繕・住宅担当からなる「建築課」を新設した。

ウ　新橋及び都市計画道路の計画・整備に関する事務を道路課へ移管

政策調整課の所管事業である「広域行政推進事業」のうち、加須・板倉利根川新橋及びその架橋に係る幹線道路、並びに渡良瀬川新橋の建設を見据えた幹線道路の整備に関する事務については、本市の道路及び橋梁を総合的に把握し、利便性の高い道路として計画的に早期に整備する必要があること、また、整備には国・県道路所管部署との調整なども必要であることから、道路課へ移管した。

また、まちづくり課の所管事務のうち、都市計画道路の都市計画決定の手続きに係る事務は「まちづくり課」が所管し、都市計画道路の計画及び整備に関する事務を「道路課」へ移管した。

(3) 健康づくり推進課内に「いきいき健康長寿室」を新設

令和元年5月22日に「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」が公布され、令和2年4月1日から、市町村が中心となって高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を推進することとなる。

これを受け、高齢者の健康増進を図り、高齢者が生き生きと健やかに過ごせる社会としていくため、高齢者一人ひとりに対して、身体的、精神的及び地域の健康課題等を踏まえ、効果的かつ効率的で、きめ細かな保健事業と介護予防を高齢者の通いの場において一体的に実施するため、健康づくり推進課内に「いきいき健康長寿室」を新設した。

(4) 総合支所における休日等の窓口サービスの見直し

総合支所の休日等における窓口サービスについては、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始に窓口サービスを実施していたが、利用状況、マイナンバーカードの普及や働き方改革における職員への負担軽減を勘案した結果、令和2年度から窓口サービスの実施日を日曜日のみとする見直しを行った。

2　定員の適正化

加須市定員適正化計画に基づく職員数の適正化を図るため、組織の見直しや再任用職員等を活用した定員の削減を図り、市民サービスの低下をきたすことのないよう適正な人員配置に努めた。

なお、今後の様々な行政課題や市民ニーズの多様化、さらには市の業務の複雑化、高度化が見込まれる中、これらの環境の変化に対して柔軟かつ的確に対応し、市民等への安定的な行政サービスを提供するためには、職員の定員管理と組織の維持を適正に行っていく必要があることから、令和2年4月1日にて定員削減を終了することとした。

○職員数　（平成31年4月1日）713人→（令和2年4月1日）706人

○職員数の推移　（単位：人）

平成28年 4月1日	平成29年 4月1日	平成30年 4月1日	平成31年 4月1日	令和2年 4月1日
737	729	718	713	706

事 業 名	子どもを見守る工事現場事業		
担 当 課	管理契約課	総合振興計画コード	3111-04
事業の目的	安心なまちづくりを推進するため、円滑な地域コミュニケーションによる子ども達を見守る体制整備を図る。	事業の概要	子どもを見守るネットワークの一端として、市発注の工事現場において、受注者の協力のもと、「子どもを見守る工事現場」である旨の看板を設置し、作業員による周辺への目配り、子どもへの声がけ、不審者情報の警察への提供などを実施する。

事業の実績・成果

・子どもを見守る工事現場事業は、子どもたちを犯罪から守り、犯罪への抑止効果を高めることによって、子どもが安心安全に暮らしていけるまちづくりの実現を目的としている。

加須市が発注する公共工事等の現場付近において、子どもたちを見守り、不審者を見かけたときは110番通報する取り組みを関係各課・受注業者の協力を得て、35件実施した。結果として警察への通報件数は0件であり、犯罪の抑止効果が得られた。

（単位：件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
協力工事件数	55	43	39	40	35

事 業 名	小規模契約希望者登録制度活用事業		（総合戦略）
担 当 課	管理契約課	総合振興計画コード	5122-01
事業の目的	地域経済の活性化を推進するため、市内中小事業者の受注機会の拡大を図る。	事業の概要	市内中小事業者への優先的な発注を推進するため、市内に本店を置く中小事業者を名簿登録し、市が発注する 50 万円以下の小規模な工事や物品購入等に積極的に活用する。

事業の実績・成果

・小規模契約希望者登録制度については、ポスター・チラシを作製して市内公共機関に掲示・配布するなどの周知を図るとともに、庁内各課に登録業者の積極的活用を呼びかけ、市内中小事業者の受注機会の拡大と市内経済の活性化に寄与した。

なお、平成29年度に実態調査を行い、廃業などで実体のなくなった事業者を登録から除いたため、前年度と比較して登録事業者数が大きく減となった。

小規模契約希望者登録制度活用実績

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
金額（円）	165,365,572	189,592,172	158,563,832	163,092,269	125,888,259
件数（件）	3,031	3,300	3,208	3,140	2,555
登録業者数	408	420	366	373	382

事 業 名	行政利用借地解消事業		
担 当 課	管理契約課	総合振興計画コード	6313-09
事業の目的	安定的・継続的な行政運営のため、事業用地を適切に確保し、行政借地の解消を図る。	事業の概要	・借地の不安定な状況の解消に向け、所管課への情報提供を行う。 ・借地状況の確認・必要性・今後の方針等を契約更新時に所管課に確認してもらう。

事業の実績・成果

1　行政利用借地の解消の取組みとして、担当課にて水深小学校等の買収及び施設の統廃合により騎西中央幼稚園駐車場等の返還を実施し、計 4 件（11 筆、6230.82 ㎡＋駐車場 10 区画）の借地解消に至った。

2　借地の現状

借 地 筆 数　163 箇所・406 筆(うち、有償 83 箇所・316 筆、無償 80 箇所・90 筆)
借 地 面 積　178,261.64 ㎡（うち、有償 116,508.62 ㎡）
土地借上料　29,457,391 円

事 業 名	特定事業主行動計画策定事業		
担 当 課	職員課	総合振興計画コード	6312-01
事業の目的	子どもを産み育てやすい職場環境を構築し、子育て中の職員の仕事と子育ての両立を促進する。 また、一人ひとりの女性が個性と能力を十分に発揮できるよう、女性の採用・登用の拡大やワーク・ライフ・バランスを推進する。	事業の概要	総務部長を委員長、関係課職員を委員とする「加須市特定事業主行動計画策定・推進委員会」を開催し、委員の意見も踏まえながら、加須市特定事業主行動計画を策定（改訂）する。 【計画期間：令和 2 年度～令和 7 年度】

事業の実績・成果

第 2 次加須市特定事業主行動計画の計画期間が令和元年度をもって満了を迎えることから、加須市特定事業主行動計画策定・推進委員会を開催し、計画期間を令和 2 年度～令和 7 年度までとする「第 3 次加須市特定事業主行動計画」の策定を進めた。

事 業 名	特定事業主行動計画進行管理事業		
担 当 課	職員課	総合振興計画コード	6312-02
事業の目的	子どもを産み育てやすい職場環境を構築し、子育て中の職員の仕事と子育ての両立を促進する。 また、一人ひとりの女性が個性と能力を十分に発揮できるよう、女性の採用・登用の拡大やワーク・ライフ・バランスを推進する。	事業の概要	第２次加須市特定事業主行動計画に掲げた各種取組を実施するとともに、同計画の進ちょく状況を取りまとめ、問題点がある場合はその解消・改善策を検討する。

事業の実績・成果

平成27年３月に策定、平成28年３月に改訂した「第２次加須市特定事業主行動計画」の実施状況をとりまとめ、加須市特定事業主行動計画策定・推進委員会へ報告し、計画の進行管理を行った。

令和元年６月　　加須市特定事業主行動計画の実施状況とりまとめ
令和元年８月　　加須市特定事業主行動計画策定・推進委員会へ実施状況の報告

事 業 名	男女共同参画出前講座事業		
担 当 課	人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6222-03
事業の目的	男女共同参画社会への意識醸成を図るため、現在の国県市の取り組み状況や社会情勢を分かり易く直接市民に伝達し、男女共同参画社会の実現を目指す。	事業の概要	公民館や健康づくり推進課（保健センター）などで実施している講座に職員が出向き、男女共同参画に関する社会情勢や現状・方向性についての説明を行う。

事業の実績・成果

○男女共同参画課職員による出前講座

地域ボランティア団体・健康づくり推進課・産業雇用課等と連携し、各種事業、研修会等の機会を捉え、職員が出向いて直接市民等に対し出前講座を実施した。男女共同参画に関する社会情勢や現状・方向性等について分かりやすく説明し、男女共同参画社会の推進に努めた。

講座実績		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	回数(回)	12	13	13	13	14
	人数(人)	487	415	518	535	673

○令和元年度　出前講座実施状況

場所・担当課	事業名	実施日	参加人数	講座内容
本庁舎 5 階会議室 (人権・男女共同参画課)	民生委員男女共同参画部会	6 月 25 日	34 人	女性相談 記念講演会
ハローワーク行田 (埼玉県・羽生市・行田市・加須市)	女性就業支援セミナー	9 月 25 日	21 人	女性相談 就業支援セミナー
市民プラザかぞ (人権・男女共同参画課)	女性就業支援セミナー	10 月 4 日	11 人	女性相談 男女共同参画セミナー
平成国際大学 (職員課)	平成国際大学 地方公務員論	11 月 13 日	45 人	男女共同参画、デートＤＶ 女性相談 ワーク・ライフ・バランス
市民プラザかぞ (人権・男女共同参画課)	男女共同参画セミナー	11 月 16 日	71 人	女性相談 男女共同参画セミナー
アスタホール (人権・男女共同参画課)	加須市女性団体合同研修会	11 月 18 日	195 人	女性相談
市民プラザかぞ (人権・男女共同参画課)	男女共同参画セミナー	12 月 7 日	57 人	女性相談 男女共同参画セミナー みんなでフォーラム in かぞ
市民プラザかぞ (産業雇用課、人権・男女共同参画課)	女性就業支援セミナー 「職種を知ろう ～事務職編～」	12 月 12 日	8 人	女性相談、 みんなでフォーラム in かぞ 男女共同参画セミナー
市民プラザかぞ (人権・男女共同参画課)	男女共同参画セミナー	1 月 29 日	64 人	女性相談
加須保健センター (健康づくり推進課)	乳幼児健康診査	3 月 6 日	34 人	女性相談
加須保健センター (健康づくり推進課)	乳幼児健康診査	3 月 11 日	37 人	女性相談
加須保健センター (健康づくり推進課)	乳幼児健康診査	3 月 16 日	29 人	女性相談
加須保健センター (健康づくり推進課)	乳幼児健康診査	3 月 18 日	39 人	女性相談
加須保健センター (健康づくり推進課)	乳幼児健康診査	3 月 25 日	28 人	女性相談

※3 月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、啓発チラシを配布した。

事 業 名	環境基本計画策定事業		
担 当 課	環境政策課	総合振興計画コード	4211-01
事業の目的	「豊かな自然と快適な環境のまちづくり」を進めるため、市の環境保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。	事業の概要	環境基本計画の策定。 ・前期計画期間　平成23年度～平成27年度まで ・後期計画期間　平成28年度～令和2年度 ・第２次（次期）計画策定　令和3年度～令和12年度
事業の実績・成果			
○第2次加須市環境基本計画の策定準備 ・計画策定業者の選考、プロポーザルの実施（令和2年2月） ・アンケート調査票の検討			

事 業 名	「加須１００年の森」創造事業		
担 当 課	環境政策課	総合振興計画コード	4213-01
事業の目的	「水と緑と文化の調和した元気都市かぞ」を推進するため、新たな緑の憩い空間を創造するとともに、環境への意識高揚を図る。	事業の概要	「加須100年の森」の候補地検討・選定等について、関係機関との連携・調整、協議を行い、適地に森を創造する。
事業の実績・成果			

1　利根川強化堤防を利用した森づくり維持管理活動

「新川通地区強化堤防における森づくりに関する協定書」を締結した団体により、新川通地区の強化堤防上に植樹した樹木の枝落としや下草刈り等の維持管理活動を実施した。

(1) 利根川堤防森づくりクラブ（平成21年3月25日　協定締結）

ア　実施日数　　6日

イ　参 加 者　　延べ33人

※平成30年7月1日に、栗橋ロータリークラブより地位を継承した。

(2) 日本工業大学（平成26年3月31日　協定締結）

ア　実施日数　　7日

イ　参 加 者　　延べ40人

2　「加須100年の森」創造事業（県：本多静六博士の森づくり）に係る協議

(1) 実 施 日　　令和元年11月25日(月)

(2) 場　　所　　利根川上流河川事務所

(3) 協議内容　　利根川強化堤防における森づくりについて、利根川上流河川事務所、県河川砂防課及び森づくり課、市環境政策課の３者により協議を行い、今後、新規植栽候補地や新たなボランティア団体を探すこととした。

事 業 名	志多見砂丘保全事業		
担 当 課	環境政策課	総合振興計画コード	4213-05
事業の目的	豊かな自然環境の保全のため、志多見砂丘の貴重な赤松等の緑や特異な地形等の保全を図る。	事業の概要	市の管理する加須西中学校敷地内の志多見砂丘の松林保全のため、定期的に実施する松くい虫防除対策をはじめとした保全活動を行う。 所有者台帳等に基づき、毎年度の管理状況等の把握を行う。
事業の実績・成果			
○志多見砂丘の自然環境保全の推進 埼玉県自然環境保全地域の保全状況の現況及び土地所有者の確認を実施した。 加須西中学校敷地内に自生している松林について、本数と幹周を調査した。			

事 業 名	生活排水処理施設整備計画進行管理事業		
担 当 課	環境政策課	総合振興計画コード	4221-02

事業の目的	生活排水処理施設の早期整備を実施し、河川などの公共用水域の汚濁等の改善し生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。	事業の概要	計画の進捗状況の把握や点検評価を行うとともに、環境審議会や市民等へ公表し、適切な進行管理を行う。 ・基準年度　平成25年度 ・中間目標年度　令和2年度 ・目標年度　令和7年度

事業の実績・成果

○生活排水処理施設整備計画の推進

公共下水道や農業集落排水事業等への加入促進、合併処理浄化槽への転換促進及び適正な維持管理の徹底をすることにより、市の生活排水処理普及率を向上させようとする計画の進捗状況の把握や点検評価を実施し、「加須市の環境」にその結果を掲載し、環境審議会へ報告するとともに市民等へ公表した。

計画の目標値：令和7年度までに生活排水処理普及率100%整備
現　　状：令和元年度末の生活排水処理率82.1%

（単位：人）

区　分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
行政区域内人口 (X)	114,082	113,753	113,503	113,165	112,897
生活雑排水処理人口 (Y) ＝(a)＋ (b) ＋ (c)	80,070	81,246	82,268	83,883	84,013
公共下水道接続人口 (a)	46,978	47,306	47,471	47,570	48,025
公共下水道処理人口 (A)	54,981	55,086	54,932	54,746	55,480
農業集落排水施設接続人口 (b)	9,641	9,699	9,769	9,750	9,777
農業集落排水施設処理人口 (B)	13,452	13,317	13,210	13,022	12,892
合併処理浄化槽処理人口 (c)	23,451	24,241	25,028	26,563	26,211
合併処理浄化槽処理人口（浄化槽整備区域内） (C)	(21,314)	(22,263)	(22,984)	(24,440)	(24,289)
生活雑排水未処理人口	34,012	32,507	31,235	29,282	28,884
単独処理浄化槽人口 ※1	27,168	25,920	25,063	23,292	23,018
汲取り便槽人口 ※2	6,844	6,587	6,172	5,990	5,866
生活排水処理施設接続率 (%) (Y) ÷ (X)	70.2	71.4	72.5	74.1	74.4
生活排水処理率 (%) ((A) ＋ (B) ＋ (C)) ÷ (X)	78.7	79.7	80.3	81.5	82.1

※1　単独処理浄化槽人口は、下水道処理区域、農業集落排水処理区域、浄化槽整備区域の合計
※2　汲取り便槽人口は、下水道処理区域、農業集落排水処理区域、浄化槽整備区域の合計

事 業 名	浄化槽適正管理促進事業		
担 当 課	環境政策課	総合振興計画コード	4223-02
事業の目的	生活環境の保全と公衆衛生の向上のため、浄化槽の適正な維持管理を促進することにより、公共用水域の水質改善を図る。	事業の概要	浄化槽の適正管理の徹底に向け、法定検査の受検指導や清掃等、維持管理の普及啓発を実施する。

事業の実績・成果

1　法定検査

(1)7 条検査　設置された浄化槽が、適正に施工され、機能しているかを確認する検査である。浄化槽を使い始めてから 3 か月を経過した日から 5 か月以内に行わなければならない。

・令和元年度合併処理浄化槽設置整備補助金申請者 7 条検査受検率 100%

(2)11 条検査　保守点検や清掃が適正に行われ、浄化槽の機能が発揮されているかを確認する検査である。毎年 1 回行わなければならない。

・平成 18 年度～平成 30 年度に本市（旧市町含む）の補助金の交付を受けて浄化槽を設置した者で、直近 2 年間で法定検査を受検していない者に対して法定検査の受検依頼通知を 194 件送付した。

・21 人槽以上の浄化槽について、直近 2 年間で法定検査を受検していない管理者に対して、法定検査の受検依頼通知を 23 件送付した。

2　浄化槽の維持管理の徹底に向けての啓発活動

・「市報かぞ」を通して、浄化槽の維持管理の意義及び必要性について PR を行った。

・浄化槽の維持管理の啓発について、浄化槽管理者への戸別訪問を行った。

加須地域：下谷地区（112 世帯）、騎西地域：戸崎行政区（97 世帯）

北川辺地域：柳生地区（95 世帯）、大利根地域：松永新田地区（33 世帯）で実施

3　市職員向け浄化槽適正管理啓発

・県の実施に合わせ、市職員に対し浄化槽の適正管理についての啓発を行った。（10 月実施）

事 業 名	オープンガーデン促進事業		
担 当 課	環境政策課	総合振興計画コード	4231-03
事業の目的	市民の絆づくりに寄与するため、市街地の景観形成や市民の憩いの場を創造する。	事業の概要	オープンガーデンを市民等に周知するとともに、オープンガーデン登録者の募集を継続的に行い、オープンガーデンを定期的に開催する。

事業の実績・成果

1　「オープンガーデン加須2019」の開催

(1) 開催期間　平成31年3月30日(土)～令和元年5月26日(日)
※開催日は各オーナーの都合により異なる

(2) 開催時間　概ね9時から15時まで ※各オーナーの都合により異なる

(3) 参加オーナー数　9人

(4) 周知方法　市報かぞへの掲載、市ホームページへの掲載、オープンガーデン情報紙の発行
地域情報誌への掲載

2　「オープンガーデン加須2020」に向けての調整等

令和2年度のオープンガーデン実施に向けて、登録オーナーと事業実施日程の調整、事業への意見収集等を適時行うとともに、旅行会社とオープンガーデンツアーの企画について検討した。

事 業 名	公共施設芝生化推進事業		
担 当 課	環境政策課	総合振興計画コード	4231-04
事業の目的	ヒートアイランド現象の抑止や、地域の美観向上を図るため、公共施設の緑化を推進する。	事業の概要	公共施設芝生化の現況を把握するとともに芝生化の推進に向けた調査研究を行う。

事業の実績・成果

○公共施設の芝生化の現状調査

施設数、芝生化面積とも増加したが、推進にあたり芝生化後の維持管理等の課題がある。

【公共施設芝生化面積の推移】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
施設数（施設）	65	65	67	68	68
公共施設芝生化面積（㎡）	196,857	196,016	211,013	211,018	210,585

事 業 名	地球温暖化防止実行計画進行管理事業		
担 当 課	環境政策課	総合振興計画コード	4311-02
事業の目的	温室効果ガスの排出を抑制するため、市役所地球温暖化防止実行計画に位置づけた削減目標を達成する。	事業の概要	計画の進捗状況の把握及び点検評価を行う。 また、環境審議会や市民等の意見を踏まえ、適切な進行管理に努める。

事業の実績・成果

○第２次加須市役所地球温暖化防止実行計画の推進

加須市役所の事務事業における温室効果ガス（二酸化炭素等）の排出実態を把握し、具体的な削減目標及び職員の温室効果ガスの排出抑制への取組を定め、市の事務事業から発生する温室効果ガスの抑制を図ることを目的に策定した、第２次加須市役所地球温暖化防止実行計画に基づく取組を推進し、省資源・省エネルギー等の環境に配慮した取り組みの実践により、前年度を上回る削減を達成した。

・計画目標：令和２年度の温室効果ガス排出量を平成21年度（基準年度）に比べ15%削減

【二酸化炭素換算排出量】 （単位：kg-CO_2）

種　別	平成30年度	令和元年度	増減率 % R1/H30	平成21年度（基準年）	増減率 % R1/H21
電気の使用	10,830,725	10,779,359	▲0.5	12,595,761	▲14.4
灯油の使用	693,490	641,805	▲7.5	738,008	▲13.0
Ａ重油の使用	1,079,230	985,356	▲8.7	1,524,293	▲35.4
液化石油ガス（LPG）の使用	152,752	130,605	▲14.5	211,230	▲38.2
公用車の走行	298,584	270,617	▲9.4	388,405	▲30.3
計	13,054,781	12,807,742	▲1.9	15,457,697	▲17.1

※　加須市役所地球温暖化防止実行計画に定める排出係数を用いて算出

事 業 名	自転車利用促進計画進行管理事業		
担 当 課	環境政策課	総合振興計画コード	4313-02
事業の目的	自転車利用を促進するため、自転車関連施策の着実な実施を図る。	事業の概要	計画の進捗状況の把握及び点検評価を実施するとともに、環境審議会や市民等からの助言や意見等を踏まえ、適切な進行管理を行う。

事業の実績・成果

○第２次加須市自転車利用促進計画の推進

地球環境に関心を持ち、限りあるエネルギー資源を大切にするとともに、市民の健康増進とゆとりある生活スタイルを確立するため、身近な移動手段としての自転車の利用を促進することを目的とした第２次加須市自転車利用促進計画（平成28年６月策定）の取組みを推進し、「加須市の環境　令和元年度版」に実績を掲載した。

【自転車等の利用割合】 （単位：%）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一日、自動車を使用せず自転車等を利用した人の割合	26	28	42	41	32

※エコライフＤＡＹチェックシートの「徒歩・自転車・バス・電車を利用した者」の割合による。

事 業 名	節電行動プラン進行管理事業		
担 当 課	環境政策課	総合振興計画コード	4321-01
事業の目的	節電社会の構築を目指すため、加須市節電行動プランを着実に推進する。	事業の概要	計画の進捗状況の把握及び点検評価を実施するとともに、環境審議会や市民等からの助言や意見等を踏まえた適切な進行管理を行う。 第２次加須市節電行動プラン （計画期間　平成 28 年度～令和２年度）

事業の実績・成果

１　第２次加須市節電行動プランの策定（平成 28 年６月）

地球温暖化の防止に向けて節電社会を構築するため、行政はもとより市民・事業者を含めた市民総ぐるみによる一層の節電行動をとおして消費電力を削減するとともに、再生可能エネルギーによる電力の創出を推進するため、平成 28 年度から令和２年度を計画期間とする、第２次加須市節電行動プランを策定した。

・計画目標：本庁舎及び各総合支所の消費電力量を、平成 26 年度に対し 3%削減

２　第２次加須市節電行動プランの推進

消費電力の削減を推進するため、市役所が率先して、冷暖房の設定温度の適正管理やクールビズ、ウォームビズ等を励行し、目標を上回る削減率を達成した。

【公共施設消費電力量】　（単位：kWh）

区　分	平成 30 年度	令和元年度	増減率（%）R１/H30	平成 26 年度（基準年）	増減率（%）R1/H26
本庁舎＋各総合支所	1,128,455	1,153,382	2.2	1,239,741	▲7.0
※参考：全公共施設	28,058,872	27,925,801	▲0.5	29,219,412	▲4.4

事 業 名	ＬＥＤ化推進事業		
担 当 課	環境政策課	総合振興計画コード	4321-06
事業の目的	消費電力の削減及び温室効果ガス排出の抑制を図るため、照明のＬＥＤ化を推進する。	事業の概要	「公共施設照明のＬＥＤ化に係る方針(平成 24 年９月 19 日)」に基づき、公共施設照明のＬＥＤ化への転換を推進するとともに、ＬＥＤ化の進行管理を実施する。

事業の実績・成果

○「公共施設照明のＬＥＤ化に係る方針」に基づく転換の推進

市公共施設の照明器具を、蛍光灯等の照明より電力消費量が少なく長寿命であるＬＥＤ照明に転換し、節電社会の構築に寄与するとともに、温室効果ガスの排出抑制を図ることを目的に策定した、「公共施設照明のＬＥＤ化に係る方針（平成 24 年９月 19 日）」に基づき、公共施設照明の状況調査及びＬＥＤ化への転換を推進した。

【加須市内におけるＬＥＤ防犯灯設置数】　（単位：基）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	増減率（%）R1/H30
防犯灯	6,185	7,893	9,663	11,587	11,741	101.3%

事 業 名	全職員による青色回転灯パトロール事業		
担 当 課	交通防犯課	総合振興計画コード	3111-01
事業の目的	市民が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して生活を送ることができるようにするため、青色回転灯を装備した車両を使用し、パトロールを実施する。	事業の概要	・全職員が交代で青色回転灯を装備した公用車で、市内をパトロールする。 ・実施者講習会（管理職対象）を行う。

事業の実績・成果

○　子どもたちをはじめ、市民の安全確保や様々な犯罪防止を図るため、青色回転灯装備車両を使用した防犯パトロール（市内全域）を実施した。

・本庁２台、各総合支所１台の５台体制で小学校の通学路を中心に、パトロールを実施した。
・民間パトロール団体（5 団体）と共にパトロールを実施した。
・行方不明者及び不審者情報の提供があった場合は、対象地域での重点的なパトロールを実施した。
・パトロール実施者講習会を開催した。(4 月 19 日、4 月 24 日の 2 日間 計 3 回)

【パトロール実施日数】(職員実施分)　211 日

【加須市内の犯罪発生件数の推移】　(単位：件)

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
刑法犯総数	866	669	678	744	614
侵 入 盗 計	103	113	105	98	61
街頭犯罪計	284	193	189	243	153

※侵 入 盗：空き巣・忍び込み・事務所荒しなど
※街頭犯罪：自転車盗・車上狙い・ひったくり・自販機ねらいなど

事 業 名	先端設備等導入促進事業		
担 当 課	産業雇用課	総合振興計画コード	5141-06
事業の目的	「生産性向上特別措置法」を通じて、市内の中小企業・小規模事業者等の多様な設備投資を支援し、市内の労働生産性を高め、市内経済の活性化を図る。	事業の概要	平成 30 年 6 月 6 日に施行された「生産性向上特別措置法」により、市が導入促進基本計画を策定し、その計画により先端設備等導入計画の認定を受けた場合、以下の支援が受けられる。 ・設備投資を行う際に、償却資産に係る固定資産税の特例(課税標準を３年間ゼロに軽減)を受けることができる。 ・国の「ものづくり・商業・サービス補助金」の採択が受けやすくなる。

事業の実績・成果

1　加須市導入促進基本計画について
平成 30 年 6 月 6 日に施行された「生産性向上特別措置法」に基づき、平成 30 年 7 月 17 日、経済産業省より加須市導入促進基本計画の同意を得た。
また、平成 30 年 10 月 17 日に同導入促進基本計画の一部変更について同意を得た。

2　先端設備等導入計画の認定について
令和元年度認定件数：新規 22 件、変更 21 件

事 業 名	食の産学官連携事業		
担 当 課	産業雇用課	総合振興計画コード	5142-08
事業の目的	市内に所在する事業所、学校、行政が協働して、食に関連する連携事業を積極的に行うことにより、地域の活性化並びに学生、企業等の地域参画の促進を図り、多種多様な食によるまちづくりを推進する。	事業の概要	花咲徳栄高等学校食育実践科からのアイディアを元に、企業や市が協働して食に関する事業の実施を行う。 さらに、食を通じた様々な取り組みを市内企業等と連携するとともに、「かぞグルメ」に係る情報発信を積極的に実施し、豊かな食のまちとしての加須市をPRする。

事業の実績・成果

企業、生産者、学校、行政が連携し、食育を通じた学力向上、健康増進、地産地消推進、食文化の理解など多角的な効果を図った。

1　第39回 加須地域市民まつりへの花咲徳栄高等学校の参加（産業雇用課）
花咲徳栄高等学校食育実践科の生徒が作った学校名物「パウンドケーキ」を販売した。

2　地産地消料理の試食会を開催（農業振興課）
花咲徳栄高等学校食育実践科の生徒が考えた地産地消料理の試食会を開催した。
開催期間・場所：令和元年7月13日（土）花咲徳栄高等学校試食室(加須市花崎519)
令和2年2月8日（土）　同上
メニュー内容：スタメシ（学力向上に有効と考えられる食事）
7/13　海鮮天茶漬け、薩摩芋のオレンジ煮、セレクトデザート、他
2/8　あさりと春キャベツのパスタ、キャロットスープ、セレクトデザート、他

3　市内農家での農業体験（農業振興課）
市内農業者の指導により、花咲徳栄高等学校食育実践科生徒が、トマト、きゅうりの収穫体験を実施した。

4　小中学校との連携授業（学校教育課）
花咲徳栄高等学校食物実践科の生徒が各学校を訪問し、調理実習や紙芝居などによる食育指導を行った。

事 業 名	不動ヶ岡不動尊周辺門前町並み景観保全促進事業		
担 当 課	商業観光課	総合振興計画コード	4233-04
事業の目的	加須市の歴史ある観光拠点のひとつである、不動ケ岡不動尊總願寺周辺門前町並みの景観保全を促進し、地域の活性化を促すことで、交流人口の増加を図る。	事業の概要	不動ケ岡不動尊總願寺周辺門前町並みの景観保全を促進するため地域団体の支援を行う。

事業の実績・成果

地域のまちづくりの中心である不動岡奉仕会、不動岡浪漫研究会の主催するイベントを支援し、地域の活性化を図った。

事 業 名	農業公社支援事業		（総合戦略）
担 当 課	農業振興課	総合振興計画コード	5113-01
事業の目的	農作業受託による経営支援や農地の利用集積調整等により、農地の有効活用を促進する。	事業の概要	良好な農地を次代に引き継ぐため次の支援を行う ・農地の集積・流動化の支援 ・不耕作地の解消支援 ・経営農地の農産物栽培事業支援 ・公社の事業及び経営支援

事業の実績・成果

株式会社かぞ農業公社の経営農地は、年々増加している状況の中で、予定農地のすべてに作付けを行ったが、秋の長雨等が影響し、適期の防除ができなかったこともあり収穫量の増加ができなかった。

○業務実績　（単位：ａ）

業務内容	作業内訳	経営農地						農地の集積
		水稲	小麦	蕎麦	大豆	野菜等	計	
面積	平成27年度	1,508	－	397	257	68	2,230	3,680
	平成28年度	2,099	－	814	507	142	3,562	4,051
	平成29年度	2,730	－	1,240	510	140	4,620	4,088
	平成30年度	3,240	－	1,360	620	150	5,370	4,884
	令和元年度	3,160	390	1,330	720	180	5,780	4,951

事 業 名	農業振興地域管理事業		
担 当 課	農業振興課	総合振興計画コード	5116-02

事業の目的	農業振興地域整備計画に基づき、優良な農用地の保全を図る。	事業の概要	農業振興地域内農用地からの除外申出のあった農地に係る農業振興地域整備計画の変更についての協議、検討等を行なう。

事業の実績・成果

令和元年度農業振興地域整備計画の変更として、農用地区域からの除外等を行った。

・農用地区域から除外した農地 (単位：㎡)

	田		畑		合計	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
平成27年度	23	9,132	21	6,015	44	15,147
平成28年度	164	165,883	37	16,148	201	182,031
平成29年度	22	8,672	27	7,367	49	16,039
平成30年度	27	22,190	23	12,966	50	35,156
令和元年度	10	6,500	11	3,015	21	9,515

・農業振興地域の状況(令和 2 年3月末) (単位：ｈａ)

	総面積	農用地						混牧林地	農業用施設用地	山林・原野	その他
		農地				採草放牧地	計				
		田	畑	樹園地	小計						
農業振興地域	10,644	4,977	2,194	101	7,272	0	7,301	0	14	82	3,276
うち変更後の農用地区域	5,561	4,043	1,003	101	5,147	0	5,147	0	14	0	400

事 業 名	赤ちゃんの駅事業		（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課	総合振興計画コード	1111-09
事業の目的	子育て中の親が安心して外出できるよう、子育て支援の環境を整える。	事業の概要	1 おむつ交換ができる 2 授乳ができる 1、2 のどちらかまたは両方の要件を備えた施設を公共的施設を中心に整備し、乳幼児を連れての外出を容易にする。
事業の実績・成果			
市内「赤ちゃんの駅」設置施設　105 施設　177 箇所			

事 業 名	主任児童委員・児童委員活動支援事業		
担 当 課	子育て支援課	総合振興計画コード	1114-03
事業の目的	児童福祉に関する事項を専門的に担当する主任児童委員・児童委員活動に対する支援を行い、地域における子育てに対する支援活動を図る。	事業の概要	児童福祉関係機関と連携を密にするとともに、児童虐待対応に係る知識の習得等による要保護児童家庭への見守りや支援を図る。
事業の実績・成果			

令和元年度 主任児童委員研修会 実施内容

日時・場所	内　　容
6 月 11 日(火) 14 時 00 分～ 16 時 00 分 加須保健センター	『すくすく子育て相談室』の実績報告と各地区主任児童員の情報交換
7 月 30 日(火) 13 時 30 分～ 15 時 00 分 加須保健センター	「子ども食堂について」 講師　一般社団法人すくすく広場　　専務理事　戸恒　和夫　様 (埼玉県こどもの居場所づくりアドバイザー)
11 月 12 日（火） 11 月 19 日（火） 10 時 30 分～ 11 時 30 分	児童虐待防止推進月間 啓発用ポケットティッシュ配布 ①　カインズホーム大利根店 ②　ビバモール加須
1 月 28 日（火） 13 時 30 分～ 15 時 00 分	「主任児童委員・主任児童委員活動に取り組むために」 「事例から考えるケース対応と主任児童委員としての役割」
2 月 6 日(木) 9 時 30 分～ 11 時 30 分 ﾊﾟｽﾄﾗﾙかぞ会議室	「発達障がいの子どもの理解と関わり方」 講師　臨床発達心理士　増田　忠男
3 月 3 日（火） 9 時 30 分～ 11 時 30 分 加須保健センター	来年度の研修計画について (新型コロナウイルス感染症予防のため中止)

事 業 名	母子自立支援施設入所事業		
担 当 課	子育て支援課	総合振興計画コード	1114-18
事業の目的	保護を必要とする母子家庭に支援を行うことにより、子育て支援体制の充実を図ること、並びに、安全でかつ自立へ向けた指導が受けられるよう、生活の場を提供することを目的とする。	事業の概要	母子での生活を余儀なくされている家庭で、精神的に不安定になったり、前夫から暴力を受けているなど、生活の安定が得られない母子家庭が、自立の道を歩むことができるよう母子生活支援施設で、様々な指導、支援を受けながら自立促進を図る。

事業の実績・成果

精神的に不安定になったり、前夫から暴力を受けているなど、生活の安定が得られない母子を母子生活支援施設に措置入所させることで、母子家庭の自立の促進を図る。

令和元年度実績なし。

施設入所世帯・措置費の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
措置入所世帯（世帯）	0	0	0	0	0
措置費（円）	0	0	0	0	0

事 業 名	子ども食堂支援事業		
担 当 課	子育て支援課	総合振興計画コード	1114-24
事業の目的	子ども食堂に関連する活動に対して連携・協力を行う。	事業の概要	市内の子ども食堂に関連する団体と情報交換等を開催し、活動情報を共有するとともに、利用したい方へ情報が届くよう周知活動を行う。

事業の実績・成果

子ども食堂運営者と認識を共有しながら、活動について、積極的な連携・協力を図ることが重要であるため、運営者等と顔の見える関係を築くよう情報交換等を行った。

■意見交換会
1　日　時
令和元年5月7日（火）午前10時～午前11時30分
2　場　所
加須市役所本庁舎5階　506会議室
3　参加者
一般社団法人すくすく広場、つくしの家、こども食堂応援隊

■子育てフードドライブ
1　日　時
令和2年1月14日（火）～15日（水）正午まで
2　寄贈数
36人（職員個人または課によるとりまとめ）
1課（スポーツ振興課）
3　寄贈品数
261品
4　寄贈先
こども食堂応援隊

■学校給食食材等配布
1　日　時
令和2年3月3日（火）・10日（火）
2　場　所
加須学校給食センター
3　寄贈品
大根、人参、キャベツ、カットりんご、米、お菓子（学校給食課、商業観光課、農業振興課）
4　寄贈先
こども食堂応援隊、一般社団法人すくすく広場、北小浜みんなでこども食堂、社会福祉法人愛の泉、社会福祉法人光の子どもの家、社会福祉法人ワークスみぎわ、しずくの会

事 業 名	多子世帯保育所保育料軽減事業		（総合戦略）
担 当 課	保育幼稚園課	総合振興計画コード	1112-21
事業の目的	低所得世帯等の保育料を軽減し、子どもを産み育てやすいまちをつくる	事業の概要	収入が一定額未満の世帯について、保育所保育料の多子軽減措置の範囲を拡大し、軽減を受けられる対象を増やす。

事業の実績・成果

平成28年度から拡大した保育所保育料の多子軽減措置の範囲を、令和元年度も継続して実施した。

【軽減内容】

・年収約360万円未満相当の世帯について、これまでの多子計算に係る年齢制限（就学前児童のなかで数える）を撤廃し、第2子の保育料を半額、第3子以降の保育料を無償化。

・年収約360万円未満相当のひとり親世帯については、第1子の保育料を半額、第2子以降の保育料を無償化。

事 業 名	多子世帯幼稚園保育料軽減事業		（総合戦略）
担 当 課	保育幼稚園課	総合振興計画コード	1112-22
事業の目的	低所得世帯等の保育料を軽減し、子どもを産み育てやすいまちをつくる	事業の概要	収入が一定額未満の世帯について、幼稚園保育料の多子軽減措置の範囲を拡大し、軽減を受けられる対象を増やす。

事業の実績・成果

平成28年度から拡大した幼稚園保育料の多子軽減措置の範囲を、令和元年度も継続して実施した。
令和元年10月から幼稚園保育料は無償化された。

【軽減内容】

・年収約360万円未満相当の世帯について、これまでの多子計算に係る年齢制限（小学校3年生以下のなかで数える）を撤廃し、第2子の保育料を半額、第3子以降の保育料を無償化。

・年収約360万円未満相当のひとり親世帯については、第1子の保育料を半額、第2子以降の保育料を無償化。

事 業 名	保育料収納対策事業		
担 当 課	保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-13
事業の目的	迅速かつ効率的な収納・滞納整理事務を実施し、保育料の収納率の向上、公平性の確保、市民サービスの向上及び自主財源の確保を図る。	事業の概要	現年度の保育料の未納を作らないよう、滞納者へ働きかける。 滞納者へ催告書を送付、面談等を行い納付を促す。 市内私立保育園に保育料収納事務を委託（予算：就学前子ども教育・保育認定事業）。

事業の実績・成果

保育所保育料、幼稚園保育料の滞納解消に向けて、納付に対する積極的なＰＲ等を行い、自主納付の推進を図るとともに、催告書の送付、臨宅徴収などを実施し、収納率の維持向上に努めた。

また、新たな未納を作らないように、口座振替による納付を推進した。

※令和元年10月から幼稚園保育料は無償化された。

保育所保育料（現年度分）収納率の推移　（単位：%）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
99.27	99.35	99.38	99.39	99.13

幼稚園保育料（現年度分）収納率の推移　（単位：%）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
99.78	99.89	99.98	99.98	100.00

事 業 名	公立保育所施設整備事業		（総合戦略）
担 当 課	保育幼稚園課	総合振興計画コード	1122-01
事業の目的	公立保育所の施設整備を行い、保育環境の充実を図る。もって、良好な子育て支援を行う。	事業の概要	加須市公立保育所再整備計画に基づき、計画的に施設の修繕、改修、改築等を行う。

事業の実績・成果

公立保育所の施設整備を行い、保育環境の充実を図るため、計画的に修繕や改修工事を実施している。

○令和元年度の施設整備：なし

事 業 名	民間保育所施設整備助成事業		（総合戦略）
担 当 課	保育幼稚園課	総合振興計画コード	1122-03
事業の目的	保育所に入所を希望する全ての児童が入所できるよう民間保育所整備を促進する。	事業の概要	民間保育所において行う創設・増改築・大規模改修事業に対し助成を行う。

事業の実績・成果

子ども子育て支援計画上、保育の確保数が足りるため、創設や大規模改修の予定はなく、令和元年度は補助を行わなかった。

事 業 名	保育所等指導監査等事務事業		
担 当 課	地域福祉課	総合振興計画コード	1121-16
事業の目的	良好な児童福祉サービスを確保し、もって子どもを産み育てやすい環境の整備に資する。	事業の概要	民間保育所等の設置認可・廃止（休止）承認・設置認可事項変更届出、児童福祉施設指導監査を行う。 ・児童福祉施設指導監査の対象の市内民間保育施設は 15 施設。 ・確認監査対象の教育・保育施設は公立保育所 7 施設、民間保育所 14 施設、認定こども園 2 施設、公立幼稚園 13 施設の 36 施設

事業の実績・成果

民間保育所の設置認可・廃止（休止）承認・設置認可事項変更届出の受理及び児童福祉法に基づく児童福祉施設指導監査を実施した。併せて、子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設の確認監査を実施した。

○ 児童福祉法に基づく児童福祉施設指導監査実施件数 （単位：施設）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
定期指導監査（実地監査）	4	3	5	2
定期指導監査（書面監査）	10	11	9	12
随時指導監査（特別調査）	1	0	0	1

※ 令和元年度随時指導監査（特別調査）を実施した 1 施設については、定期指導監査（実地監査）もあわせて実施した。

○ 子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設確認監査実施件数（単位：施設）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実地指導	4	3	5	2
書面監査	0	7	7	8

※ 平成 28 年度から事業開始

事 業 名	認可外保育施設指導監査等事務事業		
担 当 課	地域福祉課	総合振興計画コード	1121-17
事業の目的	良好な児童福祉サービスを確保し、もって子どもを産み育てやすい環境の整備に資する。	事業の概要	安全かつ良好な保育サービスの確保のため、市内の認可外保育施設の開設状況を管理するとともに、児童福祉法に基づく立入調査等を実施し、基準の遵守や保育の質の確保等について必要な指導を行う。

事業の実績・成果

認可外保育施設の設置・廃止（休止）・変更届出の受理、運営状況の把握及び立入調査を実施した。

○ 市内認可外保育施設数 （単位：件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
認可外保育施設数	4	4	4	7	7
うち企業主導型保育施設	－	0	0	3	3

※企業主導型保育事業は平成28年度から制度開始

○ 立入調査実施件数 （単位：件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
立入調査実施件数	4	4	4	7	7

事 業 名	放課後児童健全育成事業者指導監査等事務事業		
担 当 課	地域福祉課	総合振興計画コード	1123-03
事業の目的	良好な児童福祉サービスを確保し、もって子どもを産み育てやすい環境の整備に資する。	事業の概要	市内の放課後児童健全育成事業所（学童クラブ）に係る各種届出等を受理、指導監査を実施し、運営状況の確認を行う。

事業の実績・成果

放課後児童健全育成事業所（学童クラブ）に係る各種届出等の受理及び書面監査・立入調査を実施した。

○ 事業所件数 （単位：件）

	平成30年度	令和元年度
公営放課後児童健全育成事業所	17	17
民営放課後児童健全育成事業所	16	17

○ 書面監査実施件数 （単位：件）

	平成30年度	令和元年度
公営放課後児童健全育成事業所	17	17
民営放課後児童健全育成事業所	0	11

○ 立入調査実施件数 （単位：件）

	平成30年度	令和元年度
民営放課後児童健全育成事業所	16	6

※ 令和元年度より、原則として3年に1回実施

事 業 名	あんしん見守りサポート事業			(総合戦略)
担 当 課	地域福祉課		総合振興計画コード	2131-09
事業の目的	市内のひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯、障がい者、生活に困窮している者、及びその他日常の生活の中で見守りが必要とされる者が安心して暮らせる地域づくりを目的とする。	事業の概要	ライフライン事業者等がお客様宅を訪問された際に、郵便ポストに新聞や郵便物がたまっていたなど、日常業務の範囲内で何らかの異変に気づかれた場合、市の安心見守り事業担当部署へ連絡をいただく。その後、市は関係機関や団体と連携し、対象者の安否確認等を行う。	

事業の実績・成果

○あんしん見守り協力事業者　　53 事業者

協力事業者には礼状を送付し、1 年間の見守りに対するお礼と引き続いての見守りへの協力依頼を実施した。

○発生件数の推移　　(単位：件)

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
0	4	5	4	2

事 業 名	行方不明者早期発見活動事業			(総合戦略)
担 当 課	地域福祉課		総合振興計画コード	2131-10
事業の目的	警察へ届出があった市民の行方不明者情報を、関係機関等に情報提供を行うことにより、行方不明となった市民を早期に発見する。	事業の概要	届出のあった行方不明者情報の詳細を確認し、早期発見に向けて関係機関等に情報提供する。	

事業の実績・成果

関係各課より情報収集のうえ、防災行政無線の依頼、民生委員や自治協力団体への情報提供等を行い、行方不明者早期発見に向け、連携し事業を実施した。

その他、高齢者の行方不明者が多いため、「徘徊高齢者早期発見ステッカー」の配付(高齢者福祉課)について、保護者等にご案内した。令和元年度は、ステッカー配付者 87 人のうち、本事業で発見された者は、延べ 4 人（実人数 4 人）となり、早期発見に役立てることができた。

○発生件数の推移　　(単位：件)

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
41	38	24	40	29

※平成 26 年 8 月から事業実施

事 業 名	社会福祉事業許可等事務事業		
担 当 課	地域福祉課	総合振興計画コード	2131-11
事業の目的	健全な福祉サービスを確保し、もってすべての市民が豊かに生活できる地域福祉の推進に資する。	事業の概要	社会福祉法第2条第2項、第3項に規定される第一種・第二種社会福祉事業（社会福祉法第74条の規定により適用除外とされるもの及び県の権限未移譲の軽費老人ホームに係る事務を除く）の届出受理、許可等を実施する。 ・第一種社会福祉事業（5事業種） ・第二種社会福祉事業（17事業種）

事業の実績・成果

第一種・第二種社会福祉事業を行う社会福祉法人等からの事業開始の届出受理、許可等を行った。

○ 社会福祉事業開始届受理・許可件数　（単位：件）

	平成30年度	令和元年度
開始届受理件数	0	1
事業許可件数	0	0

※ 平成30年度から事業開始

事 業 名	生活保護法による返還金等収納対策事業		
担 当 課	生活福祉課	総合振興計画コード	2145-06
事業の目的	生活保護費の適正な受給を行うため、迅速かつ効率的な債権管理事務を実施するとともに、不正受給の防止と保護の適正実施を図る。	事業の概要	・返還金等の計画的な納付指導を行うとともに、返還金等の未納者に対しては、督促状や催告書を送付し納付を促す。さらに、臨宅徴収を実施し、返還金等の早期収納を図る。

事業の実績・成果

・不正受給防止対策

平成28年10月より不正受給特別対策班を編成し、不正受給の疑いや情報提供があった受給者に対し、集中的な調査活動を行うことで不正受給対策の徹底を図った。

受給者に対し収入申告徴収の徹底を図り、課税調査の時期を早めるなどし、返還金発生の防止・早期発覚を図った。

・計画的な納付指導の強化

生活実態を把握するとともに、生活保護費支給時及び訪問時に分割納付などによる計画的な納付指導を実施した。

令和元年10月を「生活保護返還金収納対策強化月間」とし、未納者に対する積極的な声掛けや、収納相談・指導を実施した。

返還金が発生した時点で生活保護を受給している者は、本人の同意を得た上で毎月支給する保護費の一部を返還に充当した。

・届出義務の周知徹底

返還金等の発生を未然に防ぐため、「保護だより」を定期的に発行するとともに、生活保護受給者に対し、来庁又は訪問時に収入申告等の届出義務の周知徹底を図った。

・催告・臨宅の実施

文書催告及び電話催告を実施し、訪問時に自主納付を促した。

滞納者に対し催告(年4回)を送付する際、滞納者が中身を確認せず捨てることを防ぐため、封筒に「重要」の印を赤字で押し郵送した。

・不納欠損処分の実施

死亡や居所不明の世帯を十分に調査し、消滅時効による不納欠損処分を実施した。

【返還金等の収納率】 (単位：%)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
現　年　分	26.9	26.8	66.3	31.5	56.4
滞納繰越分	13.5	11.2	10.1	8.6	16.4
計	17.8	15.3	30.6	18.0	28.3

事 業 名	障害者施設整備促進事業		（総合戦略）
担 当 課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-27
事業の目的	市内の障害福祉サービス事業所の施設整備を促進し、障害福祉の向上を図る。	事業の概要	市内の障害福祉サービス事業所の社会福祉法人に対して、社会福祉施設等施設整備費県費負担（補助）金交付要綱に規定する施設整備及び設備整備事業に要する経費に対する国庫補助金交付決定額と県補助金交付決定額を合計した額に100分の10を乗じて得た額以内（ただし、補助上限額 1,000万円）で、市長が定める額を補助する。

事業の実績・成果

補助金対象となる整備事業がなかった。

事 業 名	障害者虐待防止事業		
担 当 課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	2124-02
事業の目的	障害者の権利利益の擁護を図る。	事業の概要	障害者虐待の防止、早期発見、虐待を受けた障害者に対する保護や自立の支援、養護者に対する支援を行う。

事業の実績・成果

平成24年10月1日に「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）」が施行され、市町村が障がい者虐待の通報・相談の窓口となった。

市報かぞ及び市ホームページにおいて、虐待防止に関わる記事を掲載し周知を図った。

虐待相談件数

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	0件	0件	5件	3件	11件

事 業 名	有料老人ホーム等適正整備事業		
担 当 課	高齢者福祉課	総合振興計画コード	2112-04
事業の目的	高齢者の身体や経済状況に応じて、高齢者が安心して生活できる住まいを確保する。	事業の概要	民間事業者による有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の整備計画に対し、意見を述べる。

事業の実績・成果

市内における有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の適正な整備を図るため、介護付き有料老人ホーム等の設置を計画する民間事業者に対する相談支援を行った。

令和元年度意見書交付件数（有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅に係るもの）　0 件

(1) 有料老人ホーム等整備状況（新規整備）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
有料老人ホーム定員（人）	17	0	19	0	0
サービス付き高齢者向け住宅数（戸）	38	0	0	41	35

※サービス開始年度で数値を記載

(2) 有料老人ホーム等の状況（各年度 3 月 31 日現在）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
有料老人ホーム施設数（施設）	5	5	6	6	6
有料老人ホーム定員（人）	175	175	194	194	194
サービス付き高齢者向け住宅施設数（施設）	1	1	1	2	3
サービス付き高齢者向け住宅数（戸）	38	38	38	79	114

事 業 名	介護施設整備促進事業		（総合戦略）
担 当 課	高齢者福祉課	総合振興計画コード	2113-03
事業の目的	介護を必要とする高齢者が、必要な介護サービスを利用できるよう、安全で安心できる介護サービス提供基盤を整備する。	事業の概要	・介護施設等の設置に関する相談に対応する。 ・高齢者支援計画に基づき施設整備を行う事業者を募集し、選定する。

事業の実績・成果

第３次加須市高齢者支援計画（計画期間：平成30年度～令和２年度）に基づき、認知症高齢者グループホームの整備を行う事業者を公募により選定した（1施設・定員９人）。

【第３次加須市高齢者支援計画期間中における施設の整備状況】
○軽費老人ホーム（ケアハウス）
令和２年度中に１施設（定員29人）整備予定（整備事業者は、平成31年２月に選定）
○認知症高齢者グループホーム
令和２年度中に１施設（定員９人）整備予定（整備事業者は、令和元年11月に選定）
※いずれの施設も令和３年４月１日開設予定

事 業 名	介護保険料収納対策事業		
担 当 課	高齢者福祉課	総合振興計画コード	2117-04
事業の目的	介護保険事業計画の進行に支障が生じないよう、介護保険給付費及び地域支援事業の財源を確保する。	事業の概要	介護保険収納対策計画に基づき、計画的な収納対策を講じていく。

事業の実績・成果

・督促状の発送
納期までに納付を確認できなかった被保険者を対象に、期別ごとに督促状を発送した。
・臨宅徴収の実施
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和元年度の定期的な臨宅徴収の実施は取りやめた。
・納付に関する相談対応
被保険者等からの保険料の納付に関する相談について、分割・定額での納付など、可能な限り現年度内の完納に向けた対応を促した。

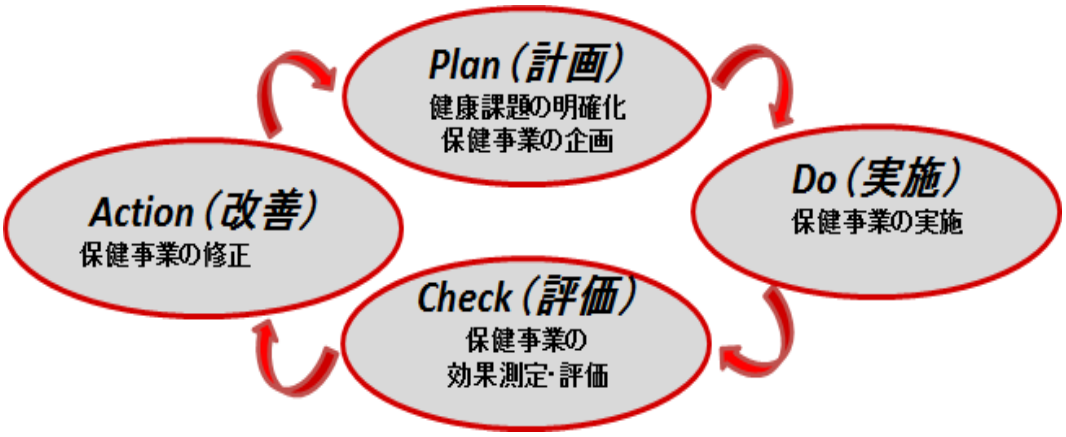
【普通徴収保険料の収納状況】 （単位：円）

区　　分	調定額	収納額	不納欠損額	未収額	収納率(%)
現年度分	1,996,916,220	196,826,800	0	24,480,570	88.9
滞納繰越分	41,185,280	4,636,381	19,962,410	16,586,489	11.3

事 業 名	国民健康保険保健事業実施計画進行管理事業		
担 当 課	国保年金課	総合振興計画コード	2211-04
事業の目的	国保に加入する市民の病気を予防するため、被保険者の医療データを分析することにより、現状を把握し、効果的・効率的に保健事業を着実に実行する。	事業の概要	実効性の高いものにするため、各保健事業の実施内容に掲げた指標について、ＰＤＣＡサイクルのプロセスで進捗状況を把握し、必要に応じ保健事業の修正を行い、目標達成のために工夫を重ねながら、より効果の得られる計画となるように毎年度見直しを行う。 ※計画期間：平成 30 年度から令和 5 年度

事業の実績・成果

「加須市国民健康保険事業実施計画（データヘルス計画）」（計画期間：平成 30 年度～令和 5 年度）に基づき、国民健康保険の被保険者の健康保持増進に資するため、特定健康診査等の結果やレセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、ＰＤＣＡサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を実施している。



事 業 名	ねんきんサテライト加須利用促進事業		
担 当 課	国保年金課	総合振興計画コード	2142-03
事業の目的	「ねんきんサテライト加須」との連携強化による年金窓口の充実を図る。	事業の概要	「ねんきんサテライト加須」で年金に関する相談、手続きができることを周知する。 「ねんきんサテライト加須」との連携強化及びＰＲによる利用促進を図る。

事業の実績・成果

加須市周辺の住民が、より近くで年金の相談や手続きができるよう、平成 31 年 2 月から「ねんきんんサテライト加須（熊谷年金事務所加須分室）」が開所された。

（単位：人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用人数				1, 444	8, 520
うち加須市民				964	5, 286

※平成 30 年度は、設置後の 2・3 月の合計

事 業 名	産前産後国民年金保険料免除事業		
担 当 課	国保年金課	総合振興計画コード	2142-02
事業の目的	次世代育成支援の観点から国民年金保険料の免除申請を促進する。	事業の概要	国民年金保険料の産前産後期間の免除制度についての周知。

事業の実績・成果

平成31年4月より開始された制度について関係各課に説明し、対象者に周知を図った。

（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
申請者数					25

事 業 名	重症化予防訪問指導事業		（総合戦略）
担 当 課	健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-18
事業の目的	市民の病気の重症化を予防するため、心身の状況や生活環境等に応じた保健指導を行う。	事業の概要	特定健康診査結果等から抽出した対象者の家庭を訪問し、保健指導を行う。

事業の実績・成果

特定健診結果から生活習慣改善のための健康事業への参加を促し、要医療の者に対して医療機関受診の必要性を伝えることができた。

1　訪問対象者

・平成30年度、令和元年度特定保健指導対象者で特定保健指導教室に不参加だった者

・平成30年度の特定健康診査結果で血糖値が高い者のうち、医療受診していない者

2　訪問実績　（単位：人）

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
被訪問指導者数	96	96	69	69	78	78	80	80	55	55

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため3月の訪問中止。

事 業 名	熱中症予防事業		
担 当 課	健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-33
事業の目的	市民の熱中症罹患を予防するため、熱中症に対する知識の普及・啓発に努めるとともに、その予防対策を推進する。	事業の概要	窓口やホームページ、広報紙等で広く熱中症に対する知識の普及・啓発を行うとともに、暑さ指数（WBGT）を基準に、防災行政無線放送、安全安心メールにて注意を喚起する。 また、各公共施設と連携し、クールオアシスを設置する。

事業の実績・成果

市内の公共施設にクールオアシス（冷房の入った一時休憩所）を設置し、熱中症の予防に努めた。
また、環境省が発表する暑さ指数（ＷＢＧＴ）を毎日確認し、加須市が設定した基準に当てはまる場合、防災行政無線、安全安心メールにて熱中症予防を呼びかけた。

１　各課の取り組み状況（6 月～9 月）

（1）設備、機器類
空調管理・ブラインドの利用
グリーンカーテンの設置
冷水器、扇風機の設置
遮光シートの設置
クールオアシスの設置
（2）注意喚起
広報紙、ポスター掲示、防災行政無線、会合・イベント等における呼びかけ
庁舎正面玄関へ外気温を表示
熱中症に関する勉強会の開催
国道 125 号上に設置してある消防出動表示灯にメッセージ表示
部活動中止の呼びかけ

２　市内クールオアシス設置数　　21 施設

３　熱中症による市民死亡数　　0 人

事 業 名	スローフード促進事業		
担 当 課	健康づくり推進課	総合振興計画コード	2212-06
事業の目的	市民一人一人が心身ともに健康で暮らせるよう、食生活についての知識習得や食行動を見直す機会を提供する。	事業の概要	「減塩プロジェクト」を展開し、市内の協力飲食店で減塩メニューをご提供いただくとともに、食生活改善推進員協議会と協働で減塩によるスローフードのレシピを作成・周知し、食の恵みや家族友人等と食卓を囲んで食べる喜びを味わうことの大切さを再認識するとともに、日本型食生活の良さを見直す中で自分に合った食生活について考える機会を提供する。

事業の実績・成果

加須市食生活改善推進員協議会と協働して健康食メニューを開発するとともに、給食だよりで保護者に対して情報提供するなどにより、食生活についての知識を習得し、食行動を見直す機会を提供することができた。

さらに、平成 27 年度から公共施設に設置している「加須市健康食メニューのレシピ集」にレシピを追加する等、広く周知を行うことにより、健康食メニューの情報を市民が入手しやすい環境を整備することができた。

1　健康食メニュー等の調理実習

加須市食生活改善推進員協議会と協働し、食生活改善推進事業（伝達活動・自主活動・市委託事業）において、地産地消を取り入れた健康食メニューや郷土料理などの調理実習を実施した。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実施回数（回）	147	153	143	134	134
参加者数（人）	2,514	2,867	2,488	2,330	2,300

2　我が家の味自慢！健康食メニュー検討部会における健康食メニューの開発

・開催回数　4 回

・「大根使い切りメニュー(時短)」をテーマに健康食メニューを開発

①大根菜飯

②大根とえびのとろみ炒め

③大根と牛肉のピリ辛煮

④切り干し大根とひじきのミルク煮

大根菜飯

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べレシピ数（品）	34	38	42	45	49

3　公立保育所にレシピ提供

公立保育所にレシピを提供するとともに、保育所栄養士と協力して給食だよりで保護者に対して地産地消と減塩に関する情報を提供した。

・提供メニュー　　じゃが芋と南瓜のサラダ、トマトスープ

・提供食数　　644 食

じゃが芋と南瓜のサラダ(中央上)
トマトスープ(右下)

4　健康食メニューの周知

・42 か所の公共施設に設置している

「加須市健康食メニューのレシピ集」に 4 品のレシピを追加した。

・健康食メニューを掲載したちらしを健康まつりや関連性の高い事業等で 2,545 枚配布した。

5　減塩プロジェクト協力店舗数

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
協力店舗数（店舗）	41	48	72

事 業 名	たばこ・アルコール対策事業		
担 当 課	健康づくり推進課	総合振興計画コード	2216-06
事業の目的	たばこ・アルコール対策による健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を図る。	事業の概要	たばこ・アルコールの害について啓発する。 また、受動喫煙の防止対策として公共施設の敷地内禁煙を推進する。

事業の実績・成果

市報やチラシを通じ、たばこや受動喫煙の害について周知することにより、喫煙による健康への影響について意識付けを行うことができた。

また、平成28年3月に策定した「第2次加須市健康づくり推進計画」や平成30年7月に公布された「健康増進法の一部を改正する法律」に基づき、平成30年11月に、「加須市公共施設における受動喫煙対策の基本方針」を策定し、令和3年3月31日までに市内の公共施設全体（公園等を除く。）を段階的に敷地内全面禁煙することを決定した。

令和元年7月1日から、市内の公共施設全体（公園等を除く。）の敷地内全面禁煙を実施することができた。

1　公共施設年度別禁煙状況　（単位：箇所）

		禁煙対策			禁煙対策未実施	計
		敷地内禁煙	屋内禁煙	空間分煙		
年度	平成27年度	58（48.3%）	61（50.8%）	1（0.9%）	0　（0%）	120（100%）
	平成28年度	69（57.5%）	50（41.7%）	1（0.9%）	0　（0%）	120（100%）
	平成29年度	69（58.0%）	50（42.0%）	0（0.0%）	0　（0%）	119（100%）
	平成30年度	69（58.0%）	50（42.0%）	0（0.0%）	0　（0%）	119（100%）
	令和元年度	119（0%）	0　（0%）	0　（0%）	0　（0%）	119（100%）

2　令和元年度公共施設種類別禁煙状況　（単位：箇所）

	禁煙対策			禁煙対策未実施	計
	敷地内禁煙	屋内禁煙	空間分煙		
庁舎	4	0	0	0	4
公民館	7	0	0	0	7
コミュニティセンター	12	0	0	0	12
文化施設	9	0	0	0	9
産業関連施設	5	0	0	0	5
体育施設	6	0	0	0	6
小・中学校・幼稚園	43	0	0	0	43
教育関連施設	3	0	0	0	3
幼児・児童施設	13	0	0	0	13
高齢者施設等	6	0	0	0	6
保健・医療施設	6	0	0	0	6
衛生施設等	5	0	0	0	5
計	119	0	0	0	119

事 業 名	農村地域定住等促進事業			（総合戦略）
担 当 課	まちづくり課		総合振興計画コード	3213-07
事業の目的	都市近郊農地における農地の保全・人口定着など地域の活性化を図る。	事業の概要	民間事業者等に対し、営農希望者等が農業に触れ合える機会や定住等のきっかけになるよう、支援等を行う。	

事業の実績・成果

【実績】

水深地区（油井ケ島周辺部）で活動する民間事業である農業生産法人に関する現地調査を実施した。

※市としては、どのような支援が可能なのか研究するため、関係各課と調整を行った。

事 業 名	道路・公園等ウォッチャー事業			
担 当 課	まちづくり課		総合振興計画コード	3224-01
事業の目的	公共施設利用者の安全性の向上を図る。	事業の概要	市民には市報かぞで、民間企業等には依頼文で、市職員には依頼文をグループウェアに掲載することで、道路・水路・公園・駅前広場などの公共施設の損傷箇所や危険箇所の情報提供を依頼する。寄せられた情報を取りまとめ、各施設の所管課で速やかに修繕等の対応を行う。	

事業の実績・成果

市民・民間企業等関係機関・市職員から寄せられた情報を基に、各施設の所管課で速やかに修繕等の対応を行った。

○情報提供の依頼

・市報かぞへの掲載（平成31年4月1日号、令和元年10月1日号）

○情報提供・対応件数　（単位：件）

危険箇所等の内訳	加須地域	騎西地域	北川辺地域	大利根地域	合　計
駅前広場、都市公園・遊具等	10	14	0	0	24
道路、側溝、橋梁等	634	70	11	37	752
河川、水路、調整池等	8	23	1	6	38
道路照明灯、道路反射鏡、防犯灯	143	150	63	58	414
その他（県の管轄）	6	14	0	7	27
合　計	801	271	75	108	1,255

※情報提供のあった案件については、全件対応済

事 業 名	加須ＩＣ東地区産業団地整備推進事業		（総合戦略）
担 当 課	まちづくり課	総合振興計画コード	5121-02
事業の目的	雇用の創出、地域の活性化、自主財源の確保を図るため、新たな産業立地基盤の整備を推進する。	事業の概要	加須ＩＣ東地区（北大桑地区）産業団地の早期整備に向け、土地利用調整や各種手続き等、関係機関や関係地権者等との協議・調整を進める。

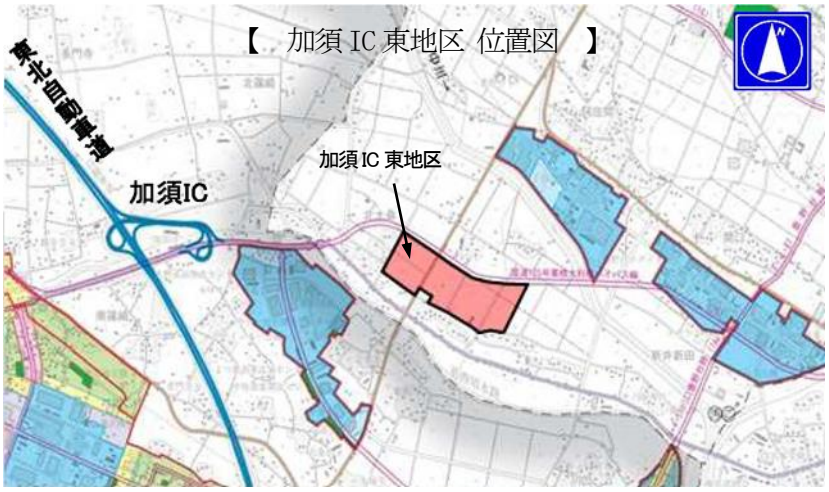
事業の実績・成果

○加須ＩＣ東地区（北大桑地区）産業団地の概要
　場　　所：加須市北大桑、阿佐間地内（加須インターチェンジから約1km）
　地区面積：約17.7ha
　事業主体：埼玉県企業局

○事業の実績・成果
　加須ＩＣ東地区（北大桑地区）産業団地の早期整備に向け、埼玉県企業局をはじめとする関係機関や地権者等との協議・調整を進めた。

・平成28年8月、埼玉県農林調整終了。
・平成28年8月、関係者説明会開催（事業スケジュール、用地契約、地区計画）。
・平成28年10月、産業団地区域内道水路測量等委託（10月～3月）。
・平成28年12月、農業振興地域整備計画変更、都市計画決定（地区計画）。
・平成29年3月、開発協議成立。
・平成29年4月～埼玉県企業局が造成工事に着手。
・平成30年7月、予約分譲開始。
・令和元年10月、埼玉県から市に引継ぎ事業完了。

【　加須IC東地区 位置図　】



事 業 名	公共施設バリアフリー化事業		
担 当 課	建築開発課	総合振興計画コード	2133-02
事業の目的	誰もが生活しやすい地域環境を形成するため、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れる。	事業の概要	加須市バリアフリー条例、加須市市有施設設計方針及び埼玉県福祉のまちづくり条例に基づき、市有建築物について、大規模改修工事等（新築・改築・増築）に併せて、バリアフリー化を推進する。

事業の実績・成果

〇施設の所管課と連携し、下記の施設の工事、設計を実施した。
〈内容〉下記の工事、設計について、スロープ、多機能トイレ、一般トイレに手すり、車椅子使用者専用駐車場を設置する工事、設計を行った。

・加須市立騎西中央幼稚園再整備複合化建築工事
・加須市立田ケ谷小学校校舎大規模改造工事設計

※設計にあたっては、市民等が利用しやすい公共施設とするために施設管理者と協議を行い、改修工事等に併せてバリアフリー化に配慮した施設整備を実施した。

事 業 名	民間施設バリアフリー化事業		
担 当 課	建築開発課	総合振興計画コード	2133-03
事業の目的	誰もが生活しやすい地域環境を形成するため、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れる。	事業の概要	・「加須市バリアフリー条例」及び「埼玉県福祉のまちづくり条例」等に基づき、県と連携し、民間施設のバリアフリー化を推進する。

事業の実績・成果

・「加須市バリアフリー条例」及び「埼玉県福祉のまちづくり条例」の基準について、指導、助言、相談、啓発等を行い、バリアフリー化を推進した。

・埼玉県福祉のまちづくり条例の整備基準について、建築物の設計者へ指導、助言を14回実施した。

事 業 名	市営住宅使用料収納対策事業		
担 当 課	建築開発課	総合振興計画コード	3213-02
事業の目的	市営住宅の家賃や駐車場使用料の収納を適正に行うことで、居住環境の向上促進を図る。	事業の概要	管理代行をしている埼玉県住宅供給公社とともに、督促、相談、指導などを行ないながら下記市営住宅の使用料を収納する。 ・秋葉団地：58 戸 ・三俣団地：28 戸 ・下崎住宅：8 戸 ・天沼団地：57 戸 ・北川辺住宅：10 戸

事業の実績・成果

市営住宅の家賃・駐車場使用料の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
調定額 （円）	42,406,500	41,289,200	40,106,300	38,522,900	37,769,600
収納金額 （円）	38,185,900	37,375,100	36,024,900	34,588,900	33,195,000
収納率 （%）	90.04	90.52	89.82	89.78	87.88

事 業 名	幹線道路整備計画進行管理事業		
担 当 課	道路課	総合振興計画コード	3222-02
事業の目的	企業などの社会経済活動や市民の日常生活を支え、市の一体性を確保するため、市道の幹線道路の整備に努める。	事業の概要	「第二次加須市幹線道路網整備計画」の適正な進行管理を行う。

事業の実績・成果

「第二次加須市幹線道路網整備計画」（計画期間：平成 28 年度～令和 12 年度）に基づき幹線道路の整備促進を図っている。

事 業 名	橋りょう整備計画進行管理事業		
担 当 課	道路課	総合振興計画コード	3226-02
事業の目的	「橋りょう整備計画」は、橋りょうの長寿命化及び耐震化という目的の違う２つの事業を実施することにより、市民が安全で安心して通行できる道路橋の確保を図るとともに、「防災のまちづくり」の実現を図る。	事業の概要	平成30年度に改訂した「橋りょう長寿命化修繕計画」による長寿命化、及び平成24年度に策定した「橋りょう整備計画」による耐震化の進捗に併せた進行管理を行う。

事業の実績・成果

現橋りょう整備計画に基づき、橋りょうの長寿命化修繕工事の進行管理を行っている。

事 業 名	自転車歩行者道整備事業		
担 当 課	道路課	総合振興計画コード	4313-06
事業の目的	自転車の利便性を推進し、自転車の交通安全を確保するため、自転車歩行者道の整備、既存道路を利用した自転車通行帯の整備など、快適な自転車生活を支援する。	事業の概要	道路パトロールを実施し、不備な箇所について、その都度補修、修繕を実施する。 また、自転車歩行者道の舗装修繕や段差解消などを実施し、自転車通行環境を整備する。

事業の実績・成果

既存の自転車歩行者道が、経年劣化と街路樹の根の影響により、通行に支障をきたしている箇所について、道路維持管理事業の中で修繕工事を実施した。

（1）事業費等の年次別推移

維持管理工事		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
(平成25年度～) 市道262号線 (市道騎2－103号線)	事業量(m)	142	0	0	0	0
	事業費(円)	8,613,000	0	0	0	0

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="4">雨水流出抑制対策事業（民間施設）</td></tr>
<tr><td>担 当 課</td><td>治水課</td><td colspan="2">総合振興計画コード</td><td>3141-03</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td>市民との協働により浸水被害の軽減を図り、住民生活の安全を確保する。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">道路側溝などへの雨水が一気に流れ込む量の軽減を図り、浸水被害の軽減を図るため、新規の開発行為時等において、住みよいまちづくり指導要綱に基づき、適正な雨水流出抑制施設の設置促進に努める。また、「雨水の利用の推進に関する法律」（平成26年5月1日施行）に基づき、雨水の利用の推進を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="5">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="5">開発案件及び新規建築・改築等の申請案件について、住みよいまちづくり指導要綱に基づく、適正な雨水流出抑制施設の設置を指導している。

○令和元年度実績
事前協議　：　指導箇所数／協議申請数　＝　112/112　（100%）
開発行為許可申請　：　指導箇所数／申請数　＝　136/136　（100%）</td></tr>
</table>

事 業 名	中川上流地区排水対策整備促進事業		
担 当 課	治水課	総合振興計画コード	3142-12
事業の目的	中川を排水河川とする本地区は、老朽化及び地盤沈下による不同沈下した農業排水路の整備と埼玉県が進めている河川整備との一体的な整備を進める。	事業の概要	一級河川中川を流末とする広域な区域での湛水・溢水被害を解消するため、国に国営事業による排水路の整備を、県には一級河川中川の拡幅整備の要望。 国、県、近隣自治体、土地改良区と連携を密にして、事業の促進を図る。

事業の実績・成果

【中川上流地区】

中川上流地区国営事業等推進協議会設立総会を開催した。

日　時　令和元年８月27日（火）
場　所　加須農林振興センター大会議室

構成員
会　長　羽生領島中領用排水路土地改良区　理事長　野本陽一
副会長　加須市長、羽生市長、久喜市長、幸手市長
監　事　ほくさい農業協同組合代表理事組合長、埼玉みずほ農業協同組合代表理事組合長
会　員　加須市議会議長、羽生市議会議長、久喜市議会議長、幸手市議会議長、羽生領島中領用排水路土地改良区副理事長２名
顧　問　衆議院議員　野中　厚、三ツ林裕己
埼玉県議会議員　諸井真英、千葉達也、梅澤佳一、吉良英敏
参　与　関東農政局農村振興部長、埼玉県農林部長、他

【一級河川中川】

一級河川中川改修に係る地域協議会を設立し会議を開催した。

第１回目
日　時　令和元年５月14日（火）
場　所　豊野コミュニティセンター2階会議室

第２回目
日　時　令和２年１月28日（火）
場　所　豊野コミュニティセンター2階会議室

<table>
<tr><td>事 業 名</td><td colspan="3">公共下水道事業基本計画策定事業</td></tr>
<tr><td>担 当 課</td><td>下水道課</td><td>総合振興計画コード</td><td>4221-03</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td>生活環境の改善や河川・水路の水質改善を図るため、基本計画を策定し、公共下水道事業を推進する。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">上位計画との整合を図りつつ、主に以下の項目の確認を行い、加須市の将来を見据えた基本計画を策定する。
①計画目標年次と計画区域
②計画人口
③計画汚水量
④施設計画
⑤概算事業費等
⑥今後の課題
計画期間：平成 25 年度～令和 6 年度</td></tr>
<tr><td colspan="4">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="4">・平成 25 年 3 月に加須市公共下水道事業基本計画を策定した。
・平成 28 年 3 月に加須地域の川口地区を「古利根川流域関連加須公共下水道事業」の計画区域から「加須市単独公共下水道事業」による計画区域に変更した。
・令和 6 年度までの計画期間内に今後予定されている上位計画の「中川流域別下水道整備総合計画」の変更に合わせ、市の基本計画も整合を図りながら検討及び改訂をしていく。</td></tr>
</table>

事 業 名	農業集落排水加入促進事業		
担 当 課	下水道課	総合振興計画コード	4222-03
事業の目的	農業用排水路の浄化のため、農業集落排水処理施設への加入を促進し、快適な生活環境の確保をめざす。	事業の概要	毎年度、加入促進計画を作成し、計画に基づき、貸付制度の周知を図りながら戸別訪問を実施する。

事業の実績・成果

令和元年度は、騎西地域を重点的に戸別訪問した。また、地元組合員等の協力を得て、串作地区、大越地区の戸別訪問を実施した。

戸別訪問の実績は、中種足地区179件、内田ケ谷地区35件、串作地区80件、大越地区190件、北大桑・新井新田地区26件、本村戸塚地区13件。合計523件である。

加入率は地区別に異なるが、全体平均で0.8%増である。

加入率及び増減

地　区　名	公共ます設置戸数	平成30年度末接続戸数	令和元年度末接続戸数	加入率	増　減
串作地区	230戸	142戸	148戸	64.3%	2.6%
大越地区	664戸	433戸	437戸	65.8%	0.4%
名倉地区	54戸	53戸	53戸	98.1%	0.0%
外田ケ谷地区	293戸	234戸	235戸	80.2%	0.3%
下崎地区	211戸	175戸	177戸	83.9%	1.0%
上種足地区	332戸	291戸	294戸	88.6%	0.7%
中ノ目戸室地区	361戸	325戸	331戸	91.7%	1.2%
鴻茎川北地区	140戸	112戸	113戸	80.7%	0.7%
内田ケ谷地区	102戸	67戸	68戸	66.7%	1.0%
上崎地区	316戸	228戸	229戸	72.5%	0.3%
中種足地区	508戸	323戸	330戸	65.0%	1.2%
川南芋白地区	160戸	127戸	129戸	80.6%	1.2%
本村戸塚地区	216戸	153戸	155戸	71.8%	0.6%
根古屋牛重地区	238戸	194戸	195戸	81.9%	0.0%
伊賀袋地区	90戸	90戸	90戸	100.0%	0.0%
北大桑・新井新田地区	203戸	145戸	149戸	73.4%	1.6%
合　　計	4,118戸	3,092戸	3,133戸	76.1%	0.8%

事 業 名	旧川環境保全事業		
担 当 課	農政建設課（北川辺）	総合振興計画コード	4212-05
事業の目的	旧川の水辺環境の保全を図ると共に、排水路機能と貯水機能の維持を図る。	事業の概要	旧川周辺の環境美化、施設維持等の活動を行う共に、水質浄化等の啓発活動を行う。また、護岸改修等の整備を行う。

事業の実績・成果

北川辺地域の市民及び「旧川の自然と環境を守る会」との協働による環境保全活動としての旧川クリーン大作戦は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

旧川の自然と環境を守る会の環境美化活動や地元自治会による水路清掃（草刈り）の実施により、環境美化や水質保全を推進した。

○「旧川の自然と環境を守る会」の活動

令和元年5月26日	環境美化活動（ごみ拾い）
令和元年6月1･2日	水路清掃（雑草の刈払い）
令和元年8月3･4日	水路清掃（雑草の刈払い）
令和元年8月5日	通常総会
令和元年11月10日	環境美化活動（ごみ拾い）
令和2年3月1日	旧川クリーン大作戦（中止）

○旧川クリーン大作戦

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
参加対象	隣接4自治会	北川辺全域	北川辺全域	北川辺全域
参加人数	138人	223人	135人	117人
回収したゴミ量	トラック1台分＋原付1台	トラック3台分	トラック2台分	トラック2台分

	平成30年度	令和元年度
参加対象	北川辺全域	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
参加人数	131人	
回収したゴミ量	トラック2台分	

事 業 名	「お花が池」自然環境保全事業		
担 当 課	地域振興課（大利根）	総合振興計画コード	4212-09
事業の目的	地域特有の豊かな水辺や緑などの自然環境やそこに生息する様々な生物種の減少を最小限にとどめるため、絶滅危惧種指定の希少生物が生息する「お花が池」の保全に努める。	事業の概要	周辺住民による草刈等の活動、自然保護団体による自然観察会や自然保護団体、周辺自治協力団体との間で定期的な会議を開催する。また、貴重な自然を住民に周知するための環境学習を実施する。

事業の実績・成果

（1）埼玉県生態系保護協会加須支部による継続的な観察

生態系保護協会加須支部の会員が毎月 1 回お花が池の調査を実施し、観察された動植物の記録を行った。

（2）地元住民の協力による池周辺の草刈り

令和元年 6 月 9 日及び 8 月 11 日にお花が池周辺の草刈りを実施した。

（3）元和小学校児童に対する環境学習

・目的　お花が池に生息する希少な動植物の観察をとおして、身近に残された貴重な自然環境を知るとともに、その生態系の保護について考える機会とする。

・対象　第 5 学年　28 名

・日時　〇座学　令和元年 6 月 28 日（金）午前 10 時 35 分～午前 11 時 20 分

【内容】「お花が池を例にした生態系ピラミッド」、「外来生物の生態」などについて、生態系保護協会加須支部の講師が写真や教材を使いながら講話を行った。

〇実地　令和元年 7 月 9 日（火）午前 9 時 00 分～午前 10 時 00 分

【内容】「お花が池の水質状況」、「アナゴかごで捕獲した生物の観察」、「お花が池の生態系や特定外来生物の生息実態」という内容で、生態系保護協会加須支部の協力のもと、実地で授業を行った。（オオモノサシトンボ、サンショウモともに確認できず。）

（4）大利根地域市民まつりにおけるお花が池紹介ブースの出展

令和元年 11 月 10 日に開催した大利根地域市民まつりにおいて、お花が池を紹介するため、動植物の写真展示、オオモノサシトンボ及びサンショウモの紹介を行うブースを出展し、住民の方々に池の自然環境を周知した。

（5）お花が池紹介掲示板を活用した情報提供

平成 26 年度に設置したお花が池紹介掲示板を利用し、生態系保護協会加須支部が実施した調査の結果などを掲示し、情報提供を行った。

（6）保護団体、地元自治協力団体代表者との定期的な意見交換

令和元年 8 月 7 日に生態系保護協会加須支部、地元自治協力団体代表者及び市の間で意見交換会を開催し、平成 30 年度中の事業内容の報告や、令和元年度の事業計画などについて意見交換を行うなど、円滑な事業運営を行うことができた。

※令和元年度の発生状況

令和元年度においては、オオモノサシトンボ及びサンショウモについて、確認することができなかった。

事 業 名	加須市人づくりプラン進行管理事業		
担 当 課	教育総務課	総合振興計画コード	1211-21
事業の目的	・「加須市人づくり宣言～教育大綱～」の基本理念である家族・地域の絆を大切に、生きる力を醸成し、三つの目指すべき市民の姿を実現させる。	事業の概要	・「加須市人づくりプラン」の施策を的確に実施するよう、進行管理を行う。

事業の実績・成果

「加須市人づくり宣言～教育大綱～」を踏まえ、平成29年3月に策定した「加須市人づくりプラン」に位置付けた各施策を推進するため、平成30年度の各事業の実施状況を取りまとめ、総合教育会議に報告をした。

事 業 名	余裕教室等活用事業		
担 当 課	生涯学習課	総合振興計画コード	1312-07
事業の目的	余裕教室等の有効活用を図り、地域住民の学習と交流の場として提供し、開かれた学校づくりを進める。	事業の概要	各小中学校（全30校）における余裕教室等を、登録許可制により市民団体の活動の場として提供し有効活用する。

事業の実績・成果

令和元年度実績

・余裕教室等（一時利用可能教室）…市内公立小中学校9校13教室
　9校（加須小、花崎北小、騎西小、鴻茎小、北川辺西小、北川辺東小、
　　大利根東小、元和小、大利根中）

・活用実績…計4団体：延べ136回活用（前年度比、団体数1団体増、10回増）

	団体名	活用内容	活用学校
1	筋トレ同好会なでしこ	筋トレ	加須小学校
2	筋トレ修了生 加須小学校火曜日午後グループ	筋トレ	加須小学校
3	第6区福志会	高齢者サロン	北川辺東小学校
4	囲碁愛好会	囲碁	騎西小学校

事 業 名	スポーツ施設安全点検事業		
担 当 課	スポーツ振興課	総合振興計画コード	2234-04
事業の目的	一般利用者が安心・安全に利用できるプレー環境の実現を図る。	事業の概要	安全な施設、最適な運動施設環境をつくるため、体育館内、野球場、テニスコート、駐車場、各広場、プール及び鎮守前公園等を巡回し、施設・設備・用具等安全点検を行い、施設管理者に報告する。

事業の実績・成果

職員による日常的な安全点検を実施し、施設に起因する事故はゼロであった。

○点検概要

主な点検施設	体育館、野球場、テニスコート、陸上競技場、プール、多目的広場、グラウンド・ゴルフ場、ゲートボール場など
点検体制	職員による日常点検
点検項目	施設・器具・用具等の異常の有無、グラウンドコンディション・雑草の繁殖状況

事 業 名	図書館まつり開催事業		
担 当 課	図書館課	総合振興計画コード	1313-03
事業の目的	図書館やボランティア団体等の活動内容を周知し、利用への関心を高め図書館利用者の増加と読書普及活動の推進を図る。	事業の概要	・図書館利用への関心を高め、利用者の増加と読書普及活動の推進を図るため、図書館まつりを開催する。

事業の実績・成果

図書館ボランティアの活動を紹介するなど図書館に親しみや関心を持てるような図書館まつりを開催したことで、図書館への関心を高めることができた。

1　開館日及び参加者数

	加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	おおとね図書館	計
開催日	11 月 23 日(土･祝)	11 月 2 日(土)	10 月 26 日(土)	10 月 26 日(土)	
参加者数 (人)	1,115	921	887	532	3,455

2　4 館共通の催し物及び参加者数等

	古本市&雑誌リサイクル提供数 (冊)	おはなし会参加者数 (人)	クイズ&スタンプラリー参加者数 (人) ※1
加須図書館	3,213	58	81
騎西図書館	※2　581	41	105
北川辺図書館	1,377	40	74
おおとね図書館	1,114	23	46
計	6,285	162	306

※1「クイズ&スタンプラリー」とは
クイズを解きながら図書館内をめぐり、図書館についてもっと知ろうという、子ども向けの催し物。
※2 騎西図書館は、「リサイクル図書」コーナーを常設して図書のリサイクルを実施しているため、雑誌リサイクルのみ実施。

3　各館独自の主な催し物及び参加者数

	内　容　①	参加者数	内　容　②	参加者数
加須図書館	絵本の主人公になってみよう	21 人	オリジナル万華鏡（工作）	36 人
騎西図書館	手品・バルーンアート	37 人	物語の登場人物になろう	40 人
北川辺図書館	紙コップでフリスビーをつくろう	23 人	おりがみでねずみを折ろう	20 人
おおとね図書館	マジックショー	38 人	木の実を使った秋の工作	23 人

4　加須市合併 10 周年記念の取組

	内　容
図書館まつり限定！スタンプラリー	４館で開催される図書館まつりにすべて参加した方にオリジナル景品をプレゼント（10 人）
合併 10 周年ロゴ入りオリジナルしおり	各図書館で資料を借りた利用者の方にしおりのプレゼント(372 人)
加須市に関する資料展示	加須市のあゆみがわかる資料展示のほか、合併後図書館で発行した定期刊行物「図書館だより」を製本し展示した
加須市読書こいのぼり	来館者に 10 年間に読んだ本の中でおすすめする本の感想を、こいのぼりのうろこをかたどった紙に書いてもらい、4 館それぞれで大きなこいのぼりを完成させた。

事 業 名	視聴覚ライブラリー事業		
担 当 課	図書館課	総合振興計画コード	1313-04
事業の目的	関係機関との連携により、本市における視聴覚教育を振興し、市民の教養や情操の向上を図る。	事業の概要	市民の自主的な視聴覚教育の活動を支援するために、視聴覚教育に必要な機材及び教材を保育園（所）や小・中学校、市民活動団体等に貸し出しを行う。

事業の実績・成果

北埼玉地区視聴覚協議会の解散に伴い、平成27年4月より視聴覚機器及び教材を譲り受け、教材等の貸出を行った。

○視聴覚教材利用数

教材名	保有教材数（本）	利用数（本）	視聴人数（人）
16ミリフィルム	180	0	0
ビデオテープ（VHS）	169	0	0
DVD	98	3	180
計	447	3	180

○視聴覚機器利用数

機器名	保有機器数	利用数（回）
16ミリ映写機	1台	1
ビデオプロジェクター	1台	2
プロジェクター	1台	3
DVDプレイヤー	1台	1
スクリーン（吊り下げ式）	1台	1
スクリーン（スタンド式）	1台	0
スクリーン（自立式）	1台	0
OHP	1台	2
暗幕	1式	0
計	9	10

○団体別教材利用数

団体名等	利用数（回）
保育園（所）	5
公民館	2
市役所各課	5
学校（小・中・高）	1
計	13

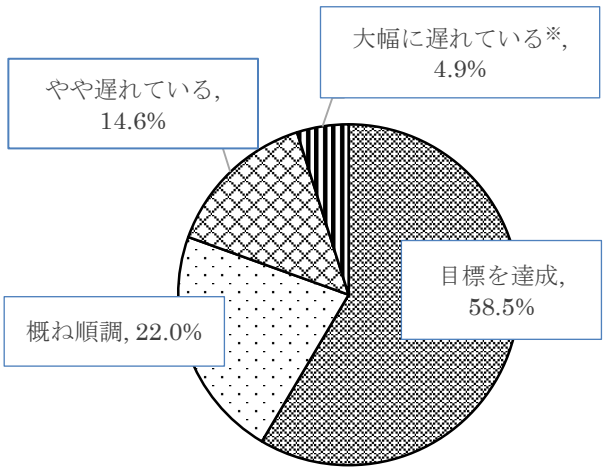
＊貸出団体等…学校教育又は社会教育における視聴覚教育の振興に資することを目的に利用する市内所在の保育所・幼稚園・児童館・学校（小・中・高）・公民館・教育委員会・市役所・老人ホーム等。

事 業 名	子ども読書活動推進計画進行管理事業		
担 当 課	図書館課	総合振興計画コード	1314-02
事業の目的	学校をはじめ、家庭、地域など社会全体が連携・協働のもと、子どもの自主的な読書活動を推進し、読書をとおして心豊かな子どもの成長を図る。	事業の概要	庁内関係課による子ども読書活動推進会議において、各取組の進捗状況を確認検証する。また、図書館協議会において、検証結果について意見を求め、計画の推進を図る。

事業の実績・成果

第３次計画（計画期間：平成 30 年度～令和４年度）の進捗状況について、庁内関係課の計画に対する取組及び進捗状況を把握し、加須市子ども読書活動推進会議及び加須市立図書館協議会にて報告及び意見等の聴取をしたうえ公表した。

達成度の割合



※大幅に遅れている主な取組内容

読書活動支援に関する取組の中で、ボランティア育成・支援の情報提供や、資料等を探す道しるべとなるパスファインダー導入が目標を下回った。

【参考】令和元年度の取組み（一部抜粋）

子ども読書活動の普及・啓発の推進

子ども読書の日（4 月 23 日、啓発期間 4/23～5/12）・読書週間（10/27～11/9）に、子どもたちに読書を習慣化させるための啓発活動として、図書館ごとに趣向を凝らした児童企画展示等を実施した。

（目標 5 件　実績 6 件　評価 目標達成）

加須図書館

・没後 1 年を迎えるかこさとしの著作展示 4/20～5/12

・日本の昔話を題材にした児童書の展示 10/26～11/25

騎西図書館

・「むかしばなしのせかいをたのしもう！」をテーマにした図書の展示　4/20～5/12

北川辺図書館

・「本が好き！図書館が好き！」をテーマにした図書の展示　4/20～5/12

おおとね図書館

・「おはなしの旅をしよう」をテーマにした図書の展示　4/20～5/12

・「中高生が選んだおすすめの本」を展示 10/26～11/15

事 業 名	市職員マンパワー活用事業		
担 当 課	学校教育課	総合振興計画コード	1211-14
事業の目的	地域密着型教育の推進のために、市職員が有する専門的知識、技術等を学校教育に活用し、教育活動の充実をめざす。	事業の概要	市内の公立小・中学校及び幼稚園（以下「小・中学校等」という。）からの要請に基づき、市職員を講師として、小・中学校等へ派遣し、市職員が有する専門的知識、技能等を活用した教科等の学習活動の支援及び教職員研修等を行う。

事業の実績・成果

【令和元年度活用状況】

番号	期　　日	派遣場所	派遣者	派遣内容
1	令和元年 6月11日	北川辺幼稚園	健康づくり推進課	PTA研修における救急講習
2	令和元年 6月17日	加須東中	学校教育課	教職員研修における接遇研修
3	令和元年 10月7日	騎西小	健康づくり推進課	学校保健委員会における教職員研修 歯・口の健康について
4	令和元年 11月13日	鴻茎小	健康づくり推進課	保健指導（生命尊重）
5	令和元年 12月18日	田ケ谷小	健康づくり推進課	5年生性教育教室
6	令和2年 1月30日	種足小	健康づくり推進課	5年生性教育教室
7	令和2年 2月6日	鴻茎小	学校教育課	教職員校内研修 特別支援教育について
8	令和2年 2月18日	高柳小	健康づくり推進課	6年生性教育教室

【成果】

専門的な知識を得ることで、児童生徒等の興味･関心が高まり、価値の高い研修や事業との評価を得ることができた。

事 業 名	地域密着型教育広報事業		
担 当 課	学校教育課	総合振興計画コード	1221-05
事業の目的	地域密着型教育を進展させるために、学校等の情報を広く地域に広報することを目指す。	事業の概要	各学校のホームページ及び庁舎内の掲示コーナーを活用して、各学校（園）の教育活動を市民へ公開し、学校教育に対する理解を深める。

事業の実績・成果

【みて　わかる「地域密着型教育」掲示コーナー】

○庁舎内　3 階「教育委員会前壁面」・・・・・10 点
　　1 階「正面玄関前」・・・・・・・・・ 2 点
　　1 階「高齢者福祉課前」・・・・・・ 1 点
　　1 階「保育幼稚園課前」・・・・・・ 1 点

展示場所をローテーションしながら、常時 14 点のパネルを展示し、学校（園）で取り組んでいるさまざまな特色ある教育活動について、市民に対して広報している。年間を通して、609 点のパネルを展示した。

○騎西総合支所……騎西地域の 5 小学校 1 中学校のパネルを常時展示

○大利根総合支所……大利根地域の 4 小学校 1 中学校のパネルを常時展示

○北川辺文化・学習センター(みのり)……北川辺地域 2 小学校 1 中学校 1 幼稚園のパネルを常時展示

【ホームページ】

すべての小中学校でホームページを作成し、随時更新しながら学校経営の方針や教育活動の様子を広く知らせている。

○学校教育課ホームページの更新……情報が市民に対して、見やすく分かりやすく伝わるように、ホームページの内容を更新した。

事 業 名	給食費収納対策事業		
担 当 課	学校給食課	総合振興計画コード	1214-03
事業の目的	保護者からの学校給食費の収納を確実に行うことにより学校給食提供に係る財源を確保する。	事業の概要	保護者に給食費納入の重要性について説明をする。 収納状況を正確に把握する。 学校と連携し、滞納家庭に納入を督促する。 必要に応じて面談や臨宅徴収を行う。

事業の実績・成果

滞納家庭に対して、電話による催促や相談、督促の通知、臨宅による徴収等を計画的に行うとともに、学校と連携を密にし、児童手当から学校給食費の徴収を実施した結果、収入未済額は、現年分（令和元年度）130,908 円となった。

1　現年分

区分	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	収入未済額(円)	収納率(%)	収入未済額(円)	収納率(%)	収入未済額(円)	収納率(%)
小学校	129,200	99.94	15,200	99.99	41,800	99.98
中学校	101,200	99.93	26,400	99.98	78,700	99.95
幼稚園	0	100.00	0	100.00	0	100.00
計	230,400	99.95	41,600	99.99	120,500	99.97

平成 30 年度		令和元年度	
収入未済額(円)	収納率(%)	収入未済額(円)	収納率(%)
131,440	99.94	56,108	99.97
70,400	99.95	74,800	99.94
0	100.00	0	100.00
201,840	99.95	130,908	99.97

※計の収納率は、区分ごとの収納率の平均とは一致しない場合がある。

2　滞納繰越分

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
調定額(円)	490,954	230,400	67,000	120,500	201,840
収入済額(円)	276,627	205,000	67,000	120,500	201,840
不納欠損額(円)	214,327	0	0	0	0
収入未済額(円)	0	25,400	0	0	0
収納率(%)	56.34	88.98	100.00	100.00	100.00

R70
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用